RM MODELS ARCHIVE

レイルマガジン4月号増刊 第26巻第5号 2009年4月1日発行

鉄道模型 Nゲージ大図鑑2009

永久保存版！

Nゲージ最新280アイテム完全カタログ

ホームレイアウトから モジュールレイアウトまで 夢のMyレイアウト

お手軽レイアウトを作ろう！
1万円コース&3万円コース

鉄道ホビダス TETSUDO HOBIDAS で
選べる、買える！
ホビダスナンバーでラクラクショッピング！

N GAUGE

DC DIORAMA COLLECTION

鉄道ジオラマにトライ！

TOMYTEC

心の風景をカタチに

ある風景を立体的に表現するジオラマ…難易度の高いホビーと思われがちですが、トミーテックのブランド『トミックス』『ジオコレ』を組み合わせれば誰でも簡単に挑戦することができます。今回は「ローカル私鉄の沿線風景」をテーマにしたジオラマをご紹介！

鉄道模型ジオラマの醍醐味は、模型が実際に走行することでしょう。トミックスの豊富なレールラインナップを駆使すれば、さまざまな走行パターンを楽しめます。ベースとなる地面や砂利などの表現にはトミックスのパウダーやバラストを使いましょう。

ジオラマの設定に合わせた建物と小物は『ジオコレ』からチョイス。このブランドの情景アイテムは技術の要求される塗装作業が不要で、感覚的に組立てることが出来るのが特徴です。一方で乗物アイテムは完成品（一部組立てあり）なので、箱出しのままレイアウトに配置することが可能。ここでさらにジオラマの年代に合わせた車種を配置してみたり、場面に合わせて足回りにウェザリングを施すなど一工夫すればジオラマがさらに実感的になるでしょう。

最後に走行用車両をジオラマにセットします。今回の車両は『鉄道コレクション』から、小型電車と凸型電気機関車に動力を組み込んで用意しました。最後にパワーパックからレールへ電力を供給すれば…、トコトコと懐かしい電車が走る「ローカル私鉄の沿線風景」が完成です!!

「農業を主な産業として、それを支えるための車両設備がある。歴史ある駅舎の周りには昭和の住宅が残り、町のシンボルは大きなお寺が…」そんな風にイメージを膨らませるのがジオラマ造りのポイント。

情景コレクションシリーズ

■ザ・樹木
イチョウ 609円
（本体価格580円）

情景コレクションシリーズ

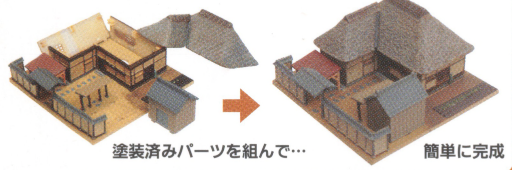
■ザ・人間
佇む人々 525円
（本体価格500円）

■カーコレ
基本セットA 1,050円
（本体価格1,000円）

建物コレクションシリーズ

「建物コレクション」を用意。

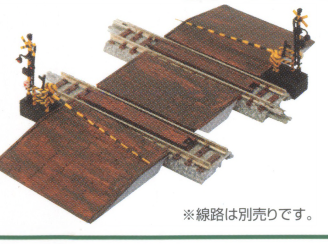
懐かしい雰囲気のジオラマには欠かせない様々な建物の塗装済みキット。組み立ても簡単！



塗装済みパーツを組んで…　簡単に完成

情景コレクションシリーズ

「情景コレクション」を飾り立てる。



フィギュアに樹木に踏切…小物を用いてジオラマのディティールにこだわってみるのも楽しさの一つ。

■情景小物　踏切
609円
（本体価格580円）

※線路は別売りです。

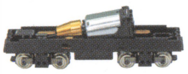
鉄道コレクション TETSUDOU COLLECTION

「鉄道コレクション」を走らせよう！

動力ユニットを組み込めばNゲージレールを走行可能。ローカル線に相応しい小型電車はいかが？

■凸型電気機関車・貨物列車セットA 1,890円（本体価格1,800円）

■12m級小型電車A
840円（800円）



■動力ユニット
TM-03（12m級用）
2,310円
（本体価格2,200円）

動力ユニット

鉄道コレクション

TOMIX

レール周りや地面の表現はトミックス製品で!!

ミニカーブレールセットなら半径の小さなレイアウトも製作可能。今回は待避線のできるこの組み合わせ！

■ミニレールセット
基本セット
〈91081〉
2,520円
（本体価格2,400円）

■ミニレールセット
ポイントセット
〈91082〉
3,990円
（本体価格3,800円）

リアルなレール表現にはバラスト（砂利）が不可欠！ローカル線を作るなら「ブラウン」がオススメ。

■カラーパウダー各種
各210円（本体価格200円）

■シーナリーバラスト
ブラウン〈8147〉
315円
（本体価格300円）

※こちらの製品はトミックス取扱店にてお買い求め頂けます。
トミックス公式サイト：http://www.tomytec.co.jp/tomix

ニューホビー製品情報はトミーテックホームページでご覧ください。
http://www.tomytec.co.jp/

株式会社トミーテック　〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
トミーテックお客様相談室 ニューホビー係 TEL 03(3695)3161(代)
電話受付 月～金曜日（祝・祭・休日を除く）10～12時 13～17時

※写真は試作品です。製品とは異なる場合があります。※商品仕様は予告無く変更の場合がございます。予めご了承ください。
※掲載されている商品の価格は、すべて消費税込みの価格です。

アプローチいろいろ！ Nゲージレイアウト

夢の世界をそれぞれの方法で実現！

あなたの好きな鉄道風景は何ですか？ 賑やかな大都会を行き交う新幹線や通勤列車、サイバーな工業地帯にたむろする貨物列車、それとも、ちょっと懐かしい田園風景をトコトコ走るローカル気動車…。そんな思い思いの情景をミニチュアに再現して車輌を走らせるレイアウトは鉄道模型の醍醐味であり、ファンに許された夢の世界でもあります。そして、望むレイアウトが人それぞれなら、それを実現するためのアプローチも一つではありません。ここでは、さまざまな規模や方法論による、レイアウト製作の実例をご紹介しましょう。

※本記事は、月刊RM MODELSからの再録記事です。

“プラレール”から“模型鉄道”へ

初めて取り組んだNゲージレイアウト「やだもん鉄道」の283日

MODELING, PHOTO＆TEXT：松本周一

精密に作られた情景の中を車輌が走りまわる「固定式レイアウト」。大きな模型店や鉄道模型のイベント会場で目にすることも多いですね。「我が家にも一つ欲しいけど、技術も専門知識もないし…」と思っていませんか？いえいえそんなことはありません、鉄道模型メーカーからは線路を始めストラクチャーや情景用品も各種発売されており、具体的なイメージさえ固まればレイアウトの製作は思ったほど難しくないはずです。ここでは、鉄道模型の素人だった作者がホームレイアウトに取り組んだ、9ヶ月半のレポートをご紹介しましょう。

レイアウトの製作に取り掛かってから、と言うよりも「模型鉄道」にはまってから約１年、わが家に「やだもん鉄道」が開通しました。鉄道や駅の名前が変かもしれませんが、これは家庭の事情です。

ある年の暮れ、息子に買い与えたプラレールに親父の方がはまり込んでしまい、部屋いっぱいに青いレールを敷きつめて遊んでいましたが、年明けにはプラレールでは満足できなくなり「模型鉄道」それも「固定式レイアウト」へと足を踏み入れました。

そもそも鉄道模型の「て」の字すら知らず、なによりも「鉄道」にも「模型」にも全く縁のなかった私、列車は「見るもの」ではなく「乗るもの」としか思っていなかった私が、途中で挫折せずになんとか開通までに辿り着けたのは、ほとんど奇跡です。

生まれて初めて取り掛かる「レイアウト作り」にあたっては、ビジョンとプランニングが最も重要であると考え、また、途中で挫折しても被害を最小限に押さえられるような製作スケジュールに頭を悩ませました。

基本的には、次の方針に沿ってプランニングしました。

❶ レイアウトは、架空の非電化路線で山間地域とする。季節には特にこだわらない。

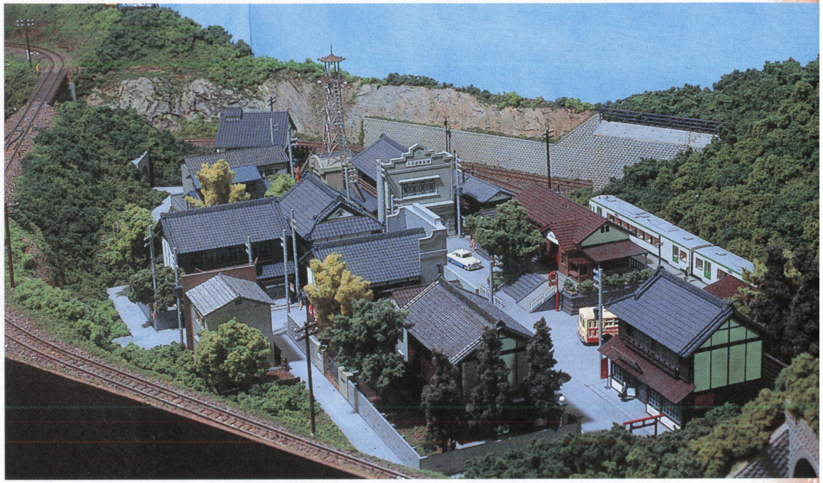
❷ レイアウトの時代設定には特にこだわらない。蒸機が走っていれば蒸機の時代。JRが走っていればJRの時代。

❸ 駅や線路周辺の設備など、全然知らないので特にこだわらない。

❹ 難しい工作は自信がないので、線路は道床付の組立式市販レール（TOMIX）を使用し、ストラクチャーも市販の完成品やキットを使用する。

❺ レイアウトは、移動可能で場所を取らないサイズにする。

❻ 将来の拡張も考える。



▲駅前側から見た「やだもん」駅周辺。地方ローカル線の小駅らしく、こぢんまりとしている。手前の家の裏庭が妙にリアルだ

要するに、あれもこれもと欲張らずに、また、こだわればキリのないマニアックなことにはなるべくこだわらないようにして、自分の想像力と記憶力だけを頼りに製作するようにしました。ただし、東西南北の方角にはこだわることにして、民家に関しては大体同じ向きに庭があるようにデザインしました。また、仕上がりは、あまりくどくならないようにこざっぱりまとめたいと思いました。

■1月16日—ストラクチャーから製作開始

とりあえずメーカーカタログとレイアウト定規を買って来て、方眼紙にあーでもないこーでもないと書き散らし、一応900mm×600mmの駅引き込み線付小判型エンドレスでスタートしました。しかし、このレイアウトではあまりにつまらないので、後になってパネル２枚の駅引き込み２線付８の字エンドレスに変更しています。

さて、一応プランができたので、小判型の線路セットとパワーユニット、加えて見たことのあるキハ111とキハ112の２輌セットを購入。食卓の上を片づけて線路を敷き電源を入れると……列車が走り出しました‼

▲「やだもん」駅付近の踏切を行くキハ40。警報器の音が聞こえてくるようだ。

走っている列車を目線を低くして眺めていると、色々な情景が頭の中で展開します。頭の中身はシーナリー付レイアウトへ飛んでいますが、ここで「挫折」という言葉も頭の中を駆けめぐります。冷静になって、ストラクチャーの製作に着手しました。

おそらく、順番としては、パネルを買ってきて土台作りから始めるのが筋でしょうが、ストラクチャーから作り始めたのには訳があります。なによりも、150分の１の建物は場所をとらない。それに完成したストラクチャーはそれだけでもインテリアになる。したがって、途中で挫折しても小さなジオラマとして結果が残せる、ということです。

駅舎から始めて、延々と２ヶ月以上ストラクチャーを作り続けました。とは言っても１日にせいぜい１時間、時には週末の夜だけという時期もあったので実際には大した時間ではないと思います。いずれにしても、この時期、模型屋のおばちゃんは私のことを情景モデラーだと思っていたようです。

■3月27日 —8の字エンドレスにプランを変更

ストラクチャーが概ね完成したところで、レイアウトパネルとポイント、それと線路を数本購入し、パネル上に並べてみました。キハ110系２輌がグルグル回っていますが、どうも物足り

「やだもん」駅とその周辺。
昭和40年代あたりの雰囲気
でまとめられている。

ない……。再び方眼紙に向かって悩み始め、パネルを長手方向に２枚つなげた８の字エンドレスにプランを変更することにしました。

■5月22日―線路の敷設とシーナリーの製作

レイアウトパネルと必要な線路を購入し、パネル上に線路を敷設しました。距離の伸びた線路上をキハ110系がシャカシャカ走っています。この時期、キハ110系の２輌以外に何か走らせたくなって、模型屋のおばちゃんの勧めでDD13と貨物数輌が仲間に加わっています。線路を敷設したら、いよいよシーナリーの製作です。

シーナリーの製作は、レイアウトを西側（ぷさぎ駅周辺）と東側（やだもん駅周辺）の２つのブロックに分け、まず西側から取り掛かりました。R280や部分的にR243の反転する急カーブを全て山の中に隠すプランを時々思いつきで微調整しつつ、だんだんとレイアウトらしくなっていく「やだもん村」。ただ眺めているだけでも楽しくて「挫折」という文字は限りなく薄くなっていきます。

また、シーナリーの製作と並行して、拡張プランも再検討しました。元々、小判型エンドレスの構想当初から、どこか１ヶ所に枝を付けて将来の拡張に対応しようと考えていましたが、８の字エンドレスに変更してからは、２ヶ所に枝を付けて今回のエンドレスを将来のロングランの一構成要素として扱う方針に切り替えました。

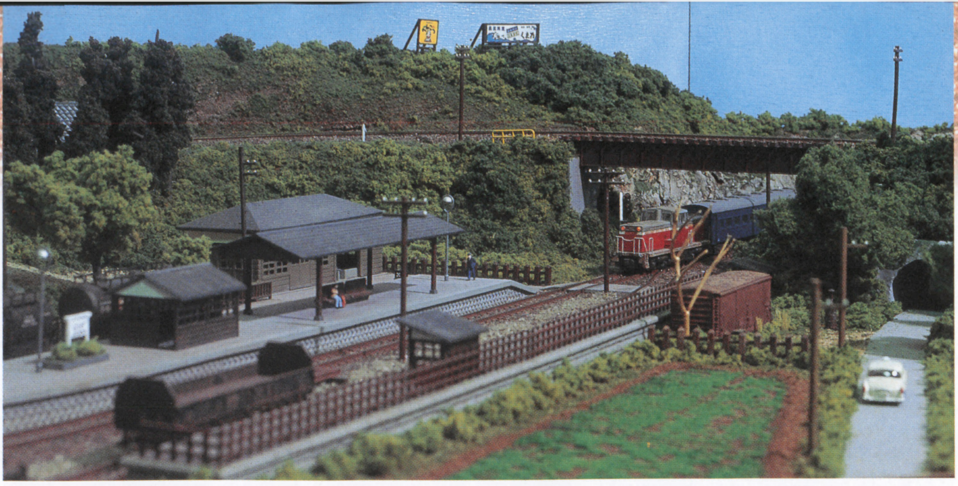
将来のロングラン……電化区間を作るかどうかで相当悩みましたが、結局全路線を非電化とすることにして、今回のエンドレスもそのつもりで製作を続行しました。

■7月25日―車輌の準備も怠りなく

レイアウトを作り始めて半年余り。ある程度シーナリーを作り込んで、完成の目処も立ってきたので、拡張プランに接続するためのポイントと線路を数本購入しました。もう「挫折」という文字は、かけらもありません。

ところで、将来のロングランを構想していた約２ヶ月の間に、建築限界確認用のキハ40は女房に内緒で、馴染みのある常磐線にも水郡線にも縁もゆかりもない（と思われる）C11は女房の許可を得て「やだもん鉄道」を走り始めています。

線路の上が賑やかになるにつれ、車輌のディテールアップにも張り込みはじめ、ワムやトラ



▲「ぷさぎ」駅に進入する客車列車。こちらは畑の中のローカル駅といった趣。奥のガーダー橋が8の字に敷かれたレールの交差部分だ。

はもちろん、数千（万）円のDD13やC11も煤煙やらサビやらでどんどん薄汚れていきました。挙げ句にはC11は白い煙まで吐く始末。車輌にウェザリングを施すと、走っているだけだった車輌が、停車していてもストラクチャーやアクセサリーのように情景の中に溶けこんでいきます。目線を低くして眺めているうちに、レイアウトの中に吸い込まれていきます。

■9月2日―背景画や台も欲しい！

それやこれやの紆余曲折を経て、８月末にはレイアウトの西側半分（ぷさぎ駅周辺）がようやく完成しました。次は、商店や民家の立て込んでいる東側半分（やだもん駅周辺）の製作です。レイアウトを作り始めて７ヶ月以上経ち、当初は、試行錯誤の連続だった「レイアウト作り」にも随分と慣れてきたので、製作は比較的スムースに進みます。

ストラクチャーは、前述したとおり「挫折」した時のことを考え、それだけでインテリアとして使えるように電柱やフィギュアなどのアクセサリーも含めて完成させてあるので、それをプランに沿って適宜アレンジしつつパネルに接着し、境目をパウダーやターフなどで適当に隠すだけです。

レイアウトが形になるにつれ、背景画とかレイアウトを乗せる台、はたまたパワーユニットなどの制御機器の置き場所とか、直接レイアウトには関係ないことについても気になり始めました。これらは必要な強度を持たせるのは当然ですが、それと共に、レイアウトそのものを引き立たせる脇役なので、できるだけシンプルに目立たないようにまとめたいと思いました。背景画は、ベニヤに適当な色を付けて、取り外し可能なようにパネルにボルト留めすることにしました。しかし、台については、あちらこちらのDIY店に足を運びますが、適当なものがなかなか見つかりません。角材で自作することも考えましたが、見栄え良く作れる自信がなかったので、結局、郊外の大規模DIY店で見つけた“イレクター”（パイプとジョイントによる組み立て材料）を使って台にすることにしました。もちろん、移動可能なようにキャスターも取り付けます。制御機器の置き場所は、イレクターに化粧板で棚を作ってその上に置くことにしました。

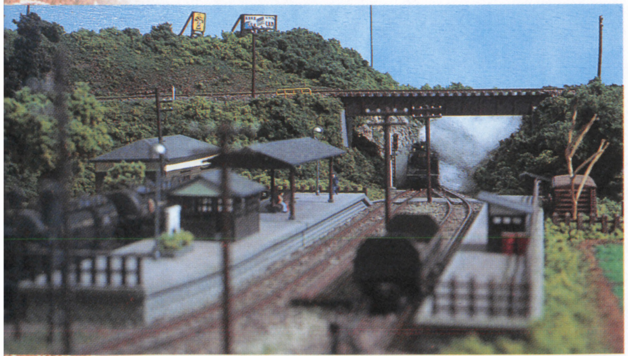
■10月25日―完成…そして反省点

森の具合を調整したり自動車などのアクセサリーを追加したり、部分的に若干の修正を加えた後、パネルの周囲を焦げ茶色に塗装してレイアウトが完成しました。

全体を眺め渡すと、西側の山の斜面が急過ぎ、トンネルが多過ぎ、道路が狭すぎるためか、なんとなく窮屈な感じがします。また、山間地域の非電化路線という設定なので仕方がないのかもしれませんが、全体的に印象が暗くて「大らかさ」とか「華やかさ」といったようなものが感じられません。畑の作物や花木で、また、背景を明るいスカイブルーにすることにより、多少なりとも「大らかさ」や「華やかさ」を演出しようとしましたが、ほとんど効果はありませんでした。

ともかく、８の字エンドレスのシンプルなトラックプランですが、レイアウトが完成しました。結果的に「やだもん駅」はキハ110系、「ぷさぎ駅」はC11やDD13が似合うレイアウトになったような気がします。

ちなみに、製作費用は、パネルや線路及び制御機器に３万４千円、ストラクチャーやシーナリーなどに８万６千円程度かかっています。加えて、ベニヤ板とか塗料とかの雑費が２万円かかっているので、総製作費用約14万円。安いのでしょうか？　高いのでしょうか??



▲「ぷさぎ」駅のホーム全景。進入してくるC11の煙をトリック撮影で再現。

▲レイアウトの全景。大きさは定尺ベニヤ1枚の2/3（1,810×600mm）。

「やだもん鉄道」完成!!

東うさぎ郡やだもん村「やだもん鉄道」路線延長
ぶっちゅヤード、廃線跡(1,810mm×910mm)

MODELING, PHOTO＆TEXT：松本周一

一旦完成させたレイアウトに飽くことなしに、更なる改造や2台目、3台目の製作に手を染める…。「鉄道模型は一生の趣味」と言われますが、もしかしたらレイアウトビルダーにこそ、この言葉はふさわしいのかも知れません。前章で将来の拡張を考えつつ一応の完成を見た作者でしたが、やはりその情熱は止まるところを知らず、早くも1ヶ月後には延長工事に取り掛かることとなりました。2年目にして格段の進化を遂げた「やだもん鉄道」、その過程と全貌をご覧に入れましょう。

前回のレイアウトが完成した後しばらくの間、写真撮影に夢中になっていましたが、覚悟を決めて、将来のロングランとして考えていた拡張プランの製作を開始しました。

拡張プランは、電化区間を作るかどうかで相当迷いました。

架線柱のある電化区間にも魅力を感じましたが、フル編成の電車を走らせるにはスペースが足りないようだし、電化区間に蒸機や気動車は似合わない。加えて、架線柱を付けると見た目が雑然としてまとまりがなくなりそうなので断念しました。

そもそも、電車や電機を１輌も持っていないこともあり、全路線を非電化にすると腹決めして、拡張プランは、つぎの条件を満たすようにプランニングしました。

❶ 拡張プラン単独で、エンドレスになること。

❷ 前回の8の字エンドレスに繋げば、ロングランになること。

この条件を満たすために、あれやこれや悩みに悩んで、結果的にプラン図（10頁）のようなレイアウト（ヤード付単線エンドレス複線もどき）に落ち着きました。

両渡り線のポイント操作により、単独エンドレスとロングランの選択ができ、パワーユニット１台で２列車同時走行も可能になっています。逆に言うと、このポイント通過さえ気を付けていれば、２列車の走行をぼんやり眺めていられます。

また、単純なエンドレスにひとひねり欲しいと思い、プランニングの最終段階までリバース線を加えるつもりでいました。しかし、リバース線のポイントが、前回のレイアウトに繋げると全く手の届かない山の中に入ってしまい、脱線した時の復旧が面倒なことや線路の配置上ヤードとの連絡が悪く、リバース線の効果があまり期待できないことなどから見送ることにしました。

さらに、駅を作るかどうかでも散々迷いましたが、既に前回のレイアウトに趣の異なる駅がふたつあるし、田園地帯を疾走する列車の姿にも魅力を感じたことから、駅の設置もやめることにしました。

あれもこれもやめてしまい少々物足りなさも感じますが、駅を設置しなかったことは、ホームの長さで制限されてしまうことの多い列車の編成に幅を持たせることが出来、結果的に正解だったと思っています。

ところで、レイアウトのどこかに是非とも作りたいと思っているのが「廃線跡」の情景で、それと前回のレイアウトを作っている最中、女房が「川はないの？」とか「川が欲しいね」とかうるさかったので、今回は、水物も出来ればどこかに作りたいと考えています。

もちろん、基本的な方針は前回のレイアウトと同様、「欲張らず、こだわらず」ですが、今回は、将来の拡張は視野に入れていません。なぜならば、前回と今回のふたつのレイアウトを繋ぐと1,810mm×1,510mmになり、部屋のサイズからみてこれで限界だからです。

▲「美紀湖」に沿った本線を気動車が行く。手前の線路が前回製作のレイアウトへと通じるバイパス線。

▲「廃線跡」横を行くキハ40+キハ58。バスの廃車体が良い雰囲気。

■11月26日―線路の敷設は慎重に

さて、レイアウトの製作です。

レイアウトの製作も２回目になればビギナーではありません。もちろんベテランでもありませんが、今回のレイアウトでは、前回の反省を踏まえて「大らかさ」や「華やかさ」を表現出来ればと思います。

まず、パネル上に線路やポイントをプランに沿って仮置きして、手持ちの動力車輌（キハ111、キハ40、DD13、Ｃ11）と新たに購入したＣ58に適当な編成を組ませて、徹底的に試運転を繰り返しました。

試運転を繰り返すことにより、線路を固定した後では直すのが厄介なポイントの不具合などを洗い出し、十分に調整しておきます。今回は、このトラックプランの生命線とでも言うべき両渡り線のポイントが不調で、散々手こずりました。一方、ウィークポイントになりそうで不安だった勾配付のＳ字カーブは、この区間にカントを付けなかったのが幸いしたのか、各車輌とも意外と順調に通過したので胸を撫で下ろしました。

また、車輌を走らせることにより情景のデザインを煮詰め、さらに、これからの作業の手順を良く練っておきます。例えば、湖にする部分のパネルは、線路を固定する前に掘り下げておかないと後々面倒なことになるし、ヤードの線路は、ヤードを作る時までは仮置きにしておいた方が何かと好都合です。

とにかく、線路を固定する前後の工程が、レイアウト製作の中では最も重要な工程だと思われるので、時間をかけて良く考えながら丁寧に作業を進めました。

あらゆる想定で試運転を繰り返し、各車輌が問題なく走行することを確認した後、線路を敷設しますが、この時に組立式線路の利点を生かして、ポイント周辺などデリケートな部分は、線路を厚さ１mm程度のプラ板に貼り付けて、バラスト散布や場合によってはアクセサリーの設置など、線路周りをあらかじめ仕上げた後、パネルに接着します。

線路を敷設してから、再び試運転を繰り返します。試運転は、この後もシーナリーを作っている間やストラクチャーを設置している最中など、くどいほど繰り返しました。

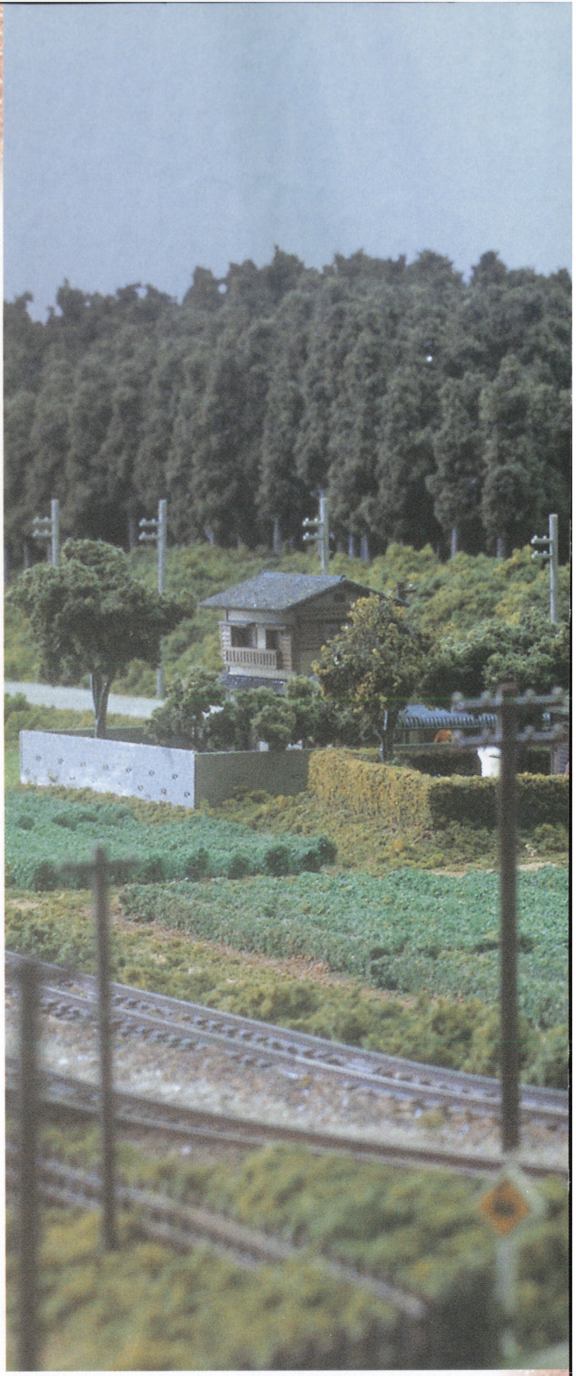
■12月23日
―ブロック単位でシーナリーを製作

線路を敷設し、車輌もストレス無く走行するようなので、シーナリーの製作に取り掛かりました。

シーナリーは、前回と同様にレイアウトを幾つかのブロックに分けてブロック単位に作っていきます。しかし今回は、各ブロックが線路ではっきりと区分されているわけではないので、各ブロックに跨る道路などは、あらかじめ作っておいた方が都合がいいし、ブロックの境界領域も臨機応変に処理した方が合理的です。

便宜上、レイアウトを東西南北の４つのブロックに分け、前回のレイアウトと道路や畑が連続している北側（左側奥）の「廃線跡」から作り始めました。

発泡スチロールで大まかな地形を決め、紙粘土で覆い、フラットアースを塗って、パウダーやターフで仕上げます。もちろん、岩場になる



部分は、あらかじめ園芸用品の“インテリアバーク”を咬ませて岩らしく塗装しておき、トンネルポータルも内壁を取り付けてパネルに接着しておきます。

地面を仕上げた後、コースターフやフォーリッジクラスター及び樹木キットなどで森や林を作りますが、一般的に使われているライケンは、加工の仕方が下手なせいか仕上がりがジャングルの様になるし、臭いも嫌いなので使用しません。

また、地面を仕上げるのと同時にアクセサリーも設置します。

いろいろな角度から眺めながら、そして、実際に車輌を走らせながら「廃線跡」をほとんど完成と呼べるまでに仕上げました。

同様に、レイアウト東側（右側奥）の「美紀湖」、西側（左側手前）の「切り通し」を仕上げます。

この２つのブロックは、その性格上８割以上が森林や草地の製作になります。

まず、東西に横断する道路を敷設し、その北

▲こちらは西側の踏切をDD13がちょうど横切るところ。看板や電柱などの「新しさ」が、かえって一昔前の田舎っぽさを感じさせる。

▲南側踏切からの眺め。うねった道路、奥手の森、小さな商店… どこかで見た気がする懐かしい風景。

側に広がる「やーやの森」を、ボリューム溢れる針葉樹林を目指して、樹木キットを１本々々植え付けて行きます。

単調な作業なので、10本も植えれば飽きてきますが、合間々々にストラクチャーやアクセサリーを組み立てたり、試運転と称して車輌の走行を眺めたり、適当に気を紛らわせながら作業を続けました。

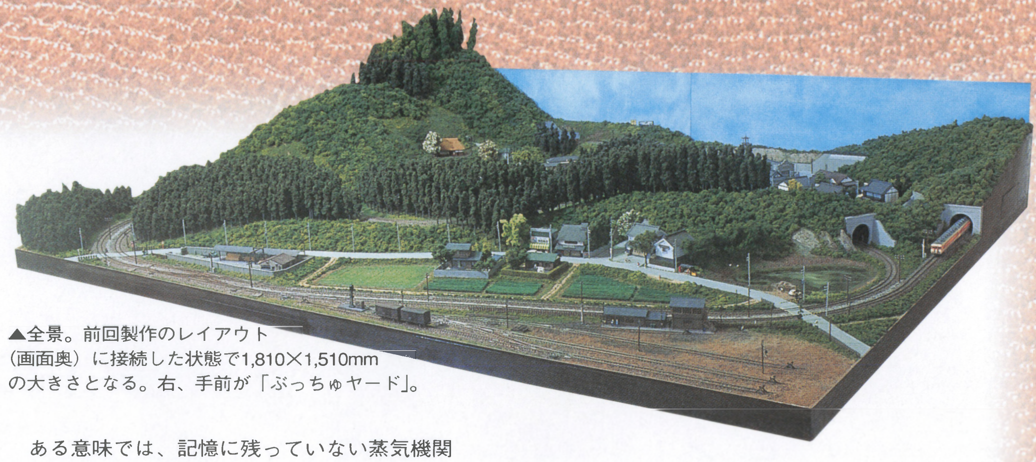
しかしながら、レイアウトの製作では、単調な作業は出来るだけ少なくなるようにプランニングするべきで、「やーやの森」ではなく、「やーやの岩山」にしておくべきだったと、しみじみ思いました。パウダーやターフで仕上げてある地面を、再び加工して岩山にしようかと本気で考えましたが、忽然と岩山が聳え立っているのも妙な感じになりそうなので、せっせと手を動かし続けることにしました。

ささやかな集落のあるＴ字路周辺は、その部

▲西側踏切の向こうは切り通しになっている。キハ58系の普通列車が森の陰から顔を出した。

▲製材所奥の小高い築堤を気動車がのんびりと走る。ちょっとした高低差が臨場感を生んだ風景。

▲トンネルから出てきた小道と東西に走る道がぶつかるT字路付近。樹木の花と人形が華やかだ。


▲全景。前回製作のレイアウト（画面奥）に接続した状態で1,810×1,510mmの大きさとなる。右、手前が「ぶっちゅヤード」。

分をユニットにして別に仕上げてからパネルに接着し、「美紀湖」は、湖底や湖周辺の地面を仕上げた後、津川洋行の「水の素プロ」を軽く着色して流し込みました。

道路北側がほぼ完成してから、道路と複線区間に挟まれた区域を作りました。この区域は、当初のプランでは全て畑にするつもりでしたが、単調になり過ぎると考え、民家2軒と製材所を加えました。畑のスペースが狭くなりゆとりが無くなった代わりに、メリハリは付いたように思います。

結局、「廃線跡」「美紀湖」「切り通し」の3つのブロックが完成した時には、季節は冬から春を通り越し、転勤のゴタゴタを間に挟んで、いつしか、庭の夏椿がぽつりぽつりと咲き始める季節になっていました。

ところで、道路北側の植林にいい加減ウンザリしていた頃、キハ58とキハ28を手に入れました。

前々から欲しいと思っていた旧国鉄色の気動車は、レイアウトの田舎っぽさを一気に加速し、時代も20年ほど遡行させたように感じます。

ある意味では、記憶に残っていない蒸気機関車が走っている情景よりも、当時のにおいまで蘇るほど、鮮明に記憶に残っている旧国鉄色の気動車が走っている情景の方が、「心象風景」に近いのかもしれません。

いずれにしても、走らせる車輌により、レイアウトの印象がこれ程変わるものだとは、思いもよりませんでした。

■6月20日─貨物ヤードはイメージ重視で

3つのブロックが完成し、パネルのベニヤが剥き出しになっているのは、レイアウト南側（右側手前）の「ぶっちゅヤード」、いわゆる貨物ヤードだけになりました。

貨物ヤードは、国鉄時代には駅に隣接して設置してあったと記憶していますが、駅とは別に単独で貨物専用のホームやヤードがあったかどうかは知る由もありません。

したがって、作ろうとしている情景が、現実にあり得たかどうかは怪しいものです。

ただ、「平べったいヤードに貨車が数輌西日に照らされている」風景を、どこかで見たような見なかったような微かな記憶を頼りに「ぶっちゅヤード」を仕上げようと思います。

まず、仮置きしてあった線路を敷設しますが、その前に、既に出来上がっている3つのブロックとのバランスを考えながら、3線にするか4線にするかなど、もう一度線路の配置を検討します。

情景的には、2線あるいは3線のヤードがマッチすると感じましたが、実質的には、このヤードは車輌の留置にも使用することになるため、4線の線路配置にしました。

線路を敷設したら、ヤード一面に茶色のバラストを散布し、必要に応じて灰色のバラストや茶系のパウダーでニュアンスを付け、同時にストラクチャーやアクセサリーをプランに沿って設置します。

仕上げに、ところどころに雑草を生やし、アクセサリーも適宜追加し、さらに、貨車を数輌置いて情景を微調整して「ぶっちゅヤード」が完成しました。

■8月15日─そして完成へ

拡張プランを作り始めて約1年。

前回のレイアウトも含めると、足掛け2年で「東うさぎ郡やだもん村──やだもん鉄道──」が完成しました。

ふたつ合わせて1,810mm×1,510mmのレイアウトサイズは、決して大きなものではないと思いますが、我が家の2階の一部屋を占領するには十分なサイズです。女房には邪魔物扱いされていますが、息子には好評なようです。

C11の牽引する貨物列車とC58の牽引する客車列車を同時に走らせてみます。

記憶には残っていませんが、母親から話だけは聞いたことのある、幼い頃に見たはずの情景が目前に展開します。

深層心理を刺激する情景に加え、レイアウトを作り上げた充実感と、レイアウトを作り終わった寂寥感で、何とも言えぬ気分になります。

■

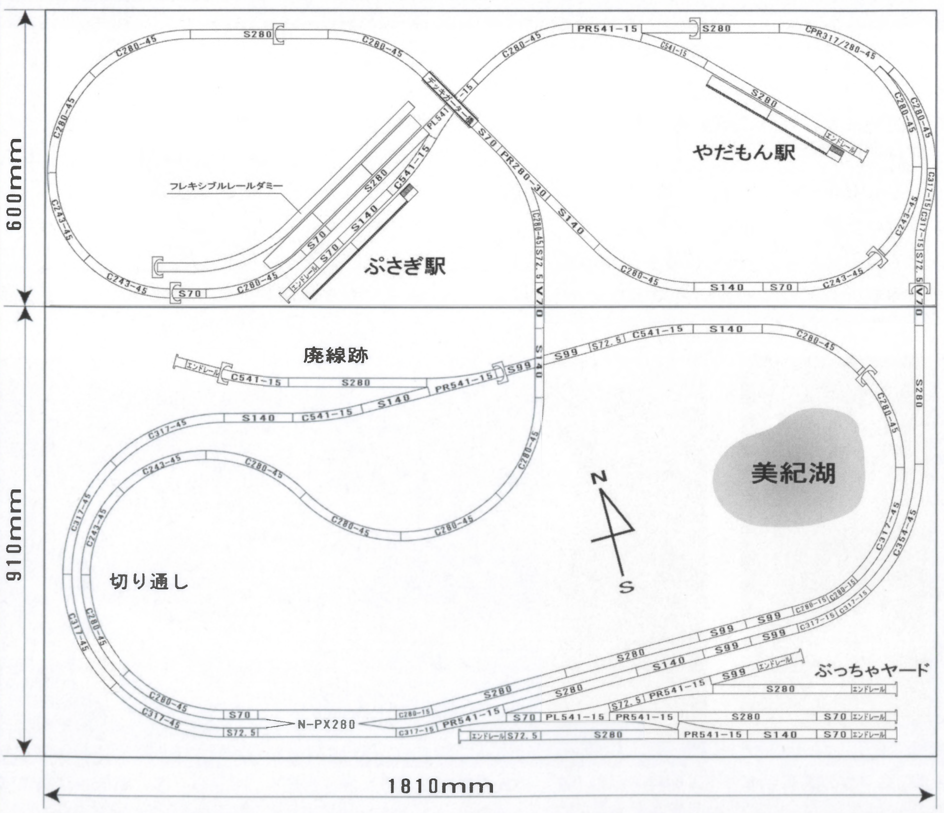
息子に買い与えたプラレールから始まった「レイアウト作り」の2年間。

「固定式レイアウト」を、何年も、何十年もかけて作り続けている人達の気持ちが、何となく解ったような気がします。

また、「鉄道模型」の間口の広さと奥行の深さを実感した2年間でした。

……そう言えば、「大らか」で「華やか」な、そして「楽しさ」が感じられるレイアウトになったのでしょうか……？

■レイアウトプラン図　使用線路：TOMIX（レール記号で表示）



モジュールレイアウトの実例を見る

フル編成なんてへっちゃらだ!!

“赤城れいるかんぱにい”のNゲージ・モジュールレイアウトは見所いっぱい!

TEXT：木村敬治（赤城れいるかんぱにい会長）
（各モジュールについては製作者執筆）
PHOTO：青柳　明（RMM）

次頁にて紹介の「町並み」（1,800mm）。3線それぞれから側線が分岐し、地下へと潜る。地下で右へカーブし、ヤードへ到る。

新幹線や特急列車、都市部の通勤電車などは、やはりフル編成でゆったり走らせたいもの。しかしそれが可能とな大きさのレイアウトを作るとなると、費用や時間、そしてなによりスペースの問題が立ちふさがり、個人の趣味の範囲ではなかなか難しいのもまた事実です。そんなジレンマを解消するための現実的手段として、クラブなどで各々が全体を分割したモジュールレイアウトを製作し、会場に持ち寄って運転を楽しむという方法があります。ここでご紹介するのは、そんな集合式レイアウトの実践例。「フル編成、みんなで走らせれば怖くない」!?

▲取材時のレイアウト全景。ごくオーソドックスなO字型の配置。モジュールは総数16台。

■はじめに

私たち「赤城れいるかんぱにい（略称：ARC)」は、JR両毛線沿線に住む鉄道趣味愛好者を中心とした会員数17名のクラブで、鉄道趣味だけでなく、鉄道趣味以外にも遊び（小旅行やキャンプ他）等、諸々のイベントを年数回実施しています。

今回ご紹介するモジュールレイアウトは自分たちが楽しむだけでなく一人でも多くの人に鉄道模型の持つ魅力を知ってもらうという考え方に立ったものです。

また、大それた考え方かもしれませんが「社会の役に立つ」ことも考えています。これは私たちが以前、ある企業のキャンペーンイベントに協賛という形で1ヶ月間にわたって展示運転を催し、非常に有意義だった経験があるためで、変わった考え方かもしれません。そもそもは「広く一般に公開することで自分たちの技術向上等に資することができれば」との発想が発端ではありますが、地域貢献活動的な意味合いを持つことで、やり甲斐のある活動ができるからです。

そういう意味では、私たちの拙いモジュールレイアウトでも、読者の皆さんが今後製作に着手する際の参考としていただければ幸いです。

前置きがだいぶ長くなってしまいましたが、当クラブとしてのレイアウト製作は実は今回で2作目で、第1次レイアウト（先に述べたキャンペーンイベントへの参加はこの第1次レイアウトです）製作当時は会員のほとんどがまだあまりレイアウト製作に関する知識がなく、手軽に利用できるトミックスのレイアウト用ボードと組線路を主に使用して製作したものであったため、テーブルを並べて設置する必要があったり、運搬時の衝撃やレールそのものの経年劣化などによる通電不良に泣かされるなど、保守面で非常に手間がかかってしまい、これをどうやって解決するかが問題となっていました。

そんな折、TMS誌にJANTRAKなる規格が発表されたので、我々もこの規格に準拠してこれらの問題点解決を図るべく、数度に及ぶ会議を経て、将来的な他の集合式レイアウトを有する団体等との交流をも視野に入れた現在の第2次レイアウト製作を開始したわけです。

■各モジュールの製作テーマ等

各モジュールのテーマは特に限定せず、各会員が各々思いの程を入れ込んで製作していますので後ほど紹介することとして、基本的な部分を少し述べたいと思います。

シーナリーの基本的かつ共通的な部分については、これまでに発表された各種模型誌の製作記事などを参考にしながら、誰かが試してみて良さそうな工法等があればそれを真似たりしつつの作業でした。この方法は全体的に均一な仕上がりが期待できる反面、個性的なものがなくなってしまうという欠点がありますが、何よりも全体の仕上がりを考慮した場合、軍配はこちらに上がると思います。

線路は錆色に着色した後でバラストを散布する一般的手法で、バラストはTOMIXのもの（旧製品）です。中には財布にモノを言わせて外国製バラストを調達した人もいますが、いずれもボンド・バラスト法による固着です。

地面の表現はプラスター造型が基本で、個人的な好みでおがくずを混ぜたりして粒子の細かさを調整し、アクリル塗料で着色しています。

草や作物はウッドランドのターフ、フォーリッジなどを主に使い、色合いを考えて混ぜたり、生えている場所に応じて粒の大きさを変えたりするようにしています。

水田は手っ取り早くスペースを埋めるのに好都合ですが、表現が意外と難しいものなので、あっさりと一番目の細かい人工芝を使って効果的かつ簡単に表現する方法を採りました。

樹木は国産・外国製品を織り混ぜて使用しているものが殆どで、中にはスポンジブロックやライケンを使ったものもあり、それらにはターフやカラーパウダーをまぶして実感味を増すようにしています。

ストラクチャーに関しては、本職ならではの知識等を活かした工夫や工作物が随所に見られるのが特徴と言えるでしょうか。建物は全体的にキットの組み立て加工・改造が中心で、色もあまり派手にならないように色調を抑えてありますが、一部は時代考証等の結果、満足できる製品がないため自作しており、特に古い建物はわざと埃っぽくウェザリングしてそれらしい雰囲気になるように仕上げるなど、全体のバランスを考慮するように注意しています。

また、重要な役割を持つ背景板は空色に塗るか背景画を描くという取決めになっていましたが、実際には市販の背景画を使用したものが半分ほどとなっています。

以下、各モジュールの製作者から設定コンセプトや特徴的な部分についてご説明致します。

町並み
（製作：クラブ有志／案・総括：新井　隆）

このモジュールは都市近郊の沿線開発が盛んに行なわれた昭和40年代後半〜50年代前半にかけての幹線沿いにある町並みをイメージしています。

シーナリーについては、人出が多いのを武器に「住宅密集地」を目指しました。実際、屋根がひしめき合う町並みにするのは大変で、随分と家を建てたつもりでしたがまだ不十分なようです。一部にはバスの車庫や森を作っていますが、極力それらのスペースは抑えたので、幾分

▼左奥に見えるヤードへの接続用としてクラブ有志で製作されたモジュール。密集した住宅がリアルだ。

▲右奥には福井鉄道風の併用軌道が作られている。

▲あまり人が作らないものを…ということで製作した工場のある風景。細部までかなり作り込まれている。

工場のある風景
（製作：新井　隆）

私は「他人があまり作りたがらないもの」を作るのが好きです。今回は他のモジュールが水田や山の設定のため工業地帯のイメージに決め、どうせ作るなら「パイピングが目立って見栄えが良い化学系工場が一番」ということになりました。

ストラクチャーはGMと外国製キットを組み合わせたり改造したものですが、肝心の工場のパイピングは「見栄え」を重視した構造にしてしまいましたので、パイプの行方はあまり深く詮索しないでください。遊びついでに第３線にはこの工場の従業員専用といった想定の停留所を設けました。

▲モジュールの全景。奥側の工場部分は運搬・保管時に備えて取り外し可能。

製作上問題となったのは本線手前のスペースで、ただ道路を造ったのでは面白くないため、下水道工事風景を作り込んでみました。こだわりついでに作業中の重機類は土建会社のコーポレートカラーで統一したつもりでしたが、お粗末なことに津川洋行のミニホウとペアーハンズのバックホウの色が見事に違ってしまいました。また、このモジュールは工場部分のみ取り外し可能なブロック方式にして、運搬・収納保管時の扱いやすさを向上させています。

せっかく出来上がったモジュールでしたが、本誌の取材後、自宅で部屋へ運び込もうとした際に手が滑ってボードをひっくり返してしまい、場所柄固定せざるを得なかった工事現場一帯をものの見事に破壊してしまいました。おかげであまり働いてくれなかった現場作業員たちは皆リストラされてしまった模様です。

▲手前の道路に再現された工事現場。これまたかなりの「こだわり」が感じられる一角。

かは効果的になったのではないかと思っています。

ストラクチャーは全てTOMIXの完成品を加工したものやGMキットを組立・加工したもので、金銭的余裕は比較的あっても時間的余裕がない社会人の悲しい現実的側面が垣間見られます。電柱やアンテナなどの小物も沢山設置したので、ゴミゴミした感じを出すのに一役買っているようです。

残念なことに、ヤードへの導入線となる地下入口部分で大量に仕入れてあったTOMIXの旧製品のバラストが終わってしまい、本線部分などは仕方なく新製品で間に合わせました。しかし、明らかに透明感が強く、同じような色を少し吹き付けてみましたがさすがに違和感は否めません。また、本線手前のスペースはヤードへの分岐で線路数が増えているためかなり狭くなってしまい、結果的に空き地になってしまったのが悔やまれます。

市田哲也氏製作の国鉄上越線原下駅（次頁参照）。旧国の似合う風景ということで、昭和30年代の幹線ローカル駅、駅前界隈を好ましく表現。

国鉄上越線原下駅
（製作：市田哲也）

私はもともと旧型国電が好きなので、コンセプトは「旧国の似合う風景」とし、地方幹線沿いの町村という純日本的情景に決めました。

しかし、今回の規格は少々規模が大きすぎるので、思い切って全体を国鉄駅に良く見られる「上下本線＋副本線」の配線に見立て、対向式ホームと島ホームを配置して3線規格そのものを一つのシーナリーとして割り切ることにしました。

従って、年代設定は旧国が我が物顔で疾走していた昭和30年代としていますので、6連以上の長編成モノを豪快に走らせて当時への思いを馳せたいところです。

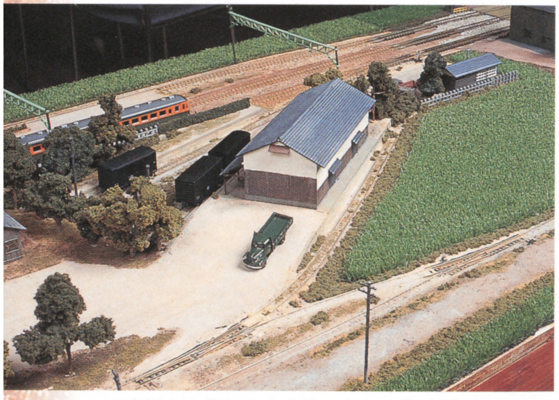
ところで、駅名の原下（はらくだし）は群馬県沼田市付近の集落の想定で、名前自体には意味はありませんが、この計画当時、暴飲暴食が祟って少々「くだり」気味だったのは確かです。

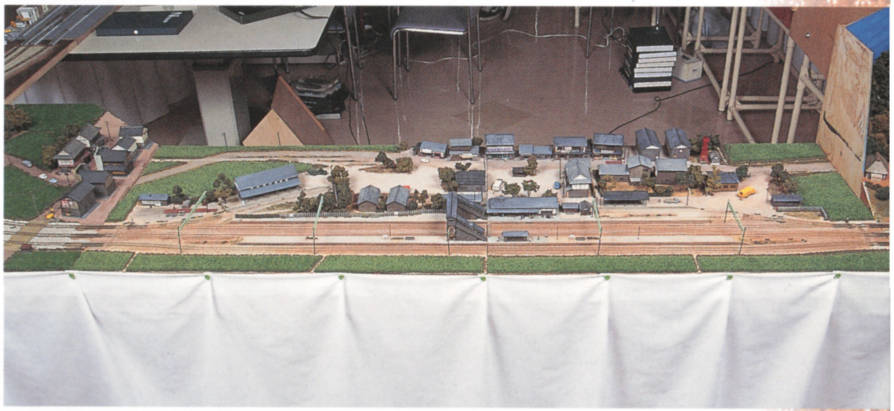
人工芝の水田はライトグリーンのスプレーで色調を揃えてやりました。道路は時代設定上未舗装としていますが,どうやら広すぎたようです。

ストラクチャーは過去の各種模型誌に発表された作品からプロトタイプを適宜セレクトし、キットを改造したものとペーパーや角材、STウッド、GMの瓦屋根を木工用ボンドでコピーしたものなどを駆使して自作した物を含めた混成です。駅舎は上越線岩本駅を参考にしており、現地の写真を撮影して駅前の佇まいを製作しました。

余談ですが、沼尻の併用軌道に魅せられて6.5mmゲージの「原下村営軌道」を敷設したものの、集電が芳しくなく、自力では動きそうにありません。せめてもの慰みにベアーハンズの沼尻ガソを買ったのですが、果して“へろへろ”のレールは浮かばれるのでしょうか。

▲14頁とは反対方向から見た駅前風景。80系やEF15が全く違和感なく溶け込んでいる。これぞ昭和30年代の「国鉄」だ。ストラクチャーはGMを始め各社製品を利用してまとめている。


▲立派な倉庫のある側線ホームの反対側に、ナローの線路が延びる。


▲原下駅全景。900mmのモジュール2台で構成。取材時は背景板を取り外していたが、見栄えを考えるとやはり背景板は欠かせない。モジュール内側のボロ隠しとしても有効だ。

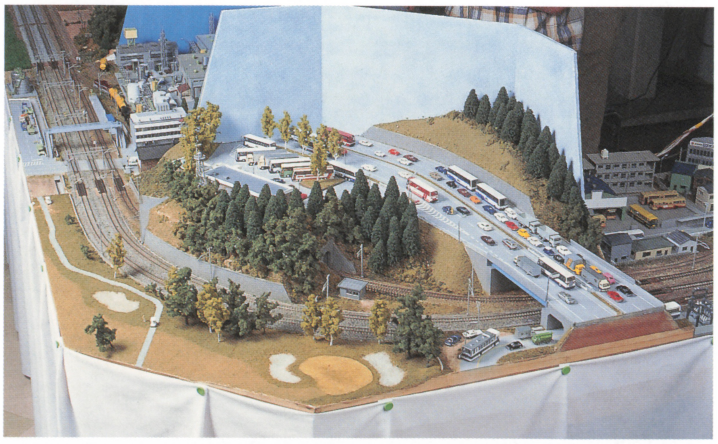
夏の終わり
（製作：新井　隆）

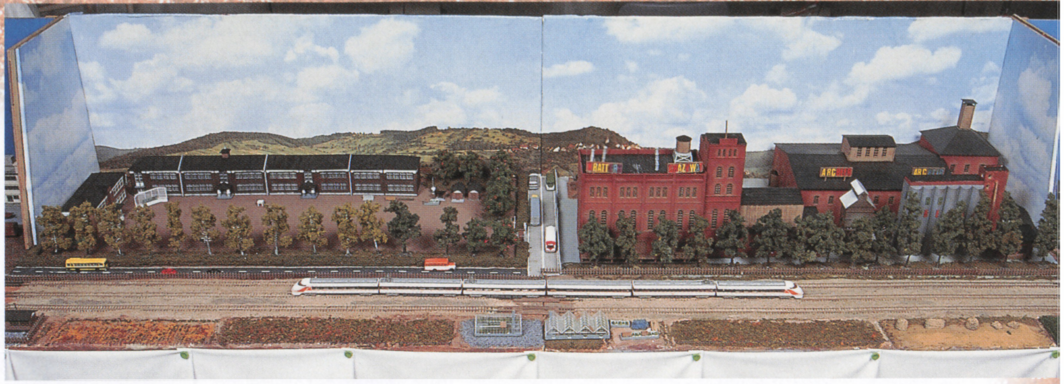
レイアウトを飾る小物としては「人形」と「車」がありますが、人形は値段が高く、製品自体もあまり種類がありません。一方、車は数・種類とも人形の比ではなく、改造なども容易なので私も沢山所有しており、それらを全部並べて遊べるシーナリーがあったらと、高速道路のパーキングエリアを作ることにしました。題名はお盆の帰省渋滞でごった返している状況をイメージしたものです。パーキングエリアの売店は外国製の駅舎キットを改造してそれらしくまとめました。

特徴的と言えるかどうか分かりませんが、道路の表現は始めに白く塗装した後にライン部分をマスキングしてグレーに塗装しています。この方法はラインがクッキリ表現できるので私は気に入っています。また、タイヤの跡をウェザリングで表現してみましたが、あまり効果はなかったようです。

本線手前のスペースはゴルフ場にしました。スケール的には150ヤード位なので「線路越し・PAR 3」程度のはずですが、そこはむりやり「左ドッグレッグ・PAR 4」という設定にしてあります。状況的に本来なら線路側に防護ネットが設置されるべきですが、ネット越しに列車が見えるようにする良い方法が見つからないので、専ら「ゴルファーの腕に頼る」非常に危ない状態です。

また、ゴルフ場らしさを演出するものとしてはやはりカートが必要だろうと思い、プラ板と真鍮線でセルフカートを自作してみました。けっこうサマになっているので満足しています。


▲豊富に発売されているクルマのモデルをふんだんに使って、混み合う高速道路とパーキングエリアを再現したコーナーモジュール。線路外側のスペースをゴルフ場としているが、極度のフックは禁物のホールだ。



▲900mmのモジュール2台で構成された小学校とビール工場。レンガ作りの工場は外国製品を利用。

小学校とビール工場
（製作：横田隆一）

せっかくの広いスペースなので、小生の悪童時代に脳裏に焼きついたオンボロ木造校舎の小学校にしました。これは最近あまり見かけなくなったので、せめて模型の世界くらいには残してやりたくて製作したものですが、最近「学校の怪談」とか言うオカルト物が流行りだしてからというもの、そのイメージが強いためか子供たちからは「花子さん」が出る便所はないのか、動く人体模型のある理科室はどこかなど、妙な反応があるので困っています。

木造校舎はGMの町役場キット２個を合体させてあり、卒業アルバムや現存する木造建築物などを参考にしながら製作しました。私はもともと不器用なこともあり仕上りに不安もありましたが、何とか学校らしく見えてくれたようなのでほっとしています。

地面は建物などの工作がしやすくなるように５mm厚の発泡スチロールボードを貼ってみましたがあまり関係なく、むしろただ広いだけの校庭の造作をもっと工夫すべきだったと反省しています。

もう一枚のスペースに鎮座しているのは、ウォルサーズのＮ＆Ｚスケールカタログで見つけたヘルヤン製ビール工場で、こういうのも悪くないと思いすかさず個人輸入したものです。キットの色が日本のものとはかけ離れているので、組み立て後にパステル粉末をシンナーで溶いたもので塗装し直しました。

ちょっと目立つ看板に当クラブの名称を拝借してみたところ失笑の渦となり、それならと飲料水のCM広告にはクラブ内のスラングを２つほど拝借したところ、今度は大顰蹙を買うありさまで困っています。

新原下貨物ターミナル「その１」
（製作：荒井哲也）

このモジュールは私が勝手にでっち上げた「会員が所有する大量の貨車を集約する大規模ヤード」を構成する一部で、ネーミングからも分かるとおり基本サイズだけの第一段階です。将来的には第３線からの分岐点やヤード構内の延長部分などを追加製作していく予定です。情景設定としては大規模なイメージなので発着線まで電化しました。ヤード部分は現在７線あり、奥の２線はコンテナ積み卸し線にありがちなコンクリート敷としてあります。

ストラクチャーは今のところ詰所がポツンと一つあるだけで、他にはなぜか運転会の度に数が増える（成長している？）コンテナの山だけという寂しい状態なので、早く増設部分を作って充実させたいところです。

また、本線手前のスペースには憧れの新幹線用高架橋を作ってあります。現在のところ橋脚ができている程度の設定なので、コンクリートからは銀河モデルの交流電機用碍子を使った鉄筋が顔をのぞかせています。この分では開通まで相当時間がかかりそうですが、既にスラブ軌道を製作していますので、延長部分と一緒に開通させたいと思います。

▲どこかの貨物駅を想定したモジュール（900mm）。これを基本に壮大な貨物ヤードへと発展の予定。

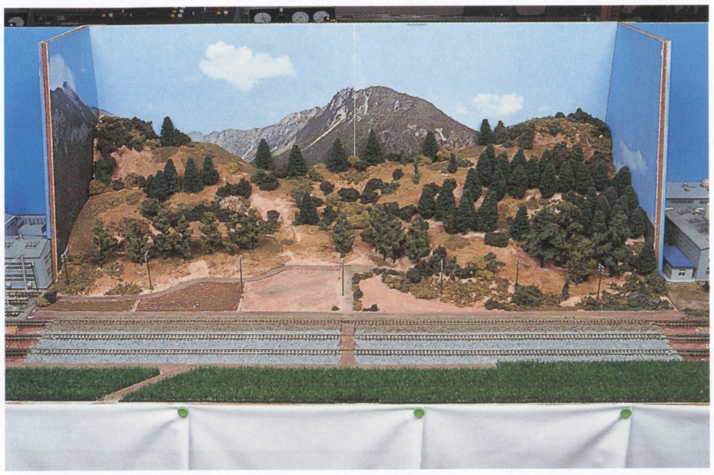
標高100m
（製作：木村敬治）

私が高校時代に通学で利用した上信電鉄は正に関東平野の外れに位置する高崎市を起点に、地図上の緑色と黄色の境目（標高100mの等高線）に沿って線路が延びているようなところがあり、丘陵地の麓を縫うように走って行きます。私は毎日そんな景色を眺めながら、いつか自分がレイアウトを作る時はこんな景色にしようと決めていました。

山は以前に他誌に発表されていたレイアウト製作記事を参考に、プラスターの減量と軽量化、地面の造作の簡略化などを考えて発泡スチロールのブロックを積み上げて大体の形に成形し、薄く溶いた木工用ボンドに浸したキッチンペーパーを張って斜面の下ごしらえをしてみました。しかしあまり効果的ではなく、かえって木を植える作業時にうっかりすると地面に大穴が開く結果になってしまい、補修作業で大変な思いをしています。

樹木は市販品が殆どです。一部はスポンジの塊を引きちぎったものやライケンを使っており、一応遠近感を考慮して植林していますが、こちらもいま一つ効果的ではないようです。

また、まだ全体に木や草が少なくて他の会員から「これじゃ“ボタ山”みたいだ」と非難の声が上がっているのでもっと植林したいのですが、経済的な一面（スポンサーはうちの奥さん）もあって思うに任せません。早くしないと本物同様に地滑りが起きそうです。



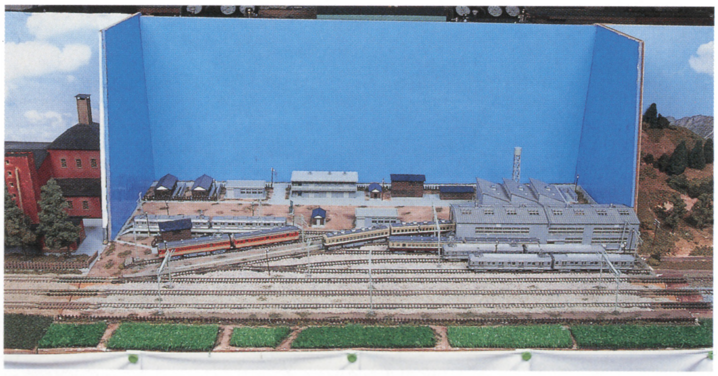
▲作者の高校時代、通学に利用した上信電鉄のイメージで作ったモジュール（900mm）。作者も自覚している通り、山はもっと植林したいところ。

▲東武の社員が作った東武の電車区。それだけに各種ストラクチャーや設備の配置に気が配られている。

東武・館林電車区
（製作：富沢和義）

私は現職の鉄道マンですので、どうせ作るなら自分の職場でもある電車区を凝縮したイメージで製作してみました。せっかくの電車区なので構内入換などができるように独立した配線を施してあり、単独でも楽しんでいます。

ストラクチャーはGMとKATO製品を使用し、詰所、電車庫、洗浄台、その他関連施設などはなるべく現物を模して実感的配置になるように注意しました。なぜか空き地の片隅に野球のバックネットがありますが、これは現実に存在するものなので実情を知っている一部会員にウケています。



▲モジュールの全景。本線とは独立して構内入換を楽しめるように設計されている。

原下自然公園
（製作：木村敬治）

私はなぜか「ハエタタキ電柱」が好きで、これが似合うのはやはり非電化幹線だと思っており、シーナリー設定もそれに合わせてフィールド系に決めました。もとよりアウトドア派を自負する私ですので、「模型の世界でもアウトドアを楽しめるところがあってもいいじゃないか」という発想でこのモジュールを製作しています。実際にはまだ造成中（要するに未完成なだけ）なので建物は何もありませんが、これから「あずま屋」とか「ログハウス風コテージ」などが建設される予定です。

本線外側の丘陵状になっているところは一応牧場の設定にしてあり、生えている草はターフやフォーリッジなどですが、固着がしっかりしていなかったのか、それとも食いしんぼうの牛さんに食べられてしまったのか、いつの間にかハゲ山になっていました。

沼地と公園内にひょっこり顔を出している岩はコルク表皮を使用しており、ターフやカラーパウダーを振りかけて草やコケの生えた感じを出してみました。生け垣はナイロンたわしを細く切り出したものですが、簡単なわりに効果的なのでこれは正解でした。

全体に何となく埃っぽくなっていますが、これは「自然に施されたウェザリング」です。収納場所が確保できるまで暫くベランダに出していたので陽に当たって色が褪せ、本物の砂埃が付いたものです。何とも意外な結末に「結果オーライじゃないか」と一人ほくそ笑んでいます。

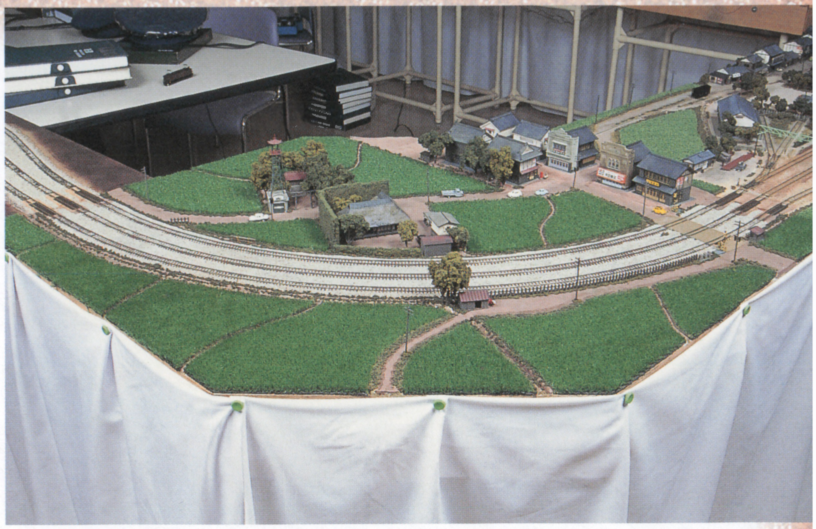
▲コーナー内側を公園、外側を牧場としたコーナーモジュール。蒸機時代の筑豊本線を彷彿とさせる風情。

下植木村大字下植木の村外れ
（製作：飯野　宏）

私のモジュールは昭和30年代から40年代後半にかけての純農村のイメージで、「蒸機＋旧客」「蒸機＋黒い貨車ばっかり」がバリバリ走る非電化区間の設置です。

ストラクチャーですが、商店街はキット組立・加工でそれらしい雰囲気にまとめてあり、中央に構えた農家はGMキットを２個、曲家風にＬ字型に組み合わせたものです。納屋と車庫は市田氏の手作り品を頂戴してお茶を濁しましたが、線路脇の物置と倉庫は自作です。この自作建物は所定寸法に切り出したプラ板にＰカッターで筋彫りを入れて羽目板に見立て、GMの瓦屋根を乗せたものです。結構それらしくできたのではないかとニンマリしています。また、市田氏から伝授してもらった方法で氏と同様に埃っぽくウェザリングを施してやりました。

水田は他と同じ人工芝を使用し、下草はウッドランドのターフ、樹木も同社のキットが一番実感的なのでそれを使用しています。高い生け垣は塀や防風の役目をするもののようで、実際に存在する近くの農家を模してみました。材料は緑色のナイロンタワシでターフをまぶしてあり、ドライヤーで曲癖をつけて爪楊枝の幹を植えたものです。



▲「原下駅」と絶妙のマッチングを見せていたモジュール。バラストが白いのは入れ替えたばかりだから？

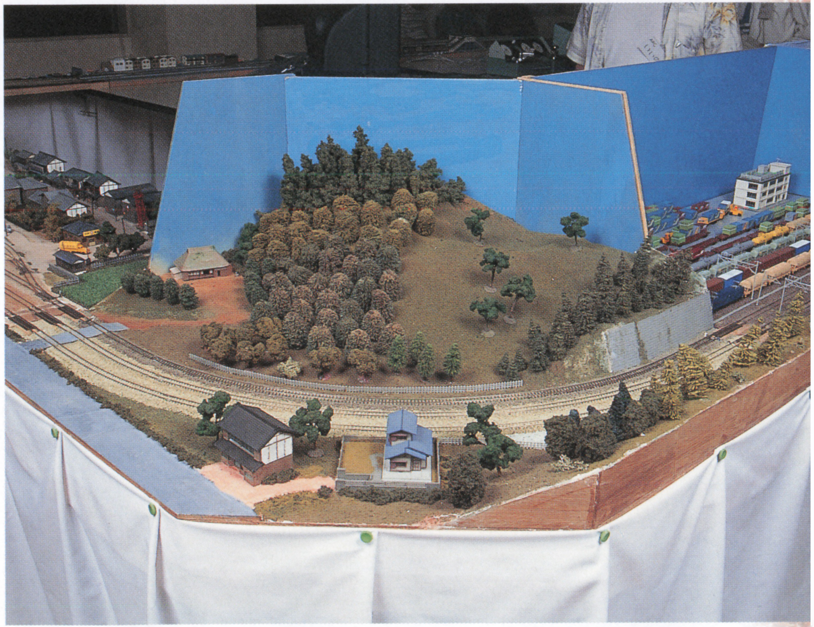
原下牧場スキー場の夏
（製作：別府規和）

私の割当てがコーナーに決まった時、どんなシーナリーにしようか困ってしまいました。というのも、コーナー部の線路半径は決まっているので線路配置に変化を付けるのは少々無理があり、かと言って妙案も浮かばなかったので「高さ」で変化を付けることにしました。

また、せっかくのカーブですから実物のようにカントを付けることにしたのですが、いざレールを固定した段階でふとカントを付け忘れたのに気がつきました。慌てて修正したのですが、僅かに車体が傾いて見える程度しか付けられませんでした。

私が「カント付き」にこだわる理由は、私の所有する数少ない国鉄型車輌の中に全車輌振子改造を施した381系があり、その独特の腰使いをこのレイアウトでも楽しみたかったからです。しかし、あまりにも曲線半径が緩すぎて腰を振るまでには至りませんでした。

ところで、このモジュールは「夏は牧場、冬はスキー場」という本物にも良くある設定なのですが、肝心のリフトやゴンドラが製品化されておらず、かといって自作するにはあまりに難しいので今のところ設置していません。また、一部を切通し風に仕上げて木々の間から列車が見えるようにしていたのですが、これまでの度重なる運搬の度に木が枯れて1本、2本と抜け落ちてしまい、実にみすぼらしいありさまなので何とか修復してやりたいと考えています。



▲コーナー内側の山をスキー場兼牧場の山としたモジュール。曲線にはカントがつけられている。

山の部分は軽量化のために発泡スチロールブロックの土台に植毛マットを貼ったもので、完成までの期限が迫っていたこともあって手抜きした表現ですが、意外に効果的な仕上がりになっているので内心ほっとしています。

ちなみに、このモジュールの製作当時、東京で独身寮生活をしていた私は工作時間が比較的自由に取れたので、誰よりも早く「カタチ」になりました。「早く完成させろ！」と散々他会員を煽り続けた人たちは私よりずっと後の完成なので鼻高々でした。ところが先日、車を買換えた際にそれまでトランクにすっぽり納まっていたモジュールが入らなくなってしまい、接着していた背景板を外す羽目になりました。仕方なく強引に剥がしたところ、せっかく貼り付けてあった背景画がビリビリに破けてしまい、泣く泣くスカイブルーに塗って我慢しています。

■終わりに

今回は紹介できませんでしたが、他にも数台のモジュールが製作されており、中には瀬戸大橋に触発されてモジュール一杯に大きな吊り橋を自作したものなどもあります。また、最近クラブに加入した人が製作する話もあり、ますます規模が大きくなっていきそうで、全部が揃うと相当な大きさになりますが、未だ実現はしていません。

ところで、今回のレイアウトを製作してまだまだ改善の余地があるのではないかと感じています。

各会員宅のモジュール収納スペースや保管状態、運転会の開催時期、運転会会場及び会場への運搬方法、等々実に多くの問題点が浮上してきました。

私たちは辛うじて何とかやり繰りしながらの運営を続けていますが、これから集合式レイアウトに着手する場合は、こういった問題点があることを踏まえ、少なくとも事前に十分対策を考えた上で計画する必要があるのではないでしょうか。

偉そうなことをあれこれ述べてしまった後で言うのも甚だおかしいのですが、我々の拙いレイアウトをこれからどこまで充実させられるか、はてさて、先の長い話になりそうです。

0.54m²の夢空間

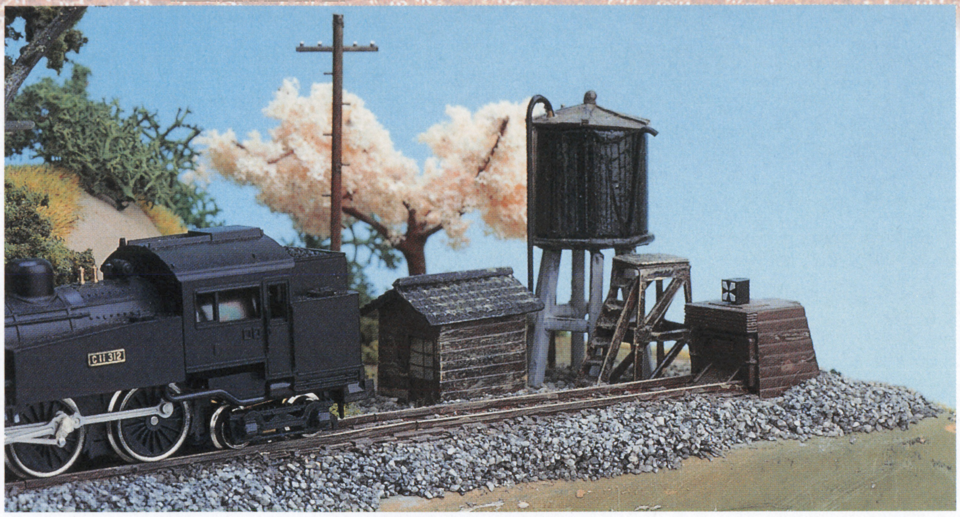
ベースはデスクトップレイアウト。情感たっぷりに作り上げた、春の田舎風景

MODELING,＆TEXT：奥嶋輝男
PHOTO：青柳　明（RMM）

コンパクトな寸法と手軽さで人気のKATOデスクトップレイアウト。ストラクチャーやシーナリーを適宜配置するだけでも十分に楽しめますが、折角の「良く下ごしらえされた食材」、あなたのセンスと腕次第で、大型レイアウトにも負けない「作品」に料理することも、不可能ではありません。ここで採り上げる作品は、そんなデスクトップレイアウトの素敵な完成例。「小さなレイアウト作りから始めてみたい」あなたにとって、きっと良い刺激となるはずです。

風が吹けば砂ぼこりの舞い上がりそうな未舗装の駅前通りを、ガラガラとエンジン音を上げながらボンネットバスが往く。

▲レイアウト正面右脇の踏切。牛の牽く荷車が遠い昔の日々を想起させる。このレイアウトの時代設定は昭和30年代。



▲奥の引込線には自作の給水塔を始めとする機関車駐泊所を設置。

■はじめに

半年ほど前のある休日、久々に単身赴任先から我が家に帰り、１年足らずの間にバタバタと嫁いで行った二人の娘たちの部屋を眺めていたら、ふと、このな～んにもない空間に鉄道模型のレイアウトを置いてみたくなりました。

思えば40数年前、当時小学生だった昔に『子供の科学』誌に載っていた鉄道模型に憧れ、何とか自分でも…と写真アルバムの台紙を切り抜いて客車を何輌か作ってはみたものの、動力装置・車輪・レールといったものには到底手が出ず、結局憧れのままに忘れ去ってしまいました。

そんな記憶の片隅にあった鉄道模型の思い出を現在に引き戻すため、本屋を歩き回って鉄道模型の本を買い込み、模型店で話を聞きながら何とか現在の鉄道模型の世界が分かり始めて来ました。そんな折、偶然にも直属の上司が隠れレイルファンであることを知り、二人の間では一気に鉄道模型がメジャーな話題となり、密かに進めていた自前レイアウトの計画が公然の目標となってしまいました。しかし、いきなり部屋一杯に敷き詰めたレイアウトとなるとなかなか取っつきにくく、雑誌に掲載された諸先輩のレイアウトの写真をため息まじりに眺める毎日でした。

そんなある日、模型誌でKATOからデスクトップレイアウト（DTL）なるものが発売されていることを知り、一番悩ましい基礎部分のほぼ完成品を手に入れることが出来る！この夢のような話に乗らない手はないと、地獄への深みに自ら飛び込んでしまいました。

■製作上のコンセプト

設定として、小学生だった昔に幾度か訪れた昭和30年代の愛媛県の田舎町（母親の郷里）をイメージしています。出来るだけ生活感を出すことと、風景に高さと奥行きを感じられるように心掛けて作ってみました。

■ストラクチャーの製作

まずはキットを組み立てるのが手っ取り早いだろうと、TOMIXの駅、グリーンマックスの民家シリーズを数点購入し、その昔プラモデルに狂っていた懐かしい時代を思い出しながら塗装したり汚したり…。細かいものが見えにくくなった目を凝らしながら、何とか７戸の家を作り上げました。

駅は小学校時代の記憶から、どう見ても立派すぎるような気がするため、ホームの巾を約４mm切り詰めて狭くし、駅員が線路に降りるための跳ね上げ式タラップを作りました。

民家のキットをそのまま組み上げていくだけでは少し物足りなくなり、各模型誌を参考にプラ板を切り出して、給水タンク、ポンプ小屋、駅員の宿舎、トイレ、バス待合所等を作り、ついでに悪ノリして、爪楊枝でお地蔵さんも作ってしまいました。いささか形がいびつになったり、窓のシャープさには欠けますが、やはり全自作というのはひと味違う自己満足に浸れますね。

■照明

もともと処女作として作り始めたものだけに、照明装置を取り付けることなど毛ほども考えていなかったのですが、先の上司から照明が付くのは常識だろう…との一声でTOMIXの照明セットを購入することにしました。そのため、建物を組み立てた後から内部に銀色塗装をする羽目になってしまい、全体計画の甘さと意志の弱さを反省しています。

▲一段高い土地にも設けた藁葺き農家。田んぼにはレンゲの花が…。

照明を屋根の裏に取り付けて点灯した結果、明かりが屋根から透けて見えることに気づき、再び取り付けた照明を取り外し、改めて照明を取り付ける部分にアルミ箔を接着し、照明部品を付け直しました。このあたりは正に初心者の失敗の典型例であると実感しています。

■ストラクチャーベースの製作

TOMIXの農家と駅舎以外は建物のベースがないため、それぞれ組み上がった建物に合わせてプラ板でベースを作り、これをDTLに固定する方式とし、ベースには照明の配線を行なうための穴を開け、DTLにもストラクチャーの基礎と位置をそろえて穴を開けることにしました。

■樹木

レイアウトの季節は私の大好きな「春」と決め、畑には一面のレンゲ、土手には道路を縁取るような菜の花、そして山には新緑に混じって満開の桜を…と考え、広葉樹を40本余り作ることにしました。

被覆電線のビニールをはがし、根元部分にはϕ0.5の真鍮線を挟み込んで瞬間接着剤で固定し、約8cmの長さに切断します。その針金をねじりながら出来るだけ自然の形に近くなるよう、近所の公園まで出掛けて観察しながら形を整えていきました。こうして木の幹らしくなった針金に、水で柔らかくした紙粘土を割箸でペタペタと塗りつけ、幹の感じを作っていき、乾いたところで塗装。それに着色スポンジをボンドで張り付け、チョコチョコッとターフを振りかけておきました。

■ボンネットバスの製作

どうしてもこのレイアウトにボンネットバスが欲しくなり、最新型の観光バスを大改造し、ボンネットバスを作りました。残念ながら透明プラ板からの窓ガラスの製作がうまくいかず、ガラスなしのボディとなっていますが、駅前通りを行く姿はこのレイアウトの雰囲気にピッタリです。

■DTLの改造

小間物の製作を進めているうちにDTLが到着しました。単身赴任の狭い部屋にピッタリの900mm×600mmのコンパクトな仕様で、早速

▲各種のストラクチャー内に仕込まれた室内灯にほんのりと照らされた桜が美しい駅付近の情景。夜桜見物にでも出かけたくなる雰囲気だ。照明効率を上げるため、ストラクチャー内にはアルミ箔が貼られている。

「単身鉄道」と名付けました。C11を走らせてみたり、作り溜めたストラクチャー群を並べ、様々な角度から眺めてみたりしながら、あれこれと構想に一週間をかけましたが結局、初心者はベテランを真似るという安全パイ定義に則り、RMM誌に掲載された作品をお手本として作りあげることにしました。

1 丘の製作（農家の基礎）

以前から取っておいた梱包用の発泡スチロールを両面テープで土台に接着。お手本よりはかなり高い丘を作り、農家のベースと畑になる部分をカッターナイフで削り出しました（部屋中発泡スチロールのカスだらけ）。その上にティッシュペーパーをボンド水溶液で貼り付け、形を整えながら坂道や田んぼになる段を作りました。また、農家の前を通って神社へ登る道も作っておきました。

2 山の嵩上げ

小さなエンドレスレイアウトの裏側を出来るだけ隠すため、丘を嵩上げして山とすることにしました。そこで新聞紙を丸めてある程度の形を作り、マスキングテープで押さえた上にボンド水溶液を浸したティッシュペーパーを乗せて形を整えました。乾いたところでさらに紙粘土で細かく地形を形作り、ポスターカラーで地面を塗っておきました。

3 トンネルポータルの製作

送られて来たDTLのトンネルポータルの形態が自分の好みとは異なっていたので、グリーンマックスの単線用トンネルポータルをベースに、レンガ模様をＰカッターで少々彫り込み、崖模様のプラ板を貼り付けた後、塗装して元のポータルの表に貼り付けました。なお、トンネル入口から約4cmまで厚紙で内壁を作り、内部を黒く塗装してあります。山と新たに作ったポータルとの接続部分はティッシュペーパー、紙粘土でそれなりに形を整えました。

4 石壁の製作

農家は一段高い位置にあるため、坂道を支えるための石壁を作ることにしました。法面にバルサ板を貼り、濃いグリーンで着色した後、金魚鉢に入れる小石をピンセットでつまみ、ボンドで一個ずつ貼り付けました。出来上がってみると色合いがいささか黒過ぎてお城の石垣のように見えるため、プラカラーのグレーを薄く塗ってそれらしい色にしました。

5 畑・田んぼの製作

農家の庭先から続く畑と田んぼを作るため、畑の畝は2mm角のプラ棒を4mm間隔で並べた治具を畑の上に置き、その上から茶こしでプラスターを振り落して地面を作り、スポンジを貼り付けて野菜としました。田んぼは季節的には何もしていないはずなので、一面のレンゲ畑とするためパウダーとスポンジを散布してそれらしく作りました。

6 バラストの撒布

購入したDTLは道床付線路・ユニトラックを取り付けてあるため、そのままでも十分鑑賞に堪えるとは思いましたが、かなり長い間迷った

▲細部の仕上げも終わって無事完成。製作期間は約7か月。とても初めての地面作りとは思えない仕上がりに脱帽！

▲TOMIX製の駅舎を中心とした駅前風景。駅の右横に見える便所を始め、いくつかのストラクチャーは自作している。

あげく、線路にバラストを撒くことにしました。やってみると、やはりプラスティックのピカピカした感じよりも格段に雰囲気が実感的になりましたが、このレイアウトには立派過ぎるような気もします。ただ、ボンド水溶液がポイント部に入り込んだのか、一時期ポイントが動かなくなりました。手で何度か動かしているうちにどうにか作動するようになりましたが、ピシッとは決まらず、手で動きをサポートしてやる必要があります。やはり稼働部分はマスキングしておくべきでした。

7 レールとバラストの塗装

自宅近所の線路へ出かけて写真を撮り、その色を参考にして線路廻りの色を模索しましたが、なかなか思ったとおりの色合いが出せず、結局マホガニーに少し肌色を加えた程度にし、スプレーガンを持っていないため筆塗りで仕上げて行きました。出来上がってみると、もう少し明るくすればの感があります。

■おわりに

最後まで漕ぎ着ける自信なぞ全くないまま始めた今回の挑戦ではありましたが、月に1〜2度様子を見に訪れる家内の出来映えに驚く顔や仲間たちの励ましに力づけられながら、なんとか一応の区切りを見ました。製作には1999年の5月の連休に着手、途中約1か月の休止期間もありましたが、約7か月でここまで辿り着きました。

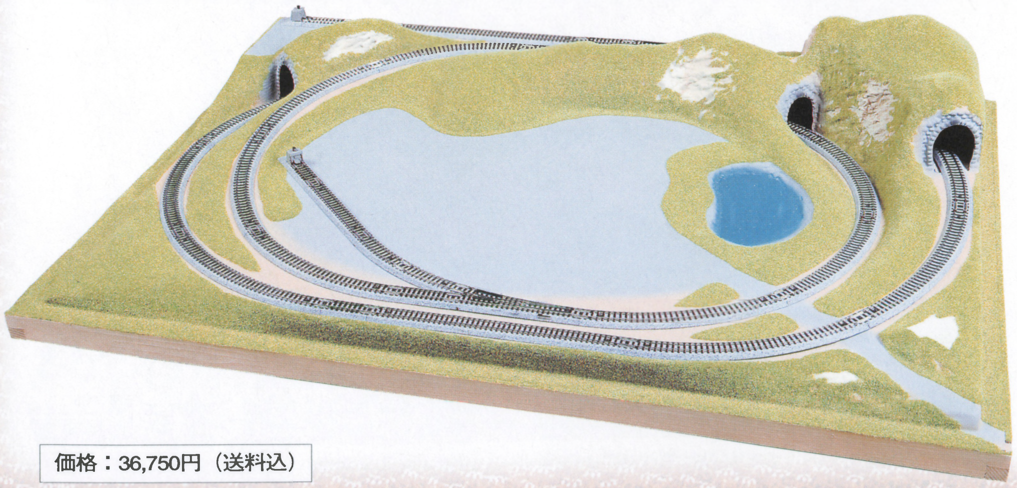
現在、組立式のラックの中にDTLをそっくり組み込んで、天井部にはホコリよけを兼ねたテーブル用のガラスを置いて、くつろぎのテーブルとして使っています。部屋の照明をテレビだけにし、ストラクチャーの窓から洩れる暖かくほのかな明かりと、シャーシャーと走るC11を見ながら、たった一人で水割りと過ごすひと時。「最高だぁ！」と言いたいような、侘しいような…。

眺めるにつれ、まだまだ手を入れたい部分は随所に残されています。これからも気分を変え、時間を掛けながら、じっくりと仕上げていくつもりです。

※このレイアウトは広島県呉市のおくしま模型（TEL：0823-76-4818）にて展示中です！

KATOデスクトップレイアウトとは

TEXT：RMM



価格：36,750円（送料込）

Nゲージレイアウト入門の定番とも言えるのが、KATOデスクトップレイアウト。ご覧の通り、面倒な地形の造型や線路の敷設も済んだ半完成状態なのが特長で、特にビギナーにとっては心強い味方となってくれるでしょう。素材を活かして手軽に完成させることも出来ますし、好みに応じて今回作例のような改造やアレンジを加え、オリジナリティを出すのも良いでしょう。製品はロングセラーを続けて来ましたが昨年リニューアルされ、周辺に縁が付いて一回り大きくなり（640mm×940mm）、取り扱い性も向上しています。

なお、購入の方法は基本的に店頭渡しでなく、直接配送となります。お問い合わせ・お申し込みはKATO製品取扱店やホビーセンターカトー東京（TEL：03-3954-2171）・大阪（TEL：06-6339-6171）まで。

モ5508 | モ5557 | モ5558 | モ5507

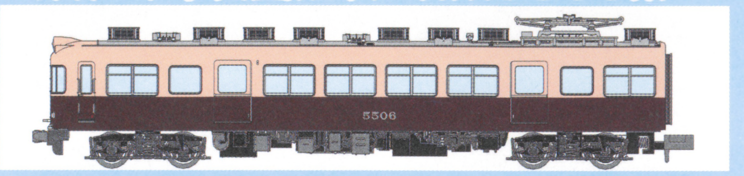
2009年5月~7月の新製品

A6059 名鉄5500系 特別整備後 スカーレット 基本4両セット¥15,960(税込)(本体価格¥15,200)
●アンテナ取付、妻面窓埋後の晩年の姿。●M型電連を再現したダミーカプラー装備。
●先頭車はクーラー7基の1次型･中間車はクーラー8基の2次型。 名古屋鉄道商品化許諾済

A6060 名鉄5500系 特別整備後 スカーレット 増結2両セット ¥7,245(税込)(本体価格¥6,900)
モ5512 | モ5511
●全車クーラー8基の2次型。
＊走行には別途A6059が必要です。
幅狭 名古屋鉄道商品化許諾済

A6081 北総鉄道9100形 1次車8両セット ¥24,780(税込)(本体価格¥23,600)
北総鉄道商品化許諾済 千葉ニュータウン鉄道株式会社承認済
9118 | 9117 | 9116 | 9115 | 9114 | 9113 | 9112 | 9111
幅狭
●ヘッド･テールライト･行先表示点灯。●中間車の座席を1次車･2次車で作り分け。

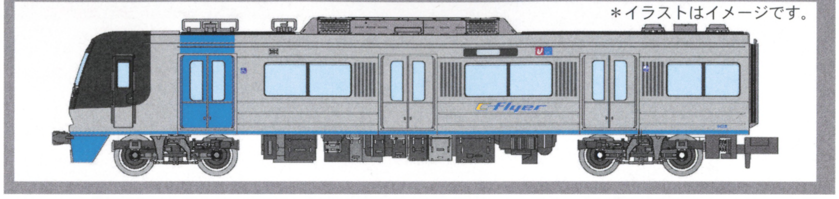
分散冷房装置搭載! 名鉄5500系



部品共有のため、一部実車と異なります。＊イラストはイメージです。 名古屋鉄道商品化許諾済

公団所有電車! 9100形 シーフライヤー

＊イラストはイメージです。



A6050 名鉄5500系 登場時 基本4両セット ¥15,960(税込)(本体価格¥15,200)
A6051 名鉄5500系 登場時 増結2両セット ¥7,245(税込)(本体価格¥6,900) 幅狭
＊走行には別途A6050が必要です。 ●妻板形有、M型電連なしの登場時仕様。●A6050…全車クーラー7基の1次型 A6051…全車クーラー8基の2次型 ●屋根上配管をA6050、A6051とは作り分け。

A6085 都市基盤整備公団9100形 2次車8両セット ¥24,780(税込)(本体価格¥23,600)
●妻板形状を1次車･2次車で作り分け。
9128 | 9127 | 9126 | 9125 | 9124 | 9123 | 9122 | 9121
幅狭
独立行政法人都市再生機構承認済 千葉ニュータウン鉄道株式会社承認済

低運・原型ライト・冷改! 通勤型103系

A0446 国鉄103系 中央線･オレンジ･冷改車 基本7両セット¥22,785(税込)(本体価格¥21,700) 幅広
A0447 国鉄103系 中央線･オレンジ･冷改車 増結3両セット ¥13,860(税込)(本体価格¥13,200)
●原型ヘッドライト、集中冷房搭載後の姿。

関西のカナリアイエロー塗装! 103系窓埋車

＊イラストはイメージです。

A0536 103系 カナリアイエロー･福知山線 高運転台 7両セット ¥22,785(税込)(本体価格¥21,700) 幅広
●戸袋窓が埋め込まれた姿。 JR西日本承認済

A0590 国鉄キハ91系 急行「のりくら」･改良品 7両セット 幅広
¥25,200(税込)(本体価格¥24,000)
●屋根上を、よりディテールアップ。
●フライホイール付動力ユニット採用。

A0592 国鉄キハ91系･冷改車 急行「きそ」改良品 8両セット 幅広
¥26,985(税込)(本体価格¥25,700)
●屋根上を、よりディテールアップ。
●フライホイール付動力ユニット採用。

BR ベストリニューアル 仕様 金型をリニューアルし現在の水準で製品化しました!

●動力車をサロからモハに変更。●フライホイール付。 幅広

耐寒型200番台! 伊豆へ直行･踊り子号

A4151 185系200番台 田町車両センター新塗装･ベストリニューアル 7両セット ¥22,785(税込)(本体価格¥21,700)
JR東日本商品化許諾済

上野-大宮暫定使用! 新幹線リレー号

A4121 国鉄 185系200番台「新幹線リレー号」･ベストリニューアル 7両セット ¥22,785(税込)(本体価格¥21,700)

ゲレンデ気分満載! 185系フルフル

A4141 185系200番台「シュプール」号フルフル塗装･ベストリニューアル 7両セット ¥23,940(税込)(本体価格¥22,800)
JR東日本商品化許諾済

Nゲージ製品価格変更のご案内

1月発売号にご案内を致しました発売予定製品のうち、ポスター･広告などでご案内しておりました価格に誤りがございました。下記の通り、価格を訂正いたします。
対象商品:A3985 国鉄80系湘南色 1･2次型 更新車 付属5両セット
価格:(変更前)20,475円(税込)/19,500円(税抜)➡(変更後)19,425円(税込)/18,500円(税抜)
お客様には大変ご迷惑をお掛けいたしまして真に申し訳ございません。

MICRO ACE マイクロエース
株式会社 マイクロエース
〒335-0001
埼玉県ワラビ市北町5-11-2
TEL 048 (444) 2944 (代)
FAX 048 (445) 3407
ホームページ http://www.microace-arii.co.jp/

＊写真と商品は一部異なる部分があります。＊写真の複製を禁止します。

ホビダス
趣味の総合サイト
http://www.hobidas.com

楽しい鉄道模型のお買い物をお気軽に!!
新製品、話題の製品も続々入荷中!!
ウインドウショッピングも大歓迎です。

ホビーライフを強力にサポートする!!
ネコ・パブリッシングのホビダスWEB

趣味のポータルサイト「ホビダス」

◎トータルに趣味生活をサポート! ショッピング･モールが充実。

http://www.hobidas.com

鉄道趣味人必見「鉄道ホビダス」

◎実車、模型を問わず鉄道の情報とコンテンツ満載!

http://rail.hobidas.com

日本最大級!鉄道趣味のWEBショップ「鉄ホビ・ダイレクト」

◎鉄道模型･パーツからグッズまで充実の品揃え!

http://www.tetsuhobi-d.com

この本の中で欲しいものが見つかったら?

その商品にホビダスNo.が付いていたら･･･

すぐにホビダスWEBにアクセス!

ショッピング
12345678 全てのカテゴリ 検索 検索オプション

検索窓にホビダスNo.を入力!

欲しい商品に簡単アクセス!

WEBショッピングをお楽しみ頂けます。

鉄ホビ・ダイレクト www.tetsuhobi-d.com

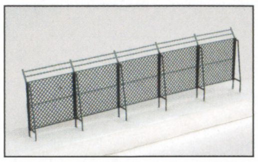
★お電話での注文も可能です★ TEL 03-5723-6110

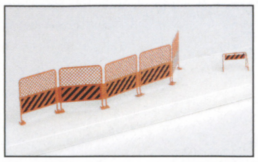
鉄ホビ・ダイレクトオリジナルパーツ『RMM ハイパーパーツ』大好評発売中です!!

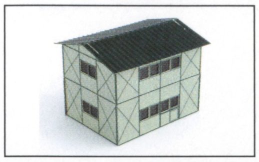
金属を精密なディテール形状に加工するエッチング技法により、従来は自作が大変難しかったストラクチャーを簡単・手軽に再現する『RMM ハイパーパーツ』シリーズ。もうお使いいただけたでしょうか?! おかげさまで多くのモデラーの皆様よりご好評をいただいております。未塗装バージョンに加えて、塗装・印刷済シリーズも登場し、さらに使いやすくなっております。あなたのレイアウト、ジオラマをよりリアルにする『ハイパーパーツ』を、ぜひご活用ください。なお、ご案内の商品は、1/150 スケール (N ゲージ用) です。

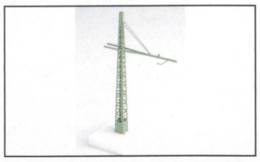
※ 価格はすべて税込です。

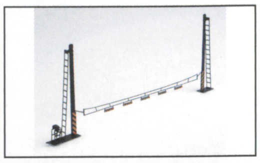
■大好評！塗装印刷済シリーズ　手軽に金属の繊細さを味わえます！

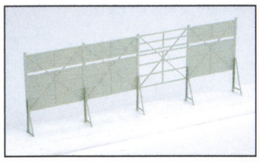

●RMM-S101 フェンスA(塗装済) 51667437 価格:2,310円


●RMM-S102 フェンスB(塗装済) 51667438 価格:2,730円

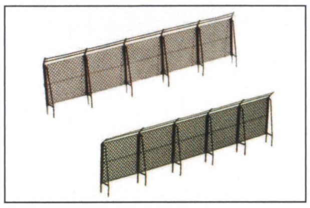

●RMM-S152 プレハブ事務所(塗装済) 51667439 価格:4,200円

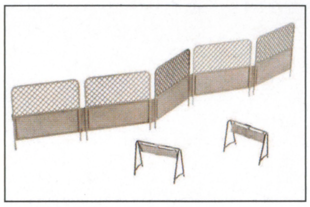

●RMM-S201 単線架線柱(塗装済) 51667440 価格:2,310円

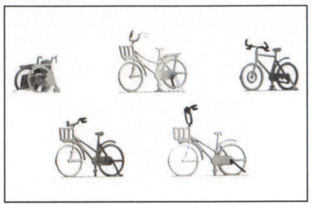

●RMM-S221 踏切A(塗装済) 51667441 価格:2,730円


●RMM-S231 駅広告看板A(塗装済) 51667442 価格:2,310円

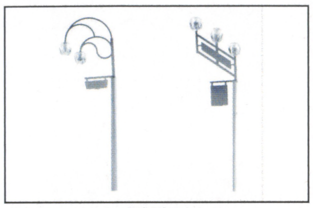
■地面派大好評！未塗装仕様　よりリアルさを追求するなら

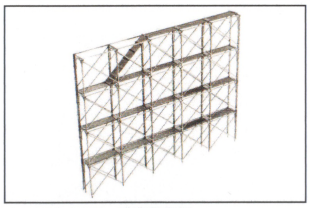

●RMM-S101 フェンスA 51667419 価格:1,575円


●RMM-S102 フェンスB 51667420 価格:1,575円

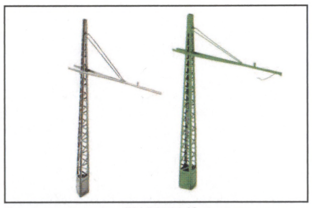

●RMM-S121 自転車 51667421 価格:1,575円

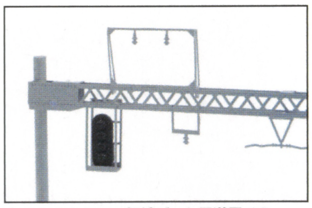
●RMM-S123 電柱ディテールアップパーツ 51667422 価格:1,575円

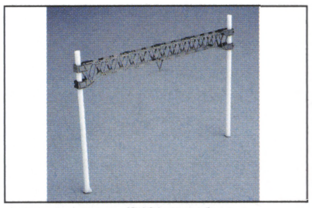

●RMM-S124 商店街アクセサリーA 51667423 価格:1,575円

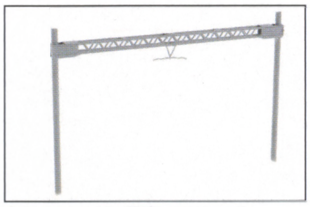

●RMM-S151 工事用足場 51667424 価格:3,150円

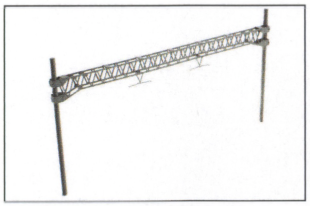
●RMM-S152 プレハブ事務所 51667425 価格:2,100円

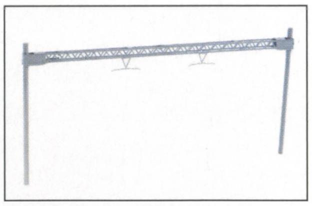

●RMM-S201 単線架線柱(トラス) 51667426 価格:1,575円

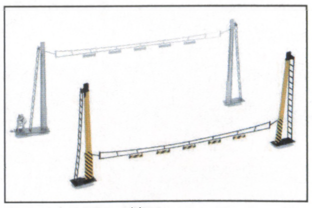

●RMM-S203 架線ビーム用送電ステー 51667427 価格:1,575円

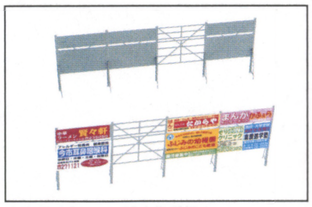

●RMM-S204 複線トラスビームA 51667428 価格:1,575円

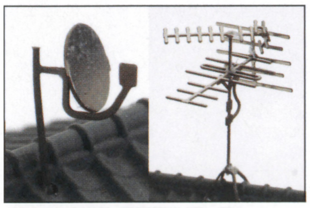

●RMM-S205 複線トラスビームB 51667429 価格:1,575円

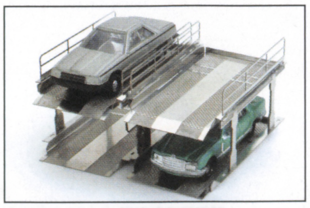

●RMM-S206 三線トラスビームA 51667430 価格:1,785円

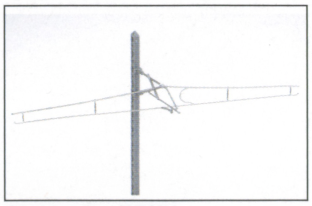

●RMM-S207 三線トラスビームB 51667431 価格:1,785円

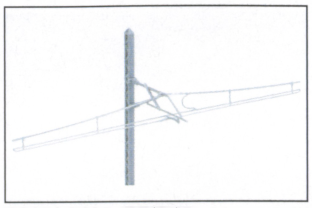

●RMM-S221 踏切A 51667432 価格:1,575円

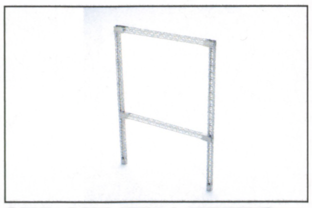

●RMM-S231 駅広告看板A 51667433 価格:1,575円


●RMM-S125 家庭用TVアンテナ 51761351 価格:1,890円


●RMM-S127 昇降式駐車装置 51761352 価格:2,100円


●RMM-S211 簡易架線A 51761353 価格:2,205円


●RMM-S212 簡易架線B 51761354 価格:2,205円


●RMM-S215 架線柱A (送電柱兼用) 51761355 価格:2,100円

■商品のご注文方法■　ネット注文は24時間可能です!!

●パソコンでアクセス

ホビダス（http://rail.hobidas.com/）にアクセスして検索窓にホビダスナンバーを入力、検索ボタンをクリックすれば商品ページへジャンプします。画面の指示に従って、必要な情報を入力、注文してください。

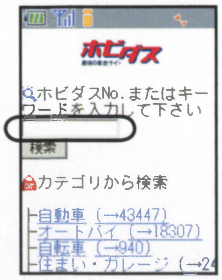
●携帯電話でアクセス

右の QR コードを携帯で読み取るか、http://www.hobidas.com/ を直打ちして、携帯のホビダスサイトへアクセス。検索窓にホビダスナンバーを入力、検索ボタンをクリックすれば商品ページへジャンプします。画面の指示に従って、必要な情報を入力、注文してください。

お問い合わせ　TEL：03-5723-6110

ココに
ホビダス No.
を入力！

（携帯からではご利用になれないナンバーもございます）



Nゲージ大図鑑2009

Nゲージをより広く、より深く楽しんでいただくためのカタログ、それが「Nゲージ大図鑑」のコンセプト。近年大変な盛り上がりを見せているレイアウト関連の読み物記事を豊富に盛り込みつつ、2008年一年間のNゲージ各社の新製品をほぼ全て網羅しています。車輌だけでなく、レイアウト用品やサードパーティによる各種パーツ類まで収録、さらに「○○コレ」シリーズとして親しまれるコレクタブルアイテムについてもフルに紹介しました。さらに恒例の、各メーカーに掲載対象となる新製品について振り返っていただく特別インタビューも見逃せません。一冊丸ごと、ぜひとも貴方のモデリングライフにお役立てください。 （RM MODELS編集部）

特集：アプローチいろいろ！　Nゲージレイアウト ……3

“プラレール”から“模型鉄道”へ　松本周一 ……4

やだもん鉄道　完成!!　松本周一 ……7

フル編成なんてへっちゃらだ!!　赤城れいるかんぱにい ……11

0.54㎡の夢空間　奥嶋輝男 ……19

お手軽レイアウトを作ろう！

1万円コース＆3万円コース　佐々木大悟 ……28

最新製品SUPER REVIEW ……44

RM MODELSが送り出した製品 ……49

最新製品情報ダイジェスト ……50

充英アート・ディスプレイキャビネット ……55

A train in the scenes：RMM誌面を飾った名シーンから ……56

■NEW MODELS

蒸気機関車　ベーシック編 ……62

エキスパート編 ……64

電気機関車　ベーシック編 ……66

エキスパート編 ……71

★メーカー担当者に聞く！　KATO ……73

CONTENTS

ディーゼル機関車　ベーシック編 …… 76
エキスパート編 …… 77
電車（国鉄・JR）ベーシック編 …… 78
エキスパート編 …… 98
★メーカー担当者に聞く！　グリーンマックス …… 100
電車（私鉄）ベーシック編 …… 102
エキスパート編 …… 114
鉄道コレクション …… 118
★メーカー担当者に聞く！　MODEMO …… 125
気動車　ベーシック編 …… 126
エキスパート編 …… 130
クラフト・ペーパーストラクチャーキット …… 131
★メーカー担当者に聞く！　TOMIX …… 132
★メーカー担当者に聞く！　マイクロエース …… 134
客車　ベーシック編 …… 136
エキスパート編 …… 141
1:150　コレクタブルアイテム …… 142
貨車　ベーシック編 …… 152
エキスパート編 …… 156
★メーカー担当者に聞く！　河合商会 …… 157
パーツ＆アクセサリー …… 158

●鉄ホビダイレクトのお知らせ …… 24
●再生産モデルリスト …… 182
●索引 …… 184

※本書は、月刊RM　MODELS151号（2008年1月21日発売）～162号（2008年12月21日発売）のNEW　MODEL欄から日本型Nゲージ新製品項目を抜粋、再構成したものです。当編集部が把握している限り全てのアイテムを収録しております。
※説明文など基本的に掲載当時のものに最低限の手を加えたものですので、入手状況や予定品状況など、現状とは食い違うことがあります。
※紹介している製品の中には、既に市場在庫の全くないもの、あるいは入手ルートが途絶えているものも含まれます。これは短期的な買い物ガイドとしてだけでなく、資料性ある読み物として末永くお手元に置いていただきたいという方針によるものですので、あらかじめご了承ください。
※掲載は基本的に各種カテゴリー別に、主にプラ製量産モデルの「ベーシック編」とコアなファン層向けモデルの「エキスパート編」に分類の上で、形式順に並べておりますが（エキスパート編はメーカー別掲載）、一部誌面の都合で前後しておりますのでご注意ください。
※価格は特記ない限り税込（5%）です。

お手軽レイアウトを作ろう！

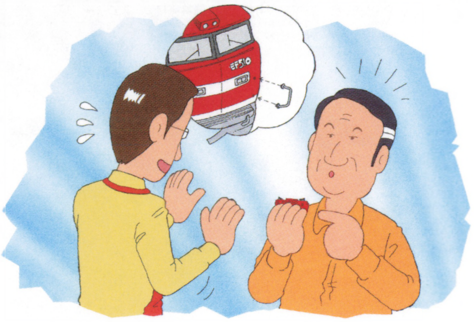
1万円コース＆3万円コース

～出戻りNゲージャー浦島先生とユーウツN店長のレイアウト開拓史～

模型鉄道の醍醐味は何と言ってもレイアウト。「でも、お金もスペースも必要でしょ？」いえいえ、そんな事はありません。TOMIXのスーパーミニカーブレールと近年充実してきたジオラマ用品を使えば、コンパクトで充実した中身のレイアウトが作れるのです！

MODELING ,MAKING PHOTO & TEXT：佐々木大悟
PHOTO：青柳　明（RMM）
ILLUSTRATION：江頭　剛、RMM

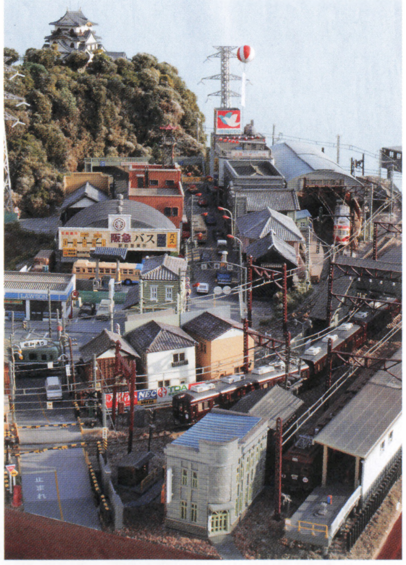
浦島先生(以下・浦)：おい、店主はおるか？
N店長(以下・N)：はい、今日は何でしょう。
浦：バカ者。こんな不良品を売りつけおって。車体が穴だらけではないか。
N：…手スリの取付穴じゃないですか。最近のモデルはこういう所まで細かくできてるんですよ。
浦：う〜む。しかし面倒だな。よしお前、全部やれ。
N：はい？
浦：ワシは最近老眼でこういうのが難しいんじゃ。ほれ、サービス第一じゃなかったのか、店主。
N：………。はい、これでいかがでしょう。ところで、細かい作業が面倒ならこちらの商品はいかがでしょう。
浦：おお、行先表示まで印刷が入ってるとは。芸が細かいな。
N：買ってそのまま走らせられるというスタイルも最近の流行なんですよ。
浦：よし、それを一つもらおうか。
(数日後)
浦：すまん店主、これ返品だ。
N：こんどは何か？
浦：いや、飽きた。
N：え？
浦：何もしないでいいというのも、それはそれで退屈でな。
N：ええ〜っ？



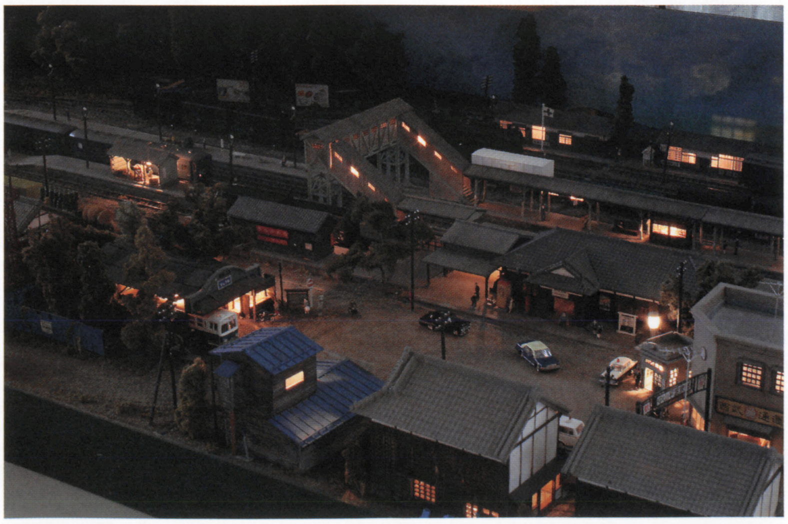
先生はレイアウトが作りたい

浦：ところで店主、これを見てくれ。
N：『RM MODELS』のレイアウト特集ですね。
浦：：こんなレイアウトが欲しい。どこかに売っていないのか？できれば、駅のホームが3面6線ぐらいあって、都会派のワシに相応しくビルが沢山建っているような…。
N：…いやいやいやいや。ここに載っているのは全部、レイアウトのオーナーさんが自分で作ったんですよ！
浦：それは随分と面倒くさそうだな。ワシにも作れるかのう？
N：初めてでいきなりは難しいかもしれないですね。これだけの大きさですから、それなりのお金と置き場所も必要ですしねぇ。
浦：う〜む、どうにかならんのか。
N：とりあえず小さなレイアウト作りから始めてはいかがでしょう？今ならTOMIXのミニカーブレールがあるので、極端な話B4サイズでも作ることができるんですよ。
浦：そうか。じゃあ一つやってみようか。上手に作るコツは何かないか？

◀RMM160号特集にて掲載した加古卓也氏による阪急沿線イメージのレイアウト。TOMIX製旧レイアウトベースキットをベースに製作。近付いて覗きこめば、下写真のような実物と見紛うような風景を楽しむことができる。



N：初めてなのですからこだわり過ぎず、まずは完成させることを目標にした方が良いと思いますよ。建物を沢山入れるとか欲を出さずに、とにかく飽きる前に作りきる。一つ完成すれば創作意欲がさらに湧いてくるものですよ。
浦：ならば練習代わりに簡単なものを作ってみるか。一緒に考えてくれんか？



◀同じくRMM160号掲載の石川清氏によるレイアウト。建物に照明を仕込むことで、夕暮れ時の郷愁を誘う光景も再現できる。どのような心象風景を描き出すかは作り手次第。その無限の可能性がレイアウト製作の奥深さといえるだろう。

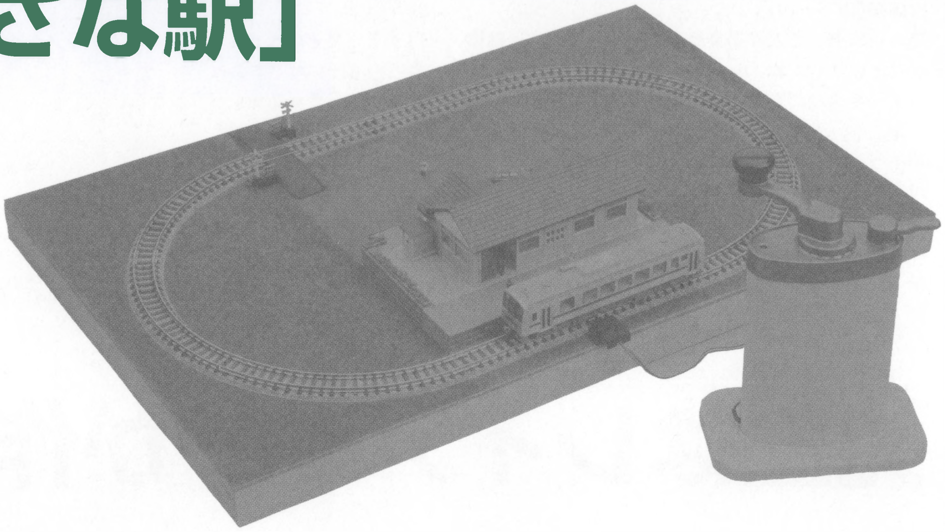
○登場人物

浦島先生(以下・浦)：20年ぶりに鉄道模型を再開した初老の元・昭和のNゲージャー。職業は不明だが、とりあえず「先生」と呼ばれる立場の人らしい。傲岸不遜で理不尽大王。説明書の類を読むのが大嫌い。

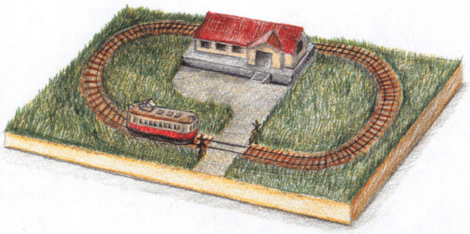
N店長(以下・N)：郊外で鉄道模型店を営む30代男性。売上が思うように上がらず、おまけに最近になって常連客となったとある御仁のワガママに振り回されて少々お疲れのご様子。

「大草原の小さな駅」レイアウト

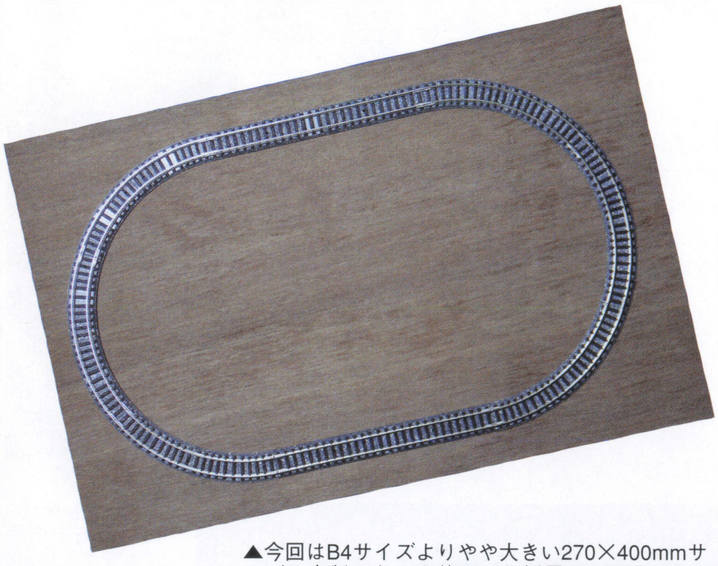
（1万円コース）



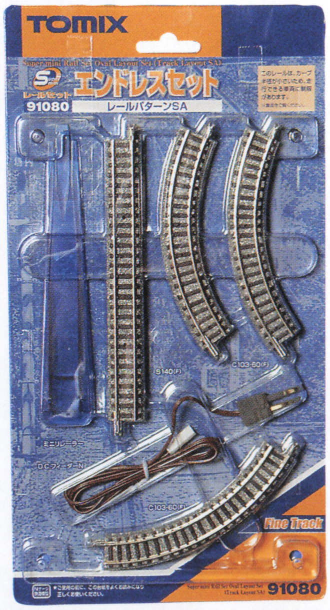
浦： よし店主、材料を頂こうか。そのビルとこの駅舎と…。
N： まあまあ、完成させることが目標ですから最初は我慢して建物を少なめにしましょう。
浦： そうだったな。で、どんなものが必要なんだ。
N： まずは土台。出来合えのものを使うのでしたら、厚手の模型用スタイロフォームとか写真用の木製パネルがオススメですね。レールはTOMIXのスーパーミニカーブレールを使って最小限のスペースに収めましょう。あとは駅だけ置いて一面の野原にしましょうか。
浦： う〜む、すると乗客は駅までどうやって来るのだ？道路も必要だろう。
N： そうですね。道路はレイアウトの外へと続いていきますから踏切もいかがですか？
浦： 店主、商売上手だな。そうか、こういう風に考えて作るものなのか。
N： レイアウトプランはこんな感じでいかがですか。材料も今ご用意しましょう。予算のこともあるので、金額も計算しましょう。



まずは材料を集めよう



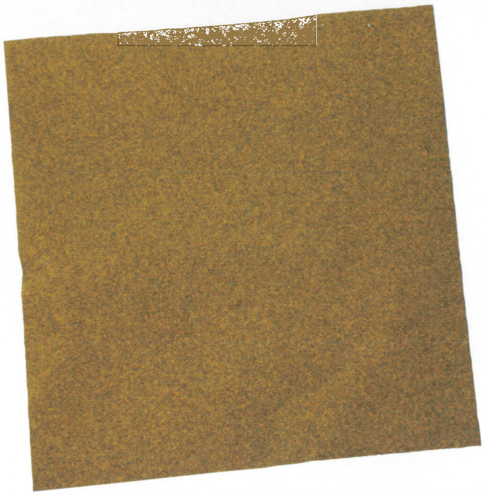
▲今回はB4サイズよりやや大きい270×400mmサイズの木製パネルを使用。作例用は840円にて入手（写真のレールは大きさ比較用）。



◀TOMIX最小カーブ半径103Rによる小判型エンドレスが組めるスーパーミニレールセット・エンドレスセット（レールパターンSA）。1,995円。

▲鉄コレ式制御器の電源として必要な単3電池×4本。安いものであれば4本入りパックが100円前後で入手できる。

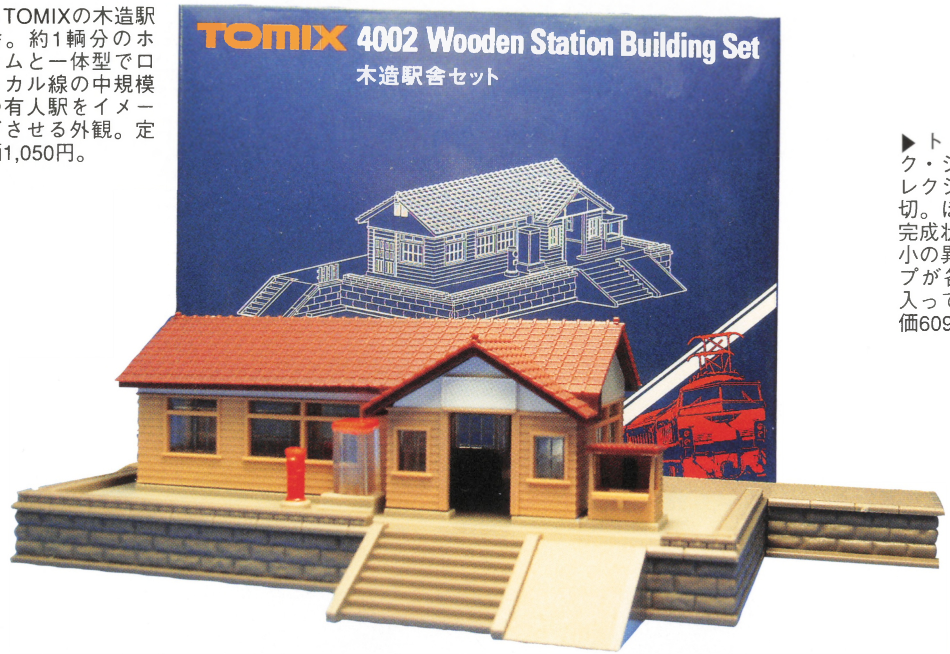
▶レイアウトで車輌を動かすのに必要なコントローラーで、最も安価で手に入るのがトミーテックの「鉄コレ式制御器」。1,995円。



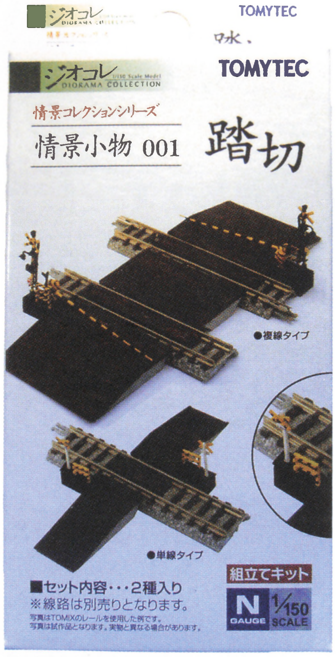
◀▲芝生を安価かつ簡単に表現するのに便利なのが植毛マット。様々なメーカーから色々な色合いのものを選べる。作例では河合商会の単品売り（420円）のものを2枚使用。

▶光栄堂のアースモデルシート。地表や土壁、レンガなどのテクスチャーを表面に施したカッティングシート状の粘着テープ。作例に使用した写真のものは定価630円。他にも様々な種類がある。

▶TOMIXの木造駅舎。約1輌分のホームと一体型でローカル線の中規模の有人駅をイメージさせる外観。定価1,050円。



▶トミーテック・ジオラマコレクションの踏切。ほぼ塗装済完成状態で、大小の異なるタイプが各1組ずつ入っている。定価609円。



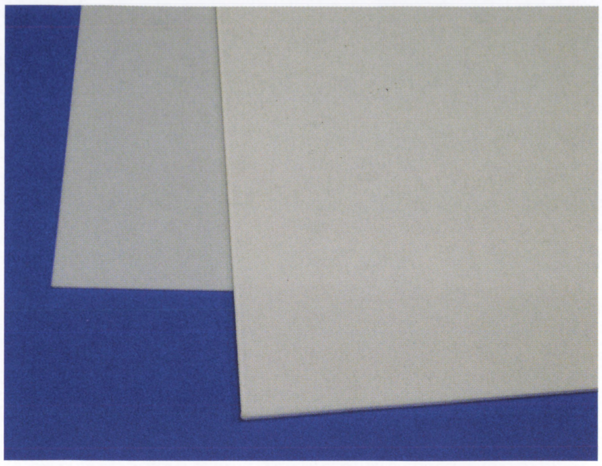
▲レールを固定するのに必要な釘。サイズさえ合えば何でもOKで、特に頭が大きすぎると車輌の走行を妨げてしまうので要注意。模型店ルートでは写真のKATO製品が入手しやすいだろう（定価52円）。

▲樹木の葉や植え込みを再現するのに便利なジオラマ用スポンジも各メーカーから販売されている。作例で主に使用したのは光栄堂のランドスポンジ（写真：399円）。

◀ウェザリングなどに用いる模型用アルコール系マーカーもあると便利。写真はガンダムマーカー・リアルタッチマーカー（5本＋ぼかしペンのセット：1,260円）とコピックモデラー（1本315円）。

▶リーズナブルな価格で人数が揃うトミーテック・ジオラマコレクションの「ザ・人間」。シチュエーション違いで様々な種類が用意されている。写真は「佇む人々」で定価525円。

▲道路の表現に用いるジェイズのスエード調スプレー（定価：2,247円）。スプレー塗料としては高価ながら、グレー系であればそのまま吹くだけでアスファルトっぽい質感が得られる点が魅力。



▲道路部分を作るためのプラ板。t1.0・B4サイズ2枚入りで525円。

◀発泡スチロールやスチレンボードの接着に便利なのが光栄堂のスチのり。使い方はゴム系接着剤と同様で、一度薄く塗り延ばして半乾きにした後に力を掛けて付ける。写真のものは50cc入りで368円。

材料費合計（概算）

¥12,490

続いて工具の確認!

浦：馬鹿者、こんなに沢山買わせおって。持って帰れないじゃないか。

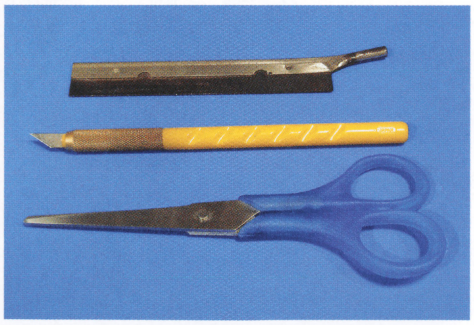
N：…注文したのは先生じゃないですか。

浦：ハッハッハ。それにしても材料は意外に多いものだな。

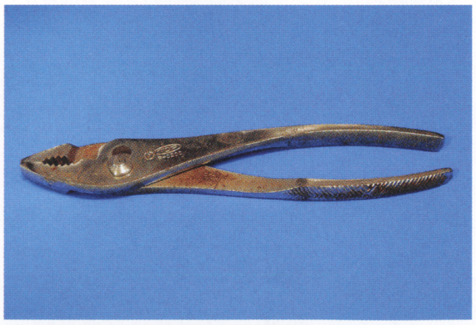
N：まあ、先生の場合はレールもコントローラーも買い直しですから。スエード調スプレーの代わりに普通のスプレーを使えば、約1万円の予算でこれだけの材料が揃うということですよ。

浦：車輌セット一つ買うより安上がりだな。ところでレイアウト作り用の工具は何かないか？

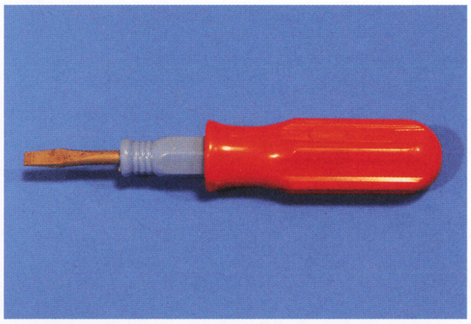
N：今回のレイアウトプランだったら大掛かりな作業はないですし、車輌工作用の道具で大丈夫でしょう。あとはちょっとした日曜大工道具や文房具があれば十分です。



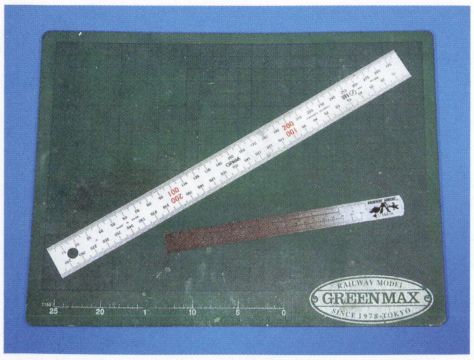
▲刃物は車輌工作用工具や通常の文房具を用意すれば作業に不自由を感じることはない。レザーソーは2,000円弱、デザインナイフは安いもので300～400円から、ハサミは100円程度でそれぞれ購入できる。



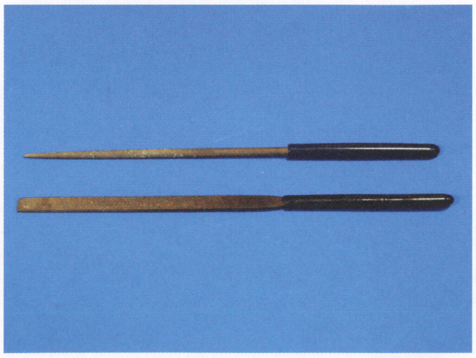
▲レール固定用の釘を押しこむのに用いるペンチ。100円ショップで手に入るもので十分。もちろん小型の金槌で打ち込んでもOK。



▲模型用の精密ドライバーの他に数百円で購入できる通常のドライバーも用意しておくと良い。マイナスドライバーはボード裏側の釘の処理などに便利。



▲車輌工作と同様、ナイフで切断する作業はカッティングマットと金属製の定規を用いて行なう。車輌よりも大きな素材を扱うので、定規は30cmぐらいの大きめのサイズを用意したい。カッティングマットは安いもので800円程度から、30cm金尺は500円前後で購入可能。



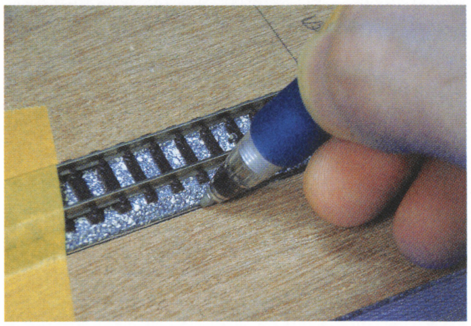
▲ヤスリも今回のレイアウト用であれば車輌工作用と同じもので十分。100円ショップで手に入るものでもOK。

▲レイアウト作りで便利なのが両面テープ。強度を必要としない箇所や広い平面同士の貼り合わせで威力を発揮。乾燥時間を取らずに済み快適に作業を進めることができる。写真の両面テープはコンビニでも販売されている231円のもの。

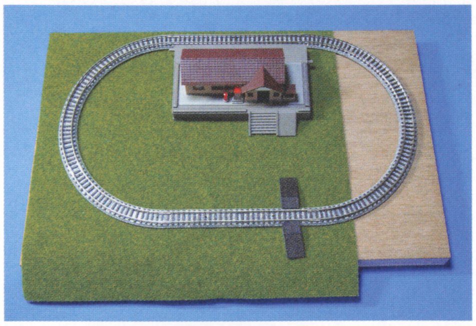
「大草原の小さな駅」製作記

材料・工具も揃い、いよいよ初めてのレイアウト製作に取り掛かります。キーワードは「完成までの最短距離」です。

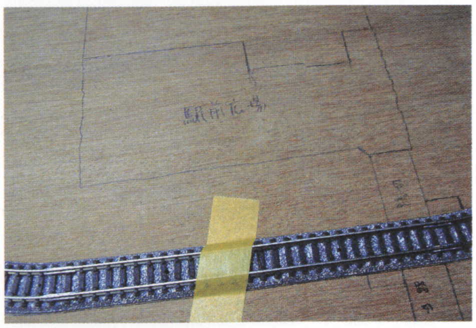
浦：では早速作ってみるか。作業台を借りるぞ。
N：えっ、ココで？……じゃあ今日一日で完成させちゃいましょう。
浦：そんな簡単にできるのか!
N：そりゃあ、飽きっぽい先生のために考えたプランですから…。
浦：ムッ、言ってくれるなぁ店主。
N：し、失礼しました。



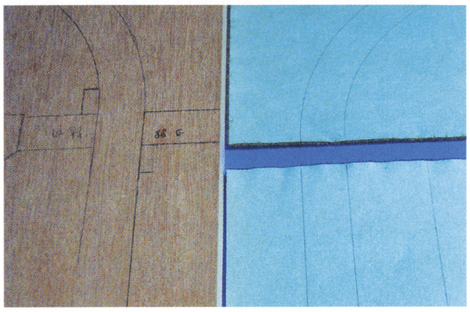
N：線路の配置を決めましょう。単純な小判型ですから位置だけ決めて、ボードに下書きします。
浦：斜めの方が見栄えがするのではないか？
N：確かにそうですが、今回は最短距離で完成させることを目標にして単純化しましょう。



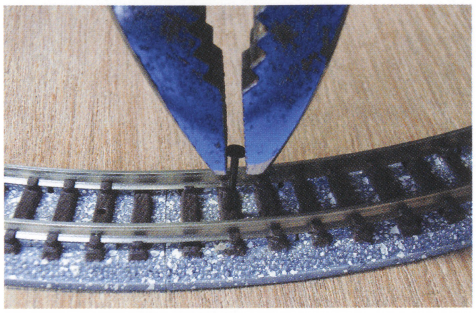
浦：そして実際に建物を置いてみる、と。駅が意外に大きいではないか。
N：そうでしょう。イメージだけでは位置関係などは掴みにくいから、こうやって検討するんです。



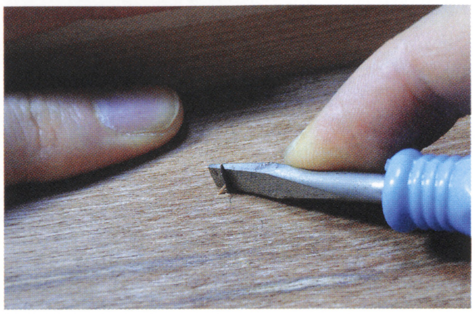
N：建物の位置が決まったら、レールと同じように下書きします。この時に駅前広場の形も決めてしまいます。
浦：え〜と、単純化だったな。すると駅前広場も長方形っぽくした方がよいのか。



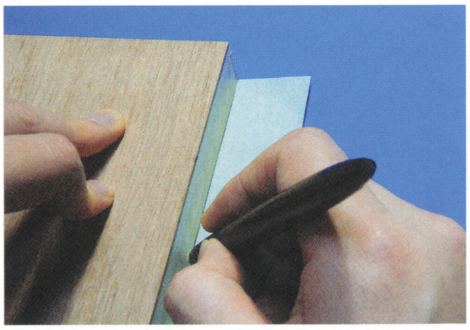
N：2枚使う情景マットはできるだけ継ぎ目が目立たないよう、踏切を境目にした方が良いですよ。
浦：マットの裏側の下書きはこんな感じか？
N：そうですね、ボードとはちょうど裏返しになるように書いてください。



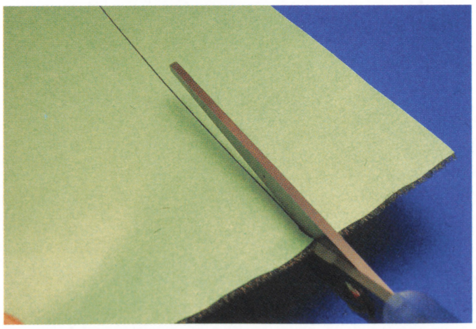
浦：よし、レールを固定しよう。金槌はないか。
N：営業中なのでトントンは勘弁してください（汗）。この木製パネルならペンチで押し込むだけでシッカリ固定できますって!
浦：家でやる時はコレでやってみるか。



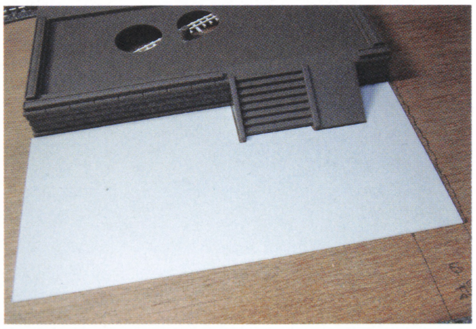
N：レールを固定したら裏側に飛び出た釘をこうやって曲げましょう。
浦：釘を抜けなくしてシッカリ固定するわけだな。
N：そのままでは持ち運ぶ時に危ないですしね。



N：建物を置く前に情景マットを先に切り出しておきましょう。
浦：ボードの縁を定規代わりにして…。
N：木製パネルは個体差が割と出やすいので、寸法は現物合わせが確実ですね。

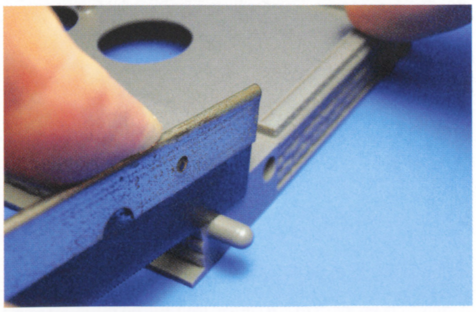


浦：カッティングマットの上に乗せて定規を使って…フワフワして切りにくいな。
N：こういう時にハサミを使うんです。カーブレールの所はこっちの方が切り易いでしょう。

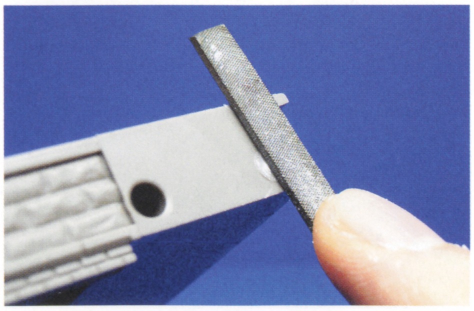


浦：駅前広場はプラ板だな。階段の所がデコボコしているじゃないか。
N：階段に合わせて下書きしてナイフで切り取るとリアルですが、面倒だったら道路を薄いプラ板に代えて駅舎を乗せちゃうという方法もあります。

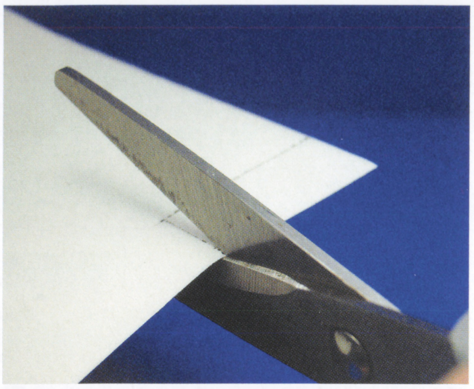
浦：よし、ここで道路はスエード調スプレーだ。どうだリアルだろう。
N：今回の中で一番高価な材料でしたからね。いい感じだと思いますよ。
浦：コラ、そこは世辞でも「腕」と言わんか。



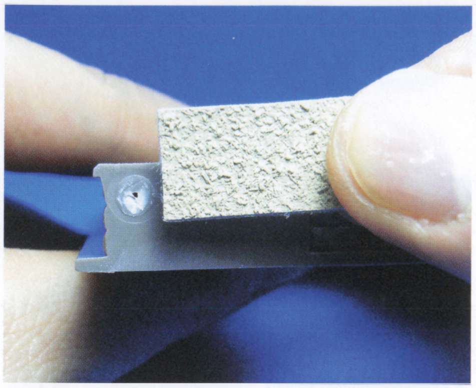
浦：駅のホームは端っこが使えないんだが、切り口をどうにかできんのか。
N：ちゃんと考えてあります。まずはレザーソーでダボを切り飛ばしちゃってください。



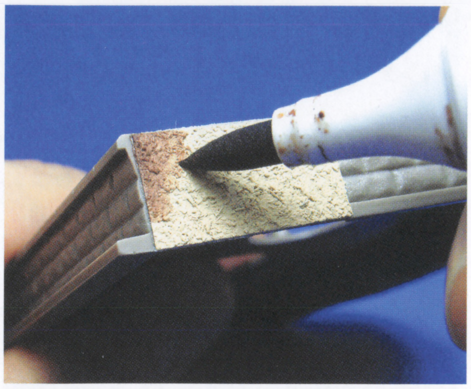
N：そうしたら、切り取った跡をヤスリで平らにしてください。
浦：その後はペーパー掛けか？
N：その必要はありません。その代わり出っ張りがなくなるまで真っ平らにしてください。



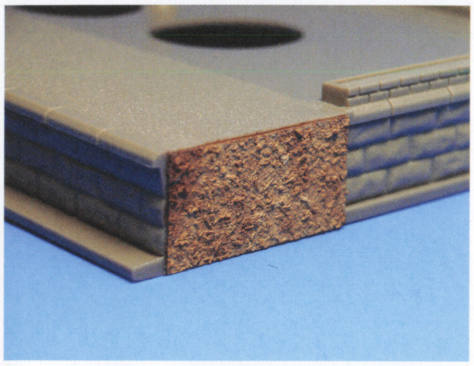
N：ここで用意して頂いたアースモデルシートを使います。ホーム断面の形に切り出しましょう。
浦：表面は土みたいだが、結構柔らかいな。



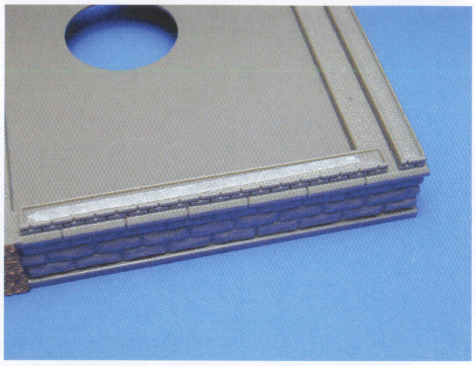
N：そして裏紙を剥がして、ヤスリ掛けした駅のホームに貼るだけです。
浦：う～む、マシにはなったが色が合っていないではないか。



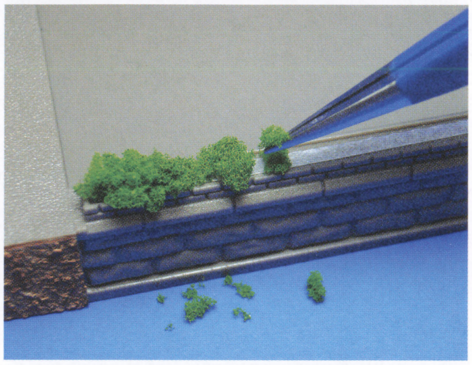
N：ここでウェザリング用のアルコール系マーカーを使いましょう。茶色系の色をこうやって少しずつ乗せて調整するんです。
浦：うわ、ホームにハミ出したぞ。
N：すぐに専用の消しペンで拭けば平気ですよ。



浦：なるほど、これで大分目立たなくなった。
N：これでも気になるようなら、剥がして別の模様のアースモデルシートに貼り替えるのも一つの手ですよ。



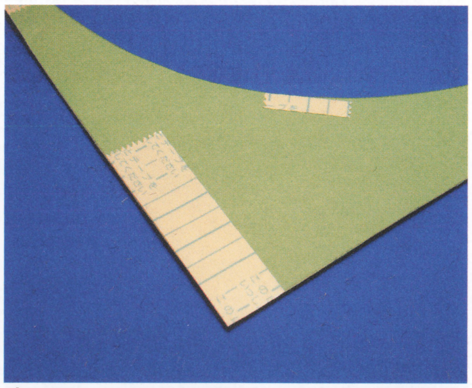
浦：駅の植え込み部分がプラの地のままというのも気になる。どうにかならんのか。
N：付属のパウダーを接着するのがセオリーですが、もっと簡単な方法にしましょう。まず帯状に切り出した両面テープを貼ってください。



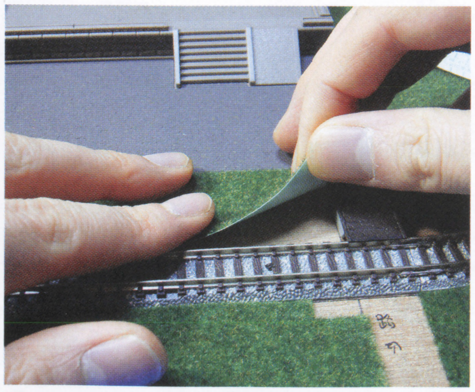
N：その上に細かく千切ったランドスポンジをのせてやれば、パウダーよりも立体的な植え込みが簡単にできますよ。
浦：おお、これなら微調整もしやすいな。

浦：見ろ、駅舎の周りの植え込みが全部終わったぞ。急にカラフルになったではないか。
N：ええ、カタログ写真にも負けてないと思いますよ。ここまで来たらもうひと頑張りしましょう。

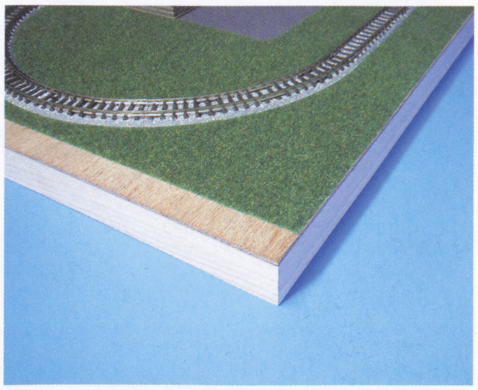
浦：あとは駅名標か。このステッカーを貼れば良いのだな。
N：キレイに貼るコツは車輌と一緒で、糊面を指で触らないことですね。ナイフなどに乗せて位置決めしましょう。



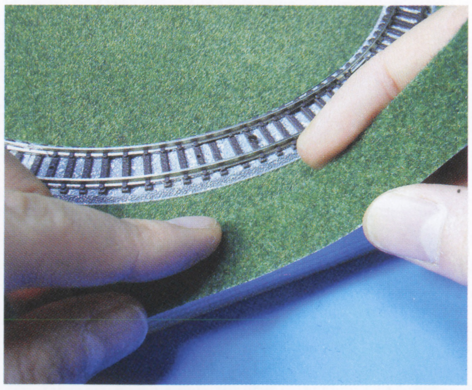
浦：よし、それじゃ芝生を貼って完成と行こうか。
N：両面テープで貼りましょう。マット裏全面に貼ると微調整が大変ですから、細い箇所や角を中心に、マットが浮き上がらないような配置で少しずつテープを付けます。



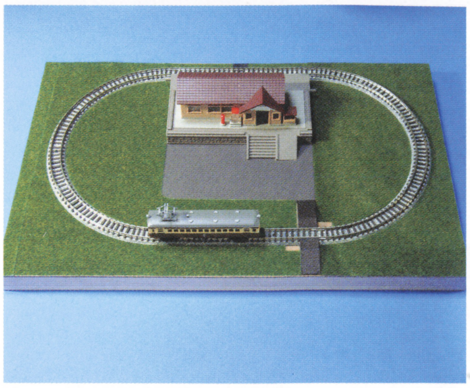
浦：では、貼ってみようか。
N：気持ちは分かりますが、焦らないでください。マットの端っこから少しずつ、剥離紙を一枚ずつ剥がしながら固定した方が良いですよ。
浦：シワができないようにするのだな。



浦：コラ、店主！芝生マットの長さが足りんではないか。どうしてくれる。
N：はぁ、すみません（…切ったのはご自分じゃないですか）。何とかリカバーしてみましょう。

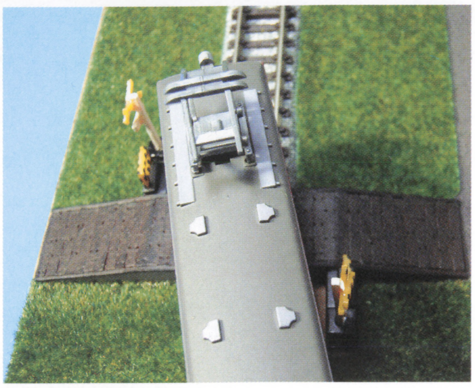


N：とりあえず端材を足りない部分の寸法に切り出して貼ってみましょう。
浦：ちょっと継ぎ目が見えちゃうなぁ。
N：ここは「完成まで最短距離」で我慢しましょう。気になるのなら後で作り直せばいいんです。

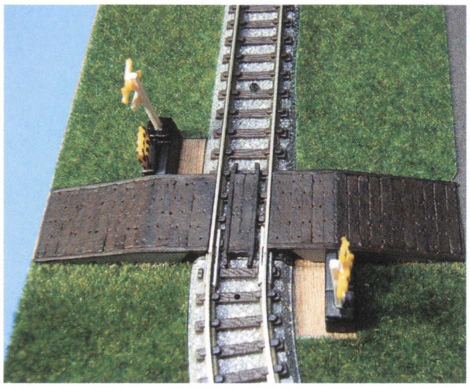


浦：まあよし、一応これで完成か。よし早速車輌を走らせてみよう。
N：その前にモーターなしの車輌で最終チェックをしてみましょう。
浦：いやじゃ、早く走らせろ！

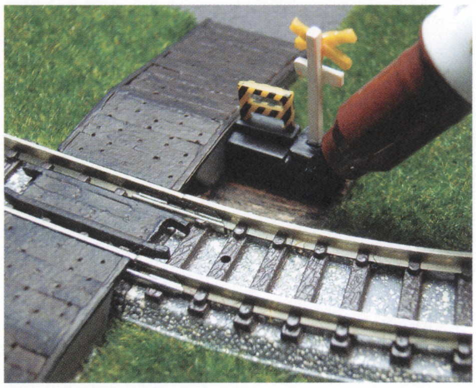
N：まあまあ、たった一周ですからちょっとだけ我慢してください。駅のホームはOK、と。踏切は…。



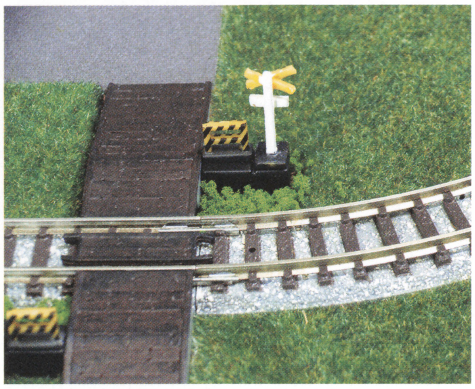
浦：ん…、ダメじゃないか。
N：踏切が当たっちゃってますね。いきなり車輌を走らせていたらキズがついちゃう所でした。急カーブだから、車体が線路の外にハミ出す幅が大きくなってしまうんですね。



浦：理屈はいいから何とかせんか！
N：作り直しは大変ですから応急処置にしましょう。とりあえず情景マットを少し切り欠いて、踏切を線路から離します。



浦：パネルの木目が見えてしまうではないか。
N：ここを誤魔化すのもテクニックです。まず先ほどの茶色のマーカーで目立たないように着色します。



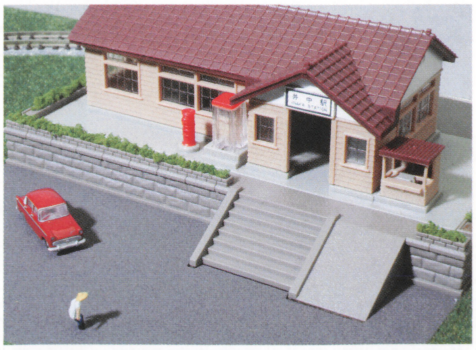
N：そして駅舎の植え込みと同じ方法でランドスポンジを固定すればご覧の通り。いかがですか？
浦：なるほど、これなら目立たないな。
N：こうやって失敗してもリカバーできると思えば、製作時にも気持ちに余裕が持てるんですよ。

完成

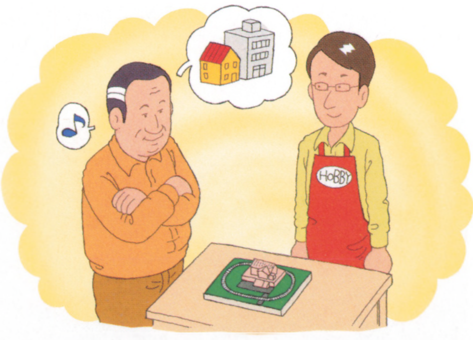
▲紆余曲折を経てようやく完成した「大草原の小さな駅」レイアウト。実際の作業時間は接着剤等の乾燥待ちもないので8時間程度である（写真のキハ120はイメージ用で、実際にこのレイアウトを走行することはできません）。

浦：ハッハッハ、今度こそ完成だ！
N：お疲れさまでした。
浦：こうやって低い目線で覗きこむと格別だな。

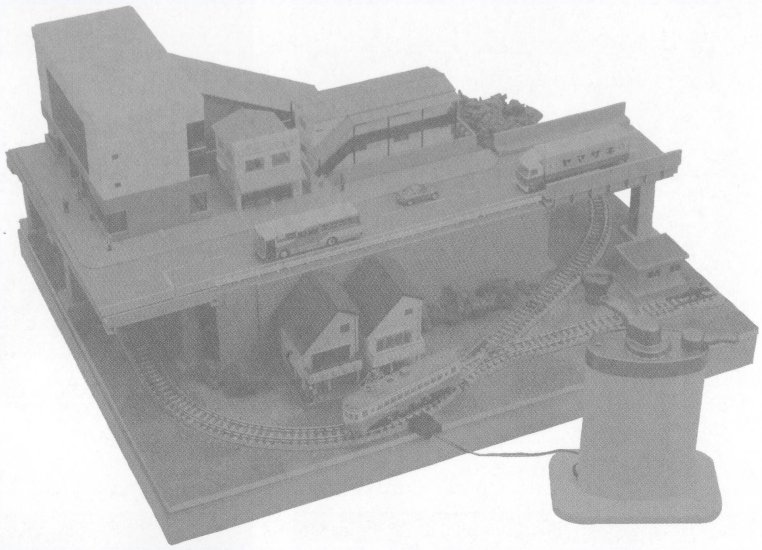
浦：よし、今度は反対側から見てみよう。踏切もちゃんと車輌が通過できているぞ。
N：建物とか踏切が対比になるので、車輌もより実物っぽくみえてきますよね。



浦：駅前広場も中々のものだろう。後で街コレの売店を置いてみても良いかもしれんな。
N：どんな形でも、やっぱり完成すれば気持ちがいいんじゃないですか？
浦：そうだな、ますます次が作りたくなったぞ。



「都会の新駅」レイアウト

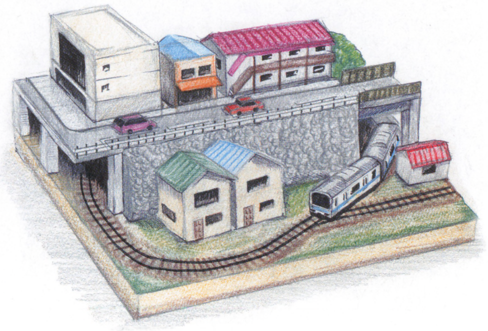


(3万円コース)

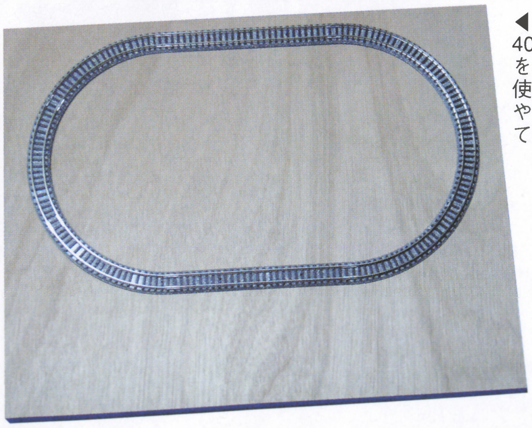
浦:いよいよ念願の都会レイアウトだ！
N:具体的にはどんなイメージなんですか？
浦:見てくれ、昨年リニューアルされた山手線の田端駅だ。このホーム全体を覆う大きな屋根が特にお気に入りでな。これは絶対に入れたい。
N:これは完全な自作になりそうですね。頑張ってくださいよ。橋上駅だから立体的な構成になりますね。いきなり難易度が上がりますけど大丈夫ですか？
浦:ハッハッハ、いざとなれば店主がおるしな。
N:は、はぁ…。駅ビルの大きさを考えると、ボードも少し大きい方が良さそうですね。
浦:とは言っても、置き場所は増やせないしのう…。何とかスーパーミニカーブで作れないか？そうそう、こんどはポイントを入れて留置線もほしいなぁ…。
N:ヤル気満々ですね……。では、プランはこんな感じでいかがでしょう？

▲今回のレイアウトのイメージソースとなるJR田端駅。駅ビルの外観もどことなくTOMIXの中型ビルっぽく見えないこともない？

▲見どころは何と言ってもヨーロッパの駅を彷彿とさせる、この大きな屋根。



今度も材料集めから



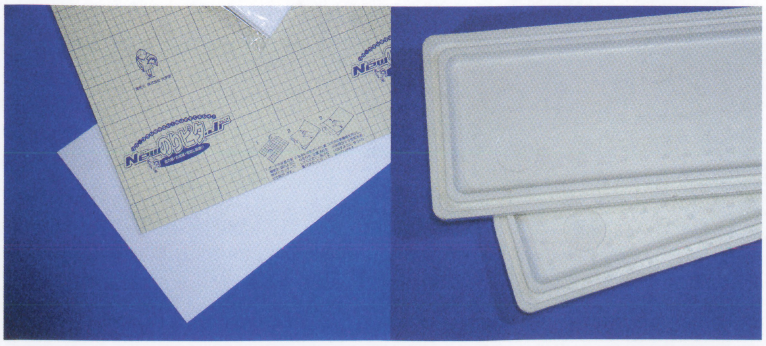
◀今度は320×400mmのボードを使用。作例で使用したものはやはり840円にて入手。

▶鉄コレ式制御器用単3乾電池。4本入パック約100円。

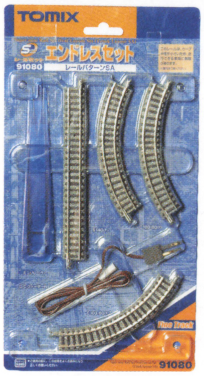
▶トミーテックの鉄コレ式制御器(1,995円)。

▶前作同様に活躍する光栄堂のスチのり。50cc入り368円。

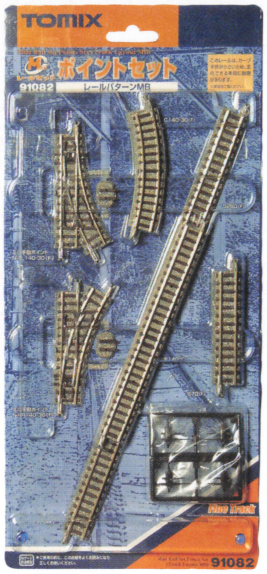
◀本格的なシーナリー工作には欠かせない木工用ボンド。写真のものは速乾タイプで50g入り210円。



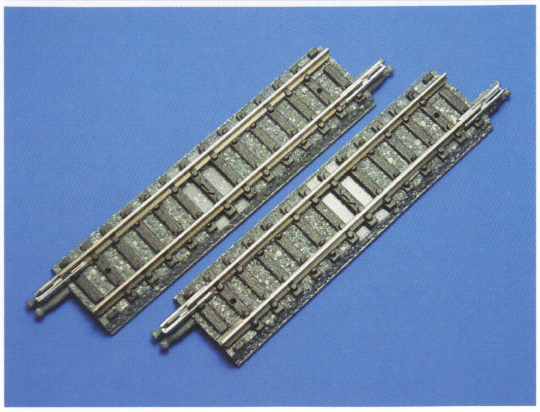
◀複雑な地形を作るのに欠かせないスチレンボード各種。左側は市販品各種(いずれも5mm厚：糊付きA3サイズ・357円、糊なしA4サイズ・147円)。右側の写真は不用品となった発泡スチロールの再利用。

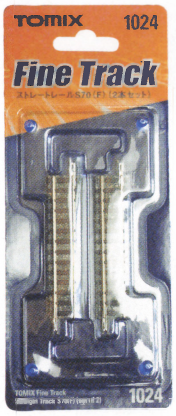


▲今回も基本となるのがTOMIXのスーパーミニレールセット・エンドレスセット（レールパターンSA）。1,995円。



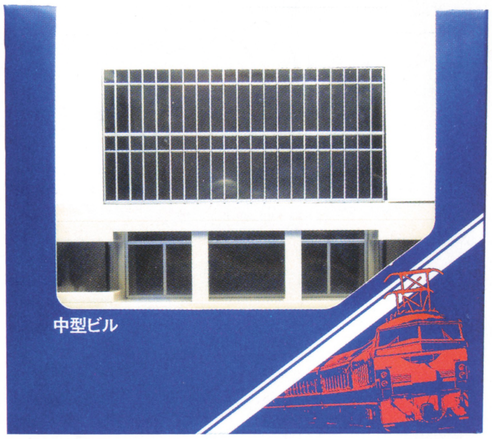
◀今回のサイズに収まるミニ手動ポイントを含むミニレールセット・ポイントセット（レールパターンMB）。3,990円。





◀▲ボード拡張のために追加したストレートレールS70（F）。2本セットで294円。

▶本線が変則的なエンドレスとなったため必要となる端数レールセットS18.5・S33。各2本入りで588円。



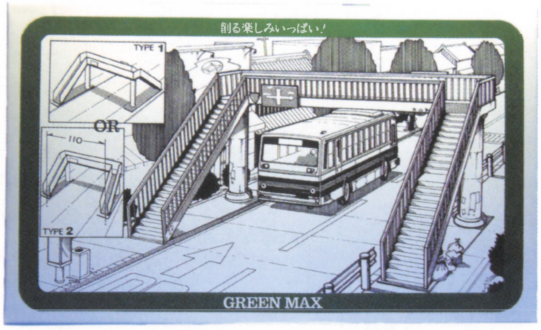
▲今回のレイアウトの主役となる駅ビルは、TOMIXの中型ビルをベースに製作。1,365円

▲レール固定用の釘。KATO製52円。

▶留置線用のエンドレールE（F）。315円。

▲自作の大屋根用には予め溝がモールドされているエバーグリーン製のプラ板を2種類使用。各804円。

▲プラットホームはできるだけ小さい方が良いという判断からTOMIXのミニホームセット（1,470円）を使用する。

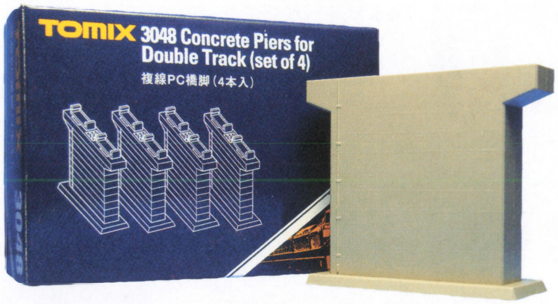


▶駅ビルとホームをつなぐ階段はグリーンマックスの歩道橋をベースに自作する。2組入で840円。

▲都会のシーンでは人数が欲しいフィギュア。費用対効果が高いのは、やはりトミーテックの情景コレクションのザ・人間。写真は「佇む人々」で525円。

◀TOMIXの人気ロングセラー商品の一つ、アパート。屋根色赤・青の2種類のうち青を使用。1,470円。

◀小さなスペースに収めて密度感を高めるためトミーテックの建物コレクション・狭小住宅Aを使用。1,029円。



▶今回は道路橋用として使用する複線PC橋脚（4本入）。高台部分の高さを揃えるため、表から見えない部分にも柱として使用している。840円。

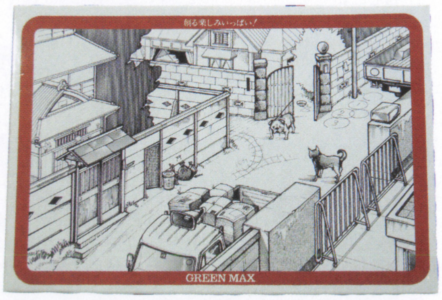
▶留置線の脇に設置する詰所はスペースの関係からグリーンマックスの「保線詰所」キットを使用。2組入630円。

▲スーパーミニカーブを避けて道路橋を支えるために用いる単線用のPC水平橋脚（5本セット：630円）

◀道路橋には線路が固定されていない複線ガーダー橋Ⅱセット（緑）を用いる。複線PC橋脚2本付きで1,050円。

▲駅ビル寄り陸橋の外壁として使うニュー高架橋S70-A。315円。

▲道路上を賑わす自動車類はトミーテックのザ・カーコレクション、ザ・バスコレクション、ザ・トラックコレクションを使用。いずれもブラインド販売で各368円〜。



▲建物の周りに必要な塀はグリーンマックスの「門とへいセット」を使う。1,050円。

▲高台の側面は石垣でカバーする。B・C各1枚づつ使用。各210円。

▲都会と言っても緑が皆無というわけではないので、ランドスポンジやフォーリッジ類も引き続き便利な素材となる。光栄堂のランドスポンジ（写真）399円。

◀地面に直接撒く格好の草類はやはり市販のジオラマ用パウダーが便利。写真のように空き瓶に移しておくと使いやすく、保管の時にこぼさずに済む。TOMIXのものであれば各色1袋210円で入手可能。

▲ターナー色彩から発売されている「グレインペイント」。筆で塗るだけで地面の質感が得られるという便利な水性アクリル塗料。単品1色420円。セット売りもある。

▲缶スプレー塗料各種。GMカラーやMr.カラー、タミヤカラーなど模型店で様々な種類が入手可能。GMカラー630円×3色使用。

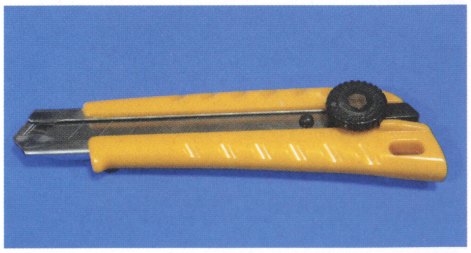
▲模型用マーカー類。コピックモデラーは1本315円。ガンダムマーカー・リアルタッチマーカーは5本十ぼかしペンのセットで1,260円。

◀石垣で覆いきれない箇所には再びアースモデルシートを使用。630円。

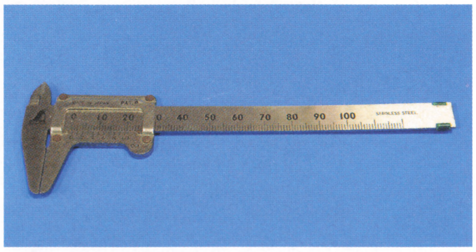
材料費合計（概算）

¥29,251

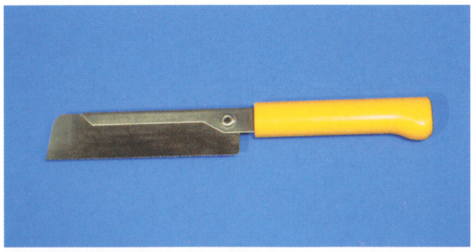
さらに必要になる工具



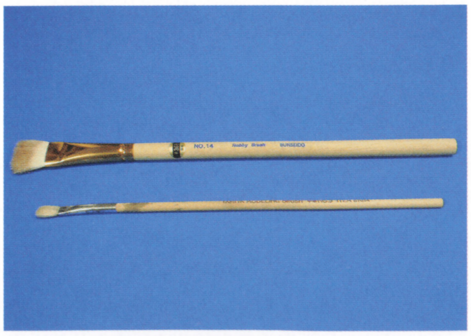
▲今回はスチレンボードなど大きな素材の切断作業があるので、カッターナイフもそれに適合するサイズのものを別個に用意した方が作業効率も上がる。写真のものは577円。



▲駅の階段を作る際に、元キットのパーツの正確な寸法を測るためノギスを用意。写真のような10cmサイズであれば1,050円程度で入手可能。

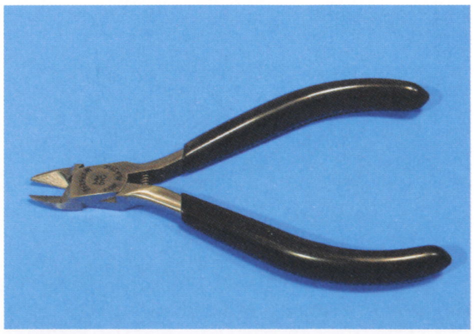


▲今回の複線ガーダー橋のような大きなものを切るにはレザーソーよりも刃の厚いクラフトノコを用いた方が安全。写真のものは替刃1本付きで1,344円。



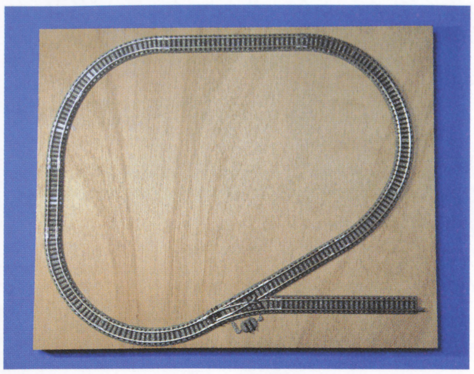
▲グレインペイントは車輌とは比較にならないほど広い面積に塗ることになるので、大きな筆を用意した方が良い。写真上のものは368円。

▲材料編で紹介した以外には車輌工作で使うのと共通の接着剤各種を用意すれば十分。

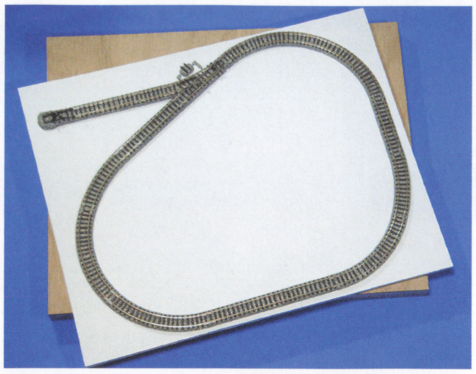


▲今回はプラスティックのみを切断するので、ニッパーは車輌工作と同じプラ用を用意すればOK。写真はタミヤ製の精密ニッパー（2,100円）。

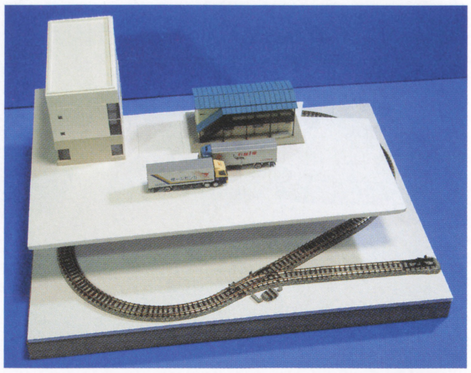
「都会の新駅」製作記



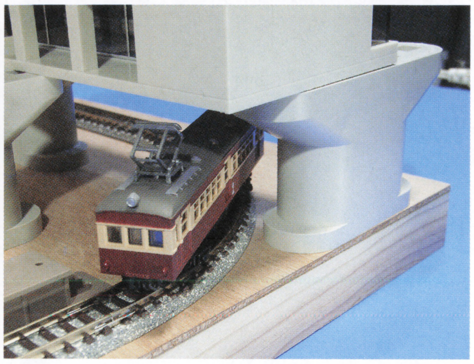
N：まずはレール配置から確認しましょう。先生のご希望を入れたらこんな形になりました。
浦：本線が三角形みたいになっているな。
N：スーパーミニカーブレールは60度刻みなので、全部直角というわけにはいきませんでした。



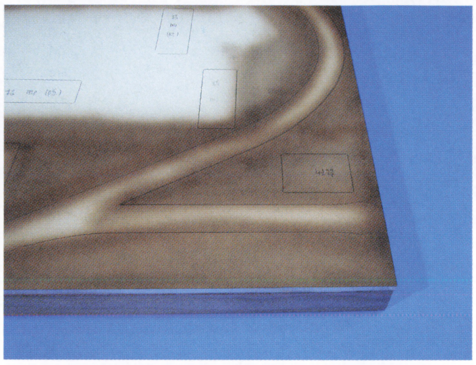
浦：「大草原」では走行音が結構響いてなぁ…。店主、どうにかならんのか。
N：ではレールの下に糊付きスチレンボードを1枚敷きましょう。これでかなりの防音効果があるはずです。



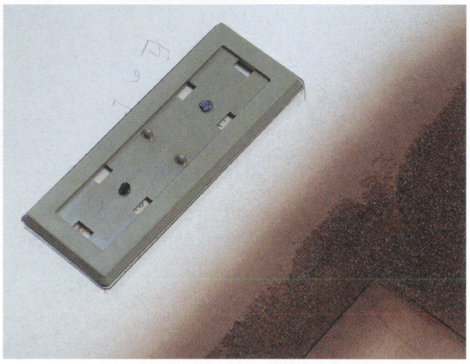
N：スチレンボードへレールの下書きが済んだら、建物を仮配置してみましょう。高台部分はとりあえず橋脚の上にスチレンボードを乗せて、ついでにサイズも考えましょう。



N：先生、何遊んでるんですか。
浦：じ、事前確認だ。前回はちょっと失敗しているからな。ほれ、鉄コレのパンタは車輌限界の測定に便利ではないか。
N：…確かにそうですね。

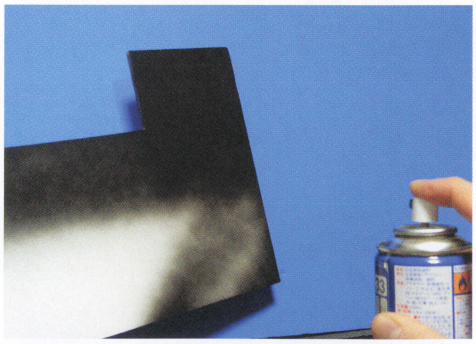


N：建物や高台の配置が決まったら地面となる部分に軽く茶色のスプレーを吹きましょう。
浦：スチレンボードにスプレー吹いて大丈夫か？
N：そのために表面に紙張りしたものを選んで頂きました。これで実質上問題なしです。

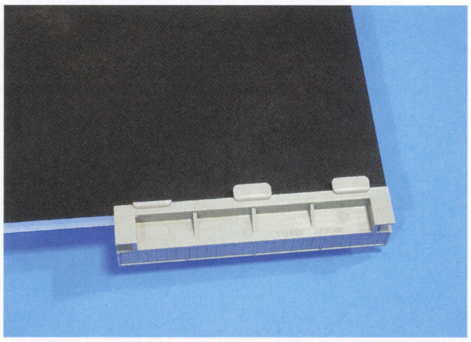


浦：スプレーを乾かしている間にPC橋脚の台座を固定しておこう。この穴に釘を差し込めばいいのだな？
N：レイアウト全体の強度に関わるので、念のためスチのりと併用した方がいいでしょう。

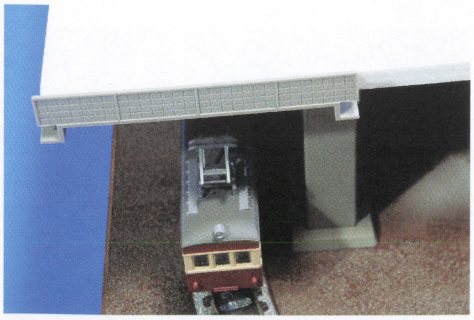
浦：これがグレインペイントか。確かに本物の泥みたいでリアルだが、粘って塗りにくいな。
N：商品説明では水で薄められると書いてありますが、水性ホビーカラーやタミヤアクリル塗料の溶剤を使ってもよさそうですね。



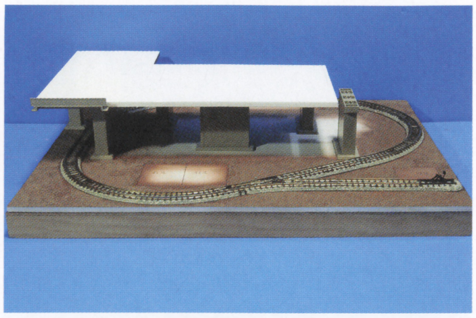
N：高台部分のスチレンボードの裏側は黒く塗装して目立たないようにしましょう。
浦：さすがにそこまでリアルに作り込むと大変そうだしな。



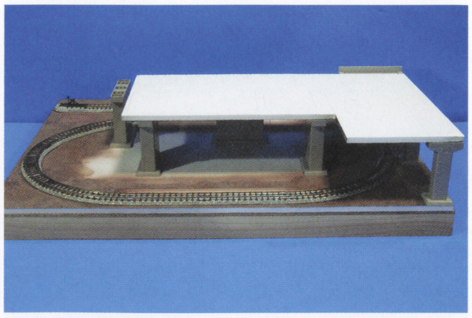
浦：ニュー高架橋S70-Aはこうやって使うんじゃ。
N：いったい何に使うのかと思ったらこういうことですか。確かに道路の側壁っぽいですね。
浦：柱と干渉する箇所はニッパーで切っておこう。



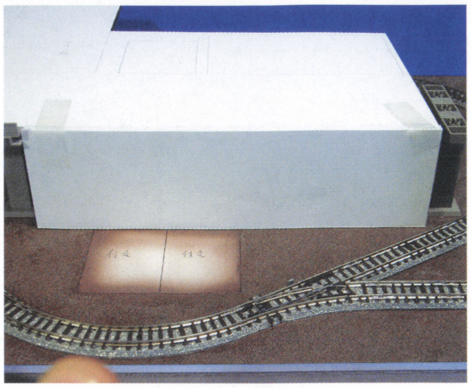
浦：さあ、もう一度状態確認。
N：…もう好きなだけやってください。確かにこういう電車が出たり隠れたり、というレイアウトは面白いですよね。
浦：ハッハッハ、そういうことだ。



N：ここでレイアウトの骨格になる部分をスチのりで固定してみましょう。市販の橋脚を柱にしているので高台の水平はバッチリですね。
浦：あとは重さをバランスよく支えられているかだな。反対側も見てみよう。

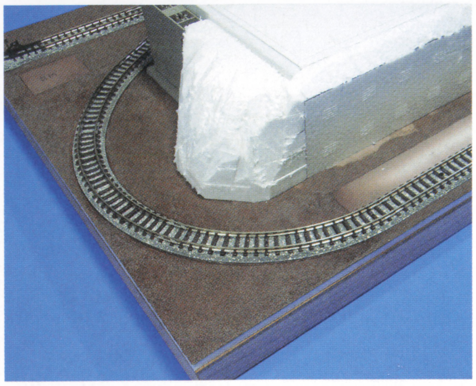


N：こっちは駅側ですね。駅ビルの下もちゃんと車輌が走行できるようですし、問題ないんじゃないですか？
浦：さすがワシだ。もう2作目にしてコツを掴んじゃったかな（笑）。

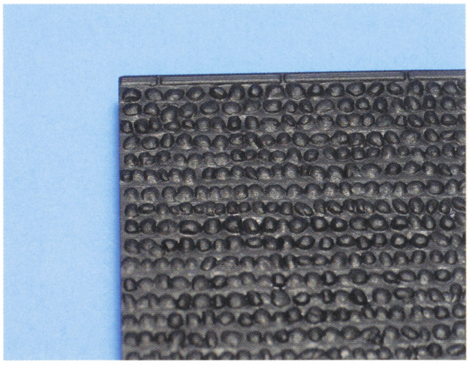


浦：そろそろ地形作りの段階かな。
N：留置線側は家を置くスペースを確保するので、薄めの糊付きスチレンボードを貼りましょう。
浦：地面側は念のため両面テープで固定しておこう。

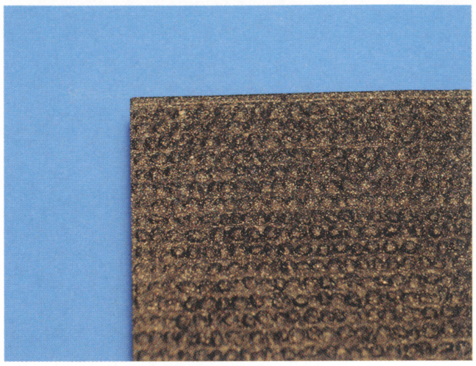
N：地形を作り込む駅側は厚手の廃品発泡スチロールを使いましょう。
浦：固定はスチのりを使えば良いのだな。



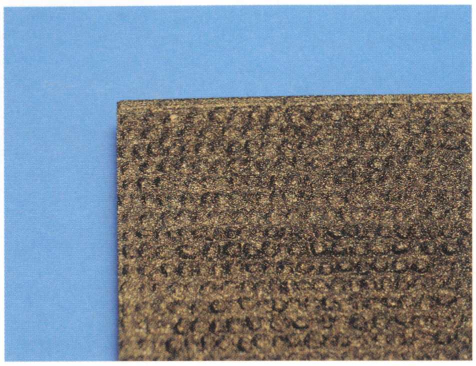
浦：で、スチのりが乾いたらカッターナイフでザックザクと削る。
N：先生、随分と楽しそうですが、実物の地面の形をイメージしながら削りましょう。所々V字に切り込むようにすると岩場っぽくなりますよ。



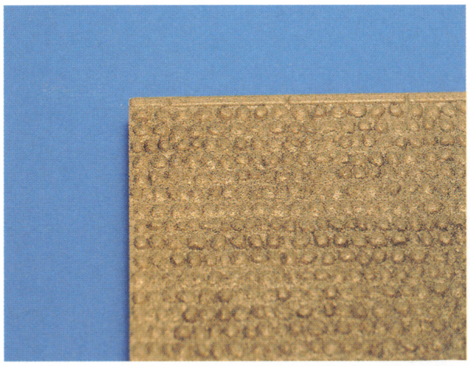
浦：次は石垣でも作るとするか。
N：それなら先生、缶スプレーで石垣をリアルに塗る方法をお教えしましょう。まずは重厚感を持たせるための下塗りとしてツヤ消し黒を吹きます。



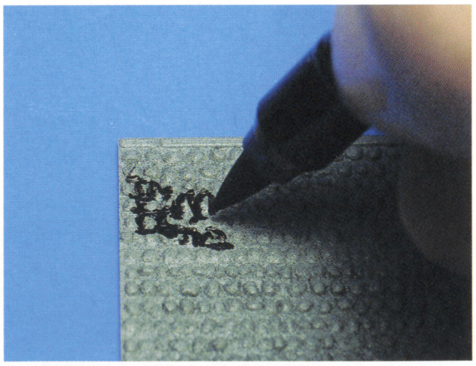
浦：おいおい、大丈夫なのか？
N：見ていてください。続いて通常より遠目…大体40～50cmの距離で明るめのグレーを軽くまぶすようにひと吹きします。
浦：ほとんど色が乗っていないようだが…。



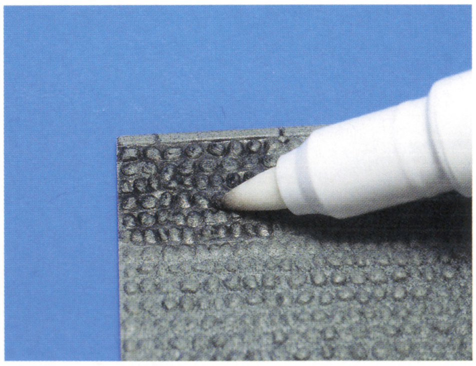
N：今度はGMカラーの西武トニーベージュを同じように遠目から軽くひと吹き。
浦：そんな色を使って大丈夫か？
N：安心してください。これが丁度いい隠し味になるんです。



N：そしてグレー、ベージュ、グレー…と交互に3回ずつ吹くとこうなるわけです。
浦：おお、確かに実物のザラッとした感じだ。

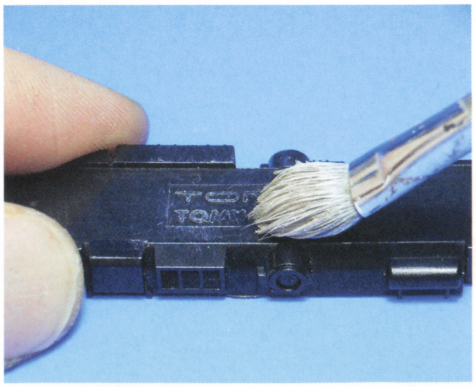


N：石と石の隙間になる部分を中心に暗めのグレーのアルコール系マーカーで塗ってみましょう。
浦：ああ、せっかく上手に塗れたのに勿体ない…。
N：もし心配なら明るめのグレーで控えめにするという手もありますよ。

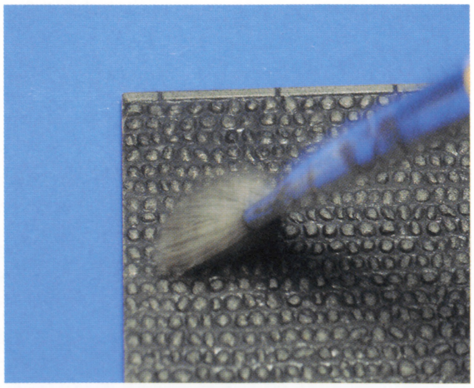


N：そして半乾きのうちに消しペンで不要な所を拭き取ったりボカしたりすれば、陰影がついてメリハリが付くというわけです。
浦：なるほど。ペンだと面倒そうだから、ワシはエナメル塗料と溶剤でやってみるか。

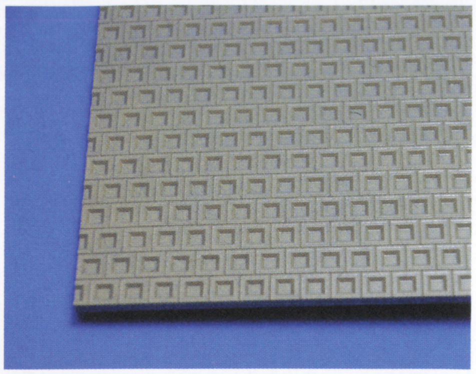
N：ここで最後の仕上げです。
まず水性アクリル塗料かエナメル塗料の白を筆に含ませてティッシュペーパーなどで拭いとります。
浦：え…石垣に白なのか？



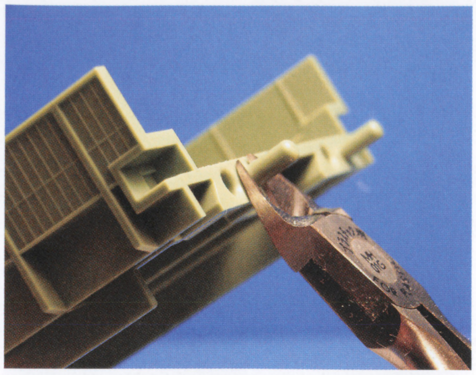
N：次に不要な部品などにこすりつけて、筆に残っている塗料が辛うじて色が付くか付かないという位になるよう確認します。
浦：ひょっとしてドライブラシという方法か。



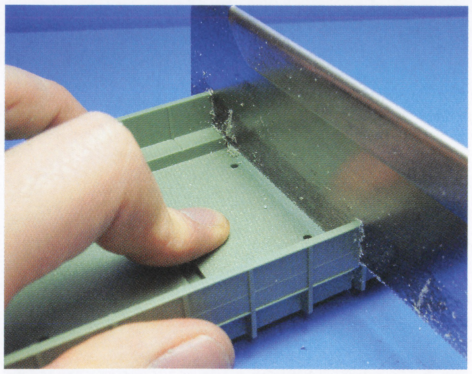
N：その通り。この状態になったら石垣の表面を軽くなでるようにサササッと擦ってハイライトをつけるのです。
浦：おお、これで立体的に見えるというわけか。



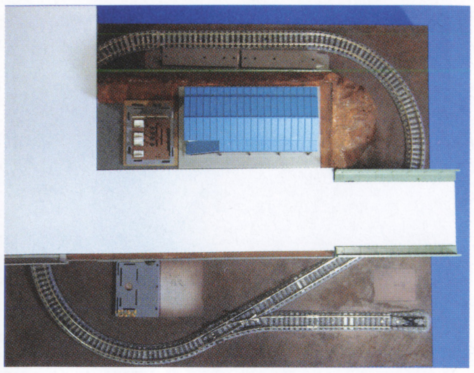
浦：反対側のコンクリートブロックも同じように塗れば良いのか？
N：それでも構いませんけど、石垣よりはツルッとした印象なので、下地をグレーにして影塗りなしでも十分だと思いますよ。



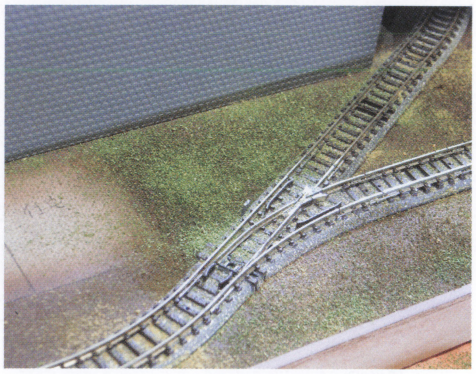
浦：店主、このガーダー橋はちょっと長くないか？
N：まあ無加工というわけにはいかないでしょう。まず道路とつながる側で邪魔になる接続ピンをニッパーで切っちゃいましょう。
浦：そしてヤスリで平らにするのだな。



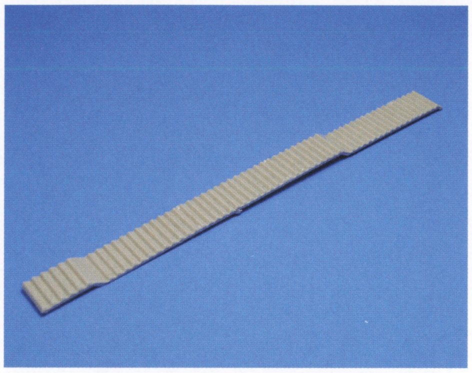
N：これでガーダー橋の仮合わせができるので、現物合わせで長さを測って、クラフトノコで一気に切断しちゃいましょう。
浦：モールドに沿うようにすると切りやすいな。



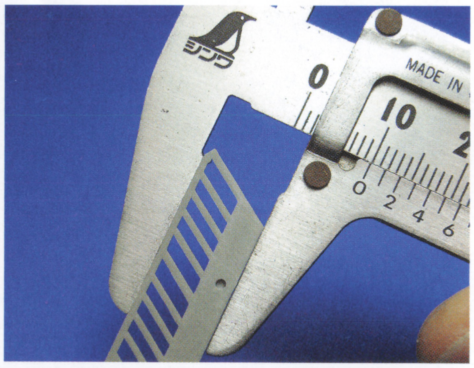
N：道路は塗装やシーナリー仕上げの便を考えてプラ板で別に作りましょう。
浦：この大きさだと2枚必要だな。裏側に補強用の板をもう一枚貼って、ガーダー橋と高台の段差もついでに調整しようか。



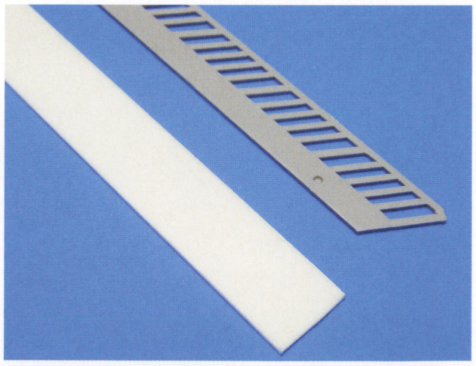
N：そろそろシーナリーの方も仕上げましょう。
浦：パウダーはどうやって使えばよいのだ？
N：グレインペイントや木工用ボンドを塗った上に振りかけて、乾いたあと吹き飛ばせば砂絵の要領で必要な部分にだけパウダーを付けられますよ。



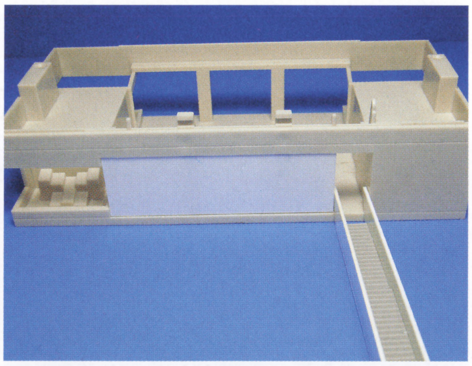
浦：いよいよ駅部分に取り掛かるか。
N：屋根より先に階段を作るんですよね。
浦：まず駅ビルとホームを仮置きして、必要な階段の長さを測り、それに合わせてGM歩道橋の階段を切り継ぐわけだ。



浦：歩道橋の側壁は使えないのでプラ板から自作じゃ。まずGMキットの元パーツから寸法を取る。
N：なるほど、それなら確実に寸法が合うというわけですね。

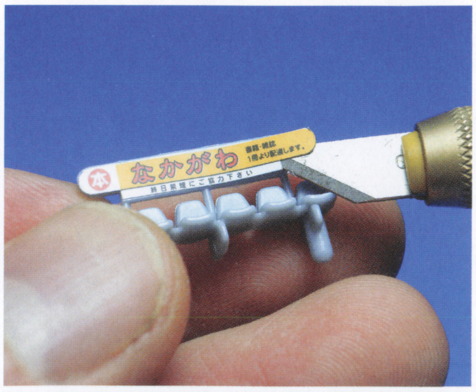


浦：そして同じ幅でt1.0のプラ板を切り出して、ホーム側の形をキットに合わせて整形する。
N：それを２枚用意して、切り継いだステップをサンドイッチするんですね。

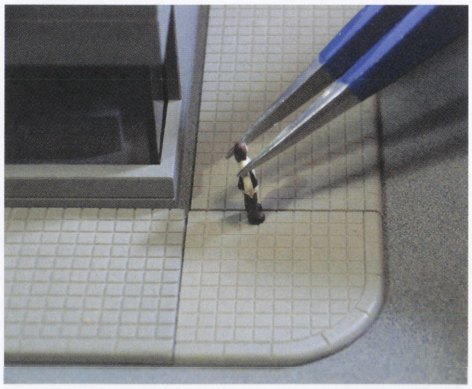


N：先生、ビルの裏側が開いてますよ。これじゃタダ乗りし放題じゃないですか（笑）。
浦：わ、分かっておる！階段の分だけ隙間の残してプラ板で塞げば一件落着だ。
N：この後ビルの土台部分は再塗装ですね。

浦：駅の大屋根はこんな感じだ。
N：すごい、プラ板で自作したんですね。
浦：ワシもやる時はやるのだよ。寸法は現物合わせで、接合部の裏側はプラ角棒できちんと補強しておる。



N：都会風だとフィギュアを多く配置することになるので、こういう部品は取付前にステッカーを貼っておきましょう。



浦：最後にフィギュアをスチのりで固定して完成…、人数が多くて面倒だな。店主、代わってくれ。
N：都会を作りたいと仰ったのは先生じゃないですか。もう一息なんだから頑張ってください。

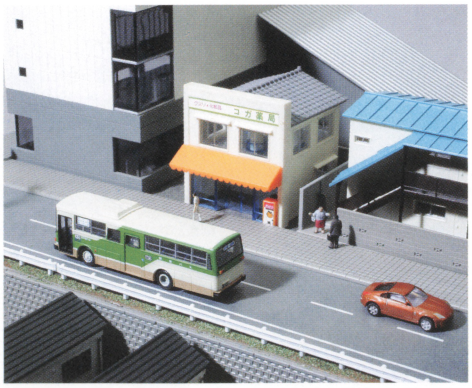
完成

▲ついに完成した待望の「都会の新駅」レイアウト。立体的な構成であるが、レール自体は平面状の変形エンドレス十留置線という配置となっている。

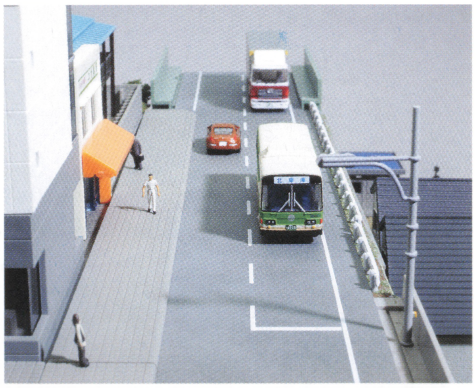
浦：よし、できたぞ！完成だ。
N：今度の作品はさすがにボリュームがあって、見ごたえ満点ですね。
浦：そうだな。ただ建物が増えると手が回り切らなくてな。まだ貼っていないステッカーも沢山あるしのう。
N：まあ、まずは完成させて満足でいいんじゃないですか。実物の街と同じように、追々姿を変えてみるのもレイアウトの面白さですよ。
浦：うむ、未完成のままだといつか飽きて放置してしまうからな。それよりははるかに良い。それにしても車輌セット2つ分の予算でこれだけのものを作れたのが嬉しいよ。
N：数をこなすと余った材料を次回作に回せるから、さらに安上がりで作れますよ。

浦：ほれ、こうやって駅側から見上げれば建物同士が折り重なって都会という感じがするだろう。
N：なるほど、先生なりにベストショットを考えて作ったんですね。さすがです。
浦：いや、偶然だ（笑）。

浦：単線だから列車同士のすれ違いはできないが、留置線の電車やトラックの間をすり抜けて走る様というのも中々良いだろう？
N：確かにポイントを入れたのは良かったですね。



浦：ここが一番建物が密集している場所だ。垂直の石垣はリアルじゃないかもしれないが、見栄えはするんじゃないか？
N：ええ、石垣もデフォルメの範疇だと思いますよ。それを言ったらスーパーミニカーブ自体がそもそもリアルじゃないわけですし。



浦：道路を端から見通すとこんな感じだ。駅に向かう向きの車線は大型車を複数並べて混んでいるように、反対車線は小さい乗用車1台だけにして空いているように見えるよう並べている。
N：そこはちゃんと考えたんですね。へぇ。

というわけで、2種類の小型レイアウト製作記をご覧頂きましたが、いかがでしたか？

今回は浦島先生のレイアウト初挑戦という設定でしたが、かく言う筆者もレイアウトを完成させたのは初めてでした。つまり初心者によるレイアウト製作記という意味ではリアルの話ですので、これからチャレンジされる方の参考になって欲しいと願っております。

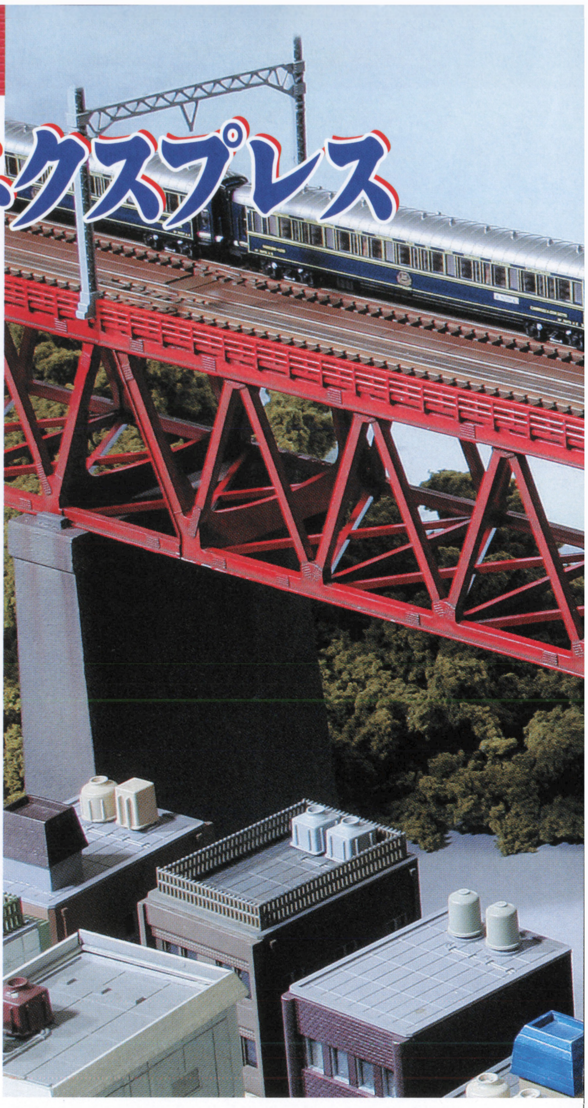
ここ数年、特にトミーテックのジオラマコレクションが充実するようになって、手を加えずに使えるストラクチャーや情景アクセサリー類が塗装済半完成品の状態で安く購入できる状況となっています。さらにTOMIXのミニカーブレールの登場でレイアウトに必要なスペースもコンパクトになりました。このような幸せな環境がこんなに早く訪れるとは、20世紀には予想だにしておらず、ましてや20年ぶりにNゲージ復帰を果たした浦島先生に至ってはさぞかしビックリしたことでしょう。

「リアル」というのは単に車輌模型のディテールやウェザリングを追求するというミクロの世界だけなのでしょうか。大自然だったり都会といった風景の中を列車がトコトコ走るという、鉄道の知識があろうがなかろうが、極端に言えば鉄道に思い入れがあろうがなかろうが関係なしにどんな人も目にすることができるマクロな光景を再現するのもまた、「リアル」の一つの方向性であり「模型鉄道」の魅力ではないかと思うのです。

御託はともかくとして、とりあえずレイアウト一つ作ってみませんか？　違う世界が見えてくるかもしれませんよ。少なくとも今はそのチャンスなのです。

浦：よし、今度は家内を説得して大作にチャレンジしてみるか！店主、次も頼りにしてるぞ。
N：えぇ〜っ？もう勘弁してください。

20年目の再会、オリエントエクスプレス



オリエントエクスプレス'88 〔KATO〕

■2ヶ月間の「夢」

時はバブル絶頂期の1988年、今後日本の鉄道の歴史がいかに続こうとも決して再実現することはないであろう、世紀のイベント列車が運転された。

オリエントエクスプレス、日本上陸。

テレビ局の企画として行なわれた「パリ発東京行」列車として、今よりも情勢の厳しかったユーラシア各国をフランスから香港まで走破したNIOE社のオリエントエクスプレス編成は、その後船にて下松へ輸送され、スポンサーでもあった日立製作所の笠戸工場にて日本走行用の改造がなされた後、広島発として最後の力走。9月7日の出発から41日目の10月18日に無事東京駅に到着した。その功績は「世界最長距離を走破した列車」としてギネス登録がされることになった。

その後は約2ヶ月に渡る国内ツアー運行が行なわれ、日本全国を走破したり各地でのイベント展示公開にも供された。折しも青函トンネルと瀬戸大橋が開業したばかりで、日本四島がレールで結ばれた直後だっただけに、そのインパクトはあまりにも大きかった。

そして「夢」は終わりを迎える。12月23日、この日のために復元工事が行なわれていたD51 498によって運転された、上野～大宮間特別運転。そして25日の最後の展示を終えたオリエント編成は、翌日下松に回送され、復元工事の後ヨーロッパへの帰路についた。

20年が経過した現在、当時の編成は散り散りとなっており、プルマン食堂車として活躍したWSP4158DEは引退後再来日し、箱根ラリック美術館に保存展示され、往時を思い起こさせてくれている。

▲車体側面のエンブレムは立体感ある印刷での表現。

▲プルマン食堂車のテーブルランプシェードは点灯式。

▲LX16寝台車・3542A。主力となる個室寝台車。ほぼ同形のLX20形と合わせ、6輌が編成に含まれていた。

▲バー・サロン車・4164E。超豪華なロビーカー。車内ではピアノが生演奏される。

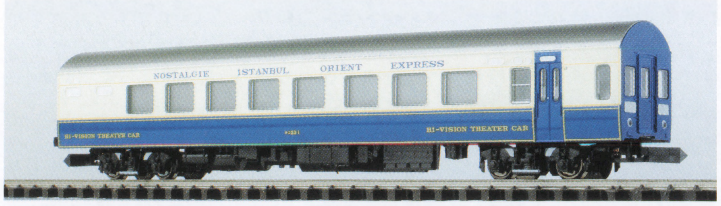
▲プルマン食堂車・4158DE。優雅な食堂車で、地中海路線用のツートンカラーとなっている。

▲プレジデンシャル・3354D。こちらも食堂車だが、個卓だけでなく18席の長テーブルも持つのが特徴。

▲荷物車・1286M。来日中は電源や予備部品搭載車として使用。屋上ドームは国内仕様の背の低いものとなる。

▲YU寝台車・スタッフ専用車・3909A。クルーの寝室兼休憩室として使用された簡素な内装の車輌。

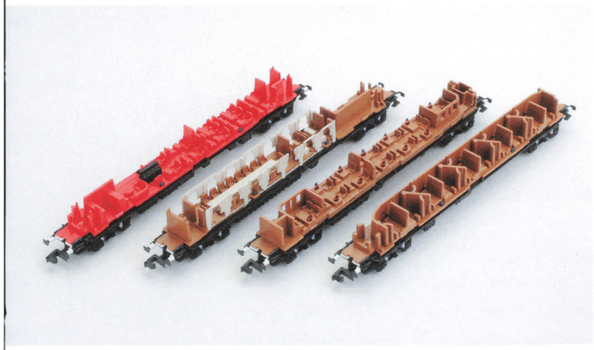
▲控車・マニ50 2236。オリエントエクスプレスは日本とは連結器が異なるため、片側だけスクリュー式連結器に改造したマニ50を控車として編成端に連結した。車内には非常用部品が搭載されていた。



▲控車・オニ23 1。ナハネフ23の改造車で、機能上はマニ50と同様。編成逆端に連結された。車内はスポンサーの日立製作所によるハイビジョンテレビPRの移動パビリオンにもなっていた。

TEXT:RMM
PHOTO:青柳　明(RMM)

▼21年前を振り返った時、あれは幻ではなかったかと思えてしまうような、そんな「夢」が実現したのは1988年だった。まごうことなき日本の鉄路を日本の機関車に牽かれてあのオリエントエクスプレスが我々の目の前を走り抜けたのだ。



▲左からバー・サロン車、プレジデンシャル、プルマン食堂車、LX16寝台車の内装パーツ。いずれも見応えがある。

▲KATO製品でずらり揃えた当時の国内での牽引機の例。当時の代表的な機関車はほとんどが牽引の栄誉に預かっている。

■ついに手に入る「夢」

従来Nゲージのオリエントエクスプレス客車は、高価かつ入手難な海外製品しか存在せず、しかも来日した車輌そのものと言える車輌も少なかったことから、国内ファンがそれを再現することは、列車の運行の日々を思い起こすほどに夢のような話であった。

そんな夢が、20年目にしてついにKATOの手によって実現することになった。どんなことを差し置いても、その企画から実現に至るまでの努力に、最大の賛辞を送りたいほどである。

さて製品をじっくり見ていくと、まず大きな特徴として「縮尺」があげられる。通常外国型車輌を製品化するとなれば1:160として設計するのが普通だが、この製品についてはあくまで「国内運転時を製品化」とするため、1:150の日本型機関車や控車と連結して違和感のないよう少々バランスを考慮したスケールとされている。それにより実車の威風堂々ぶりがより強調されているのが嬉しい。

編成はもちろん、国内運行時のフル編成である13輌編成で、オリエント客車に加え、控車として両端に連結されたマニ50 2236とオニ23 1(元ナハネフ23)までもがもちろん加わる。基本7輌セットは両端を控車で挟み、寝台車2輌、プルマン食堂車、プレジデンシャル、荷物車各1輌で構成。これ1本だけでも相当見応えがあるが、フル編成を組むにはさらに増結6輌セットをプラスする。こちらは寝台車4輌、バー・サロン車、スタッフ専用車各1輌という構成だ。

オリエント各車は、その優雅そのものと言える外観、濃紺に彩られたボディを飾る各種のレタリングやライン・エンブレム、深い銀屋根に重厚な連結面など、その全てがぬかりなく再現されている。さらに豪華な内装ももちろんきちんと再現されており、バー・サロン車にはピアノが置かれ、食堂車にはランプシェード(もちろん点灯する)が装備される。

また国内運転用として用意されたTR47台車には、独特の白装飾が加えられており、妻面には2ヶ月間の所属であった「東シナ」標記が再現されているなどの部分も心憎い演出である。

何から何までもがスペシャルな仕上がりとなっていることの逸品。当時を知る人も知らない人も、興味を持たざるを得ないことであろう。

■走り出す「夢」

日本全国を風のごとく駆け抜けたオリエントエクスプレス。それを牽引した機関車も非常にバリエーションに富んだものであった。

基本的に多かったのがやはり、当時の主力であったEF65PF。パリ発東京行列車のアンカーも務めたほか、主に東海道本線を経由する列車で重点的に使用されていた。

交流区間ではED75、青函トンネルではED79、北海道内ではDD51がいずれも重連で使用され、重量も最高レベルとなっていた編成を力強く牽引した。九州ではED76の貨物用試験塗装車がよく任にあたり、日本海沿岸線ではEF81がその雄姿を見せていた。

そして何より白眉は、先にも述べたD51 498。補機として次位にEF58 61を従えて上野駅を出発した雄姿は、とりわけ伝説として語り伝えられ続けている。この仕様のD51 498は、現在ラウンドハウスにて製品化が予定されており、その発売が待たれるところである。

●塗装済完成品

7輌基本セット	16,800円
6輌増結セット	14,700円

2大メーカー競作、383系〈ワイドビューしなの〉

▲KATO製品の最大の特徴は振り子機構を装備すること。機構的にも改良が加えられて非常に滑らかな動作を見せてくれる。

JR東海383系 〔KATO〕〔マイクロエース〕

TEXT：RMM
PHOTO：羽田　洋

■新世代振り子電車・木曽路を走る！

JRグループの発足後、折しも更新期にあたっていた各地区の特急列車において、それぞれの会社や路線の特徴に合わせた新世代の特急車輌が製造され、転換間もない各社のフラッグシップ的存在を担った。

そんな中、JR東海においては気動車特急キハ85系の増備が先行しており、電車特急については後塵を拝していたが、1994年になってついに中央西線〈しなの〉用として、新型振子特急電車・383系が登場。381系に代わって活躍を始めることになった。

車体はステンレス製で、フロントマスクが白塗装の鋼製となるJR東海車輌共通のイメージデザインとなっており、長野方面の先頭車であるクロ383-0にはパノラマタイプの客室が豪華な旅を演出している。

機構的にはMTユニット方式が採用され、さらに編成として6輌基本編成の他に2・4連の付属編成が用意されており、2輌単位での編成増減が自由なシステムとなっている。パノラマクロ以外の先頭車は貫通路付きとなっており、貫通幌によってしっかりと接続される構造となっている。

登場以来381系に代わって〈ワイドビューしなの〉用として活躍しており、最大10輌編成にて活躍中である。

■素晴らしき両雄そろい踏み

実車の人気が高く、Nゲージでの製品化が待望されていた383系が、2008年末ついに製品化。しかもKATOとマイクロエースの競作という、ユーザーにとっては非常に嬉しくも興味深いことになった。ここでは両雄を並べ立て、特徴的な差異を中心にした視点で紹介をしていきたい。

▲こちらはマイクロエース製品の先頭部。もちろんこちらもライトは点灯する。

▲マイクロエース製品の最大の特徴が、開いた状態の貫通扉を再現する交換式パーツ。

まずは先行したマイクロ製品。2・4・6輌の各セットが用意されており、4・6輌セットに動力が装備されている。6輌セットを基本とした編成の他、4＋2の6連でも運転が可能である。

▲流線型と貫通型の先頭部(KATO製品)。ライトの点灯も鮮やか。

さらにマイクロ製品に付属する非常に特徴的なパーツが、貫通先頭車の『開』状態パーツ」である。通常状態と差し替えをすることにより、中間に連結したときの、プラグドアが開いた独特なスタイルが再現できるのである。編成スタイルにこだわる向きには、非常に興味深いパーツと言えよう。

一方のKATO製品は、同じく2・4・6輌の各セットが用意されたものの、動力は6輌基本セットのみに用意される。動力のパワーは申し分なく、1Mでも10輌編成で軽快な走りを見せる。

そしてKATO製品の特徴がなんといっても、同社自慢の「振り子機能」である。実車同様に急カーブを身を傾けながら走行する姿は、同車の魅力を最大限に引き出し、運転の楽しみを存分に味わわせてくれる。

■今宵の注文は…　どちら！？

造形については両社製品とも遜色なく、判定はそれぞれのユーザーに委ねられるところである。ともあれ待望されていたアイテムなだけに、選択肢が多く存在することは、まさに嬉しい悲鳴といったところであろう。

並べて楽しめる車輌もJR東海の同僚からライバルの名鉄まで近年ラインナップが充実の一途であり、華やかな中京圏を存分に楽しんでいきたいものである。

▼マイクロエース製品は振り子機構は持たないが、実車も平野部では機構を動作させないのでそうした面ではリアルでもある。検査時などに見られる2＋4の6連が再現できるのは独自性ある部分。※なお写真の車輌はカプラーなどを加工しており、製品状態とは異なります。

●塗装済完成品

■KATO	
6輌基本セット	18,900円
4輌増結セット	12,075円
2輌増結セット	6,300円

■マイクロエース	
6輌基本セット	18,900円
4輌増結セット	15,225円
2輌増結セット	6,615円

ホビダスショッピングはこちらから！
34000375
（マイクロエース）

汽車旅の魅力、旧型客車

オハ61系〔TOMIX〕

TEXT：RMM
PHOTO：青柳　明（RMM）、羽田　洋

▲ローカル客車列車の中心的な系列として本州以南の各地で広く活躍したオハ61系。茶色いボディに赤く灯るテールライトが郷愁を誘う。

■「あの頃」の汽車旅がよみがえる…

30年ほど前までは、ローカル運用を中心に日本全国で数多くの客車列車が運転されていた。中でも多く活躍していたのが、鋼体化改造車・オハ61系であった。

ルーツは戦後の輸送混乱期。不足する座席車の増備が求められる一方で、老朽化した戦前製の木造客車を多く抱えていた国鉄は、木造車の台枠と台車を利用して鋼製車体を製造する「鋼体化改造」を行なうこととなり、1951年に登場したのがオハ61系。決定版として約2000輌に及ぶ大量増備が行なわれた。

日本全国で活躍したが、基本的にスハ43系やオハ35系よりも一歩設備が劣ることからローカル運用が中心で、車体色も一部を除き大半が茶色のままであった。客車列車の縮小とともに勢力を減らしたが、一部の車輌は国鉄末期まで活躍が見られた。

■数々の新機能と共に新登場

TOMIXでは、メーカー創世期に初の国産製品となるオハ35系を発売以後、こと旧型客車については不思議と製品化が途絶えていた。そしてオハ35系から30年以上の時を経た2008年、21世紀クオリティでオハ61系がリリースされることとなった。

今回製品化されたのは、基本形式であるオハ61・オハフ61及び、合造車のオハニ61・オハユニ61であり、いずれも本州仕様のグループである。

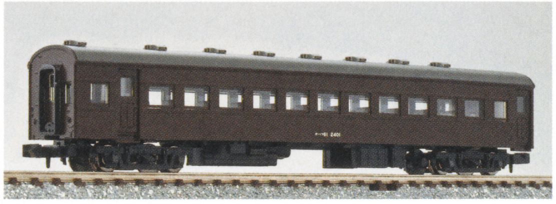
基本的なスタイルは非常に素晴らしく、複雑な形状を見せるデッキドア部分などが的確に再現されている。緩急車のテールライトは点灯し（後方監視窓方のみ）、旅情満点の情景が演出できるほか、ダミーカプラーと端梁パーツによってさらに実感的な「最後尾」を再現することができる。

さらに今回の特徴として、客ドアが「選択式」となっていることがあげられる。整備や更新によって車輌ごとに違う外観のものが付いていたこともある客ドアを、別売りの「交換ドアセット」によって交換することで、ともすれば画一的になりがちな完成品に表情を加えられる、実に嬉しいパーツである。

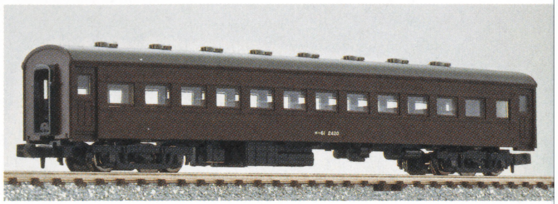
また交換用のボディマウント式TNカプラーとして、初となる「自連タイプ」が用意された。従来の密自連タイプに比べ角のとれたデザインもさることながら、デッキ形状に合わせてコンパクトになった形状や、確実なセンター復元が可能となるコイルばねの採用など、多くの改良点が見られるのも興味深い。

■「自由」な編成で楽しもう

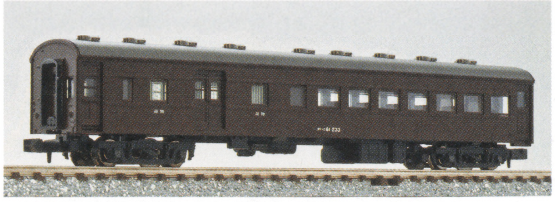
編成が決まっていない客車だけに、模型でも自由な編成を、理想とする形で再現していきたい。61系のみの編成だけでなく、他系列との雑多な編成なども自由に楽しめるのも、客車列車の魅力である。最短、機関車＋オハフもしくはオハニ／オハユニだけでも列車としては成立するので、ミニレイアウトでの活躍も考えてみたい。固定編成の束縛から一歩距離を置き、気ままな模型運転を楽しんではいかがであろうか。



▲オハフ61。



▲オハ61。

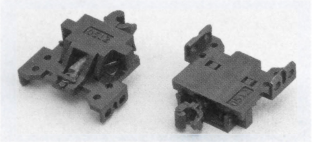


▲オハニ61。

▲オハユニ61。

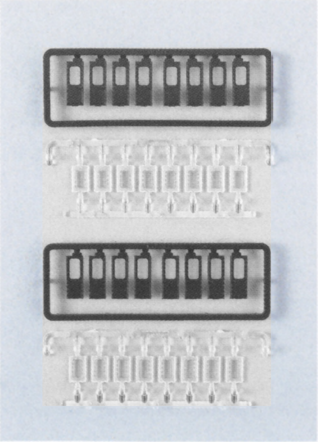
●塗装済完成品

オハ61	1,785円
オハフ61	2,310円
オハニ61	2,520円
オハユニ61	2,520円
交換ドアセット（2種）	各1,575円
自連形TNカプラーSP	1,575円

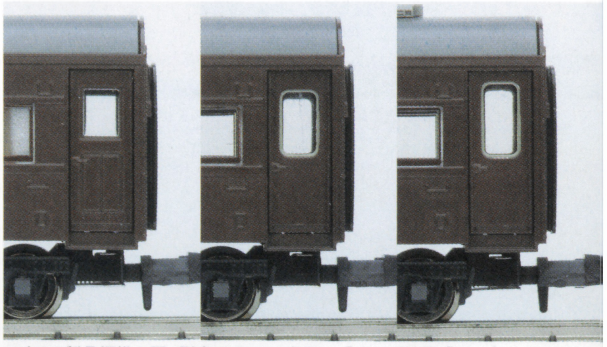


◀別売りの自連形TNカプラーSP。製品は6個入りとなる。

▲左（オハユニ）は製品状態のアーノルトカプラー、右（オハフ）は付属のダミーカプラーと端梁を取り付けた状態。貫通扉は両形式で異なるものとなる。テールライトは消灯スイッチ付き。



◀交換用別売りのドアパーツ2種。



▲左から製品標準の扉、別売りパーツに交換した「Hゴム窓」扉、「Hゴム窓大」扉。

都心地下を横断したステンレスカー

▲中野駅上り方、地下鉄東西線のトンネル入り口付近で行き交う東京メトロ5000系(右)と東葉高速1000系。※なお写真の車輌は色入及び加工を施しており、製品状態とは異なります。

東京メトロ5000系（東西線）営団5000系（北綾瀬支線）東葉高速鉄道1000系〔マイクロエース〕

TEXT：RMM
PHOTO：根本貫史、羽田　洋

■経済成長を支えた時代の申し子

東京の中心を文字通り東西に横断する、東京メトロ東西線。その第一期線として開業した高田馬場～九段下間に投入された新型車輌が5000系であった。

将来の国鉄線との相互乗り入れに対応すべく、営団地下鉄初となる20m車として製造された5000系は、先に登場した日比谷線用3000系の丸みを帯びた先頭形状から一転し、軽く折り線のついた切妻的な先頭形状となり、車体全体を飾るコルゲートと共に、実用性を重視したスタイルとなっていた。路線の延長と共に編成・連結輌数は増加を続け、一部は千代田線でも運転されるなどの活躍ぶり。最終的に428輌(事故廃車2輌含む)の一大勢力が主力として活躍を続けた。

その後05系の登場により徐々に勢力を縮小し始めたが、一部は冷房化や機器更新を重ねて活躍を続けた。2007年に東西線からは引退。現在は千代田線の北綾瀬支線にて6輌が活躍を続けている。

そんな歴史のうちで特筆されるのが、1996年に東西線の延長区間として開業した東葉高速鉄道に、同社開業用として5000系10連12本が譲渡され、同社1000系となって活躍を始めたこと。徹底した更新工事が行なわれ、オレンジの帯や交換されて大窓となったドアなどによってすっかり見違えるような印象となっていたことも思い出深い。譲渡前と変わらず東西線をメインに運転されていたことも面白く、2006年に後継の2000系に置き換わるまで、一風変わった第二の人生を過ごした。

その他の路線への譲渡は実現しなかったが、メトロ車と東葉車の一部が海を渡り、インドネシアにて現在も活躍を続けている。

▲営団／メトロと東葉の違いだけでなく、アンテナの有無などもそれぞれで異なっている。

■その歴史を的確に再現

そんな、東京で暮らす人間にとっては非常になじみ深かった5000系が、マイクロエースによって渾身の製品化の運びとなった。

まずメインとなる東西線仕様は、東京メトロに移管後も活躍した冷房化仕様の63番編成がプロトタイプで、増備や更新によって戸袋窓などに変貌を見せる、特徴的な編成スタイルが再現されている。末期の5000系の面白さを知る向きには、非常に興味深い製品と言えるだろう。

千代田線の綾瀬～北綾瀬間の支線で活躍した5000系(現在はステンレス車からアルミ車に交代)を再現した北綾瀬支線セットは、1990年代半ば頃の冷房改造仕様を再現しており、営団仕様の各種標記が上品に再現されている、小粒だがぴりりと決まった一品である。

そして全く面目を一新した、東葉高速1000系仕様。交換されたドアや黒で大胆に彩られた前面などで、元が同じ車輌とは思えないほどの変貌ぶりを的確に再現しており、コレクションに加えたくなる好製品である。

■「東京」の屋台骨を再現したい

造形は申し分なく、特徴的なコルゲートも繊細に再現され、「昭和のステンレス車」の存在感は抜群である。東西線は地上区間が多く、高スピードで高架線を疾走する快速列車などを再現するのもいいだろう。

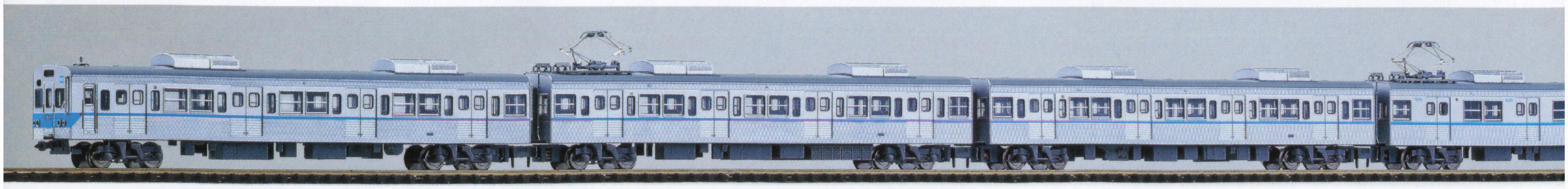
競演する仲間も05系やJR301系などの面々が多く用意されており、東京を縁の下で支える地下鉄の息吹をぜひ演出してみたいものである。

●塗装済完成品

東西線基本6輌セット	18,375円
増結4輌セット	10,500円
北綾瀬支線3輌セット	12,600円
東葉高速基本6輌セット	18,375円
増結4輌セット	10,500円

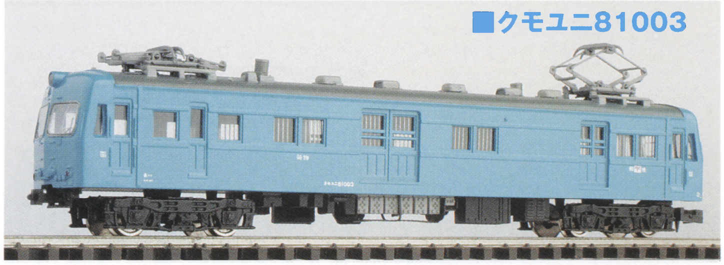
▲東葉高速鉄道1000系。

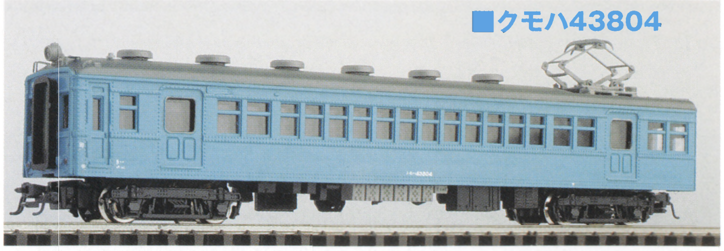
▲営団5000系(北綾瀬支線)。

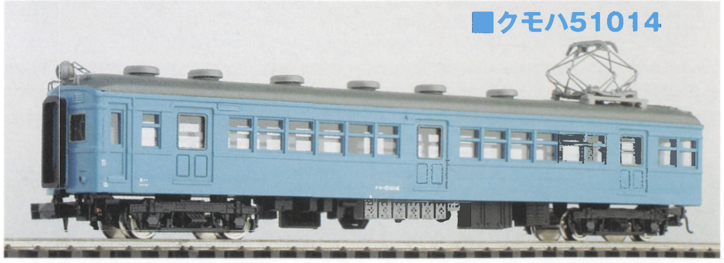


▲東京メトロ5000系(東西線)。一部車輌の戸袋窓がない点も忠実に再現している。

RMMM SPECIAL PRODUCT


■クモユニ81003

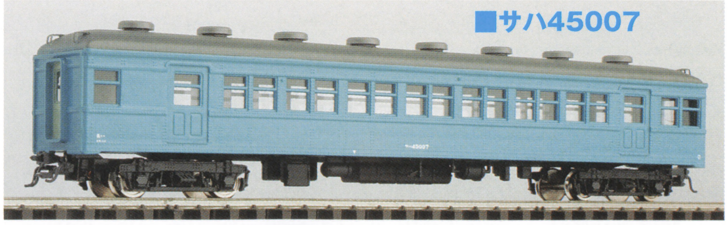

■クモハ43804


■クモハ51014

Nゲージ旧型国電モデラーの第一人者、野々村宏氏監修。グリーンマックス製の旧型国電キットをベースに、台車、パンタグラフ、動力ユニットなど基本的なパーツはもちろん、ワイパー、信号炎管、避雷器、荷物室保護棒などディテールアップパーツをも豊富にセット。パーツはKATO、TOMIX、タヴァサホビーハウス、モリタ、ガチョウハウス各社製品から適材と考える品を選びアソートしました。また、キットの工作を段階的に解説する製作ガイドCD-ROMも付属。

5輌トータルキット：19,800円 ホビダイ 51761350

■クハ55437


■サハ45007

▲トータルキットには、野々村宏氏自身の作業による製作ガイドCD-ROMも付属。右はその一例。

そのほか特製完成品も用意。

動力車をクモハ43とした5輌セット：57,800円 ホビダイ 51765573

動力車をクモユニ81、クモハ43とした5輌セット：57,800円 ホビダイ 51765574

STOP PRESS Nゲージ

最新製品情報ダイジェスト

このコーナーでは「Nゲージ大図鑑2009」収録対象期間後となってしまう2008年12月末から2009年2月までに発売された最新のNゲージモデルをダイジェストとして紹介します。製品紹介の詳細は『RM MODELS』163号及び164号各号をご覧ください。

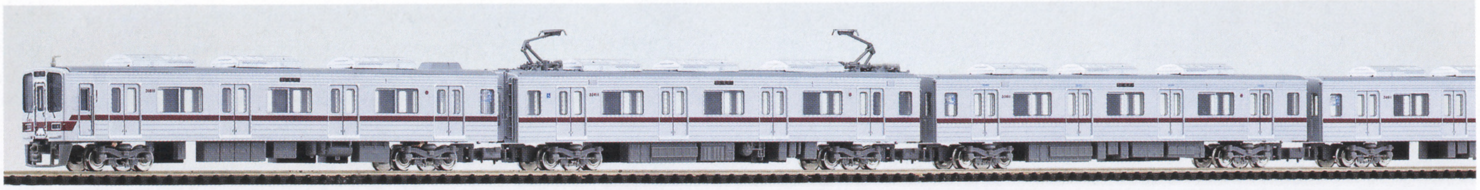
（特記以外は塗装済完成品。価格は税込です。）

TEXT：RMM
PHOTO：青柳 明（RMM）・羽田 洋

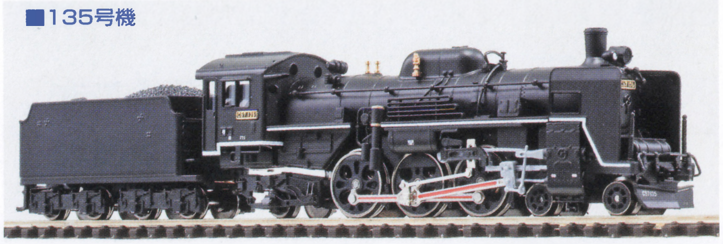
このコーナーのホビダスNo.の付く商品は全て鉄ホビダイレクト取扱商品です。

▲〔マイクロエース〕小田急8000形　小田急最後の鋼製通勤車。近年改装されたシングルアームパンタ仕様と、1984年に登場し注目されたカラフルな「イベントカー」仕様の2種。「シングルアームパンタ」仕様は6輌セット（19,425円）と4輌セット（15,225円）。「イベントカー」仕様が6輌セット（19,950円）と4輌セット（15,750円）。

ホビダスショッピングはこちらから！ ホビダス 35000392



▲〔グリーンマックス〕東武30000系　東京メトロ半蔵門線・東急田園都市線乗り入れ機器を搭載した31611F以降の編成をプロトタイプとしたモデル。6輌セット（24,990円）、4輌セットモーター付（18,900円）、同じくモーターなし（15,540円）。

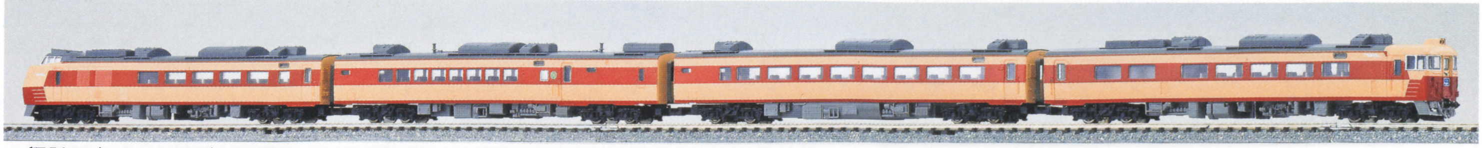


▲〔マイクロエース〕C57 180（門鉄デフ）／135（さよならSL列車牽引機）　1975年の国鉄最後の蒸機牽引による定期旅客列車を引いた135号機と、磐越西線で〈SLばんえつ物語〉牽引機として活躍中の180号機の門鉄デフを取り付けた姿の2種。各10,290円。

ホビダスショッピングはこちらから！ ホビダス 35000381（180号機） ホビダス 35000382（135号機）

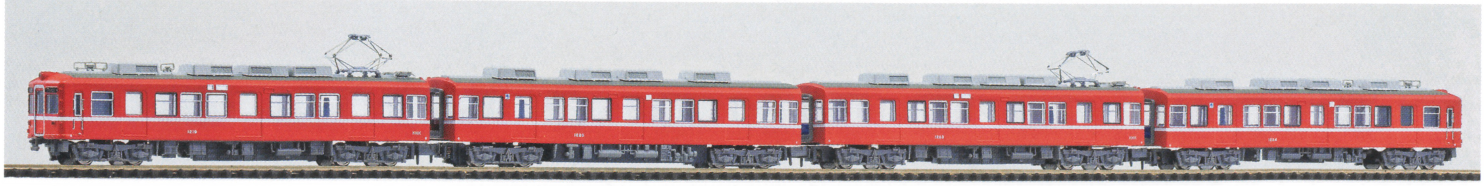
▶〔マイクロエース〕クモハ123
国鉄からJRへの移行期、郵便・荷物電車を改造して作られた地方線区用の両運転台車。阪和線羽衣支線と可部線及び宇部線で活躍した車輌の2種（宇部線では入線後に貫通化改造）。阪和線羽衣支線3輌セット（16,905円）、前面非貫通2輌セット（12,180円）。

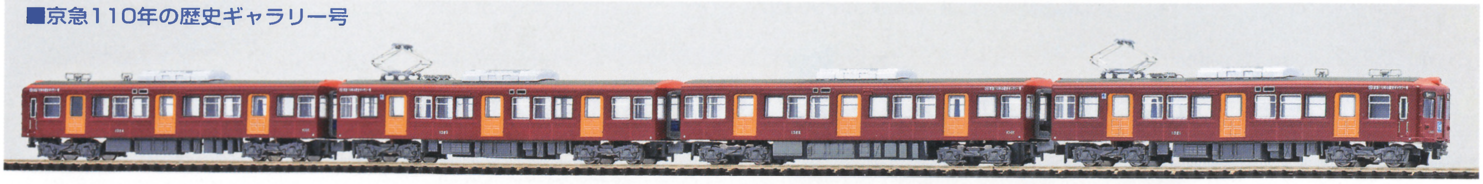
ホビダスショッピングはこちらから！
ホビダス 35000395（前面非貫通）
ホビダス 35000396（羽衣支線）



▲〔TOMIX〕キハ183系100番代　100番代登場時の短期間のみ見られた、前面下半分が赤色の姿としたバリエーション限定モデル。4輌セット（15,540円）。

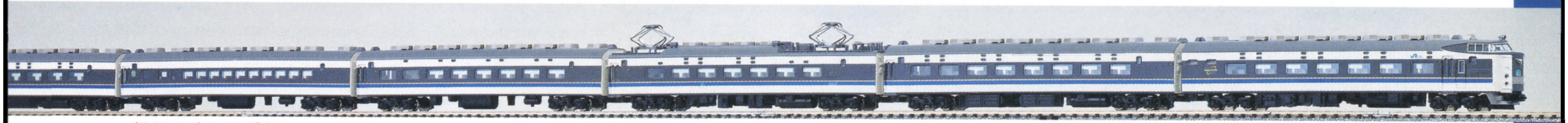
ホビダスショッピングはこちらから! 35000393





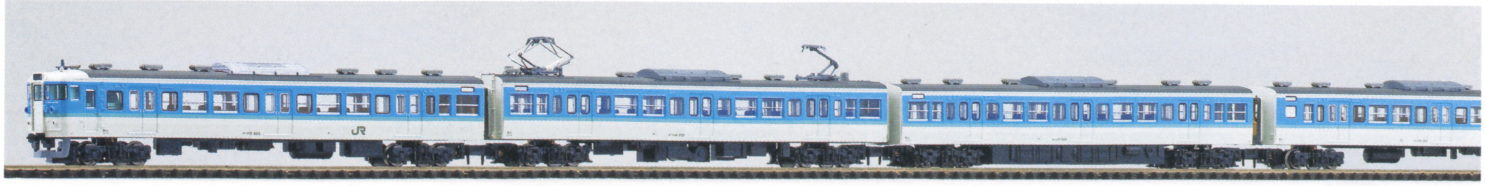
▲〔マイクロエース〕京急1000形　マイクロエース製京急1000形のバリエーション。一般色の車輌は分散式クーラーの冷房改造車、4輌セット（15,960円）。ラッピング車は京浜急行の創立110周年を記念したもので、朱色に窓廻りが黄色の「ありがとうギャラリー号」6輌セット（20,055円）、マルーンに肩部は朱色、扉は木目調の「京急110年の歴史ギャラリー号」4輌セット（16,590円）。

ホビダスショッピングはこちらから! 35000387（冷改車） 35000389（京急110年の歴史ギャラリー号） 35000388（ありがとうギャラリー号）



▲〔TOMIX〕583系〈きたぐに〉　非常口の埋込みや、銀色の特急シンボルマークなど、実車のディテールに合わせ2003年に発売済のモデルをリファインした製品。基本6輌セット（23,100円）、増結4輌セット（15,645円）。

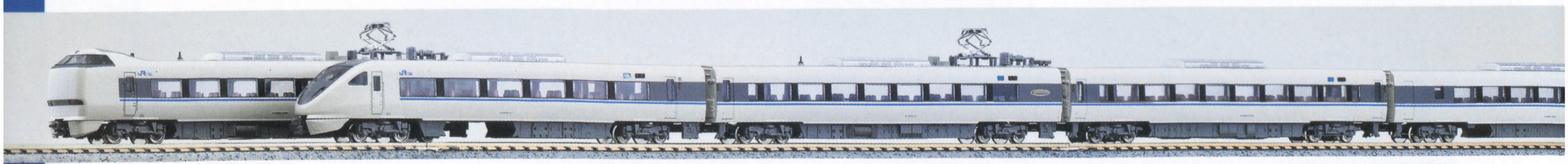
▶〔河合商会〕ホキ10000（太平洋セメント）
セメント会社の合併により所有者標記を新会社名としたバリエーション。秩父鉄道武州原谷駅常備とする石炭専用車の3輌セットと、三岐鉄道東藤原駅常備とする石灰石専用車の3輌セットで各4,725円。



▲〔マイクロエース〕113系700番代（湘南色）／115系300番代（新信州色）　湖西線で活躍する113系唯一の寒冷地型700番代湘南色と、中央・篠ノ井・信越の各線で活躍するライトグレー基調の115系300番代新信州色。6輌セット各19,845円。

ホビダスショッピングはこちらから! 35000399（113系） 36000300（115系）

▲〔MODEMO〕小田急20000形RSE〈あさぎり〉　2006年に発売済の製品がリニューアルされ再登場。ステッカー式だった側面の百合マークと追加された窓下の新ブランドマークが印刷済となる。付属ステッカーも刷新。7輌セット（20,790円）。



▲〔KATO〕JR西日本683系〈サンダーバード〉 2004年に発売済の製品がリニューアル。フライホイール搭載、DCCフレンドリー化、サスペンション機構などKATOの新標準機能に、車内色の再現、客扉脇の号車表示の印刷済化を施している。6輌基本セット（17,220円）、3輌増結セット（8,400円）。

▲〔TOMIX〕E233系（中央線・H編成） TOMIXのE233系（中央線）のバリエーション。モデルは6連+4連のH編成で、東急車輌製をプロトタイプとしたもの。6連のセットA（18,270円）、4連のセットB（14,490円）。 ホビダスショッピングはこちらから! 35000397

■オレンジ

■クリーム

▶▲〔河合商会〕Cタイプディーゼル＋貨車セット
Cタイプディーゼルにタキ5450、タキ7750を組み合わせた小運転に向いた貨物列車セット。機関車の色と組み合わさる貨車形式で3種用意される。各6,825円。
ホビダスショッピングはこちらから! 36000302

■ブラウン

■ホキ2500 奥多摩

■ホキ2500 美濃赤坂

■ホキ9500 奥多摩工業

■ホキ9500 小野田セメント

■ホキ9500 河合石灰工業

■ホキ9500 矢橋工業

■ホキ9500 日本石油輸送

■ホキ8500 三菱鉱業セメント

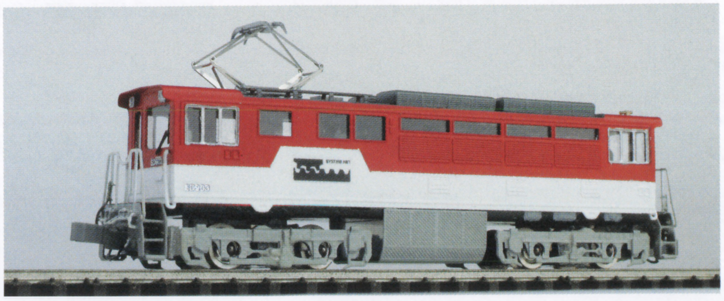
▲▶▼〔河合商会〕ホキ2500／ホキ8500／ホキ9500
石灰石輸送用のホッパ車3形式。JR所有のホキ2500、私有車のホキ8500、9500。各社名、標記替えなどで9アイテムを用意。各3輌セット（4,830円）、美濃赤坂、河合石灰工業、矢橋工業はカバー付（5,040円）。そのほか10輌セットも奥多摩工業（16,380円）と矢橋工業（16,800円）を用意。
ホビダスショッピングはこちらから! 36000304（ホキ9500）

■ホキ8500 三菱マテリアル

■ホキ9500 奥多摩工業10輌

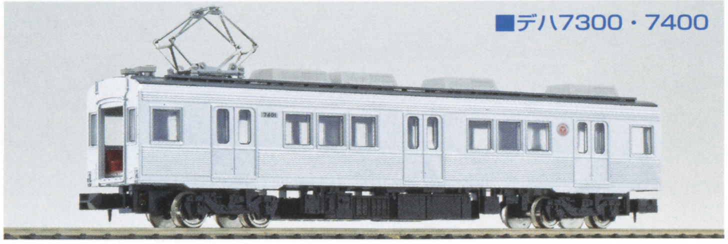
■ホキ9500 矢橋工業10輌

▶〔クラフト工房ていくわん〕大井川鐵道ED90
1990年、ダム建設により路線変更と同時に出現したアプト式区間用の後押し機関車。モデルはステンレス製のエッチング折曲げ済ボディキットで、下廻りは鉄コレ動力を流用する。キット（9,240円）。



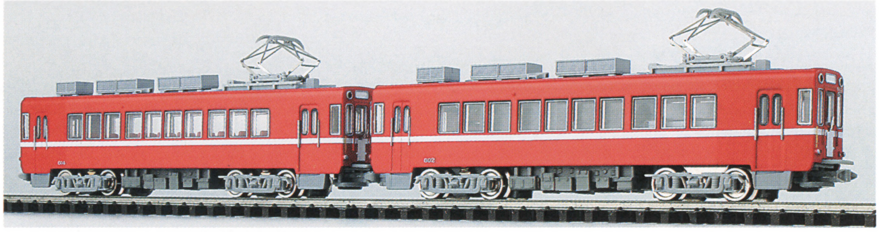
▲〔CROSS POINT〕名鉄6000系1次車　3次車につづいて1次車と2次車が製品に加わった。基本的に3次車と同じスタイルだが前面貫通扉廻りなどのモールドが変更されているほか、中間車のみの2次車も登場。塗装済キット1次車4輌セット（13,650円）と同じく未塗装キット（11,550円）、2次車中間2輌セット（6,930円）と同じく未塗装キット（5,880円）。

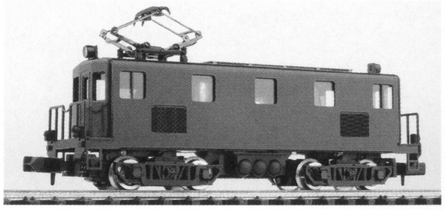
◀〔PRO-HOBBY〕木曽森林鉄道C4型
同社キャラメル-N動力を使用し、木曾森林鉄道で活躍したC4型ディーゼル機関車をモチーフとたセミスケールモデル。5,250円。



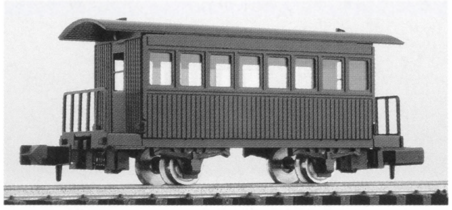
▶〔CROSS POINT〕東急7200系／7600系タイプ
クロスポイントの東急7200系が、待望の中間車デハ7300・デハ7400を新規製作して再登場。7200／7600系3輌セット（各8,925円）、単品キット、デハ7200（3,360円）、デハ7300／7400（3,150円）。

▶〔MODEMO〕名鉄モ600形(急行塗装)
1970年新製当時、美濃町線から田神線を経由し新岐阜へ乗り入れる急行に使われていた姿を再現したモデル。前面Hゴムはグレー、「乗降客優先」標記は黄色となる。モーター付（7,560円）、モーターなし（4,095円）。



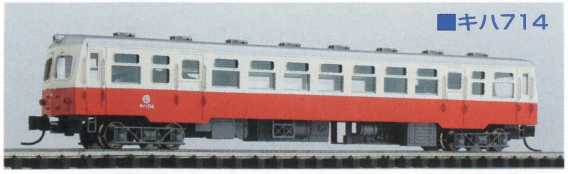


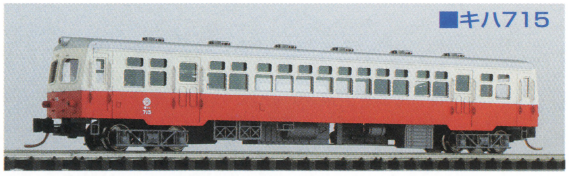
◀〔アルナイン〕とても簡単なデッキ付電機(私鉄戦後型12m級)
「とて簡」シリーズの「デッキ付電機」をベースに、鉄コレ12m級動力に対応するため車体を長くしたもの。同時に対応パーツの床下タンク、屋上ランボードも発売。キット（2,980円）。

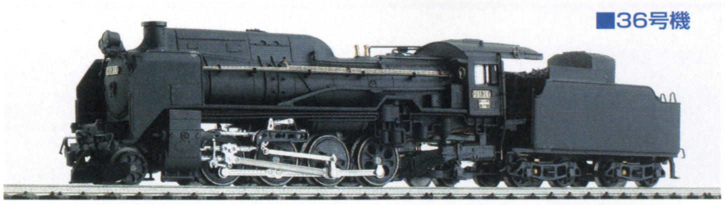


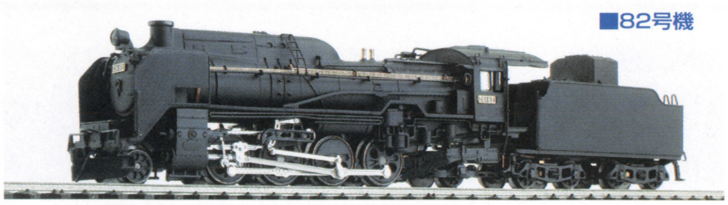
◀〔アルナイン〕とても簡単な木造2軸客車
古典的な2軸客車。キット（1,680円）の床下と車輪は河合商会の2軸貨車のものを流用するほか、純正の床板パーツ「下まわりキット」（600円）が登場。

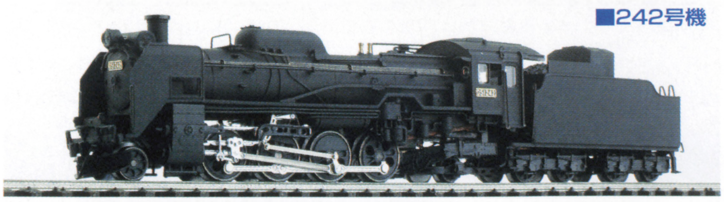
▶〔ワールド工芸〕鹿島鉄道キハ714・715
夕張鉄道から譲渡された湘南スタイル両運転台型気動車。側面客室窓の違いにより2種類が用意されている。キット（各17,325円）。

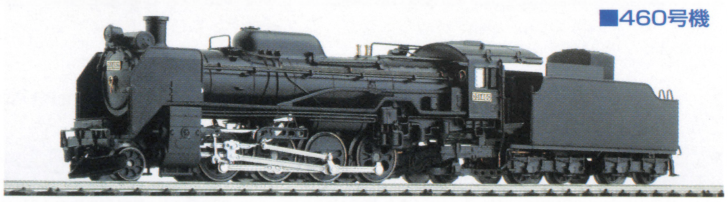




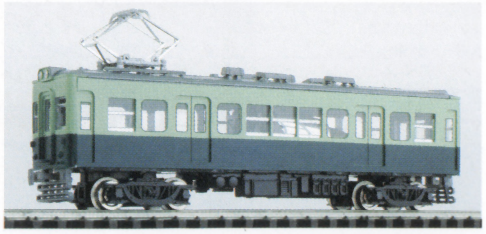








▲〔リアル・ライン〕D51 36／82／242／460号機
36号機：酒田機関区時代・東北装備の1次型ナメクジ、82号機：新津機関区時代・ドーム手スリ変形ハンドレールー体型ナメクジ（各29,610円）242号機：弘前機関区時代・密閉キャブの東北装備・標準型。460号機：盛岡機関区時代・煙室扉エプロンなしの標準型（各29,800円）。



◀〔南洋物産〕京阪大津線両運車
グリーンマックス製京阪600形キットを利用して350形など両運車を製作するアクリル製側面コンバージョンキット。気動車タイプの前面とドアステップなども含まれる。1785円。

▲〔TOMIX〕0系2000番代　ロングセラーモデルのリニューアル製品。新たにカプラーをリング・フック式の通電カプラーへ変更。従来省略されていた車端ドアの窓ガラスも装着されるようになった。基本4輌セット（13,440円）、2輌増結セットA（3,990円）、4輌増結セットB（12,390円）。

■一般車

■BLUE SKY TRAIN

▲〔マイクロエース〕京急2100形　京急の最上位車種でモデルは1998年登場の2109編成をプロトタイプとした一般車と特別塗装の2157編成「BLUE SKY TRAIN」の2種。8輌セット（各24,780円）。 ホビダスショッピングはこちらから! 36000317（BLUE SKY）

▲〔KATO〕JR東日本E531系　KATOのE531系がベストセレクションシリーズとして販売形態を変更して再登場。グリーン車1輌入りの4輌基本セット（11,550円）。4輌増結セットA（8,505円）、2輌増結セットB（3,150円）という構成。予算や好みに応じたパターンを選べる。 ホビダスショッピングはこちらから! 36000320

▶〔TOMIX〕ED75 700番代（前期型）
奥羽本線秋田～青森電化時に登場した番代。塩害対策で屋上の機器を減らし下枠交差型パンタが特徴。製品は1971年製の701～734号機がプロトタイプで、総数91輌中、34輌がED79へ改造された（6,720円）。
ホビダスショッピングはこちらから! 36000313

■TV版

■劇場版

▲〔マイクロエース／Marmit〕「銀河鉄道999」（劇場版／TV版）　人気アニメ「銀河鉄道999」の劇中列車を再現した製品のリニューアル品。今回全面的に見直され基本・増結セットの構成に変更。3等車は43系となり、両セットで形式の違う食堂車を追加。劇場版の牽引機C62はダークグレー、劇場版6輌基本セット（27,300円）、6輌増結セット（16,800円）。TV版のC62は緑がかったメタリックグレーとし各所にSFアニメらしいマークが印刷される。また戦闘車輌はTV版のみ組込み。TV版7輌基本セット（29,400円）、4輌増結セット（10,500円）。

▶〔TOMIX〕ベーシックセットEX
0系新幹線／DD51 旧型客車・貨車
TOMIXベーシックセットシリーズの上級製品「EX」の新バリエーション。小判型エンドレスに待避線を持つレイアウトが可能。含まれる車輌は「0系新幹線」と「DD51 旧型客車・貨車」の2種。後者のDD51…セットでは1つの機関車で旅客列車と貨物列車の両方を楽しめる。各31,290円。
ホビダスショッピングはこちらから!
36000314（0系）
36000315（DD51）

■ベーシックセットEX「0系新幹線」

■ベーシックセットEX「DD51 旧型客車・貨車」

レイアウト丸ごとディスプレイ…！

▲レイアウトは見下ろして鑑賞することが多いが、このディスプレイキャビネットでは思い切って高い位置にレイアウトをセッティング。空いた下部を収納に使うことで空間を有効活用している。

株式会社充英アート

「ディスプレイキャビネット」シリーズ

TEXT：RMM
PHOTO：伊場光男、青柳　明（RMM）
撮影協力：加減孝司、KATO

静岡県袋井市の家具メーカー「充英アート」は、創業48年の伝統あるメーカー。最近はホビー系に特化したディスプレイ家具に積極的に取り組んでおり、高い技術・ユニークな発想で意欲的に新製品を開発している。そんな同社から鉄道模型用として登場したのが、デスクトップレイアウト（※）のディスプレイ・運転が楽しめる「ジオラマディスプレイキャビネット」。上段にレイアウトを置けるクリアースペース（平面寸法は600×900mm）、下段には便利な引き出しと、収容力たっぷりの収納棚という構成で、もちろんキャスター付きなので普段は壁際に避けておくことも可能。大人が腰掛けた時の「目の高さ」に、レイアウトの地面が来ていることが最大の「売り」。あたかも自分がその縮尺に縮んでその世界に入り込んでしまったような臨場感が味わえる。

さらに第2弾として、車輌ディスプレイ棚「トレインディスプレイキャビネット」も発売。Nゲージなら20m級車輌6連が編成状態で最大15本展示可能。下段は収納棚となっており、セットケースや雑誌類を収められる。スリムなため壁面沿いのちょっとしたスペースでも設置可能なのも嬉しいところだ。

両製品とも、作り・仕上げいずれも良好で、上質なホビー空間を作り上げるのに一役買ってくれるのは間違いなしである。「Myホビールーム」を検討中の方、ぜひこれらの家具も視野に入れてみてはいかがだろうか。

※最新のデスクトップレイアウト製品はフレーム廻りが拡大されたため収納できません。

▲レイアウトサイズが900×600mmであれば、デスクトップレイアウト以外でももちろん収容可能。

●ジオラマディスプレイキャビネット
（99,800円 送料・税込）

▲本体サイズは、幅1000×奥行670×高さ1370mm。表面は革シボレザー調仕上げで、色調はキャラメル、ダークブラウン（サンプル）、ブラックから選択可能。レイアウトをカバーするのは高品位アクリル製のクリアーカバー。

●トレインディスプレイキャビネット
（68,000円 送料・税込）

◀本体サイズは、幅894×奥行290（展示棚部分は150）×高さ1746mm。表面仕上げ・色調等は「ジオラマ～」と同様。なおこちらはキャスターは装備しない。

●ディスプレイキャビネットシリーズは全て受注生産です。お問い合わせは下記までお気軽に！　製品詳細は下記ホームページ（ジャジャン）にてご覧いただけます。また商品の現物をホビーセンターカトー東京・大阪両店にて展示中です。

http://jajan.co.jp　フリーダイヤル：0120-600875　なお納期は約1ヶ月以内となっています。

A Train in the Scenes

RMM誌面を飾った名シーンから

本誌巻頭記事でご覧に入れたように、Nゲージの魅力はそのサイズの小ささゆえ、レイアウトが比較的容易に作れることにあります。普通の完成品モデルも、作り込んだ情景の中に置けば、実物さながらのリアリティを見せてくれるものです。そこでここではRM MODELS誌面を飾ったNゲージの情景写真から傑作選グラフをお届けしましょう。さああなたも情景の中に車輌を置いてみませんか――。

PHOTO：青柳 明（RMM）、羽田 洋、金盛正樹

※本記事の写真は、RMM掲載の『NEW MODEL PREMIUM』欄からの再録です。

※車輌製作、ジオラマ製作のクレジットは、再録につき割愛させていただきました。

※写真中の車輌は、一部加工・色入れ等を施してあり、製品状態ではないものも含まれます。

JR四国8000系

四国の鉄道網は高速道との厳しい競争を強いられているが、
JR四国の切り札として投入された同社初の特急電車8000系は、
高度な制御式振り子機構により急曲線のハンデを克服。
本州及び高松と松山を結び今日も軽やかなステップを踏み続ける…。〔マイクロエース製品〕

N700系

最初の新幹線0系が登場して40年余り。
新幹線のフォルムはここまで進化した。
折りしも2008年12月には最後の0系3編成が引退。
後は任せて——
いつか偉大な先輩を越える日を夢見て。〔TOMIX製品〕

E233系

首都圏でJRだけでなく私鉄にまで波及した
一大グループE231系。
その正当な後継車となるのがE233系だ。
長く国鉄型の201系が活躍した中央快速線や
青梅・五日市線を早くもほぼ制圧。
もはやメガロポリスの
表情の一部になりつつある存在だろう。
〔KATO製品〕

キハ35系

高度成長期、まだ電化が都市近郊でも行き渡っていない頃、
通勤型ディーゼルカーというカテゴリーが存在した。
機能に特化した四角四面のボディに外吊り扉、
無論シートはロングシート。
あふれんばかりの通勤通学客を乗せて走った。〔KATO製品〕

都営5300

京急線、都営地下鉄浅草線、京成線、北総線は
我が国でも有数の多様さを持つ相互乗り入れ路線。
都営5300形はその要に位置する系列で、
東は成田市･印西市、西は横須賀市や羽田空港まで八面六臂の活躍中。
〔マイクロエース製品〕

スカイライナー

我が国最大の国際線ターミナル、新東京国際空港。
そのアクセス鉄道として老舗の看板を掲げるのが京成電鉄が誇るAE-100形だ。
エアライナーに負けない派手なフォルムとカラーリングで、都心と海外を結ぶ。〔マイクロエース製品〕

パノラマカー

ついに昭和の巨星が墜ちた…。
私鉄特急の代名詞的存在でもあった名鉄7000系パノラマカー。
経年を考えれば無理はないが、その引退はやはり寂しさを感じさせるものだった。
スーパースターよ、永遠なれ…。〔TOMIX製品〕

阪急8300

私鉄界最大級のターミナル、阪急電鉄梅田駅。
その1・2号線に入線しているのは8300系3次車だ。
長い増備期間中に顔の造作が度々変わったが、
落ち着いた阪急マルーンのコスチュームだけは
永遠に変わらないのかもしれない。〔グリーンマックス製品〕

京急2100

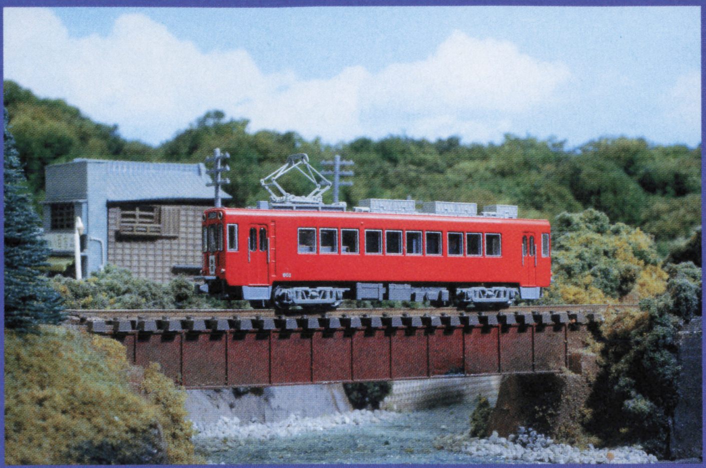
京急伝統の2扉クロスシート快特車2100形。
伝統の赤だけでなく、1編成だけブルーが交じっている。
赤と青のコントラストが湘南を鮮やかに彩る。〔グリーンマックス製品〕

ED73

鹿児島本線の「ハト胸」スターと言えばこのED73を思い出す。
初期の交流電化を支えた立役者にして、
ブルトレから貨物列車まで広く活躍。
ある時期の九州北部には欠かせない芸達者な存在だ。〔KATO製品〕

EF66

国鉄時代から活躍する強力機EF66。
近年は更新を受けて新たな塗装となるものも増えてきた。
斬新なプロポーションは、
いまだに何に対しても引けを取らない。〔TOMIX製品〕



名鉄モ600

かつて岐阜に美濃町線という魅力ある路線が存在した。
モ600は複電圧対応の機構によって
新岐阜駅から美濃町線への直通運転に用いられた電車。
独特な「馬面」の前面と、古風な台車廻りが電車ファンにはたまらない。
〔MODEMO製品〕

タキ5450

黄色くて短いタンク車、タキ5450。
貨物列車に入っているととても引き立って見える形式だ。
このタキはどこの会社所有だろう?〔河合商会製品〕

江ノ電新500

江ノ電に颯爽と登場した新車500形。
初代をほうふつとさせる丸っこいフォルムに伝統の江ノ電カラーを纏う。
古都と海と日常を結んで今日ものんびり走っているはずだ。
〔MODEMO製品〕

シキ810

めったに見られない鉄路のジャイアント、それが大物車・シキだ。
シキ810は平成生まれで独特のブルーの塗色を身に纏う。
多足類を思わせる足廻りは1軸ずつが巨体の重さを支えているのだ。
〔マイクロエース製品〕

蒸気機関車
STEAM LOCOMOTIVES

実車の現役引退から30年以上の時を経てなお、いまだに高い人気を誇る蒸気機関車。Nゲージの世界においてもその存在は常に輝いています。2008年のNゲージ界では完全新規でリニューアルされたKATOのC62が注目を集め、またマイクロエースは既発売の各形式を再生産に際して積極的に改良するなど、活発なリリースが見られました。また金属製品も多く発売され、工作を楽しむ層や、よりリアルな実感を求める層からの支持を集めています。

ベーシック編

C53
43(流線型)
45(デフなし)
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 34000314(43号機)

★マイクロエースのC53のうち2タイプが改良品となって再登場。

★プロトタイプは流線型カバー付きの43号機と、梅小路蒸気機関車館に残る45号機。

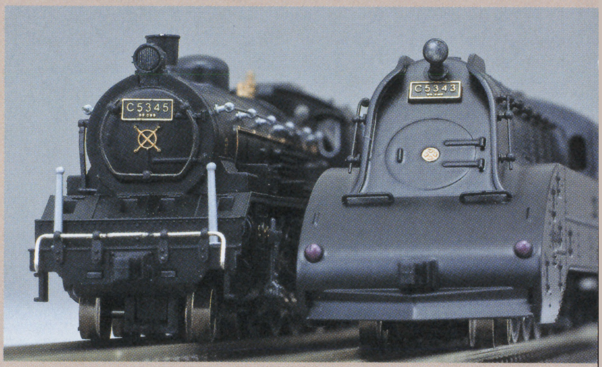
★製品は2001年に発売されたものの改良再生産品。45号機は前回黒一色のプレーンな仕様だったが、今回は梅小路での保存機仕様とされ、各所に装飾の施された華やかな姿となった。併せてヘッドライト形状の改良も行なわれている。

★43号機もロッド、テールライトに色差しが施され、アクセントとなっている。

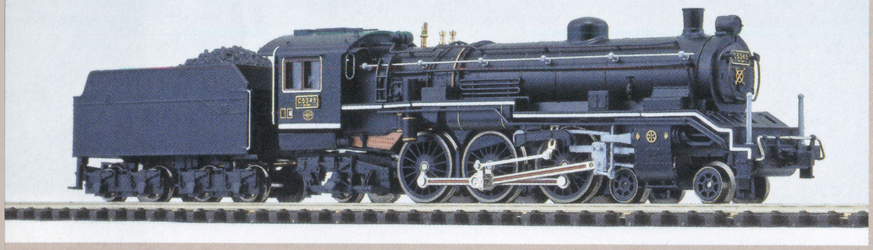
★ナンバープレートは今回から形式入りに改められた。所属標記はいずれも「梅」が印刷済。45号機のみ重連用アーノルトカプラーが付属。

【価格】

●塗装済完成品:
各10,290円

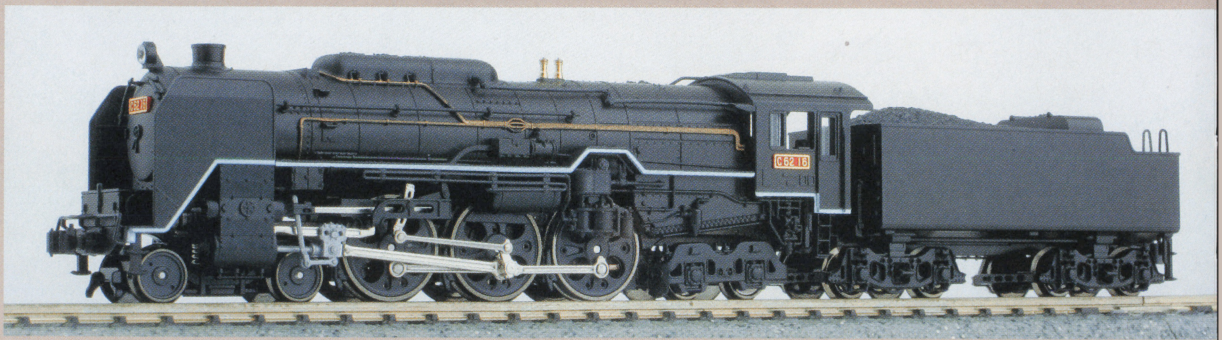


■45号機(デフなし)



■43号機(流線型)

C62
(東海道型)
〔KATO〕



★かねてより再販が熱望されていたKATOのC62が、完全新規製作にて堂々の復活。さらに、本製品との組み合わせにベストマッチする特急〈つばめ〉編成も同時発売される。

★赤いナンバープレートとランボード側面に奢られた白帯が特徴の「東海道形」を模型化。

★力強いC62のスタイルを美しくまとめ上げた好印象なモデルと言える。別パーツや彫りの深いモールド、塗り分けが駆使されていて立体感は抜群。

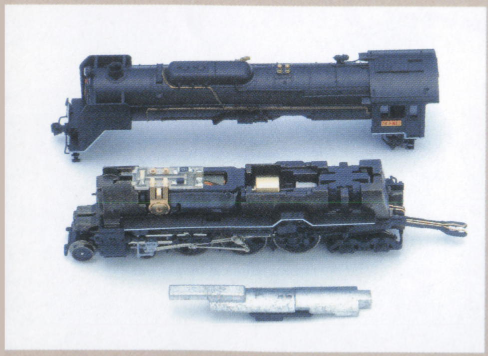
★動力はフライホイール付き小型ユニットをボイラー内に完全収納。デフォルメのないキャブインテリアを実現している。

★ライトは前進時のみ点灯で、煙突を回転させることにより消灯も可能となる。

★ナンバープレートは選択式となっており、16・17・35・36号機が付属。その他〈つばめ〉〈はと〉のヘッドマークを好みに応じて取付可能。

【価格】

●塗装済完成品:11,550円



▲モーターを前側に置いて後方にシャフトを出す動力構成。ライトはLED化。

C57 180
(門鉄デフ付)
〔KATO〕

★〈SLばんえつ物語号〉の牽引機C57 180に期間限定で見られた門鉄デフ付きの姿を再現した製品がKATOから登場。

★実車は2007年10月、JR発足20周年記念企画の一環として門鉄デフに換装されたもので、同月の2週間余りの間、この姿で〈SLばんえつ物語号〉牽引に充てられた。その際の反響から、翌2008年春にも約1ヶ月間、門鉄デフで活躍している。

★デフレクター以外の仕様は発売済のC57 180に準じ、重連用カプラー、テンダー用アーノルトカプラー、別パーツの汽笛が付属。ナンバープレートも同様で170・177・180・186の4種が含まれる。

★黄色地の〈SLばんえつ物語号〉、2007年10月に運転された〈SLえちご日本海号〉のヘッドマークが付属。

【価格】
●塗装済完成品：9,240円

C62 18
〔KATO〕

★先に完全リニューアルを果たしたKATOのC62に、ツバメマーク入りの仕様が追加。

★ツバメマーク入りのC62は2号機が有名だが、18号機は2号機が宮原機関区で東海道系統の上り特急に充てられていた頃、同じく下り特急運用を担当していた名古屋機関区で同様にツバメマークを付けられたもの。ツバメの頭が下がり気味に付けられていたので「下がりつばめ」と呼ばれ、知る人ぞ知る存在だった。後年このマークは取り外されている。

★製品はC62(東海道型)をベースとし、ツバメマークを印刷済としたもの。ナンバープレートも18号機が取付済となる。客車は前回、東海道型に合わせて発売されたスハ44系〈つばめ〉編成が適合する。

★基本的な仕様は東海道型と同様で、

ヘッドライト点灯。交換用アーノルトカプラー、〈つばめ〉〈はと〉のヘッドマークが付属。

【価格】
●塗装済完成品：11,970円

C62 2／C62 3
(函館本線・小樽築港機関区)
C62 15
(急行〈ニセコ〉最終牽引機)
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 29000312(3号機)

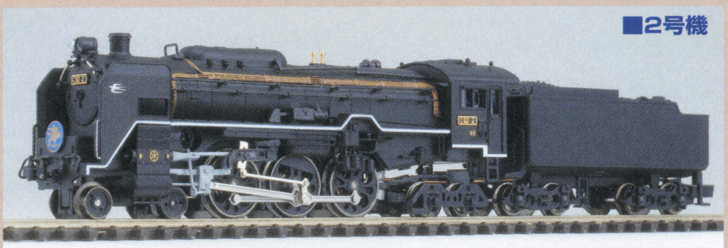
★C62牽引の最後の優等列車、急行〈ニセコ〉。蒸機牽引最終日に運転された編成を再現するモデルが登場。

★函館～札幌間を函館本線経由で結ぶ同列車は小樽～長万部間にある急勾配のため、この区間のみ重連運転となる。しかも〈ニセコ〉最終日は特別に3重連となり、一つの時代の伝説を築いた。

★蒸機はそれぞれ単品販売で、最終日、函館～札幌間の本務機となったC62 15、小樽～長万部間の補機のC62 2及びC62 3のラインナップ。3輌共に絵柄の違うヘッドマークが付く。

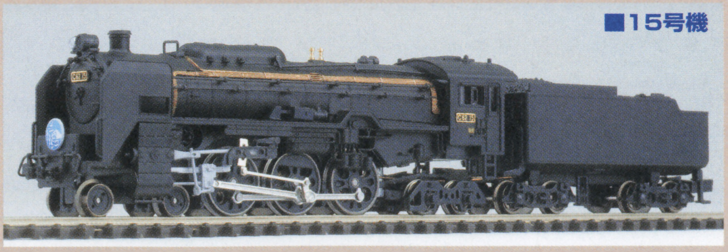
★2号機、3号機は改良再生産で、ヘッドライト、回転火の粉止めを改良。2号機はロッドの溝に色のない姿となる。15号機は初登場。

【価格】
●塗装済完成品：各10,290円



■2号機

■3号機



■15号機

D51
498(動力改良)
1002
(戦時型・船底テンダー)
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 34000379(1002号機)

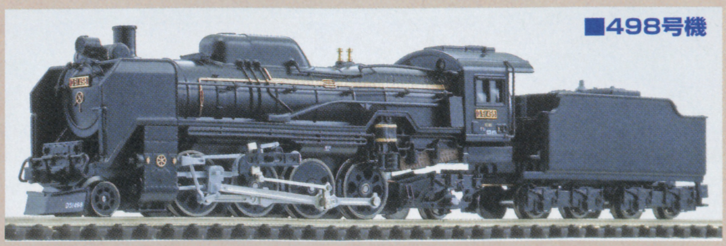
★多数のバリエーションを誇るマイクロエースのD51に、今回新たに2アイテムが加わった。

★同社最初の蒸機製品のひとつ498号機は、今回2度目のリニューアル。動力を現行の水準に合わせリファインすると同時に、時代設定も2007年の、ちばデスティネーションキャンペーンでの運転時に変更。黒色のランボード側面、黒ナンバー、スノープラウの機番表示を再現。ヘッドライト形状改良、細部標記の充実、テンダーへの列車無線アンテナ追加も併せて行なわれている。

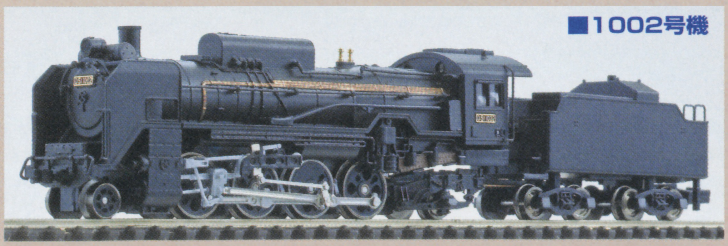
★1002号機は1944年製の戦時型で、戦後各部の改造を経た後の酒田機関区時代の姿。戦時設計の名残であるカマボコ型ドーム、船底型テンダーが特徴。テンダーには重油タンクを搭載。無論498号機に準じた細部の改良も施される。

★ナンバーはいずれも取付済。重連用アーノルトカプラーがそれぞれに付属。

【価格】
●塗装済完成品：各10,395円



■498号機



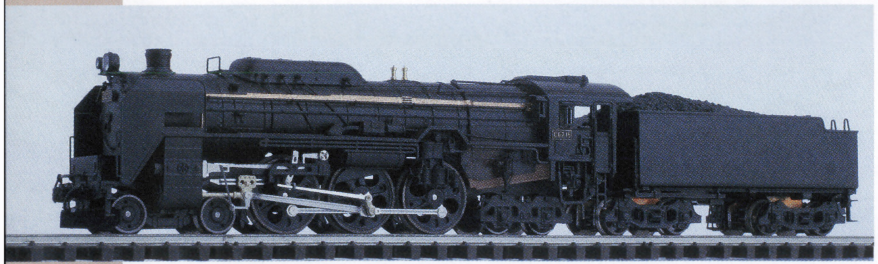
■1002号機

エキスパート編

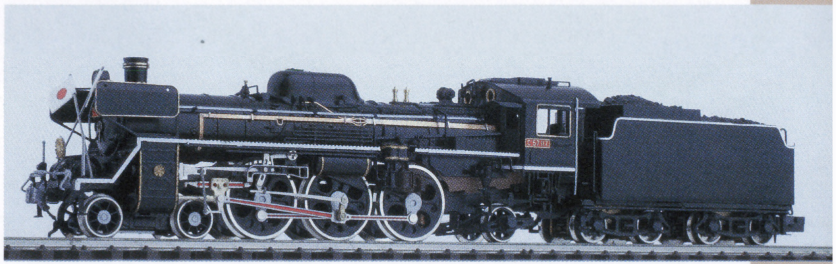
●ワールド工芸

十分に設計を練り込んだ部品構成による真鍮エッチングキットを送り出し続けるワールド工芸の蒸機は、自社開発動力でのテンダードライブ方式(タンク機は除く)により、スケール感あふれるプロポーションを保つのが大きな魅力である。

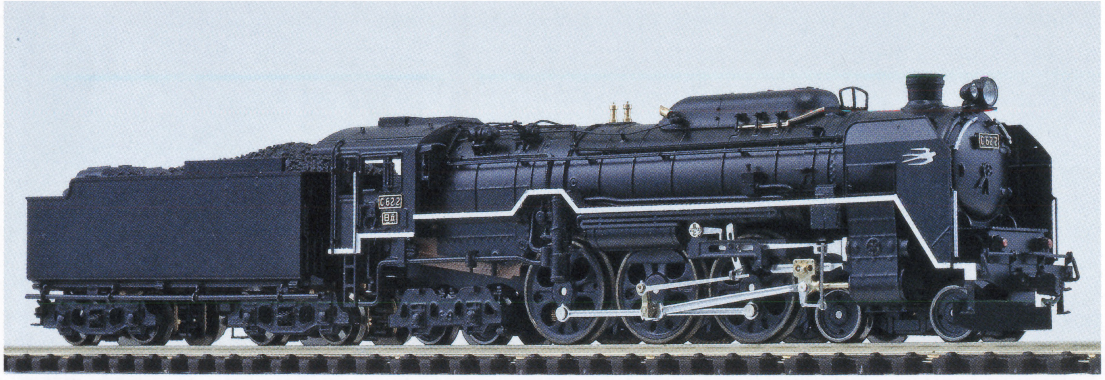
◀B20 10　梅小路蒸気機関車館にて動態保存中の10号機がプロトタイプ。前回発売の1号機を元に、配管・ATS発電機・コールバンカーの白線などが追加されている。キット13,650円、塗装済完成品 通常塗装28,875円、同 梅小路塗装29,400円。



▲C62 15・16　主に呉線で活躍の後、急遽北海道に渡り最後の1年を〈ニセコ〉牽引などで飾ったことで知られる日立製の両機。付属の選択パーツにより両機の作り分けが可能。キット29,400円、塗装済完成品94,290円。



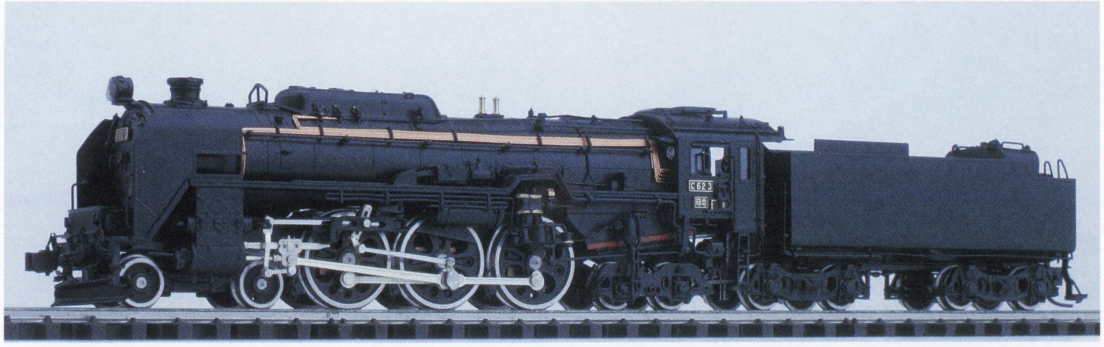
▲C57 117　1973年の宮崎植樹祭の際に運転されたお召列車の牽引機として指定された、門デフが特徴の九州型。磨き出し表現のためタイヤをニッケルメッキとし、各種お召用部品も付属。キット29,925円、塗装済完成品99,750円。



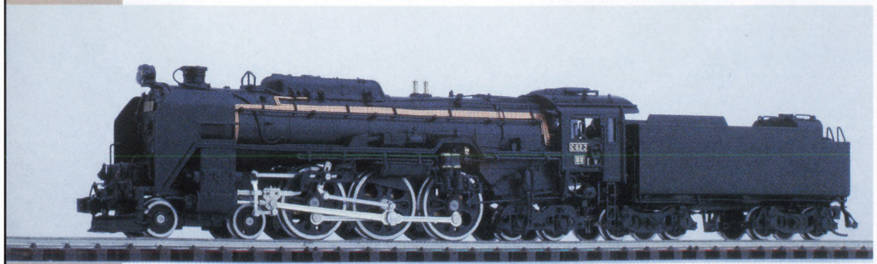
◀C62 2(北海道仕様)　回転火の粉止め・キャブ旋回窓などの寒冷地装備で固められた、最末期の北海道仕様での発売。ツバメマークやランボードの白線は別張りのステンレス板で再現される。キット30,975円。

●天賞堂

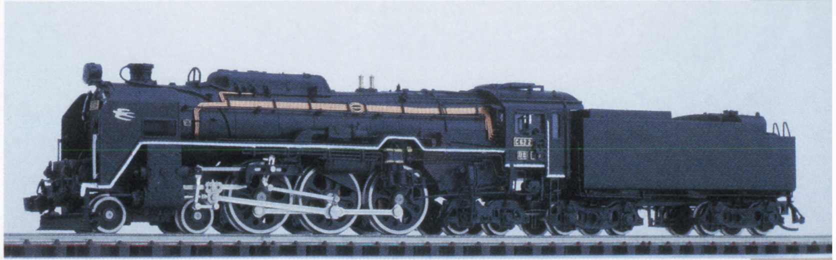
スケールを問わず、綿密な仕上がりの製品を送り続ける天賞堂からは、同社が最も得意とする機関車であるC62が再発売された。Nゲージサイズでもその作り込みは群を抜いており、見る者全てを唸らせる仕上がりである。



▲C62 3(復活仕様)　1988年に奇跡の復活を果たし、「C62ニセコ号」として函館本線山線にドラフト音を響かせたC62 3の、動態保存時代仕様。無線アンテナなどに現役仕様との差異がある。塗装済完成品134,400円。



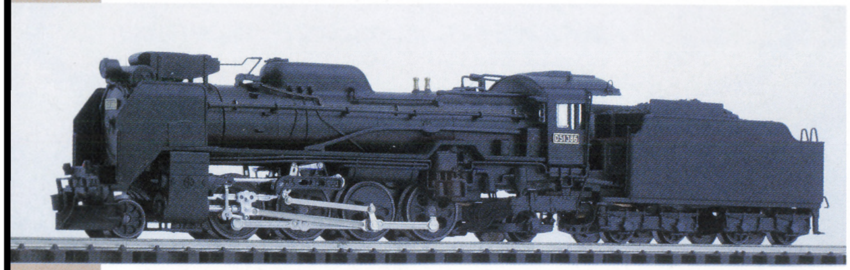
▲C62 3(現役仕様)　〈ニセコ〉〈大雪〉などの牽引でファンを沸かせた現役時代の仕様。2001年発売の前回製品に比べ、線材表現とした空気作用管やヘッドライトの形状などに改良が施されている。塗装済完成品134,400円。



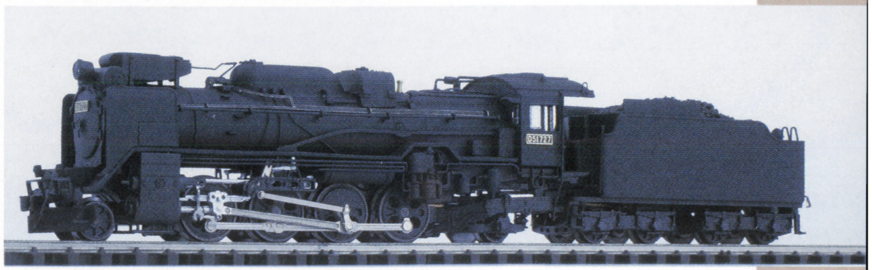
▲C62 2　2号機も同様の改良が施されての登場。シリンダー尻棒が取り付けられ、車高もより実物らしくなるよう改良されており、ワンランク上の仕上がりとなっている。塗装済完成品134,400円。

●リアル・ライン

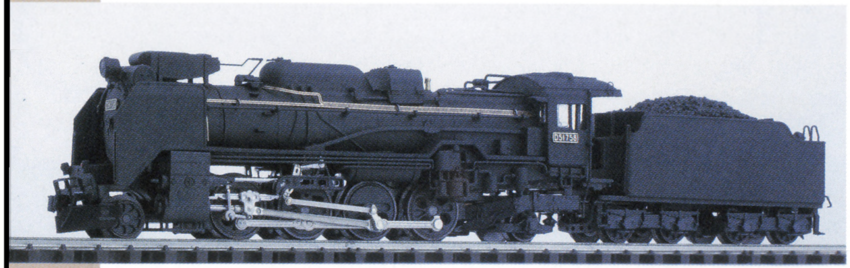
こだわりの技術により、細密な仕上がりのD51をプラ製完成品で製品化するリアル・ラインからは今回、よりディティールを綿密にし特定番号とした「プレミアムコレクション」として、関西地区のD51・4種がリリースされた。



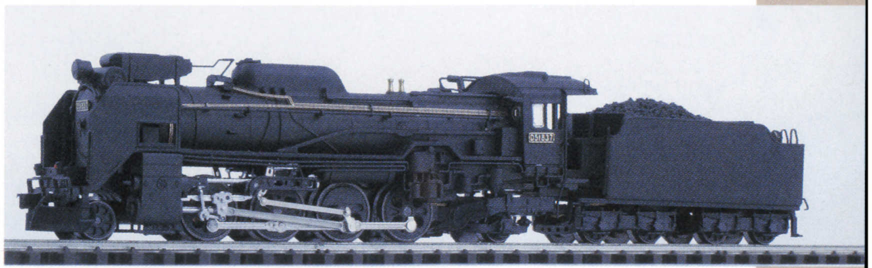
▲**D51 386(新見)** 門司区に新製配置の後、岡山地区を経て新見区へ配置され、鷹取式集煙装置を取り付けたスタイルで、伯備線の貨物列車に活躍した。塗装済完成品27,090円。



▲**D51 727(福知山)** 本州で活躍したD51でありながら、北海道よりも先駆けてデフの切り詰め改造が行なわれ、山岳重装備と共に異彩を放つ変形機として注目の的であった。塗装済完成品29,190円。



▲**D51 758(米子)** 新製以来山陰本線で活躍の後、岡山を中心に各地で活躍。1971年には島根県での植樹祭のお召し列車牽引機に指定され、一躍人気のカマとなった。塗装済完成品29,190円。



▲**D51 837(新見)** 386号機と同じく、末期に伯備線での貨物牽引に従事し、1972年の最終三重連運転において次位機として晴れの舞台を飾った。その後長門区に転属し1974年まで活躍した。塗装済完成品27,090円。

電気機関車
ELECTRIC LOCOMOTIVES

旅客列車こそ減少傾向ですが、貨物列車では現代でも主役中の主役と言えるのが電気機関車。もちろんモデルの世界では新旧形式が安定した高い人気を維持し続けていますが、特に今年は、「定番形式」をリニューアルし、よりグレードを高めたという製品の登場が目立ちました。既に複数輌を持っているという方でも、思わず再び欲しくなってしまうような魅力にあふれています。

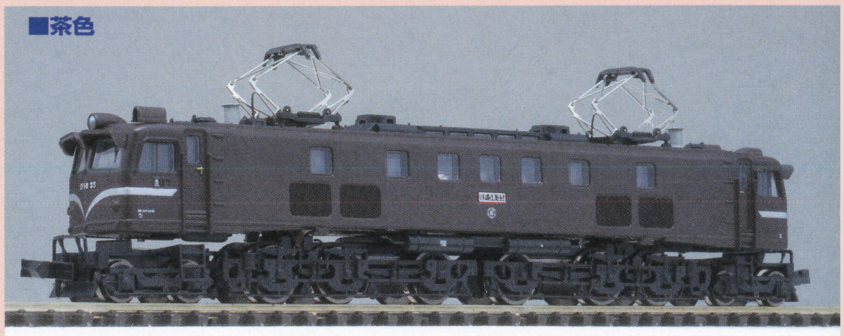
ベーシック編

EF58 35 (茶色・青)
〔マイクロエース〕

★豊富なラインナップを展開するマイクロエースのEF58に特定号機が追加。意外にも一般的な塗装のEF58・新車体が単品販売されるのはこれが同社初。
★35号機はデッキ付き旧車体に流線型の新車体前面を組み合わせた改造車で、側面窓の数が7枚と多いのが特徴。同じ形態のゴハチはこの他に36号機しかなく、非常にユニークな存在であった。
★モデルでは茶色・青色時代の35号機をそれぞれラインナップ。
★茶色は落成時の前面大窓が残り、EG表示灯や先台車ニギリ棒がない比較的初期のヒサシ付き寒冷地改造型を再現。区名札は「高二」。
★一方の青色は前面小窓化に加え、Hゴム、デフロスター、EG表示灯、ニギリ棒、信号炎管が追加装備された晩年・長岡時代のスタイル。乗務員室側面窓形状も茶色と作り分けてある。
★ヘッド／テールライトが点灯。その他模型としての基本仕様はこれまでに発売されたEF58と同じ。

【価格】
●塗装済完成品：各7,140円

■青


■茶色

EF58 (初期型大窓 茶)
〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 29000310

★RMM147号及びNゲージ大図鑑2008でお伝えしたEF58(初期型小窓 茶)に続いて同じ初期型 茶色、ただし今回は大窓仕様が登場。
★本仕様は以前からラインナップされていたが、各部を現行仕様に改めてのリニューアルとなっている。
★クイックヘッドマークとして〈つばめ〉〈はと〉が付属。今回からヘッドマークの樹脂に鉄粉を練り込んだ材質として、従来の鉄片をなくし、薄型の形態となっている。
★ナンバープレートは48・50・56・62・67号機から選べる。
★そのほか黒染め車輪、フライホイール、ナックルカプラーといった現在の同社の標準的な装備、機構を持つ。

【価格】
●塗装済完成品 ：6,510円

EF63 2次型
〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 32000309

★KATO「碓氷峠シリーズ」に待望の新作・EF63 2次型が登場。
★2次型のうち1967・1969年に計4輌が製造された、18〜21号機までのサブバリエーションを模型化。
★このグループには円形内バメ式テールライト、車体前面中央に配置された避雷器、終端の曲げが直線的で少し短い運転室窓の水切、スカート下・連結器寄りに位置する自連・密連切替コックなどの特徴があり、モデルでも各々を再現。先に発売された1次型との違いを楽しめる。
★2エンド側のジャンパ栓群はキハ82系電話連絡用KE62を持つ1次型と共通のスタイル。前回同様にジャンパ栓はユーザー側で取り付ける。
★手スリなどの各種ディテールパーツ、メタルインレタ製ナンバープレート(18・19・20・21号機)、メーカーズプレート、ナックルカプラー長、アーノルトカプラーアダプターが付属。
★ヘッド／テールライトはLED点灯式で、ON／OFF切替スイッチが標準装備となっている。

【価格】
●塗装済完成品 ：7,350円

EF64 1001（茶）

〔KATO〕

★KATOのEF64 1000番代に、JR東日本高崎車両センターの特別塗装機1001号機が追加。

★実車は1987年、ジョイフルトレイン牽引やEF55牽引のイベント列車の補機に使用するためぶどう色＋白帯の塗色とされたもの。現在でもこの姿で各地のイベントを中心に活躍している。

★モデルは白帯がジャンパ栓上部の作業灯に掛かるため、塗り分けの問題から作業灯を別パーツとしているほか、ナンバープレートは1001が印刷済で、動輪も実車に合わせて圧延プレート車輪となる。また今回から前面手スリを別パーツ化、KATOナックルカプラー標準装備と最近の製品に合わせた変更が施されている。

★ヘッドライト点灯。フライホイール付動力ユニット搭載。

★手スリ、一部の屋上機器とジャンパ栓は別パーツ。交換用アーノルトカプラー付属。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,825円

EF65 1000番代（東京機関区）

〔TOMIX〕

★かつて、九州行きブルトレや臨時特急〈踊り子〉の先頭に立った、EF65 1000番代の東京機関区仕様が登場。

★特定仕様として、屋上モニター廻りが黒色、前面ひさし上面が青色仕上げなど、東京区特有のディテールを再現。

★時代設定が国鉄時代のため、Hゴムはグレー、列車無線アンテナは付属しない。パンタグラフはグレー成型のプラ製PS22B。

★動力はフライホイール付き、ユーザー取付部品は前面手スリ、解放テコ、交換用TNカプラー密自連タイプが付属。

★付属ナンバープレートは1099・1102・1111・1114号機を収録。

★ヘッドマークは〈さくら〉〈はやぶさ〉〈富士〉（丸型マーク）が付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,615円

EF65 1118（レインボー）

〔KATO〕

★赤い車体に側面のレタリングが強烈な存在感をアピールするレインボーカラーのEF65がKATOから登場。

★実車では2輌製作されたレインボー機のうち、2代目にあたる1118号機を模型化。PS22B下枠交差型パンタ、運転室クーラー、黒色Hゴムを装備する。

★モデルのベースは従来品のEF65であるが、全体像としては最新製品の水準を指針としており、別パーツの前面手スリ、ナックルカプラー、フライホイール付動力を持つ。

★屋根クーラーパーツは取り外しが可能。好みに応じて扇風機カバーが付いた登場時のスタイルも再現できる。特定機であるため、車番は印刷済となっている。

★〈銀河〉〈カートレイン〉のヘッドマーク、交換用アーノルトカプラーが付属。

【価格】
●塗装済完成品：6,930円

EF65 1118（レインボー）

〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから！
35000334

★TOMIXからもジョイフルトレイン「スーパーエクスプレスレインボー」専用機、EF65 1118が登場した。

★1118号機は1997年、1019号機に代わり2代目「レインボー」専用機としてこの姿となった。相方となる客車の廃車後も、東京発のブルートレイン〈出雲〉、〈銀河〉の先頭に立つなど注目された。

★モデルでは窓廻りのHゴムは黒色表現され、EF65のロゴは採光窓部分にも塗られた姿が再現される。

★屋上モニターは黒、パンタ廻りはグレーに塗り分け。2006年より搭載された屋上クーラーユニットも新規パーツで取付済。

★モデルは最近の同社製品に倣ってフライホイール付き動力を採用、車輪には輪心パーツがはめ込まれ、グレー成型のプラ製PS22B型パンタグラフが載る。

★従来ユーザー取付パーツだった解放テコは今回より取付済となった。

【価格】
●塗装済完成品：6,825円

EF65 1001 (ヒサシなし特急色) 1065 (JR貨物試験塗装)

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000320（1001号機）

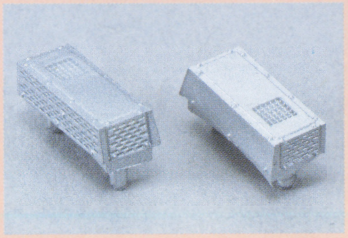
★マイクロエースのEF65 1000番代に2種の新バージョンが登場。
★1001号機は通常の特急色ながら、最初期車の登場時仕様として前面ヒサシのない姿としたもの。
★1065号機はJR発足当時に登場した試験塗装機のひとつで、1987年から1998年までこの塗装で活躍した。モデルはナンバープレートを赤色に変更後の仕様。
★既存の1000番代各車のバリエーションで、1065号機の特徴的な塗装も鮮やかに再現。製造年次(1次車と6次車)、設定年代の違いによる前面通気口の有無、ヘッドライトヒサシなども実車に合わせ再現している。区名札はいずれも「新」が印刷済。
★今回も手スリ類は金属パーツで別体化。カプラーは製品状態では片側ずつダミーとアーノルトが付き、交換用アーノルトカプラーも付属。全軸集電、フライホイール付動力、ヘッドライト点灯(ON／OFFスイッチ付)といった点は今まで同様である。

〔価格〕
●塗装済完成品：各7,560円

EF66 (中期型・JR貨物更新車／後期型・JR貨物新更新車)

〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000355（中期型）
34000356（後期型）
34000367（クーラーパーツ）



▲クーラー取付車を再現できるクーラー(機関車用1)も発売される。

★2006年に完全リニューアルされたTOMIXのEF66に2タイプのJR貨物更新改造車が登場。
★1つは主抵抗器排気口が4分割、側面点検蓋が2エンド側へ寄った中期型。車体色は同機100番代のイメージに似た塗色の中期型・JR貨物更新車。
★主抵抗器排気口が4分割、側面点検蓋は中央ナンバープレートの部位。車体色は国鉄時代からの塗装を思わせる紺にクリーム色の帯の後期型・JR貨物新更新車。
★どちらも前面飾り帯、ナンバープレート飾り台座の撤去。屋上・足廻りグレー塗装の更新車メニューが再現されている。
★パンタグラフはどちらも実感的なプラ製PS22Cを装備。
★ナンバーは中期型・JR貨物更新車では16・17・19・20号機。後期型・JR貨物新更新車は31・34・38・41号機が用意されている。
★付属パーツは前面手スリ、ホイッスル、避雷器、信号炎管、GPSアンテナ、ナンバー・メーカーズプレートがユーザー取付。交換用密自連形TNカプラーも含まれる。
★同時発売品に運転台屋上に取り付けられた箱型クーラーも登場。4個入735円。

〔価格〕
●塗装済完成品：各6,720円

JR貨物 EF210 100番代 (シングルアームパンタ)

〔KATO〕

★直流区間のハイテク貨物機EF210のシングルアームパンタ搭載車がKATOより発売。シングルアーム機は他社からコンテナ車とセットで供給されていたのみで、単品発売はこれが初めて。
★0番代、100番代下枠交差型パンタ搭載車に続く同社のEF210シリーズ第3弾。本製品から新たに別パーツの前面手スリ・解放テコを追加、グレーのナックルカプラーが標準装備となった。
★これまでプレート式だったナンバーは今回からメタルインレタに変更。115・118・123・131号機から選択可能だ。
★ヘッドライトにはLEDを使用。下枠交差型パンタ車で採用された白色ではなく電球色調に点灯する。

〔価格〕
●塗装済完成品 ：6,825円

JR貨物EF200（新塗色）

〔KATO〕

★KATOのEF200に新たな塗色が追加された。
★EF200は1992年登場の、1600tの列車牽引を目的に定格出力6000kWの能力を持つ、国内の電気機関車で初めてVVVFインバータ制御を採用したJR貨物の直流機。2005年からは、その後に登場したEF210の塗装パターンを取り入れた新塗色への変更を開始している。
★製品はこの新塗色を再現したもので、鮮やかなブルーが鮮烈な印象を与える。基本構成は旧塗色製品と変わらないが、今回新たにナックルカプラー化され、手スリ・解放テコ、GPSアンテナパーツが別添されるようになった。
★ヘッドライト点灯。フライホイール付動力ユニット搭載。
★ナンバーは3・5・12・14号機の選択式。上記各パーツに加え、屋上の一部機器は別付けとなる。交換用アーノルトカプラー付属。

【価格】
●塗装済完成品 ：7,035円

ED73 1000番代

〔KATO〕

★KATOから、かつての九州のブルトレ牽引機ED73がリリースされた。
★ED73は、九州地区の貨物列車用に1962年から製造。ED72を基にSGを省略し全長を短縮、中間台車を抜いた設計とされた。同機譲りの「くの字」形の前面が印象的。1968～69年に高速運転用としてブレーキ装置を改造、全車が1000番代となり寝台特急や高速貨物で活躍。1982年までに引退した。
★製品は1000番代化の行なわれた1968年、「よん・さん・とお」ダイヤ改正後の姿がプロトタイプ。後の交流電機とは微妙に異なるディテールやプロポーションも良好に再現している。屋上の高圧機器も色分けがなされ鮮やかな印象。
★ヘッドライト点灯。フライホイール付動力ユニット搭載。
★信号炎管、ホイッスル、前面手スリはユーザー取付。KATOナックルカプラー標準装備で、交換用アーノルトカプラー付属。
★黄文字の車番はインレタで、1005・1009・1016・1021から選択可。20系客車牽引時用として〈あさかぜ〉〈さくら〉〈はやぶさ〉〈みずほ〉のクイックヘッドマーク（九州独特の曲面のもの）が付属。

【価格】
●塗装済完成品 ：7,140円

ED76（後期型／後期型・JR九州仕様）

〔TOMIX〕

★古くから九州方面の寝台特急牽引機として有名なED76がTOMIXから製品化。従来同社が発売していた1000番代とは異なる、全くの新規製作品としての登場だ。
★モデルは94輌が製造された0番代のうち、最後に増備された55号機以降の「後期型」。国鉄仕様ならびにJR九州仕様の2種類がラインナップされる。ボディカラーはどちらも赤2号。
★基本仕様としてはフライホイール付動力、手スリ・解放テコの別パーツ化といった現行水準に則ったものであり、全体像もシャープで立体感に富む。
★後期型に装備されるPS102C下枠交差型パンタを、本製品のため新たに再現。パンタシューは軟質プラながら歪みが少なく高精細な仕上がり。
★実車の時代設定に合わせ、灰色Hゴムをあしらった国鉄仕様のガラスパーツに対してJR仕様では黒Hゴム再現パーツを装備。また動輪輪芯も国鉄＝ボックス、JR＝一体圧延と、両者で異なるものが奢られる。
★付属のナンバープレートは62・68・73・85（国鉄）、69・70・91・94（JR）をそれぞれ収録。またヘッドマークは前者では〈はやぶさ〉〈さくら〉〈あさかぜ〉〈富士〉、後者では〈さくら＋はやぶさ〉〈あかつき〉〈彗星〉〈富士〉を用意。
★JR仕様のJRマークは印刷済。その他点灯式ヘッドライトが両者に標準装備される。

【価格】
●塗装済完成品 ：各6,615円

■後期型

■後期型・JR九州仕様

ED79
0番代／100番代
〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000318（0番代）
34000319（100番代）

★TOMIXから実車登場時より発売されていたED79が、番代を作り分けて完全リニューアル。
★実車はED75 700番代から基本の0番代が21輌、貨物牽引時の重連運転用に100番代が13輌改造され、青函トンネル専用機関車として走り続けてきたが、最近では新製が続くEH500に押され数を減らしている。
★モデルは〈北斗星〉に代表される客車列車を牽引した0番代と、貨物列車で0番代の函館方に連結される補機100番代を細密に作り分け。手スリや解放テコ、屋上機器を別パーツで再現している。
★補機の100番代は単独では走らないため0番代と連結される青森寄りの運転台は未改造、ED75時代のままで側窓もHゴム支持だがこれも再現。
★フライホイール付き動力とヘッドライトON／OFFスイッチが備わり、交換用の密自連形TNカプラー2個と、0番代にのみヘッドマーク(〈日本海〉〈カシオペア〉〈北斗星〉)が付属する。
★付属のナンバーは0番代が8・10・11・14号機、100番代は104・105・108・113号機。

■左から0番代 100番代

【価格】
●塗装済完成品
ED79 0　：6,720円
ED79 100：6,510円

■0番代

■100番代

EF81
（一般色）
〔KATO〕

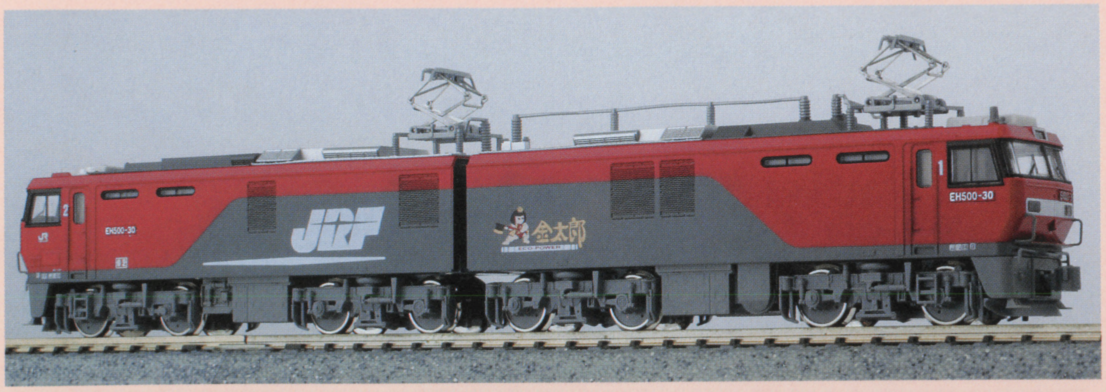
★KATO製EF81に、カプラーを実感的なナックルカプラーへと改めたリニューアル製品が登場。
★従来、出荷状態ではアーノルトカプラー標準装備だったが、今回よりナックルカプラーが標準装備。交換方法は従来と同じだがアーノルトは付属部品となった。
★そのほか、黒染め車輪の採用でボックス型輪芯とあいまって落ち着いた足元を見せる。
★付属のナンバープレートは69・81・103・119号機を収録。メーカーズプレートは三菱・日立の2種から選択。
★〈はくつる〉〈日本海〉のクイックヘッドマークが各1個付属。

【価格】
●塗装済完成品：6,300円

JR貨物
EH500 3次型
〔KATO〕

★KATOの定番商品EH500 3次型が若干の仕様変更。
★これまでは標準カプラーをアーノルトとし、ユーザー側交換用のKATOカプラーが付属していたが、新ロットからKATOナックル（グレー）を標準装備、アーノルトカプラーが付属オプションとなった。さらに内装パーツの色合いもグレーから薄茶色に変更されている。
★品番は3037-1のまま変更はなく、上記以外の仕様やユーザー取付パーツの構成は前ロットと共通。

【価格】
●塗装済完成品：10,290円



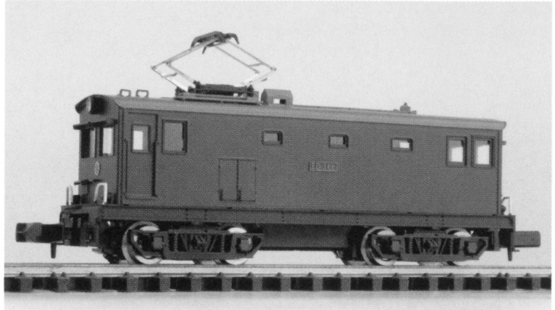
エキスパート編

●ワールド工芸

自社開発動力で、独特な下廻りの車輛を設計し発売しているワールド工芸。その一方で鉄コレ用動力を用いる車体キットにも近年は力を入れており、機関車においても今回双方の特性を生かした製品が登場している。

▲**EF50**　初期製造分ではゴムベルト動力などの試みもされていたEF50が、4回目の製品化。オリジナル動力によるスケール重視の下廻りに独特の大型パンタなど、新規部品多用の意欲作。キット17,325円、塗装済完成品38,850円。

▲**上田交通EB4111**　全長がワム1輌分にも及ばない、上田のマスコット的電機。以前は非動力での製品化だった本形式を、超小型モーターの縦置きにより動力付き製品としてリニューアル。キット11,550円、塗装済完成品23,100円。



▲**上信電鉄ED31**　凸型電機ED31を、独特な箱型に改造した上信電鉄の名物機関車。鉄コレ動力対応のボディキットで、動力フレームの一部幅詰めなどの小加工が必要。キット4,725円。

▲**鉄道省8000形**　EF50のデビュー時のスタイル。完成品はバッファの有無、側面ベンチレーターの違いなどの差異により、4種類のバリエーションが用意される。キット(2種)各17,850円、塗装済完成品(4種)各38,850円。

●ペアーハンズ

ペアーハンズからは今回、独特の木造箱型車体を持つ北陸の名物機関車がリリース。Bトレ動力の分解加工を要するなど、同社らしいこだわり仕様のキットである。

◀**福井鉄道デキ11タイプ** 1923年製造の電動貨車デワ1を改造し、電気機関車とした福井の珍車。大きなスノープラウを装備し、現在も除雪用に活躍する。洋白エッチングによる繊細な仕上がりが魅力的。キット4,200円。

●Masterpiece

鉄コレ動力を指定として、簡単な工作で制作できる電機キットをリリースするMasterpieceからは今回、車体全体を大胆にホワイトメタル一体としたキットがリリース。

▶**近鉄デ31タイプ** 1948年に近鉄狭軌線の貨物列車用として製造され、現在も1輌が入換車として残る機関車。ホワイトメタル一体車体に独特な台車などの部品が含まれ、雰囲気十分。キット4,725円。

●アルナイン

「とて筍」シリーズを積極的に発表し続けるアルナインからは今回、新たな試みとして一部部品をグレードアップした「DX版」キットがリリースされた。もちろんその大きな特徴である組み立て易さは健在で、大きな支持を集めている。

▲**とても簡単なBB凸電** とて筍シリーズの先陣を切ったBB凸電の再生産品。組み立て易さが改良された他、前回右寄りだったキャブ乗務員扉が左になったのが目につく。キット1,980円。

▲**とて筍DX・デッキ付電機(私鉄戦後型)** 戦後の私鉄貨物輸送を支えた、東洋電機などによる私鉄箱型電機の標準スタイル。ホワイトメタル製の前面を用いた「DX版」としてのリリース。キット2,980円。

▲**とても簡単な大型凸電** 「川造型」と呼ばれる、大柄の機械室に小さなボンネットを持つ関東私鉄に多く存在したタイプ。巧みな構成で再現される独特のスタイルは非常に魅力的。キット1,980円。

メーカー担当者に聞く…！

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー KATO編

魅力的な新製品のみならず、新コンセプトによる年度版カタログの発売やホームページの充実など、近年鉄道模型入門者が増加する中、メーカーはいかにあるべきかという命題に積極的に取り組んだのが、昨年のKATOだったのではないでしょうか。今回は広報担当のKさん、車輌企画担当のWさん、線路・ストラクチャー担当のAさんに、ここ1年間の展開について語っていただきました。　まとめ：鈴木重幸

50周年を機により良いC62を

RMM：(リストを見比べて)私共のリストは締切の関係で対象製品が1ヶ月ほど前にズレておりまして、一昨年末のC62が入っている代わりに昨年末の383系とオリエントエクスプレスが入っておりません。後者についてはやはり話題の新製品ということで後ほど大いに語っていただくとして、まずは私共の第1位だったC62からお願い致します。

K：当社の加藤祐治会長がC62という機関車に対して一方ならぬ思い入れがありまして、「創業50周年を機に、より良いC62を」という機運が社内的にも高まり、ファインスケールのプロポーションでのリニューアルを図りました。従来の蒸機製品のような1:150より大きいスケールを否定するわけではないのですが、お客様のニーズや技術的な進歩もあり、挑戦すべき課題としてファインスケールというのがあったわけです。

W：プロポーションもそうなのですが、今回は特に走行性能を重視しました。当社の蒸機は今まで、すべての動輪がギアでつながっていたのですが、これが組立・調整が結構大変でして。

RMM：ギアとロッドの整合性を取る、という点ですか。

W：はい。それで今回は、ロッド駆動にこだわりました。第三動輪のみモーターからギアで伝達し、あとはロッドで回すという形にすることで、組立の合理化と共に走行性能の向上を図りました。ただ、今までの蒸機と全く構造が異なるので、特に重量バランスの点で苦心しました。

K：〈つばめ〉客車13輌を、勾配を含めて牽引可能というのが必要条件ですから、それを満たすトルクを引き出すという意味で重量バランスが大事になってくるわけで、モーター位置が前位側なのもそのためです。結果として旧製品より軽くなりましたが、牽引力はアップしています。

RMM：ヘッドライトのON、OFFを電気的にではなく機械的に遮光することによって行なっているのがユニークですよね。

K：これは、熱を出さないLEDによって可能になった機構ですね、遊び心もありますが。

キハ35系は小型レイアウトに似合います

RMM：次に第2位のキハ35系ですが。

K：近年、お客様のレイアウト指向が加速度的な高まりを見せているということで、小さなレイアウトでも単行や短編成でも走らせられる製品を、というのが企画の発端です。

RMM：なるほど、始めにレイアウトありきという、逆算的発想からなんですね。

W：先頭動力車でフライホイール付き、DCC対応、運転台シースルーというのは今まで製品としてなかったので、この部分での技術的課題というのもありました。あとは、四角四面の無愛想なイメージを、いかに模型として見栄えよく再現するかというのも苦労がありまして、側面の戸当たりゴムの色表現もそうですね。これは、外吊りドアなので比較的容易だったというのはありますが。

RMM：カプラーがキハ82系の密自連型ではなくナックルカプラーですね。

W：これは、当社が従来から発売している国鉄型気動車と混結可能というのが絶対条件ですので、KATOカプラーと連結できるナックルで、ということになりました。

RMM：実車同様のバリエーション展開が期待されるところですが。

K：展開は色々と考えておりますので、乞うご期待！です。

今年のKATOはブルートレインで行きます！

RMM：第3位のED73ですが、これは実車的話題は既にないわけで、少々意外な製品化にも思えましたが。

K：当社の20系客車が、リニューアル以後大変好

RMMが考える2008 KATO製品ベスト5

第1位　C62(東海道形)
…なによりスケール通りの大きさになったことを評価。プロポーションの良さ、空間を確保したキャブなど総合的にも素晴らしい出来で、文句無しの決定版でしょう。

第2位　キハ35系(一般色)
…KATOの国鉄一般型気動車としては久々の製品。キハ30形1輌だけで運転が始められるため入門者向けとしても柔軟性が高く、今後のバリエーションにも期待させられます。

第3位　ED73 1000番代
…ED75以前の少し古めの交流電機が少ないだけに、ベテランユーザーには嬉しい製品化でした。KATOの現行水準がフルに詰め込まれた期待通りの仕上がりで、特にEF510での技術をフィードバックした屋根上は見物。

第4位　JR東日本E233系(中央線／京浜東北線)
…大手2社競作となった新系列通勤電車を安定したクオリティで製品化。微細な作り分けも的確に行なわれていて好感が持てる仕上がりでした。

同率第5位　JR西日本223系2000番代
…今まで関西で大きな穴になっていた車輌の製品化ということで、ファン待望の製品化だったのではないでしょうか。1次車・2次車の違いを細部まで作り分けている点も評価されます。

同率第5位　クハ481-26(鉄道博物館保存車)
…博物館保存車仕様の製品は過去にも例がありますが、運転を前提としない単体のディスプレイモデルという点、目新しい印象がありました。結果的にNゲージ全体のプロモーションにもなるのでは。

KATOが考える2008 新製品ベスト5

(順位なし、掲載順は順不同)

- ○ED73 1000番代
- ○N700系新幹線〈のぞみ〉 Nゲージスターターセット・スペシャル
- ○キハ35系(一般色)
- ○383系〈ワイドビューしなの〉
- ○オリエントエクスプレス'88

▲気動車ファン待望のキハ35系。小型レイアウトに適した車輌として企画された。

▲創業50周年モデルとしてリニューアルされたC62。プロポーション・ディテール・走行性能と三拍子揃った、Nゲージ史に残るであろう好製品。

▲オハ31 26(写真)、クハ481-26と、鉄道博物館展示車輌を相次いでリリース。新たなコンセプトのシリーズとして注目を集めた。

評をいただいておりまして、2009年はこの製品レベルでブルートレインを展開していきたいという指針があります。既にカタログで14系客車を予告しておりますが、まず、今後の展開の布石という意味もあって、20系客車に似合う九州区間の牽引機、ED73を現行の水準で、ということになりました。

RMM:技術的なトピックとしては如何ですか。

W:EF510で培った金属とプラの一体成型による、屋根上高圧配線の再現が、何と言っても見せ場ですね。幸い、小倉工場に残っていた実車を解体前に取材することができまして。

K:ウチのスタッフが、ED73の屋根を観察した最後の人間ではないかと(笑)。あと、実車のスカートが短くて腰高な、ある種アンバランスな魅力を再現するのには気を遣いました。前面の細い窓柱も、Hゴムを車体側にすることで再現しています。

W:付属のお椀型ヘッドマークなんですが、以前のクイックヘッドマークのように裏側に鉄板を入れるとどうしても厚くなってしまうので、ヘッドマークそのものに金属を混ぜて成型して、最低限の薄さに収めています。

RMM:第4位のE233系、これは他社と競作になりましたが。

W:首都圏新型通勤車輌のラインナップが弱い時期がありまして、社内的に「五方面作戦」と称して現行のE231系や209系の製品化を積極的に進めてきました。その流れから、最新型であるE233系も迷わず製品化致しました。

RMM:新幹線以外では、初めて行先表示が印刷済になりましたね。

K:ここに来て増えてきた初心者のお客様は、買ってすぐ走らせられる製品を望む方が多いという傾向がありまして、製品段階で体裁が整ったものにすべきではという意見が社内からも出てきましたので。

W:ただ、通勤型というのは種別や行き先がバリエーションに富んでいますから、グレードアップシールを使って表示を変えていただける、という形でフォローさせていただいています。

RMM:第5位は同点で2つ挙げさせていただきましたが、まず223系2000番代、これは行き先表示がE233系と違ってプラ製パーツで交換可能となっていますが。

W:これは製品化企画の時期の違いというのもありますが、先に出した321系と同じ路線を走る車輌なのに仕様が違うのは?というのと、321系と表示部の寸法が同じで金型が流用できるというのもあって、このような形になりました。

K:製品化の意図としては、やはり関西を代表する現行の車輌ですので。1000番代や221系を再生産して欲しいというご要望も多くて、皆さんバリエーションを楽しまれているようです。それで、1次車と2次車の窓ガラス色などの違いを作り分けて、この製品にもバリエーションを持たせています。

KATO製品で鉄道博物館を再現!?

RMM:クハ481-26ですが、鉄道博物館シリーズとして先に出されたオハ31 26共々お話いただければ。

K:ご存知の通り、鉄道博物館の開館というのは社会的にも大きなトピックでしたが、今までと違うのは、古典車輌ばかりでなく「ついこの間まで走っていた」ような車輌も展示されているところで、これがレイルファン以外の一般層にも親近感を持って迎えられた要因の一つではないかと思います。そういった中で、当社としてもグッズ的に何か出せるものがないかということで、Nゲージの第1号製品であり比較的安価に供給できるオハ31をまずやってみようと。おかげさまでこれが大変好評でして、やはり特急型もラインナップしたいということで第2弾はクハ481になりました。

RMM:編成にならない単品販売ということで、やはり既存のNゲージャーとは違う層がおみやげ的に買われる、というニーズが大きいのでしょうか。

K:そうですね、ただ、モノとしては完全なNゲージですから、新規ユーザー開拓のためのPR、アプローチ的役割というのも意識しています。

RMM:今後の展開としては如何でしょうか。

K:細かい差異を除けば、展示車輌のかなりの部分を当社製品でカバーできますから(笑)、今後も少しずつやっていきたいですね。

3年越しの企画だったオリエント急行

RMM:ここからは御社に挙げていただいた新製品についてもお話を伺いたいと思いますが。

K:まず、N700系新幹線スターターセットですが、これは爆発的に売れました。入門者の方が増えているということを改めて実感しましたね。

RMM:昨年のお話では、全周ホロの連結が初心者が扱うには少々デリケートということでしたが。

K:これについては、スターターセットの分から、よりクリック感を増すなどの改良を施しています。あと、N700系は車体形状の関係で車輪を線路に乗せづらいんですが、これは逆に付属のリレーラーを使われることでスムーズに行なっていただいているようですね。

RMM:年末の新製品、まず383系〈ワイドビューしなの〉については如何でしょうか。

W:やはり中京圏を代表する特急車輌で、振り子機構という当社ならではの特色を出せるということで、以前からノミネートに挙がっていた形式です。キハ85系や313系とパッと見の印象が近いものですから、当系列ならではの車体断面・低重心といった特徴を如何に出すかという点に苦心しまして、何度も現地に足を運んで徹底的に調べましたね。

▲N700系がスターターセットに仲間入り。同時に全周ホロの連結機構も改良されている。 P:KATO

K:振り子機構は〈スーパーおおぞら〉を基本にしていますが、傾きを従来より抑えめにした分よりスムーズに移行するよう更に改良しまして、ほぼ完成の域に達したと思います。あと、細かいところでは、クロ383のライトリムが反射で銀色に見えるよう、パーツのカッティングを工夫したりもしています。

RMM:地道な改良の積み重ねで、リアルな模型が出来上がっているわけですね。そして、年末の話題をさらった感のあるオリエントエクスプレス'88ですが。

K:これが…実は3年越しの企画でして、当初は創

▼2008年最大の話題を集めたオリエントエクスプレス'88 。パッケージや小冊子に至るまで「特別感」漂う豪華な内容となった。

業50周年製品を目論んでいたんです（笑）。

RMM：C62ではなくてこちらが本命だったわけですか。

K：はい、しかし、許諾の関係で間に合いませんで、次なる目標として、昨年の12月23日、ちょうど20年前に実車がD51 498牽引で上野駅を発車した日に遊んでいただけるよう、19日出荷を目指していたのですが、これもギリギリで間に合いませんでした。

RMM：いや、ユーザーもそこまではこだわっていなかったと思いますが（笑）。それにしても、ケースやパンフレットといったソフト的な面も含めて、隅々まで神経が行き届いてますよね。

K：オリエントエクスプレスは、やはりヨーロッパでも別格の扱いなんですね。それに昨年はオリエントエクスプレス誕生125周年ということで、各方面で盛り上がりを見せていたのです。それで、社内でもやるからには特別なものにしようということになりました。ケースのスリーブも厚くしまして、結果輸送用の段ボールも特注に（笑）。

RMM：20年前の秋から冬にかけて走った限定的な列車ということで、どこへ見に行ったとか、ひいてはこんな人生を送っていたな、ということも思い出す方が多かったようです。

K：昨年のJAMで製品化の発表をさせていただきましたが、その場でも思い出話をして下さったり、写真の提供を申し出て下さった方もいらっしゃったりして、やはり鉄道史に残る一つの「事件」として、ファンの心に刻まれているのだと思います。そのように、製品化に向けて盛り上がっていったのは良かったのですが、模型としてカタチにするのには色々と苦労がありましたね。

W：とにかく、資料を集めるのに苦労しました。ディテールや標記なども含めて、当然現在のクオリティで製品化しなければならないわけですが…。

K：当時は一過性のイベントだろうということで、雑誌媒体の方も、あまり「厚く」調べていないんですよね（笑）。それでも何とかリサーチしまして、妻面の標記なども全て入れてあります。あと、保存車を取材して、実車の重厚かつ優美なイメージを再現するように努めました。

K：塗装も、深みのある車体色やいぶし銀のような屋根色を再現するためにリサーチして、塗料も今までとは違ったものを使用しています。

RMM：TR47台車は新規に起こしたものですか？

K：はい、編成としてのバランスを考えて、今までより小さくしてあります。客車なので牽引機が色々変わりますし、現在は許諾の関係で不可能ですがいずれはヨーロッパでも販売したいという夢もあって、欧州型の1：160を基準にしつつ全体としていかにカッコよくリアルに見せるかということで、各部の縮尺コントロールをしています。これが一番苦労した点ですね。

A：C62のところでも話が出ましたが、ファインスケールという考え方に対する当社なりの一つの回答と言えるでしょうね。

◀▲ストラクチャーの新製品として看板建築商店が登場。正面交換キットでバリエーションを増やせるのも楽しい。

ベストセレクションという新たなコンセプト

RMM：車輌と言えば、昨年からカタログなどで「ベストセレクション」のマークが付いた製品がありますよね。

K：これは、全国各地区の代表的な現行車輌を定番化して、出来るだけ在庫が切れないように再生産を行なうというコンセプトです。現行車輌ということでラインナップは徐々に変わっていきますし、再生産の機会に実車の変更点を反映させたマイナーチェンジをすることもあります。

RMM：基本セットを順次4輌化しているのは、ビギナー向けの配慮ですか？

K：「スターターセット以外の車輌で始めたい」という場合に、基本セットとM1線路セット（スターターセットと同じ線路内容）の組み合わせで車輌を選んでいただけるよう対応しているわけです。

A：単に敷居を低くするというのもあるのですが、「この車輌は守備範囲外だから」というお客様にも「この価格なら買っても良いかな」と振り返っていただく動機付けになるように、という狙いもあります。

RMM：で、結局は増結セットも買ってしまうんですよね（笑）。

Nゲージャーのレイアウト指向を実感

RMM：車輌以外のストラクチャー関係ですが、昨年は看板建築商店を出されました。

A：価格を抑えたり、正面交換キットをラインナップするなど工夫しましたが、おかげさまで大変好評です。人形やレイアウト用品もそうですが、当社がストラクチャーを始めた頃に比べると、売れ行きは雲泥の差ですね。

K：レイアウト関係が伸びてきているなと実感したのは10年近く前、ウッドランド・シーニックス社製品の取扱を始めた頃からでしょうかね。先程のキハ35系とも関連しますが、以前から販売しているデスクトップレイアウト、昨年生産体制の見直しで安定供給が可能になったのですが、これが飛ぶように売れているんですよ（笑）。

RMM：地道に種を蒔かれてきたのが、ここにきて結実しているという感じでしょうか。

K：TV番組などで鉄道模型の楽しみ方を紹介していただいたのも大きいと思いますが、Nゲージにおける工作の対象が、車輌からレイアウト全般に移って来ている感じですね。

RMM：先日出された機関士人形も好評だそうですが、私などは「人形を固定しちゃったら走らせられないんじゃないの？」と思いましたが（笑）。

A：これは、車輌とストラクチャーを別のものとして考えるのではなく、車輌を「動くストラクチャー」として捉えているわけですね。レイアウトといかないまでも、小さなジオラマに車輌、ストラクチャー、人形を配置して写真を撮る、という楽しみ方もあるわけです。

線路関係の新展開にも乞うご期待！

RMM：線路関係で何かトピックがあれば。

K：カント付き複線線路の新製品として、V14セットを予定しています。これは曲線半径がR315／282で、基本となるV11のR414／381に対する内側複線という位置付けで、組み合わせで複々線をはじめ色々な線路プランをお楽しみいただけます。

RMM：ところで、昨年「カント付き線路に匹敵するインパクトのある展開を準備中」というお話を伺ったと思うのですが…。

K：そうでした（笑）。現在、発売に向けて着実に進行中で、あと一歩というところまで来ています。

A：以前でしたら発表しても良いだろう、という段階まで来ているのかも知れませんが、近年増加しているビギナーの方も含めたより多くの層にご満足いただだくために、さらに煮詰めているところです。

K：ちょっとまだ具体的な内容はお話しできないのですが、RMMさんもご覧になれば目が点になること請け合いですよ（笑）。

RMM：それは非常に楽しみですね、引き続き期待しております。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

▲関西ファン待望の223系2000番代。もちろんベストセレクションにラインナップされている。

▲おなじみデスクトップ・レイアウトもリニューアル。大変売れているとのことで、Nゲージもいよいよ本格的なレイアウト時代を迎えたといえるだろう。　P：KATO

ディーゼル機関車
DIESEL LOCOMOTIVES

客車・貨物列車の牽引のみならず、入換などの事業用としても広く活躍が見られるディーゼル機関車。近年はJR車もオレンジの標準色のみならず、車輌更新や用途別の独自塗装などでバラエティ豊かな外観の車輌が多く登場しています。今回の製品にもそうした一風変わったスタイルの車輌が多く、また一方で黎明期の渋い形式も登場するなど、まだまだ多くの魅力のある製品展開が今後とも期待できそうなジャンルです。

ベーシック編

DD51 1000番代（暖地型）

〔TOMIX〕

★国鉄の標準的大型ディーゼル機関車DD51。TOMIXの同形式シリーズに、1000番代暖地型が追加された。
★1000番代は重連総括制御対応の500番代からの飛び番号で、基本仕様は同じだが、ボンネットラジエターカバーが3分割から2分割に変更され、キャブ屋上には扇風機カバーが付く。また暖地型は積雪の多い寒冷地域を走行しないことを前提としているため、キャブ前面窓には通常のワイパーを装備する。
★モデルではこれら外観的特徴を余すことなく再現。従来屋根にケコミを作って取り付けていたJRアンテナは、屋根板一体の交換パーツに改められた。また牽引力を増すための補助ウェイトも従来同様に付属。
★交換式ナンバーは1121・1186・1187・844号機に対応。特急〈出雲〉、〈紀伊〉のほか「サロンカーなにわ」、〈やまぐち〉の各イベント・団臨の印刷済ヘッドマークが付属する。
★その他の装備は従来と同じで、黒染め車輪を採用、フライホイール付動力を搭載。ライトON／OFFスイッチ付き。

〔価格〕
●塗装済完成品：6,510円

DD51 1000番代（JR貨物試験色）

〔TOMIX〕

★TOMIX製DD51シリーズに新バリエーションが追加。
★今回はJR貨物・北海道支社が保有する1000番代のうち、1988年頃に鮮やかなブルー基調の車体色に塗り替えられた試験塗装機を模型化。
★旋回窓、スノープラウ、JRアンテナを装備し、屋根上に扇風機カバーがある形態を再現。車体側面帯の色がクリームの「試験色A」とオレンジの「試験色B」を1セットとした限定品での発売となる。
★ナンバーは1058・1085・1088・1059号機から適宜選択。その他にメーカーズプレート、機器箱、ホイッスル、TNカプラー、牽引力を向上させる補助ウェイトが付属。
★ヘッドライトに電球色LEDを採用。

〔価格〕
●塗装済完成品
2輌セット：13,650円

【セット内容】
■DD51（試験色A・M）＋DD51（試験色B・M）

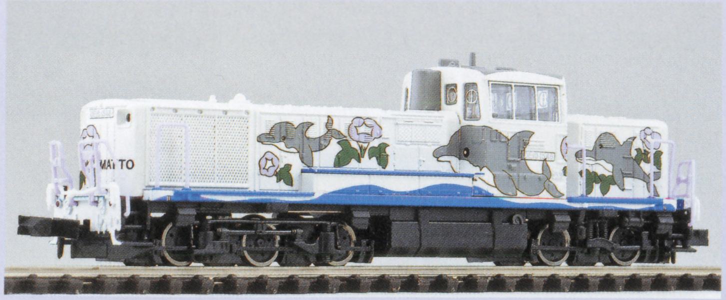
DE10 1548（松任工場）

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから！
ホビダス 35000330

★マイクロエースのDE10に、新たなバリエーションとして松任工場仕様が登場。
★実車はJR西日本松任工場構内で活躍する入換専用機。白色の車体に描かれたイルカと朝顔のイラストが特徴。
★可愛らしいイラストは印刷で表現。イラスト入り車輌を多く手がけてきた同社だけに、破綻ない仕上がりを見せる。
★薄紫色の手スリも成型色で再現されており、実車のポップな雰囲気をよく表している。
★それ以外のモデルの基本仕様は従来同様で、ヘッドライトのON／OFFは屋上無線アンテナで切り替えられる。

〔価格〕
●塗装済完成品：7,140円



DD51 1156 （JR貨物車体更新車新塗装） DD18 1 （ラッセルヘッド付）

〔マイクロエース〕

■DD18 1

ホビダスショッピングはこちらから!

32000301（DD51）
32000302（DD18）

★マイクロエースのDD51系列に新しく特定車番のバリエーションが加わった。

★一つは山形新幹線の在来線区間用ラッセル車DD18 1。DD51 796号機とDE15の複線用ラッセルヘッドを組み合わせ、軌間を1435mmに改めた改造車である。機関車本体の外観はほぼDD51のままで、旋回窓を装備し、SGを持たず、屋根上の扇風機カバーがないすっきりしたスタイル。足廻りは黒。

★モデルでは側面ナンバープレートと、前面の大柄な連結装置でDD18のイメージを演出。なおラッセルヘッドの接続はアーノルトカプラーを介して行なう。

★もう一方は寒地型1000番代のうち1975年6月に落成、現在も北海道で貨物列車の牽引に充当される鷲別機関区の1156号機。

★モデルの1156号機は2006年に更新工事を受けた後の朱十グレーに白線をあしらった更新車新塗装。キャブにはJRアンテナと扇風機カバーを装備する。

★両製品ともに改良版フライホイール付動力ユニットを搭載。

★DD18のラッセルヘッド含めヘッドライトが点灯(機関車はON／OFFスイッチ付)。

〔価格〕

●塗装済完成品

DD51：6,720円

DD18：12,600円

■DD51 1156

DF90（標準色） DF91（金太郎塗装）

〔マイクロエース〕

★国産ディーゼル機関車の黎明期に試作された電気式DL、DF90・DF91が登場。2004～05年にそれぞれ発売された各モデルの新バリエーションにあたる。

★DF90は1964年に秋田機関区へ転属した際に朱色とグレーに再塗装された「DL標準色」を製品化。1966年頃の時代設定としている。区名札は実車同様「秋」を印刷。

★DF91は国鉄買い上げ後の四国時代・1964年頃の姿がモデル。旧形式DF40に準じた非貫通前面を持ち、重連対応スカート、タブレットキャッチャー、ホイッスルを装備する。ボディカラーはDL標準色に近い朱色とグレー。

★双方共にフライホイール付き動力を搭載。各台車の2軸を駆動させる。ヘッドライトは電球色LED。

〔価格〕

●塗装済完成品：各7,140円

■DF90

■DF91

エキスパート編

●アルナイン

「とて簡」シリーズとして魅惑のアイテムが揃う、アルモデルのNゲージ専門ブランドがアルナイン。DLも渋めのラインナップが揃い、製作者のイメージを存分にかき立ててくれる。

◀**とても簡単な凸型ディーゼル（旧式）** ボンネットの前頭部にわずかな傾斜を持つ、津軽鉄道などに類機が存在する非電化私鉄DLの標準スタイルをイメージした1輌。キット1,980円。

●アオシマ

プラモデルメーカー大手のアオシマから珍しくもリリースされた鉄道モデルは、アイコム製キャラメルN動力を使用した、なんとも愛らしいスタイルのスイッチャーである。

▶**酒井5tタイプ** 全国の森林鉄道などで広く活躍した、L型車体のスイッチャー。動力に対応するため、少々スケールより幅広にデフォルメされている。塗装済完成品（2色）各5,040円。

電車(JNR/JR)
ELECTRIC CARS(JNR/JR)

今年のJR車輌製品では、首都圏で次世代車輌として増備が続くE233系が、KATO・TOMIX両メーカーから競作となったのが目を引きました。両社ともその他定番製品のバリエーション展開も積極的です。またマイクロエースは得意とする「地方独自タイプ」のJR車輌を多く製品化しているなど、各メーカーの特徴がより際立つ傾向が見られました。また近年は実車の引退などに合わせた「さよならセット」の企画も目立つようになっています。

ベーシック編

103系(JR東海色／スカイブルー)〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスN 29000309(スカイブルー)

★マイクロエースからJR東海中央線仕様の103系が登場。

★シールドビーム2灯化、全車にAU75冷房付きのスカイブルーの7輌編成(JRマーク付き)と、1991年からの更新工事でアイボリーに湘南色の帯のJR東海色に床下グレーとした3輌編成の2セット。

★名古屋地区での103系の活躍は1977年に神領電車区に配置されたことで始まり、それ以後中央線・関西線の朝夕のラッシュ時の輸送に1999年まで活躍した。

★車輌ごとの屋上クーラーに、角型ファン穴を持つ日立製や、ステンレスキセのものを取り混ぜてバラエティを持たせている。

★各セットとも、側面サボ受け、前面ルーバー寒ぎ板、運転台助士席側ワイパーなどを印刷表現。

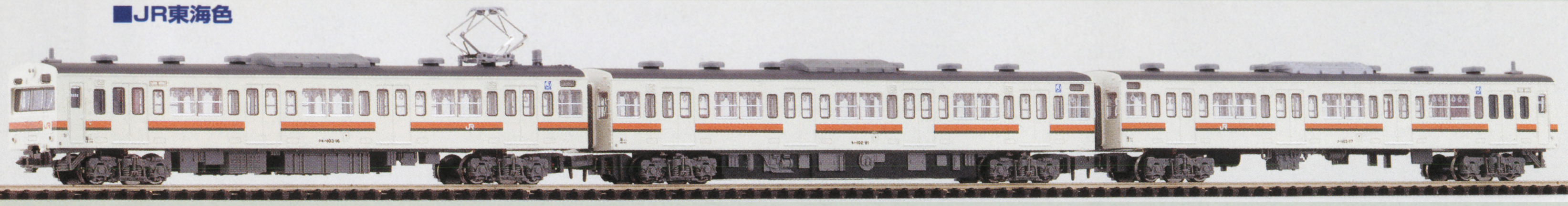
★JR東海色仕様ではドアレール点検蓋も印刷再現。

★動力はフライホイール付き、方向幕シール付属。室内灯は幅広タイプが対応する。

【価格】
●塗装済完成品
JR東海色3輌セット：10,500円
スカイブルー7輌セット：19,950円

〔セット内容〕
■JR東海色：クモハ103-16＋モハ102-91 (M)＋クハ103-77
■スカイブルー：クモハ103-7＋モハ102-80 (M) ＋サハ103-148＋サハ103-150＋モハ103-126＋モハ102-229＋クハ103-549

■JR東海色



■スカイブルー

203系 0番代(2次車)〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスN 33000301

★営団(現・東京メトロ)千代田線乗り入れ対応車として四半世紀以上も使われている203系。Nゲージではマイクロエースから0番代・100番代が製品化されているが、このたび同社から0番代の追加ラインナップが発売となった。

★2004年リリース品が国鉄時代の第8編成をプロトタイプとしたのに対し、今回はJR化後の第5(マト55)編成を選択。JRマーク貼替え、無線アンテナ設置、妻面窓閉鎖などが国鉄仕様との主な違い。

★フライホイールのないタイプの動力ユニットを装備。ヘッド／テールライトは点灯式となる。

★その他基本的な作りはこれまでの203系と同等。

★幅広室内灯に対応。

【価格】
●塗装済完成品
基本6輌セット：18,375円
増結4輌セット：10,500円

〔セット内容〕
■基本セット：クハ203-5＋モハ203-14＋モハ202-14(M)＋モハ203-15＋モハ202-15＋クハ202-5
■増結セット：モハ203-13＋モハ202-13＋サハ203-9＋サハ203-10

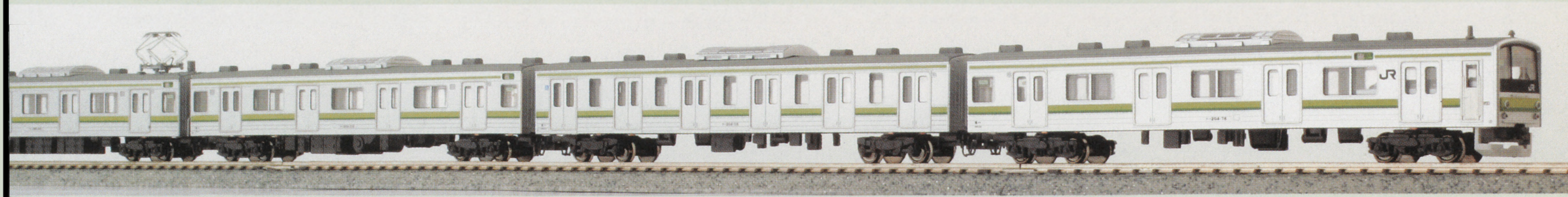
205系（横浜線色）〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから！
33000315

★1988年の登場以来、不動の地位を保ち続ける横浜線のヌシ・205系。これまでにKATOが1995年に前面スカートなし、2001年にスカート付きをそれぞれ6扉車組込編成として製品化しているが、このたびその続編としてリニューアル品が登場した。
★今回のセットは2001年リリース分の製品に準ずるもので、現在の姿に合わせLED方式の前面行先表示器と、緑色バックの側面方向幕を再現した点が前回品との主な違い。
★プロトタイプは1モデル前のH21編成に対してH16編成を選択。特定編成ということで車番は印刷済となる。さらに今回から弱冷房車標記と車椅子マークも印刷済となった。
★前面表示、側面表示、号車番号、優先席表示を収録したシールが付属。無線アンテナと信号炎管はこれまでと同様にユーザー側で取り付ける。

【価格】
●塗装済完成品
8輌セット：16,800円

【セット内容】
■クハ204-76+サハ204-116+モハ204-212+モハ205-212+サハ205-136+モハ204-211(M)+モハ205-211+クハ205-76



205系1200番代（南武線）〔KATO〕

★近年、転配や改造でバリエーションを大きく増やした205系。今回は南武線に現れた新顔が製品化された。
★実車は山手線のE231系への置き換えによる余剰車を転用したもので、先頭車不足を補うためサハ205から改造された1200番代先頭車を含む中原電車区のナハ47編成。
★製品は1000番代、1100番代、3000番代、3100番代といった改造先頭車を含む一連の製品に続くもので、205系山手線投入車の客ドアの天地の狭い窓に近代的なスタイルの前面を持つのが特徴。
★ヘッドライトは白色LEDによって点灯、並ぶテールライトも同じく点灯。中間はKATOカプラー密連形B標準装備。
★車番、弱冷房など標記、JRマークは印刷済。付属のステッカーには行き先、ラインカラーの黄色い号車札が収録される。
★その他ユーザー取付部品として信号炎管、列車無線アンテナが含まれる。

【価格】
●塗装済完成品
6輌セット：13,650円

【セット内容】
■クハ205-1202+モハ205-16+モハ204-16(M)+モハ205-18+モハ204-18+クハ204-1202

205系 1100番代（鶴見線タイプ）〔ラウンドハウス〕

★ラウンドハウスブランドから、205系3000番代を元にした鶴見線用1100番代がリリース。
★鶴見線の1100番代は103系を置き換える目的で2003年にデビュー。先頭車クモハ204・クハ205はいずれも中間車から改造された点が珍しい。
★モデルは実車編成に則したクモハ十モハ十クハ3輌セットでの発売。
★JRマーク、車番、所属標記、明るい黄十青十白のラインは印刷で表現。なお本製品はタイプであるため、その性質上詳細なディテール表現は省略されている。
★行先表示シールが付属。前面の方向幕は車体を分解して貼り付ける仕組み。その他ユーザー側で取り付ける屋上パーツが一部あり。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：9,975円

【セット内容】
■クハ205-1102十モハ205-134(M)十クモハ204-1102

JR東日本 E231系（常磐線）〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
29000341

★KATO製E231系に新たなバリエーションとして常磐線仕様が登場。
★プロトタイプは松戸車両センター所属の105編成10連と125編成5連。
★前面のスカートは後退角の付く強化型タイプを再現。電連付き、電連なしでそれぞれ欠き取りの違いも表現している。
★連結器はボディマウント伸縮密連型を装備。先頭部は、10輌基本では取手寄りのみ、5輌付属では両側の先頭車にこのカプラーが装備され、10＋5の他、5＋5の10輌編成も再現できる。
★乗務員室仕切り壁、前面窓上部の青色のサンバイザー、方向幕シールのガラス裏面貼付など、JR東日本の一連の通勤電車と同じディテール表現が踏襲されている。
★付属部品には行先表示シール、無線アンテナ、信号炎管が入る。

【価格】
●塗装済完成品
6輌基本セット：15,750円
4輌増結セット：7,245円
5輌セット
：14,700円

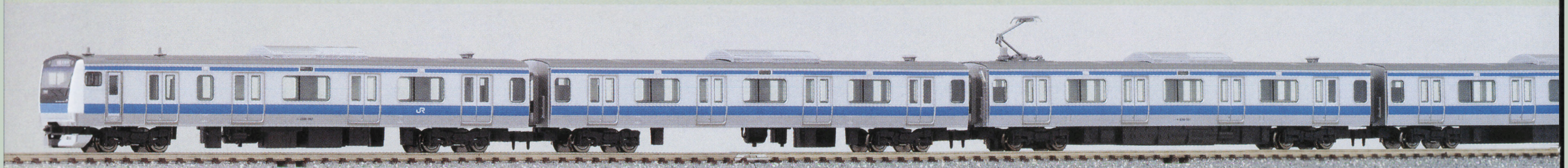
〔セット内容〕
■6輌基本セット：クハE230-51＋サハE231-148＋モハE230-97＋モハE231-97(M)＋サハE231-147＋クハE231-51
■ 4輌増結セット：モハE230-98＋モハE231-98＋サハE231-150＋サハE231-149
■5輌セット：クハE230-52＋モハE230-99＋モハE231-99(M)＋サハE231-151＋クハE231-52

JR東日本 E233系（京浜東北線）〔TOMIX〕

★長い間209系の天下であった京浜東北線に颯爽とデビューを飾ったE233系がTOMIXからNゲージで登場。中央線仕様に続く同形式のバリエーションが早くも展開された。
★プロトタイプには東急車輌製を選択。1000番代特有の顔立ちである前面下部の切り欠きと、ワイパー横に設けられた運行番号表示器を再現。ワイパー位置も中央線に比べ若干高くなっている。
★クーラー、屋根上ビード、無線アンテナ位置といった細部も実車に基づいた作り込み。
★セット構成は中央線仕様と同じく、3輌基本、3輌増結I、4輌増結IIの3セット構成。ダブルパンタ車は増結Iセットに収録される。
★基本セットのみ車番が印刷済で、残りは増結セットに付属するインレタにて対応。
★付属パーツ内容や模型の基本仕様は中央線仕様と共通。
★ヘッド／テールライト、行先表示、運行番号表示器が点灯。

【価格】
●塗装済完成品
3輌基本セット　：10,290円
増結セットⅠ（3輌）：7,350円
増結セットⅡ（4輌）：8,925円

〔セット内容〕
■3輌基本セット：クハE233-1001＋モハE233-1201(M)＋クハE232-1001
■増結セットⅠ：モハE233-1000＋モハE232-1000＋モハE232-1200
■増結セットⅡ：サハE233-1200＋モハE233-1400＋モハE232-1400+サハE233-1000



JR東日本 E233系1000番代（京浜東北線）〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000324

★中央線用0番代に続き、京浜東北線用のE233系1000番代もKATOからリリース。
★プロトタイプは浦和電車区104編成。0番代と同じ東急車輌製をセレクトしている。6輌＋4輌の販売形態は中央線と同様だが、今回は京浜東北線用のため10輌貫通編成となる。
★0番代と比べると先頭車前面のホーム検知装置の欠き取りが目立つほか、クハE233・クハE232・モハE232・サハE233の床下、クハE232・クハE233・モハE233の屋根を新規製作、0番代と異なる床下機器配置やパンタ廻りの配管、無線アンテナ位置を再現している。アンテナも四角台座付のタイプが付属。
★各種標記・行先表示は印刷済で、行先は製品状態では「快速　京浜東北線」が入る。交換用として「各駅停車　京浜東北線」と無地の行先表示（いずれも前面用のみ）が付属し、その他バリエーションにはラウンドハウスブランドのグレードアップシールが用意される。
★その他、製品の構成や基本仕様は0番代と同様。

【価格】
●塗装済完成品
6輌基本セット　：16,800円
4輌増結セット　：7,350円
グレードアップシール
：840円

〔セット内容〕
■6輌基本セット：クハE232-1004＋モハE232-1204＋モハE233-1204（M）＋モハE232-1004＋モハE233-1004＋クハE233-1004
■4輌増結セット：サハE233-1004＋モハE232-1404＋モハE233-1404＋サハE233-1204

JR東日本 E233系（中央線）

〔KATO〕

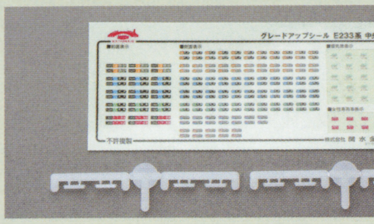
ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 29000300

★E231系に代わるJR東日本の主力通勤電車として、2006年より中央快速線に続々と投入されているE233系がいよいよ登場。
★プロトタイプとした編成は6+4の分割併合のできる豊田電車区H46編成、車輌メーカーは東急車輌。
★機器装置の二重系統化によるダブルパンタ車も基本・付属編成それぞれに存在。
★連結器は非連結側先頭車を除き全てボディマウントのKATOカプラー密連型を装備。
★前面の行先表示は「中央特快 高尾」が製品状態で取付済となり、セットには交換用パーツとして「快速　東京」が付属する。また側面行先表示や各種マークも印刷済で、行先変更用として、グレードアップシールがラウンドハウスブランドにて別売りで用意される。
★ライトは白色LEDの活用でHIDランプを再現。
★そのほか、サスペンション機構、フライホイール搭載、DCCフレンドリー、スナップオン台車と最近の同社製モデルではお馴染みの装備が入る。

【価格】
●塗装済完成品
6輌基本セット：16,800円

4輌増結セット　：9,450円
グレードアップシール：735円

〔セット内容〕
■6輌基本セット：クハE233-46+モハE233-46+モハE232-46+モハE233-246(M)+モハE232-246+クハE232-504
■4輌増結セット：クハE233-504+モハE233-604+モハE232-604+クハE232-46



JR東日本 E233系（中央線・T編成）

〔TOMIX〕

★中央線201系に代わり今や主力となったE233系通勤電車が、KATOに続いてTOMIXからも登場。
★プロトタイプは豊田電車区所属10輌貫通のT編成。6+4の分割編成を選択したKATOとは異なるプロトタイプ。車輌メーカーは新津車両製作所。
★基本セットが3輌、増結Iが3輌、増結IIが4輌というセット構成で、ビギナーにも求めやすく、段階的に増備可能である。
★基本セットの先頭車は標準で中央特快の種別が表示され、車番も印刷済。前面表示機の交換パーツは増結セットIに付属する。各増結セットにはT1・T6・T13・T27・T34の編成全車をカバーする銀色ベースに印刷された車番が入る（T1は中間車番のみ）。
★ドア縁部分の光沢を変えてディテールを際立たせたている。各部の塗装・印刷仕上がりも良い。
★シングルアームのPS33Dパンタは新規製作。予備パンタ搭載でWパンタのモハE233-0は増結セットIに含まれる。
★そのほか基本仕様は先頭車、ライトON／OFFスイッチ付き、動力車はフライホイール、新集電システム、黒染め車輪を採用。
★付属パーツにはアンテナ、信号炎管、避雷器など。
★標準では編成中1Mとなるが、追って発売の別売り動力ユニットを用いて2M化することも可能。

【価格】
●塗装済完成品
3輌基本セット　　　：10,290円
増結セットⅠ（3輌）：7,350円
増結セットⅡ（4輌）：8,925円

〔セット内容〕
■3輌基本セット：クハE233-1+モハE233-201(M)+クハE233-1
■増結セットⅠ：モハE233-0+モハE232-0+モハE232-200
■増結セットⅡ：サハE233-500+サハE233-0+モハE233-400+モハE233-400

ベーシックセッSD E233系中央線

〔TOMIX〕

★TOMIXベーシックセットの廉価版「SD」に中央線用E233系を含んだ製品が登場した。
★レールと車輌、パワーユニットがひと通り組み合わされ、これだけで運転を楽しめる好適な入門セット。すでに同パターンで車輌違いの製品が数種リリースされており、本製品も車輌以外の内容はそれらと同じもの。
★車輌は通常品の3輌セットと同じクハE233-1+モハE233-201（M）+クハE232-1。線路はストレートレールS140（F）×1・S280（F）×3、カーブレールC280-45（F）×8、リレーラーレールS140-RE（F）×1で小判型エンドレスを組む。パワーユニットはN-1が付属。その他リレーラー、D.C.フィーダーN、スタートアップガイドなどが含まれる。

【価格】
●16,800円

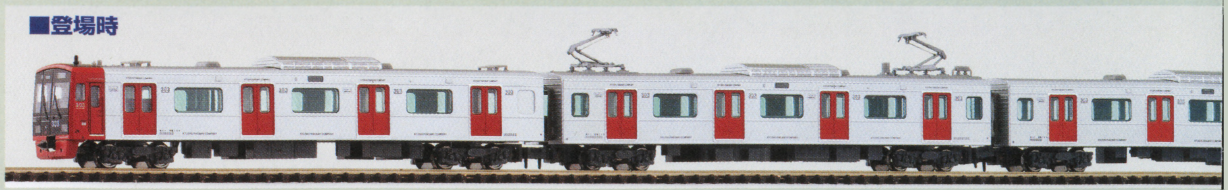
JR九州303系（登場時／改装後）

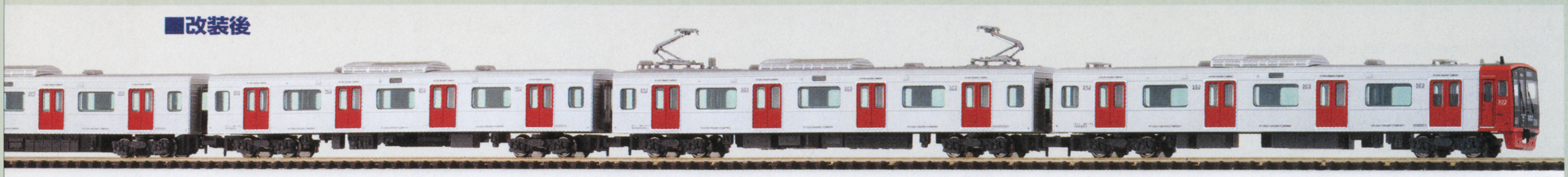
〔マイクロエース〕

★JR九州の4扉直流通勤電車303系が、各ゲージ通じても初の製品化。
★実車は筑肥線下山門～筑前前原間の複線化に合わせ、増発用として1999年に登場。ワンマン運転の福岡市営地下鉄乗り入れのためATO自動運転装置も搭載されている車輌。
★モデルはJR九州のコーポレートカラーの赤色を配した大胆なデザインの車体を美しく再現。
★登場時・改装後の2種のセットが用意され、改装後仕様は2003年に車椅子対応の便所をクハ303に設置改造した後の姿としている。
★便所の有無以外にも、側面扉脇2箇所と前面に入るワンマン標記、モハ303-2に入る弱冷房車標記のほか、前照灯は登場時電球色、改装後白色と違いを再現している。
★動力はフライホイール付き。行き先表示シールが付属。なおオプションの室内灯は幅広を指定。

〔価格〕
●塗装済完成品
6輌セット：各18,375円

〔セット内容〕
■登場時：クハ303-1＋モハ303-101＋モハ302-1＋モハ303-1(M)＋モハ302-101＋クハ302-1
■改装後：クハ303-2＋モハ303-102＋モハ302-2＋モハ303-2(M)＋モハ302-102＋クハ302-2


■登場時


■改装後

JR西日本321系（2次車）

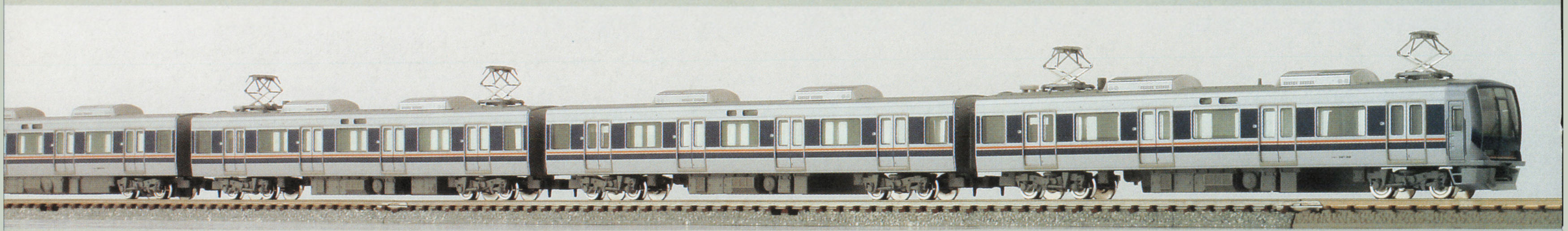
〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス No. 35000336

★TOMIXの321系が、2次車仕様として再登場。
★2005年に登場したJR西日本の通勤型電車321系。2次車（第17編成～）では、非パンタ車に従来あったパンタ取付用台座が省略されたのが特徴である。
★製品は2007年発売の2パンタ車を基本に、この2次車の姿としたもの。パンタ用台座のない屋根板が新たに作られている。
★3＋4輌のセット構成は前回同様。車番は基本セットのみ第22編成のものが印刷済で、増結セットはインレタ式。基本セットの車番変更もこれで対応する。前回インレタだった扉脇の半自動スイッチは印刷に改められた。前面方向幕は交換式のプラパーツで、基本セットは取付済。交換用は増結セットに付属する。
★ヘッド・テールライト点灯（常点灯対応）。フライホイール付動力ユニット搭載。先頭車前面はTNカプラー標準装備。ユーザー取付の無線アンテナが付属する。
★なお、今回の2次車発売により従来の321系基本・増結セットは生産中止となる由。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輌基本セット　：10,395円
4輌増結セット　：10,815円

〔セット内容〕
■基本3輌セット：クモハ320-22＋モハ320-44 (M)＋クモハ321-22
■増結3輌セット：モハ321＋サハ321＋モハ321＋モハ320



113系（JR四国更新車イエロー）

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス No. 29000315

★昨年5月にマイクロエースから発売された113系JR四国更新車ピンク・ブルー編成に続き、3色目となる黄色編成が発売。
★基本構成は前回製品と同様で、難しいメタリック調の塗装も綺麗に再現。
★ヘッド／テールライトON／OFFスイッチが付き動力はフライホイール付。室内灯は幅広が対応、方向幕シールも付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット　：14,490円

〔セット内容〕
■クハ113-3＋モハ113-3(M)＋モハ112-3＋クハ112-3

115系300番代「こんぴら号」〔マイクロエース〕

★113系黄色編成と同時に、同じく瀬戸大橋線を渡る115系が登場。奇しくも車体色が黄色で共通しているのがおもしろい。
★115系300番代「こんぴら号」は香川県の金比羅神社への観光キャンペーンに伴いJR西日本岡山電車区に所属する編成を塗り替えたもので、瀬戸大橋線を主体に活躍した。
★既存の115系300番代のバリエーションで、基本構成は同じとなる。
★「こんぴら号」は客扉に配された「金」マークや独特の書体の文言が楽しげな車輌。
★ヘッド／テールライトON／OFFスイッチ装備で、フライホイール付動力。室内灯は幅広タイプ対応。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：11,025円

〔セット内容〕
■クハ115-410＋モハ114-360＋クモハ115-324(M)

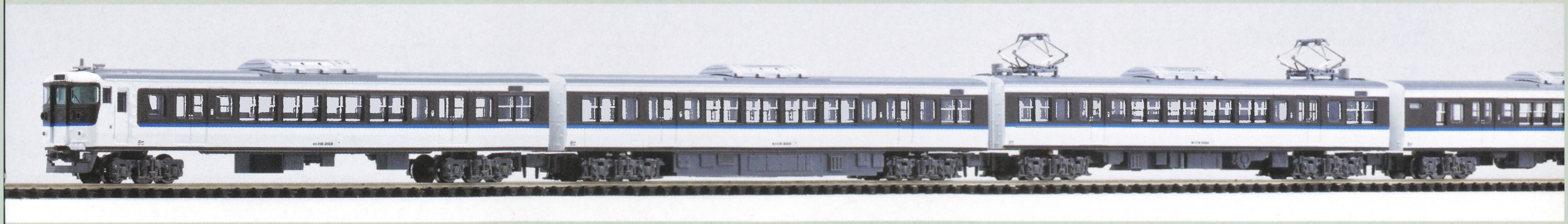
115系3000番代（30N更新車）〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000383（基本セット）

★山陽線広島地区で活躍する異色の115系、3000番代。最近の更新車仕様がマイクロエースから登場した。
★115系3000番代は、同地区の増発と在来車置換用として1982年から製造されたもの。115系をベースとしながらも運用線区の特性から、車体は117系に準じた2扉、転換クロスシート装備としている点が特徴。2004年からは延命30N工事が開始された。
★製品は2003年発売の3000番代をもとに、延命30N工事後の仕様としたもので、イメージを一新した塗色も鮮やかに再現。押さえ金やHゴムの廃された前面窓廻り、ベンチレーターのない屋根は新規パーツとされている。
★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。フライホイール付動力ユニット搭載。室内灯は幅広に対応。
★車番・標記は印刷済。方向幕ステッカーの他、基本セットには交換用アーノルトカプラーが付属。

【価格】
●塗装済完成品
4輌基本セット：15,015円
4輌増結セット：12,180円

〔セット内容〕
■基本セット：クハ115-3103＋モハ115-3003（M）＋モハ114-3003＋クハ115-3003
■増結セット：クハ115-3112＋モハ115-3012＋モハ114-3012＋クハ115-3012



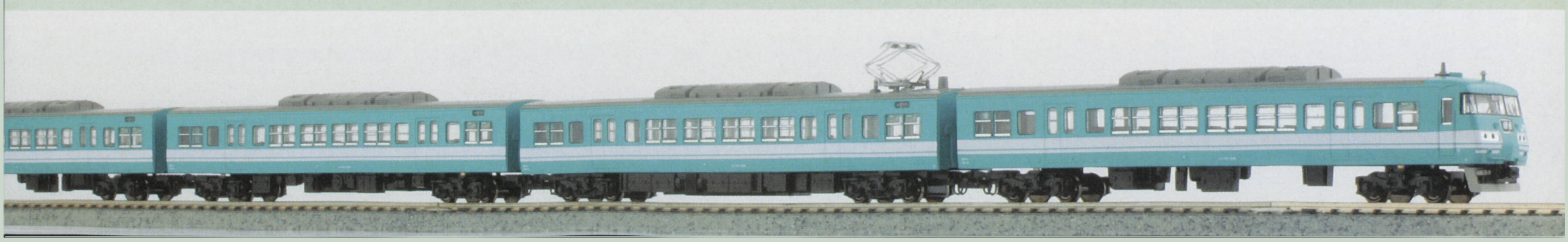
117系（オーシャンカラー）〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000347

★KATOの117系に、新たなカラーバリエーションが追加となった。
★「オーシャンカラー」は2000年以降、紀勢本線で運用される117系に施されているもので、緑がかった水色をベースとした南国を連想する配色。
★製品は既存の0番代車の塗装変更品。印刷済のナンバーはセミクロスシート化、元ダメ管圧力の変更の改造を受けた300番代となっているが、シート部品の作り分けは行なわれていない。
★前面種別表示には221系以降に見られる書体で普通を印刷済。
★先頭車屋上にはJR無線アンテナを装備。
★中間カプラーはKATOカプラー密連形Bタイプ、ヘッド・テールライト点灯など標準装備。
★方向幕と各種標記類を収録したシールと信号炎管、JR無線アンテナが付属する。

【価格】
●塗装済完成品
4輌セット：11,550円

〔セット内容〕
■クハ116-318＋モハ116-305＋モハ117-305(M)＋クハ117-318



119系（JR東海色・分散冷房車／飯田線色・非冷房）

〔マイクロエース〕

★マイクロエースから飯田線で活躍する119系2輌編成が2つの仕様で登場。
★119系は1982年、飯田線の旧型国電置き換え用として登場。先に登場していたローカル用通勤電車105系をベースに抑速ブレーキを搭載した車輌。
★登場から80年代まで存在したスカイブルーの地に灰色9号の帯、非冷房の「飯田線色」仕様と、民営化以降現在までのアイボリー地に湘南色の帯を巻いた塗色に分散冷房の「JR東海色」仕様の2種。
★全体のプロポーション把握は良好で、クモハ119の側面ルーバーはモールドによる再現。また方向幕窓も貫通している。
★細かなディテールではドア取っ手、クツズリ、前面ワイパーなど効果的な色差しがしてある。「JR東海色」には座席にカバー表現がされている。
★「飯田線色」はシルバーシートマーク、「JR東海色」では車端部JRマークが印刷済。
★ライトはON／OFFスイッチが付き、室内灯は幅広が対応、そのほか方向幕シールが付属する。動力はフライホイール搭載。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット
：各9,765円

〔セット内容〕
■JR東海色：クモハ119-5008(M)＋クハ118-5006
■飯田線色：クモハ119-10（M)＋クハ118-4

■飯田線色・非冷房

■JR東海色・分散冷房車

JR西日本 223系2000番代

〔KATO〕

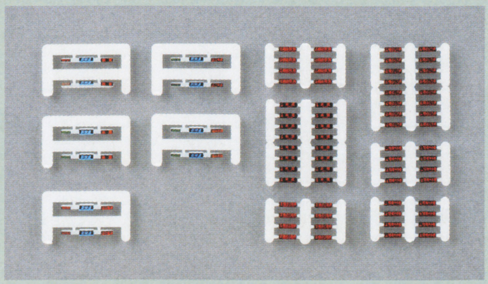
ホビダスショッピングはこちらから！
ホビダスNo. 31000362

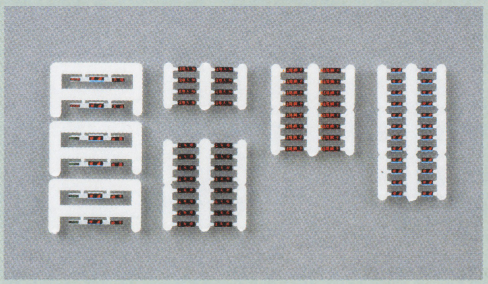
★KATOから既存の223系1000番代に続き同系2000番代が登場。
★JR西日本の「新快速」全運用223系化、130km／h運転に合わせ増備されたグループ。外見は、側面ビードがなくなりライト開口部が大型化、そしてテールライトをライトケース内に併設している点が特徴。
★製品は8輌セットが2次車、4輌セットが1次車をプロトタイプとし、その違いも再現。
★前面JRマークの有無（有が2次）、運番表示の方式（マグサインが1次、LEDが2次）窓ガラスの色（透明スモークが1次・薄緑が2次）。
★ライトケースに収められたヘッドライト、テールライトとも光漏れを起こすことなく、きれいに別々に点灯。
★方向幕は標準で「新快速」姫路が入る、別売りのオプションパーツで好みのものに交換可能。
★カプラーはKATOカプラー伸縮密連形、先頭・中間車、問わず全てに採用。
★基本仕様はDCCフレンドリー、ライトON／OFFスイッチ、サスペンション機構、フライホイール動力車。

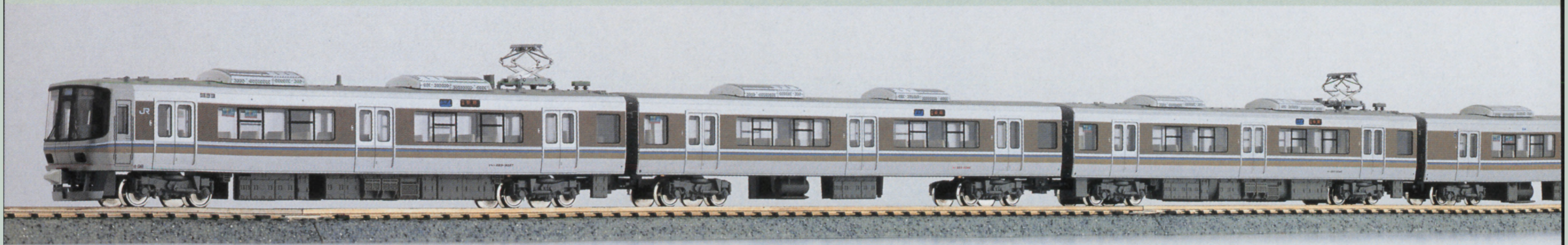
【価格】
●塗装済完成品
8輌セット：20,475円
4輌セット：14,280円

方向幕パーツ「新快速」
：1,575円
方向幕パーツ「快速」
：1,470円

〔セット内容〕
■8輌セット：クハ222-2057＋モハ223-2027＋サハ223-2135＋サハ223-2134＋モハ223-2152(M)＋サハ223-2133＋サハ223-2132＋クモハ223-2057
■4輌セット：クハ222-2037＋モハ222-3040(M)＋サハ223-2082＋クモハ223-3037







JR東日本E217系

〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 35000321

★従来より発売されているKATOのE217系が、販売スタイルを変更して再登場。

★KATOの製品群の中でも特に人気の高いモデルを定常的に供給するため、ベストセレクション商品と銘打って入門者でも買いやすいパッケージに変更したもの。今回のE217系がその第1弾となる。

★基本セットは11輌編成の両端の先頭車とM付の中間電動車、2階建てグリーン車1輌の4輌で、実車では組めない編成ながら入門者には良きアプローチとなるであろう。

★実物に則った編成で楽しみたい方には、久里浜寄りの付属4輌をセットにした付属編成セットがおススメ。そのほか中間車は増結セットA・Bとして段階的にフル編成を揃えられるようになっている。

★モデル自体の変更点はプロトタイプを鎌倉車両センターのY43編成（基本）・Y136編成（付属）に変えたことで、前面編成番号、車番が改められている。

★基本編成の1号車クハE216-2064は、中央客室窓に実車と同じくピラーが追加表現されている。

★その他機能はフライホイール付動力、ボディマウントカプラーなど従来品と同様。

【価格】

●塗装済完成品

4輌基本セット	：11,550円
4輌増結セットA	：8,505円
3輌増結セットB	：4,410円
4輌付属編成セット	：13,230円

〔セット内容〕

■基本セット：クハE216-2064＋モハE217-2085 (M)＋サロE216-43＋クハE217-43

■増結セットA：モハE216-2085＋サロE217-43＋モハE216-1043＋モハE217-43

■増結セットB：サハE217-2086＋サハE217-2085＋サハE217-43

■付属編成セット：クハE216-2017＋モハE216-2072＋モハE217-2072 (M)＋クハE217-2036

JR東海311系(登場時／床下グレー／シングルアームパンタ)

〔マイクロエース〕

★JR東海の新快速用車輌として1989年にデビュー、現在も主として普通列車に充当され活躍を続けている311系が初のプラ製品化。

★黒色床下＋側面帯に白色のJRマークが入った登場時、JRマークが所属標記近くに移され、かつ床下がグレーに変更された1992年頃からの姿、シングルアームパンタに換装された2006年以降の形態を、それぞれ4輌セットで用意。

★初期に見られた小型のC-AU711クーラーを登場時セット両先頭車に搭載。他2種では実車においてクーラーの能力不足が指摘された後に順次交換されていった大型のC-AU713を再現。

★整然と並ぶ室内転換クロスシートを実感的に演出。

★ヘッド／テールライト、前面行先表示がLEDで点灯。室内灯はオプションとなっており、幅広タイプが指定される。

★行先表示シールが付属。

【価格】

●塗装済完成品

4輌セット

：各14,490円

〔セット内容〕

■登場時：クモハ311-3＋モハ310-3(M)＋サハ311-3＋クハ310-3

■床下グレー：クモハ311-5＋モハ310-5(M)＋サハ311-5＋クハ310-5

■シングルアームパンタ：クモハ311-4＋モハ310-4(M)＋サハ311-4＋クハ310-4

■登場時

■床下グレー(奥)、シングルアームパンタ(手前)

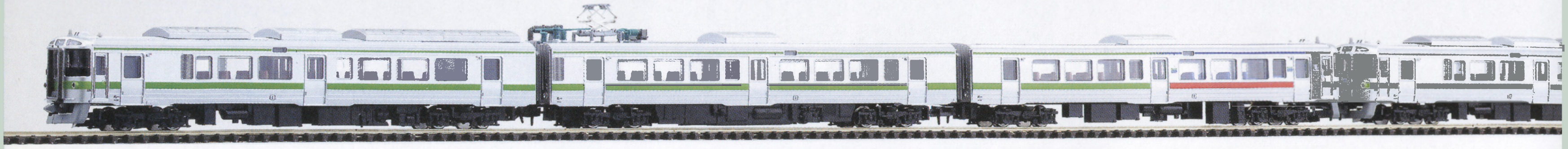
JR北海道721系 100番代／3000番代（半室uシート車）〔マイクロエース〕

★0番代、1000番代をカタログに連ねるマイクロエースの721系に、100番代、3000番代が加わった。
★100番代は快速〈エアポート〉用電車として1992年に登場。6輌固定貫通編成であり、4号車サハ721の半室は指定席となっている。
★モデルは実車のF103＋F203編成を元に、サハの指定席が「uシート」にアップグレードされた後の、2000年11月〜2002年2月頃まで見られた姿を模型化。
★一方の3000番代は0番代・100番代に最高速度130km/h化対応工事を施工したもので、2002年から発生したバリエーション。
★モデルはF3019とF3020編成をアソートした3＋3 の6輌セットでの発売。クハ721-3019の「uシート」が普通座席に戻されるまでの、2002〜2004年頃に見られた時代設定となる。
★ヘッド／テールライトはLEDによる点灯式でON／OFFスイッチ付。3000番代では実車がHID化されたのに伴いLEDの色調を変え雰囲気を出している。
★両セットに721系共通の行先表示シールが付属。

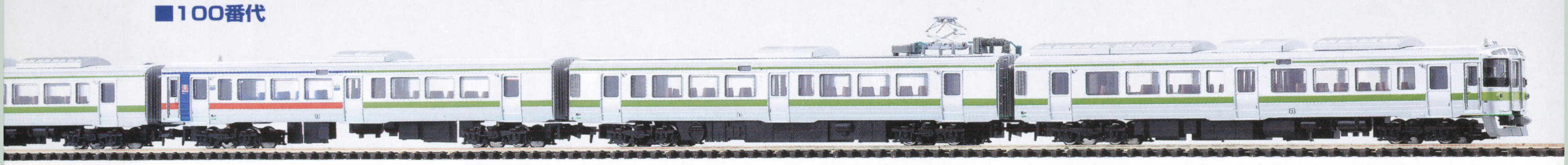
【価格】
●塗装済完成品
6輌セット100番代
：18,375円
3000番代
：19,950円

〔セット内容〕
■100番代：クモハ721-203＋モハ721-203(M)＋サハ721-203＋モハ720-103＋モハ721-103＋クハ721-103
■3000番代：クモハ721-3019＋モハ721-3019(M)＋クハ721-3019＋クモハ721-3020＋モハ721-3020＋クハ721-3020

■3000番代



■100番代



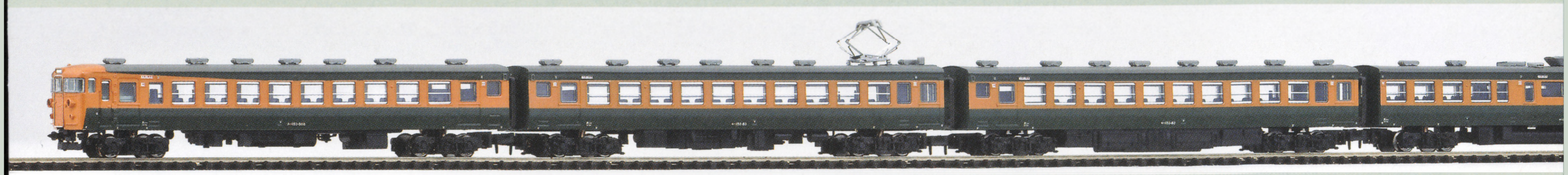
153系 特急〈こだま〉 〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000322

★新性能急行型電車の始祖153系が代走運用〈こだま〉仕様としてリリース。
★プロトタイプは1964年、踏切事故で所定の151系に不足をきたした際に宮原電車区の153系により運転されたもので、通常の〈こだま〉に対し「かえだま」などと揶揄された有名な事例である。151系は予備車に余裕がなかったために、何度か153系の代走が見られたという。
★既存の153・165系のバリエーション展開的な製品だが、高運転台のクハ153、サロ152、サハシ153は初のプロトタイプ。その時代設定ゆえ、1等車も含めて非冷房。動力は基本・増結セットそれぞれに入る。
★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。室内灯は幅広に対応。
★車番・標記、サボ類は印刷済。ヘッドマークはステッカーで対応。前面種別幕は予め白地になっているが、無地のステッカーも含まれる（ステッカーは基本セットのみ付属）。

〔価格〕
●塗装済完成品
8輌セット：22,575円
3輌セット：10,500円

〔セット内容〕
■8輌セット：クハ153-508＋モハ152-83＋モハ153-83（M）＋サハシ153-16＋サロ152-9＋モハ152-17＋モハ153-17＋クハ153-505
■3輌セット：サロ152-3＋モハ152-115＋モハ153-115（M）



165系〈内房〉／169系〈信州〉／169系900番代〈志賀〉 〔マイクロエース〕

★マイクロエースから列車編成ごとに特定車番を組み込んだ165系のバリエーション、〈内房〉〈信州〉〈志賀〉の各急行列車セットが発売。
★〈内房〉にアソートされるモデルは、製造時から冷房化されていた165系最終製造グループとし、屋上ベンチレーターの配列に従来車との違いを再現。またパンタ車は低屋根構造の800番代車、先頭車には印刷済の愛称板プラ製パーツが付く。
★〈信州〉セットのモデルは、製造時から冷房改造を見込んで通気配管などが準備された冷房準備車の169系。屋上の通気口を塞ぐ蓋が特徴。
★〈志賀〉セットは、横軽協調運転対策の試作車として165系900番代の形式名称で登場し、後に169系に組み込まれた車輌。モデルの屋上には冷房準備車の証である蓋が再現されている。更に前面貫通扉の愛称板サボ差しも見られる。
★各セットの先頭車床下にはヘッド・テールライトのON／OFFスイッチを装備。また、サボなどシールが付属する。

〔価格〕
●塗装済完成品
165系〈内房〉7輌セット：21,000円
169系〈信州〉9輌セット：24,675円
169系900番代〈志賀〉3輌セット：12,075円

〔セット内容〕
■165系〈内房〉セット：クハ165-199＋サロ165-131＋モハ164-857（M）＋クモハ165-134＋クハ165-191＋モハ164-849＋クモハ165-126
■169系〈信州〉セット：クモハ169-3＋モハ168-3（M）＋サロ169-9＋サロ169-5＋サハシ169-3＋クハ169-23＋クモハ169-11＋モハ168-11＋クモハ169-20
■169系900番代〈志賀〉セット：クモハ169-904＋モハ168-904（M）＋クモハ169-904

■<内房>

■<信州>

■<志賀>

455系
(クロハ455・磐越西線／あかべぇ・磐越西線)
475系
(JR九州／国鉄復活塗装)
〔TOMIX〕

鉄ホビダイレクト取扱商品

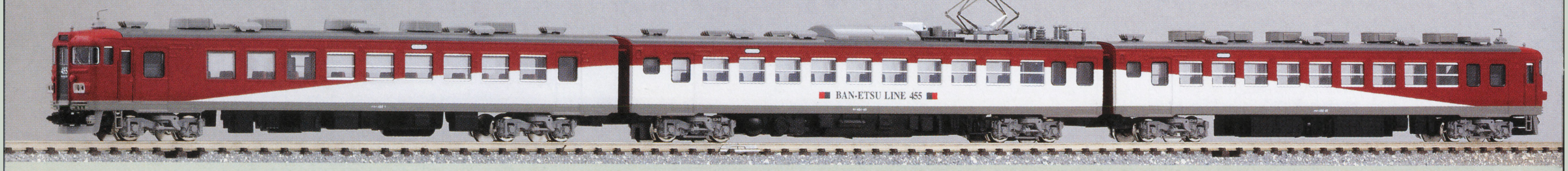
ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 32000304（JR九州）

★近年、車体の老朽化や接客設備の旧式化などを理由に淘汰が進む国鉄急行型電車であるが、TOMIXから、455・475系4種が模型化された。
★455系・クロハ455編成は快速〈ばんだい〉に用意された半室グリーン改造車のクロハ455-1を含むS40編成。磐越西線色を纏い、モハ454側面には「BAN-ETSU LINE 455」のロゴも美しく再現。前面角型ライト、アンチクライマーなどの特徴も再現しており、クロハ455-1と対を組むクモハ455-40はAU12型クーラーを6基搭載。同社の急行型電車の普通車で、AU12クーラー搭載車は初登場。
★455系「あかべぇ」は2006年に登場。赤十白十グレーの車体色に、元は観光キャンペーンのキャラクターで今や磐越西線のマスコット的存在となりつつある赤べこ「あかべぇ」を車体周囲に並べた印象深いデザインが特徴。先頭車ライトは仙台の455系によく見られた角型。
★475系JR九州色は主に南九州のローカル線区で活躍。カラーリングは白を基調とした車体に青帯入り。屋上のベンチレーターは撤去されている。
★475系国鉄復活色は、2000年に限定的に国鉄急行色を復活させたもので、鹿児島所属のGK-5編成が対象となった。同編成は定期運用を離脱する2007年まで国鉄色のまま活躍した。
★JR九州仕様2種のシールドビーム化前面は新規製作で再現。
★455系の台車はグレー成型。全車ボディマウント方式密連形TN、新集電システム、フライホイール付動力を標準装備。車輪は455系＝銀色、475系＝黒染めとなる。
★2種の検電アンテナと4種のタイホンパーツが付属。好みに応じて選択できる。
★各セットに行先表示シール、車番インレタが付属。455系クロハ編成と475系国鉄色は特定編成のため車番印刷済。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：各14,700円

〔セット内容〕
■クロハ：クモハ455-40＋モハ454-40(M)＋クロハ455-1
■あかべぇ：クモハ455＋モハ454(M)＋クハ455
■JR九州色：クモハ475＋モハ474(M)＋クハ455
■国鉄復活塗装：クモハ475-5＋モハ474-5(M)＋クハ455-16

■クロハ455・磐越西線



■あかべぇ色

■国鉄復活塗装

■JR九州色

455系〈さよなら455系〉

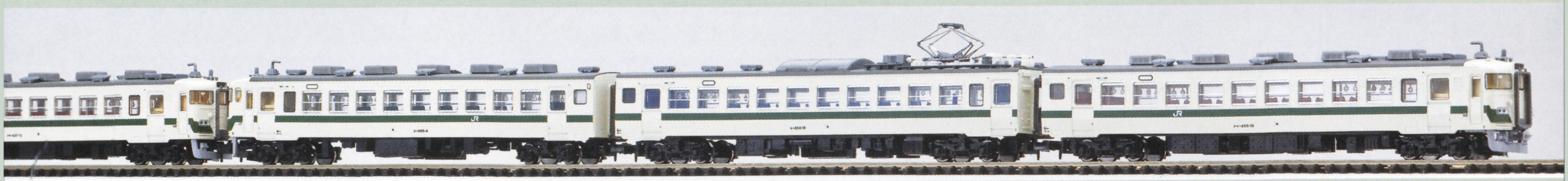
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000385

★マイクロエースの455系にニューバリエーション。
★東北地域の急行列車削減後、ローカル運用に転じた455系は、乗降口付近のセミクロスシート化やリニューアルを経てJR化後も長らく活躍したが、E721系への置き換えなどで2008年3月までにすべて運用離脱。同3月20・22・23日に東北・仙山線で〈ありがとう455系〉〈さよなら455系〉が運転された。
★モデルは既存の455系をこの時の姿に仕立てたもので、仙台車両センターS18・S72編成による6連。角型ライトの東北色モノクラス編成は、意外にも同社では初めて。
★クーラーは車輌による違いも再現されAU12とAU13が使い分けられている。
★車番、標記類のほか、仙山線での〈さよなら455系〉のサボが印刷済。ヘッドマークはプラ製印刷済パーツで、こちらも同列車のもの付く。
★東北本線での同名列車および〈ありがとう455系〉には同梱のステッカーで対応。
★基本的な仕様は従来同様で、ヘッド・テールライト点灯(ON/OFFスイッチ付)。

【価格】
●塗装済完成品
6輌セット:19,740円

〔セット内容〕
■クハ455-405+モハ456-12(M)+クモハ457-12+クハ455-4+モハ454-18+クモハ455-18



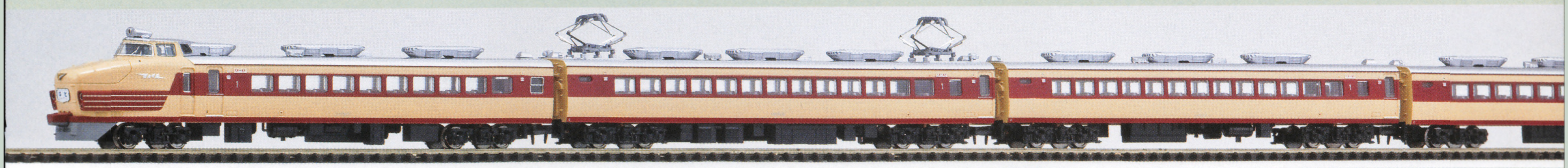
151系〈はと〉(クロ150-3入り)

〔マイクロエース〕

★多彩なバリエーション展開を見せるマイクロエースの151系に、短期間のみ見られたクロ150-3を含む編成が加わった。
★クロ150-3は1964年、ダンプカーとの衝突事故によりクロ151-7が大破したのを受け、予備車の不足から中間1等車サロ150-3を改造して登場したもの。当時は新幹線開業直前であり、その後の転用を見越して改造は最小限に留められた。1965年にはクハ181-53に再改造されている。
★製品はこのクロ150-3を含む特急〈はと〉編成で、基本+増結セットで12輌フル編成を組む。増結セットにもM車が含まれフル編成でも余裕の走行。
★クロ150-3は新規製作で、狭窓のずらりと並ぶ独特の外観が良好に再現されている。
★車内シートカバー、食堂車内装などに色入れが施されており雰囲気を盛り上げている。
★ヘッド・テールライト点灯(ON/OFFスイッチ付)。付属品には運転台脇のミラーパーツが含まれる。

【価格】
●塗装済完成品
8輌基本セット:22,575円
4輌増結セット:12,600円

〔セット内容〕
■8輌基本セット:クロ150-3+モロ151-8+モロ150-8+サシ151-8+サハ150-8+モハ150-8+モハ151-20(M)+クハ151-8
■4輌増結セット:サロ150-2+モハシ150-9+モハ151-21(M)+サハ150-20



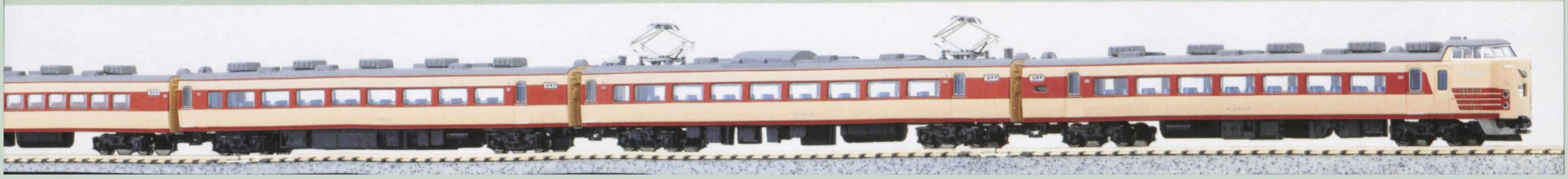
189系国鉄色〈あさま〉

〔KATO〕

★EF63と時を合わせ、KATOから横軽の代表的な特急型電車189系が、オリジナル塗装の特急〈あさま〉としてリリース。
★1987年頃の長野電車区に所属していた編成を元にNゲージ化。
★「碓氷峠シリーズ」の位置づけでもあり、同社のEF63との連結運転に対応。クハ189-500のスカート部には伸縮密連カプラーを標準装備する。またDCCデコーダ取付にも対応。
★先頭車ヘッドマークはトレインマーク変換装置を採用。〈あさま〉(文字/絵入り)、〈そよかぜ〉(文字/絵入り)の4種に切り替えができる。
★中間車にはボディマウント方式の密連形KATOカプラーを標準装備。
★JNRマーク、サボ、号車番号、行先表示、グリーン車マーク等の標記類はすべて印刷済で、碓氷峠通過対応車を示す車番左の赤丸も抜かりなく表現。なお列車は長野行き〈あさま〉の設定となっている。
★ヘッド/テールライトはLEDで点灯。ライトとヘッドマークは光色を違えている。

【価格】
●塗装済完成品
5輌基本セット
:15,750円
7輌増結セット
:12,810円

〔セット内容〕
■基本セット:クハ189-509+モハ188-30+モハ189-30(M)+サロ189-9+クハ189-2
■増結セット:モハ188-13+モハ189-13+サロ189-110+モハ188-31+モハ189-31+モハ188-43+モハ189-43



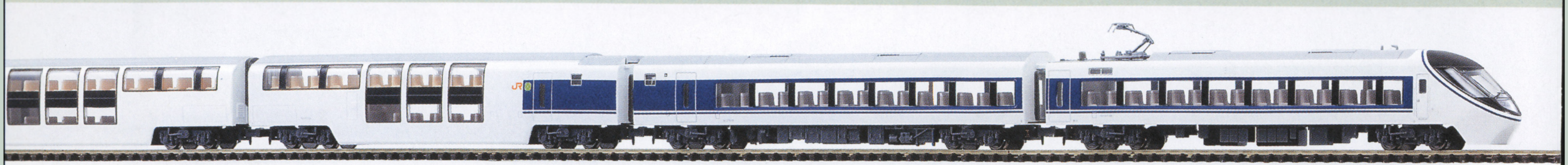
JR東海 371系〈あさぎり〉シングルアームパンタ 〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 32000306

★2005年に発売され好評を博したマイクロエース製371系〈あさぎり〉がこのたび待望の再生産。
★今回の目玉は従来品に加えてリリースされる2006年以降の「現行車」。パンタグラフが菱型からシングルアームに換装されたのが最大の特徴である。
★2号車モハ370-101扉付近に車椅子マークを新たに印刷。
★ヘッド/テールライトはLED点灯式。その他行先表示シールが付属するが、ヘッドマークを貼り付ける際は車体を分解する必要がある。
★室内灯は号車に応じて幅広・幅狭(2階車)を使い分ける。

【価格】
●塗装済完成品
7輌セット：各21,840円

〔セット内容〕
■クモハ371-1＋モハ370-1＋モハ371-201(M)＋サロハ371-1＋サロハ371-101＋モハ370-101＋クモハ370-101



JR東海383系〈しなの〉 〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 34000375

★JR東海の振子式特急電車、383系が待望のNゲージ化。
★383系は1994年、381系に代わる中央西線系統の特急電車として登場。制御付自然振子方式の採用により曲線通過性能や乗り心地の向上を図っており、編成は6連・4連・2連の組み合わせにより柔軟な組成が可能。そのため先頭車は貫通型が主体だが、6連の長野方のみ非貫通・流線型のパノラマグリーン車クロ383が連結されている。
★今回発売されたのは基本となるクロ383入りの6連及び、2種の増結編成。4連がM付、2連はトレーラー。各セットの組み合わせにより、実車に即して最大9パターンの編成が可能となる。背の低い実車のプロポーションを良好に再現しており、すっきりした車体と彫りの深い台車が好対照。
★クロのライト廻りはガラス部品への印刷によりツライチに仕上げている。客室内シートカバーや、動力車モーターカバーのブラックアウトなどの色入れも効果的である。
★貫通型先頭車の前面貫通扉は、連結時のため開いた状態を再現できるよう交換パーツが付属、好みに応じて交換できる。
★ヘッド・テールライト(窓上の2灯含む)、愛称幕が点灯。動力はフライホイール付。
★車番・標記は印刷済。愛称幕・方向幕などを収録したステッカー、増結用アーノルトカプラー付属。

【価格】
●塗装済完成品
6輌基本セット：18,900円
4輌増結セット：15,225円
2輌増結セット：6,615円

〔セット内容〕
■6輌基本セット：クロ383-2＋モハ383-2 (M)＋サハ383-2＋モハ383-102＋サハ383-102＋クモハ383-2
■4輌増結セット：クロ383-101＋モハ383-10 (M)＋モハ383-110＋クモハ383-10
■2輌増結セット：クハ383-1＋クモハ383-13

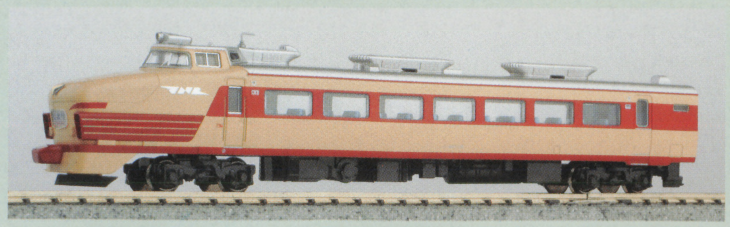
■2輌増結セット

クハ481-26 (鉄道博物館保存車) 〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 34000377

★オハ31に続く鉄道博物館展示車モデルとして、クハ481-26が登場。
★実車は1965年に東北特急用として製造。晩年はJR東日本勝田車両センターの訓練車となったのち2007年に廃車、モハ484-61とともに国鉄時代の姿に可能な限り復元のうえ鉄道博物館に保存された。
★モデルはこの展示車を再現したもの。塗装は通常の製品よりもツヤの若干強いものとされ、車番・標記、サボや号車札なども現車の通りに印刷表現される。ヘッドマークは展示車通り文字標記のみの〈ひばり〉が取付済。
★そのほかモデルの基本的な仕様は従来の製品に準ずる。ライトも点灯する。
★通常製品と同じ透明プラケースに鉄道博物館展示車輌シリーズの特別装丁が入る。

【価格】
●塗装済完成品：2,940円



485系〈雷鳥〉

〔TOMIX〕

★TOMIXより、バリエーションに富んだ車輌を含む、最も現状に近い485系〈雷鳥〉仕様が登場。

★関西と北陸地方を結ぶ〈雷鳥〉は速達性を特急〈サンダーバード〉に譲ったものの、今なお健在。使用される485系は度重なる改造で誕生した派生形式が多数含まれ、その編成は屋上一つとっても非常ににぎやか。

★販売形態は、サロ481改造のパノラマグリーン車クロ481-2000を片側の先頭車とした5輌基本セットA、方向幕位置が他車と異なる普通車改造のクロ481-2300を含む5輌基本セットB、さらに両者共通の中間用4輌増結セットの3種のセットを用意。

★5輌基本セットAにはパノラマグリーン車のほか、電装解除の付随車サハ481-600も含まれる。5輌基本セットBのクロ481-2300と対になる先頭車は貫通型200番代。また両セットとも、電動車ユニットはAU12クーラーの付く初期車となる。

★4輌増結セットには業務室付きのモハ484-600が1輌含まれる。

★そのほかの仕様はフライホイール付き動力車、新集電方式、黒色車輪、ボディマウントTNカプラーと、一連の標準的な装備。インレタ式車番、白色連結器カバー、屋上アンテナ、ホイッスルなどが付属する。

【価格】

●塗装済完成品

5輌基本セットA：19,320円
5輌基本セットB：19,320円
4輌増結セット　：13,020円

〔セット内容〕

■5輌基本セットA：クロ481-2000＋サハ481-600＋モハ485＋モハ484（M）＋クハ481-300

■5輌基本セットB：クロ481-2300＋サハ481-700＋モハ485＋モハ484（M）＋クハ481-200

■4輌増結セット：モハ485＋モハ484-600＋モハ485＋モハ484-200

■基本セットA

■基本セットB

485系「シルフィード」＋DE10 1701／485系700番代「NO・DO・KA」

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから！

35000328（シルフィード）
35000329（NO・DO・KA）

★JR化前後に登場したジョイフルトレインにも近年は再改装が加えられ、名を変えるものも出てきている。今回は、その前後の姿を再現したモデルが同時に登場した。

★485系「シルフィード」は1990年、JR東日本新潟支社に登場した欧風ジョイフルトレイン。サロ189の改造だが、車体は先達の「パノラマエクスプレス・アルプス」に似た展望室付のものが新製された。クロ485-1にはサービス電源用のディーゼル発電機を搭載しており、専用牽引機DE10 1701と組むことで非電化区間への入線も可能であった。

★この「シルフィード」を再改造して2001年にデビューしたのが「NO・DO・KA」で、車内は従来のリクライニングシートからカーペット敷きに改装。トイレの増設なども行なわれ、外板塗色も変更してイメージが一新された。

★製品は「シルフィード」登場時および「NO・DO・KA」現行仕様の2種。両セットでは実車の変化に即して、インテリアや中間車の窓配置、先頭部連結器カバーの有無を作り分け。「シルフィード」時代の爽やかなカラーリング、「NO・DO・KA」のビビッドなブロックパターンも鮮やかに再現している。

★「シルフィード」セットには、非電化区間での運用を再現するため専用牽引機DE10 1701（トレーラー仕様）が含まれる。このためクモロの先頭部には伸縮式アーノルトカプラーが標準装備されるが、電車単体での仕様に備え交換用スカート、連結器カバーも同梱されている。

★ヘッド・テールライト、愛称表示幕がLEDで点灯（ON／OFFスイッチ付）。フライホイール付動力ユニット搭載。室内灯は幅狭に対応。

★車番・標記は印刷済。愛称幕ステッカーが付属。

【価格】

●塗装済完成品

「シルフィード」4輌セット
：17,850円
「NO・DO・KA」3輌セット
：13,650円

〔セット内容〕

■シルフィード：DE10 1701＋クモロ485-1＋モロ484-1(M)クロ484-1

■NO・DO・KA：クモハ485-701＋モハ484-701(M)クハ484-701

■シルフィード

■NO・DO・KA

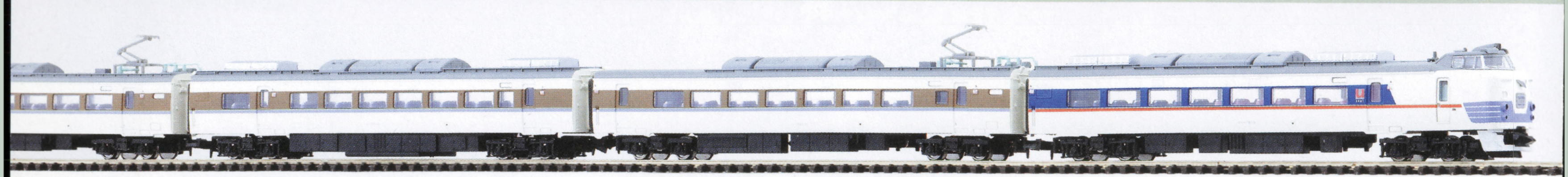
781系「さようなら781系」号 〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
32000315

★マイクロエースの781系〈ライラック〉〈いしかり〉〈すずらん〉「さようならドラえもん海底列車」に続く新バリエーションが登場。
★今回は2007年10月に781系全車引退を記念して運転された「さようなら781系」号をリリース。白十薄紫ラインの新塗装・4輌編成で、クモハ781-5「uシート」が含まれる。
★全車側面に「さよなら781系」「ありがとう781系」のサボを印刷で表現。
★ヘッド・テールライトはON/OFFスイッチ付の点灯式。
★〈ホワイトアロー〉〈ライラック〉〈いしかり〉〈ありがとう781系〉〈さようなら781系〉を収録したヘッドマーク/行先表示シール、実車編成をイメージした特製スリーブが付属。

〔価格〕
●塗装済完成品
4輌セット:14,490円

〔セット内容〕
■クモハ781-5+サハ780-10+モハ781-10(M)+クハ780-5



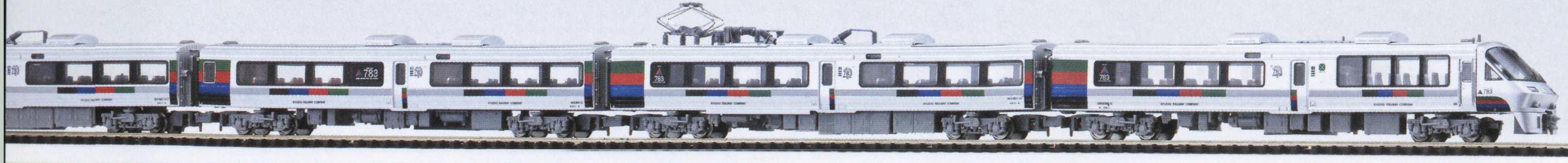
JR九州783系 リニューアル〈有明〉〈ハイパー有明〉〈ハイパーかもめ〉 〔マイクロエース〕

★マイクロエースの783系が、第3次分として新たに3種が一気に発売となった。
★リニューアル〈有明〉は、2005年発売のリニューアル〈にちりん〉によく似た構成だが、編成端に連結されるクロハ782が〈にちりん〉の500番代に対して0番代となり、また中間に連結されるサハ783が〈にちりん〉の200番代から0番代となる。なおクロハ782-0は当初から合造車だったタイプで、500番代とは窓割りが異なる。またサハ783-0は自販機スペースを持つタイプで、200番代にはある業務用扉を持たない。この2形式は今回新規製作となっている。1994年以降に施されたブロックパターン塗装で、2000年頃の仕様とアナウンスされている。各部の印刷は精細なもの。
★〈ハイパー有明〉は2005年発売のDE10・ヨ8000入りの熊本~水前寺間の非電化時代としたセットのものと同じく4連だが、より初期の仕様として屋上にクーラーが付かない。車番はリニューアル〈有明〉製品からモハ783-15を抜いた形。
★〈ハイパーかもめ〉も同じく屋上クーラー取付前の形態で、同列車用の先頭車4輌のみに見られた側面の青帯を再現。セットは繁忙期の9輌編成となる。
★ヘッド・テールライトはLEDにより点灯。ON/OFFスイッチも装備。
★室内灯は幅広タイプに対応。

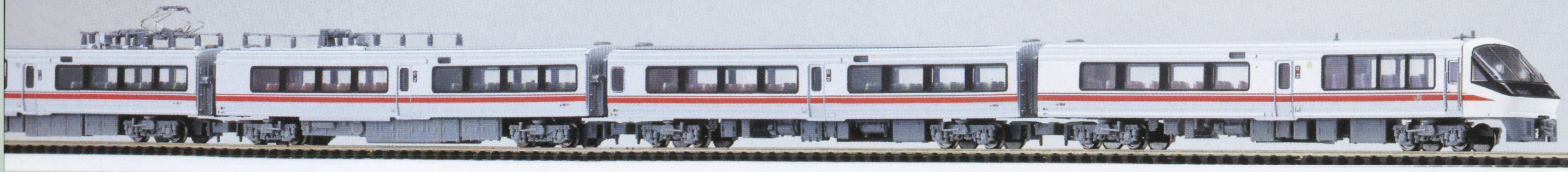
〔価格〕
●塗装済完成品
リニューアル有明5輌セット
:17,640円
ハイパー有明4輌セット
:15,015円
ハイパーかもめ9輌セット
:25,095円

〔セット内容〕
■リニューアル有明:クモハ783-11+モハ783-111(M)+サハ783-6+モハ783-15+クロハ782-6
■ハイパー有明:クモハ783-11+モハ783-111(M)+サハ783-6+クロハ782-6
■ハイパーかもめ:クモハ783-10+モハ783-110+サハ783-105+モハ783-9(M)+サハ783-205+モハ783-10+サハ783-105+モハ783-11+クロ782-5

■リニューアル〈有明〉



■〈ハイパー有明〉



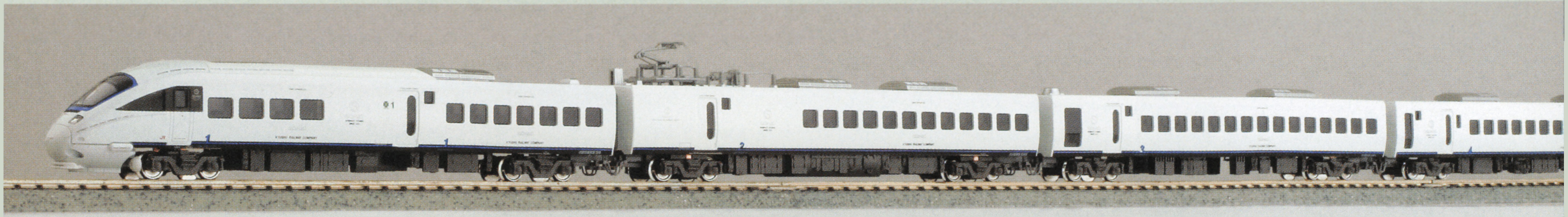
■〈ハイパーかもめ〉

JR九州885系「白いソニック」〔KATO〕

★JR九州特急型電車の花形として活躍を続ける885系。〈かもめ〉に続き、新たに〈ソニック〉仕様がKATOから発売となった。
★実車は2001年、〈ソニック〉増発用として登場したもので、〈かもめ〉用1次車とはアクセントカラーの青色への変更をはじめ、ロゴ・エンブレム、プロジェクタランプ追加によるヘッドライト形状の違いがあるほか、5連で落成したため車内設備のレイアウトが変わり、2・3号車の窓配置や屋上機器に差異がある。
★モデルは2003年に6連化された後の南福岡電車区SM10編成がプロトタイプ。2001年発売の〈かもめ〉用1次車を基に、実車の変更点を反映している。
★また今回、窓ガラスのスモークがより濃くなり、実車のイメージに近づいている。
★振り子機構も1次車同様に装備。ヘッドライトは追加された分を含め白色LEDで点灯。KATOカプラー密連形標準装備。
★車番・標記や精緻なロゴなどは印刷済。行先表示ステッカー付属。一部屋上機器はユーザー取付となる。

【価格】
●塗装済完成品
6輌セット：18,690円

〔セット内容〕
■クロハ884-10＋モハ885-203（M）＋サハ885-303＋サハ885-10＋モハ885-10＋クモハ885-10



JR四国8000系〈しおかぜ〉〈いしづち〉（旧塗装／リニューアル）〔マイクロエース〕

★四国電化区間の花形、8000系がマイクロエースから登場。JR四国の特急型電車では初のプラ製品となる。
★ 8000系は予讃線電化に合わせて1992年に登場したJR四国初の特急型電車。2000系気動車に続いて振り子機構を搭載し、〈しおかぜ〉〈いしづち〉に投入され大幅なスピードアップを実現した。両列車の分割・併合を行なうため流線型、貫通型の2つの顔を持つ。2004年から2006年にかけてのリニューアルを経て、現在も第一線で活躍中。
★モデルは登場時の水色帯、更新後のブロックパターンの2種の塗装が用意され、〈しおかぜ〉5連と〈いしづち〉3連に分けての発売（いずれも動力付）。
★腰の低いプロポーションと独特の先頭形状も良好に再現。普通鋼製の運転台部分はステンレス製の客室部分と銀の色調を違えてある。屋上では架線追従機構付きのパンタ台のほか、配管が別パーツの成型品とされている点が目を引く。
★リニューアル〈いしづち〉セットではリニューアルに伴い設けられた8300形の喫煙室を座席パーツの作り分けで再現。各車の座席パーツもリニューアル前後で色が異なる。
★ヘッド・テールライト点灯（貫通側のみON／OFFスイッチ付）。動力はフライホイール搭載。製品状態では貫通側もダミーカプラーで、交換用アーノルトカプラーが付属。室内灯は幅狭に対応。
★車番・標記は印刷済。行先表示、号車表示はステッカーによる。

【価格】
●塗装済完成品
5輌セット：各17,115円
3輌セット：各12,600円

〔セット内容〕
■リニューアル5輌セット：8003＋8103＋8153（M）＋8303＋8403
■リニューアル3輌セット：8203（M）＋8304＋8503
■旧塗装5輌セット：8004＋8104＋8154（M）＋8307＋8404
■旧塗装3輌セット：8205（M）＋8308＋8505

■〈しおかぜ/いしづち〉（旧塗装）

■〈しおかぜ/いしづち〉（新塗装）

クモユニ143（スカ色）〔マイクロエース〕

★2輌セットでの発売で、2輌共にM付となり、T車は設定されていない。
★各車片側にダミーカプラーを装備。スカ色セットのものは実車に則して双頭式連結器を模してあり芸が細かい。アーノルトとも交換が可能。
★ベンチレーター、避雷器、ホイッスル、信号炎管などの屋上機器類を別パーツで再現。
★動力はフライホイール付。その他ヘッド／テールライトがLEDで点灯。
★「普通」「回送」「試運転」無地等を収録した行先シールが付属。
★室内灯は幅狭タイプが指定。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：13,965円

〔セット内容〕
■クモユニ143-1(M)＋クモユニ143-3(M)

★マイクロエースから新型郵便荷物車・クモユニ143が登場。
★身延線の旧型国電置換用として1981年に4輌が新製された。モデルは長野総合車両センターにおいて牽引車の役割を担う現在の1・2番で、郵便標記がなく、スカートの撤去された形態。カラーリングはスカ色。

クモユニ147（飯田線色）〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 32000391

★飯田線の車輌新性能化を図るべく、1983年に101系電車から改造されたクモユニ147の、青22号に灰色9号の帯をまとった登場当初の姿を模型化している。
★動力付き単品のみの発売。
★各車片側にダミーカプラーを装備するなど、その他の仕様はクモユニ143に準ずる。

【価格】
●塗装済完成品：7,035円

★クモユニ143と同時に、兄弟車のクモユニ147も発売。

クモヤ143（2輌セット／湘南色）〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 51762320（湘南色）

★1977年に登場したATC対応の新性能牽引車、クモヤ143がマイクロエースから登場。
★プロトタイプを国府津車両センター所属のクモヤ143-7とクモヤ143-4とした2輌セット。また、クモヤ143-4は色違いで2007年に東海道本線神戸開通120周年を記念して塗装変更された湘南色の単品も用意。
★屋上の引き通し線やヒューズ箱など機器も別パーツで再現し、側面明かり窓のHゴムの有無も印刷で表現。東海道線を受け持つ実車に即し、車端部のATC標記はない。
★カプラーは出荷状態では片側にダミー、もう片方にボディマウント伸縮式アーノルトカプラーが付く。付属パーツで両側ともアーノルトカプラーに交換可能。
★動力は2輌セットも含め各車にフライホイール付きのものが搭載され、テール、ヘッドライトのON／OFFスイッチも室内側に付く。
★方向幕は「回送」「試運転」と白幕、運行番号を収録したシールがそれぞれ付属。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：13,965円
湘南色　：7,035円

〔セット内容〕
■2輌セット：クモヤ143-7(M)+クモヤ143-4(M)

■湘南色

■2輌セット

クモヤ 143-50番代 (湘南色)

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 33000365

★荷物電車時代の外観を今に残す注目の牽引車が登場。
★新潟車両センター所属の51番、松本車両センターの52番を元に製品化。51番には実車同様、幕板部に1の数字が打たれている。
★ダミーカプラーは双頭式連結器を各片側に装備。交換用のボディマウント伸縮式アーノルトカプラーも付属する。
★セット2輌共にフライホイール付きのM車となり、室内側にヘッド・テールライトのON／OFFスイッチがつく。
★付属シールは「回送」「試運転」と白幕、運行番号を収録。室内灯は幅狭が指定されている。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：13,965円

〔セット内容〕
■クモヤ143-51 (M)＋クモヤ143-52 (M)

クモヤ145 100番代

〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスから汎用牽引車クモヤ145が登場。
★クモヤ145は1980年代、それまでの旧型牽引車の置換用として101系の改造により製作された。そのうち100番代は、救援車にも使用できるよう救援機材の積載を可能としたもので、側面の大型扉が一箇所なく、蓋状の機材搬出入口が付く点がそれ以前の番代との違い。
★モデルは2輌セット・完成品での発売。多彩な連結相手に対応できるよう、トレーラー車のみのセットも用意される。
★以前発売されたクモヤ143塗装済キットと同様、前面警戒色部分は別パーツとしてシャープな塗り分けを得ている。
★カプラーは2輌一組での使用を考慮して片側ダミー／片側アーノルト。ヘッド／テールライトはダミーカプラー側のみ点灯。加えてトレーラー車にはON/OFFスイッチが備わる。
★ホイッスル、ヒューズボックス、避雷器はユーザー取付。車番などの標記はインレタ、種別・列車番号表示はステッカーでそれぞれ仕上げる。
★ボディマウントTNカプラー、KATOカプラー、TOMIX製室内灯に対応(別売)。

【価格】
●塗装済完成品・2輌セット
M付き：13,650円
Mなし：10,290円

〔セット内容〕
■M付き：クモヤ145-100 (M) ＋クモヤ145-100
■Mなし：クモヤ145-100＋クモヤ145-100

JR東日本 E491系「East i-E」

〔マイクロエース〕

★新幹線総合検測車E926系「East i」と同じ愛称を冠し、2002年に登場したJR東日本の在来線用検測電車、E491系「East i-E」が製品化。
★電気及び軌道の検測を行なう交直両用の試験車輌で、その活動範囲はJR東日本の電化路線のみならず、一部の私鉄にも及んでいる。
★検測装置と集電装置が集中する屋上の複雑なディテールを再現。車も抜かりなく表現している。
★ボディ側面には、新型検測車らしく光照射用窓に見える発光部も再現。側面ガラスは、緑がかった熱線吸収ガラスとしている。
★動力はフライホイール付。ヘッドライト・テールライトが点灯し、前面連結器はダミーながら双頭式を再現している。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット
：13,650円

〔セット内容〕
■クモヤE491-1(M)＋モヤE491-1＋クヤE490-1

※写真右はキヤE193系。

200系1500番代 リニューアル車「東北新幹線開業25周年号」

〔マイクロエース〕

★マイクロエースから200系1500番代リニューアル車「東北新幹線開業25周年号」が登場。

★実車は1999年より接客設備の向上のためリニューアル工事を施し運転台が曲面ガラスになり、紺色とライトグレーのツートンに緑の帯の塗色となった車輌だが、東北・上越新幹線開業25周年を記念し従来の緑とアイボリーの塗色に戻したもの。

★プロトタイプは新潟新幹線車両センターK47編成で、製品は以前200系1500番代リニューアル編成として発売したもののバリエーション。

★10輌編成の1・2・7・8・9・10号車をセットした基本6輌セット、3・4・5・6号車をセットした増結4輌セットに分かれる。

★室内灯は幅広タイプが対応。付属品には側面方向幕シールが付く。

【価格】

●塗装済完成品

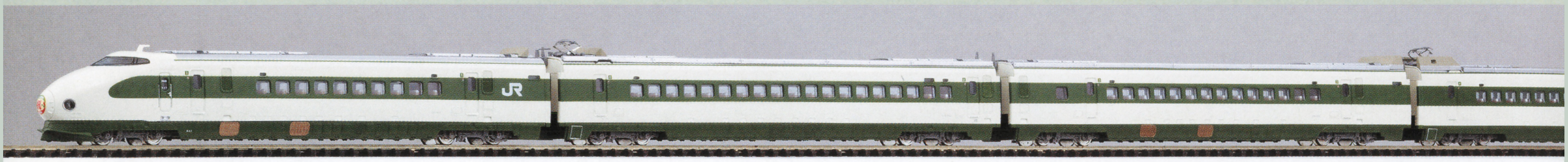
基本6輌セット：18,375円

増結4輌セット：10,500 円

〔セット内容〕

■基本6輌セット：221-1510＋226-1061＋225-505(M)＋226-1065＋215-1013＋222-1510

■増結4輌セット：225-1413＋226-1062＋225-1025＋226-1063



JR東日本 400系（新塗装）

〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから！
34000323

★新幹線〈つばさ〉用400系の新塗装が製品リニューアルを施しTOMIXより再登場。

★通称ミニ新幹線と言われる新在直通運転の第1弾として1992年に東京～山形間で運転を開始した400系〈つばさ〉。その後7連化、新庄延伸などを経て現在に至る。

★今回の製品では、新庄延伸時に増備されたE3系1000番代に合わせた新塗装をプロトタイプとしている。

★塗装は従来品よりもラメが微細になりスケール感あふれる仕上がり。

★機構面では同社標準とされる新集電機構、フライホイール付動力ユニット、銀色車輪採用、ヘッド・テールライトのLED化が図られている。

★車体ロゴ、マーク、号車番号は印刷済み。また、従来インレタ式だった車番に加え運転台窓、乗務員扉に付く編成番号までも新たに追加される。

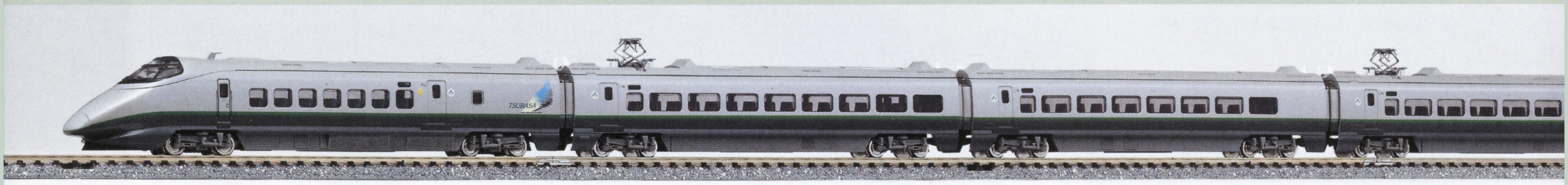
【価格】

●塗装済完成品

7輌セット　：22,050円

〔セット内容〕

■411（M）＋426-200＋425＋426＋429＋425-200＋422



JR東日本 400系（旧塗装）

〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから！
34000362

★新塗装に続き400系〈つばさ〉旧塗装がリニューアル製品で登場。

★プロトタイプは1992年の運転開始から1999年に塗装変更を開始するまでのもので、それまでの新幹線車輌の塗色の概念を破り、話題を呼んだカラー。

★セット内容は1995年の7輌化以降の編成。

★新塗装同様シルバーのラメが微細になり一層実車に近いイメージとなった。

★もちろん東京寄りの411には〈やまびこ〉〈Maxやまびこ〉と併結するためのカプラーを装備。

★そのほか機構面の特徴は、先の新塗装と同じく新集電機構、銀色車輪、フライホイール付動力、ヘッド・テールライトのLED化。

★車番、号車番号、各種標記類のインレタが付属する。

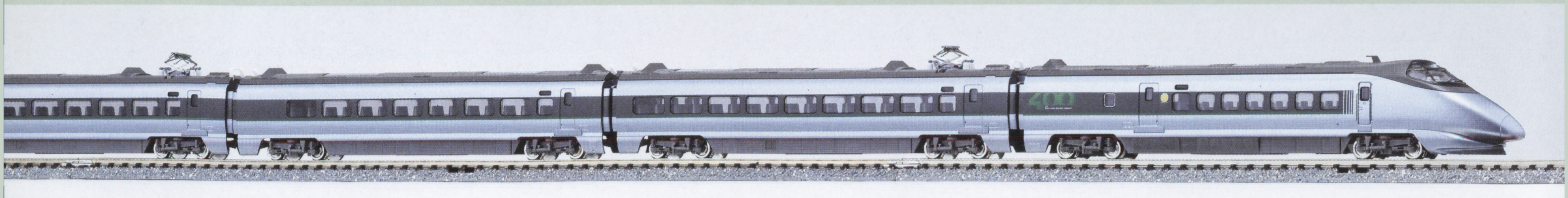
【価格】

●塗装済完成品

7輌セット：22,050円

〔セット内容〕

■411（M）＋426-200＋425＋426＋429＋425-200＋422



922形10番代（新製時／改造後）

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
35000331（新製時）
35000332（改造後）

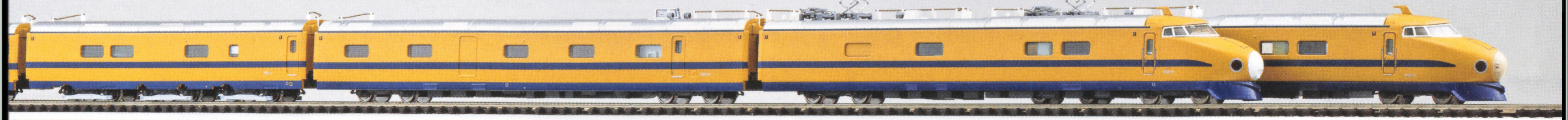
★「ドクターイエロー」の愛称で親しまれた新幹線の電気軌道総合試験車922系10番代。マイクロエースでは2002年に製品化済の車輌だが、今回改良再生産が行なわれた。
★プロトタイプは変わらず、T2編成の新製時と改造後の2種。今回は通常のブック型ケースのみでの発売となる。
★車体の成型品自体は従来と変わらないが、塗装・印刷面での刷新が行なわれた。細部標記の追加・変更がなされているほか、貫通扉が銀色に塗り分けられ、両セットで光前頭部の色が違えられるなど、細かな点ではあるがよりリアルな姿へとイメージアップが図られている。
★ヘッドライト・テールライトはLED点灯に変更。M車以外の屋上サーチライトも従来通り点灯する。動力ユニットはフライホイール付。幅広室内灯に対応（サーチライト付車を除く）。

【価格】
●塗装済完成品
7輌セット：各19,740円

〔セット内容〕 ※両者共通
■922-11＋922-12＋922-13(M) ＋922-14＋921-11＋922-15＋922-16

■1号車922-11寄りから改造後（手前）と新製時。

■7号車922-16寄りから改造後（手前）と新製時。



JR西日本 N700系 3000番代

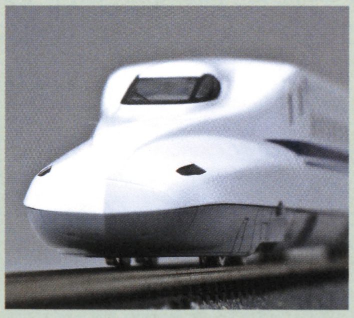
〔TOMIX〕

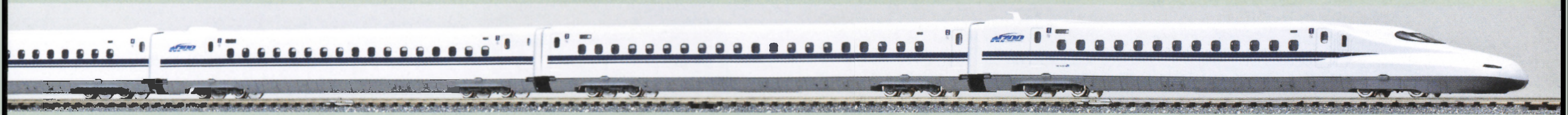
ホビダスショッピングはこちらから!
34000311

★東海道・山陽新幹線の新たな顔として増備の続くN700系。今回新たに3000番代がNゲージで登場した。
★N700系のうち3000番代はJR西日本に所属するグループで、JR東海所属の0番代「Z編成」に対し「N編成」と呼ばれる。
★前回の先行試作車に対し量産車をプロトタイプとするため、喫煙室の設けられた3、7、8、10、15号車の窓配置を変更。
★Z0編成と同じくフライホイール付き動力（フル編成時2輌）と通電カプラーを備え、セットの構成も不変。
★西日本仕様のJRマークや号車番号のほか、今回は禁煙車表示、車椅子マークも印刷済となった。車番は基本セットのみN2編成のものが印刷済で、編成番号、各増結セットの車番はインレタ（増結セットA・Cに付属）を使用。N4・N5・N7編成のものも含まれ、基本セットの車番変更にも対応する。なお、前回同様行先表示は用意されない。

【価格】
●塗装済完成品
基本セット（3輌）：9,975円
増結セットA（5輌）：12,390円
増結セットB（3輌）：6,615円
増結セットC（5輌）：14,700円

〔セット内容〕
■基本セット：783-3002＋785-3302（M）＋784-3002
■増結セットA：785-3500＋785-3000＋777-3000＋786-3700＋786-3200
■増結セットB：786-3000＋775-3000＋776-3000
■増結セットC：787-3000＋787-3400＋785-3600（M）＋785-3500＋787-3500





N700系新幹線〈のぞみ〉スターターセット

〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
33000383

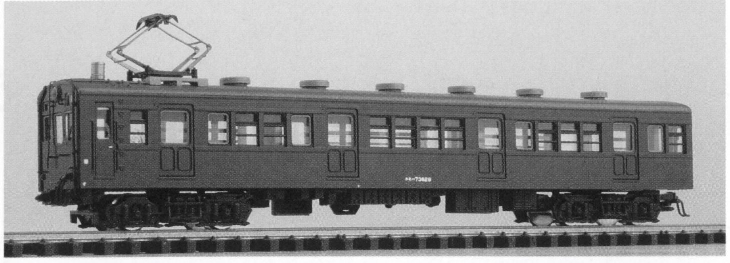
★KATOのスターターセットに東海道・山陽新幹線の最新形式N700系を組み込んだトータルセットが登場。
★初めてNゲージを始める人や年少者に扱いやすいレール、パワーパック、車輌をオールインワンとしたセット。今回は注目度の高いN700系をアソート。レールなどの内容は従来品と変更はない。
★セット内容は、N700系が783-1＋777-1(M)＋785-601＋784-1の4輌。線路はマスターシリーズのM1に相当。直線線路S248×4、直線線路S124×1、直線線路S62×1、曲線線路R315-45×8、踏切線路、フィーダー線路の構成。そのほかクイックスタートガイド、プランバリエーションガイドが付属する。

【価格】
●18,900円

エキスパート編

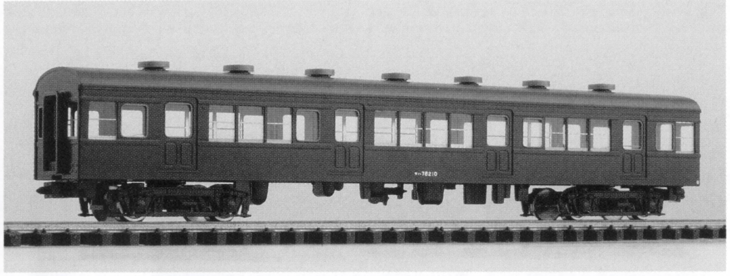
●タヴァサ ホビーハウス

良質なエッチング製コンバージョンキットを送り出し続けるタヴァサホビーハウスからは、同社の旧型国電シリーズをさらに強化するアイテムが多くリリースされた。組立の容易さが追求されているのも近年の同社の特徴である。



▲**クモハ73 600番代**　戦後製モハ72を地方転出にあたり先頭車化改造した番代で、奇数車と偶数車でパンタの取付位置が違うのが特徴。これは奇数車として仕上げた作例。キット　5,460円。

▲こちらは偶数車として組んだ作例。キット自体は奇偶共通で、パーツの選択などによって組み分けることが可能。作例はさらに、別売りのアルミサッシパーツ（PN-473）を用いてアコモ改造車としたもの。



▲**サハ78（アコモ改造車Aタイプ）**　末期まで活躍した73系のサハ78のうち、旧63系グループにアコモ改造が施工されたグループ。アルミサッシ二段窓にHゴム戸袋窓でイメージを一新したスタイルが特徴的。キット　4,305円。

▲**クモヤ92**　国鉄の職員養成施設・中央鉄道学園の教習用車輌として、1958年にモハ73055の改造によって誕生した特異な車輌。2扉にずらりと並んだ三段窓がなんとも特徴的。キット　5,460円。

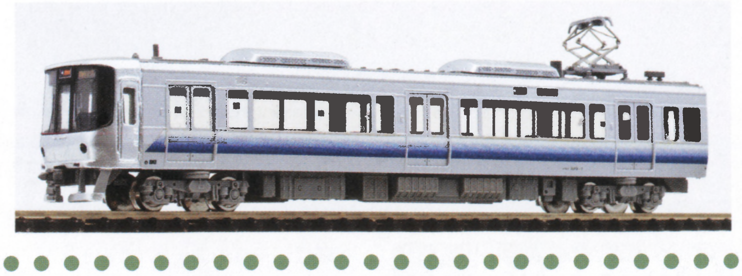
▲**モハ70/モハ71（初期型原型）**　モハ70のうちでも、初期に製造された001～042・101～117がプロトタイプ。戸袋窓が他の窓と同じ木枠で、すっきりした外観が特徴。キット　4,725円。

▲キットには妻板が2種類含まれており、これと屋根を選択することでモハ71の002～005としても製作が可能。さらに別売りの妻板（FN108-2・FN108-3）を用いてモハ70（043～048）及びモハ71（006～017）の製作が可能となる。

●トレジャー タウン

新型国電を得意とするトレジャータウンからは、従来から発売されていた223系0番代キットが、製品構成を見直して再生産された。

▶**JR西日本223系0番代**　現在運転されている実車の動静に合わせ、セットの輌数などを見直しての再生産。キットのパーツ構成は従来と変わらず、KATO製品をコンバージョンして製作する。キット：4輌基本セット　14,700円　0番代+2500番代混成4輌立て3輌セット　12,600円。



●東京堂プラス

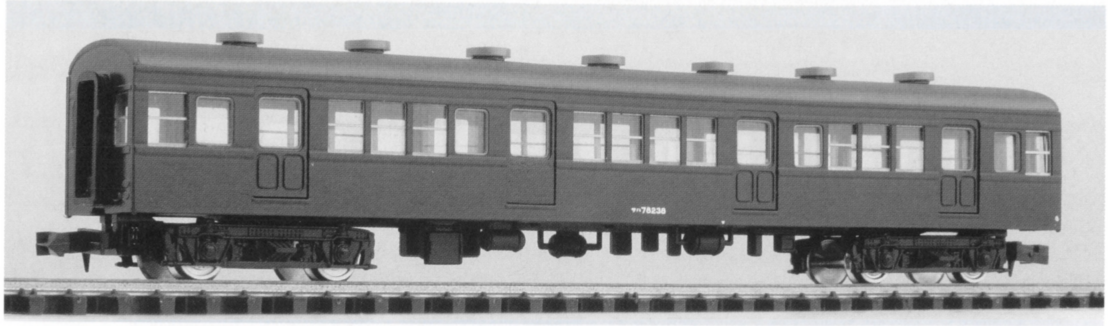
同社製造のレジンキットを、塗装済の特製完成品としてリリースするブランドで、今回は80系の先頭を飾ったクモユニ81のシリーズが2種発売された。

▲**クモニ83 100**　クモユニ81のうち、飯田線に転属した3輌は郵便室を撤去され、塗装もスカ色となって1983年まで活躍した。外観はクモユニ時代と変わりなく、塗色と標記の差異ぐらいである。塗装済完成品（M付）　29,400円（M付き）　25,200円（M無し）。

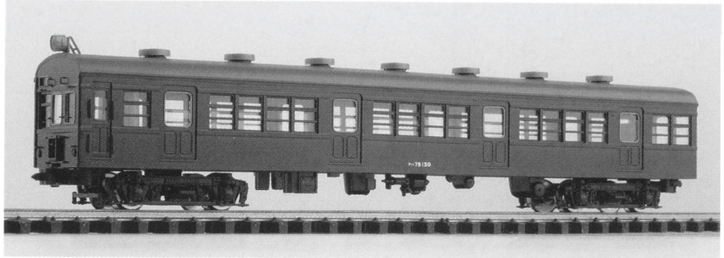
▲**クモユニ81**　6輌が製造されたクモユニ81のうち、001と002は岡山地区に転出し、最後まで湘南色で茶色の51系などと手をつないで活躍を続けた。塗装済完成品（M付）　29,400円（M付き）　25,200円（M無し）。

●BONA FIDE PRODUCT

近年私鉄電車のリリースが多かったBONA FIDE PRODUCTであったが、今回は得意分野の通勤型電車が各種発売となった。73系はいずれもTOMIX製品に対応したコンバージョンキットである。



▲サハ78（アコモ改造車） 旧63系サハ78にアコモ改造を施こしたグループで、軽快なHゴム+アルミサッシが特徴。普通屋根の編成に深屋根のサハが入る、特徴的な末期の編成が再現できる。キット 3,780円。



▲クモハ73/クハ79 旧63系の基本的なグループで、前面窓のHゴムやプレスドアなどの末期スタイルを再現できるキットである。クモハ/クハは部品の選択で組み分け可能。これは関東仕様クハとして組んだ例。キット 4,095円。

▲こちらは関西仕様のクハとして組んだ例。雨どい及びシル・ヘッダーは別張りによりシャープに表現される。73系はこの他、モハ72（近代化改造車）のキットも発売される（3,990円）。

▲103系（初期・更新車/冷改車） これまでも数タイプの103系を製品化している同社から発売された、その基本番台である初期車コンバージョンキット（KATO製103系に対応）。活躍末期に更新工事などで細かい差異の多かった同形式を綿密に模型化するための、同社らしいこだわりが盛り込まれたキットである。キット：更新車3輛セット 9,975円 冷改車モハセット 6,195円 サハ103冷改車・金押えドア 3,045円。

▲105系500番代（WAU202搭載車） 103系1000番代の改造によって登場した105系500番代のうち、JR化後に床置き式のWAU202クーラーによって冷房改造されたグループ。キット：2輛セット 9,870円。

メーカー担当者に聞く…!

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー グリーンマックス編

KATO、TOMIXと並ぶ老舗メーカーとして、私鉄車輌中心に精力的な製品展開を行なうグリーンマックス。昨年も、ショップブランドのCROSS POINTを含め、完成品とキットの二本立てで、ファン心理をくすぐる好製品が多数リリースされました。今回は営業担当のNさんに、そんなグリーンマックスの1年を振り返っていただきました。　　まとめ：鈴木重幸

東急は全国区の人気があります

RMM：グリーンマックスさんは昨年同様ランキングはなし、ということですね。

N：やはり、どれも愛着があって甲乙を付けるのは難しいですね(笑)。

RMM：それでは今回も私共のリストに沿って話を進めて参りたいと思います。まず第1位となりました、東急1000系ですが。

N：近年のキット商品は、完成品の技術を反映した内容で展開しており、高い評価をいただきましたが、今までのJR103系・201系はいずれも近畿圏で活躍する、いわゆる「西市場」の商品でした。当然ながら「東市場」での展開を期待されるお声をいただくようになり、近年、小規模のレイアウトを楽しまれるお客様が増加傾向にあることもあって、東急1000系の開発が始まりました。実車は、東横線向け9000系をベースに地下鉄乗り入れ用の18m級車輌として誕生しましたが、模型での開発も実車同様、既に弊社から発売済の9000系を基に、現在の技術を盛り込む形で設計が進みました。

RMM：市場でも人気があり、品薄状態のようですが。

N：やはり東急さんは、全国的に強いですね。余談になりますが、従来の9000系も1000系用に開発したライトユニットを使えるようリニューアル致しますので、ご期待ください。

▲3輌編成で小規模レイアウトでも楽しめる東急1000系。兄弟車である9000系も同一仕様にリニューアルされる。

京阪3000系は実車とほぼ同時に登場

RMM：第2位は京阪3000系でしたが、1位とは僅差で、しかもこの2車種に票が集中しました。今回は何よりも、実車の登場と同じタイミングという非常にタイムリーな製品化でしたね。

N：おっしゃる通り「新路線開通に伴って導入される新型車輌をいち早く製品化する」という、あまり機会も例もないことに「チャレンジ」することをテーマとした製品ですね。通常、製品化にあたっては、市場の声を反映することに重きを置きますが、今回、あらかじめ需要を計ることは不可能でしたし、実車が「京阪」の伝統を打ち破る斬新なスタイルとして発表されたこともあり、正直「売れるのか？」という不安がありましたが、実車が試運転を行ない始め、やがて新路線開業に併せてのデビューと、話題が高まるのに比例して注文が相次ぐ結果となりました。

RMM：技術的に苦労された点はありますか？

N：開発にあたり特に重きを置いたのが特徴ある前面部分で、円弧状の通過表示灯・尾灯部をどのように再現できるかということがポイントとなりました。光源となるLEDの光量の調整や、ヘッドライトと通過表示灯の色の違いなど、試行錯誤を重ねた結果を製品に反映できたと自負しており、また評価もいただいています。

RMM：基本+増結ではなく、8輌セットでの販売ですが。

N：中古市場が充実し、「模型を手軽に手放せる」状況がある中、末永く愛着を持って楽しんでいただきたいという思いもありまして、8輌用ケースを新たに製作して、このような販売形態とさせていただきました。

名鉄通勤車にも完成品が欲しい！

RMM：第3位は名鉄3500系ですが、名鉄車輌をクロスポイントで数多く出されている中で、この3500系を完成品として選ばれた理由は？

RMMが考える2008 グリーンマックス新製品ベスト

第1位　東急1000系(池上・多摩川線／東横線)
…小運転向きの3輌編成から地下鉄乗入れの8輌編成まで幅広く楽しめる好製品。比較的安価で簡単に組み上がる塗装済キット形式なのもポイントです。

第2位　京阪3000系
…何より、実車営業開始から間もないタイムリーな発売に拍手。モデル自体も実車の雰囲気をよく掴んだ仕上がりで、既存のラインナップも新塗装で揃えたくなります。

第3位　名鉄3500系
…まずは特急車から形式の充実が続いた名鉄完成品シリーズにいよいよ加わった通勤車。シャープな造型と塗装で好印象のモデルでした。

第4位　近鉄5200系
…意外にも近鉄一般車としては初のプラ製完成品モデル。実車の人気ぶりからも、関西で長く製品化が待たれていた車輌ではなかったでしょうか。

第5位　近鉄12200系
…近鉄特急の最大勢力で、標準軌のほぼ全線で見られる形式。現在では脇役的存在ながら、やはり近鉄の風景を再現する上で欠かせない形式でしょう。

グリーンマックスが考える2008 新製品ベスト

(順位なし、掲載順は順不同)

- ○近鉄12200系／近鉄15200系あおぞらⅡタイプ
- ○東急1000系
- ○名鉄3500系
- ○JRクモヤ145系100番代
- ○阪急8300系3次車
- ○近鉄5200系
- ○京阪3000系
- ○東武30000系

N：これまで弊社では完成品として、「ミュースカイ」や「パノラマスーパー」など、いわゆる「優等列車」を展開させていただきました。他社さんからも「パノラマカー」、「パノラマDX」など、いずれも優等列車が揃っており、「一般車が欲しい」とのお声を多くいただきまして、開発と相成りました。車種選定の理由としては、比較的新しくて、なじみ深い形式ということですね。

RMM：シャープな造型や塗装など、「イイ感じの模型」と思いましたが。

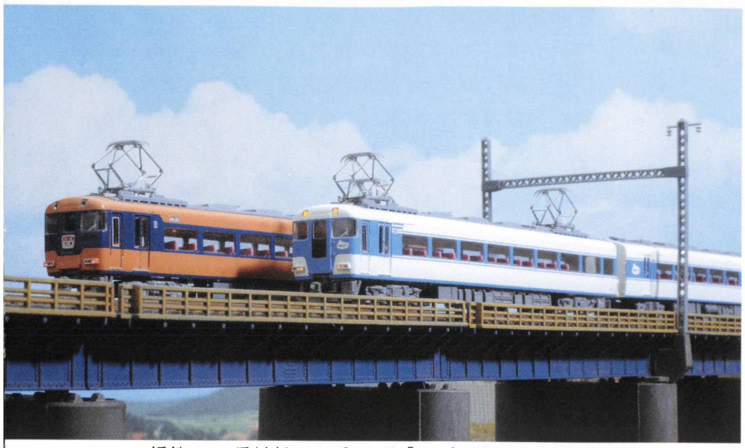
N：独特の造型には泣かされましたね(笑)。窓縁の細い金色の窓押さえの表現などにも注意を要しました。

RMM：第4位の近鉄5200系、これは実車の登場からかなり経っての製品化でしたが？

N：以前JR東海キハ75形を製品化するための取材を行なった際、そのすぐ脇で走っており、密かに目をつけていた車輌で、製品化を望むお声も多く頂戴していました。ただ、先頭車の形状(トイレの位置)が両側で違っていて金型が別に必要で、コスト的に難しかったのですが、成型技術の進歩で解決可能となり、実現に至りました。あとは、既製の塗装済キットとの併結を加味し、塗装やディテールなど「レベル合わせ」を行ないつつ、完成品技術を取り入れることに気を配りましたね。

RMM：近鉄の一般車は今後の展開も期待されますね。さて第5位は、同じく近鉄の12200系。これは以前から未塗装キットでラインナップされている形式ですが。

▲京阪の新時代を担う3000系(右)。実車登場とほぼ同時にモデル化されたのは画期的で、好評を持って迎えられた。左は9000系キットをベースに新塗装への塗り替えを行なった7200系参考作例。



▲近鉄12200系(左)と1500系あおぞら「タイプ」。近鉄特急の一時代を築いた名車のバリエーション展開、ファンにとっては嬉しいところ。

N:はい、弊社では長らくエコノミーキットでの展開(近鉄12400系サニーカー)をさせていただいており、今なお多くの方にご愛顧いただいているベストセラーです。更に、22000系ACEを完成品で展開させていただいたことで、近鉄特急の人気の高さを改めて知ることができ、晴れて12200系スナックカーの展開と相成りました。実車は登場から約30年が経過しており、長期間製造され、幾度にわたる改造を受けた車輌でしたので、プロトタイプの選定には慎重を期しましたね。その結果、細部ディテールは現在取材可能な仕様とし、以降展開を狙っていた「あおぞらII」や「未更新車」につきましては、雰囲気を重視した展開と致しました。そのため、後発2アイテムにつきましては、商品タイトルに「タイプ」と銘打っております。

RMM:更新車と未更新車で車体の色味が違うんですね。

N:紺色の微妙な違いを表現するのに苦労をしました。更新車は先に発売した22000系ACEと揃える必要もありましたので。実車は22000系との併結運転が多く見られますので、車体断面の大きさのバランスにも苦労しました。

RMM:「あおぞらII」も車体の白に光沢があって良いですね。

事業用車は意外と人気があります

RMM:私共のベスト5以外の製品についても是非お伺いしたいと思います。まず、阪急8300系3次車、これは8000/8300系のバリエーション展開ですが、前回と違って8300系のみ、しかも特定編成のモデル化でしたが。

N:主に前面のバリエーションですが、実車の3次車が数少ないのと、車体幅や床下機器といった元々のプロトタイプが8300系ですので。それと、松本商事様から、このタイプで8040系を出したいというお話をいただいたので、ウチは8300系で行こう、ということになりました。

RMM:クモヤ145形100番代、完成品としてはユニークな展開ですよね。

N:弊社では長年、クモヤ143形を展開して参りましたが事業用車輌の人気は意外と高く、「現在の技術を用いた事業用車輌」を期待するお声が高まったこともありまして、首都圏のみならず、中京、近畿圏にも在籍するクモヤ145形100番代を製品化しました。

RMM:開発にあたってのポイントは?

N:側面中央部分の大きな扉の凹み具合を如何に表現できるかが鍵となりました。また特徴のひとつでもある窓ガラスの格子表現の表現方法にも注意を払いました。商品設定では、単独で用いる以外に、牽引したり挟み込む他の車輌に動力があれば必ずしもクモヤ自体に動力がなくても良いだろうとの考えから、無動力のトレーラー2輌のセットも設定し、ご好評を頂戴しております。

RMM:最後に締切の関係で私共のリストに入っていませんでしたが、最新製品の東武30000系についてもぜひ。

N:弊社では主にアイテム毎にやや商圏が限定される「私鉄」を、主に「首都圏」「中京圏」「近畿圏」に向けた展開を行なっておりますが、ご覧いただきますように首都圏向けの新製品が極端に少ない1年となりました。東武30000系は、市場のバランスを取るべく開発されたアイテムと言えます。開発にあたり細部まで取材を行なうのですが、意外にも仕様の差があることを知ることになりました。技術的な都合をも加味した上で、6連、4連ともに11番編成以降をプロトタイプに設定して製品化致しましたが、11番編成以降では2枚の連続窓のうち、向かって左側だけが開閉可能なため手掛けがあります。また扉下の「靴ずり」の表現がそれまでと異なるのも、11番編成以降の特徴です。前面では、それまで両肩部にあった識別灯が省略されています。もう一箇所ありますが、それは探してみてください(笑)。また、6輌編成に1輌だけ編成されるサハについては、当初、側面にルーバー表現のあるモハを流用する旨発表しておりましたが、後に専用品を製作することとし、製品では正真正銘のサハを再現することができました。

RMM:塗装が非常に実感的ですよね。

N:特にステンレスボディの表現には気を遣いました。ダルフィニッシュ面部分を塗装、ドア縁などの鏡面部分を印刷で表現しています。

CROSS POINTはよりユーザーサイドに立った展開を

RMM:グリーンマックス・ザ・ストアーで展開されているCROSS POINTブランドですが、昨年も名鉄を始め、京王3000系1次車や近鉄18200系、それに東武7800系のリニューアルと積極的にリリースされましたね。

N:新たな試みとして、塗装済キットを積極的にラインナップしました。ショップ展開で小回りが効くということもあり試験的な意味もあって導入したのですが、おかげさまで塗装がなかなか出来ない環境のお客様からも好評を博しました。

RMM:アイテム選定にあたってのリサーチはどのように?

N:まずは店頭でのお客様のご要望ですね。それを汲んだ現場からの意見を元に生産工程などの実現性を加味して、ということになります。もちろん我々も、イベント等でお客様の御意見を伺う機会もあるわけですが。

RMM:東武7800系ではエッチングパーツ使用だった部分をプラに変更されましたが、これはユーザーの敷居を下げるといった意味合いからでしょうか。

N:従来金属パーツでなければ難しかった部分もプラで行けるということになってきましたので、であればということでお客様に対する制約を減らして、より裾野を広げる努力をしております。

▲CROSS POINTの京王3000系1次車。同ブランドでは、このような塗装済キットも積極的に展開された。

新ストラクチャーシリーズ、いよいよ始動!

RMM:昨年もお話をいただいた新ストラクチャーシリーズが、いよいよ具体的な形になってきたそうですが?

N:はい、随分時間がかかってしまいましたが。従来の弊社ストラクチャーの延長線上にあるキット形式になります。

RMM:(サンプルを見て)随分小分けされたパーツですが。

N:一つの素材から様々な形のビルディングが作れるキットというコンセプトで、壁面のパネルにバリエーションを持たせ、窓や入り口、屋上の違いで、ガラリと趣きの違ったものが作れるようになっています。また、L字型やコの字型、あるいは横に大きくしたり高くしたりすることで、形態差を持たせることも可能です。ただ、「何にでもできる」ということは、製品状態で「何でもない」ことでもあり、そのあたりの考え方を突き詰めて整理するのに時間がかかってしまいました。

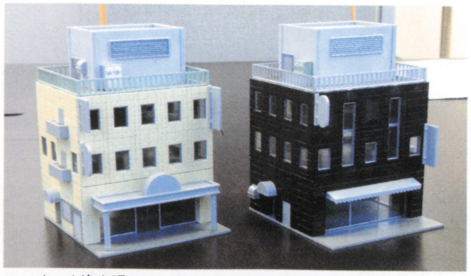
RMM:窓の形は2種類、大きさはフレキシブルという形に収斂していったわけですね。

N:サイズについては、せっかくKATO様のジオタウンという良いベースがありますので、これに合わせさせていただいております。

RMM:今後の車輌製品については如何でしょうか?

N:完成品としては東急5000系6扉編成、阪急7000/7300系、塗装済キットでは先程お話しした東急9000系リニューアルを予定しております。阪急7000/7300系については、側窓の天地寸法が8000/8300系と異なりますので流用とはせず、車体は新規に製作致します。また、動力ユニットやパンタグラフなど、中枢となるパーツの開発を並行して行い、これまで以上の品質向上に向けて活動して参ります。

RMM:今後とも質・量ともにますます充実されていくということですね。本日はありがとうございました。



▲いよいよ姿を現わした新ストラクチャーキット。これまでにない組立自由度の高いコンセプトが大いに注目される。

電車(私鉄)
ELECTRIC CARS(PRIVATE RAILWAY)

私鉄電車においては、それを得意とする各メーカーが今年も積極的な製品展開を見せました。一昔前ならなかなか製品に恵まれないだろう私鉄の編成物を綿密に再現するマイクロエースと、製品によってキット形態から完成品まで自在に展開するグリーンマックスの2社は、それぞれ手慣れた展開を見せています。また小型電車を得意とするMODEMOからは、世田谷線や江ノ電などの定番バリエーションの他にも、豊鉄や京福など新展開も見られました。

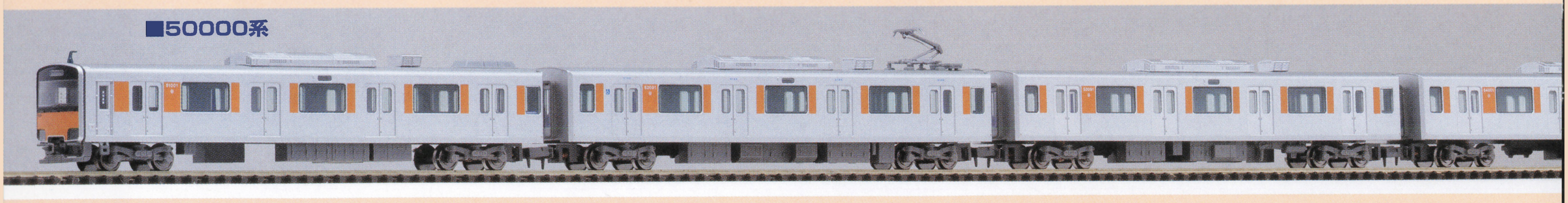
ベーシック編

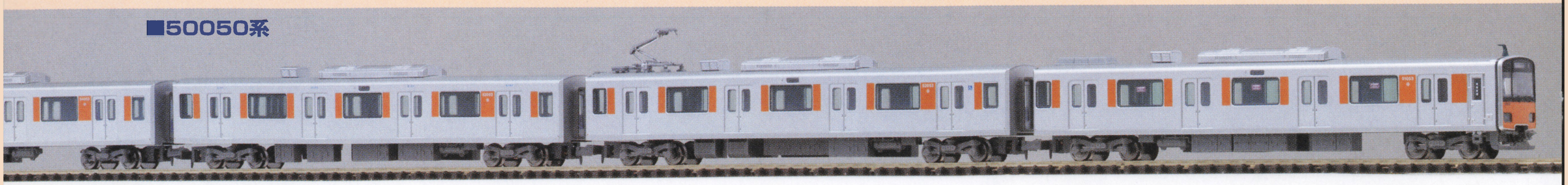
東武 50000系 50050系 〔マイクロエース〕

★東武鉄道にて勢力を伸ばす、新鋭アルミカー50000系グループがプラ量産品として初めてリリース。
★東上線向けに投入された50000系51001F、ならびに東京メトロ半蔵門線・東急田園都市線直通運転に対応した50050系51053Fを基にNゲージ化。共に6輌基本・4輌増結各セットでの発売となる。
★前面貫通扉の有無、ヘッドライト位置、床下機器配置など、50000／50050系の差異を実車に則して作り分け。なお車体幅は部品を共用する都合上どちらも同寸。
★つやの少ないアルミボディ特有の質感に塗装を、前面・側面を彩るオレンジに印刷を用いて実感的に表現。
★車番、東武ロゴ、女性専用車マーク、弱冷房車表示等は印刷済。動力はフライホイール付きで、各基本セットのモハ55001／モハ55053に搭載。
★ヘッド／テールライトはLEDで明るく点灯。オプションの室内灯は幅広タイプが指定される。
★行先表示シールが付属。

【価格】
●塗装済完成品
基本6輌セット：各18,375円
増結4輌セット：各10,500円

〔セット内容〕
■50000系基本セット：クハ51001＋モハ52001＋モハ53001＋モハ55001(M)＋サハ56001＋クハ50001
■50000系増結セット：サハ54001、サハ57001＋モハ58001＋モハ59001
■50050系基本セット：クハ51053＋モハ52053＋モハ53053＋モハ55053(M)＋サハ56053＋クハ50053
■50050系増結セット：サハ54053、サハ57053＋モハ58053＋モハ59053





東急デハ80形(旧塗装) 〔MODEMO〕

★MODEMOのデハ80形シリーズに久々の新バリエーション。
★今回はたまでん時代のデハ80両運転台型のうち、昭和27〜30年頃の短い期間だけ存在した、濃い緑＋クリーム色のサンドイッチカラー(旧塗装)をセレクト。明るい緑＋クリーム色のツートンに塗られた新塗装のポップなイメージとは対照的な、渋みの深い仕上がりと言える。
★TKKマークと客扉横の注意書きを印刷で表現。車番インレタも行先板の書体などが違う専用品が用意される。
★ユーザー取付による避雷器、塗り分けで表現されたライト(非点灯)、片台車駆動の動力といった、基本的な作り は従来品と同じ。

【価格】
●塗装済完成品 :6,510円

北総7300形／京成3700形

〔グリーンマックス〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 34000361（京成）

★以前より発売されていたグリーンマックスの京成3700形・北総7300形塗装済キットが仕様変更。前回発売品以降の実車における変更が反映された形となる。

★北総7300形では、新系列7500形に合わせて先頭車側面に追加された飾り帯（航空機の翼の図案化）が印刷済で目を惹く。また台車は淡緑色からグレーとなっており、モデルでも成型色を変更。加えて部品構成の変更で、2003年に登場した京成からのリース車・7808編成の製作にも対応するようになった。

★同系車の京成3700形も、同じく台車の成型色がグレーに変更されている。

★ボディー一体型の塗装済キットで、一部に接着剤が必要。ワイパーはエッチングパーツが含まれる。

★付属のステッカー・インレタの内容も見直され、北総7808編成の車番、同社の新ロゴマークなどが新たに含まれる。なおステッカーは京成・北総とも同じものとなる。

★フル編成を4＋4に分割し、「4輌編成トータルセット」と「増結用中間車4輌セット」として発売。動力（トータルセットのみ）、台車、パンタまでワンセットとされ、別途購入が必要なパーツはない。

【価格】

●塗装済キット

4輌トータルセット
：各13,650円

増結用中間車4輌セット
：各8,400円

〔セット内容〕 ※両者共通

■トータルセット：M2c＋M1(M)＋T＋M2c

■増結セット：M1'＋M2＋T＋M1

■北総7300形（手前）、京成3700形（奥）

西武701系（旧塗装・冷房車）

〔マイクロエース〕

★2005年リリースの西武701系をベースとした新作が登場。今回のバリエーションも冷房・HSC化改造車であるが、ラズベリー＋ベージュのツートンカラーを纏った改造間もない頃の形態をモデルアップしている。

★黄色塗装と同様、4連固定編成と元601系中間車を加えた6輌固定編成セットの2種類をラインナップ。プロトタイプは4連が1731F、6連が1701Fの設定。

★基本的には前回品の仕様を踏襲。最大のウリである車体色は西武らしいタッチが出ており好印象。

★車番、ロゴマーク、優先席表示等の標記類は印刷済。その他行先表示シールと「急行奥武蔵」のヘッドマークが付属する。

★幅広タイプの室内灯に対応。

【価格】

●塗装済完成品

6輌セット：19,740円

4輌セット：14,490円

〔セット内容〕

■6輌セット：クハ1701＋モハ701＋モハ702(M)＋モハ701-1＋モハ701-2＋クハ1702

■4輌セット：クハ1731＋モハ731＋モハ732(M)＋クハ1732

東京メトロ07系（東西線）

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダス 34000327

★マイクロエースの東京メトロ07系に新バリエーションが追加。

★実車は2006年以降、副都心線開業へ向けた車輌計画の一環として有楽町線から東西線への転属が進んでおり、転属に際しては帯の張替のほか、保安装置や冷房装置の交換も行なわれている。

★製品は2004年に発売された07系有楽町線仕様をベースとし、実車に準じた変更を施したもので、帯色のほかクーラーキセ形状、屋上アンテナ、07 303妻面のIRアンテナといった差異を表現している。

★パンタは先に発売された03系と同等のものとなり、先頭車のスカート形状も修正されて印象が大きく向上している。

★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。フライホイール付動力ユニット搭載。幅広室内灯に対応。

★車番・編成番号（73編成）、各種標記は印刷済。行先表示・運行番号、女性専用車表示はステッカーが付属。

【価格】

●塗装済完成品

6輌基本セット　：19,215円

4輌増結セット　：11,130円

〔セット内容〕

■6輌基本セット：07 103＋07 403(M)＋07 503＋07 803＋07 903＋07 003

■4輌増結セット：07 203＋07 303＋07 603＋07 703

京成　AE-100（登場時／リニューアル）〔マイクロエース〕

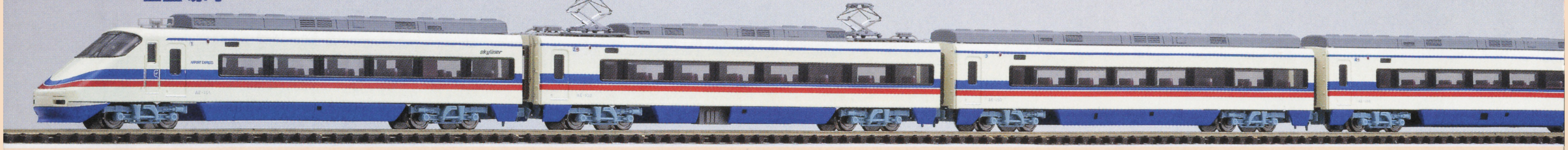
ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 33000321（登場時）

★1990年デビュー以来空港特急として JR東日本253系と双璧をなした、京成電鉄のAE100形がプラ量産品で登場。
★登場時とリニューアルの2種が用意され、リニューアル後に入ったドア脇のロゴマーク、運転台窓のサンバイザー、車体裾の青帯。4号車窓配置、座席色、登場時の青味がかった台車の色などを作り分けている。
★同車の特徴でもあるリトラクタブルライトの開閉の再現は、床下のライトON／OFFスイッチをスライドさせることでライトレンズが突出し、カバーのパーツを押し出すように外すことができるという仕組み。出荷状態では全てライトカバーを閉じた状態となり、予備のカバーパーツも一組付属している。
★付属シールには、スカイライナー「上野」「成田空港」、モーニングライナー、イブニングライナーの方向幕と前面列車番号、編成番号表示を各セット共通で収録。
★動力はフライホイール付き、幅狭室内灯に対応。

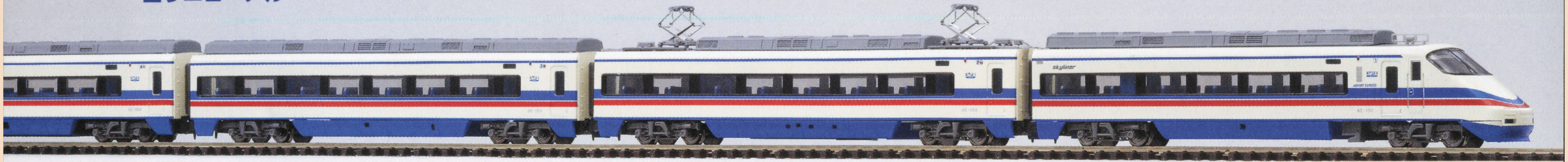
【価格】
●塗装済完成品
8輌セット：各22,575円

【セット内容】
■登場時：AE-108＋AE-107＋AE-106＋AE-105＋AE-104(M) ＋AE-103＋AE-102＋AE-101
■リニューアル：AE-158＋AE-157＋AE-156＋AE-155＋AE-154(M) ＋AE-153＋AE-152＋AE-151

■登場時



■リニューアル



東急300系（303Fクラシックブルー）〔MODEMO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 33000374

★アップルグリーンに続き、8色目のバリエーションとなる、クラシックブルーと言われる濃い青に塗られた303Fもラインナップされた。
★動力装置も含めた基本的な構成は従来品と同じ。

【価格】
●塗装済完成品：10,290円

東急300系（304Fアップルグリーン）〔MODEMO〕

★東急世田谷線300系のバリエーションとしてアップルグリーン編成が登場。
★プロトタイプの304F編成は2000年7月に300系の4番目の投入車として同線に登場。アップルグリーンの塗色は世田谷線で10色あるうちの一つ。
★車番、社章は印刷済。
★ユーザー取付パーツとして、屋上ヒューズ箱や無線アンテナが付属。また前面方向幕はステッカーが付属する。

【価格】
●塗装済完成品：10,290円

東急1000系（池上／多摩川線、東横線）〔グリーンマックス〕

★東急東横線の日比谷線直通運転用と、池上・多摩川線とで運用される18m級ステンレスカー1000系が登場。
★基本的に接着剤不要の塗装済キットとしての発売。組立は初心者でも簡単で、組み上がると同社完成品シリーズ並の仕上がりとなる。
★製品は東横線から日比谷線直通運転用とした基本4輌＋増結4輌の8輌と、池上・多摩川線3輌を用意。小運転にも合う3輌編成は嬉しい存在。
★ステンレスボディはドア縁の質感を違えるなどして的確に再現している。またキモとなる赤帯の再現は、歪みやカスレも見られず良好。
★客窓のサッシ、前面ワイパーはガラスへの印刷で再現。精密感を盛り上げている。
★動力は近年の同社標準となったダブルモーターの動力ユニットが付属。
★専用オプションとして、東急1000系ライトユニットが発売（2輌分入り、1,890円）。別売り集電板（TR180用、4輌分入り、525円）と合わせて組み込むことで、ヘッド・テールライトの点灯が楽しめる。

【価格】
●塗装済キット
池上・多摩川線3輌セット
：10,500円
東横線4輌編成トータルセット
：13,650円
東横線増結用中間車4輌セット
：8,400円

〔セット内容〕
■ 池上・多摩川線3輌セット：1010(M)＋1210＋1310
■東横線4輌トータルセット：1000＋1250(M)＋1400＋1100
■東横線増結用中間車4輌セット：1200＋1350＋1300＋1450

■東横線

■池上・多摩川線

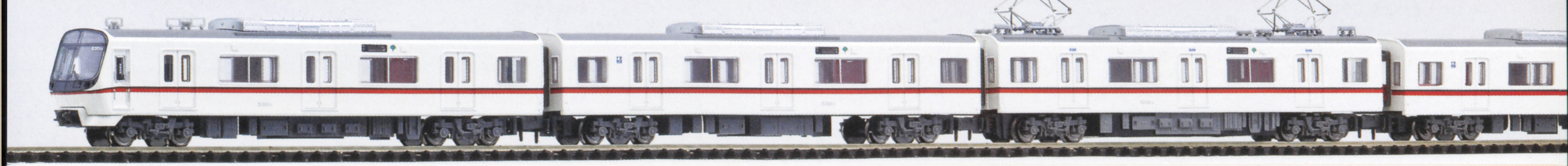
都営5300形（初期型登場時／後期型ロングスカート）〔マイクロエース〕

★都営浅草線を中心に、相互乗り入れ先の京急線内や京成線、北総線の各地上区間を走行する都営5300形がマイクロエースから登場。
★スカートの違いを再現した2タイプを製品化。初期型のモデルは前面スカートが短く、4・5号車に車椅子スペースがあるものがプロトタイプ。後期型はスカートが長く、いちょうマーク位置や車椅子スペースの位置が変化している1994年度から製造された車輌がプロトタイプ。
★製造時期によって異なる中間車貫通扉の有無も再現され、中間車前後で異なる車端部吹き寄せ長短も再現。
★フライホイール付き動力を搭載。LEDによりヘッド／テールライトが点灯する。
★製造時期によって異なるLED表示の行き先シールも初期型／後期型で作り分けている。
★室内灯は幅狭タイプが指定。

【価格】
●塗装済完成品
8輌セット：各22,575円

〔セット内容〕
■初期型登場時：5301-1＋5301-2＋5301-3（M）＋5301-4＋5301-5＋5301-6＋5301-7＋5301-8
■後期型ロングスカート：5317-1＋5317-2＋5317-3（M）＋5317-4＋5317-5＋5317-6＋5317-7＋5317-8

■初期型登場時



■後期型ロングスカート

京急2100系「ブルースカイトレイン」

〔グリーンマックス〕

★すでに発売中のグリーンマックス京急2100形のバリエーションとして、「ブルースカイトレイン」が登場。

★実車は2005年に2157編成の車体を「空と海」をイメージした青に塗り替えて登場したもので、赤が基本色の京急では対照的ゆえに注目の存在といえる。

★モデルは8輌フル編成セットでの限定発売。車体カラーは塗装、カモメのシンボルマークは印刷にて表現される。床下も赤+アイボリーの標準塗装モデルに比べ若干明るいグレーに仕上がっている。

★その他ユーザー取付の屋上パーツやインレタによる車番等といった基本的な仕様は標準塗装と共通。

【価格】

●塗装済完成品

8輌セット：33,600円

〔セット内容〕

■2157＋2158＋2159(M)＋2160＋2161＋2162＋2163＋2164

東急8500系

〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスより以前から発売されている東急8500系未塗装キットが、今回の再生産より現行の仕様に合わせた製品構成となる。

★セット構成を基本・付属共に5輌セットとし、基本5輌で大井町線、付属を含めた10輌で田園都市線仕様として製作が可能。

★以前にCROSS POINTブランドで発売されたスカートパーツがセットに加わり、現行仕様に対応。また床下機器も近年の新規品に変更されている。

★ステッカーもリニューアルされ、行先やナンバーが細かく網羅されたものとなった。

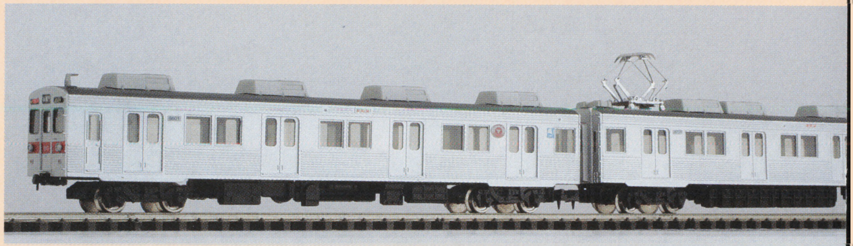
★パンタ・台車・動力装置などは別売。

【価格】

●未塗装キット

基本5輌セット ：3,675円

付属5輌セット ：3,150円



相鉄旧6000系（全鋼製車／アルミ試作車組込）

〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!

ホビダスNo. 34000344（全鋼製車）

★かつての相鉄の顔、旧6000系がマイクロエースから発売された。

★旧6000系は1961年に登場。5000系に続く直角カルダン駆動に加え、相鉄初の両開き扉を採用した。20m級4扉だが一般的なレイアウトの車輌より車端部に窓が1ヶ所多い、近鉄などに見られる非対称スタイル。1997年までに全廃され今はトップナンバーの6001と1輌のみ存在したアルミ車体試作車の6021が保存車として残る。

★製品は通常の鋼製車と、アルミカー・モハ6021を含む編成の2種で、いずれも外付けディスクブレーキを採用した後期型、冷改後仕様。ヘッドライト2灯、鋼製車は若草色の新塗装となる。他車と異なるモハ6021のクーラー、同編成のサハ6625の台車は別金型で作り分け。新6000系に組み込まれた車輌もあったので、既発売の同系と組み合わせて再現するのも面白い。

★ヘッド・テールライト、方向幕点灯（ON／OFFスイッチ付）。フライホイール付動力ユニット採用。幅狭室内灯、マイクロカプラー（自連）に対応。

★車番・標記は印刷済。方向幕ステッカー付属。

【価格】

●塗装済完成品

8輌セット

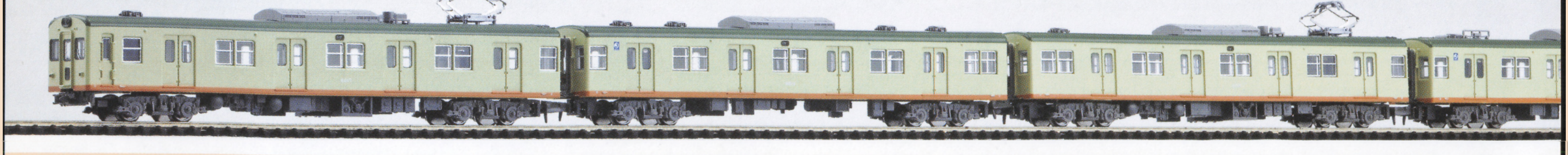
：各22,575円

〔セット内容〕

■全鋼製車：モハ6017＋サハ6614＋モハ6108＋クハ6514＋モハ6131(M)＋モハ6135＋モハ6113＋クハ6517

■アルミ試作車組込：モハ6021＋サハ6621＋モハ6025＋サハ6625＋モハ6142(M)＋モハ6135＋モハ6123＋クハ6523

■全鋼製車



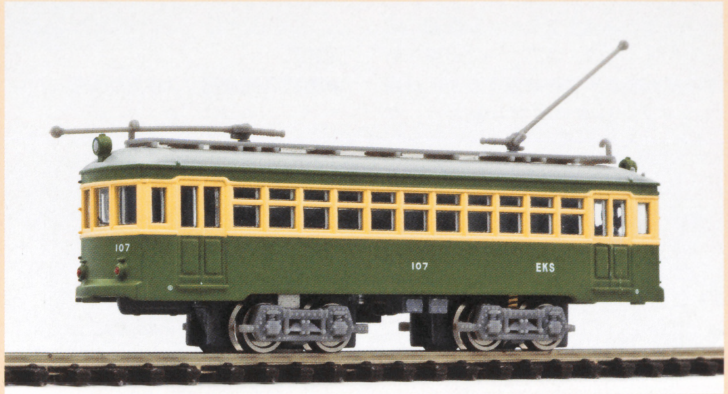
■アルミ試作車組込

江ノ電100形 (トロリーポール仕様)

〔MODEMO〕

★MODEMOより、「タンコロ」の愛称で知られる江ノ島電鉄100形のトロリーポール仕様が改良再生産された。
★モデルは1964年にZパンタに変更される以前の姿をプロトタイプとしたもので、107号の車番が印刷済。
★前回製品からの改良点は、動力伝達機構のシリコンチューブからユニバーサルジョイントへの変更、車内の黒塗装化、ポール塗色変更(黒→グレー)など。
★行き先方向板のシールが付属。

【価格】
●塗装済完成品：6,510円



江ノ電300形 (304F標準色 2005) (305F標準色)

〔MODEMO〕

★おなじみのMODEMO製江ノ電シリーズに2種類が追加。
★今回は2005年9月に引退した304F編成最末期の"標準塗装"、及び最後の300形として目下活躍中の305F現行仕様。
★いずれも過去に発売されたことがある編成であるが、従来品の304F（品番NT43）が増結用T車、305F（NT42）がM車であったのに対し、新作はその逆で前者=M付、後者=増結用Tの設定となった。いずれも補完的な役割を持つアイテムと言える。なお304Fの塗装は引退時の仕様としてあり一部前作と異なっている。
★両者とも標記類は全て印刷済で、ユーザー側で取り付けるアンテナなどの屋上パーツが一部あり。

【価格】
●塗装済完成品
304F
：10,290円
305F
：5,880円

■304F標準色・2005

■305F標準色

江ノ電新500形

〔MODEMO〕

★江ノ電の新鋭車輌・新500形がMODEMOからリリース。
★同形式は300形の後継車として2006年にデビュー。同路線では初めてVVVFインバータ制御を採用した車輌で、外観は2003年に引退した旧500形の雰囲気を受け継いでいるのが特徴。
★モデルは江ノ電の車輌を数多く手がける同社だけに手馴れたもので、実車が持つ新しさと伝統を兼ね備えた丸みのある前面形状をそつなく凝縮。車番は501＋551が印刷済となっている。
★両軸モーターを501側に装備。ユニバーサルシャフトで編成両端の台車に動力伝達を行ない4軸を駆動させる方式。
★これまでの製品と同様、ユーザー取付の屋上パーツと行先表示シールが付属。
★ヘッドライトは同社江ノ電シリーズで初めて点灯式で、電球色LEDを使用。

【価格】
●塗装済完成品：10,290円

江ノ電1000形（デビュー時仕様）

〔MODEMO〕

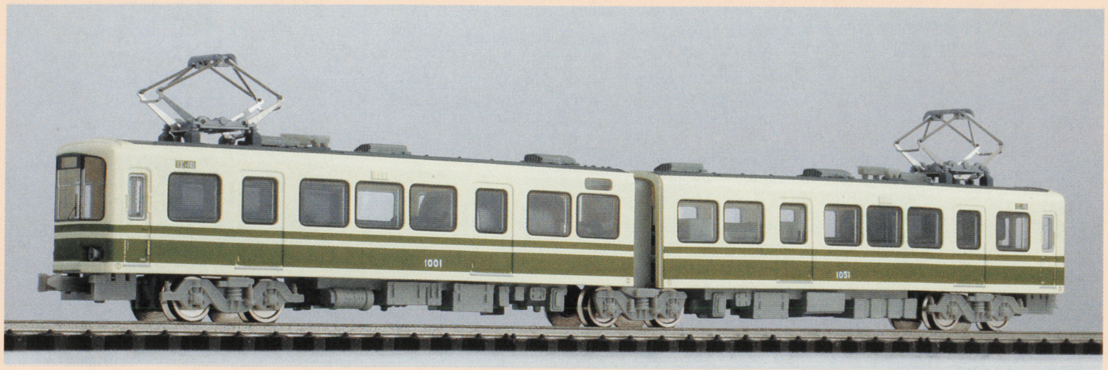
★MODEMOの江ノ電1000形のバリエーションとして、1979年の登場当初の姿としたモデルが登場。

★従来品との外観の違いは、屋上のクーラーとアンテナがなく、前面裾に切り欠きが入る点。カプラーは出荷状態では密自連タイプを装備するが、付属のパーツに密連タイプも含まれ、交換・連結が可能。

★そのほか、方向幕及び乗務員室票記のシールと車体番号のインレタが付属。

【価格】

●塗装済完成品：10,290円



江ノ電1500形「S.K.I.P号」Ⅱ

〔MODEMO〕

ホビダスショッピングはこちらから！
31000372

★MODEMOの江ノ電ラインナップに「S・K・I・P号」Ⅱが新たに加わった。

★実車は観光客誘致のため、鎌倉・江ノ島の観光スポットを1500形の車体全体にあしらったラッピング電車。

★先代1000形に続くラッピング車のモデル化で、もはや同社では手馴れたもの。鎌倉・江ノ島の神社仏閣の複雑な建物の写真も破綻はなく、見ていて楽しい観光絵巻が再現されている。

★それ以外は1500形標準塗装と同じ仕様。

★ユーザー取付の屋上パーツ、及び方向幕シールが付属する。

【価格】

●塗装済完成品：10,290円

江ノ島電鉄2000形 “明治製菓号2007”

〔MODEMO〕

ホビダスショッピングはこちらから！
34000316

★ MODEMOの江ノ電2000形に、初のカラーバリエーションとして「明治製菓号2007」が加わった。

★ 車番は2003+2053で、「明治製菓号」としては、製品リリース済でもある1201F、1502Fに続く3編成目。2007年秋以降の塗色である。

★ モデルは既発売の標準色製品の塗装変更で、沿線の名所を描いたイラストも印刷で美しく再現。発売済の「標準塗装」製品と同じく現行仕様となるが、2001F・2002Fがモデルの前回品とはクーラー形状、スカートの有無で作り分けが図られている。実車で1本となったワイパーの表現は省略。

★ M付のみの発売。付属パーツや基本仕様は標準色製品と同様。

★ 車番・ロゴなどは印刷済。方向幕は黒地の文字幕のみステッカーが付属する。

【価格】

●塗装済完成品：10,290円

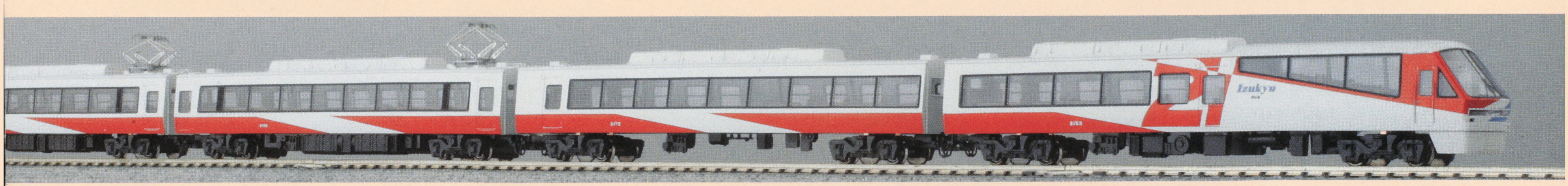
伊豆急2100系「リゾート21」(izukyuロゴ入り)〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
33000314

★KATOの伊豆急2100系「リゾート21」が、内容を現行に即したものに改めて再発売。
★基本的には以前から発売されている製品がベースだが、車輌の編成順と、従来品に含まれるモハ2105・モハ2107がモハ2102・モハ2104に置き換わったのが大きな違い。
★目立つ変更点は先頭車側面に追加された「Izukyu」ロゴ、編成順序の変更から帯斜めカットが以前と逆になったサハ2172、全車黒染め車輪化などが挙げられる。
★動力ユニットはこれまでと同様モハ2108に搭載。その他ヘッド/テールライト、前面行先表示器、フォグランプが電球で点灯する。なおシール類の設定はない。

〔価格〕
●塗装済完成品
7輛セット:15,750円

〔セット内容〕
■クハ2154+モハ2106+モハ2104+モハ2102+モハ2108(M)+サハ2172+クハ2153



長野電鉄2000系(復活・茶色/りんご塗装)〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
33000319(復活・茶色塗装)
33000320(りんご塗装)

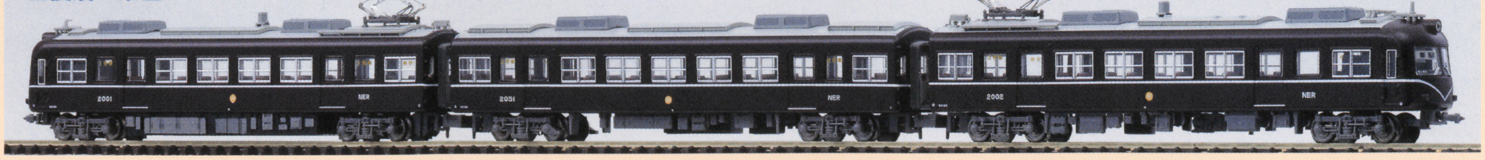
★1957年に営業運転をはじめ、今なお長野電鉄の特急として活躍を続ける2000系がマイクロエースから2種類のカラーリングで登場。
★2007年に登場時の色に戻された茶色塗装のA編成、1990年ごろまでの標準色に戻された「りんご塗装」のD編成共に現在の仕様をモデル化。
★A、D編成で違う台車や床下機器配置、屋上機器までを再現。また冷房装置はA編成がファンをカバーで塞いだ冬姿、D編成はカバーのない夏姿としており、季節の違いまで表現している。
★付属シールには、種別「普通」「特急」と、行先「長野」「湯田中」「須坂」のシールが白/黒文字それぞれ収録。
★動力はフライホイール搭載。室内灯は幅広に対応。

〔価格〕
●塗装済完成品
3輛セット:各12,600 円

〔セット内容〕
■復活・茶色塗装:
2002+2051+2001(M)
■りんご塗装:2008+2054+2007(M)

■りんご塗装

■復活・茶色



豊橋鉄道市内線モ3502「ヤマサちくわ号」〔MODEMO〕

★MODEMOから都電7000形のバリエーションとして豊橋鉄道市内線広告電車「ヤマサちくわ号」が登場。
★実車は1992・2000年に東京都から譲り受けた4輌の7000形→モ3500形の内の1輌。都電時代は7028号として1977年に車体更新。最後まで非冷房車として運用され、豊橋鉄道移籍後に冷房化改造をされた。
★車体広告となる「ヤマサちくわ」は地元豊橋で創業180年を数える老舗水産食品メーカー。その創業と豊橋市制100周年を記念して2006年に現在の朱色の広告デザインとしたもの。中部地方でのTV-CMでお馴染みのキャラクターとともに豊橋の名所、名産のイラストが散りばめられ、そのどれもが美しく再現されている。
★窓・扉配置が都電時代とは異なるため、ボディは新規製作。パンタはZパンタとなる。

〔価格〕
●塗装済完成品:6,510円

名鉄3500系

〔グリーンマックス〕

★これまで1000／1200系、1800系、2000系と特急車の展開が続いてきたグリーンマックス完成品の名鉄車輌群に、いよいよ通勤車3500系がラインナップ。

★3500系は1993年から96年までの間、5次に渡り全34編成136輌が製造された。電気司令式ブレーキやVVVF制御など、名鉄の電車としては初あるいは少数であった方式を多用。高速走行にも重点が置かれ、営業最高速度は120km/hを誇る。4輌固定編成であるが、時間帯によっては4+4の8連で運用に就くこともある。

★モデルは実車の編成に則して4輌セットでの発売。モーター搭載車のモ3650をトレーラー仕様に置き換えた増結セットも選択できる。ボディは先頭／中間車共に新規製作品を使用。

★先頭車側面の名鉄ロゴは印刷によるもので、車番はインレタ、行先表示はステッカー（それぞれ専用品が付属）で表現する。

★その他ユーザー取付による一部屋上パーツ、ならびに併結用ドローバー(増結セットのみ)が付属。

★ヘッド／テールライトが点灯。

【価格】

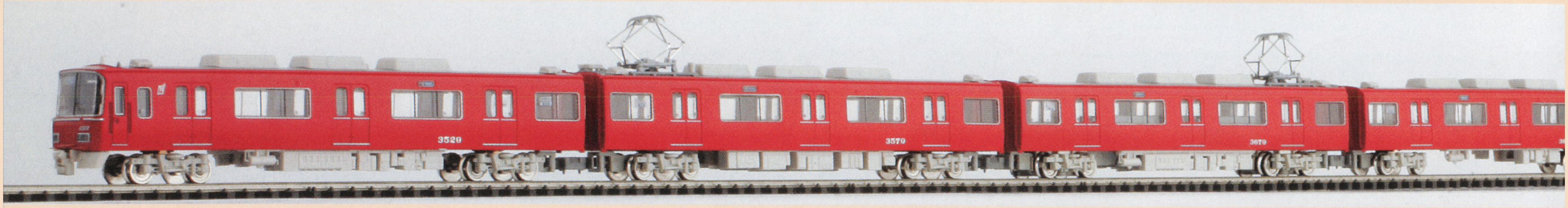
●塗装済完成品

4輌編成セット（動力付き）：18,900円

4輌編成セット（動力なし）：15,540円

〔セット内容〕

■3500+3550+3650(基本セットの場合M)+3600



名鉄モ600形

〔MODEMO〕

★馬面電車の異名を持ち、名鉄美濃町線から田神線を経て各務原線へと乗り入れて活躍したモ600形がMODEMOより登場。

★ただでさえ狭い車体は、車端部分に行くにつれ更に狭くなる。細長い前面には貫通扉が付く、ユニークな車体を再現。

★1500Vの各務原線新岐阜駅へ直通するため、複電圧の機能を持ち合わせ、その抵抗器が屋上に並ぶ（クーラーではない）。

★前面貫通扉には長く突き出た渡り板も再現され、重連運転時には取り外すことで干渉しないようになっている。なおカプラーはTN方式の密自連（復元機能なし）を標準で装備している。

★動力は定評ある片側台車駆動方式。車輪径は実物通り、通常の鉄道車輌と同じϕ5.6。走行は極めてスムーズである。

★M車、T車ともヘッドライト点灯。運転台はシースルーとなっている。

★T車には特徴的なクロスシートを再現。

★車番インレタ、行先表示板シール、ステンレス製ワイパーパーツ付き。

【価格】

●塗装済完成品

M車：7,140円

T車：3,675円

名鉄モ750形(スノープロウ仕様)

〔MODEMO〕

★MODEMO名鉄750形に、緑塗装に続く新しいバリエーション、降雪時の姿を再現したスノープラウ仕様が登場。

★モデルは「スカーレット色」仕様と基本的に同じ仕様とし、車番は755を印刷済。

★連結器は従来通り車体マウント、非伸縮・復元機能なしのTNカプラーが取り付けられているが、カプラー受けと一体となるスノープラウが付くため事実上連結はできない。そのため片側分だけ通常のカプラー受けが交換部品として入っている。

★そのほか行き先表示、各種標記シールが付属。

【価格】

●塗装済完成品：6,510円

近鉄12200系〔グリーンマックス〕

★「スナックカー」の通称で有名な近鉄特急車12200系が、塗装済完成モデルで待望のリリース。
★製造当初からMc車にスナックコーナーがなく、代わりに客室スペースが拡大した12221以降の後期車をモデルに選択。標識灯などの形態は現行仕様となる。当然ながらボディは新規製作品を使用。
★ダミータイプの連結器を先頭車前面に装備。オプションでボディマウントTNカプラーへの交換もできる。
★付属のドローバーを用いることで22000系などとの併結運転も可能。
★新規の専用ステッカーと車番インレタ、ユーザー取付による屋上パーツが付属。
★ヘッド／テールライトがLEDで明るく点灯。連結時はトレーラーのみ床板室内側に付くON／OFFスイッチで消灯可能。
★4輌編成セットと先頭車2輌セット(M付／Mなし)がそれぞれ用意され、幅広い編成が楽しめる。

【価格】
●塗装済完成品
4輌編成セット　：18,900円
2輌編成セット（動力車付き）　：13,650円
2輌編成セット（動力車無し）　：10,290円

〔セット内容〕
■4輌セット：モ12200＋サ12120＋モ12020(M)＋ク12300
■2輌セット (M車)：12200(M) +12300
■2輌セット (Mなし)：12200+12300

■4輌セット

■2輌セット

近鉄12200系 スナックカー (未更新タイプ) 〔グリーンマックス〕

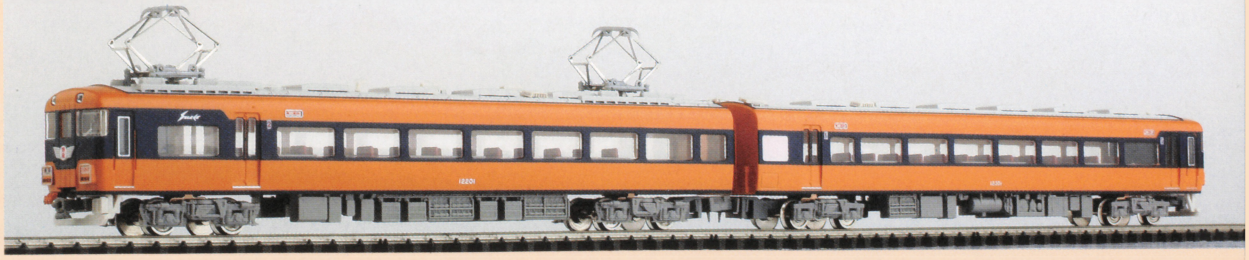
ホビダスショッピングはこちらから!
33000324 (4輌セット)
33000326 (2輌セットMなし)

★現行仕様に続き、近鉄12200系の未更新車タイプも登場。
★前面、貫通路に特急マーク、テールライトケーシングに行先・種別表示が入り、2輌編成にスナックコーナーが残っていた、登場時〜1980年頃の更新改造前の姿をモデル化。
★プロトタイプは4輌編成はスナックコーナーなし後期車、2輌セットは12201〜20としている。
★車体帯色は濃紺とし更新車の紺色との違いを再現。
★室内インテリアは濃赤色のクロスシートを再現。ヘッド・テールライトならびに通過表示灯に高輝度LEDを採用。
★付属パーツは先頭車連結用のスイングドローバー（加工によりTOMIXのTNカプラー取付可能)、前面ジャンパ栓、屋上アンテナ、ヒューズ箱など。ステッカーは行き先方向幕・号車札・妻面部分の紺色帯を収録する。

【価格】
●塗装済完成品
4輌セット　：18,900円
2輌セット（M車）：13,650円
2輌セット（Mなし）：10,290円

〔セット内容〕
■4輌セット：12200+12120+12020(M) +12300
■2輌セット (M車)：12200(M) +12300
■2輌セット (Mなし)：12200+12300

■2輌セット



■4輌セット

近鉄15200系タイプ「あおぞらⅡ」

〔グリーンマックス〕

★グリーンマックスから、近鉄12200系をベースとした15200系タイプ「あおぞらⅡ」がリリース。

★15200系は団体列車専用車輌18200系・初代「あおぞらⅡ」の老朽化に伴い、2005年に12200系から改造された比較的新しい形式。これまでに4輌×2編成ならびに2輌×1編成が改造・落成している。

★モデルは実車の4輌／2輌各編成をイメージ。それらをアソートした6輌セットでの発売となる。

★近鉄の車輌としては珍しい白とスカイブルーのツートンを塗装と印刷の併用によって美しく表現。なお一部に金型の共用により実物と異なる箇所がある。

★編成中の先頭車が向き合う連結箇所はスイングドローバーによる連結となる。ライトはLED点灯式で消灯可能。

★セット収録の全パンタ車にはPT42菱型パンタを標準装備。実車に存在する下枠交差型パンタ搭載中間車を再現したい場合は、別売の同社製PT48が利用できる。

★付属品は屋上パーツ、ドローバー、ステッカー、車番インレタ。

★本製品は限定品扱いとなる。

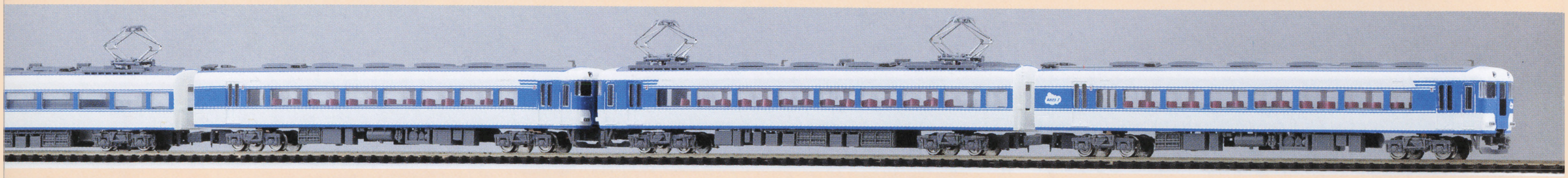
【価格】

●塗装済完成品

6輌セット：28,350円

〔セット内容〕

■ 15200＋ 15150＋ 15250 (M)＋15100＋15200＋15100



近鉄5200系

〔グリーンマックス〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000349

★グリーンマックスでは各種キットで積極的に近鉄の車輌をリリースしてきたが、今回は完成品として5200系が発売となった。

★5200系は1988年に登場した急行・団体用車で、長距離運用を前提とし3扉車体・自動転換クロスシートを採用。前面もパノラミックウィンドウ、縦長の貫通扉窓を用いた斬新なデザインとされ、同年のグッドデザイン商品にも選定された。現在も第一線で活躍を続けている。

★製品は初期車の5201編成～5208編成をプロトタイプとしており、裾の塗り分けを省略、妻面をマルーン1色とした現在の姿。

★全体にシャープな印象で、側面の連続窓、前面の大型窓もぴっちりとはめ込まれ、実車のすっきりした美しさをよく伝えている。

★車内にはクロスシートを表現。床下機器、KD301タイプ台車、貫通幌も新規製作品になる。

★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付)。またテールライトは前進時、通過表示灯として黄色に点灯する。

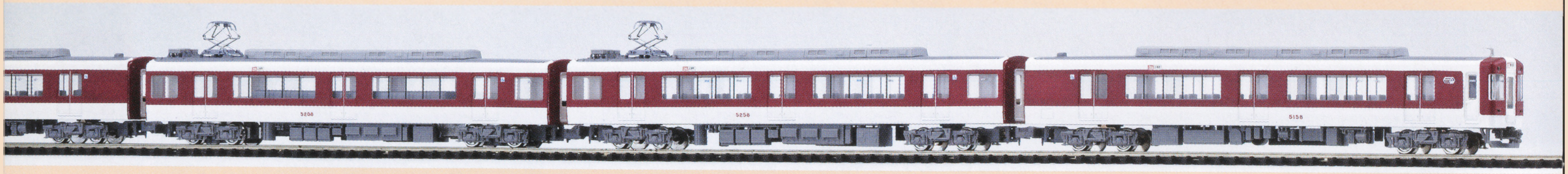
★先頭車の「VVVF」ロゴマークは印刷済。方向幕ステッカー、車番インレタが付属。またアンテナ、ヒューズ箱はユーザー取付となる。

★TOMIX製室内灯（集電板は別売)、ボディマウントTNカプラー（先頭車前面側のみ）対応。

【価格】

●塗装済完成品

4輌セット：18,900円



京福電鉄 モボ101形 (夕子号)

〔MODEMO〕

★MODEMOの嵐電モボ101形に、賑やかな広告車のモデルが加わった。

★「夕子号」は京都の菓子店、井筒八ッ橋本舗による広告車で、パステルカラーを基調とした淡い色合いが特徴的。101と104の2輌が充てられ、それぞれ広告のパターンが若干異なる。

★製品は標準色製品のバリエーション。微細なイラストや写真、窓ガラスにまでかかったラッピングも鮮やかに表現される。車番はM車が101、T車が104を印刷済。前面の絵柄は両エンドで異なり、加えて2輌で組み合わせが逆転している。

★塗装以外の仕様は標準色同様で、ヘッド・テールライト点灯。付属品も車番インレタが含まれない他は同じである。

【価格】

●塗装済完成品

M付き：7,560円

Mなし：4,095円

阪急8300系3次車／8040形〔グリーンマックス／松本商事〕

★グリーンマックスの阪急8000系シリーズに、新たなバリエーションが加わった。
★8300系は、神戸・宝塚線用の8000系に対する京都線用として1989年から製造された車輌。
★先に額縁状前面の1次車が製品化されているが、今回は額縁が廃され前面窓が拡大された3次車がプロトタイプ。
★増備時期によるパンタグラフの差で、下枠交差型の8304F、シングルアームの8315Fの2種を作り分けている。なおシングルアームパンタ搭載車の屋根板は新規製作。
★前回とは異なりフル編成を1セットに収めた形態で、実車に合わせ8304Fが6連、8315Fが8連。ブック型ケースは8輌用を新規開発している。
★ヘッド・テールライト、通過表示灯が点灯しON／OFFスイッチで消灯できる。前回含まれたスイングドローバーは付属しないが、取付自体は可能である。
★屋根上を中心に一部のパーツはユーザー取付。
★車番・ロゴはインレタ式。行先表示などは前回同様ステッカーが付属。
★恒例となった松本商事版も用意される。今回は宝塚線用の8040形で、動力なしの先頭車2輌セット。前回発売分の8000系1次車8連と合わせて10連を組む。車番印刷済（8040F）と印刷なし（専用インレタが付属）の2種が用意されるのが面白い。スイングドローバー、グリーンマックス版と同じステッカー付。

【価格】

●塗装済完成品
・グリーンマックス発売分
8300系下枠交差パンタ車
6輌セット　：26,250円
8300系シングルアームパンタ車
8輌セット　：31,500円
●塗装済完成品・松本商事発売分
8040形 2輌セット
：各10,290円

〔セット内容〕

■8300系　下枠交差パンタ車6輌セット：8304＋8854＋8954＋8874（M）＋8804＋8404
■8300系　シングルアームパンタ車8輌セット：8315＋8904＋8865（M）＋8965＋8984＋8885＋8815＋8415

■8040形2輌セット：8040＋8190

■8040形・2輌セット

■シングルアームパンタ車(手前)、下枠交差パンタ車(奥)

京阪3000系〔グリーンマックス〕

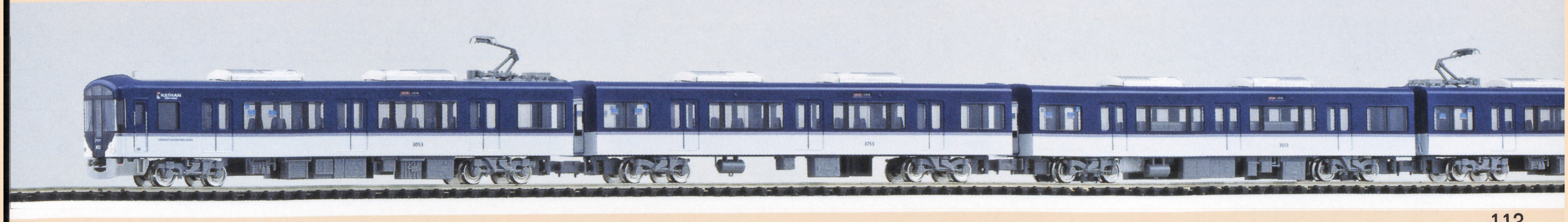
★2008年、中之島線開業をはじめ大きな変革の時を迎えた京阪電気鉄道。その主役とも言える3000系電車が早くも製品化された。
★実車は中之島線開業で新設された快速急行に使用するため新製されたもの。車内は1＋2列の転換クロスシートと複層ガラスで居住性・静粛性を高め、外観も従来の京阪電車とは一線を画すデザインとなった。特に月をイメージした円弧状の標識灯が強烈な印象を与える。塗装は独自のネイビーブルー・銀・白の塗り分けで、本車に合わせて他車も別パターンの新塗装への塗り替えが進んでいる。
★製品は8連フル編成を1セットとしたもの。特徴的な車体は破綻なく、最近の他製品に通ずるすっきりとした仕上がり。前面ガラス周辺は貫通扉、ライト部までを一体のはめ込みパーツとしてガラスをツライチに表現している。簡易運転台のある3750、3150、3700の回送用ライトは非点灯ながらクリアレンズを装備。KW77E、FS577の両台車や床下機器は新規製作、車内腰掛は青色成型のクロスシートが付く。
★ヘッド・テールライト点灯。テールライト部は前進時、通過表示灯として黄色に点灯する。動力ユニットは同社完成品標準の2モーター型。
★車体の細かなロゴは印刷済。車番はインレタ、行先・種別はステッカーによる選択式。屋上アンテナ・ヒューズボックスはユーザー取付となる。ボディマウントカプラーには対応しない。

【価格】

●塗装済完成品
8輌セット：29,925円

〔セット内容〕

■3050＋3750＋3550（M）＋3150＋3700＋3600＋3500＋3000



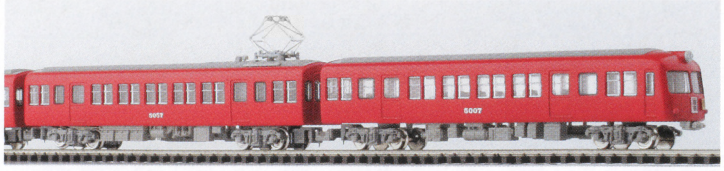
エキスパート編

●CROSS POINT

一体成型未塗装プラキットシリーズを精力的に展開するCROSS POINTからは、今回も今まで製品化の穴となっていた様々な系列が送り出された。一部キットでは、未塗装キットの他に新たな傾向として塗装済キットが並行して用意された。

▲**東武7820系**　以前は一部にエッチング部品を使う構造だったキットを、それらをモールド表現とするなどのリニューアルを行なっての再生産。塗装済キット：先頭2輌セット7,350円　中間2輌セット7,140円　未塗装　キット：先頭2輌セット6,300円　中間2輌セット6,090円。

▲**京王3000系2次車（ブルーグリーン／アイボリーホワイト）**　片開き扉が特徴だった3000系の1次車。塗装済キットのみで、第1・第2編成がそれぞれ用意される。増結車として従来製品を塗装済としたデハ3100も同時発売。塗装済キット：4輌セット各11,550円　デハ3100形840円。

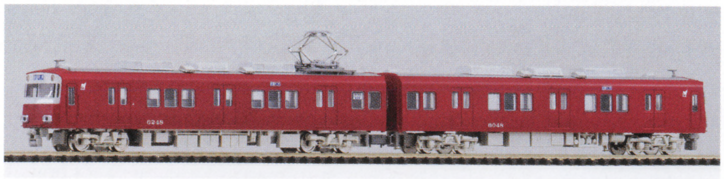


▲**名鉄5000系**　1955年に登場した名鉄初のカルダン高性能車で、2枚窓の前面と丸みを帯びた車体断面が特徴的であった。1987年までに機器を5300系に譲り引退した。未塗装キット：4輌セット9,450円。

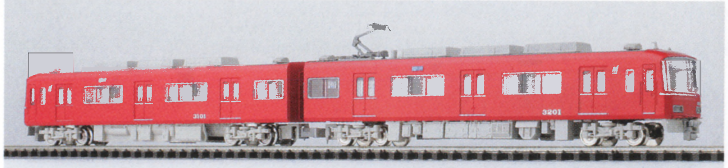
▲**名鉄6000系(1/2/3次車)**　増加する通勤客に対応すべく1976年に登場した、名鉄初の両開き3扉車。塗装済キット：1次車4輌セット13,650円　2次車中間車2輌セット6,930円　3次車2輌セット7,350円　未塗装キット：1次車4輌セット11,500円　2次車中間車2輌セット5,880円　3次車2輌セット6,300円。

▲**名鉄6600系**　1978年に瀬戸線の昇圧に際し新製投入された、瀬戸線初の高性能車。小さく並んだ2段式側面窓が特徴的である。塗装済キット：2輌セット7,350円　未塗装キット：2輌セット6,300円。

▲**名鉄6500系**　1984年から増備が開始された、界磁チョッパ制御による回生ブレーキ常用通勤車である6500系は、鉄仮面のような特徴ある2枚窓が目を引く存在である。製品はその複雑なバリエーションに対応し、各種の作り分けが可能である。未塗装キット：4輌セット9,450円。



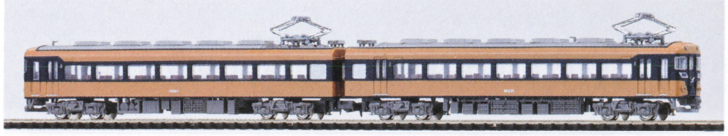
▲4輌セットの他、先頭車2輌セットもリリースされ、こちらは6000・6800系として組むことが可能。未塗装キット：2輌セット5,985円。



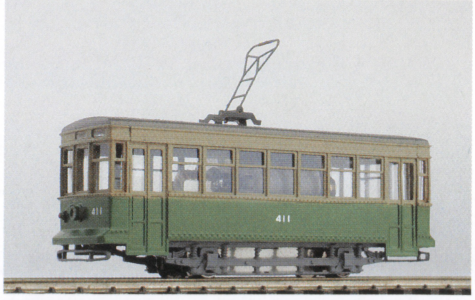
▲**名鉄3100系**　以前に発売された2次車に続き、前面形状やクーラーが一部異なる1次車も発売となった。同時に1次車キットも再生産されている。未塗装キット：2輌セット6,300円。

●Masterpiece

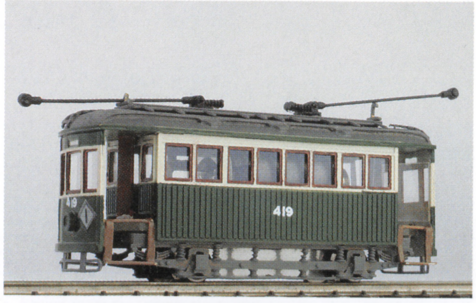
2軸路面電車用の動力を自社開発して発売したMasterpieceから、同動力を利用した路面電車のボディキットが各種発売された。



▲**近鉄18200系**　1966年、京都・橿原線用に登場した特急車で、当時の京都線の規格に合わせた狭幅車体や、架線電圧の違う路線へ乗り入れるための複電圧仕様など、多くの特徴を備えた車輌であった。未塗装キット：2輌セット8,400円。



▲**神戸市電400形**　全国的に見ても比較的後年まで2軸電車が活躍した神戸市電の、代表的形式だったのが400形であった。比較的おとなしいスタイルの2軸車。キット：3,675円。



▲**ダブルルーフ2軸木造路面電車**　路面電車創世期に活躍した木造車をモチーフとした製品。東京市電をベースに一部をフリー化した雰囲気。キット：3,675円。

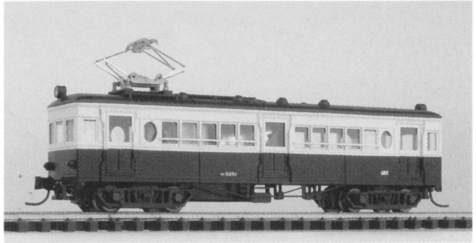
▲同じダブルルーフ車キットを仙台市電モハ70形風とした作例。キットはいずれも真鍮エッチング製で、ポール・ビューゲル・Zパンタなどが別売りで用意される。

●ワールド工芸

私鉄電車では、単行で形になる地方私鉄の車輌を中心にリリースするワールド工芸。自社動力製品の他、鉄コレ動力に対応した手軽なボディキットにも近年は力を入れている。

▲新潟交通モワ51　新潟交通のマスコットとして廃線まで活躍し、現在は旧月潟駅にて保存されているモワ51。12m級用鉄コレ動力に対応したボディキットで、実車同様の狭幅車体とするために動力の一部加工が必要となる。ボディキット：4,725円。

▲銚子電鉄デハ101　1939年に日本鉄道自動車で製造された、銚子電鉄初のボギー車輌。同社オリジナル動力を用いたトータルキットで、ビューゲルは上昇・折り畳みの2態が選択できる。キット：13,125円　塗装済完成品：33,600円。



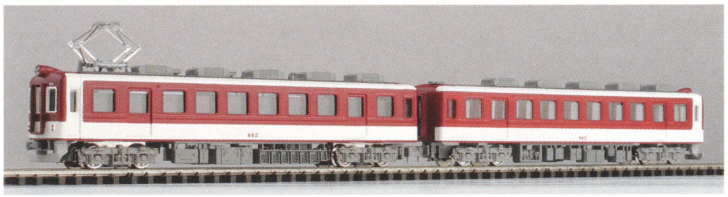
▲上田交通モハ5250　昇圧前の上田交通において「丸窓電車」として人気を集めたモハ5250。モワ51と同様に鉄コレ動力（15m級）に対応したボディキットで、真鍮キットの入門用としてもオススメ。ボディキット：5,775円。

●ホビーメイトオカ

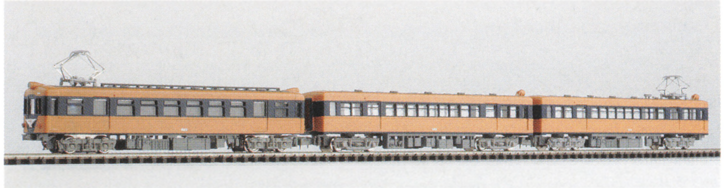
真鍮プレス製キットで、関西圏の車輌を中心にリリースするホビーメイトオカからは、得意の関西私鉄が今回も各種リリースされている。

▲名鉄3500／3550系　名鉄AL車でも異色の存在であった3扉車。実車は連結面乗務員扉の有無などの細かいバリエーションが存在し、製品も6種類が用意される。下廻りは鉄コレ用に対応。キット（1輌）：各7,980円。

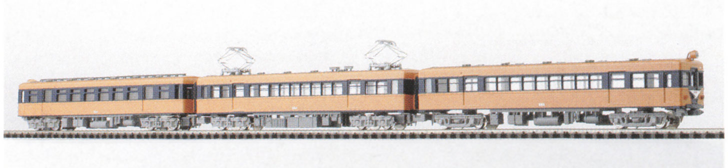
▲近鉄680系（特急色）　京都・橿原線の特急用として、奈良電気鉄道から継承したデハボ1200・1350系の改造により登場した特急車で、狭い車体幅と旧型然とした形状の固定窓が特徴であった。塗装済完成品：48,000円。



▲近鉄680系（ツートン）　格下げ後も冷房付きだったことが幸いし、1987年までの長きに渡りローカル用として活躍した。末期のツートン塗装仕様の他、マルーン1色塗り仕様（1パンタ/2パンタ：各46,000円）も用意される。塗装済完成品：48,000円。



▲近鉄683系（昇圧前）　680系と同じく、奈良電車輌の改造によって登場した特急車で、こちらは非冷房のまま、予備特急車として臨時運用などに使用された。塗装済完成品：78,000円。



▲近鉄683系（昇圧後）　昇圧の際に編成順序が変更され、モ683とモ684がユニットを組むようになった。特急塗装仕様の他、1972年の格下げ後のマルーン塗装仕様(75,000円)も用意される。塗装済完成品：78,000円。

▲南海7001/7101系　現在も南海線系統及び高野線系統で主力として活躍する7001/7101系。プレス製の車体とロストワックス製の前面によるかっちりした構造で、クーラーもホワイトメタル製の専用品が用意される。キット：2連セット　各17,000円　4連セット　各26,000円。

●アルナイン

「とて簡」シリーズが好調なアルナインからは、機関車に続くシリーズとして各種電車をリリース。シリーズ初となった旅客車にも注目。

▲とても簡単なサイコロデワ　短い車体がなんとも可愛らしいデワ。シリーズで初めて、アイコム製キャラメルN動力に対応した製品。キット：1,980円。

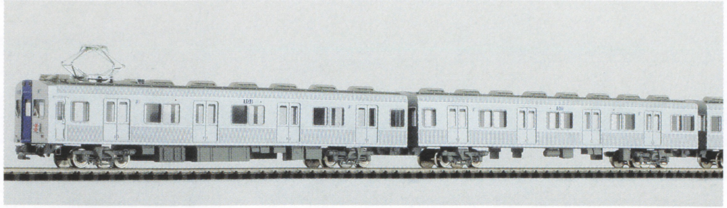
▲とても簡単なデワ　こちらは従来通りBトレ動力を使用。貨物用から事業用まで、幅広く使用できそうなスタイルである。キット：1,980円。

▲とても簡単な田舎ボギー電車　シリーズ初の旅客車。両端のドアはステップ付きで、花巻電鉄あたりの木造車をイメージさせるスタイルは好印象を受ける。キット：1,980円。

●レールクラフト阿波座

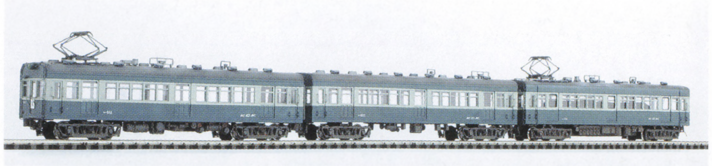
近年地元車輌を中心にしたオリジナルキットの販売に意欲的なレールクラフト阿波座からは、今まで製品化にあまり恵まれなかった南海・山陽の車輌がリリースされた。

▲**南海2300系**　高野線山岳区間用として2005年に登場した、最新型のズームカー。近年はワンマン化され、区間運転用としての活躍が中心となっている。編成によりシンボルマークが異なる4種類がそれぞれ用意される。キット：各24,150円　塗装済完成品：M付き各65,000円　M無し各63,000円。



▲**泉北高速鉄道100系**　大阪市によって開発された泉北ニュータウンへの足として開業した泉北高速鉄道用として1971にデビューしたステンレス車。冷房化なども行なわれたものの2000年までに引退している。キット：4輌基本セット24,990円　2輌増結セット：14,700円。

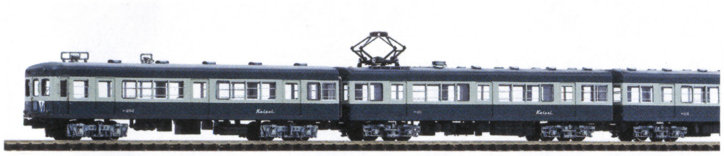
▲**山陽電鉄5030系**　1986年に優等列車用としてデビューした5000系のうち、後期製造車はVVVFインバータ制御となり、形式が5030系に区分された。台車や床下機器なども含んだトータルキットで、追って5000系仕様も発売予定。キット：4輌基本セット28,875円　2輌増結セット13,650円　特製完成品：159,800円。



▲**京成の63形電車**　戦災を受けた車輌が復旧された際、三段窓・切妻の「63スタイル」で復旧されたグループで、末期は3輌で京成名物の行商列車として活躍した。キット：511+507+512・3輌セット　12,600円　210/512・単品　4,515円。

●イエロートレイン

地元・千葉の車輌を得意とするイエロートレインからは、やはり地元である京成の懐かしい旧型車がリリースされた。



▲**京成210系**　1967年に中間電動車として更新されたモハ210は、クハ2100を4連を組み、濃淡グリーン塗装の「青電」として普通列車で活躍した。こちらは「青電」とした作例。キット：4輌セット（2種）各19,950円。

▲こちらは末期に「赤電」となった仕様。写真の編成は編成の一端に、戦災復旧車を更新したクハ2008が組み込まれた特徴的な編成。屋根肩のルーバーが好アクセントとなる。

●ワンマイル

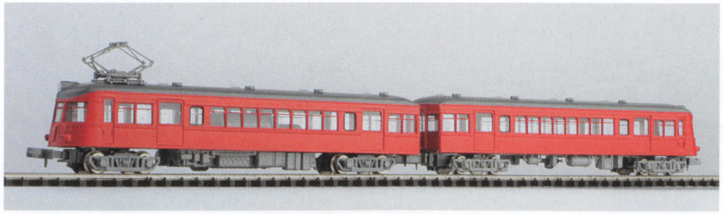
ダイキャスト一体ボディで、地元九州の車輌をディスプレイモデルとして販売する異色のメーカー・ワンマイルからは、同社の代表的商品である西鉄200形のバリエーションが登場。

▲**九州鉄道20形**　200形のデビュー時仕様で、マルーン1色の車体に茶色の屋根が印象的である。塗装済ディスプレイモデル：2,800円。

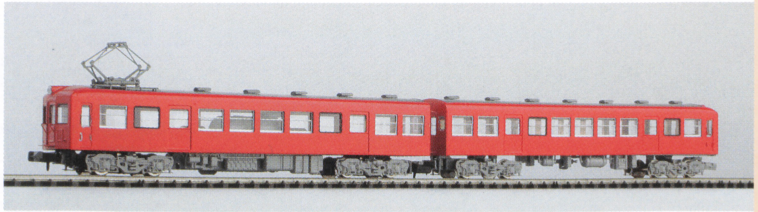
▲**西鉄200形〔昭和30年代仕様〕**　こちらは従来の200形と車体塗装は同一で、屋根が20形同様の茶色となった仕様である。いずれも従来未塗装だった下廻りが黒に塗装され、実感がより増している。塗装済ディスプレイモデル：2,300円。

●銘わぁくす

地元名鉄の車輌を中心に、多くのバリエーションを展開する銘わぁくすからは、今回も名鉄車輌を多数リリース。そのうち一部をご紹介。



▲**名鉄850系**　当時の流線形ブームに乗り登場した850系は、その特異な外観と登場時の塗装から「なまず」の愛称で親しまれた。キット：2輌セット6,300円。



▲**名鉄モ3857+ク2857**　3850系の事故復旧車で、全鋼製のなめらかな車体に乗せ替えられた異色の編成であった。キット：2輌セット7,350円。

●あまぎモデリングイデア

地方私鉄の特徴的な車輌を積極的に製品化するあまぎモデリングイデアからは、上信電鉄で活躍する250形のバリエーションが展開された。

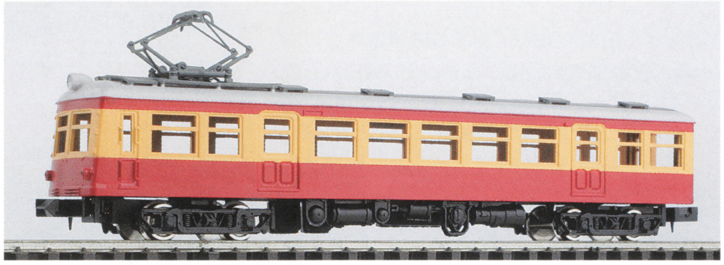
▲**上信電鉄250形(原型非冷房)**　1981年に、200形の増結用及び単行運転用として登場したデハ250形は、近代的な外観と大胆な斜めストライプを配した塗装で話題となった。作例は登場時の仕様。キット：2輌セット12,390円。

▲こちらの作例は原型非冷房仕様を元に、中期の1色塗り仕様としたもので、屋上に薄型ユニットを装備して試験冷房仕様としている。

▲**上信電鉄250形(現行冷改)**　現在デハ252は、元1000形のクハと半固定編成となって活躍をしている。カラフルなデカールのほか、ホワイトメタル製のクーラーが含まれる。キット：2輌セット15,750円。

●kitcheN

真鍮車体素材シリーズと並行してリリースされている、kitcheNのプラキットシリーズ。巧みな構成で部品点数を減らす設計の妙が特徴的である。

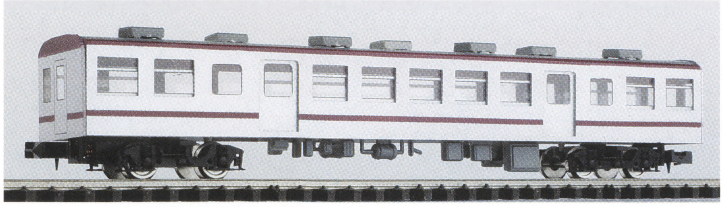


▲**京急500形**　1951年に特急用として登場した2扉セミクロスシート車で、その後更新を受けて4扉・ロングシート車へと変わっていった。製品は更新前のスタイルで、登場時の2連から中期の4連まで作り分けが可能。キット：2輌セット4,200円。

●南洋物産

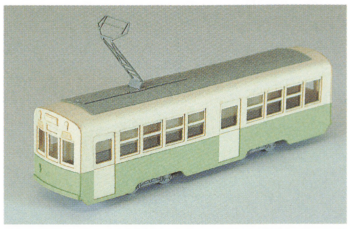
透明アクリル板製キットを展開する南洋物産からは、鉄コレ第6弾の秩父デハ300に合わせた中間車がリリース。

▶**秩父鉄道サハ352**　2輌編成で運転されていたデハ300形の増結車として日本車輌で制作されたサハ352は、アルミ無塗装車体で製造され、普通鋼製の先頭車とアンバランスな編成を組んでいた。キット：1,785円。

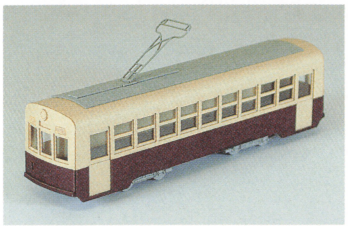


●さんけい

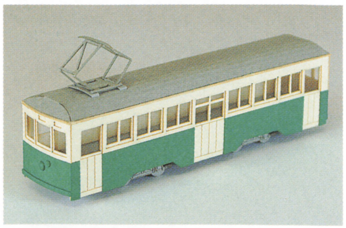
レーザーカットによるペーパーキットを多くリリースする異色のメーカー・さんけいからこれまた異色のペーパー製田舎電車が登場した。部品ごとにペーパーの色を工夫し、塗装をしなくてもそれらしく見えるのも魅力的。鉄コレ動力を用いて動力化することも可能。価格は各980円。



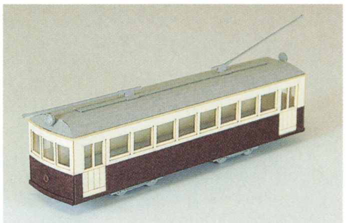
▲**1号車**：京都市電をモチーフとした路面電車タイプ。



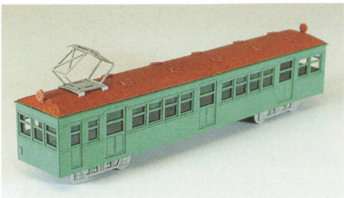
▲**2号車**：前後扉となる、京都市電1600形あたりをイメージした路面電車タイプ。



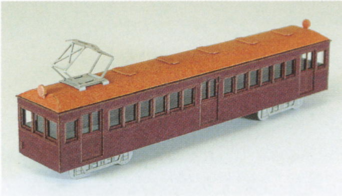
▲**3号車**：3扉を持った、阪堺電車などで活躍したタイプ。



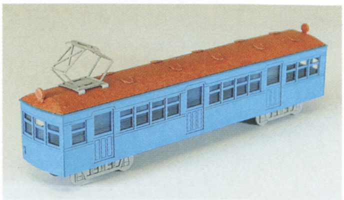
▲**4号車**：ゆったりとした広窓を持つ、軽電車スタイル。ポールを装備。



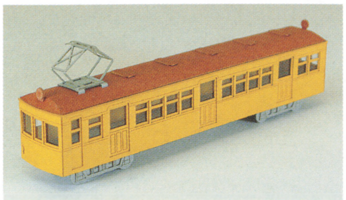
▲**5号車**：切妻前面に3扉の側面を持つ、関東の戦前型をイメージさせるタイプ。



▲**6号車**：一段上昇式窓を持つ、戦前の阪急電車などをモチーフとしたタイプ。



▲**7号車**：前面が丸妻となり、側面が左右非対称の特徴的なスタイル。



▲**8号車**：整ったスタイルを持つ、戦後製の規格型を思わせるタイプ。

トミーテックの1/150ワールド

鉄道コレクション

SCALE 1：150／9mm
TEXT：RMM
PHOTO（特記以外）：青柳　明（RMM）

●製造・発売元：株式会社トミーテック
（事業者特注品の発売元は各事業者となる）

トミーテックによる1/150コレクションシリーズの中でもひときわ高い話題性を持ち、ユーザーたちを「アッ」と言わせ続けてきた「鉄コレ」こと「鉄道コレクション」。2005年の第1弾発売から3年余り、オープンパッケージ製品や事業者特注品の展開により車種選定の幅も大きく拡がって、今や「いつ何が出てもおかしくない」といった感があります。またそのクオリティもより鉄道模型に遜色ないものとなり、オプションパーツによるNゲージ化の容易さ、工作のしやすい素材もあいまって、「鉄コレ」はもはやNゲージライフに欠かせない存在となりつつあると言えるでしょう。今後とも、目を離せないシリーズのひとつです。

※各車輌製品には展示用ダミー線路が付属します。また掲載商品には、すでにメーカー・各事業者にて在庫切れとなったものも含まれますので、予めご了承ください。

待望の日車標準車体が登場

■鉄道コレクション第6弾

第6弾は小田急1600形とその譲渡車をはじめ、17m級旧性能車を製品化。うち3種に見られる「日車標準車体」は一時期の地方私鉄を象徴するスタイルであり、待ち望んだ向きも多かったことだろう。
◎ブラインド販売（全10種＋シークレット1種）
◎1個630円

●小田急電鉄デハ1607

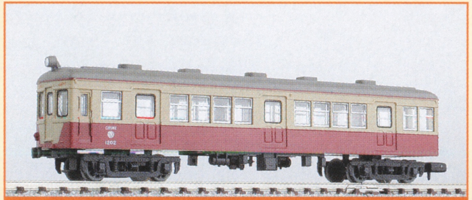
戦中・戦後期に作られた3扉車。窓の大きい明朗なスタイルで、名車と謳われた。ツートンカラーを纏った1960年代の姿。

●小田急電鉄クハ1657

クハ1650形のうち、連結相手のデハと同形の車体を持つ戦後製のタイプ。1600形は1970年まで小田急線上で活躍した。

●近江鉄道モハ202

東急からの譲渡車を元に、車体を小田急1600形のものに交換した車輌。製品は1973年、元国鉄のDT12形台車に換装後の姿。



●近江鉄道クハ1202

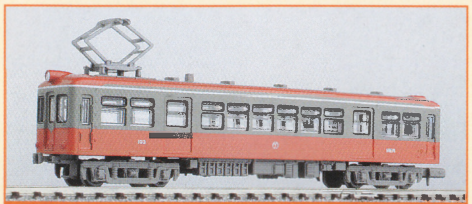
同じく小田急の車体を流用したTc車で、モハ202とコンビを組む。相方のモハ200形は、台枠など一部が現在のモハ220形へ流用された。

●岳南鉄道クハ2106

元小田急クハ1650形。実車は方向幕の撤去など手が加えられ、上記の小田急デハ1607を種車とするモハ1108と編成を組んだ。

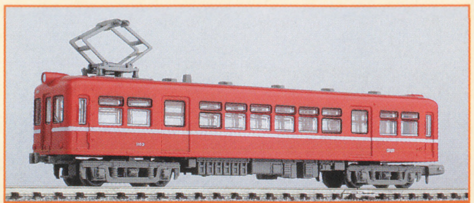
●新潟交通モハ11

「日車標準車体」だが、非貫通前面と客扉のステップが特徴的。単行、同形またはクハとの2連、貨車牽引など様々に使われた。



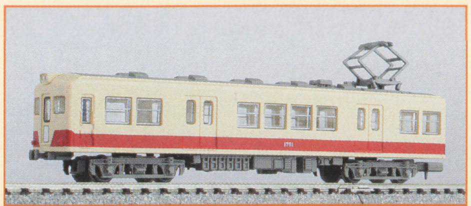
●松本電気鉄道モハ103

1923年製の木造車を「日車標準車体」で鋼体化したもので、1958～64年に同系のクハ1輌を含め7輌登場。同線昇圧まで活躍した。



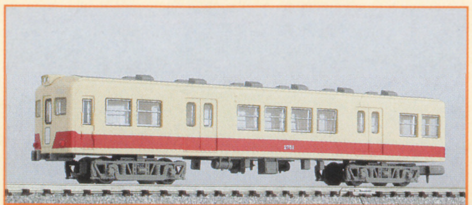
●岳南鉄道モハ1103

昭和30年代、旧型電車の車体更新に広く使われた「日車標準車体」。岳南には5輌あり、主に同形またはTc車と2～3連を組んだ。



●豊橋鉄道モ1751

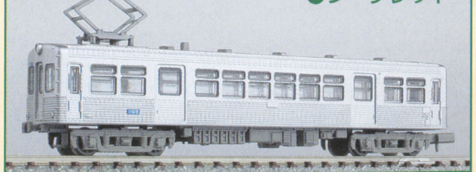
元は旧型車の機器を流用して車体を新製した名鉄3730系で、1981年に2輌1編成が豊橋鉄道へ譲渡されたもの。



●豊橋鉄道ク2751

モ1751とペアを組むTc車。2輌は1990年に冷房化、前面窓の拡大が行なわれ印象を変えた。製品はそれ以前の姿を再現している。

●シークレット



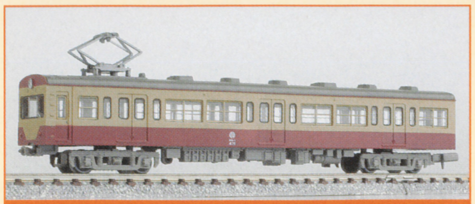
●岳南鉄道 モハ1105

1100形のうち唯一のステンレス車体を持つ異端車で、汽車会社製。岳南の旧性能車は1981年に全廃、当車は大井川鉄道へ渡った。

20m級車輌のバリエーション

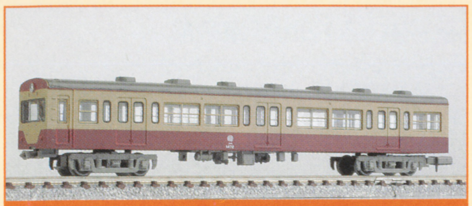
■鉄道コレクション第7弾

西武鉄道451系と旧西武の譲渡車を中心としたラインナップで、全ての車輌が20m級となった。いずれも近代的な車体に吊掛式の足廻りを持ち、近年まで活躍が見られた車輌である。
◎ブラインド販売(全10種+シークレット1種)
◎1個630円



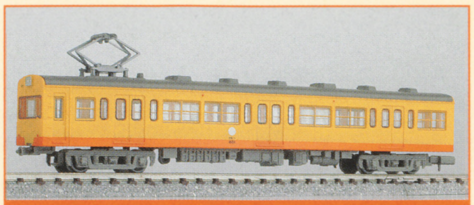
●西武鉄道クモハ471

1959年に登場。西武で最初の両開き扉を装備し、国鉄101系にも通ずる近代的な車体だが、足廻りは依然吊掛式が採用された。



●西武鉄道クハ1472

クモハ471の相方となるTc車。当車は当初クモハとして作られた車輌を電装解除したもので、クモハと同タイプのディテールを持つ。

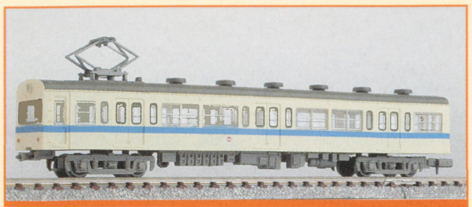


●三岐鉄道クモハ601

元西武451系で、1981～82年に3編成入線した。シールドビーム化された前照灯がポイント。製品は入線当初の姿を再現している。

●三岐鉄道クハ1602

クモハ601と編成を組むTc車。製造時期の違いからベンチレーターがグローブ型で、窓枠の色もクモハと異なっている。



●一畑電車 デハ81

こちらも西武451系の譲渡車で、三岐鉄道と同時期、同数が入線した。ベンチレーターはMc、Tcともにグローブ型に統一されている。

●一畑電車 クハ181

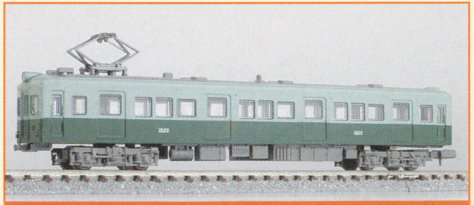
デハ81の連結相手となるTc車。元京王5000系と交代して1998年までに廃車された。一畑車の窓枠は2輌とも銀色となっている。

●大井川鐵道モハ1001

1963年製の伊豆箱根鉄道1000系を、1991年廃車後に譲受したもの。大井川初の両開き3扉車だったが、事故によって短命に終わった。

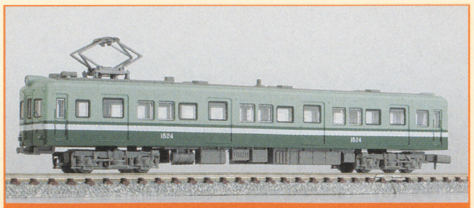
●大井川鐵道クハ2001

モハ1001と2連を組むTc車。元は1001と同じMc車で、T車を挟んだ3連だったが、譲渡に際し電装解除・編成短縮がなされた。



●南海電気鉄道1522

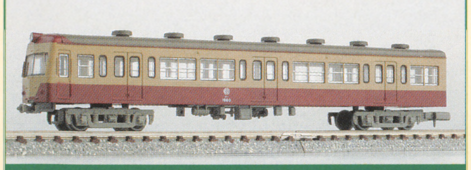
南海線600V時代の1959～60年に登場。1973年の昇圧後は、専ら汐見橋線・天王寺支線など支線区での単行・2連運用に従事した。



●弘南鉄道モハ1524

元南海1521形で、1995年に7輌（うち同系Tc車2輌）が転入。白帯が入った程度で、ほとんど南海時代のままの姿で使われた。

●シークレット



●西武鉄道クハ1660

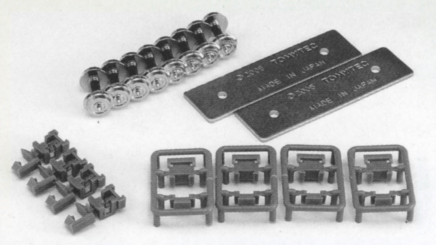
西武初のカルダン駆動車であった601系の制御車、クハ1601形を改造したもの。451系と共に編成を組み、主に支線区で使われた。

鉄コレを「Nゲージ鉄道模型」化するお助けパーツ

専用オプションパーツ

ディスプレイモデルながら、別売の専用オプションパーツを利用することで簡単にNゲージ鉄道模型として線路上を走らせられるのが「鉄コレ」の大きな特徴。動力車化したい場合は車体長や台車形式に適合した動力ユニットを、トレーラー化したい場合はカプラー色に合わせた「Nゲージ走行パーツセット」をそれぞれ使用する。

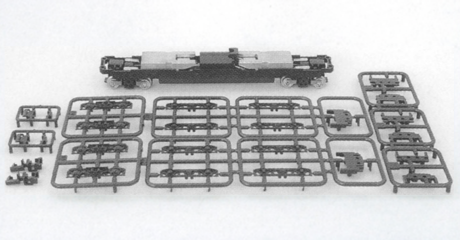
●写真はTT-04（P：トミーテック）



●Nゲージ走行パーツセット

「鉄コレ」を動力車に連結して走らせる「トレーラー」化するためのパーツで、金属車輪と補重用の金属ウエイト、カプラーユニットがそれぞれ2輌分含まれる。
●TT-03（カプラー黒成型）
●TT-04（カプラーグレー成型）：各840円。

●写真はTM-09（P：トミーテック）



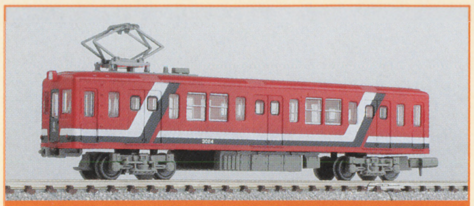
●専用動力ユニット

2005年の「鉄道コレクション」発売以来、車種の増加に対応して新製品が用意されている専用動力ユニットだが、2008年は20m級動力ユニットのうち台車軸距が長いタイプのTM-09（主に第7弾・9弾に使用）と、16m級動力ユニットのTM-10（第8弾に使用）が発売された。
●TM-09（20m級用B）：2,940円（動力台車枠付）
●TM-10（16m級用）：2,940円（動力台車枠付）

個性溢れる16m級車輌群

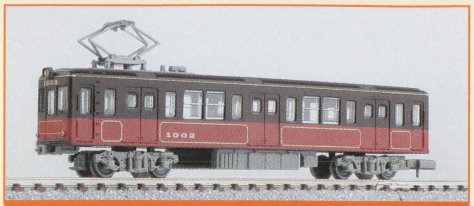
■鉄道コレクション第8弾

第8弾ではレギュラー品で初めて16m級床板・動力ユニットがお目見え、地方私鉄のひと癖ある電車たちをモデル化した。改造製作には難のある車種だけに、ファンには吉報となったであろう。
◎ブラインド販売(全10種+シークレット1種)
◎1個630円



●日立電鉄3024

元営団地下鉄銀座線の2000形。両運転台化された3000形は1992～1997年に日立電鉄入りし、同線の廃止まで活躍した。



●銚子電気鉄道デハ1002

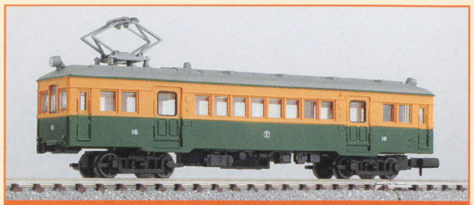
こちらも営団地下鉄2000形を改造したもので2輌あり、それぞれ単行または他形式との連結で使われる。現在は2輌とも塗装を変更済。

●越後交通モハ1401

元小田急1400形の両運化改造車。貫通式前面、幕板に付く尾灯、ステップレスの客扉など、小田急時代の面影をよく残している。

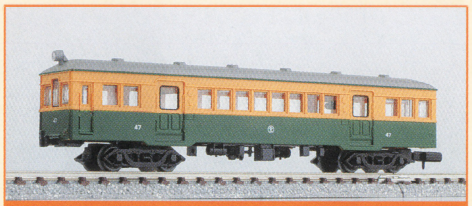
●越後交通クハ1451

モハ1400の相方の制御車。長岡線で使用、1975年の旅客営業廃止後は2輌が新潟交通へ渡ったが、結局再起には至らなかった。



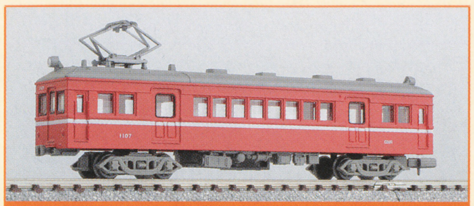
●新潟交通モハ16

在来車の足廻りと小田急1400形の車体を組み合わせたもの(クハ45形も同様)。前面非貫通化、ステップ取付などで印象を変えた。



●新潟交通クハ47

第6弾で発売の「日車標準車体」の電動車や上記モハ16と組む制御車で、同型車は6輌が存在。1993年の部分廃止以降は46のみ残存した。



●岳南鉄道 モハ1107

第6弾の1103・1105と同形式だが車歴的には別物で、小田急クハ1350形が種車。のち電装解除が行なわれ再びクハとなった。

●叡山電鉄デオ301

京福時代の1959年に作られた同社初のカルダン駆動車。同線は国内最後のポール集電路線で、当車を含めパンタ化は1978年であった。

●高松琴平電気鉄道 723

名古屋市営地下鉄東山線の300形を譲受したもので、パンタグラフ化、冷房化でイメージを変えた。台車も集電靴が取り払われている。

●高松琴平電気鉄道 724

東山線タイプの丸妻先頭車は琴電ではこの2輌のみ。当初は701・702を名乗り長尾線で活躍、2007年に志度線へ移ってこの姿となった。

●シークレット

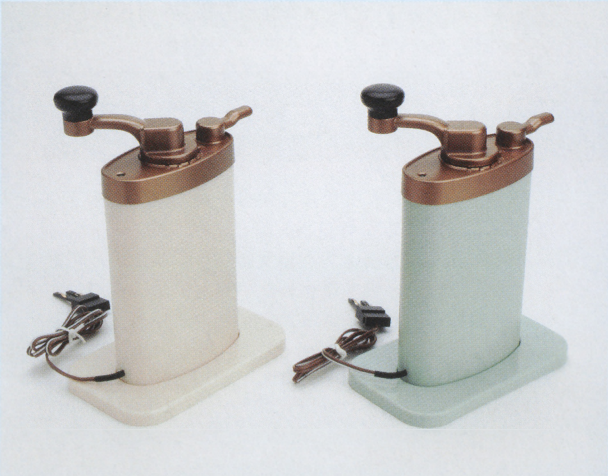
●日立電鉄3023

2003年、営団車入線以前の旧型車と同じツートンカラーを施されたもの。同色の3025と2連を組んで使われた。3023は廃線後も保存されている。

遊び心溢れる専用コントローラー

■鉄コレ式制御器

「鉄コレ」の運転に特化された乾電池式の専用コントローラーで、コンパクトな外観ながらも速度調整・前後進切替が可能であるほか、過電流保護機能も内蔵。クリーム色とライトグリーンの2種類が用意される(一般の鉄道模型の制御には非対応)。TOMIXレールに対応したD.C.フィーダー付、単三乾電池別売。各1,995円。

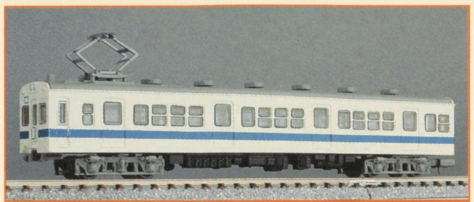


▲写真左が鉄コレ式制御器A(クリーム色)、右がB(ライトグリーン)。

国鉄モハ63形の末裔たち

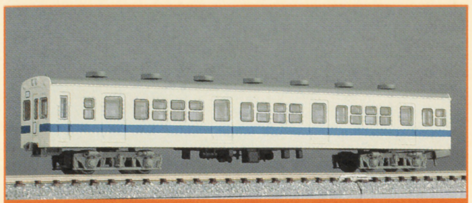
■鉄道コレクション第9弾

再び20m級の大型車輌をセレクト、国鉄4扉通勤型電車の始祖・63形をルーツとする5種の系列を製品化。特に国鉄62系ではまさかのプロトタイプ選定、独特の車体裾形状の再現に注目が集まった。
◎ブラインド販売(全10種+シークレット1種)
◎1個630円



●小田急電鉄 デハ1802

戦後、国鉄発注の63形電車が私鉄に割り振られた中のひとつで、モデルは1957～1958年にかけて全金属製車体に更新されたもの。



●小田急電鉄 クハ1852

デハ1802の相方となるTc車。特徴的なHゴム支持式の2段窓は、製品でもはめ込み窓で再現されている。

●秩父鉄道 デハ809

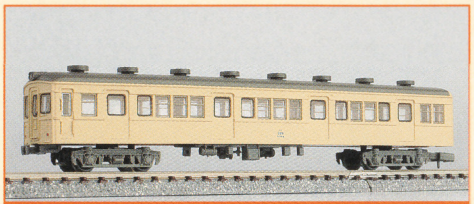
小田急1800形を1979年に譲受したもので、製品は1986年までのマルーンを基調とした旧塗装。以後は黄十茶帯に変更された。

●秩父鉄道 クハ859

デハ800形と共に編成を組むTc車。同系は2連10本が在籍し、専ら2編成を併結した4輌編成で運用された。

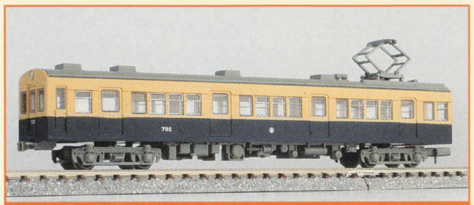
●東武鉄道 モハ7320

こちらも63形の割り当てを受けたもので、東武初の20m級車輌。製品は1959～1964年、7800系に準じた新車体に更新後の姿。



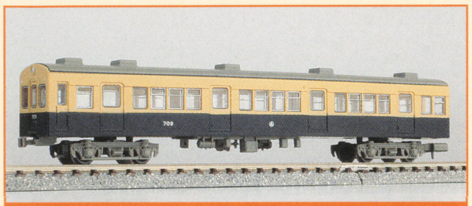
●東武鉄道 クハ320

モハ7300形とコンビを組むTc車。車体は7800系に準ずるが、種車譲りのグローブベンチレーターが本系列を主張している。



●山陽電気鉄道 702

私鉄割り当ての63形のうち、唯一の標準軌仕様として名を馳せた車輌。導入当時同線随一の大型車として、施設改良の端緒となった。



●山陽電気鉄道 709

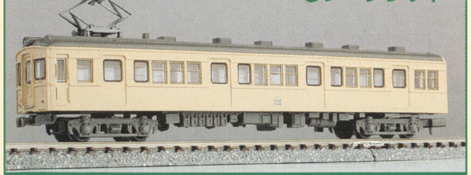
702の連結相手の制御車。700形のうちこの2輌だけは1964年に大規模な車体更新を経ており、製品ではその姿を再現している。

●国鉄 クハ66001

身延線向けのアコモデーション改造車で、72(旧63)系の下廻りに115系並の車体を新製し交換したもの。4連3本が造られた。

●国鉄 モハ62501

クハ66と組む中間電動車。種車の台枠を流用したため、裾絞り付車体の下端が折れ曲がった形となっているのが62系の特徴である。



●シークレット

●東武鉄道 モハ7329

7300系のうち、日本車輌での更新時に7820系と同形車体とされたタイプ。パンタ位置やベンチレーターが通常品と異なっている。

博物館保存車をモデル化

●鉄道博物館展示車輌

埼玉県さいたま市に2007年10月開館した「鉄道博物館」に保存展示されている車輌をモデルとしたもの。現時点で「鉄コレ」としては、元国鉄の新性能通勤電車の始祖、旧90系(後の101系900番代)の先頭車、クモハ101-902がモデル化されており、鉄道博物館の売店でのみの限定販売とされている。
◎1輌入(クモハ101-902)
◎2008年10月発売／価格：1,000円

●国鉄クモハ101-902

1957年、国鉄最初の新性能電車「90系」として試作されたうちの1輌で、後に101系として量産される過程で同系の900番代に改番された。カルダン駆動の採用や動力車の機器を2輌に分散したいわゆるMM'ユニット方式、両開き4扉の車体にオレンジバーミリオンの明るい車体など、国鉄電車の性能向上ならびにイメージアップに大きく貢献した。引退後も国鉄大井工場(現・東京総合車両センター)に保存されていたことから解体を免れ、鉄道博物館入りを果たした。

お求めやすいオープンパッケージ

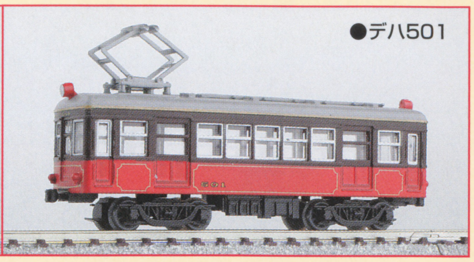
■車輌セットシリーズ

レギュラー版のブラインドパッケージに対し、オープンパッケージ販売とされたシリーズで、価格は多少高くなるが、欲しい製品が確実に手に入るのが魅力だ。また過去のレギュラー版アイテムが仕様を変えて再登場するケースもあり、通例再生産のなかった「鉄コレ」だけにこれも歓迎されよう。

●銚子電気鉄道2輌セット

経営難が転じて知名度急上昇を果たした銚子電鉄の旧型車輌をモデル化。2車いずれも現役営業車輌ではないが、現行塗色と同じ複雑なツートンカラーを再現し、銚子電鉄ムードを手軽に味わえるアイテムとなっている。
◎2輌セット（デハ301＋デハ501）
◎2008年3月発売／価格：1,890円

●デハ301

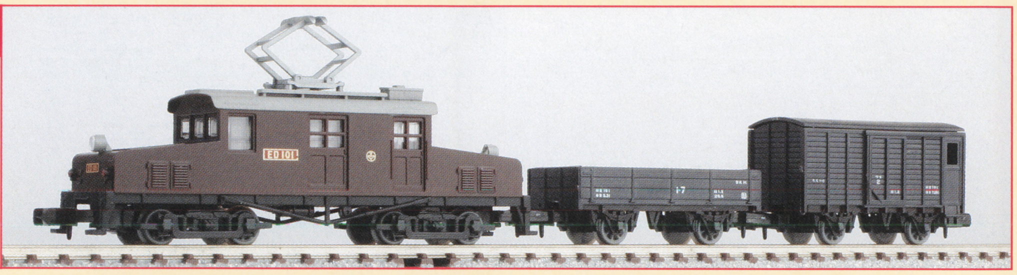

●デハ501

●えちぜん鉄道6001・6101形

1988年製の愛知環状鉄道100形・300形が出自で、2003年からえちぜん鉄道へ譲渡されたもの。2003年度譲渡車が6001形、2004年以降が6101形と区分され、製品ではそれぞれ屋上クーラー形状を作り分けている。
◎2輌セット（Mc6001＋Mc6107）
◎2008年10月発売／価格：1,890円

●凸型電機・貨物列車セットA

レギュラー版第1弾で発売された凸型電機（名鉄デキ100形）と木造貨車2輌を、塗装・標記変更の上で手頃な列車セットにまとめたもの。Nゲージ化を行なえば、レイアウトでの小運転にも好適である。
◎3輌セット（フリー凸形電機ED101＋私鉄風貨車ト＋ワフ）
◎2008年10月発売／価格：1,890円



●長野電鉄2000 系冷房車3輌セット

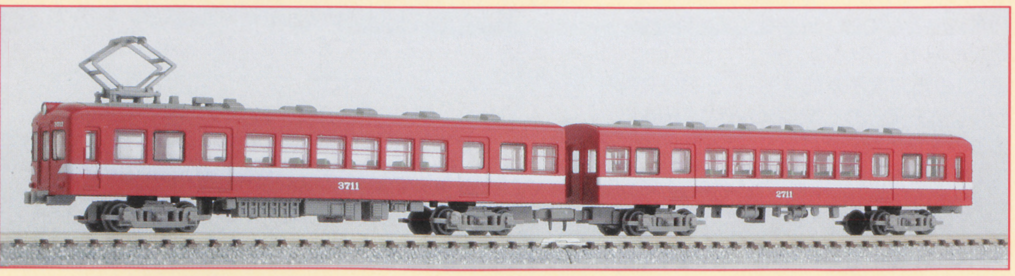
長野電鉄の特急車2000 系は、2007 年10月発売の第5 弾にて非冷房車（りんご色）がすでにラインナップされているが、冷房改造後でクリームに赤系のストライプが入った新塗色仕様とされたセットが新たにオープンパッケージとして登場した。
◎3輌セット（モハ2001＋サハ2051＋モハ2002）
◎2008年7月発売／価格：2,835円

●12m級小型電車

こちらも第1弾に含まれた日本鉄道自動車製電車（上田丸子電鉄モハ2321・銚子電気鉄道デハ501）を新たにオリジナル塗装に仕立てたもの。レギュラー版でも人気のあった車種だけに、オープンパッケージ化は嬉しいところ。
◎1輌入（フリー　モ1033）
◎2008年10月発売／価格：840円

●名古屋鉄道3700系(イベント限定品)

鉄道系イベント会場などでの販売を前提とした限定シリーズの続編。2007年発売の名鉄3700系クリーム十赤帯に続くカラーバリエーションモデルとして、瀬戸線特急などに使用された赤十白帯バージョンが発売された。
◎2輌セット（モ3700形3711＋ク2700形2711）
◎2008年5月発売／価格：1,890円



注目のコラボレーションモデル

■事業者特注品

2006年の登場以降、イベントなどにおけるスペシャルアイテムとしてすっかり定着した感のある各鉄道事業者による特注「鉄コレ」。場合によっては入手が難しい反面、マニアックな車種がプラ成型品として作られる貴重な機会であり、各鉄道のファンにとっては心強い存在と言えよう。

※いずれのモデルも一般販売は終了しておりますので、各事業者へのお問い合わせはご遠慮下さい。

▶事業者特注品は、個性的な車輌群もさることながら、各社ごとに意匠を凝らしたパッケージも楽しみの一つ。写真は近鉄800系2輌セット。

●相模鉄道5000系2輌セット

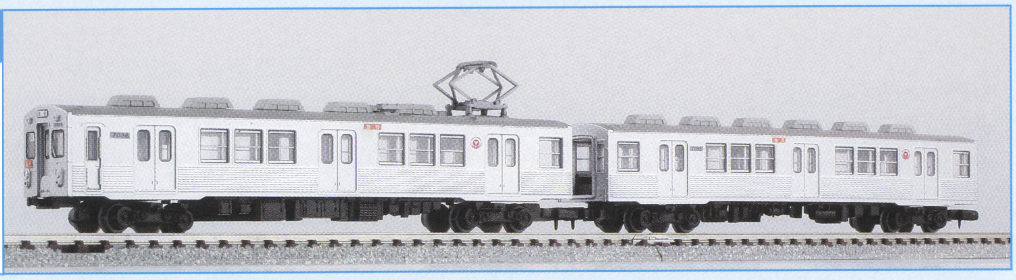
相模鉄道創立90周年を記念して発売されたもので、床下までカバーで覆われた張殻車体が特徴の（旧）5000系のうち、車体延伸で18m級となった3次車（5011以降）をプロトタイプとする。
◎発売：相模鉄道
◎2輌セット（モハ5000形×2輌）
◎2008年2月発売／価格：1,900円

●相模鉄道6000系2輌セット

相模鉄道で初の両開き4扉・20m級車体を採用し、後の相鉄通勤車の基礎を築いた6000系のうち、裾絞りのない初期車のライトグリーン塗色時代を模型化。1灯前灯・非冷房の姿で、先頭車のみ2輌セット。
◎発売：相模鉄道
◎2輌セット（モハ6000形＋クハ6500形）
◎2008年2月発売／価格：1,900円

●東急電鉄7000系2輌セット

日本最初のオールステンレスカーとして1962年に製造され、東急各線や地下鉄日比谷線直通で活躍した（旧）7000系。これは実車製造元の東急車輌製造が創立60周年記念として発売したモデル。
◎発売：東急車輌製造 電車市場
◎2輌セット（7000形偶数車＋7100形奇数車）
◎2008年2月発売／価格：1,900円



●東急電鉄7000系2輌セット

東横線開通80周年を記念して、渋谷の東急百貨店東横店で開催された「鉄道フェスティバル」の記念品として発売されたモデル。前回品に対しHゴムのグレー化やパンタ車の位置に違いがある。
◎発売：東急車輌製造 電車市場
◎2輌セット（7000形奇数車＋7100形偶数車）
◎2008年5月発売／価格：1,900円

●近鉄800系2輌セット

1955年に奈良線に投入された、独特の軽量車体を持つ高性能電車。一段下降窓の採用やマルーンのベースにステンレス帯のボディなど、その斬新なスタイルは注目を集めた。
◎発売：近畿日本鉄道
◎2輌セット（モ800形＋サ700形）
◎2008年8月発売／価格： 2,000円

●西鉄大牟田線1000形2輌セット

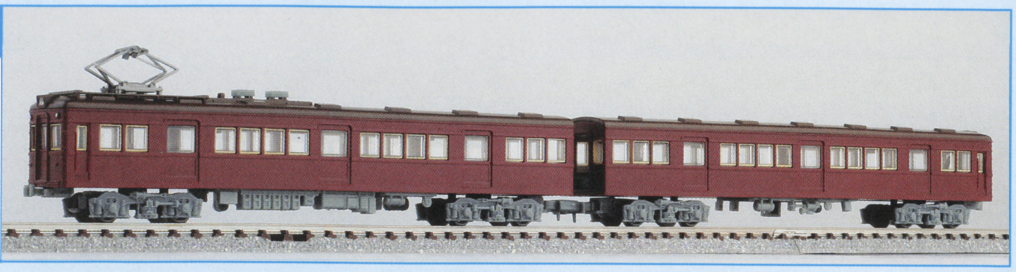
西日本鉄道の前身「九州電気軌道」の創立100周年を記念して発売されたモデルで、1957年に大牟田線の特急車輌として登場した1000形の最盛期と言える2扉・コバルトブルー塗装時の姿を再現。
◎発売：西日本鉄道
◎2輌セット（1000形先頭車＋中間車）
◎2008年9月発売／価格：2,000円

●大阪市交通局10系2輌セット

1973年に試作された初代20系をベースに、1979年より量産が開始された4扉アルミ車体の冷房付チョッパ制御車で、現在でも御堂筋線で10輌編成を組み活躍中である。
◎発売：大阪市交通局
◎2輌セット（10系先頭車＋中間車）
◎2008年10月発売／価格：2,000円

●阪急電鉄810系(更新車)2輌セット

1950年に神戸線用として2扉で登場した810系だが、晩年は更新により3扉化・前照灯廻りの改造がなされ、阪急最後の吊掛駆動車輌として1985年まで活躍した。
◎発売：阪急電鉄
◎2輌セット（810形＋860形）
◎2008年10月発売／価格：2,000円



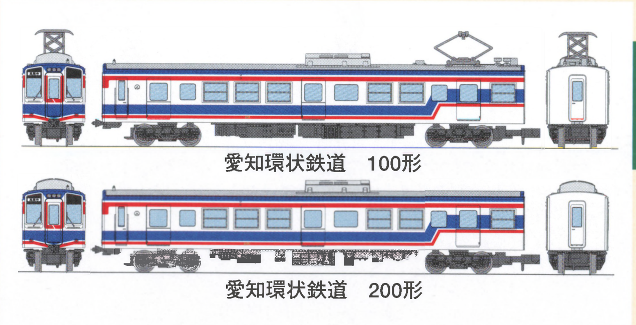
●阪神電鉄5201形2輌セット

高加減速を誇る阪神5001形「ジェットカー」の後継として1959年より20輌が製造された5201形の中でも、「ジェットシルバー」の愛称で広く親しまれた初期2輌のステンレスカーをモデル化。
◎発売：阪神電気鉄道
◎2輌セット（5201＋5202）
◎2008年10月発売／価格：2,000円

気になる車種が続々登場！

●2009年春・発売予定品

2009年3月から4月にかけて、オープンパッケージの車輌セットが続々と登場します。いずれも1〜3輌編成でまとまる、小レイアウトにもぴったりの車輌揃いです。なお写真・イラストは実際の製品とは異なる場合があります。
PHOTO：RMM



イラスト：トミーテック

●愛知環状鉄道100・200形2輌セット

岡崎〜高蔵寺間45.3kmを走る第三セクター「愛知環状鉄道」の、開業当時の主力車をモデル化したもの。実車は2005年の愛知万博輸送終了後に引退、一部は福井県のえちぜん鉄道に譲渡された。
◎2009年4月発売予定／予価：1,890円

●銚子電気鉄道「桃太郎電鉄」

営団地下鉄銀座線で使われていた元2000形を両運転台化改造のうえ譲受した1000形のうち、1001号は2007年4月よりHUDSONのゲームソフト「桃太郎電鉄」の広告車輌となっており、その姿が再現される。
◎2009年4月発売予定／予価：1,365円

●豊橋鉄道1730系2輌セット(写真奥)
●弘南鉄道3600系2輌セット(写真手前)

いずれも東急から譲渡された旧型車輌で、昭和30年代の東急時代に全鋼製の車体に交換されたグループを製品化。単なる塗色変更のみならず、車輌ごとの差異も表現されている。
◎2009年3月発売予定／予価：各1,890円

●秩父鉄道1000系旧塗装3輌セット(写真奥)
●秩父鉄道1000系新塗装3輌セット(写真手前)

元国鉄の101系を1986年以降譲り受けたもので、3輌編成が12本導入され秩父鉄道の主力車となった。製品は非冷房の旧塗装車と、先頭車のみ冷房改造された新塗装車の2種類が発売される。
◎2009年3月発売予定／予価：各2,835円

メーカー担当者に聞く…！

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー MODEMO編

小型電車のNTシリーズでNゲージ界に独自のスタンスを築いたハセガワMODEMO。2008年も新旧、東西、新規モデルにバリエーションも加えて非常に活発な製品展開が見られました。今回は社内で鉄道模型部門に関わる皆さん（以下M）にお話を伺いました。

まとめ：編集部

RMMが考える2008 MODEMO新製品ベスト5

第1位　名鉄モ600形
…名鉄600V区間廃止の頃から、待ち望んでいた向きは多かったことでしょう。単行で使える車種の充実は、ミニレイアウト志向のモデラーにも福音となろうと思います。

第2位　江ノ島電鉄新500形
…新車のニュース性が落ちない間の、タイムリーな発売を評価。江ノ電として初めてライトを点けたのもポイントが高いです。

第3位　京福電鉄モボ101形「夕子号」
…普通のモボ101形とは二味も三味も違う。一目見たら忘れられないキャラクター。

第4位　豊橋鉄道市内線モ3502「ヤマサちくわ号」
…赤い車体に非常に鮮明なちくわの写真やイメージキャラクターが配され、ラッピング広告電車として地域の色が充分に伝わってきます。レイアウトを楽しいものとしてくれそうです。

第5位　名鉄モ750形（スノープロウ仕様）
…あえて季節限定なモデルに踏み切った企画力を評価。

MODEMOが考える2008 新製品ベスト5

第1位	江ノ島電鉄 新500形
第2位	名鉄モ600形
第3位	京福電鉄 モボ101形「夕子号」
第4位	江ノ島電鉄1500形「S.K.I.P.号Ⅱ」
第5位	豊橋鉄道市内線 モ3502「ヤマサちくわ号」

※選出理由は本文参照。

メインは江ノ電と名鉄

RMM：まずは私共のランキングをご覧になっていかがですか？

M：非常に私たちの商品をよく見て、正当な評価をしていただけたと思います。私たちのランキングも、結果的にそれに近いものとなっております。それでは1位から発表しますが、江ノ電新500形としました。江ノ電の久々の新型車輌をデビュー後時間を空けずに製品化し、ライト点灯等の新機軸を盛り込んだ意欲作でした。デビュー当時は1編成だったのでT車の開発が出来ませんでしたが、何より新型車輌の話題性を優先して製品化しました。新型車輌ゆえに製品にも新機軸が必要だというコンセプトで、弊社江ノ電製品では初のライト点灯化・床下機器のプラパーツ化等の新しい試みを行ないました。

RMM：このアイテムについては私たちも2位と高い評価をさせていただきました。実車は2編成目がその後登場したこともあり、次回生産ではそのあたりのバリエーションも期待できそうですね。それでは第2位は？

M：名鉄モ600形です。この製品では、個性的な外観を忠実に再現した上で現在のMODEMOスタンダードであるヘッドライト点灯や走行性能を両立させることができました。セールス面でもM車・T車共に好評でした。名鉄600V区間の個性的な車輌の中でも特にユニークな車輌で、モ510・520・750と合わせても外せないアイテムです。名鉄は弊社の人気シリーズなので、その新たな中核にすべく開発しました。つい先日、白帯入りの“急行塗装”というバリエーションを発売したばかりです。

RMM：プロポーションをよく再現している上に、走りも良い、ライトも点くと、完成度の高さに舌を巻きました。それでは次に第3位を。

M：3位は京福モボ101形の“夕子号”です。人気のモボ101が更に魅力的な広告車となりました。実車のラッピングを精密な印刷で再現することができ、ユーザーにも好評を博した製品となりました。母体となったモボ101形は当社の予想以上に好評を持って受け入れられた製品でしたが、そもそも製品化を決めた理由の一つとしてこの“夕子号”の存在が大きかったというのも事実なのです。この魅力的な広告車を再現すべく細部の印刷や全体の色調整、画像の印刷の調整に苦労しましたが、苦労の甲斐あって上手く製品で再現できたと思っております。ちなみに実車も夕子号は2輌ありますが、製品もM車・T車で2輌のラッピングの細部の違いを抜かりなく再現してあります。

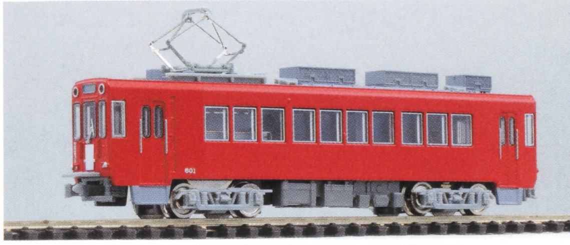
RMM：言ってしまえば単なる色替えのバリエーションなのですが、実物を見るとつい引き込まれるような、独特の魅力を持つモデルでしたね。

M：次に4位ですが、江ノ島電鉄1500形“S.K.I.P.号Ⅱ”を挙げたいと思います。江ノ電の広告車の中で、写真を多く取り入れた新しいデザインの2代目S.K.I.P.号を印刷技術の向上で製品化できたことが選定理由です。このモデルでの技術開発によって、現在では写真を多用した広告車も製品化が可能になりました。鉄道模型に印刷した際に見栄えを良くするための調整に苦労しましたが、そのノウハウを夕子号の開発時にも活かすことができたのです。

RMM：なるほど、印刷技術もたゆまぬ改良が加えられているということなのですね。

M：そしてラスト、第5位は、豊橋鉄道“ヤマサちくわ号”としました。これは、豊橋鉄道市内線という比較的ローカルな路線の広告車が予想以上に好評をもって受け入れられたための選定です。豊橋鉄道市内線の広告車の中でも色・デザインともにキャラクター性の高い“ヤマサちくわ号”ですが、都電7000形のバリエーションとして実験的な製品化という要素も含まれていました。実際は印刷面でもクオリティの高い製品が開発でき、ユーザーにも好評だったため、今後の豊橋鉄道関連車輌の製品化の礎になる製品になりました。

▲同社シリーズの中核である江ノ電も、この新500形からまた一段高いステップに上がったようだ。



▲その細身のボディにより、プラ製品化は困難ではないかと思われていた名鉄モ600形。MODEMOの手に掛かればこの通りの完成度の高さ。

100作目に向けて

RMM：それでは今後の展開はどのような方向でお考えでしょうか。

M：昨今小型車輌のニーズが高まっているので、引き続き路面電車シリーズのラインナップの充実を図っていきたいと思っています。アイテム選定としては、古今東西問わず個性的でキャラクター性のある、製品としてインパクトのある車輌を製品化していきたいですね。現用にこだわらず過去の名車と呼ばれる車輌も製品化することにより改めてクローズアップできると良いと思います。もちろん、最近話題のLRTも路面電車の中では外せないジャンルなので、近々製品化します。お楽しみに。そしていよいよ品番がNT100に到達しますが、この記念アイテムは、今までで一番リクエストの多かった車輌を満を持して開発しますよ。さてその車輌とは何でしょう？（笑）

今後は新規開発はライト点灯の標準化、再生産品は少なからず改良・グレードアップ・おまけの付属等をスタンダードにして、お客様に常に喜ばれるようにしていきます。

RMM：Nゲージ界の小型車のリーダーとして今後の展開にも大いに期待しています。本日はありがとうございました。

気動車
DIESEL CARS

気動車製品は各社とも、JR化より前から現在まで活躍する「国鉄型」を中心としたラインナップが目立っています。その中でもマイクロエースは、JR化後の更新車や改造によって生まれたジョイフルトレインなど、多彩な形態をうまく模型化し続けています。一方でKATO、TOMIXからは懐かしの国鉄時代を思い起こさせてくれるアイテムの発売もあって、ユーザーの世代や好みによっていろいろな選択肢を選べるのが嬉しいところでしょう。

ベーシック編

キハ35系（一般色）〔KATO〕

★その特異さから国鉄気動車史に独特の位置を占めるキハ30･35系。満を持してKATOから製品化の運びとなった。

★キハ30･35系は1961年、国鉄初の通勤型気動車として101系を基本とした切妻車体、ロングシートを採用し登場した。片側3ヶ所の客扉は外吊り式の両開きで、本系列を強く特徴づけている。各地の都市近郊非電化路線で活躍、現在は久留里線と関東鉄道常総線にその姿が見られる。

★製品は両運転台のキハ30と片運転台･便所付きのキハ35、その便所なしのキハ36の3種。共に切妻の直線的な車体にマッチしたシャープな作り。

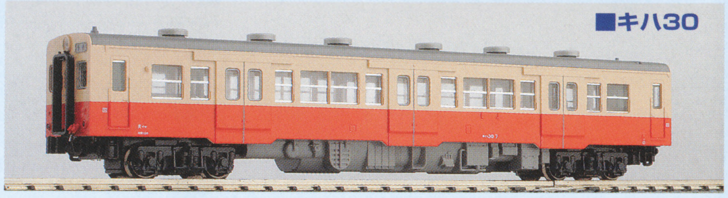
★標準型の0番代がプロトタイプで、クリームと朱色のツートンカラーの一般色をまとった最もプレーンな姿を模型化。

★側面窓ガラス上段の手掛けを再現。また外吊り式のドアの両開き扉中心の戸当りゴムも溝にグレーが引かれ再現されている。

★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。フライホイール付動力ユニット、KATOナックルカプラー標準装備。

★車番・標記類は印刷済で、所属標記はキハ30が「天イセ」、キハ35･36が「天ナラ」。前面種別幕は点灯式、表示は半透明のはめ込みパーツで、「普通」が装着済。

【価格】
●塗装済完成品
キハ30(M)　：5,670円
キハ30(T)　：2,835円
キハ35(M)　：5,355円
キハ35・36(T)　：各2,520円


■キハ30

■キハ35(右)、キハ36(左)

キハ40 2000番代更新車（三代目鬼太郎列車ほか）〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000351（目玉おやじ列車）
34000352（ねこ娘列車）
34000353（ねずみ男列車）

★マイクロエースのキハ40系に、新たに4種のイラスト列車が登場。

★JR西日本境線では沿線出身の漫画家・水木しげる氏の作品「ゲゲゲの鬼太郎」に因み、1993年から「鬼太郎列車」を運行。2005年には2度目となるデザイン変更がなされ、同時に「目玉おやじ列車」「ねこ娘列車」「ねずみ男列車」が新たに登場している。

★製品はこの現行仕様4種を再現した、暖地型2000番代の更新改造車。

★同社としてはもはや得意分野と言えるイラスト車輌。おどろおどろしい独特の画風も鮮明に再現。

★動力機構はフライホイール付きを装備。

★車番・標記類は印刷済。方向幕、ワンマン表示のステッカー付。

★ヘッド・テールライト点灯（ON／OFFスイッチ付）。アーノルトカプラー標準装備で、交換用のダミーカプラーが付属。

【価格】
●塗装済完成品：各7,245円

■キハ40 2118＜鬼太郎＞

■キハ40 2095＜目玉おやじ＞

■キハ40 2094＜ねこ娘＞

■キハ40 2115＜ねずみ男＞

キハ40 700番代 (キタキツネ・イカ・カニ塗装)

〔マイクロエース〉

ホビダスショッピングはこちらから!
32000394

★2000年11月に発売されたマイクロエースのキハ40「ペインティング列車」が、セット構成を一新して再発売。

★実車は1997年にJR発足10周年を記念して登場。既存のキハ40のうち3輌に塗装変更を施したもので、車輌ごとに「キタキツネ」「イカ」「カニ」と、ご当地に因んだキャラクターイラストがそれぞれ描かれている点が特徴。

★モデルは実車同様に3種のカラーリングを用意。前回品では北海道カラーのキハ40とセット販売(全種揃えるには3セットの購入が必要)であったが、今回はイラスト車全種を1セットにアソート。

★車体イラストは同社お得意の印刷による精緻な仕上がり。また本セット収録品から、スカート側面に標記が新しく入れられている。

★フライホイール付き動力を装備。ヘッド／テールライトはLEDで点灯する。その他仕様は前回品から特に変更なし。

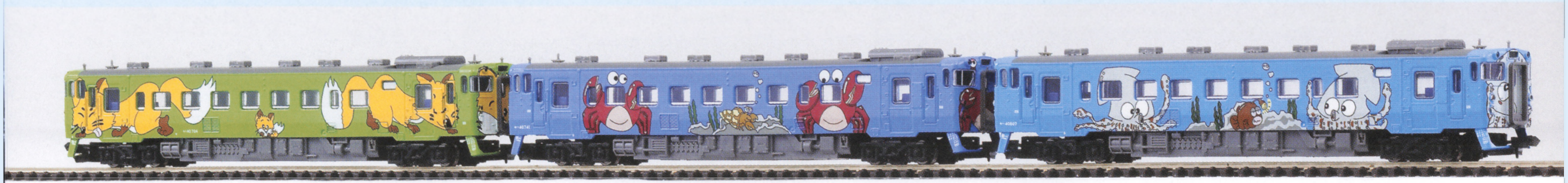
★幅広室内灯に対応。

〔価格〕

●塗装済完成品
3輌セット
：15,225円

〔セット内容〕

■キハ40-724(M)、キハ40-741(M)、キハ40-807(M)



キハ400＋14系急行〈利尻〉

〔マイクロエース〉

★3形式ものベースの違う車輌が編成に含まれ人気のあった急行〈利尻〉編成が久しぶりの再生産。前回生産分と製品番号は同じながら、それぞれのモデルが一部金型の改良を経ておりリニューアル品に近い内容。

★実車は、札幌～稚内を結ぶ夜行急行として、14系座席・寝台車で運転されていたが、1991年に気動車化。編成中にスハネフ14、後にキハ182が組み込まれ、2000年の特急格上げまで活躍した。

★スハネフ14は窓の位置と角R、テールライト位置の見直しで、プロポーションは格段に改善。

★上記で紹介のキタキツネ・イカ・カニ塗装と同様に、キハ400の動力はフライホイール付へと変更。また、ヘッド／テールライトはLEDに改められ輝度が向上。キハ182を除く各車にライトON／OFFスイッチが付く。

★室内灯は幅広タイプが対応。

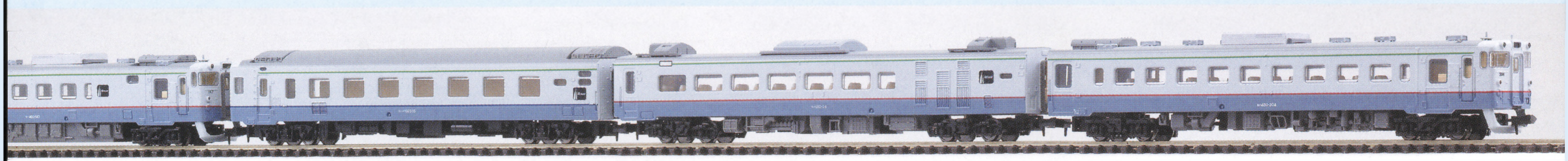
★付属シールには各車の方向幕、種別表示、サボ、テールマークが収録される。

〔価格〕

●塗装済完成品
5輌セット
：16,590円

〔セット内容〕

■キハ480-304＋キハ182-36＋スハネフ14-505＋キハ400-147(M)＋キハ400-144



キハ66・67 (国鉄復活色) (シーサイドライナー)

〔マイクロエース〉

★2004年4月に発売された汎用気動車キハ66・67系シリーズに新バリエーションが追加。

★今回は2000年に国鉄色へと戻されたキハ66・67の各トップナンバー2輌セットと、JR九州大村線の快速「シーサイドライナー」用更新車4輌セットをラインナップ。

★どちらも実車に則して一連の屋上機器やタブレットキャッチャーが撤去された後の形態を再現。パーツを共用する関係で側面ルーバーが残されているものの、更新車の雰囲気は充分楽しめる。

★「シーサイドライナー」ロゴマークや車番等は印刷済で、所属標記はどちらも「崎サキ」

★ヘッド／テールライト、前面行先表示はLED点灯式。その他両セット共通の行先表示シールが付属する。

★オプションの室内灯は幅広タイプを指定。

〔価格〕

●塗装済完成品
国鉄復活色2輌セット
：9,765円
シーサイドライナー4輌セット
：15,750円

〔セット内容〕

■国鉄復活色：キハ67 1＋キハ66 1(M)
■シーサイドライナー：キハ67 14＋キハ66 14(M)＋キハ67 12＋キハ66 12

■国鉄復活色

■シーサイドライナー

JR北海道キハ130（日高ポニー号）
〔TOMIX〕

★以前より標準色2輌セットがラインナップされているキハ130に「日高ポニー号」仕様が加わった。
★11輌存在したキハ130のうち、キハ130 8はイベント用に特別色となって、「日高ポニー号」の愛称を付されて活躍。2000年に同形式の一般運用が消滅してからも同車だけは残存し、2002年まで在籍した。
★モデルは「日高ポニー号」塗色のキハ130 8と標準色のキハ130 11の2輌セットで、ホイッスルが新規製作のシングルタイプとなる。
★付属パーツや基本仕様は標準色セットと同様。
★標記類・サボ等はすべて印刷済。別パーツの貫通幌が付属。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：11,340円

〔セット内容〕
■キハ130 8（M）＋キハ130 11

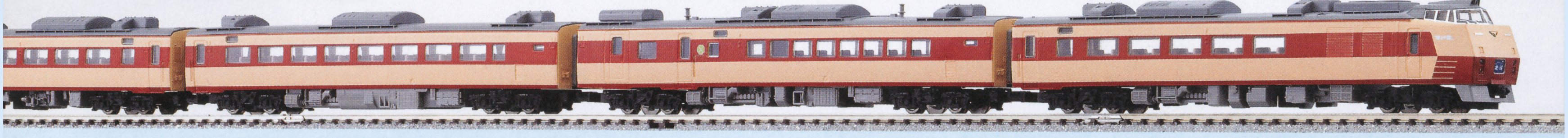
キハ183系（0番代・100番代）
〔TOMIX〕

★2550番代、550番代、〈スーパーとかち〉とリニューアルされてきたTOMIXのキハ183系であるが、いよいよ0番代・国鉄特急カラーが満を持して登場となった。
★旧製品(品番92644)が7輌セットでの発売だったのに対し、リニューアル版は4輌基本セット2種と3輌増結セット1種、さらに柔軟な増結プランをサポートするため、キハ182のM付・Mなし車の単品販売もそれぞれ行なわれる。
★基本セットのうち1種は貫通扉付き先頭車である100番代を収録。以前にはないバリエーションであるため、当然新規製作品。そのほか、キハ184、キロ182も新規金型となっている。
★その他前回品との違いは屋根ランボードの細密化、キロ182アンテナ別パーツ化、客扉Hゴム再現、方向幕クリアパーツ化、幌パーツ取付など。
★走行装置は同社の現行製品に準拠。カプラーはアーノルトが標準で、オプションのボディマウントTNにも対応する。
★ヘッド／テールライト、トレインマークがLEDで点灯。

【価格】
●塗装済完成品
4輌基本セット(0番代)
：14,910円
4輌基本セット(100番代)
：15,120円
3輌増結セット
：6,090円
キハ182-0(T)
：1,890円
キハ182-0(M)
：4,620円

〔セット内容〕
■0番代基本：キハ183-0＋キハ182-0(M)＋キロ182-0＋キハ183-0
■100番代基本：キハ183-100＋キハ182-0(M)＋キロ182-0＋キハ183-0
■増結セット：キハ182-0＋キハ182-0＋キハ184

■4輌基本セット(0番台)



■4輌基本セット(100番台)

JR東日本キヤE193系「East i-D」
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
35000327

★2002年登場の、JR東日本の在来線用検測気動車「East i-D」が、「East i-E」と同時に製品化。
★キヤE193系「East i-D」は非電化区間での軌道検測を担う車輌。それに加え一部の電化区間で電気検測も行なうため、中間のキヤE192-1の屋上には検測用のパンタグラフと観測窓が付く。こちらも活躍の場は広く、JR北海道にも姿を見せている。
★「East i-E」車体外観、検測装置などはほぼ同一で、床下機器やキヤの排気管などの細かなディテールの差異が特徴。
★ボディ側面の発光部も再現しており、側面ガラスは熱線吸収ガラスを再現。
★ヘッドライト・テールライトが点灯し、フライホイール動力付。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：13,650円

〔セット内容〕
■キヤE193-1(M)＋キヤE192-1＋キクヤE193-1

キロ59「リゾートサルーン・フェスタ」(登場時／晩年仕様)〔マイクロエース〕

★数ある車輌の中で、ひときわ個性的なキャラクターで知られるキロ59「リゾートサルーン・フェスタ」が驚愕のNゲージ化。

★実車は1988年に登場。観光あるいはイベント用を見込んでキハ58／キハ28から改造された。設備面のみならず外見からも注目を集めるべく、前面を魚の顔に見立て、大きな可動式くちびるを取り付けたのが最大の特徴である。1999年まで広島地区を中心に活躍した。

★モデルは「フェスタ」登場時ならびに晩年の2種類を3輌フル編成セットでリリース。

★登場時／晩年とで異なる前面ライト(顔で言うところの「瞳」にあたる部分)の形状を作り分け。微細ながら違いのある表情を楽しめる。さらに波をモチーフにした側面の青いラインも、時期によって異なる色合いをそれぞれ印刷で表現。

★チャームポイントのくちびるは指で開閉可能で、開くと表示器が現れる仕掛けも実車同様。なお強度はあまり確保されていないため、力をかけず、ゆっくり開くのがコツ。

★フライホイール付き動力ユニットを採用。その他ヘッド／テールライト、前面表示器が点灯する。「瞳」はテール(赤色)のみ点灯となっている。

★室内灯は幅狭タイプを使用。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：各13,440円

〔セット内容〕 ※両セット共通
■キロ59 553＋キロ29 553(M)＋キロ59 552

■登場時(手前)、晩年仕様(奥)

キロ59「グラシア」キハ59「こがね」〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
29000306(グラシア)
29000307(こがね)

★マイクロエースから気動車ジョイフルトレインの「グラシア」「こがね」が登場。

★「グラシア」は1989年にキハ58をベースに改造された欧風気動車。小牛田運輸区に所属しJR東日本仙台支社管内で活躍した。

★「こがね」は2003年に「グラシア」をリニューアル工事した車輌。

★駆動エンジンを小松製DMF11HZに換装されたことで、このモデルでもそれを再現するため床下を新規製作。

★「グラシア」では登場時に前面に付けられていた、連結器とジャンパ栓の各カバーを再現。「こがね」と作り分けている。

★中間車キロ・キハ29 506は種車の運転台を撤去した後退角のある妻板なども模型としての見どころ。

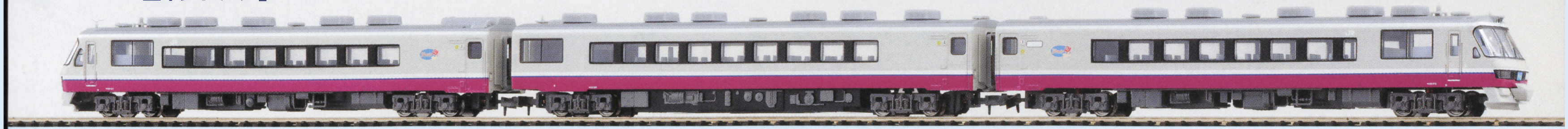
★ロゴやヘッドマーク、各種標記は全て印刷済となっており付属品は特にない。

★オプションの室内灯は幅広タイプが対応。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：各12,600円

〔セット内容〕
■グラシア：キロ59 510＋キロ29 506(M)＋キロ59 511
■こがね：キハ59 510＋キハ29 506(M)＋キハ59 511

■「グラシア」



■「こがね」

北近畿タンゴ鉄道 KTR 001型「タンゴエクスプローラー」(登場時・改造後)〔マイクロエース〕

★マイクロエースから北近畿タンゴ鉄道の気動車KTR001「タンゴエクスプローラー」が初の製品化。

★実車は1990年に自社の特急専用車としてデビュー。流線型の前面にオール・ハイデッカー構造、「ライトベージュメタリック」と呼ばれる艶やかなボディカラーという、観光色をアピールした華やかさと設備が特徴となっている。

★登場時と現行車の2種類をそれぞれ3輌セットで発売。実車の麗姿を無理なく盛り込んだバランスの良いモデルと言える。

★改造後セットでは、後年追加された前面ジャンパ栓および無線アンテナを両先頭車に装備。さらに屋根のグレーと塗り分けを登場時と変えてあるほか、ボディも少し彩度を落とした色調で仕上げあり、登場時との変化が見て取れる。室内シートは登場時＝青紫、改造後＝あずき色。

★動力はフライホイール付きを搭載。ヘッド／テールライトがLEDで点灯する。

★幅狭タイプの室内灯に対応。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：各12,600円

〔セット内容〕 ※両セット共通
■KTR001＋KTR002(M)＋KTR003

■登場時(奥)、改造後(手前)

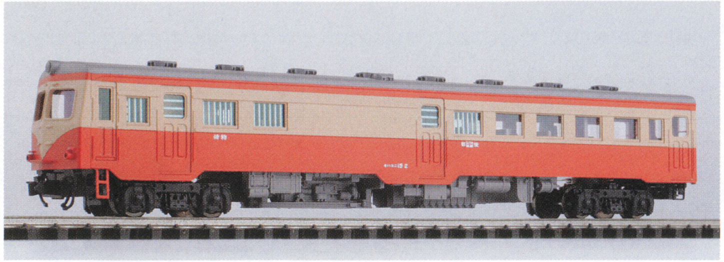
エキスパート編

●ワールド工芸

1輌単位でまとまる気動車の真鍮エッチング製キットは、ワールド工芸が最も得意とするところ。自社動力によるトータルキットのほか、TOMIX製の下廻りを用いるコンバージョンキットも発売されている。

▲鉄道院ジハニ6055　鉄道史でも異色の存在である、箱型車体の一端に蒸気ボイラーを設けた「蒸気動車」をモデル化。動輪と付属台車を2モーターで駆動する構造で、車体も明治の香りを的確に模型化している。キット：15,225円　塗装済完成品：41,475円。

▲キハニ5000　ワールド工芸がメーカー創業時より何度も改良を重ねながら製品化しているキハ二5000。従来ホワイトメタル一体だった屋根が通常の車体一体折り曲げ式となったのが大きな特徴。キット：15,225円　塗装済完成品（茶色・ツートン）：各29,925円。



▲キハユニ15(客車窓)　日本初の量産型電気式気動車であるキハ44000を、液体式化と半室郵便・荷物車化改造を施して誕生した形式。初期型は客車さながらの大型一枚窓が特徴である。キット：9,240円。

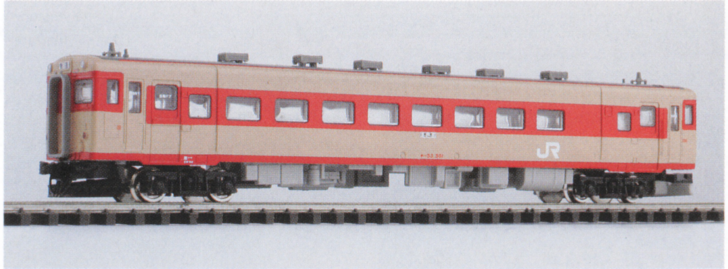
▲キハユニ15(バス窓)　一方こちらは、気動車特有のバス窓となったグループ。両車とも下廻りにTOMIX製キハ16・17(T車)を利用するコンバージョンキットで、ライト点灯なども可能な構造となる。キット：9,240円。

▲キハユニ16　キハユニ15と同様、電気式気動車を改造した郵便・荷物合造車で、こちらは種車がキハ44100・44200となっている。TOMIX製下廻りを利用する構造も共通。キット：9,240円。

▲鹿島鉄道キハ600形　2007年に惜しまれつつ廃線となった鹿島鉄道で、最後まで活躍したスターの1輌であったキハ600形。動力は自社動力を用い、車体は部品の選択で601・602両方が製作可能となる。キット：15,225円　塗装済完成品：36,750円。

●CROSS POINT

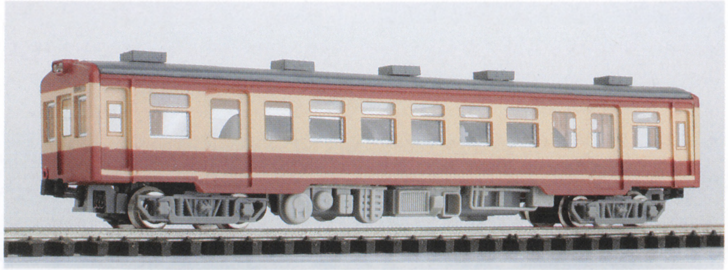
主に私鉄電車の製品化が目立つCROSS POINTのプラ一体成型未塗装キットシリーズ。今回は気動車が1点のみ発売となり、注目を集めた。



▶キハ53 500番代　冬季における単行運転の充実のため、2エンジンのキハ56を両運転台に改造して10輌が誕生したグループ。電車同様の手慣れた構成でまとめられ、TNカプラーの取付にも対応。キット：2輌セット　6,300円。

●南洋物産

透明アクリル板によるボディキットという、異色のアイテムを得意とする南洋物産からは、その特性を生かせるHゴムを多用したバス窓気動車がリリースされた。



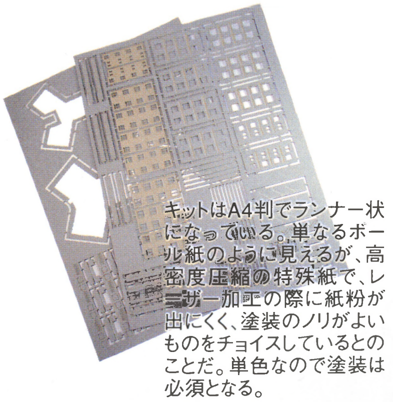
▶江若鉄道キハ5120　1963年に製造された、江若鉄道唯一の戦後製気動車。廃線後は関東鉄道に譲渡され、筑波鉄道で廃線まで活躍した。キット　2,625円。

Nゲージ・ペーパーストラクチャーに、新たなムーブメント到来！

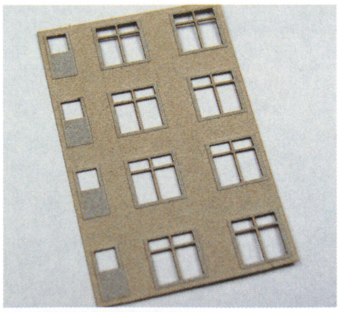
左から、団地・A、C、B。表裏で異なる表情が楽しめる。

TEXT：RMM
PHOTO & MODELING：ミニチュア模型制作工房・クラフト
（問い合わせ先）クラフト 03-5768-5633

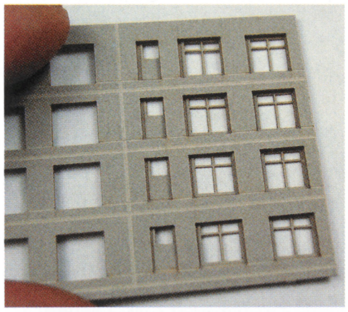
ミニチュア模型制作工房・クラフトから日本型Nゲージ用のペーパーストラクチャーキットが発売される。クラフトはヨーロッパ型レイアウトを得意とし、特にZゲージを専門フィールドにしてきたが、実は意外にも日本型レイアウトの制作依頼も多く、過去に特注制作して好評を得た日本型ペーパーストラクチャーを一般販売することとなった。第一弾は「団地シリーズ」から3タイプ（1/220スケールも同時発売）が本年3月より発売される。クラフト製キットの特徴は、ペーパーでありながら、プラ製品のように屋根瓦や板壁などに精細なディテールが彫り込みされている点。また、組立時には、紙ゆえに窓枠や扉などの細かいパーツが折れ曲がりやすいため、これらを1シートにして、窓枠や扉以外の領域は一段彫り下げた設計になっている。これによって外壁板と合わせる際に位置決めも簡単にできるという一石二鳥の工夫が施されているのだ。一般的なペーパーキットは加工効率を上げるため、切断または筋目入れの二つの工法だけで構成されているが、クラフトでは加工時間が数十倍以上になるが、あえてこれらの彫り込み加工にはこだわったという。また、完成品販売の対応や、ユーザー向けのレーザー加工サービスとして、1/87スケールなどへの変倍カットや、ユーザー自らが設計したデータへの加工、そして特注ストラクチャー製作の相談にも対応してくれる。本誌では番外編となるが、日本型Zゲージ対応品数点も同時発売される。まさにペーパーストラクチャーの新たなムーブメントが到来したと言えよう。



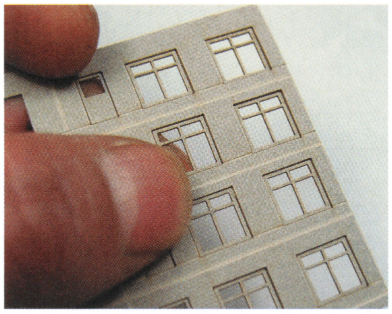
キットはA4判でランナー状になっている。単なるボール紙のように見えるが、高密度圧縮の特殊紙で、レーザー加工の際に紙粉が出にくく、塗装のノリがよいものをチョイスしているとのことだ。単色なので塗装は必須となる。



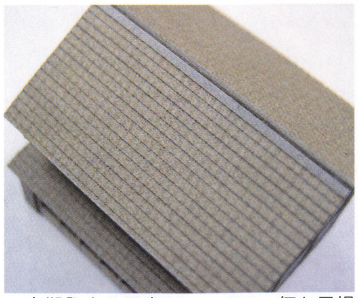
▲窓枠と扉以外が彫り込まれているシート。（写真は1/220団地・A未塗装）



▲外壁の窓に窓枠と扉の凸を重ねることで、簡単に位置合わせができる。



▲まさにプラキット感覚。窓枠は外壁からわずかに下がった位置になる。



▲次期発売の民家キットでは、何と屋根瓦が立体的に彫り込まれている。（写真は未塗装）

■1/150 団地・A／￥1,680

■1/150 団地・B／￥1,980

■1/150 団地・C／￥2,360

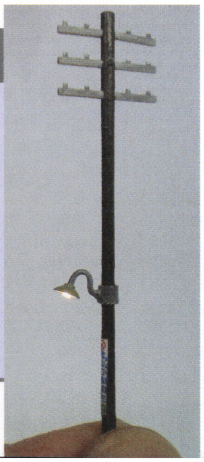
▲クラフトが推奨する接着剤。先端ノズルが細いので、細部に狙った量を意のままに塗布できる。即乾性で初期接着にも優れ、硬化後は透明で樹脂皮膜が柔らかいため矯正もしやすい。まさにペーパーストラクチャー専用と言っても過言ではないスグレものなのだ。
■アルテコ・パワーエース速乾アクリア Stick（20g／税込￥304）

団地のレイアウトにマッチする電柱街灯…

夜の情景にも精力的に取り組んでいるクラフトでは、町並みに最も多く見られる電柱街灯（レイアウト取付専用）も商品化。電柱本体はグリーンマックスキット（No.77）をベースに、蛍光灯・傘付白熱球の2タイプを架装したスーパーディテール仕様（完成品）となっている。但し、接続コードが極めて細いため、上級者向けアイテムだとか。さらにオプションとして街灯が故障した状態を表現する「チラつき基板」も同時発売。詳細は問い合わせを。団地の夜景シーンにも一役買うのは間違いないだろう。

■1/150 電柱街灯・蛍光灯タイプ完成品1本／税込￥2,980
■1/150 電柱街灯・傘付白熱球タイプ完成品1本／税込￥2,580

写真はほぼ実物大▶



メーカー担当者に聞く…!

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー TOMIX編

車輌模型だけでない、線路、ストラクチャー、制御機器、レイアウト関連用品まで全てをトータルでシステム展開するというTOMIXのコンセプトは、ブランド創設以来不変。昨今はHG製品に代表される精密な車輌製品群に加え、新たな遊び方を提案するファイントラック関連製品を意欲的に展開しています。今回は(株)トミーテック・トミックス企画課のSさんにお話をお聞きしました。　まとめ:編集部

RMMが考える2008 TOMIX新製品ベスト5

第1位　24系25形「夢空間」
…実車引退とタイミングが重なったこともあり、非常に印象に残る製品。時代の違う2種類の作り分けにこだわりを感じました。限定品よりも通常版の方が人気が高くなるという珍現象も。

第2位　24系「さよなら銀河」
…例によって実地踏査による詳細なバリエーション、及び限定品に新金型を投入する手法によって完全に大きなマーケットを確立、他社の追随を許さない存在。一貫したコンセプト及びパッケージデザイン等も厚い支持を集める所以です。

第3位　JR東日本E233系（中央線／京浜東北線）
…車体のメタリック表現がとても綺麗。別パーツ化を進めた床下機器の構成もユニークでした。

第4位　キハ183系（0番代・100番代）
…これはキハ184、キハ183 100番代の製品化に尽きます。よくぞ、また長い間待ちました。

第5位　ED79 0番代／100番代
…写真で見る限りは、Nも16番も本当にスケール感に差がなくなったなあ、と感じさせられた製品。ただ最近多く見られる別付けパーツの多い構成は、行き過ぎると完成品を完成品でなくしてしまわないかという点が気になりもします。

TOMIXが考える2008 新製品ベスト5

第1位	オハ61系
第2位	ED79 0番代／100番代
第3位	24系「さよなら銀河」
第4位	JR東日本E233系（中央線／京浜東北線）
第5位	キハ183系（0番代・100番代）

※選出理由は本文参照。

今回も話題の中心はブルートレイン

RMM:私共のランキングには締切の関係で12月末発売アイテムが含まれていないので、御社のランキングとはやや食い違いが生じることはあらかじめお断りさせていただきます。例えば私共の1位の夢空間などは、実は昨年のインタビューでの御社のランキングに既に入っていたんですよね。実車の引退間近でのタイミングの良い発売、これは狙ってやっていたのでしょうか?

S:そういうわけではなく、あくまでTOMIXのブルトレラインナップの中に必要であるという観点からの製品化決定だったのです。〈夢空間北斗星〉セットと、限定品のEF81との〈夢空間〉セットと2種を用意したのが目新しいところでした。限定品に入れたEF81は星マークの位置が普通のものとは違っている変形機なのですが、通常品では出せないアイテムを、こういう形で出すことで、ブルトレファンの期待に応えられたかと思います。

RMM:続いて2位もブルトレ、「さよなら銀河」ですが、なんでもすごい人気だったようですね。

S:実物のさよなら運転も非常に盛り上がりましたし、模型も非常に売れました。車種が地味ですから、取材時点では「本当に製品化して良いのか」不安だったんですけどね。ただ、これまでのさよならシリーズは、最終運転時から1年後の発売というのが通例でしたが、今回は新規金型部分が少なかったこともあり、半年というスパンで出すことができました。ひょっとしたらそれも大きかったのかもしれませんね。そういえば車体の色も、通常品とは少し違う、明るめのブルーを塗っているんですよ。これは実物の取材で接してそういう印象を受けたもので、それを反映しているんです。

RMM:しかし、この〈銀河〉のさよなら運転の同じ日に、当然〈あかつき・なは〉のさよなら運転もあったわけで、一体何人くらいのスタッフが取材に行っていたのでしょうか。

S:東京、京都、大阪、下関、門司、鳥栖、熊本、長崎、それに車内に乗車するチームもあって都合約10チームが、下り列車・上り列車の最低2回ずつ見に行ってます。特に京都・大阪組は〈銀河〉と〈あかつき・なは〉の両方を見なければならないのでハードな取材でした。

RMM:そうした、「いかにも大変な仕事をしている」というのが熱く伝わってくる製品というのがこの「さよならシリーズ」が支持を集める要因なのでしょうね。

JR型、国鉄型、どちらもバランスよく

RMM:3位はガラッと変わって通勤車のE233系でした。

S:中央線から投入が始まった新世代の通勤電車で、これは当社のラインナップには外せないということで製品化が決まりました。京浜東北仕様との違いをちゃんと作り分けたのも当社らしいところだったかと思います。この製品では運転台部分での導光装置のシースルー化を確立したのが当社としては新たな試みでした。これまで一部の車輌では行なっていましたが、行先表示なども含めて全部上部にあるという車輌でこれを実現できたのは大きかったと思っています。去る12月に中央線の6+4編成も出しまして、通勤型のフルラインナップが完成しました。残るは近郊型の製品化で、これはカタログで製品化予告を致しました。

RMM:4位はキハ183系、国鉄時代の仕様で、特に先頭車化改造のキハ183 100番代が喜ばれたようですね。

S:キハ183系は〈スーパーとかち〉でリニューアルが始まり、次に王道的な仕様としてこの国鉄時代の仕様を企画したのですが、その中にこの改造車をぜひ盛り込みたかったのです。バリエーションとして、先日この100番代の登場時という仕様も限定品として発売致しました。

RMM:5位はED79でした。ED76と合わせ、完全リニューアルで交流電機が1年に2形式も出た、というのは画期的だったと思います。

S:ED79については、一連のブルトレ、特に〈北斗星〉や〈カシオペア〉という花形列車の牽引機の中で、EF81、DD51という比較的新しい製品に挟まれてやや苦しくなってきたのは否めないところだったのです。それに母体となったED75がいよいよ最後の盛り上がりになるのを見越して、ここでED79からリニューアルに着手したというわけでした。先に発売となったED76に比べ、機構面でも全長の短い全軸駆動機であることからフライホイールの形状などに新たな考えを盛り込んでいます。またMカプラーもこの時全く新しく、Mカプラー同士の連結をした際に自

▼24系ブルトレー族の中でも希少性・話題性では一番であった「夢空間」。結果的に引退を記念する製品に近い位置づけとなった。

▲首都圏の新世代主力電車、E233系。TOMIXでは早い段階で中央快速・京浜東北の2種をラインナップ。

然解放しにくいよう作用点の位置や磁石のセッティングなどを工夫して確実な走りをするようにしました。機関車・客車・貨車についてはあくまで基本はアーノルトだと思っており、担当者としてはかなりMカプラーにもこだわったということはお伝えしたいですね。

30数年ぶりの旧型客車

RMM：それではここで御社としてのランキングも発表していただけますでしょうか。

S：1番は、12月に発売となったばかりで、そちら側のランキングでは対象外になっているオハ61系ですね。もちろん構造などは完全に新しい発想、当社らしい楽しさを盛り込みたいということから、ドアを交換式とし、ドア交換パーツセットというのも出してみました。このために開発した自連型TNカプラーは、センター復元にコイルバネを使い、長編成でも問題なく使用できるようになっています。

RMM：旧型客車としては恐らく各社通じて初めて、ダミーとした場合用の端梁やジャンパー栓まで表現したのが、非常に印象的でした。

S：想定されるお客様が比較的中高年の層でしょうから、各部にもそういたこだわりを入れていきたいと思いました。

▲20年弱という比較的短いスパンで完全新規製品に切り替えられたED79。重連補機の100番代は同社では初登場だった。

RMM：出来合いをただ受け入れるのではなく、ユーザーが自分の手で、自分なりの旧型客車を手にして楽しむというのが、私どもとしても好感を持って受け止めているところです。そして2～5位は既に語っていただいたラインナップですが、順位付けの理由などを語っていただければ。

S：毎年当社のランキングは、何か新しい技術・方向性などを打ち出せたかどうかに重きを置いて決めているのですが、ED79は走り装置の刷新、銀河は話題性一番という理由、E233系は新しい通勤電車シリーズの方向性の確立、キハ183系は王道の国鉄色をどーんと打ち出せた、というような理由が挙げられますね。

RMM：ランキング外のアイテムで、ED76というのも大きかったかと思いますが。

S：これもブルトレ牽引機のラインナップという観点で、九州内を一手に引き受けたこの形式を外すことはできないだろうという理由からのオールリニューアルでした。

RMM：そういえばEF66などで採用したプラ製パンタではないんですね。

S：実車が銀色のパンタは、プラの成型色でそれを表現するとどうしてもまだら模様となってしまうこともあり、今回のED76やED79では金属製としています。

ポイントの充実で運転を楽しく

RMM：それではここで話の傾向を変えてレール関係、大きなものでは三方ポイントがありました。

S：ダブルスリップなどに続いて、実物ではそれほど多いわけではないですけど模型としては使いやすい、遊ぶと楽しいというアイテムですね。一見よく似た、右・左の2種を出したことも話題となりました。難産ではありましたが、ファイントラックのラインナップ充実という点では非常に大きなアイテムだったと思います。

RMM：ポイントの話の続きで、最も一般的なPR／PL541-15のポイントがいよいよ完全選択式にリニューアルしたのもトピックでしたね。このメリットを改めてご説明いただけますか？

S：難しい話は置いておくとして、ユーザーにとって最も大きなメリットは、配線が簡単になること、そしてスプリングポイントとして活用できるということです。実は電気的な切り替えのための部品が増えてしまい、生産は大変なんですよ。

RMM：最も基本となるポイントのリニューアルにより、それを含んだベーシックセット、レールセットも続々モデルチェンジを果たしました。今新しいユーザーが増えている機会に、そうした前向きの施策を行なっているのは評価されるべきだと思います。

S：あとはダブルクロスのリニューアルが残っており、現在担当者が鋭意検討中です。

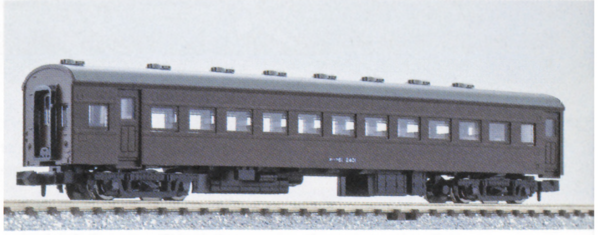
RMM：予告されているカント付きレールについてのお話をお聞きしたいのですが…。

S：まず基本的には単線で遊べるというのが大きな特徴で、もちろん複線とすることもできます。パーツを足すことで、地上線から高架線まで楽しめるのが独自性ある部分かと思っています。カーブ半径は2種類で、R354・391の2種類、道床はPC枕木。道床幅が従来の1.5倍の幅広さになっているのがユニークなところです。

RMM：直線からカーブに入る部分のアプローチ部分専用のレールというのもあるのでしょうか。

S：そうです、ひねりの入った部分は専用レールを使用します。セットとしては、地上線用セットと、高架線用セットの2種を用意します。カーブ半径は2種をミックスしてあり、2セット購入で複線が構成できる仕組みです。春から夏に掛けての発売を見込んでいるので、楽しみにお待ちいただければと思います。

▲ファイントラックからも発売となるカント付きレール。名称は「ワイドPCレール」と発表された。


▲地味な存在ながら、国鉄時代のローカル線には欠かせない役者オハ61系。

ジオコレとは共存共栄で

RMM：トミーテックさんと言えば、TOMIXだけでなく最近は鉄コレ、ジオコレシリーズも好調ですが、このヒットがTOMIXブランドに与える相乗効果のようなものはありましたでしょうか。

S：そうですね、特に最近はレール廻りのストラクチャー、アクセサリーもたくさん出ていますよね、駅とか車庫とか踏切とか。そういう意味では自動的にTOMIX入門につながってくるのではないかと思っています。

RMM：鉄コレとTOMIX、車種企画がぶつかったりはしないのですか？

S：それは基本的にないですね、今のところ鉄コレは比較的隙間を突いた車種構成で、一方のTOMIXは最近は比較的王道を行くアイテムが中心ですし。もちろん企画段階で密接な連絡は取り合っていますよ。

今年もアツい製品開発を…！

RMM：今後のアイテムではキハ40が大きな目玉ですね。

S：特に新しい機構などはないですが、HGの名に恥じないクオリティを目指しています。新たな試みとしては前面上部の種別幕が印刷式の交換可能パーツになります。あとTNカプラー密自連型がオハ61系用に続いてコイルスプリング復元タイプとなります。

RMM：初回はキハ40だけで、47や48は含まれないのですね。

S：もちろん今後やっていくつもりです、それにカラーバリエーションにも考慮したパーツ構成を採っています。一例を挙げるとタイホンは455系などと同様の選択式パーツで、それに加えてテールライトケーシングも実は別パーツで、これは今後出てくるであろう塗り分け仕様を考慮してのことなんですよ。モデラーさんが塗り替えするのにもきっと便利だと思います。あ、もちろん製品ではこの部分は取付済となっていますからご安心を。

RMM：今後の製品展開にも大いに期待しております。本日はありがとうございました。

※インタビュー後に発表された今後の主な新製品

(以前に発表済のものは除く)

- ○スハ32系客車
- ○165系新製冷房車
- ○キハ52
- ○コキ107
- ○キハ58系(リニューアル再生産)

メーカー担当者に聞く…!

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー マイクロエース編

相変わらずパワー全開の新製品展開をしているマイクロエース。編集部で集計した点数は非常に僅差、大接戦となり、微妙な点差で右のようなランキングでした。やはり他社に比べて数・ボリューム・内容がかなり違うので、選考には困難を極めたと言えるでしょう。今回は有井社長(以下A)と企画担当の星野さん(以下H)のお二人にお話を伺いました。 まとめ:編集部

RMMが考える2008 マイクロエース新製品ベスト5

第1位 JR四国8000系〈しおかぜ〉〈いしづち〉
…JRの中で一番モデル化の少ないJR四国の車輌。その中で華と言える車輌のモデル化でした。続けて予定の2000系気動車にも期待。

第2位 京成AE-100
…京成ファンの溜飲を下げてくれました。ライトギミックも楽しいです。

第3位 キロ59「リゾートサルーン・フェスタ」
…超人気者ながら、その特殊形状ゆえまず改造作品などが現れなかった車輌を、よくぞ製品化してくれました。惜しむらくは喋らないことかも?

第4位 JR東日本E491系「East i-E」 JR東日本キヤE193系「East i-D」
…最新事業用車のカッコ良さを存分に再現したモデル。特異な機器や車体形状なども良好に再現。

第5位 北近畿タンゴ鉄道KTR 001型「タンゴエクスプローラー」
…前面の形状が複雑でかつ、塗装もゴールドの難しい色を再現。難題の多そうな車輌を見事にクリアしたことを評価。

マイクロエースが考える2008 新製品ベスト

(順位なし、掲載順は順不同)

○JR東日本E491系「East i-E」 JR東日本キヤE193系「East i-D」
○C62 2/C62 3/C62 15
○JR四国8000系〈しおかぜ〉〈いしづち〉
○ワム80000 (280000番代/380000番代)
○京成AE-100
○長野電鉄2000系 (復活・茶色/りんご塗装)
○スハ45系 「急行〈ニセコ〉C62お別れ3重連列車」
○12系お座敷客車「江戸」/「やすらぎ」/「ナコ座」/「カヌ座」+「サロン佐渡」
○シキ810

2008年を振り返って

RMM:まずは、私共のランキングをご覧になって、どんな印象でしょうか。

A:まぁまぁじゃないかな。意外に去年の中で、四国・九州モノが、数字を挙げてましたよ。

RMM:御社の方でもベスト製品をお選びいただけましたよね?

H:そうですね。まぁ順位は付けてないですけど、いくつか選ぶとしたら…という形で。四国の8000系は私達も評価をしています。ワムとEast-iの電車・気動車も入ってます。どうしても、売れた車種というのも頭にありまして(笑)、C62三重連、2号機3号機15号機も。

A:他に日本通運のコキ、しなの、あさぎりシングルアーム、C53…などが、結構売れ行きが良かった。

RMM:(他に表に挙げたアイテムを見て)いくつか一致しているのもありますが、こちらではその他にフェスタが意外な人気でした。

四国・九州モノが売れた!

RMM:ということで、各製品掘り下げて聞いてみたいのですが、まずは四国の8000系。四国モノは、やっているメーカーが少ないですね。

H:他はやらないですね。

A:四国は難しいというのが、一般的な評判なんだよ。それをウチはやった。

H:特急モノで選んでいくと、ネタが残っていないんです。

A:通勤電車よりは特急の方が売れるんだよ。特急を拾っていくと、自然と辿り着いちゃう。

RMM:間もなく同じ四国のディーゼル(2000系)も出ますしね。この8000系に関しては、模型になって初めて、これはいいなと思わせたところがありました。あの配管がまた別パーツで付けてあるあたりが、強く印象に残りました。

A:その分金型代がどんどん上がってくる。それだけ最近は細かいパーツが多くなってきている。

RMM:徹底志向になってきているんですね。

H:それに、8000系は塗装が綺麗だったというのも、人気を集めた要因でしょう。

付加価値を付けたいのです

RMM:続いてスカイライナー。以前に初代のスカイライナー(AE形)をやっていますが、今回二代目を選んだ経緯は。

H:国鉄・JR関係は色々やり尽くしたので、そうなると今度は私鉄に。で現役の電車で、東京人としては海外旅行する時にはN'EXかスカイライナーかどっちかで行く人が大多数でしょう。N'EXは既に先行製品がありますから、スカイライナーがいいんじゃないかと。

RMM:やはり何と言ってもライトが注目される部分だったと思うのですが、いかがですか。

▼長年模型製品の空白地帯であったJR四国の車輌から、看板特急8000系が製品化された。そのインパクトはメーカーの予想以上に大きかったようだ。

▲京成AE-100ではリトラクタブルライトを別パーツのはめ込みとして再現。同社の言うユーザーのための「付加価値」の、非常にわかりやすい好例である。

H:あれは本当は取り外し部品じゃなくて、レバーか何かでクイッと上げればパカッと開くというのが理想だったんですけど、どうしても強度、構造の関係で難しく、止むなくあの方法で。考え方としては、そういういわば付加価値を、何かしら付けたいんです、ウチは。

A:そのまま売るよりは、やっぱりここが新しいですよと言って売った方がポイントになる。

RMM:配管が別パーツになっているのもこだわりの結果というわけでしょうね。

それでは次に、お互いがランキングに挙げた所から、East-i。

H:そうですね、これはもうスタイルがいいということでしょうね。

RMM:個性的。格好も悪くない。それで他社はやりそうもない。3輌でまとまりが良い(笑)。

H:(笑)まあそれもありますね。

RMM:気動車版と電車版と両方売れそうというのも、製品化の動機として多少あったのでは。

H:逆に言えばそれしかバリエーション展開のしようがない。結構ユーザーからの要望もありましたよ、

▲「フェスタ」では開閉する唇という、思わず見ている方が頬を緩めてしまうギミックに挑戦。なお人形は製品には付属しない。

そういうのを出すのはウチぐらいだと思われているのかもしれません(笑)。このアイテムについてはやはり取材が大変でしたね。特定の場所で動いてないから…。雑誌などを参考にしても、その通りに来なかったりで、色々ありました。

RMM：サーチライトを点灯式にできなかったのかなと思ってしまうのですが、その辺りはいかがでしょうか。

H：まぁ値段に跳ね返っちゃうんで今回はやめたのです。技術的にはドクターイエローで既にやってますからできなくはないんですけど、全部やっちゃうと凄い値段に…。

RMM：では次にフェスタはどうでしたか。

H：これもお客様からの要望が結構ありましたよ、かなり特徴ありますからね。ただしこれもう、実車が随分前にないのがネックでした。写真探しても、正面の写真はかなりあるんですけども、側面や屋根はほとんどない。

RMM：顔にばかり関心がいってしまって…。

H：もちろん前面の唇の可動部が、さんざん悩んだところでした。金型も、試作では違う方法で作ったりもしました。可動させることは最初から決まっていましたが、きつ過ぎると塗装が剥がれるなどのトラブルが起きそうで、そうなるとアフターサービスも大変ですから。

RMM：しゃべらせるとかは?

H：そこまではなかったですね。音源があればまだ可能性はあるんですけども、テープか何かだともうハッキリ使えない。ウチは音も研究はしているのですが、アナログの音だと使いにくいんですよ。

▲新生代の事業用車、E491系「East-I E」とキヤE193系「East-i D」を揃って製品化。

RMM：ひょっとしたら、そういうものがあれば何か考えたかもしれないということでしょうか(笑)。やっぱり、楽しさのマイクロエースという感じがしますね。

H：付加価値を今、一生懸命探しています。

RMM：タンゴエクスプローラーは、形態的にはもうお手のものといった感じですか。

H：形態的にはいいんですが、これは色が難しい。シャンパンゴールドみたいな金とか銀とかを表面であれだけ大きく塗装すると、色ムラやバラツキが出てかなり難しい。不良率が高いんです。

RMM：なるほど、伺ってみないとわかり難い一面ですね。

H：銀色はまだしも、金色は特に。14系浪漫の時も結構ムラが出ちゃって、苦労しました。

他にも色々ありました

RMM：もう少し御社のランキングからお聞きしたいと思います。12系のお座敷客車は当方でも比較的高得点だったのですが。

H：やはり、実車がなく、細かい色とか柄とかが不明な点が多くて困りました。どこから始まって、どこで終わってとか。

RMM：ワム80000は、他社が従来から出している形式でしたけれども。

H：まあ、これは国鉄を代表する貨車ということで調べていくと、色んなバージョンがあるわけですよ。相当な輌数ありますから。で色も結構バリエーションがあるでしょう。だからまぁ、付加価値っていうところで、扉を開け閉めできるようにすれば、他社の次あたり、3番目あたりになってくれるんじゃないかなという期待で。

RMM：シキ810はどうだったでしょうか。

H：これはバリエーション展開です。前のシキ800は吊下げ式でしたが、今回の810は両抱き式。

RMM：C62+スハ45のニセコについては?

H：今蒸機は結構コンスタントに出していますので。そのタイミングに、ちょうど代表的なC62が出せたのは良かったと思います。

RMM：客車もなかなか魅力のある編成でしたね。

H：最終日の編成の車番で全て揃えて。あれを狙いに写真撮りに行った人っていうのはかなりいたわけですから。スユ13の金型ができたばかりなので、これを使いたいというのもありました。前から三重連やった方がいいんじゃないかなと思っていて、ついでに客車の編成もできるし。タイミングが後押ししました。

RMM：C62については他社による全面的な新製品とタイミング的に近かったのが気になりますが、お互い意識されているのでしょうね。

H：まぁ、なくはないですけど、ウチの企画は他社の発表より前からだったので、そういう点での影響はありませんでした。

RMM：じゃあ、たまたまという感じだったのですね。あとは、長野電鉄も力作でしたね。

H：取材当時は4編成動いていて、そのうち2編成を使う運用だったので、行っても撮りたい編成が動いていなかったりと、苦労したことが思い出に残っていますね。

RMM：この長野電鉄をやるに至ったのは、やはりユーザーの要望ですか。

H：要望もありましたし、やはり大手私鉄の特急を大体やってきてるから…。そこで地方私鉄で何か考えた時に、結構バリエーションも出せるし、他の地方私鉄にはないようなスタイルが特徴的でしたから。

今年もやっぱり“マイペース”で

RMM：最後に、今年の抱負などを。

A：特別こんなことやってみようなんていうのは、ないね。ただマイペースで行こうと(笑)。まぁ、お客様の中には数が多い、種類が多過ぎるよ、出し過ぎるよなんていう意見ももちろんあるんですよ。だけど、まぁ、それがウチの特徴になっちゃったんだから。ただね、非常に厳しい年だから、じゃあ種類を落とそうとか、そういうことは特別考えてない。今まで通りマイペースで行きましょうと。

RMM：景気は色々あっても、マイクロエースはマイクロエースで行こうという思いですね。

A：本当は車輌以外を少しやりたいんだけどね、まぁ、他社が皆やってるから、そこへ割り込んでいったってしょうがないだろうと。

RMM：再生産とかその辺は。

A：もちろん、それだってマイペースでやってくけど、そのままは出さない。リニューアルして出していく。もう1つは、もう去年からやってるけど、LEDのライトはなるべく使っていこうと。できる範囲で切り替えて行くと。

▲第三セクター鉄道の特急車として、2006年の「スーパーはくと」に続く製品化となった「タンゴエクスプローラー」。このあたりは同社の独壇場である。

RMM：LEDに移行する理由というのは。

A：やっぱり、光がいいよね。今までの光源だと点いてるのかよく見なきゃ。だけどLEDだったら、普通に見て、あぁ光ってるなと。

RMM：カプラーとか室内灯とかも出したところですが、そういった小物関係は。

A：現時点で企画はしてないけど、小物関係はもっとこうした方がいいっていうんであれば、そういうパーツ売りはしていきたい。

H：あとは、何度も言うようですが何とか付加価値を付けたいということです。1つでも2つでも。製品見て、思わずニヤついて欲しいんですよ。

RMM：新しいカタログも出たばかりですね。

H：今回のVOL.3には今までに出た製品をすべて掲載しましたが、このカタログが今後再販、再販っていう形になって、次号はそれ以降出たアイテムだけが載るスタイルになると思います。

RMM：今年も変わらぬご活躍を期待しております。本日はどうもありがとうございました。

客　車
PASSENGER CARS

1輌単位で自由に編成できることが特徴のひとつである客車ですが、ことNゲージ製品においては、なかば固定編成然としたセットでの販売が主流となっています。特に近年は、ジョイフルトレインやブルトレは言うに及ばず、20系以前の編成までもがセットで発売されるようになり、電車セットなどと同じ感覚で楽しめる製品が目立ちます。これもひとつの傾向と言えるのか、今後にも注目したいところです。

ベーシック編

マヤ34 2004 (クーラー増設)
〔マイクロエース〕

★国鉄・JR全線と一部の私鉄などを走破した高速軌道試験車マヤ34がマイクロエースから5年ぶりに再登場。
★今回発売されるのはクーラーが3基から4基に増設されたマヤ34 2004で、国鉄時代から継承される事業用車のポピュラーな塗装をまとう。前回のモデルに搭載されていたレールクリーニング機能はない。
★検測梁の表現された台車や車体から突出した監視窓など検測車らしいディテールを再現。
★室内インテリアでは職員用座席を塗り分け。前後のテールライトは進行方向に合わせ点灯。室内灯は幅広タイプが対応。
★カプラーは出荷状態では片側に双頭式ダミーカプラーが付くが、交換用のアーノルトカプラーとダミーカプラーが付属する。

【価格】
●塗装済完成品　：2,625円

オハ31 26 (鉄道博物館展示車輌)
〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
32000308

★KATOのロングセラー、オハ31系に新バリエーションが追加。
★モデルは1927年に製造されたオハ31 26をイメージ。光沢が艶やかなぶどう色1号の車体を始め、三等標記や東トウの所属標記といった、埼玉県さいたま市・鉄道博物館に展示中の復元後の姿を模型化している。
★記念モデルとしての色合いを持ち、それに併せパッケージは「KATO 鉄道博物館 展示車両シリーズ」と銘打つ特別版（プラケースは従来品と同じ）となる。
★モデルの基本的な作りは従来のオハ31系に準ずる。

【価格】
●塗装済完成品：945円

スハ45系「急行〈ニセコ〉C62お別れ3重連列車」
〔マイクロエース〕

★C62牽引の最後の優等列車・急行〈ニセコ〉の、蒸機牽引最終日に運転された編成を再現するモデルが登場。
★〈ニセコ〉客車は、スハ43系を北海道向けに改造したスハ45系中心の客車7輌と郵便車2輌の9輌編成。
★客車セットに含まれるスユ13、オユ10（非冷房）は初のプラ量産完成品。
★スハ45系は床下の車軸発電機を新規製作。
★標記類印刷済、サボシール付属。

【価格】
●塗装済完成品

9輌セット：20,475円

〔セット内容〕
■オユ10 2035＋スユ13 2013＋スハフ44 16＋スロ62 501＋スハ45 47＋スハ45 52＋スハ45 53＋スハ45 33＋スハフ44 25

スハ44系 特急〈つばめ〉

〔KATO〕

★KATOから改良再生産されたC62に合わせ、牽引するのにベストマッチな特急〈つばめ〉編成も同時発売される。
★セットは1950年代の同列車を基に、ぶどう色1号のスハ44系を主体に構成したもの。
★2等車スロ60は0番代と100番代の2種類を用意。100番代には実車同様に乗客専務車掌室窓が設置されており、0番代との形態差を楽しめる。
★編成のトリを飾るマイテ39は従来製品をベースにぶどう色時代のスタイルへと仕様変更。やや中央に寄った展望デッキのテールライトを再現。車体リベットも美しい。
★等級や車体側面帯、車番、行先表示など一連の標記類は印刷済。行先サボは「大阪行」が標準となる。
★〈つばめ〉〈はと〉のテールマークと、印刷済サボの上に貼り付けるタイプの行先表示シールが付属。

【価格】
●**塗装済完成品**
7輌基本セット：12,600円
6輌増結セット：10,500円

〔セット内容〕
■基本セット：スハニ35 3+スハ44 1+スハ44 2+マシ35 3+スロ60 7+スロ60 5+マイテ39 1
■増結セット：スハ44 3+スハ44 12+スハ44 14、スロ60 1+スロ60 10、スロ60 113

オハ62系（北海道仕様）

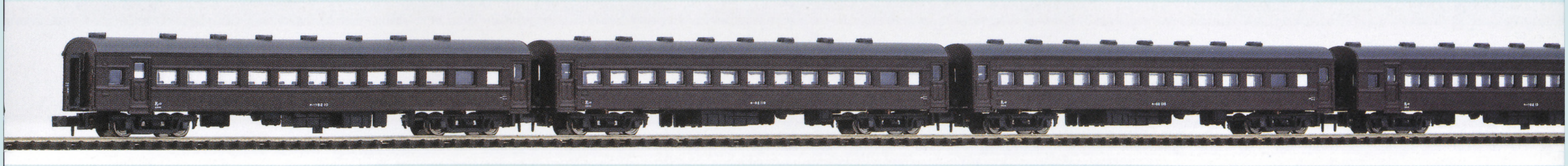
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
34000326

★2001年に「61系北海道型」として発売されたマイクロエースのオハ62系が、仕様変更のうえ再登場。
★62系客車は戦後、木造客車の鋼体化により3530輌が製造されたオハ61系のうちの北海道向けの車輌で、寒地向けの二重窓、大型蓄電池箱が通常の61系と異なる。
★製品は基本的に前回品に準じ、61系の標記違い品となるが、前回の荷物車を含む6輌セットから普通車のみの4輌セットに改められた。
★前回黒だった屋根板はダークグレーとなり、便所窓がすべて白塗りとなるなどマイナーチェンジが見られる。
★オハフ62は車掌室側のテールライトが点灯（ON／OFFスイッチ付）。室内灯は幅狭に対応。
★車番・標記は印刷済で、所属標記は「札ムロ」。車番は1975年12月14日、国鉄蒸機最後の旅客列車となった室蘭本線225レに使われたものとしてあり、C57 135と併せての同列車の再現も意図されているようだ。行先サボステッカーもそれに対応する「岩見沢行」が付属。

【価格】
●**塗装済完成品**
4輌セット：13,125円

〔セット内容〕
■オハフ62 10+オハ62 119+オハ62 105+オハフ62 13



12系（JR東日本仕様）

〔KATO〕

★KATOの12系に、ごく近年の仕様が加わった。
★JR化後、客車列車の減少とともに12系も多くが廃車されたが、JR東日本高崎車両センターには未だオリジナル塗色の6連が在籍し、各地のイベント列車などで活躍を続けている。
★モデルは同社製12系客車のバリエーション品で、この現存する6輌の仕様としたもの。両端のスハフ12は妻面窓が縦長の後期型100番代となる。またHゴムは側面が黒、妻面はスハフ12 161は黒、スハフ12 162はグレーとなっている。
★テールライト点灯。編成両端のカプラーはKATOナックルカプラーに改められ、交換用アーノルトカプラーが付属する。中間カプラーは台車マウントのKATOカプラーN JP B。
★車番・標記は実車に即して印刷済。号車番号、方向幕、列車愛称名サボ、反射板を収録したステッカーが付属。

【価格】
●**塗装済完成品**
6輌セット：10,290円

〔セット内容〕
■スハフ12 161+オハ12 369+オハ12 368+オハ12 367+オハ12 366+スハフ12 162

12系お座敷客車「江戸」「やすらぎ」「ナコ座」「カヌ座」+「サロン佐渡」〔マイクロエース〕

★1980年代中ごろから90年代まで鉄道界の注目の的だったジョイフルトレイン。このたびマイクロエースから12系お座敷客車5車種が一挙登場。

★「江戸」は1985年品川客車区に、「やすらぎ」は1986年高崎運転所に登場。それまでのお座敷列車にはない、展望サロン付きで話題を呼んだ車輌。

★「ナコ座」は1983年に名古屋車両区、「カヌ座」は1981年に上沼垂運転区に登場。12系の基本スタイルを踏襲しつつも、「ナコ座」には開放式展望デッキを設け、「カヌ座」はサロンカーの「サロン佐渡」オロ12-706を組み込み、共に個性豊かな編成。

★それぞれ、ドア・窓埋め、窓拡大など改造箇所を専用ボディで再現。また室内インテリアも展望サロン、お座敷部分も造り分けされている。

★「カヌ座」+「サロン佐渡」のみテールライトON/OFFスイッチが付き、付属品は全てのセットに方向幕、トレインマークシールが付属する。

【価格】

●塗装済完成品

「江戸」6輌セット　：15,750円
「やすらぎ」6輌セット　：15,750円
「ナコ座」6輌セット　：15,750円
「カヌ座」7輌セット　：18,375円

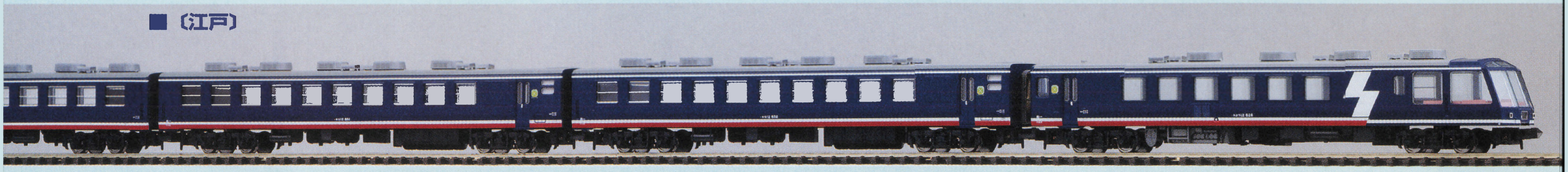
〔セット内容〕

■「江戸」：スロフ12 825+オロ12 849+オロ12 850+オロ12 851+オロ12 852+スロフ12 826

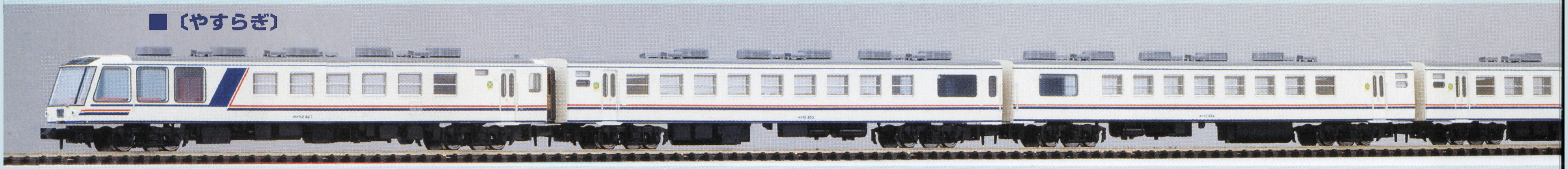
■「やすらぎ」：スロフ12 827+オロ12 853+オロ12 854+オロ12 855+オロ12 856+スロフ12 828

■「ナコ座」：スロフ12 915+オロ12 829+オロ12 830+オロ12 831+オロ12 832+スロフ12 916

■「カヌ座」：スロフ12 805+オロ12 809+オロ12 810+オロ12 811+オロ12 706+オロ12 812+スロフ12 806

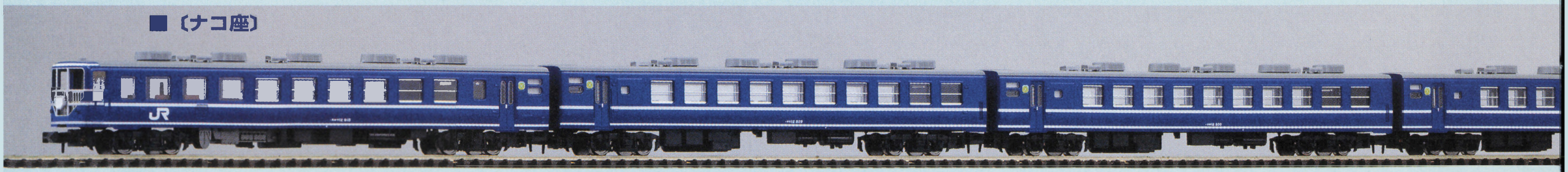


■〔江戸〕



■〔やすらぎ〕

■〔カヌ座〕+〔サロン佐渡〕



■〔ナコ座〕

14系15形〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから!
33000328（スハネフ15）

★TOMIXから14系15形がリニューアルされ再登場。

★モデルは通路側の埋め込まれた洗面所窓を再現、扉、方向幕のHゴムはグレーとした近年の仕様をなプロトタイプとしている。

★足廻りは、近年の同社製品と同じく新集電機構と黒染車輪を採用、スハネフ15にはダミーカプラーと交換用台車枠が付属。

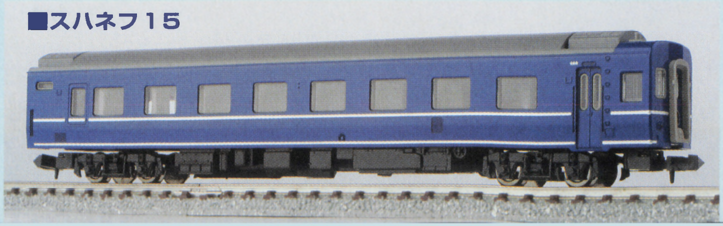
★スハネフ15のみにトレインマークシールと車番インレタが付属。トレインマークシールは内貼り式で〈あかつき〉〈はやぶさ〉〈さくら〉〈だいせん〉〈彗星〉〈明星〉〈富士〉〈みずほ〉〈ちくま〉急行、臨時、団体が入る。

【価格】

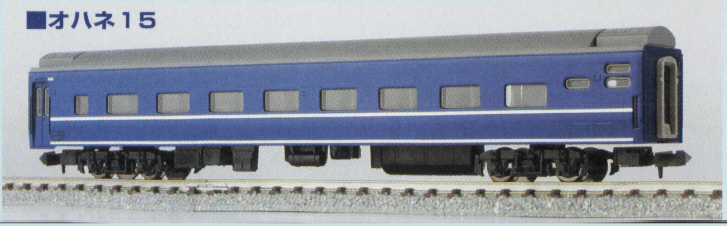
●塗装済完成品

スハネフ15：2,205円
オハネ15　：1,575円

■スハネフ15



■オハネ15



わたらせ渓谷鐵道 わ01形「サロン・ド・わたらせ」
〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
31000371

★「やすらぎ」の発売とともに、その譲渡後の現在の姿である「サロン・ド・わたらせ」仕様も同時発売となった。
★2001年に引退した「やすらぎ」をわたらせ渓谷鐵道が譲り受け、特別列車用として改装して就役させた「サロン・ド・わたらせ」は、当初両端の2輌のみが就役したが、トイレがないことから中間車を追加し、現在は3連で活躍中。
★模型の仕様は「やすらぎ」とほぼ同一で、黄色や青を大胆に使った塗色が目を引く。
★方向幕、トレインマークシールが付属。

【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：9,240円

〔セット内容〕
■わ01-827＋わ01-855＋わ01-828

12系「SLばんえつ物語」(新塗装)
〔KATO〕

★2007年春の運転開始に合わせ、リニューアルされた「SLばんえつ物語」号の新塗装客車編成が登場。
★模型でも実車に合わせ、塗装はもとより、室内インテリアに至るまで変更。中間展望車のオハ12 1701のカウンターがオハ12 316に移った後のフリースペース、オハ12 316のカウンターと封鎖された背面の窓を再現している。
★カプラーは中間がKATOカプラーN、編成両端部がナックルカプラーを標準装備。付属するシールに号車札、方向幕、後部円形反射板を収録。またC57 180用前面ヘッドマークも2種類付属する。

【価格】
●塗装済完成品7輌セット
：15,225円

〔セット内容〕
■スハフ12 101+オハ12 313+オハ12 314+オハ12 1701+オハ12 316+オハ12 315+スハフ12 102

14系お座敷客車「ゆとり」
〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
33000313

★2008年3月に引退となったJR東日本の14系700番代「ゆとり」がKATOからリリース。以前同社から発売された「サロンエクスプレス東京」を元にしたバリエーション展開だ。
★実車が1997年に「ゆとり」へと改造された際にアレンジが加えられたスロフやオロ14 705の窓配置を模型でも再現しサロンエクスプレスと作り分け。さらにコンパートメント中心の構成から畳敷きへと「転身」を図った内装もちゃんと楽しめる。
★スロフ両端にナックルカプラーを装備。付属パーツを使えばアーノルトやダミーカプラーに変更することも可能。
★テールサインとテールライトがLEDで点灯する。ただしテールライトの光量はかなり控えめ。
★「ゆとり」テールマーク、側面表示、号車番号、最後尾反射板を収録したシールが付属。

【価格】
●塗装済完成品
6輌セット：12,075円

〔セット内容〕
■スロフ14 701＋オロ14 701＋オロ14 703＋オロ14 704＋オロ14 705＋スロフ14 702

24系「さよなら銀河」

〔TOMIX〕

★2008年3月ダイヤ改正をもって姿を消した寝台急行〈銀河〉の最終日、3月14日大阪発上り列車をプロトタイプとしたセットが登場。

★収録される車輌は全て当日のものとし、車番も印刷済。オハネフ25 0番代後期型、オロネ24の非常扉埋め込みは新規金型で再現。また全車黒Hゴム表現としている。

★JRマーク印刷済。編成端部のオハネフとカニには〈銀河〉のトレインマークが内側から印刷される。

★客車のインテリアは全て新規で起こされ、2段開放式A寝台、2段開放式B寝台のそれぞれの違いも楽しめる。さらには電源車機関部までも再現している。

★牽引機は田端機関区のEF65 1112号機。先に登場の東京機関区仕様と同じく屋上は黒色となるが、黒Hゴム、黒染め車輪、前面ひさしクリーム色、JRマーク印刷済と近年の同機関区の仕様とし、区名札は「田」、検査標記は「15-2土崎工」を精密に印刷で再現している。

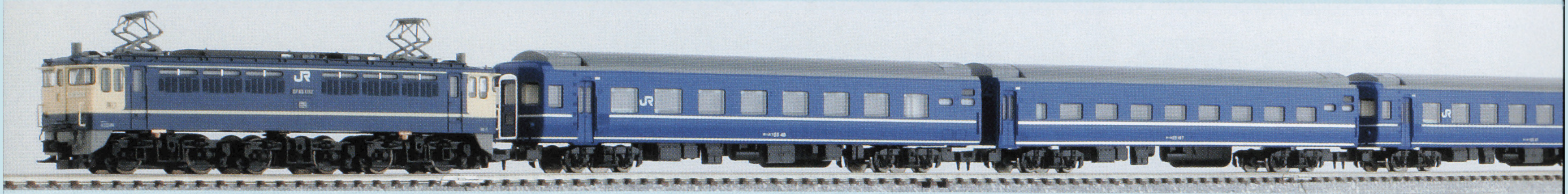
★付属品にはEF65 1000番代のユーザー取付パーツ一式のほか、幻の〈銀河〉ヘッドマーク、同列車の歴史解説の小冊子が含まれ、イラストをあしらった特製化粧箱が用いられる。

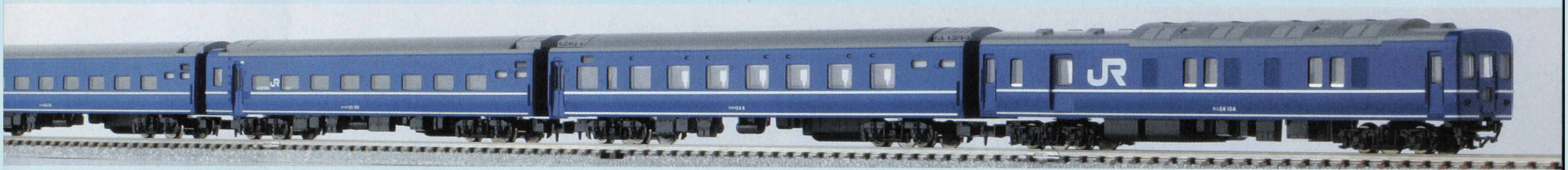
〔価格〕

●塗装済完成品
10輌セット：27,090円

〔セット内容〕

■EF65 1112（M）＋オハネフ25 46＋オハネ25 167＋オハネフ25 47＋オハネ25 207＋オハネ25 161＋オハネ25 191＋オハネフ25 150＋オロネ24 6＋カニ24 104





24系25形〈夢空間北斗星〉EF81・24系25形〈夢空間〉

〔TOMIX〕

★1988年の登場以来、その豪華な設備から多くの人々の旅情をかき立ててきた国内最高の寝台客車〈夢空間〉がTOMIXよりNゲージ化。

★モデルはオシ25 901「ダイニングカー」、オハフ25 901「ラウンジカー」、オロネ25 901「デラックススリーパー」の3輌に加え、寝台特急〈北斗星〉向けの24系25形をアソート。通常品〈夢空間北斗星〉7輌セットと、EF81が同梱される限定品〈夢空間〉6輌セットの2種類をラインナップ。

★〈夢空間〉3輌はすべて新規製作。増設された床下のタンクや試験的なイメージを持つ車体のカラーリング、オシ25端部の大きな展望窓から見える豪華ダイニングなどを魅力的に再現。

★7輌セットには50系客車をベースに製造された珍車マニ24 500番代が付属。こちらも新規製作となる。

★限定セットのEF81はJRマーク印刷済で、側面の星が通常よりも下に描かれた98号機をモデルとした特別仕様。

★時代によって若干異なるオシ25のグリーンの色調とオハフ25の床下カラーを通常／限定でそれぞれ作り分け。前者は現行、後者が登場時の形態となっている。

★カニ、マニ、オシのテールライト及びトレインマークはLEDによる点灯式。さらにダイニングカーのテーブルランプが標準で灯る。

★〈夢空間〉各車を除き車番はインレタを使用。

〔価格〕

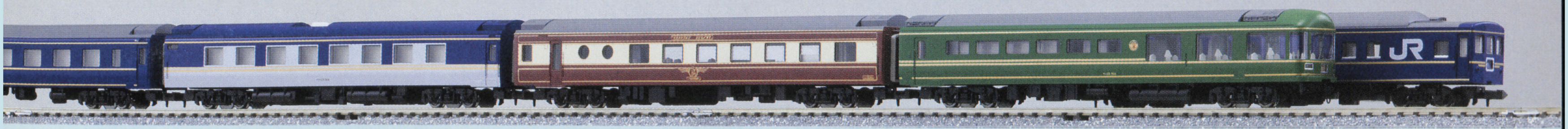
●塗装済完成品
夢空間北斗星
7輌セット
：17,325円
EF81・夢空間
7輌セット
：22,050円

〔セット内容〕

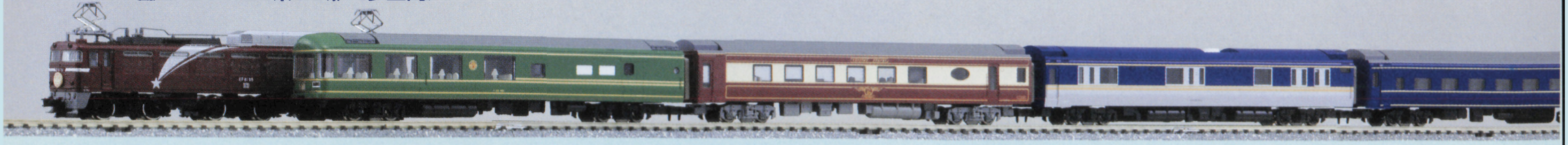
■夢空間北斗星：オシ25 901＋オハフ25 901＋オロネ25 901＋オロネ25 500＋オロハネ25 500＋オロハネ24 550＋マニ24 500

■EF81・夢空間：EF81 98（M）＋カニ24 500＋オハネフ25 200＋オハネ25 100＋オロネ25 901＋オハフ25 901＋オシ25 901

■〈夢空間北斗星〉



■EF81・24系25形〈夢空間〉

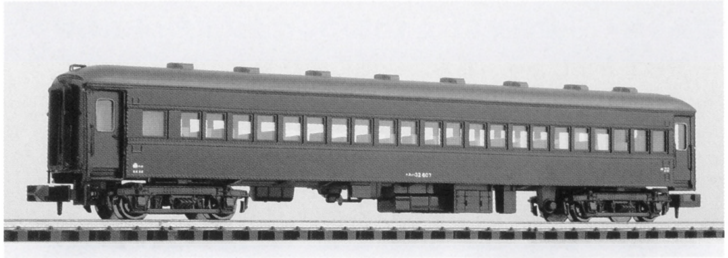


エキスパート編

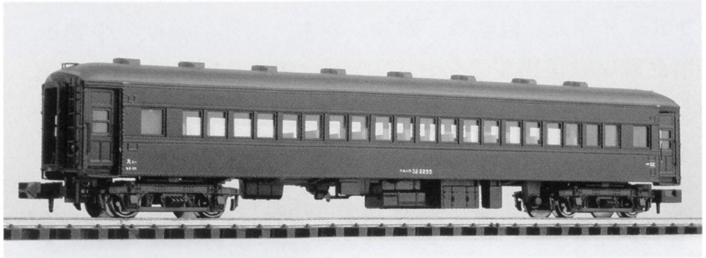
●BONA FIDE PRODUCT

電車のみではなく近年は客車も得意としているBONA FIDE PRODUCT。エッチングの柔軟性を生かした細かいバリエーション展開が強みである。

▶マヤ34後期型(2008・2009)
軌道検測用客車として10輌が製造されたマヤ34のうち、後期に製造された2008・2009は、中期製造のグループとはルーバーや扉などに異なる部分が多くなっている。キット：9,030円。



▲スハ32　1929年にスハ32600形として登場したスハ32系は、その後の国鉄客車の標準スタイルとなり全国で大活躍した。KATO製オハ35系の屋根・下廻りを使用するコンバージョンキットとなる。キット：3,360円。



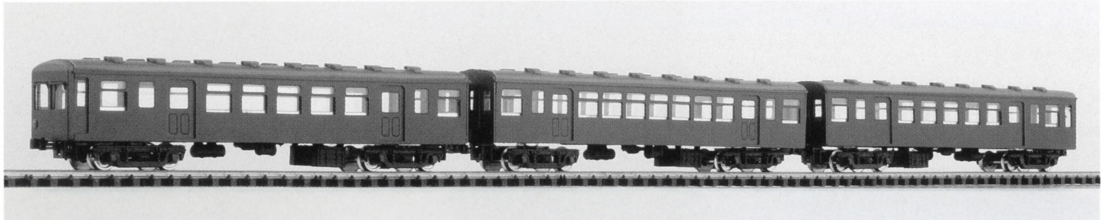
▲スハフ32　デッキ部分はメタルパーツで含まれており、複雑な造形が的確に再現されている。スハフ32は種車の構造を生かし、テールライトを点灯式とすることも可能。キット：3,465円。

▲マニ36　おびただしいバリエーションが存在するマニ36のうち、スハ32を松任工場で改造したグループ。側面の一部にスハ32の狭窓が残ったスタイルである。キット：3,465円。

▲マニ37　スロフ53を改造して登場したグループ。KATO製品のコンバージョンキットで、デッキ部分がメタルパーツで含まれる点や、シル・ヘッダーが別貼りで立体的に再現される点なども、同社お得意の構造。キット：3,045円。

●南洋物産

透明アクリル板ボディキットで、一風変わった製品をリリースする南洋物産からは、異色のバス窓客車がリリースされた。



▲江若鉄道オハ1900・1910タイプ　1957年に木造客車の鋼体化によって誕生した客車で、ノーシル・ノーヘッダーの車体にバス窓が並んだ特異なスタイル。ラッシュ時や海水浴臨に活躍した。キット：1輌　2,310円　4両セット　8,820円。

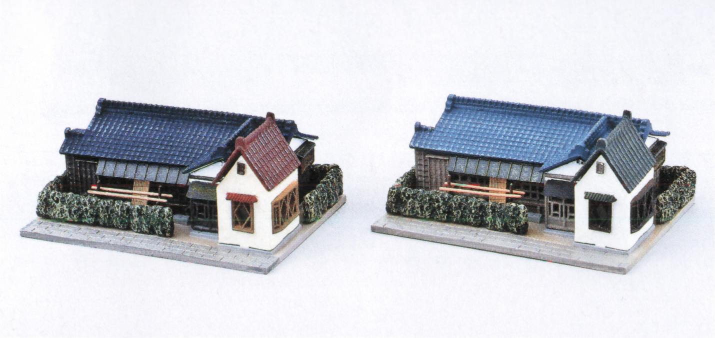
1/150 コレクタブルアイテム 2008

TEXT：RMM ／ PHOTO：トミーテック、青柳 明（RMM）、羽田 洋、服部佳洋

ここ数年、絶えずラインナップを拡大し続けてきた1/150コレクタブルアイテム。自動車、建物、樹木、人形、種々の小物と、その製品群は鉄道模型アクセサリー類全般に及びつつあり、レイアウト・ジオラマを引き立てるスパイスとしてもすっかりお馴染みの存在となりました。本項では、イベント限定品など一部の特殊な製品を除く、一般販売された1/150コレクタブルアイテムの数々を一望してみましょう。なお、一部に本誌発売の時点ですでにメーカー在庫のない製品もございます。あらかじめご了承ください。

TOMYTEC 街並みコレクション 第2弾R（住宅編）

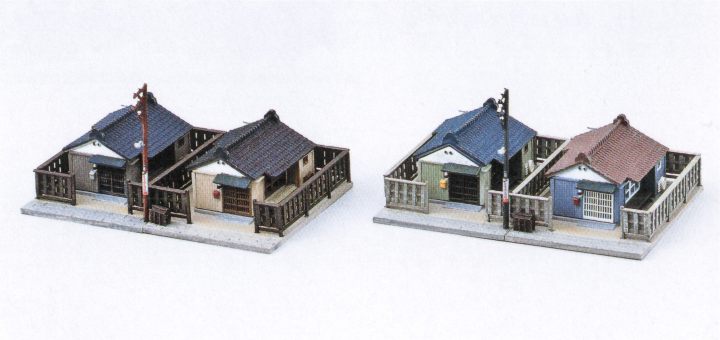
同シリーズ第2弾に色替えリニューアルを施したもの。生活感あるシーンに欠かせない住宅を中心としたラインナップで、それぞれ信号機が1本付属する。
◎ブラインドパッケージ（全12種）／2008年8月発売：各525円



▲洋館つき和風住宅

▲医院

▲長屋



▲木造平屋住宅

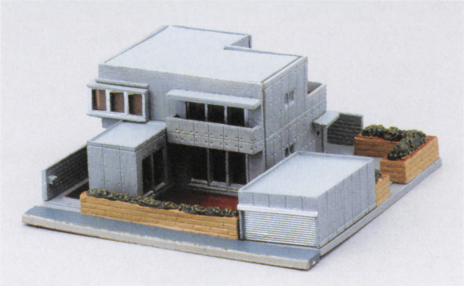
▲角店（雑貨屋）

▲角店（飲食店）

TOMYTEC　建物コレクション　現代住宅

1970・80・90年代、それぞれの時代を反映した住宅たち。いずれもゆったりした敷地を持つ建物で、中身のわかるオープンパッケージ販売である。
◎オープンパッケージ（5種）／2008年3～4月発売：各1,575円

▲現代住宅Ａ　洋瓦の家



▲現代住宅Ｂ　コンクリート打ちっぱなしの家

▲現代住宅Ｃ　大型二世帯の家

▲現代住宅Ｄ　陸屋根の家

▲現代住宅Ｅ　出窓のある洋風の家

TOMYTEC　建物コレクション　狭小住宅

1階に駐車場を配し、狭い敷地を最大限に利用した現代的な3階建て住宅。それぞれ2軒で塗装やディテールが異なり、同型の住宅が並んだ街並みも手軽に再現できる。
◎オープンパッケージ(2種各2軒入)／2008年5月発売：1,029円

▲狭小住宅Ａ・切妻屋根の家

▲狭小住宅Ｂ・平屋根の家

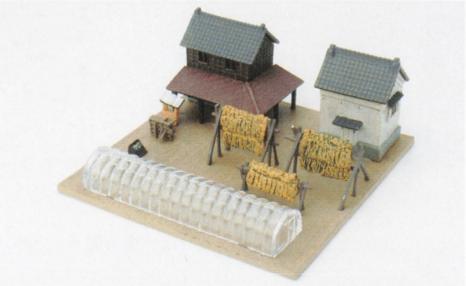
TOMYTEC　建物コレクション（リニューアル）　農家&町工場

2006～2007年に発売された製品の色替えリニューアル品で、オープンパッケージ販売。いずれも充実した小物が同梱されており、効果的に配置したい。
◎オープンパッケージ
／2008年7月発売：各1,155円

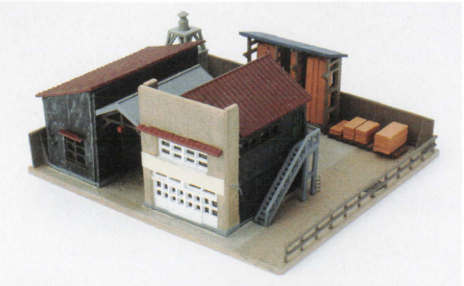
▲農家A2　雪国のわらぶき農家（農家Ａの色替え品）

▲農家B2　青いトタン屋根の農家（農家Ｂの色替え品）

▲農家C2　真壁の塀のある近郊農家（農家Ｃの色替え品）



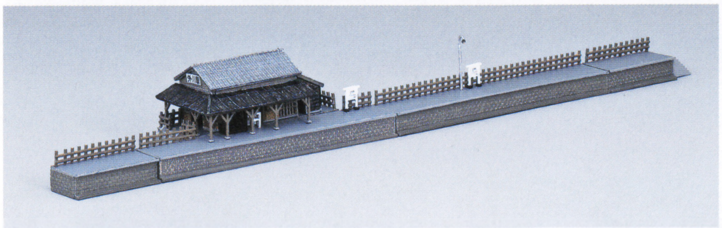
▲農家F2　農家を彩る小物たち（農家Ｆの色替え品）

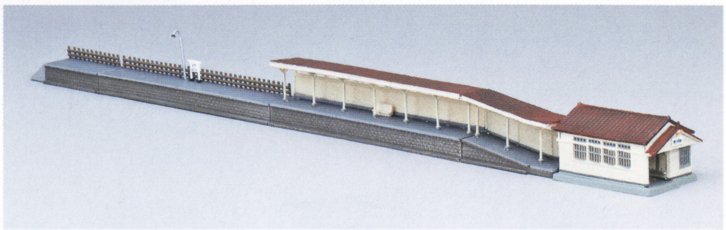


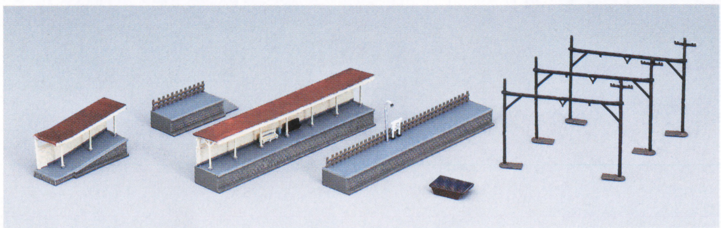
▲町工場A2　木工製材所（町工場Ａの色替え品）

TOMYTEC 建物コレクション 駅

駅舎・ホームを中心に、小規模な駅施設をトータルにモデル化。TOMIX ファイントラックレール規格に準拠した設計で、お座敷運転へも簡単に導入できる。駅 C は色違いの 2 種（C1・C2）が存在する。
◎オープンパッケージ（5 種）／2008 年 8 月発売


▲駅 A　木造の田舎風駅舎とホーム：1,575 円

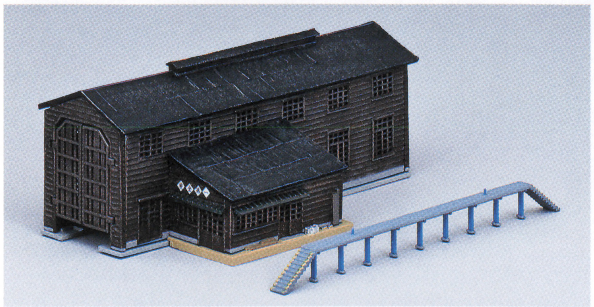

▲駅 B　都市近郊風駅舎とホーム：1,575 円


▲駅複線化対応ホームセット 1：1,575 円

▲駅 C1 ／ C2　石造りの農業倉庫と貨物ホーム（左が C1）：各 1,260 円

TOMYTEC 建物コレクション 電車庫

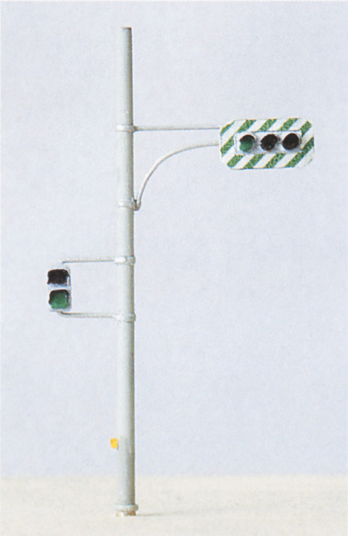
20m 級車輌 1 輌分の小さな木造電車庫。入口の扉は開閉状態を選択可能。後方の壁は取り外し式で、調整次第で連結し規模を広げることもできる。車庫の情景を演出する洗車台が付属。
◎オープンパッケージ（色違い 2 種）
／2008 年 8 月発売：1,575 円

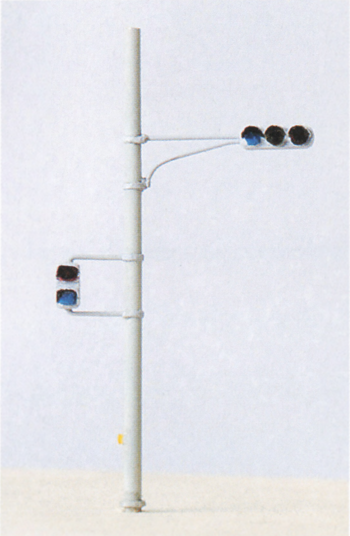

◀電車庫 A1

▶電車庫 A2

TOMYTEC 情景コレクション情景小物 信号機

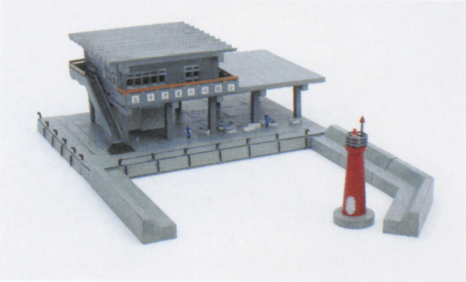
ゼブラ模様の入った 1960 年頃のタイプ、すっきりとした 1990 年頃のタイプの 2 種をモデル化。いずれも青・赤点灯各 4 本入で、専用ベース・ステッカーの他に付近に配置する制御機も同梱。
◎オープンパッケージ（2 種各 4 本入）
／2008 年 10 月発売：各 819 円


▲015　信号機 A（1960 年頃タイプ）

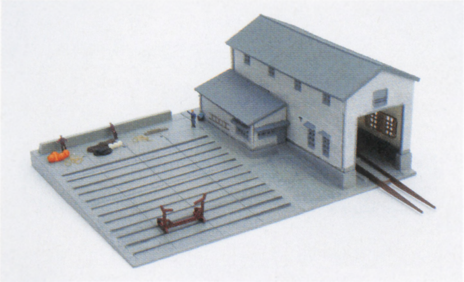

▲016　信号機 B（1990 年頃タイプ）

TOMYTEC 建物コレクション 漁港

磯の香り漂う港のストラクチャー。ベース部には岸壁や防波堤が表現され、漁港ならではの小物も種々付属。人形の配置で活気ある港を再現したい（3 種共にフィギュア各 4 体付属）。
◎オープンパッケージ（3 種）／2008 年 9 月発売


▲漁港 A（水揚げ場・漁協事務所）：3,675 円

▲漁港 B（魚市場・食品加工場）：3,150 円


▲漁港 C（造船所・陸揚げ場）：3,150 円

TOMYTEC 情景コレクション　情景小物 漁船

「漁港」との組み合わせに好適な小型漁船。サイズ、形態の違う 3 種があり、アクセサリーパーツもそれぞれ異なる。配置の際は水の表現も腕の見せ所となろう。
◎オープンパッケージ（3 種）／2008 年 9 月発売：各 819 円

▲009　漁船 A（底引き網）

▲010　漁船 B（一本釣り）

▲011　漁船 C（刺し網）

TOMYTEC 建物コレクション お寺

「神社」に続いて「お寺」もジオコレの製品群に加わった。こちらは全体で 1 セットではなく本堂、鐘楼・楼門、五重塔の 3 種に分けての発売で、よりフレキシブルな遊び方が可能。五重塔はレイアウト・ジオラマのランドマークともなり得よう。◎オープンパッケージ（3 種）／2008 年 12 月発売

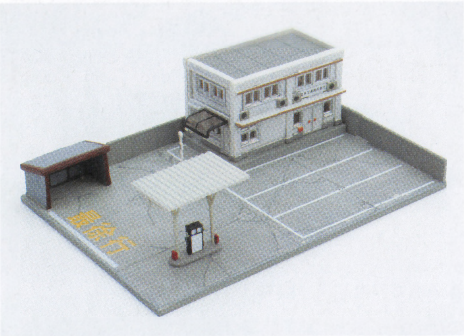
▲お寺 A（本堂）：2,625 円

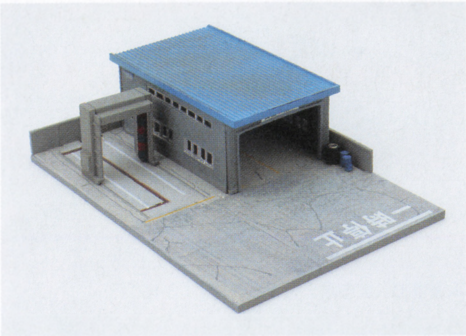
▲お寺 B（鐘楼・楼門）
鐘楼（鐘つき堂）・楼門・手桶かけ等：2,625 円

▲お寺 C（五重塔）：3,675 円

TOMYTEC 建物コレクション　バス営業所

「ザ・バスコレクション」のディスプレイ用としても好適なバス営業所。２種の製品を組み合わせることで、ひとつの営業所が出来上がるつくりになっている。
◎オープンパッケージ／2008年9月発売：各1,260円

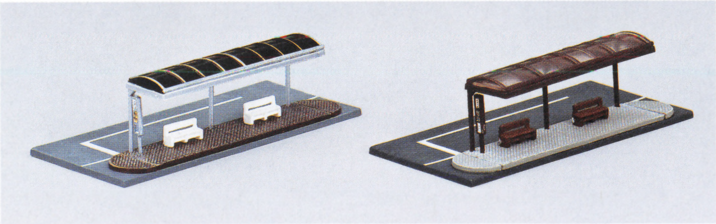

▲バス営業所A（事務所兼待合所、自転車置き場、給油機付）

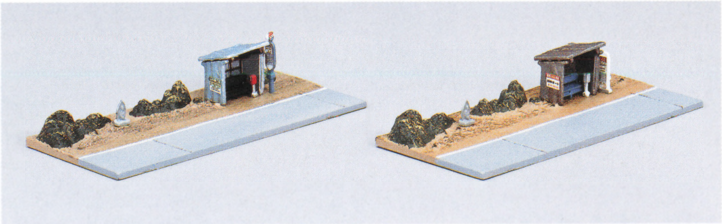

▲バス営業所B（洗車機、車庫２台分、ドラム缶等付）

▲AとBを連結した使用例（バスは製品に含まれません）

TOMYTEC 情景コレクション情景小物　バス停

都会的な屋根･安全地帯付きのタイプ、田舎ふうのトタン張り待合小屋を持つタイプの２種のバス停を製品化。「田舎型」にはお地蔵さんや吸殻入れも付属する。
◎オープンパッケージ（各色違い２セット入）／2008年9月発売：各609円


▲007　バス停A（都市型）


▲008　バス停B（田舎型）

TOMYTEC 情景コレクション　情景小物　駅前・公園

駅前広場や公園を演出する置物をセット化。いずれもおまけとしてベンチが付属する。実物をよく観察して、それらしく配置してやりたいところ。
◎オープンパッケージ／2008年9月発売：各819円

▲012　駅前・公園A（時計台・噴水・駐車場料金所・ベンチ）

▲013　駅前･公園B（看板･公衆便所･水飲み場･モニュメント・銅像・ベンチ）

▲014　駅前･公園C（遊具･東屋･パーゴラ･花壇２種･ベンチ）

TOMYTEC 情景コレクション情景小物　屋台

情感溢れる昭和時代の情景を再現するのに最適なアクセサリー。各製品にベース・ブロック塀が付属するほか、それぞれの情景に合わせたアクセサリーや人形４体が付属する。
◎オープンパッケージ／2008年11月発売：各819円

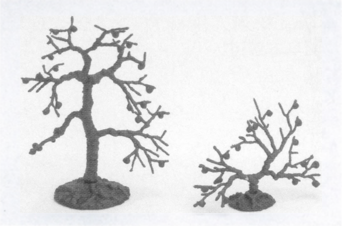
▲017　屋台A（おでん屋）

▲018　屋台B（ラーメン屋）

▲019　屋台C（焼き芋屋）

TOMYTEC 情景コレクション　ザ・樹木

塗装済の幹・枝にフォーリッジ（「柿」を除く）を接着して仕上げる樹木キット。レイアウトの近景に、ミニジオラマの彩りにも好適なアイテムだ。なお014はフォーリッジのみの３色詰め合わせで、幹や枝は付属しない。
◎オープンパッケージ（大小各１本入、014は３袋入）／2008年10月発売：各609円


▲011　カキ

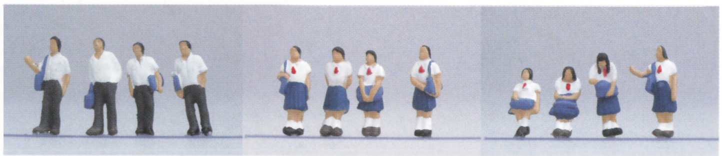
▲012　モミジ

▲013　イチョウ

▲014　フォーリッジA（木の葉）

TOMYTEC 情景コレクション　ザ・人間

日本の風景によく馴染むアイテム選定が魅力の1/150フィギュア。数が必要な場合が多いだけに、リーズナブルさも嬉しい。基本的に12体で１セットのオープンパッケージ。
◎オープンパッケージ（各12体入）：各525円


▲022 学生（夏服）2008年３月発売

▲023 学生（冬服）2008年３月発売

▲024 神社の人々　2008年６月発売

▲025～027　佇む人々（色違い３種）　2008年９月発売

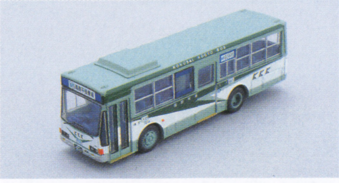
▲028　お寺の人々　2008年12月発売

TOMYTEC ザ・バスコレクション第11弾

1984年に登場したいすゞキュービックと1996年に登場した西日本車体工業（西工）96MCボディを架装した日産ディーゼルUA452ワンステップ車を製品化している。
◎全12種＋シークレット1種／ブラインドパッケージ／2008年4月発売：各525円

▲【シークレット】No.S019 いすゞキュービックL尺中期型　多摩バス

▲No.121 いすゞキュービックK尺初期型 東京都交通局


▲No.122 いすゞキュービックK尺初期型 国際興業

▲No.123 いすゞキュービックK尺初期型 山梨交通

▲No.124 いすゞキュービックK尺初期型 新潟交通

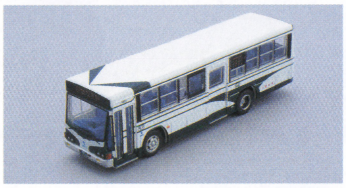
▲No.125 いすゞキュービックK尺初期型 京都市交通局

▲No.126 いすゞキュービックK尺初期型 大阪市交通局

▲No.127 いすゞキュービックL尺中期型 京成バス

▲No.128 いすゞキュービックL尺中期型 京王電鉄バス

▲No.129 いすゞキュービックL尺中期型 西東京バス


▲No.130 いすゞキュービックL尺中期型 三重交通

▲No.131 西工96MCワンステップ 西武バス

▲No.132 西工96MCワンステップ 西日本鉄道

TOMYTEC ザ・バスコレクション第12弾

1970年～80年代に活躍したモノコック構造のバス、日野RC路線バスと日野RV高速・観光バスを製品化している。
◎全12種＋シークレット1種／ブラインドパッケージ／2008年8月発売：各525円

▲【シークレット】No.S020 日野RC 国鉄バス

▲No.133 日野RC 京浜急行電鉄

▲No.134 日野RC 京王帝都電鉄

▲No.135 日野RC 名古屋市交通局

▲No.136 日野RC 京阪バス

▲No.137 日野RC 奈良交通

▲No.138 日野RC 広島電鉄

▲No.139 日野RC 土佐電気鉄道

▲No.140 日野RV 十勝バス

▲No.141 日野RV 岩手県北バス

▲No.142 日野RV 富士急行

▲No.143 日野RV 伊予鉄道

▲No.144 日野RV 国鉄バス

TOMYTEC ザ・トラックコレクション第4弾

4軸低床の大型トラックとバス型のフロントマスクを持つはしご消防車を製品化。コンテナは取り外し可能で、クレーン付きトラックのクレーンやはしご車のはしごはギミックを持つ。
◎全12種＋シークレット1種／ブラインドパッケージ／2008年5月発売：各525円

▲【シークレット】No.S04 日本機械工業「スカイアクションラダー」はしご車 消防署配備塗装

▲No.037 日産ディーゼルクオン31フィートコンテナトラック 日本通運「日通エコライナー31」

▲No.038 日産ディーゼルクオン4軸低床ウィングバン 日本通運

▲No.039 いすゞギガ31フィートコンテナトラック 佐川急便

▲No.040 日野プロフィア4軸低床パネルバン 佐川急便

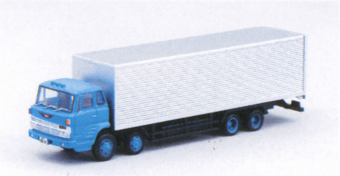
▲No.041 日野プロフィア 31フィートコンテナトラック北海道西濃運輸

▲No.042 日野プロフィア4軸低床ウィングバン 西濃エキスプレス

▲No.043 いすゞギガ31フィートコンテナトラック 全国通運

▲No.044 いすゞギガ4軸低床ウィングバン 一般営業用

▲No.045 いすゞギガ クレーン付き平荷台トラック 一般営業用


▲No.046 日野KS 4軸パネルバン 一般営業用

▲No.047 日野KS クレーン付き平荷台トラック 一般営業用

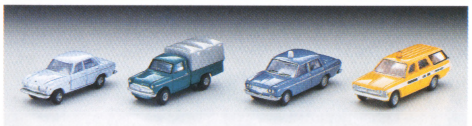
▲No.048 日本機械工業「スカイアクションラダー」はしご車

TOMYTEC ザ・カーコレクション

基本セット
◎4台セット3種／オープンパッケージ／2008年11月発売：各1,050円

▲基本セットA　トヨペット・コロナ、ダットサン・ブルーバード、日産セドリック、プリンス・グロリア

▲基本セットB　トヨタ・セリカXX、日産スカイライン、トヨタ・マークⅡ、日産セドリック・タクシー


▲基本セットC　プリンス・スカイラインGT、ダットサン・トラック、トヨペット・クラウン・タクシー、トヨペット・クラウン道路パトカー

Vol.5
◎全12種（同車種の色違い2台セット）＋シークレット4種／ブラインドパッケージ／2008年1月発売：各483円

▲【シークレット】三菱ふそうキャンター・パネルバン・カタログ仕様、日野デュトロ幌付き平荷台（青緑色）

▲【シークレット】いすゞエルフ清掃車（青色）、トヨタ・ハイエース病院救急車

▲三菱ふそうキャンター（冷凍冷蔵車、パネルバン）

▲日野デュトロ平荷台トラック

▲いすゞエルフ（清掃車、バキュームカー）

▲トヨタ・ハイエース（救急車、事故処理車、バン）

Vol.6（コンパクトカー編）
◎全12種（同車種の色違い2台セット）＋シークレット4種／ブラインドパッケージ／2008年9月発売：各504円

▲【シークレット】ホンダ・フィット（黄色）、日産マーチ・パトカー

▲【シークレット】マツダ・デミオ（紫色）、トヨタ・ヴィッツ（赤色）

▲マツダ・デミオ

▲日産マーチ

▲ホンダ・フィット

▲トヨタ・ヴィッツ

京商 1/150 スケールダイキャストバスシリーズ

ダイキャストという素材を活かした美しく艶やかな塗装が魅力の京商 1/150 スケールダイキャストバスシリーズは、続々とラインナップを拡大。ディスプレイ台とコレクションカードが付属。
◎オープンパッケージ／各 735 円

▲ No.019-1 日野セレガ ハイデッカ 三倭観光バス

▲ No.020-1 日野セレガ ハイデッカ 京阪バス

▲ No.022-1 いすゞガーラ ハイデッカ 都営観光バス（イチョウ）

▲ No.013-1 日野セレガ スーパーハイデッカ　アルピコハイランドバス

▲ No.014-1 日野セレガ ハイデッカ 東京シティ観光バス

▲ No.015-1 いすゞガーラ スーパーハイデッカ　はとバス

▲ No.016-1 日野セレガ ハイデッカ 諏訪バス

▲ No.017-1 日野セレガ ハイデッカ 東武バスウエスト

▲ No.018-1 いすゞガーラ ハイデッカ 東京ヤサカ観光バス

▲ No.030-1 日野セレガ ハイデッカ 神姫バス

▲ No.031-1 日野セレガ ハイデッカ 空港リムジンバス

▲ No.029-1 いすゞガーラ ハイデッカ 京成バス

▲ No.025-2 いすゞガーラ ハイデッカ 国際興業観光バス

▲ No.034-1 日野セレガ ハイデッカ 近鉄バス

▲ No.006-2 日野セレガ ハイデッカ JR 東海バス

▲ No.008-2 いすゞガーラ ハイデッカ 西日本 JR バス

▲ No.028-1 日野セレガ ハイデッカ 京浜急行バス

▲ No.032-1 日野セレガ ハイデッカ 阪急バス

▲ No.022-2 いすゞガーラ ハイデッカ 都営観光バス（サクラ）

▲ No.033-1 日野セレガ ハイデッカ 南海バス

▲ No.036-1 日野セレガ ハイデッカ 名鉄バス

▲ No.035-1 いすゞガーラ ハイデッカ 三重交通バス

▲ No.038-1 日野セレガ ハイデッカ JR バス関東

▲ No.001-2 日野セレガ ハイデッカ エアポートリムジンバス

▲ No.037-1 日野セレガ ハイデッカ 和歌山バス

▲ No.015-2 日野セレガ スーパーハイデッカ　はとバス

▲ No.040-1 いすゞガーラ ハイデッカ 北海道中央バス

▲ No.041-1 日野セレガ ハイデッカ 頸城自動車バス

▲ No.042-1 日野セレガ ハイデッカ 徳島バス

▲ No.043-1 日野セレガ ハイデッカ 四国交通バス

▲ No.044-1 日野セレガ スーパーハイデッカ　三岐鉄道バス

▲ No.045-1 日野セレガ ハイデッカ 遠鉄観光バス

▲ No.047-1 いすゞガーラ ハイデッカ 西武バス

京商　1/150スケールダイキャストバスシリーズ 路線バス2

コンビニエンスストア「サークルK」、「サンクス」で2008年7月に発売された、路線バスのみにテーマを絞った京商1/150スケールダイキャストバスシリーズ。ディスプレイ台とコレクションカードが付属。　◎全16種／ブラインドパッケージ／各480円

▲いすゞ BXD30（1966）
四国交通バス

▲日産ディーゼルK-U31K(1981)
高知県交通バス

▲日野 RB10（1966）
都営バス

▲いすゞ BU04D（1980）
国際興業バス

▲三菱ふそうエアロスター
MP37JK　小田急バス

▲三菱ふそうエアロスター
MP37JK　相模鉄道バス

▲三菱ふそうエアロスター
MP37JK　仙台市営バス

▲いすゞエルガ LV234L1
横浜市営バス

▲日野ブルーリボンⅡ
KV234L1　大阪市営バス

▲日野ブルーリボンⅡ
KV234L1　明石市営バス

▲日産ディーゼル UA452KAN
川崎市バス

▲日産ディーゼル UA452KAN
西東京バス

▲日産ディーゼル UA452KAN
都営バス

▲日野レインボー HR7JPAE
北海道中央バス

▲日野レインボー HR7JPAE
遠州鉄道バス

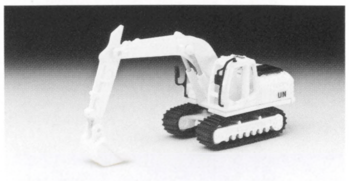
▲日野レインボー HR7JPAE
三岐鉄道バス

マルカ　ハイパーコンストラクション 第1弾

Nスケール建機コレクションモデル。基本的に下廻りはダイキャスト製、上廻りはプラスティック製で、アームなどはギミックを持つ。手スリなどの別パーツも付属。製造はアイコム。　◎全12種／ブラインドパッケージ／2008年9月発売：各420円

▲油圧ショベル
民間仕様

▲油圧ショベル
自衛隊仕様


▲油圧ショベル
海外派遣仕様

▲自衛隊重レッカー
自衛隊仕様

▲自衛隊重レッカー
海外派遣仕様

▲トラッククレーン
民間仕様

▲トラッククレーン
自衛隊仕様

▲ホイールローダ
民間仕様

▲ホイールローダ
自衛隊仕様

▲ホイールローダ
海外派遣仕様

▲タイヤローラー
民間仕様

▲タイタローラー
自衛隊仕様

貨　車
FREIGHT CARS

コンテナ車とタンク車が二大勢力となりつつある実際の貨物列車。Nゲージ製品でもこれらは人気の的で、多彩なコンテナや複雑に書かれた所有者名など、旅客車にはない魅力を持っている点も特徴的です。このジャンルを得意とする河合商会からは、タンク車の怒涛のバリエーション展開が見られ、マイクロエースは得意のセット販売で貨物「列車」の魅力に迫りました。

ベーシック編

タキ5450 〔河合商会〕

ホビダスショッピングはこちらから!
29000334（手ブレーキセット）
29000335（保土谷化学）
29000336（東ソー）
29000337（トクヤマ）
29000338（北海道曹達）
32000318（日産化学）
32000319（ソーダニッカ）
32000320（日本曹達）
32000321（旭硝子）
32000322（関西化成品）
32000323（日本陸運産業）
32000324（東亜合成）
32000325（日本石油輸送）
32000326（東北東ソー）
32000327（側ブレーキセット）

★25t積液体塩素専用車の標準形式、タキ5450。その非常に多いバリエーションが河合商会から堂々のリリース。
★圧巻の15種類リリースには、各事業者ごとのセットのほか、所有者違いの4輌が含まれる「手ブレーキタイプセット」「側ブレーキタイプセット」が用意され、各所有会社セットとは別の車番を設定される。
★台枠中央部付近に付く保安用石灰箱と液状カセイソーダ箱、またそこからハッチへとつながる管など、薬品輸送貨車らしいディテールを再現。
★タンク体の継ぎ目や手すりの形状などの細部を専用金型で作り分け。また黄色の塗色も仕様によって微妙に色合いに変化をつけている。
★北海道曹達仕様に含まれる2輌では製造年次による手ブレーキ仕様と側ブレーキ仕様の違いを再現。それぞれ台車も異なる。
★各車体標記類も常備駅などはもちろん検査標記まで緻密に再現。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット(2種)：各2,310円
3輌セット(6種)：各3,465円
4輌セット(7種)：各4,620円

〔セット内容〕
■手ブレーキタイプ4輌セット：タキ145484（日本陸運産業）＋タキ135475（保土谷化学）＋タキ115455（北海道曹達）＋タキ155476（日本石油輸送）
■保土谷化学工業3輌セット：タキ115486＋タキ115487＋タキ115488
■東ソー3輌セット：タキ135489＋タキ135498＋タキ145450
■トクヤマ3輌セット：タキ115454＋タキ115460＋タキ115498
■北海道曹達2輌セット：タキ115464＋タキ55463
■日産化学工業2輌セット：タキ65457＋タキ65484
■ソーダニッカ3輌セット：タキ85464＋タキ85465+タキ85468
■日本曹達3輌セット：タキ115471＋タキ75494＋タキ95474
■旭硝子3輌セット：タキ105458＋タキ85480＋タキ85481
■関西化成品輸送4輌セット：タキ105454＋タキ105492＋タキ75496＋タキ55463
■日本陸運産業4輌セット：タキ135456＋タキ135459＋タキ65479＋タキ65480
■東亜合成4輌セット：タキ145461＋タキ155464＋タキ75467＋タキ75468
■日本石油輸送4輌セット：タキ95499＋タキ135468＋タキ5486＋タキ125495
■東北東ソー4輌セット：タキ135471＋タキ125453＋タキ95456＋タキ75464
■側ブレーキ4輌セット：タキ85482（旭硝子）＋タキ75491（日本曹達）＋タキ85470（ソーダニッカ）＋タキ75495（関西化成品輸送）

■日産化学工業

■ソーダニッカ

■日本曹達

■旭硝子

■関西化成品輸送

■日本陸運産業

■東亜合成

■日本石油輸送

■東北東ソー

■保土谷化学工業

■トクヤマ

■東ソー

■北海道曹達

コキ50000＋コキ106（クールコンテナJOT）〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
32000398

★コキ50000＋コキ106セットには、日本石油輸送保有の冷凍コンテナUF15A 800番代をチョイス。実車の積載制限に則り、1輌における最大数である3個のコンテナを搭載。
★UF15A搭載コキ106のテールライトは何と点灯式。現用コンテナ車モデルの中では貴重なギミックと言える。
★エコライナー同様、片側台車にマイクロカプラーを標準装備。
★最後尾反射板とマイクロカプラー交換用のアーノルトが付属。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：3,360円

〔セット内容〕
■コキ51716＋コキ106-957

タキ7750 〔河合商会〕

★河合商会から35トン積カセイソーダ液及びカセイカリ液の専用タンク車が登場。
★実車は全長10m級の化学タンク車で、総数289輌が製造された。製造時期、所有者によって台車、ブレーキ、手スリ、鏡板、ハッチ廻りに違いがあり、多彩なディテールが興味をそそる。
★モデルでも形態差を再現。同じ所有者でも車番に応じて、ディテールを変えてある芸の細かさ。
★セットは所有会社ごとの2·3輌セット及び、同ブレーキ方式で所有者の違う車輌を1輌ずつアソートした、手ブレーキ4輌セットと側ブレーキ4輌セットの2種類も用意。車番はそれぞれ重複せず別車番となっている。
★最近の同社製品と同じく、別パーツの手スリの各部には白が塗られているほか、車体標記など検査票まで印刷済。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット(7種)：各2,310円
3輌セット(6種)：各3,465円
4輌セット(2種)：各4,620円

〔セット内容〕
■電気化学工業3輌セット：タキ47768＋タキ57755＋タキ17792
■保土谷化学工業3輌セット：タキ37780＋タキ17758＋タキ27753
■日本曹達3輌セット：タキ57768＋タキ57769＋タキ47785
■東ソー3輌セット：タキ57783＋タキ27795＋タキ37765
■東亞合成3輌セット：タキ57761＋タキ57762＋タキ47789
■呉羽化学3輌セット：タキ37768＋タキ17774＋タキ17775
■手ブレーキタイプ4輌セット：タキ57756（電気化学）＋タキ57764（日本曹達）＋タキ47791（東亞合成）＋タキ37770（呉羽化学）
■側ブレーキタイプ4輌セット：タキ17772（東ソー）＋タキ37752（東北東ソー）＋タキ17788（日産化学）＋タキ27779（保土谷化学）
■早川商事2輌セット：タキ37777＋タキ37778
■日産化学工業2輌セット：タキ17781＋タキ17783
■日本陸運産業2輌セット：タキ57781＋タキ57782
■日本石油輸送2輌セット：タキ27770＋タキ27771
■東北東ソー2輌セット：37751＋タキ47752
■トクヤマ2輌セット：タキ57773＋タキ7794
■ソーダニッカ2輌セット：タキ17750＋タキ17751

■電気化学工業

■保土谷化学工業

■日本曹達

■東ソー

■東亜合成

■クレハ

■早川商事

■日本陸運産業

■トクヤマ

■日産化学工業

■東北東ソー

■日本石油輸送

■ソーダニッカ

JR貨物コキ106（日本通運「エコライナー31」） 〔マイクロエース〕

★マイクロエースのコンテナ貨車シリーズに新たな展開。
★コキ106×2輌セットはグレー塗装の同形式に日本通運が保有するU47A「エコライナー31」31ft大型コンテナを2個ずつ搭載。
★片側台車にマイクロカプラーを標準装備。通常はセットのコキ同士を本カプラーで連結し、機関車や他の貨車とは反対側の台車に装備されるアーノルトを用いる仕組み。
★最後尾反射板とマイクロカプラー交換用のアーノルトが付属。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：3,360円

〔セット内容〕
■コキ106-210＋コキ106-216

JR貨物コキ106 〔KATO〕

★グレーの台枠が目を引くコンテナ車コキ106がKATOから登場。
★コキ106は1989年から製造されていたコキ104に代わり、海上コンテナ積載対応車として1997年に登場したもので、現在も量産の続くコンテナ車の主力形式となる車輌。
★製品は標準的なグレー塗装車の2輌セット。台枠はシースルーとされ、緻密なパイピングも抜かりなく再現。海上コンテナ対応の緊締装置もモールド表現される。
★製品はJRFレッドの19Dコンテナを5個ずつ積載し、ワンタッチで着脱が可能。特筆すべき点として、Nゲージ用12ftコンテナとしては初めて底板が再現され、また側面のキャッチコピーは2輌で違えてあるところも見所。
★別パーツで側面の手ブレーキハンドル、車端に取り付ける反射板が付属。なお反射板は着脱可能。
★各種標記は印刷済。コンテナはすべて異なる番号が振られている。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：3,465円

〔セット内容〕
■コキ106-685＋コキ106-572

■日本石油輸送

■日本オイルターミナル

タキ35000 〔KATO〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 32000396（日本オイルターミナル色）

★KATOから、今日も一部で活躍を続ける人気のタンク車、タキ35000が新登場。

★タキ35000は1966年から製造が開始された35t積み車。車輌メーカー各社の競争による規格の乱立を防止すべく、共同設計という形が採られ、どのメーカーの個体もほぼ同じ構造を持つのが特徴である。

★モデルは「日本オイルターミナル」「日本石油輸送」「日本陸運産業」の3様式をラインナップ。日本陸運産業は8輌セット、他2点は単品での発売となる。

★8輌セットはのタキはアメリカ軍横田基地への燃料輸送用として従事する通称「米タン」。タンクに印された軍用標準ジェット燃料を示す「JP-8」の標記も当然表現される。また、タンク上のハッチ付近にバルブを設け、単品販売品との細かな形態違いも演出。

★車体カラーリングはオイルターミナル：ブルー、日本石油輸送：半つや消し黒、米タン：つやあり黒で各種仕上げ。

★標記類は全て印刷済で、セットの車番はそれぞれユニークナンバーが割り振られる。

★黒染め車輪を標準装備。

【価格】

●塗装済完成品

日本石油輸送色 ：1,365円

日本オイルターミナル色 ：1,365円

日本陸運産業色8輌セット ：10,920円

〔セット内容〕

■タキ35822＋タキ35637＋タキ35634＋タキ35780＋タキ35824＋タキ35792＋タキ36021＋タキ35869

■日本陸運産業

ワム80000（280000番代／380000番代） 〔マイクロエース〕

★2軸貨車を代表する形式として現在でも活躍を続けるワム80000がマイクロエースより登場。

★製品のプロトタイプは1975年に登場した「走行安定対策車」と呼ばれる280000番代。軸距離の延長をはじめ、屋根色の変更とアルミ製引き戸の軽量化がなされた点が特徴。

★さらに、1991年に280000番代を基に走行抵抗を軽減するため平軸受からコロ軸受へと変更し、ファーストブルーと呼ばれる塗色へ変更された380000番代もラインナップ。

★280000番代では製造当初の屋根色と、後にとび色1色に塗られた2種類を再現。

★各製品では側扉中心が開くギミックを搭載、荷役状態を再現して楽しめる。また、特徴的な車端ブレーキ部の手スリは別パーツで表現されている。

★最後尾反射板が2個ずつ、それぞれのセットに付属。

【価格】

●塗装済完成品

15輌セット：各12,600円

〔セット内容〕

■280000番代：ワム284401＋ワム287324＋ワム282198＋ワム284991＋ワム282232＋ワム284085＋ワム280776＋ワム280605＋ワム282999＋ワム280006＋ワム283739＋ワム284106＋ワム280082＋ワム287413＋ワム280058

■380000番代：ワム380429＋ワム380158＋ワム380122＋ワム380058＋ワム380425＋ワム380228＋ワム380397＋ワム380455＋ワム380266＋ワム380051＋ワム380314＋ワム380197＋ワム380407＋ワム380415＋ワム380229

■280000番代

■380000番代

ワム80000（初期型＋鮮魚用）＋ワキ5000 〔マイクロエース〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 34000354

★マイクロエースのワム80000に新バリエーションが追加。

★大量生産されたパレット対応有蓋車ワム80000のうち、初期製造のものは屋上のリブが7本となっており、その後の増備車に比べすっきりとした屋上が特徴。

★また鮮魚輸送用とされた車輌は車体が白塗りとされ580000番代の車番が付される。

★ワキ5000はワム80000と同様の目的に大型のボギー車としたもの。1966年から1970年にかけて1522輌が製造され、プロトタイプはリブのあるプレス屋根、台車はTR63を履くグループ。

★モデルはワム80000初期型3輌・後期型2輌、580000番代初期型2輌・後期型1輌にワキ5000を2輌、ヨ3500を1輌加えた11輌セット。

★引き続き有蓋車の扉はすべて開閉式となっており、生き生きとした表情が楽しめる。

【価格】

●塗装済完成品

11輌セット：15,010円

〔セット内容〕

■ワム80100＋ワム81919＋ワム81902＋ワム580000＋ワム580023＋ワム586069＋ワキ5798＋ワキ5908＋ワム86726＋ワム186255＋ヨ13550

レム5000
ワム380000
ワム80000
トラ70000
チ1タイプ
（土管付／木材付）

〔TOMIX〕

ホビダスショッピングはこちらから!
ホビダスNo. 31000381（トラ70000）
ホビダスNo. 34000358（チ1土管付）
ホビダスNo. 34000359（チ1木材付）

★TOMIXの2軸貨車が、ミニカーブに対応した首振式アーノルトカプラー化と同時に、実車に即したリニューアルを受けて再登場。

★レム5000は氷やドライアイスを用いて庫内を冷却する方式の2軸有蓋車で、1963年から製造が開始された。1967年に落成した6000番代がプロトタイプ。

★有蓋車は、1960年登場のパレット輸送対応の有蓋2軸貨車の主力として現在でも活躍しているワム80000と、そのコロ軸化改造車のワム380000。両形式とも足踏みブレーキ、ステップを追加。ワム380000ではコロ軸受けを再現。

★1967年に登場した無蓋車トラ70000も足踏みブレーキ等を再現、また、軸距離も実車通りワムよりも短いものとなっている。

★チ1タイプは積荷が従来加工木材だったものから、プラ製の成型品に変更。スケールに合った実感味が加わり、新たに土管を積荷とした姿も用意された。

★TNカプラーにも交換できるがその場合はミニレールは通過できない。

★この他にコム1形タイプ（コンテナ付／冷蔵コンテナ付）もあり。

【価格】
●塗装済完成品：各735円

■レム5000

■ワム80000

■ワム380000

■トラ70000

■チ1タイプ（土管付）

■チ1タイプ（木材付）

ヤ400

〔河合商会〕

★河合商会から、異色の職用貨車・ヤ400がリリースされた。

★1968年に信号機器の輸送用としてワム60000を改造して誕生した形式で、田端操駅と安治川口駅を拠点に信号機器輸送業務に使用された。外観はワム時代と大差なく、各種の標記だけが職用車であることを主張している。

★製品も既発売のワム60000のバリエーション製品であるが、常備標記や運用標記を別途取り付けする部分が専用の金型で再現されている。

★田端操駅常備分と安治川口駅常備分の車がそれぞれ2輌セットとなっており、両車で運用標記の部分に差異が表現されている。

【価格】
●塗装済完成品
2輌セット：各1,575円

〔セット内容〕
■田端操駅常備分：ヤ404・ヤ405
■安治川口駅常備分：ヤ409・ヤ411

■田端操駅常備分

■安治川口駅常備分

シキ810

〔マイクロエース〕

★マイクロエースより、人気の高い大物車シキ810が初登場。

★実車はシキ800の改良型として1996年に製造されたもの。積荷の重さから積車時最高運転速度は45km/h、空車の状態でも75km/hと特殊な扱いがなされている。

★プロトタイプは東芝物流のロゴマークの入った姿で、前後にヨ8000が連結された編成。

★車端部の手ブレーキは可動しないが、ギヤの歯が再現されておりディテールフル。

★走行面においては車体が長いため半径280mm以上の曲線を推奨。

★2輌のヨ8000は両側のテールライトが点灯可能でON／OFFスイッチが付いている。

★変圧器を外した回送の状態にするための連結ピンと反射板が付属する。

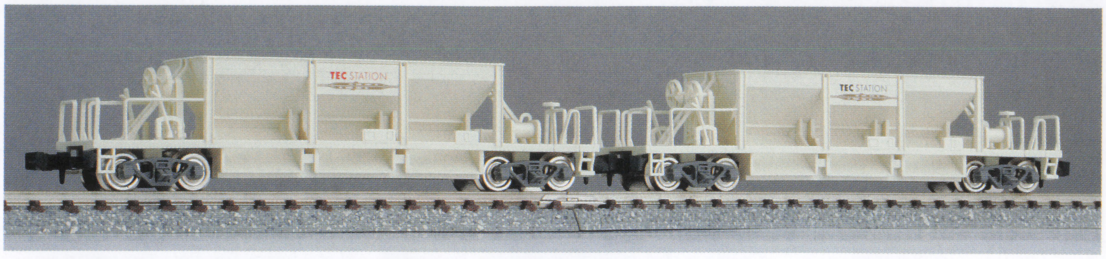
【価格】
●塗装済完成品
3輌セット：16,590円

〔セット内容〕
■ヨ8299＋シキ810＋ヨ8374

エキスパート編

●テックステーション

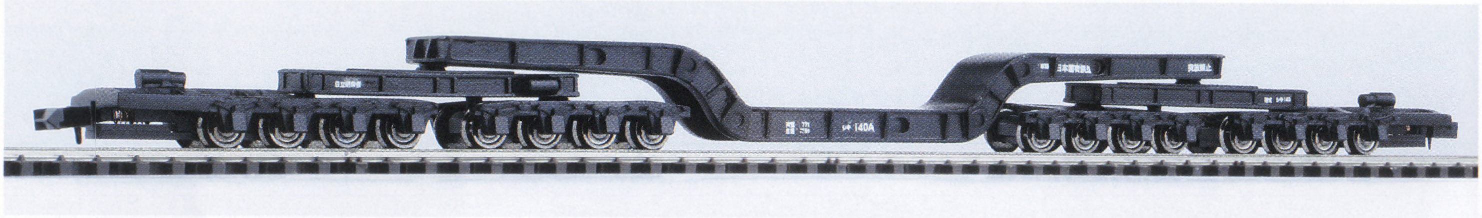
トミーテックの通販サイト·テックステーション（http://www.tec-station.jp）では、通常製品の販売の他にもオリジナルで各種の製品を展開している。



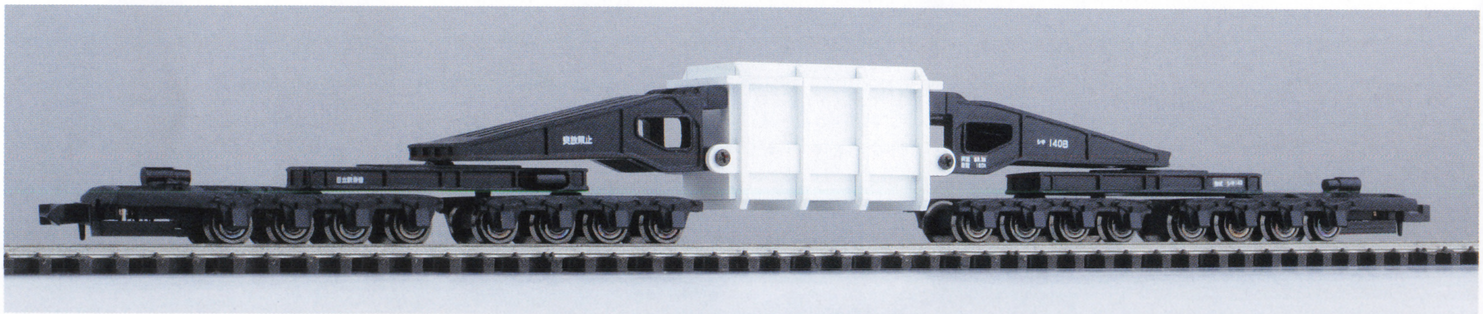
▲ホキ800（テックステーションオリジナル） TOMIX製ホキ800を、車体をアイボリー、台車をグレーで成型し、ナンバープレート部にテックステーションのロゴマークを印刷した特製品。改造ベースとしても最適。塗装済完成品：2輌セット2,700円。

●大新堂

旧サンメックの業務を引き継いで創業したメーカー·大新堂。新レーベル以後の車輛もやはり得意の大物車となった。



▲シキ140 Aタイプ 日立製作所がトランス輸送用として1954年に製造した車輌で、後に製造された弓型梁を装着したことで、形式を「140A」とした。ホワイトメタル製の車体はウェイト効果十分。塗装済完成品：19,950円。



▲シキ140 Bタイプ1 当初吊掛式の梁で製造されたシキ140は、上記のように弓型梁を製造した際に、従来の梁をBとし、同梁を使用の際は「140B」として区別された。模型ももちろん台車は共通で、トランスを外しての走行も可能。塗装済完成品：21,000円。

●新貨車工房

マニアックな貨車をこだわりのキットでリリースする新貨車工房からは、今回もこだわりのタンク車キットがリリース。

▶タキ3900 石炭や石油から精製される石炭酸（フェノール）専用タンク車として、1954年に総数65輌が製造されたタンク車。積荷を加熱し続けるための蒸気配管や腰高なフォルムが特徴。キット：5,250円。

メーカー担当者に聞く…！

2008、メーカー別モデル・オブ・ザ・イヤー 河合商会編

貨車に特化したラインナップを展開する河合商会。2008年はタキ5450、7750という小粒なタンク車と赤ホキと呼ばれる一群の貨車を活発にリリースしました。驚くべきはそのバリエーション展開の広がりで、どこにその秘訣があるのかを企画・営業担当のTさんにお聞きしました。　まとめ：編集部

短いタンク車2形式

RMM：2008年の新製品というと、まずタキ5450があり、次にタキ7750がありましたね。この2形式、金型としては別物なんですよね？

T：違うんですよ一応。元々それぞれの形式内ですら別金型を使うこともあるくらいですので。ただし設計データは使える部分は共用していると思います。それで、今回やって良かったと思うのは、今まで模型化されていなかった所有会社さんのマーキングを世に出せたことですね。おかげさまで、マークの使用許可をいただいた化成品メーカーさんにも大変喜んでいただいているんですよ。一般のエンドユーザーからの評価とは別に、「こだわって製品を作っていて良かった」と思ったエピソードですね。印刷技術の向上もあって、マーキングの印刷には自信を持っています。最近開発したホキ9500などでは小さな「架線注意」札まで印刷済としているので、お持ちの方はぜひよくご覧ください。

RMM：それにしても、ラインナップの多さ、これが年々すごくなる一方というか（笑）。

T：発売されたばかりの赤ホキもそうですが、やはり地域性があるアイテムですので、トータルの数を出すためには逆に細分化してその地域ごとになじみのあるアイテムを出していくという方法論ですね。

RMM：話を戻しまして、タキ5450の場合、金型の違いだけで4種類もありましたが。

T：さらに加えて、手スリを金属線で作っているので、比較的容易に形状の違うものが作れるということから作り分けを行なっています。これもこだわりの表れですね。

RMM：よく生産現場が対応できますね。

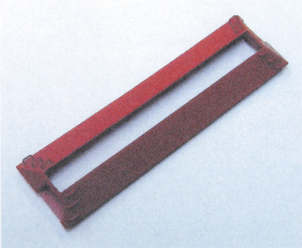
T：これは現状の当社の強みかと思いますが、1アイテムあたりのロットを非常に下げてその分、多種類の作り分けを行なっているのです。製作現場の努力の結果と言えると思います。

▲実に15アイテムのべ50輌を作り分けたタキ5450。

RMM：そうした生産上の理由があるとしても、真鍮製の手スリが付いていることで量産モデルでは通常ありえない繊細さ、一品ものに近い質感を得ているのも特長だと思います。そういえばタキ5450では黄色の色合いを4種類も作り分けていましたね。面白い試みと思いました。

T：今度の赤ホキも色については結構悩んだところで、奥多摩の方は国鉄制式塗色に近い色としましたが、矢橋の方は、皆さん非常に「赤い」というイメージをお持ちなので色合いを変えてみました。それと、必ずしもロールアウトした状態ではなく、見慣れた使い込んだ状態とした方が、お客様のイメージに直接訴えかけるものがあるのでは、と思っているのですが、これも反対の声も聞きますし、難しいところですね。これからもリサーチと試行錯誤していくと思います。あと、このホキに関して、矢橋工業仕様のカバーは共通部品を使用しました関係で実車通りの形状が再現できておりませんでしたが、多くのご指摘、ご要望をいただきまして、交換パーツを製作しました。配布方法等はHPで告知する予定ですのでよろしくお願いします。

▲最新製品のホキ9500矢橋工業。



◀矢橋工業仕様の上面カバー交換パーツ。中央部が開口している形状となる。

RMM：今回のホキは腰高の感じがしないのも良いですね。

T：構造的にうまくカバーできる形状なんですね。これがタキになると隠しようがなくて。次回作のタキ1900ではこのあたりを少し改良すべく頑張っています。コストの兼ね合いや、これまでの製品との部品共用の問題もありますのでやや時間がかかっていますが…。

RMM：そういえば、タキ7750から黒染め車輪が採用されましたね。

T：ホキ10000を出した時点で、「プロポーションはいいのに車輪だけがちょっと目立つね」という声をいただきまして、それで今回から体制が整って、黒染めとしました。基本的に再生産品はすべてこちらになる予定です。

RMM：タキ1900は今回完全新規で作り直すということですが。

T：なにしろ私有貨車最多輌数を誇る貨車ですから、当社としてもラインナップ上欠かすわけにはいかないと思っているのです。それと、個人的にはチチブセメント仕様にこだわりがありまして、これは上部に独特な手スリ等があって現状の金型では再現できない、という理由もありました。それにセメントターミナル仕様は現行の型でも大変人気があるのですが、それだけに今の水準でちゃんとしたモデルを作ってやりたいという思いも強かったのです。

RMM：今回、CタイプDLにタンク車を付けた3輌セットを出されました。

T：これは、このところレイアウトを作る方が増えて、CタイプDLを探しておられる方が多かったというところから出た企画なんです。ちょっとしたミニレイアウトでトコトコ走らせるのに好適という意味なんでしょうね。これも思ったより売れました。

RMM：なるほど、ここでもレイアウト志向から来た車輌製品企画ということでしたか。御社の得意分野である情景用品で何か新しいものは？

T：これはプラモデルなんですが、田舎の駅と山の温泉宿というのがNゲージスケールでありまして、これにしだれ桜の完成品を付けた製品を出す予定です。このしだれ桜は当面この製品だけの限定品とします。さらに、アクリル材を用いた、Nゲージ用のお手頃なディスプレイケースを企画中です。

RMM：今日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

RMMが考える2008 河合商会製品ベスト2

第1位　タキ5450
…15種以上の所有者バリエーション、複雑な形態バリエーションを作り分け。ここまでする必要が果たしてあるのかと思わせる「やりすぎ」感が逆に魅力なのかも…？

第2位　タキ7750
河合商会が得意とする、多くのバリエーションで一気に製品化された私有貨車。目立ちませんが、実車を理解した上で連結すれば貨物列車が引き立ちます。

▲製品化予定のアクリル製Nゲージ用ディスプレイケース。アクリル製で、6段、幅はS280×2本分、木目調仕上げで背面はミラー仕上げ。4月発売予定で予価5,800円とのこと。

Parts & Accessories編

アールクラフト

■RMM160号掲載

ミッチャクロン

アールクラフト発売のプライマー(下塗り材)、ミッチャクロンをご紹介しよう。金属はもちろんポリプロピレンやABS樹脂、FRPに下塗りとして塗布すると、強固な塗膜を得ることができる。ただしスチロール系には適さず、プラスティック素材に使用する際は不要な部分で確かめてから使いたい。希釈せずに使用し、15分程度乾燥させて手にベたべたする状態で塗装を行なう。なお上に塗る塗料は、ラッカーは問題ないが一部のアクリルは相性が良くないとのこと。洗浄にはラッカーシンナーを使用する。1/12ℓ入り。 630円

▲使いこなすと手放せなくなる下塗り材。

アルテコ

■RMM161号掲載

瞬間接着パテ

粘度の高い瞬間接着剤にパウダー剤を混合することで、速乾性のパテとなることで工作派に評判のアルテコ製瞬間接着パテに改良新製品が登場した。

従来通りのHG液(瞬間接着剤)とHGパウダーに加え、以前の製品に同封されていた豪華材が再び加えられ、パテに粘りと柔軟性が増すことで、加工が容易となっている。

ライン消しの他にも、厚付けによるボリュームアップや金属キットの屋根裏打ちなど、利用価値は非常に高いだろう。 1,838円

◀製品の内容一覧。

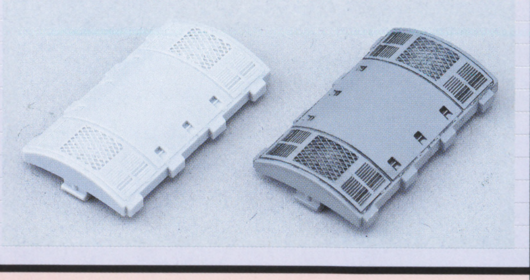
α-model

■RMM159号掲載

AU75(H)

プレスルーバー・フック狭

○No184…AU75クーラーにこだわるNゲージパーツメーカー、α-modelがラインナップを追加した。今回はルーバーがプレスでフックが狭いタイプになる。取り付け足が2種付いており必要に応じてカットする。特定番号の車輌を再現したいファンに歓迎されるだろう。プラインジェクション成型品、4個入り。 735円



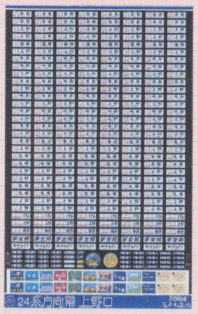
▶左が製品状態、右がスミ入れした状態。プレスルーバーとは四隅の段々状のルーバーが一体プレスとされているタイプのことで、従来品の溶接構造と比べやや彫りが浅い感じになる。

鳳車輌製造

■RMM155号掲載

24系方向幕(上野口)

○509…上野発のブルートレイン用の方向幕とテールサイン、各種標記類をまとめたステッカー。商品名は24系だが14系用も含まれる。北斗星、夢空間といった豪華特急の他、あけぼの、ゆうづる、出羽、鳥海、北陸、エルム、北斗星トマムスキー、カートレインなどを収録。ドア上に表示される「A寝台」などの車輌設備標や、「ゴロンとシート」のマーク(丸型、角型の2種)までセットされている。いずれも実物写真及び方向幕をそのまま縮小した版下を用いているため、書体等が非常にリアルである。 525円



■RMM161号掲載

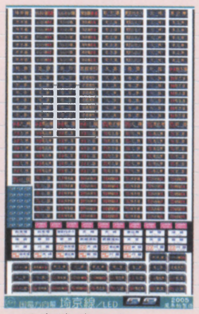
電車用方向幕

山手貨物線を経由する埼京線及び湘南新宿ラインの方向幕ステッカー。 各630円

○220/国電用方向幕(埼京線/巻取式)…埼京線の開業時から恵比寿延伸時までの巻式表示。103系・205系どちらにも使用可能。

○221/国電用方向巻(埼京線/LED)…2002年の大崎延伸・りんかい線直通開始時以降で、LED化された前面及び側面の表示。サハ204用の表示や、転属予定でLED化されなかったサハ205用の新デザイン幕なども含む。

○325/中電用方向幕(湘南新宿)…2001年に湘南新宿ラインの運行が始まった当初の、115・211・215・E217系などバラエティ豊かな車輌群が使用されていた賑やかな時代の各種幕を収録。



▲埼京線/巻取式。

▲埼京線/LED。

▲湘南新宿。

会津砕石

■RMM152号掲載

合格道床バラスト

JR東日本の磐越西線などで実際に使われているバラストのメーカーから、それを細かく砕いて模型用にアレンジしたものが発売された。JR東日本の石質試験に合格した石から作っていることからその名も「合格道床バラスト」。JRから発行された石質試験結果を縮小コピーしたものがパウチされて同封されている。当然ながら色調は新品バラストそのものだ。Nゲージ用と謳われているが、気持ち大きめに感じられるのと、粒の形状がやや長めのものが多い。とはいえこの商品は「実物と同じ」という点に重きを置いた雰囲気重視のものであり、レイアウトの目立つ一角に撒いて友人に自慢するという使い方が面白いと思う。ポポンデッタ各店でのみ発売中。200g入り。 840円

▲磐越西線と同じ石質というN用バラスト。右は同封される石質試験結果。

アルナイン/アルモデル

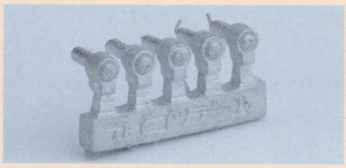
■RMM155号掲載

ヘッドライト・テールライト

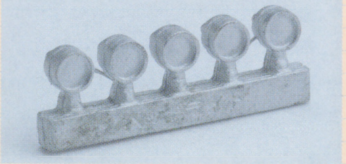
いずれも以前から発売されていた種類のものだが、入数を増やすなどのリニューアルを図っている。ホワイトメタル製でレンズも一体。「とて簡」シリーズなどに好適。

○ガイコツ型テールライト…10個入り。 400円

○小型ヘッドライト…5個入り。 300円



▲ガイコツ型テールライト。



▲小型ヘッドライト。

いさみやロコ・ワークス

■RMM152号掲載

カラープライマー

いさみやロコ・ワークスより金属下地塗装に便利なカラープライマーが新発売された。性質は一液性変性エポキシ樹脂万能下塗り塗料で、従来、金属への下地処理としてプライマーを吹付けてから各色を吹付けていたが、ケースによってはこのカラープライマーのみで下地処理+塗装が行なえるようになった。

色調はブラックの他に少し明るめのライトグレーも用意されている。ブラックは蒸気機関車や貨車、床下機器、台車などにそのまま使えて便利。色調は適度な半光沢となる。ライトグレーはブラックを混ぜることによってさらに濃いグレーを作ることも可能だ。また、グレー色は黄や赤系統の塗料のように下地の隠蔽製が悪いものや塗装の発色を良くするために下地色を兼ねたプライミングとなるので利用価値は高いと考えられる。希釈は専用シンナーを使用し、用途・使用するガン・好みなどに合わせて約3～4倍に薄めて使用する。専用シンナー付。 各1,000円

▲ライトグレー、ブラック、専用シンナーのボトル。

岡本企画(旧オオクボ)

■RMM155号掲載

手作りもっくん 生垣

住宅の周りを囲む生垣を手軽に再現するのに向く完成樹木シリーズ。幅約65mmで、基礎となっている針金の両端部が地面に植え込むように下向きとなっている構造。穴を開けて木工用ボンドで接着する。自由に曲げたり切ったりすることも可能なので応用は利くだろう。A～Dの4種類の色合いがあり、いずれも4本入り。 各683円

○OP-20/生垣A…緑+茶色。

○OP-21/生垣B…緑。

○OP-22/生垣C…アカメカナメモチをイメージした赤をまぶしたもの。

○OP-23/生垣D…菜の花をイメージした黄色をまぶしたもの。

▶手軽に使えるのが何よりな生垣。

▲左から品番順に生垣A～D。

ガイアノーツ

■RMM153号掲載
ニードルキャップ
メタリックマスター

P(2点共):ガイアノーツ

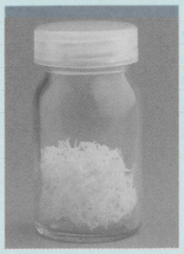
▲ニードルキャップ。　▲メタリックマスター。

○G-02n/ニードルキャップ…同社の溶剤シリーズ、特大及び大のボトルに対応するキャップで、既存のものでは新しい特大ボトルに対応できなかったことから追加発売となった。溶剤を適量注ぎ出すために便利である。2個入り。　210円

○T-09/メタリックマスター…溶剤シリーズの新作で、メタリック、パールカラーに好適なもの。メタリック・パールの粒子をバラバラに分解し、均一に定着させる性質を持つため、輝度が向上し塗料によってはメッキのような質感も可能になるとのこと。基本的にエアブラシ用である。500ml入り。　1,050円

■RMM156号掲載
G-01n Newブラシウォッシュ

○80013…筆の洗浄用として発売されていた製品のリニューアル品。容器内にコシが強く目の荒いスポンジ状の特殊な素材がセットされ、筆を傷めず、より容易に洗浄を行なえるよう改良が加えられている。基本的には別売のツールウォッシュ(品番:T-04)との併用が前提である。　368円



■RMM157号掲載
調色工房～ミキシングセット～

○80014…ガイアノーツから、同社オリジナルの塗料皿が発売される。他社からも各種の製品があるが、同社製品は金属製の塗料皿10枚、エコ調色スティック5本のセットとなっている。スティックの素材は漂白に塩素を使わないエコパルプで、可燃ごみに出しても問題はない。初心者にはバラで買う必要がなく、またベテランでも便利なセットであろう。　158円

▲塗料ビンは大きさの比較用で、セットには含まれない。　P:ガイアノーツ

■RMM162号掲載
おうちdeデカール

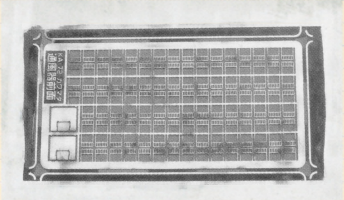
インクジェットプリンターで印刷可能な自作デカール製作用無地デカールの新製品とし
て、ベースがホワイトのバージョンが発売される。透明ベースだった従来品と比べ、白いベースに印刷することにより、インクジェットでは表現不可能な白色の再現および、下地の色に影響されない隠ぺい性を実現させており、表現するデザインによって従来品の透明ベースのものと使い分けることが可能であろう。A6はがきサイズの2枚入りセットで販売される点は従来品と同じである。　630円

▲手軽に自作デカールを作ることが出来るのは朗報だ。

カワマタ

■RMM152号掲載
Nゲージ用エッチングパーツ各種

○KA-072/通風器前面…屋根板と一体で成型されている箱型押込ベンチレーターに、表面のディテールを付けてディテールアップを図るもの。取付穴を開ける治具付き。KATOのキハ40・52・58系やTOMIXのオハ50系に適合。t0.2洋白エッチング製、124枚入り。　1,890円



▲通風器前面。

◎EL飾り帯

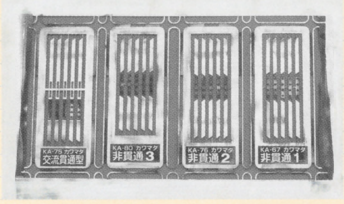
○KA-067/非貫通1(EF60 2次、EF65 0・500番代などの直流機用)

○KA-076/非貫通2(ED74・76、EF70の交流機用)

○KA-080/非貫通3(EF80・81の交直流機用)

○KA-075/交流貫通型(ED75以降用)

…t0.1洋白エッチングで国鉄電機の誇りたる飾り帯を再現したもの。ディテールアップや補修、質感の統一という目的で使える。それぞれ5枚(2.5輌分)入り。　価格未定



▲EL飾り帯。

KATO

■RMM155号掲載
ジオタウン・看板建築商店

KATOから待望の看板建築商店各種が発売となったので紹介しよう。看板建築は通りに面した建物の壁(ファサード)を洋風建築のようなデザインにした建物で、昭和初期に流行した。ファサードに銅板、タイル、モルタルなどで、凝った細工を施してあるのが見所。その個性豊かでハイカラな佇まいは、数は少なくなってはきているものの、現在でも各地で見ることができる。

○23-471/看板建築商店 1(銅板)

○23-472/看板建築商店 2(モルタル)

○23-473/看板建築商店 3(石積み)

○23-474/看板建築商店 4(タイル)　各1,680円

製品は、一連のジオタウン・ローカルストラクチャーシリーズの中でも特に力が入ったもので、レイアウト・ジオラマの風景に良いアクセントを付けることができる。ファサードは、銅板、モルタル、石積み、タイルの4種が用意され、それぞれ凝った造形がシャープな成型で表現されている。裏手は看板建築商店 1と2には1階屋上に物干台があるが、3と4にはなく普通の切妻2階屋根となっており、作り分けがされている。ベースサイズは共通で81×50mm、ステッカーが付属する。

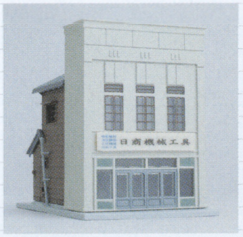
○23-470/看板建築商店 正面交換キット　1,260円

今回、最大の特徴はファサードのみ4枚が入った正面交換キットがあることで、各単品とはまた違う意匠となっており、手軽にバリエーションを付けることができる。

▲看板建築商店 正面交換キット。左から銅板、モルタル、石積み、タイル造りだが、それぞれ単品のものと異なる意匠となっている。専用ステッカーが付属。本品だけを用いてロウレリーフとするのも面白い。

▲建物裏側の構造も物干台の有無で作り分けされている。

▲看板建築商店 1(銅板)。高さは62mm。



▲看板建築商店 2(モルタル)。高さは67mm。

▲看板建築商店 3(石積み)。高さは69mm。

▲看板建築商店 4(タイル)。高さは65mm。

■RMM155号掲載
『KATO 鉄道模型総合カタログ2008』

●A4判・252頁・1,260円

○25-000…今回より年度カタログとなったKATOの総合カタログ。現在発売中の製品を中心に、2008年内に発売・再生産を予定している製品を掲載している。また、近年急増しているビギナーへ向け、「スターター編」として項目を立て、Nゲージのスタートセットやユニトラック線路セットの紹介やレイアウトプランの提案を分かりやすく行なっている。鉄道模型の仕組みや線路プラン展開などのヒントやアドバイスが盛りだくさんで、鉄道模型ファンなら必携の一冊。なお、年内発売予定のない製品は掲載していないため、未掲載製品については『KATO Nゲージアーカイブス』をご覧いただきたい。生産の都合により次回以降再掲載される場合もある。

■RMM158号掲載
「運転を楽しもう! Nゲージ鉄道模型」ユニトラックガイドブック

●A4判・116頁・1,260円

○25-011…主に、Nゲージを始めて間もないビギナー層に向けて、同社Nゲージ・ユニトラックの使い方を懇切丁寧に解説するユニトラックのガイドブック。線路の種類や取り扱い方などの基礎知識やQ&Aに始まり、スターターセットへの線路セット(Vシリーズ)の組み合わせによる展開例、それらの発展例などをプラン図、写真で豊富に紹介。さらにはデスクトップレイアウトやDCCなど、将来の楽しみにも触れている。巻末には線路、ストラクチャー関係の製品カタログも付属。スターターセットの次のステップでどうすればいいのか悩みがちなビギナーにとっては必携の書となろう。

■RMM162号掲載
蒸機乗務員フィギュア

○24-267/SL乗務員:乗務

○24-268/SL乗務員:点検

○24-269/構内掛1:入換

…蒸気機関車全盛の時代の情景に欠かせないSL乗務員・構内掛のフィギュアがKATOより登場した。「SL乗務員:乗務」には蒸機キャブ内での機関士と投炭作業をする機関助士が計6体。「SL乗務員:点検」では機関車を点検する乗務員の姿を再現したものが6体。「構内係1:入換」では旗による入換合図の姿を再現した6体が入る。　各1,208円

▲「SL乗務員:点検」。

▲「構内掛1:入換」。

◀「SL乗務員:乗務」。

KATO USA

■RMM153号掲載

クローズカップリングナックルカプラー

○923090…アメリカ型貨車のホッパー車に装備されている、柄の短いナックルカプラー。ワンピースでできているため通常のナックルカプラーのようには開かず、連結の際は上下に可動して相手側にはまる動きとなる。根元はアーノルトタイプと同様の形状であり、日本型でも応用可能だ。RMM152号10頁からの記事ではマイクロエースの秩父ヲキ車に搭載加工した例を紹介している。8個入り。

（サンプル協力：さかつう）

▶シンプルながら良好な外観・機能となる。

キシャ会社

■RMM158号掲載

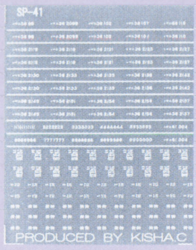
車番インレタ各種

国鉄・JR車輌用の車番インレタ3種。

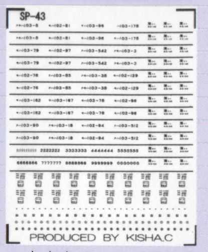
○SP-41／マニ36（スハ32改造車用）…スハ32から改造されたナンバーを収録し、併せて荷物、換算、検査の各種標記も含まれている。白文字。

○SP-42／マニ37…パレット荷物車としてスロ50、スハ32、スロフ53から改造されたマニ37のナンバーを、荷物、換算、検査の各種標記とあわせて収録。白文字。

○SP-43／中央西線103系用…いわゆる東海色となった103系の各編成を、1999年当時の編成表に基づいて収録。所属標記の定員は見直し後の先頭148人、中間156人になっており形式、換算、検査、ATS、エンド標記も含まれる。黒文字。　各893円



▲マニ36のナンバーと各種標記。



▲東海色の103系用を収録。

京都模型

■RMM151号掲載

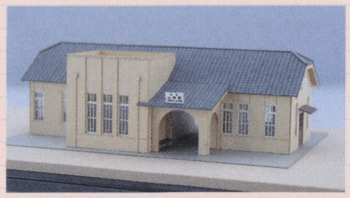
国鉄山崎駅舎

●製造：さんけい

山崎駅駅舎は1927年に建てられたもので、ちょうどアール・デコ全盛に当たり、アーチ状の入り口ポーチや、その左側の直線的な構成の張り出しなどに、その影響を色濃く見て取ることができる。現在も若干の改装を受けつつ現存している。

キットは従来同様、レーザーカットによる精密な構成で、長手方向の壁体に妻方向の仕切り壁及び内部リブを、スリットを用いて井桁状に組み、その後妻壁を付けて屋根を葺く。屋根は瓦シートと称する印刷シートを貼り付けるため平面となる。気になる方は市販の瓦板を活用するなど工夫の余地があろう。

外壁の色はテラコッタを思わせる黄土色のもの。基本的に塗装不要だが、何か塗るにしても質感を活かしたいところだ。　3,980円



▲似合う車輌は43系、流電から223系、321系まで多岐に及ぶ。　P:京都模型

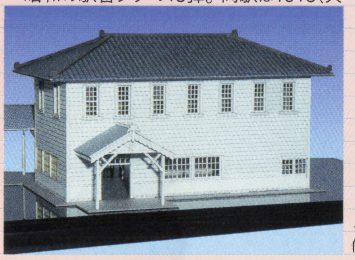
■RMM152号掲載

近江鉄道・新八日市駅舎

●製造：さんけい

昭和の駅舎シリーズ5弾。同駅は1913（大正2）年に湖南鉄道の八日市口駅として営業を開始したもの。地方鉄道としては立派な木造下見板張り2階建て建築となっている。

模型は通例通り強度のある高級紙に最新のレーザーカットを施してパーツを成型。地元ならではの実物取材と図面入手で各パーツを細部まで再現している。屋根瓦は印刷済・平板なものだが立体的に見えてかなり実感的。その他のパーツも基本的に塗装は不要である。製作時間の目安は8～9時間程度とされている。　4,100円



◀堂々とした駅舎は、小型レイアウトではシンボル的に使えそう。　P:京都模型

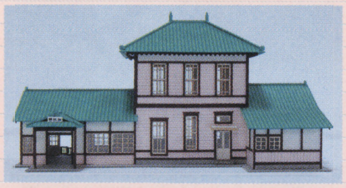
■RMM158号掲載

加悦鉄道　加悦駅

●製造：さんけい

着々とラインナップを増やすペーパー製ストラクチャー「昭和の駅舎」シリーズの新作。実物の加悦駅舎は1926年の加悦鉄道開業時の建築で、1985年の同線廃止まで使用。現在は移築・修復のうえ保存され、また加悦SL広場にはレプリカが存在する。製品は今までの同シリーズ製品同様の彩色済ペーパーキット。レーザーカットによるシャープな仕上がりで、実物の瀟洒なイメージを的確に表現している。時代設定は昭和40年頃の由。　4,500円

P:京都模型



▲現存する加悦駅舎がペーパーキットで登場。

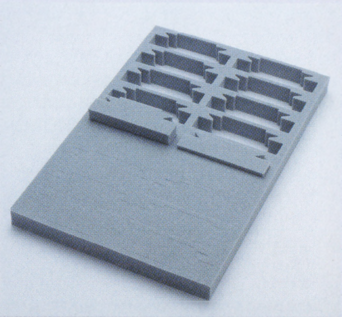
キャスコ

■RMM162号掲載

Nゲージ用車輌収納ケース

以前ウインから発売されていた、各種車輌に対応した車輌ケースが、同社の解散により新メーカー「キャスコ」によって引き継がれて再発売されることとなった。基本的に製品は旧ウイン時代のものをそのまま引き継ぎ、専用ウレタンを入れたブック型ケースでの販売と、ウレタンのみでの販売が並行される。細かいところでは、従来KATO・マイクロエースの製品にしか対応していなかったタキ用のケースが、車高の高い河合商会製品にも対応できるようにしているなどの改良もされているのが、嬉しい配慮である。

販売品は多岐に渡るので、ラインナップはホームページ（http://www.yonpachi.co.jp/pc/free03.html）等を参照いただきたい。



▶写真はタキ用のウレタン。

■RMM155号掲載

国鉄奈良駅

●製造：さんけい

「昭和の駅舎」シリーズ第6弾として、2代目の国鉄奈良駅がモデル化された。これは1934年に建造された、奈良にふさわしく寺院を思わせる建築で、高架化工事に伴い駅舎としての使命を終え、現在は中央部だけを残して移築されている。モデルはこの移築後の姿をプロトタイプとしたもので、サイズは幅250×奥行き230×高さ210mmとなる。製品仕様は従来同様塗装不要のレーザーカットペーパーキット。　7,800円

▶壁のタイル貼りの部分は、それらしく見える茶色の厚紙で表現。　P:京都模型

■RMM161号掲載

国鉄稲荷駅舎

●製造：さんけい

昭和の駅舎シリーズ新作として、京都伏見稲荷の最寄駅・奈良線稲荷駅がリリースされた。実物は1879年、当初は東海道線の駅として開業。1921年に新逢坂山・東山トンネルが完成し、駅を含む区間は奈良線として転用された。駅舎は伏見稲荷にちなみ柱や梁が朱色になっているほか、国内で現存最古の鉄道建築とされるランプ小屋がある。

レーザーカットを多用した、手馴れた構成のキットで、他キット同様着色は基本的に不要。社殿建築を連想させる屋根の反りや、特徴ある朱塗りの柱や梁も簡単に再現できる。屋根瓦は高密度スキャナーでデータ化し、3D印刷した紙に貼り付けることで、立体感ある仕上がりとなっている。おまけとして、前述のランプ小屋が付属している。　3,980円

▶完成すれば存在感のある駅舎となる。左端の建物がランプ小屋。　P:京都模型

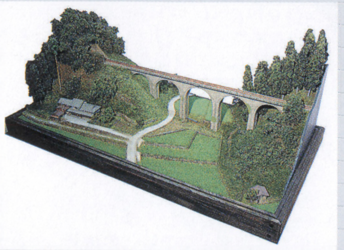
汽車倶楽部

■RMM151号掲載

本ラマ「日田彦山線栗木野橋梁」

販売目的のジオラマとしては極めてリアルな一品。1938年竣工のコンクリートアーチ橋を中心に、美しい段々畑が広がる光景だ。現地への詳細取材をもとに、可能な限り忠実な模型化を図っている。特にシンボルであるアーチ橋やトンネル、左手前の民家なども含めた完全新規製作となっている。完全受注製作で色調や季節感なども打ち合わせのうえで製作開始するとのこと。模型化にあたってのデフォルメも加えられているとのことだが、実際の風景をそのまま切り取ってきたかのような"空気感"ある製品となっているといえよう。アクリルケース（高さ350mm）付き。外寸920×470×390（410）mm。

参考価格 399,000円



▲ジオラマの全景。　P:汽車倶楽部

■RMM155号掲載

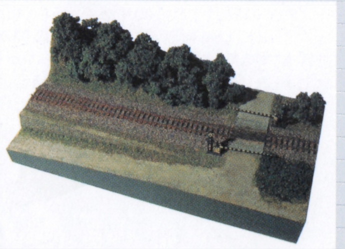
車輌展示用ジオラマ

「踏切のある風景」

手ごろなサイズの車輌展示用完成品ジオラマのシリーズ第1弾。サイズは290×140×115mmで、単線で緩くカーブしたレールと、坂道を登ってきて線路を横切る道路の組みのシーンとなる。サイズから言って単行車輌1輌の展示となるが、情景表現のレベルはかなり高いもの。専用アクリルケースの有無を選択可能で、ケースの外寸は300×150×150mmとなる。

ケース付き　19,950円

ケースなし　13,440円



▲踏切は警報機・遮断機付きの1種踏切。　P:汽車倶楽部

■RMM157号掲載

車輌展示用ジオラマ

九州レイルウェイショップ汽車倶楽部から、車輌展示用ジオラマの新製品が発売となる。

435mm×185mm（本体のみ）という手ごろな大きさで、保護用のアクリルケース付きと無しの2タイプから選択可能。店頭及び通信販売のみでの販売。

「トンネルと海岸」は、海岸線（山陰地方をイメージ）に敷かれた非電化単線をモチーフにしたもので、海岸に張り出した岩をうがったトンネルが雰囲気を盛り上げている。また樹木を紅葉状態とするリクエストも可能となっている。

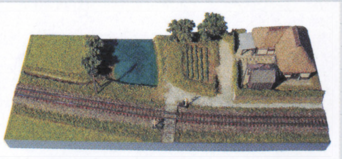
アクリルケース付き　39,102円

ケースなし　29,400円

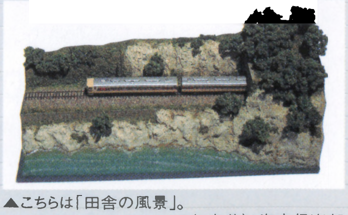
「田舎の風景」は一転してのびやかな畑の中を走る単線で、茅葺屋根の農家がアクセントになっている。

アクリルケース付き　37,000円

ケースなし　27,300円



▲「トンネルと海岸」。車輌は演出用で、製品には付属しない。



▲こちらは「田舎の風景」。　P（2点共）：汽車倶楽部

グリーンマックス

■RMM157号掲載

私鉄電車用インレタ各種

○6401／西武通勤車(赤電)…赤電塗色の451・551・571・601・411・701・801・501系・クハ1411形用。白文字。 735円

○6402／東武(旧色)・西武5000系レッドアロー…セイジクリーム時代の東武8000・5000・5050・5070系、西武5000系用。銀文字(メタリック)。 945円

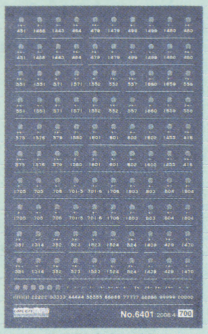
○6404／京浜急行…2000・旧1000・旧600・420形用。銀文字(マット)。 945円

○6405／東急(旧形式)・伊豆急行…東急3000番代各形式・5000系、伊豆急100系用。東急5000系の長野電鉄・福島交通譲渡車にも対応。銀文字(マット)。 945円

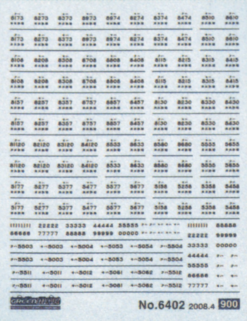
○6407／西武通勤車(3扉車)…イエロー塗色の101・301・501(新)・801・401・701系用。黒文字。 735円

○6411／西武通勤車(4扉車)…2000・9000系用。黒文字。 735円

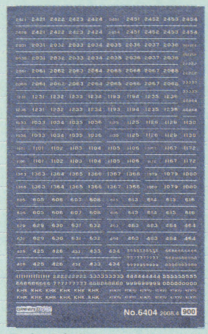
○6412／京成・京王…京成3100・3150・3200・3300形、新京成8000形、京王2010・1000・1900系等に対応。銀文字(マット)。 945円



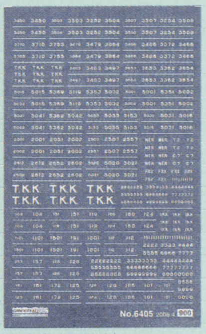
▲西武通勤車(赤電)インレタ。



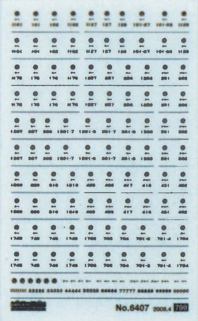
▲東武(旧色)・西武5000系レッドアローインレタ。



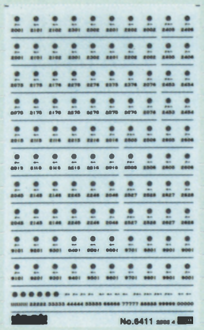
▲京浜急行インレタ。



▲東急(旧形式)・伊豆急行インレタ。



▲西武通勤車(3扉車)インレタ。



▲西武通勤車(4扉車)インレタ。

▲京成・京王インレタ。

CROSS POINT／ジーエムストアー

■RMM162号掲載

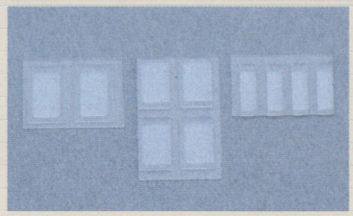
はめ込み前面ガラス

既製のGMキット製品に対応する、はめ込み式の前面ガラス。従来と同様のアクリル削り出し品で、それぞれ2輌分入り。 各735円

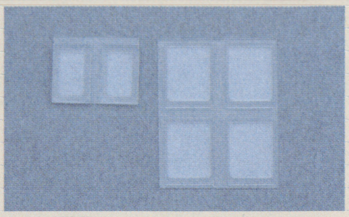
○5500系用…名鉄5500系キットに対応。平面ガラス組み合わせのパノラミックウィンドウは個別パーツで再現している。

○8810系用…近鉄8810系キットに対応。

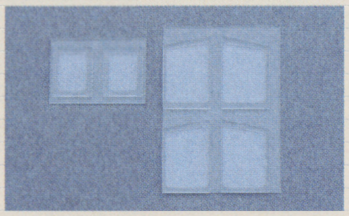
○10000系用…東武10000系キットに対応。



▲5500系用。



▲8810系用。



▲10000系用。

くろま屋

■RMM155号掲載

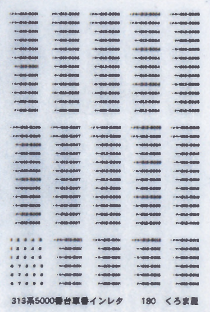
N用インレタ各種

○180／313系5000番代車番インレタ…名古屋地区東海道快速用転換クロスシート車の全車番を収録。黒文字。 735円

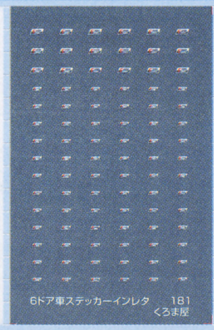
○181／6ドア車ステッカーインレタ…205、209、E231系などに。前面用18個、側面用72個収録。多色刷り。 735円

○182／弱冷房車ステッカーインレタ…標準タイプとスリムタイプを各56個収録。多色刷り。 840円

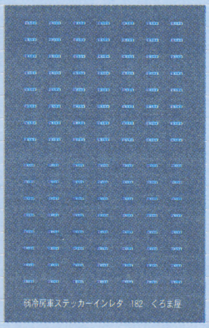
○S-411／トワイライト帯インレタ…リニューアル後の、銀線付きの黄帯。製品では省略されている銀線が付くのがトピック。13輌分収録。多色刷り。 1,575円



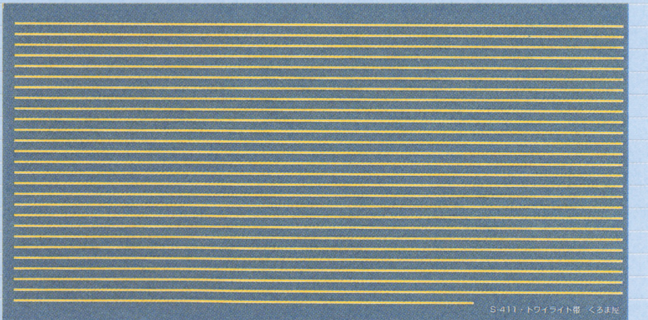
▲180。



▲181。



▲182。



▲S-411。

コスミック

■RMM159号掲載

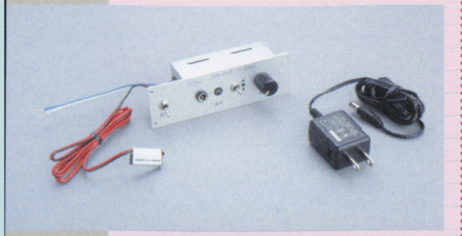
照明スイッチ付埋込型パワーパック

コスミックの製品に、照明スイッチの付いたレイアウト埋込型パワーパックが追加された。同社発売のLED建物照明ユニットシリーズの増設ユニットと組み合わせると、簡単に照明付きレイアウトが楽しめる。

電源はACアダプターで、電子部品の組み立ては完了しておりポイント用端子の有無で2種類が用意されている。

○CP-0505L(ポイント出力なし) 7,350円

○CP-0505LP(ポイント出力付き) 8,400円



▲写真はCP-0505LP。

■RMM161号掲載

LED交互点灯モジュール

レイアウト情景用の赤色LED点滅装置。用途に合わせて3種をリリース。用途はあくまで一例だ。

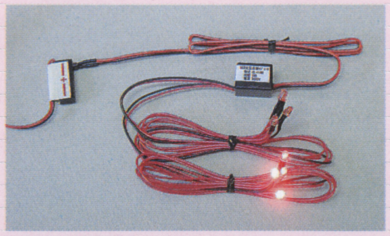
○CL-11M02…緊急車回転灯・点滅周期0.2秒

○CL-11M1…踏切警報機・点滅周期1秒

○CL-11M10…ビル航空障害灯(ソフト点灯)・点滅周期10秒

ベース下に設置する点滅モジュール1個につき、赤色LED2個(交互点滅)×4組の計8個を制御することが可能。ϕ2.0の導光ファイバーが付属しており、狭い場所への点灯組込も可能だ。コネクタ接続のため、ハンダ付けは不要な設計となっている。

工夫次第でさまざまな応用が可能であろう。 各4,200円



▲製品の構成要素。

P:コスミック

■RMM152号掲載

電子パーツ各種

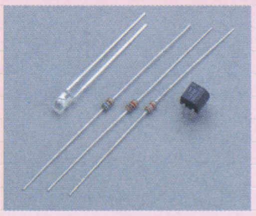
鉄道模型の改造、自作車輌時に重宝する電子部品がセットとして発売になった。

○CK-61／交換用(チップ)LEDヘッド・テールライトセット…白色チップLED×2、赤色チップLED×2、チップ抵抗×4。チップ式LEDは扱いが少々難しいので上級者向けとされている。 735円

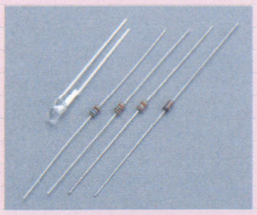
○CK-62／交換用(4輌分)白色LED室内灯セット…白色LED(バルブ型、3mm)×4、抵抗3種×各4、ダイオードブリッジ×4。 1,050円

○CK-63／黄色LED建物照明セット…黄色LED(バルブ型、3mm)×5、抵抗3種×各5、ダイオード×5。 1,050円

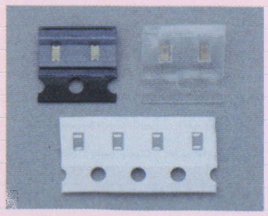
○CK-66／極薄プリント基板・極細コードセット…ユニバーサルプリント基板×1、黒色コード×3m。基板の厚みは0.1mm、コードは外径ϕ0.8。 1,050円



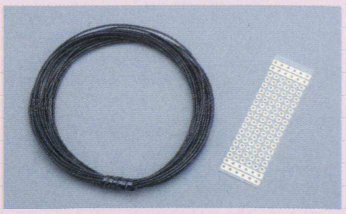
◀CK-62の構成要素。



◀CK-63の構成要素。



▶CK-61。



▲CK-66。

こばる

■RMM162号掲載

保線マーカー(集電向上剤)

鉄道模型に欠かせない集電向上剤を、使いやすいペンタイプとした製品が発売となる。従来製品では塗付に綿棒などが必要なうえ、誤ってこぼしてしまったりすることもあったが、ペンタイプとなることでこれらの問題が解消し、さらに細く柔軟な先端によりレールへの塗布に非常に向いているのが嬉しい。先端が汚れた際の替え芯なども付属する。

(サンプル協力:南洋物産)2,000円

▲製品内容の一覧。

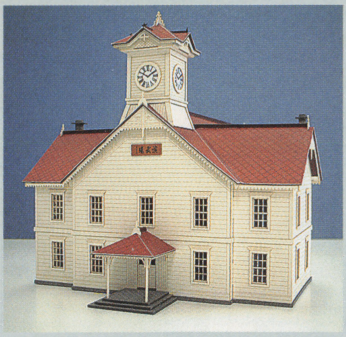
▲ペンタイプなので手軽に使えるのが魅力。

さんけい

■RMM156号掲載

札幌時計台

「昭和の駅舎」シリーズとして実在の駅舎のモデル化を進めるさんけいから、長崎グラバー邸に続き観光名所に題材を求めた製品として札幌時計台が発売された。着色・切抜済のペーパーキットという体裁は一連の製品と同様で、窓桟や軒下の繊細な表現が目を惹く。サイズは143×201×136(h)mm。 4,980円



▲レイアウト・ジオラマにご当地感を出すには最適なアイテムだ。 P:さんけい

■RMM157号掲載

三代目大阪城

姫路城に続く城シリーズの第2弾として、大阪城が発売。1:300という小さめのスケールであるが、高さ180mmの堂々たる天守閣。部品はそれぞれ彩色済の紙をカットしたもので塗装は不要。屋根と石垣は高密度スキャナーによりデータ化され、3D印刷により立体感満点に再現される。 8,400円

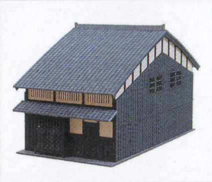
▲大阪環状線の201系などが走るレイアウトの中心に据え、シンボルとして生かしてみたいものである。 P:さんけい

■RMM160号掲載

松本城

さんけいの城シリーズ第3弾となる松本城をご紹介しよう。彩色済の紙を組み立てていき、塗装は不要。3D印刷により立体感は満点である。完成後の大きさは幅96mm、奥行き95mm、高さ110mmと堂々たるもので、1:300とはいえNゲージレイアウトに設置をしても見劣りしない大きさになる。 3,980円

▲レイアウトの遠景にぜひ使ってみたい。 P:さんけい

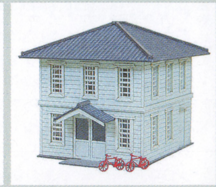


▲01民家のメーカー作例。P(全て):さんけい

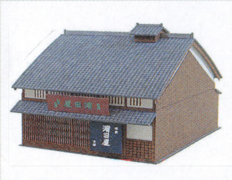
▲02土蔵、リヤカーや人力車などのおまけ付き。

▲03農家。

▲04お堂。



▲05郵便局、赤い自転車2台が付属。



▲06商店A。

▲07商店B。

▲08商店C。

▲09看板建築A。

▲10看板建築B。

■RMM161号掲載

みにちゅあーとプチ
なつかしのジオラマシリーズ

京都模型ブランドの駅舎シリーズ同様、着色特殊紙の精密なレーザーカットによるストラクチャーキットシリーズ。GMキットや街コレとも異なるシャープで繊細な趣が期待でき、特に町家は、これまであまり製品化されてこなかった京都をはじめとする上方町家を模している点は貴重だ。五重塔及び特記以外はくつぬぎ石、とび石、板塀のおまけ付き。

○01民家…格子窓を持つ仕舞屋(しもたや)の風情。他の商店と並べて使いたい。

○02土蔵…上半白壁・下半なまこ壁の如何にもな形態。とび石、リヤカー、自転車、人力車のおまけ付き。

○03農家…ちょっとメルヘン調の小ぶりなもの。大八車のおまけ付き。

○04お堂…山あいの小さなお堂といった風情。後ろは鬱蒼とした竹やぶといったところか。

○05郵便局…ペンキ塗り下見板に縦長の二段窓で、アーリーアメリカン風和洋折衷といった趣。シャープな窓枠が見事。赤い自転車2台付き。

○06商店A…酒屋か味噌屋か醤油屋か。間口の大きい大店の趣。屋根の明り取りがポイントだが、正面の格子窓は見事という他ない。

○07商店B…軒の張り出しからして角店向き。1階の扉が無く、土間を見せる構成ゆえに八百屋などに向いている。

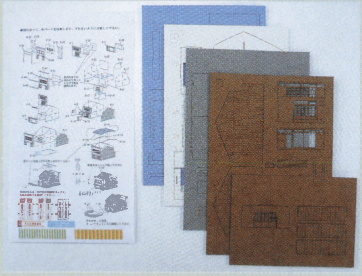
○08商店C…2階階高が大きく、大正～昭和戦前期の比較的新しい町家の風情。

○09看板建築A…商店Cに擬洋風ファサードを付けた趣。キット付属の電器屋の派手な看板がよく似合う。

○10看板建築B…スタイルはAと同様だが、窓枠の意匠が一段凝って、ショーウィンドウが付いている。付属看板の時計屋のほか、洋品店なども似合う。 以上各1,480円

○11五重塔…高さ20cmの立派なもの。如何にも京都のメーカーらしい一作といえ、鉄道模型用のほか、単独の模型作品として楽しむのも一興と言えよう。 7,980円

▲11五重塔、レイアウトのランドマークにどうぞ。



▲01民家のキット状態。

◀11五重塔のキット状態。塗装、切り出しが不要なので気軽に挑戦できるだろう。

■RMM154号掲載

長崎 グラバー邸

長崎の観光名所として有名な木造洋館・旧グラバー邸が発売された。着色・切抜済のペーパーキットで、レイアウト上に異国情緒溢れる光景を再現するのに最適であろう。

4,980円

▲完成見本。なおキットには建物本体のみが含まれる。 P:さんけい

GSIクレオス

■RMM153号掲載

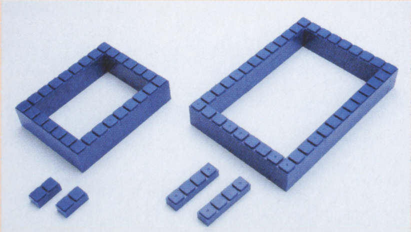
型取りブロック

レジンキャスティングの最初のシリコン型を作る時、従来はプラ板などで「堰」を作ってシリコンを流し込んでいたが、それを何度も使い回しのできるプラ製ブロックに置き換えたアイディア商品。ちょうどブロック玩具のように自由に組み替え可能で、対象物の大きさなどによって最適な型を作ることが可能となる。

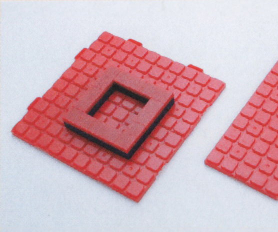
○Mr.型取りブロック…32×16×10mm、ブロック2単位のピースが102個入り。最大でシリコン約500g用とされている。 525円

○Mr.型取りブロック2…ダブルサイズ、すなわち63×16×10mm、ブロック4単位のピースが108個入り。最大でシリコン約1kg用とされている。 1,260円

○Mr.型取りブロックプレート…ブロックを使用する際の下敷きにするプレート(160×80mm)4枚と、油粘土上面を平らにする際に用いるブロックキャップ26個入り。 840円



▲型取りブロック(左)と型取りブロック2。



▲型取りブロックプレート。一段濃く見える部分は型取りブロックで本品には含まれない。

■RMM152号掲載
ツール類各種

○Mr.コードレスルーターPROⅡ…乾電池式の簡便なモーターツール。ヤスリが入らないような部分の切削に1本あると大変便利。ビット軸径は2.35mmで、製品には1本円筒タイプのヤスリが付属するが、別売も各種用意されている。単4電池2本使用。 4,095円

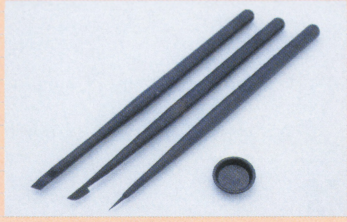
○Mr.コードレスポリッシャーⅡ…これも乾電池で動くツールで、先端に貼った耐水ペーパーが前後に振動して磨き作業の労力を軽減できるというもの。ペーパーを貼る部分は平面のものと円筒状の曲面の2種類のアタッチメントが付属。製品には400番のペーパーが付属するが他の番手やコンパウンド磨きに用いるフェルトバフも用意されている。単4電池2本使用。 3,150円

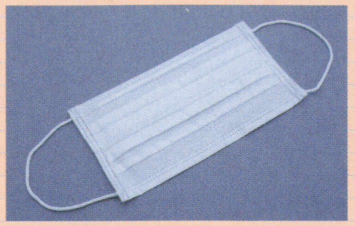
○Mr.グルー・アプリケーター…主に瞬間接着剤を適切な場所に適量塗布するためのスティック。先端形状の違う3本と取り皿のセットで、いずれも接着剤が固着しない材質となっている。 735円

○Mr.簡易塗装マスク…塗装の際の塗料の飛沫を吸入しないように装着する使い捨てマスク。なお有機溶剤臭までは遮断できないので換気等が必要なのは言うまでもない。30枚入り。 630円

▲Mr.コードレスルーターPROⅡ。

▲Mr.コードレスポリッシャーⅡ。


▲Mr.グルー・アプリケーター。


▲Mr.簡易塗装マスク。

■RMM153号掲載
GXカラー各色

RMM142号で第1次発売分（ホワイトとクリアー）を紹介した、クレオスの新しいプラ用アクリル塗料シリーズ。第2次分が発売となり、応用範囲が広がってきた。

本シリーズは鮮やかな発色、高い下地隠蔽力、強い塗装皮膜が特徴で、性質としては従来のMr.カラーと混色が可能、うすめ液も同様だがレベリングうすめ液を用いるとより良い光沢仕上がりとなる。容量は18ml。 各210円

○GX2／ウイノーブラック ○GX3／ハーマンレッド ○GX4／キアライエロー ○GX5／スージーブルー ○GX6／モウリーグリーン

▲基本色が出揃って使いやすくなったGXカラー。なお色味は既存のMr.カラーとは異なる。

■RMM154号掲載
塗装用品各種

○T-114／Mr.ペイントリムーバー…ラッカー系塗料や水性塗料などでの塗装面を剥がすのに用いる、アルコールを成分とした専用液。内容改良のうえ新容器にてリニューアル発売。 263円

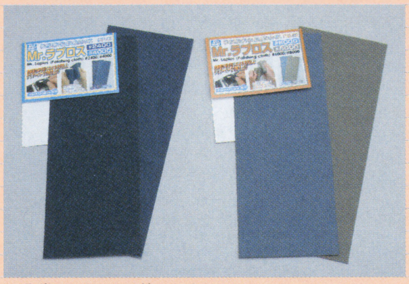
○Mr.コンパウンド…キズ取りから鏡面仕上げまで、表面仕上げの度合いに応じて使い分ける液状（水溶性）コンパウンド。細目（R-189／サンドペーパー3000番相当）、極細（R-190／8000番相当）、粗目（R-191／600番相当）の3種。それぞれに磨き込み用の不織布10枚付属。 各735円

○Mr.エアブラシNL3・ニードルレスタイプ…吸い上げ式・シングルアクション・0.3mmノズルのエアブラシ。ニードルレスタイプで、上部のダイヤルにより塗料の噴霧を調整することが特徴とされる。手入れの際に折損しやすいニードルがないのが長所。 6,825円

▲Mr.コンパウンド（粗目・細目・極細）。

■RMM162号掲載
Mr.ラプロス

GSIクレオスから、細密研磨下処理用耐水クロスが発売となった。非常に番目が細かく、またベースを布製とした点がポイントで、立体物の形状になじみやすくなった他、折り目がつきにくく耐久性が上がる利点もある。もちろん適宜小さく切り取っての使用も可能。鉄道模型の分野では塗装面の光沢仕上げやクリアーパーツの磨き上げに使えるだろう。番目の違うものが1枚ずつ入った2枚セットでの販売となり、#2400／#4000と#6000／#8000の2セットが用意されている。 各420円


▲非常にしなやかで使いやすい。

▲Mr.ペイントリムーバー。

▲Mr.エアブラシNL3・ニードルレスタイプ。

ジオマトリックス・デザイナーズ・インク

■RMM154号掲載
国鉄・JR車用車番インレタ各種

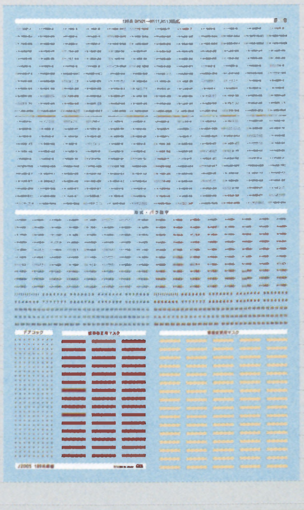
○J2005／189系車番…1984年、国鉄時代の編成車番。N101〜111、113編成の車番と、形式、バラ数字、ドアコック、裾帯修正用赤ベタ、元車番マスク用クリームベタ、さらに別シートでJNRロゴサインを収録。 1,680円

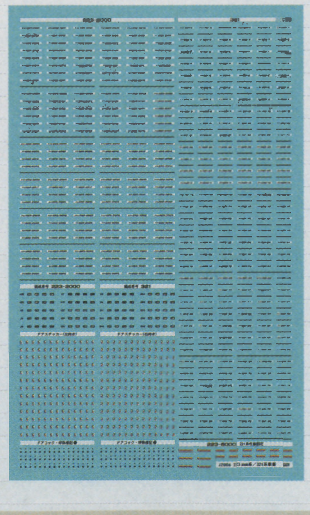
○J2006／223系2000番代・321系車番…各形式の編成車番と呼称標記、編成番号、6000番代用識別帯、ドアステッカーを収録。車番の下には銀色が敷いてあるので、元の印刷はカバーできる。 1,680円

○J2907／221系・223系2000番代車番…各形式の編成車番と221系用マスク、ドアステッカーを収録。221系用、223系用の2シートで構成。オマケ的にR291系（鉄道総研の試験電車）も収録。大阪プラスチックモデル限定品。 1,890円

○J2908／223系1000,2000番代・321系車番…各形式の編成車番とドアステッカーで構成。オマケ的にU@tech（JR西日本の試験車）も収録。冨士模型限定。 1,890円

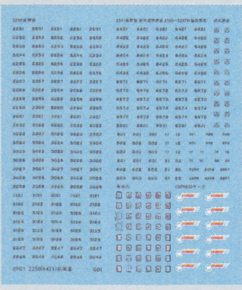
取扱は、大阪プラスチックモデル、ブンカ、冨士模型、松本商事の各問屋と取引のある小売店の他（J2907、J2908は各問屋限定）、発売元直接の通販にて。問い合わせは、郵便の他、eメール（information@geomatrix-designers-inc.com）にて。


◀189系用車番。近日発売予定のKATO製品に好適。


▶223系2000番代・321系用車番（J2006）。J2907、J2908も基本的な内容はほぼ同様。収録内容は3種でダブリがない。

■RMM154号掲載
近鉄用インレタ・ステッカー

○G902／2250（6421）系車番…限定品の鉄コレで発売となった近鉄2250系用をはじめとする各種車番標記類。姉妹系列で名古屋線用（窓一個分車体が短い）6421系用や、その改造車である事業用車の車番、また1〜6、及び い〜へ の号車札とEXPRESSマークまでインレタに収録。さらに富士川車輛工業特製ステッカーには各種サボ、ヘッドマーク、大井川用前面サボまで収録されている。往時の記念切符を思わせる洒落たイラスト入りのヘッダー（商品袋上部のタグ）付き。 1,470円


▲インレタ。

▲ステッカー。

■RMM154号掲載
東武用インレタ各種

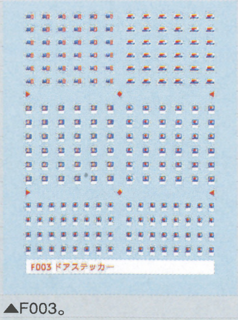
○F001／各種ステッカー…優先席（車体側）、弱冷房車、車イス表示、日比谷線直通（二種類）を収録。 840円

○F002／優先席…優先席（窓側）表示。東急および営団で同デザインを採用していた時期あり。 840円

○F003…ドアステッカー…歴代3種類のデザインを収録。 840円

▲F001。

▲F002。



▲F003。

■RMM155号掲載
国鉄(JR)シリーズインレタ各種

○J0001/各種ステッカー…シルバーシート各種と禁煙車表示各種など。多色刷り。 **1,260円**

○J1001/EF65-500(P形)… 501・504・505・507・508・512・527・529〜531号機を収録。金属インレタ2枚組。 **840円**

○J1002/EF65-500(F形)…513・515・518・520・522・523・525・526・532・534号機を収録。金属インレタ2枚組。 **840円**

○J1003/EF65-500(改造機)…535〜542号機を収録。金属インレタ2枚組。 **840円**

○J1004A/製造銘板(銀)…機関車の銘板各種。金属インレタ。 **840円**

○J1009/EF65-1000後期形[1]…下関、田端所属の各ナンバー。TOMIXサイズ。 **945円**

○J1010/EF65-1000後期形[2]…高崎、新鶴見、岡山所属の各ナンバー。TOMIXサイズ。 **945円**

○J1011/DF200…1〜901号機を収録。金属インレタ2枚組。 **1,680円**

○J1012/EF64-1000[1]…1001〜1028号機のナンバーと、下地に使うプレートマスク(青、クリーム、赤)を収録。2枚組。 **1,470円**

○J1013/EF64-1000[2]…1029〜1053号機とプレートマスク(青、クリーム)など。2枚組。 **1,470円**

○J1901/EF65-1000後期形[1]…下関、田端所属の各ナンバーとマスクインレタ(青、クリーム)。KATOサイズ。 **1,155円**

○J1902/EF65-1000後期形[2]…高崎、新鶴見、岡山所属の各ナンバーとマスクインレタ(青、クリーム、赤)。KATOサイズ。 **1,260円**

○J2001/JNRロゴサイン…国鉄形特急車輌用のマーク大小二種類。金属インレタ。 **840円**

○J2002/113系2000番代車番「JR版」…2005〜07年当時の2000(1500)番代で組成された編成車番。収録範囲は幕張〜大垣区。付録でバラ形式とドアコック。基本白文字でステンレスサロ用が黒文字。 **1,470円**

○J2003/113系2000番代車番「国鉄版」…1984年当時の2000(2700)番代で組成された編成車番。収録範囲は田町〜網干、日根野区。付録でバラ形式とドアコック。基本白文字で、阪和用青文字と関西用赤文字も収録。 **1,470円**

○J2004/455(475)系車番…1978年当時の編成車番。収録範囲は 仙台、金沢、大分。付録でバラ形式とドアコック、訓練車表示。白文字。 **1,470円**

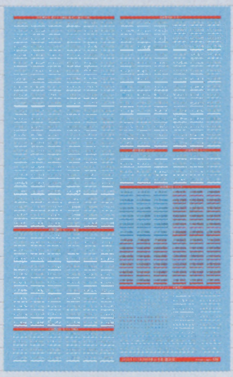
○J2903/103系車番(大阪環状線・大和路線)…編成車番と識別帯(白)、マスクインレタ。白文字&黒文字。3枚組。 **1,680円**

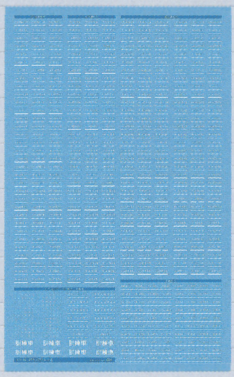
○J2904/103系車番(京阪神緩行線・学研都市線)…編成車番とマスクインレタ。白文字。2枚組。 **1,680円**

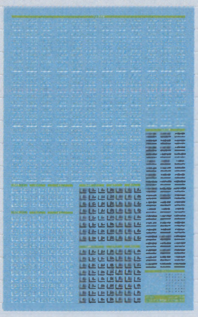
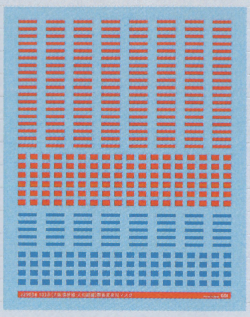
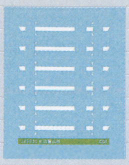
○J2905/103系車番(中央快速線・総武線)…編成車番と誤乗防止ステッカー、マスクインレタ。白文字&黒文字。3枚組。 **1,680円**

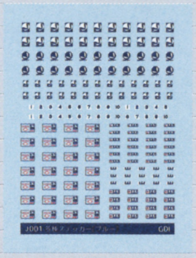
○J2906/103系車番(片町線・関西線etc)…編成車番と誤乗防止ステッカー、識別帯(黄)、マスクインレタ。3枚組。 **1,680円**

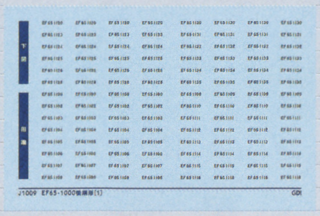
※J2903〜2907は大阪プラスチックモデル限定品。

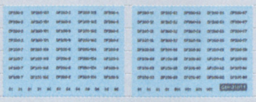

▲J2003。


▲J2004。

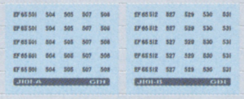



◀◀▲J2903(3枚組)。

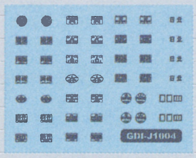

▲J0001。

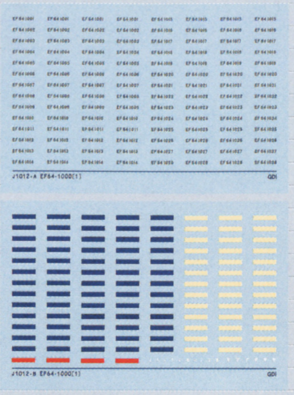

▲J1009。


▲J1011(2枚組)。

▲J2001。


▲J1001(2枚組)。


▲J1004。

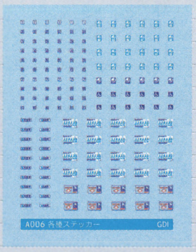

▲J1012(2枚組)。

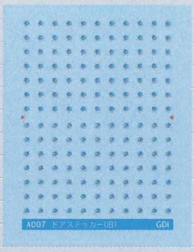
■RMM156号掲載
小田急電鉄 標記インレタ各種

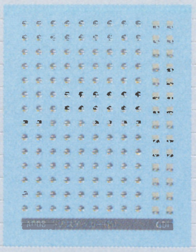
○A006/各種ステッカー…号車番号、弱冷房車、優先席など、比較的近年の各種標記をまとめたもの。優先席標記は時代や使用車輌の違いによる各種が含まれ、使用の際には年代考証などを十分にしておきたい。 **1,260円**

○A007/ドアステッカー(旧)…楕円型より少々古い年代の、円型ドアステッカー。左右各77個入り。 **840円**

○A008/ドアステッカー(新)…ぐっとシックなデザインとなった現行仕様のドアステッカー。通常用左右各63個・女性専用車用左右各14個入り。 **945円**


▲各種ステッカー。


▲ドアステッカー(旧)。

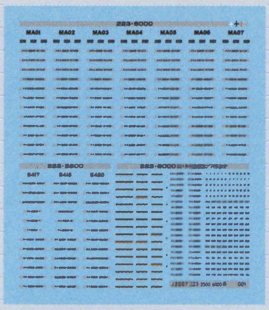

▲ドアステッカー(新)。

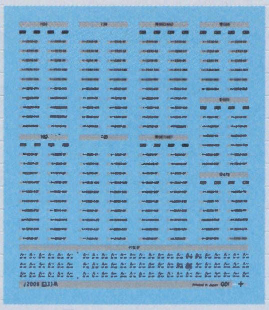
■RMM157号掲載
JR電車用インレタ各種

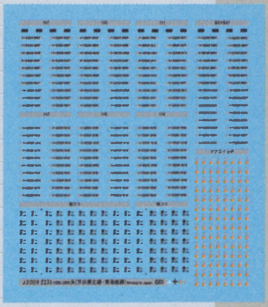
○J2007/223系2500,6000番代…このほど開通したおおさか東線の運用に就くMA01〜07編成を中心に、日根野電車区所属の2500番代を含む編成車番とバラ形式・バラ数字を収録。 **1,470円**

○J2008/E233系…中央快速線用E233系の車番インレタ。KATO製のH編成及び青編成、TOMIX製のT編成いずれにも対応し、T編成用に所属標記も収録。 **1,470円**

○J2009/E233系1000,3000番代…京浜東北線用の1000番代に、KATO製及びTOMIX製の東急製と、TOMIX製中央快速線用の屋根とを組み合わせて再現できる新津製の車番を収録。付録として、東海道線用3000番代の編成車番とドアスイッチを収録。 **1,470円**


▲223系2500,6000番代インレタ。


▲E233系インレタ。

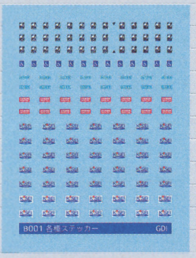

▲E233系1000,3000番代インレタ。

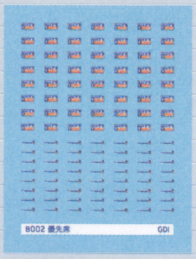
■RMM157号掲載
京成用インレタ各種

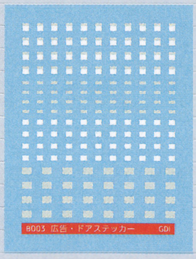
○B001/各種ステッカー…優先席(車体側)、弱冷房車、京成グループのマーク、女性専用車、車イス表示を収録。 **1,260円**

○B002/優先席…優先席(窓側)と携帯電話マナーのステッカーを収録。 **1,050円**

○B003/広告・ドアステッカー…ドア注意ステッカーと、広告ステッカーの側面用と妻面用を収録。 **735円**


▲各種ステッカー。


▲優先席。


▲広告・ドアステッカー。

■RMM157号掲載
京急用インレタ各種

○D001/各種ステッカー…優先席、弱冷房車、車イス表示を収録。 **840円**

○D002/ドア注意ステッカー…丸の中に手形が入った形である。 **630円**

○D103/4輌用車番(2枚組)…各形式の編成車番とKHK/KEIKYUロゴを収録。6輌編成の車番も含む。収録編成は新600形の651-656F、1500形の1501-1549Fと1601-1637F、2000形の2411-2461F。 **1,470円**

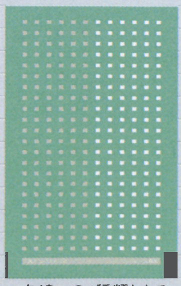
○D104/8輌用車番[1](2枚組)…各形式の編成車番とKHK/KEIKYUロゴを収録。収録編成は新600形の601-604F、1500形の1613-1625Fと1701-1713F、2000形の2011-2031F。 **1,470円**

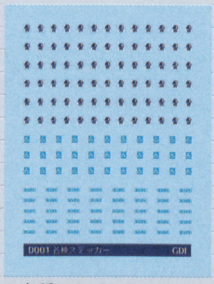
○D105/8輌用車番[2](2枚組)…各形式の編成車番とKHK/KEIKYUロゴを収録。収録編成は新600形の605-608F、1500形の1631-1649Fと1719-1731F、2000形の2041-2061F。 **1,470円**

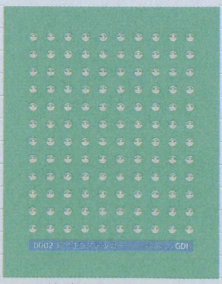
■RMM157号掲載
広告ステッカーインレタ

○Z002/広告ステッカー(グレー)
○Z004/広告ステッカー(ブルーグレー)
○Z005/広告ステッカー(グリーン)
○Z006/広告ステッカー(ブルー)

色違いで各種ある広告ステッカーのインレタ4種類。室内に貼られるステッカーの裏面が、窓の外から見えるのを再現するもの。グレーとブルーグレーには白を合わせて収録している。各種車輌に汎用できる。 **各735円**


▲色違いの4種類となる。

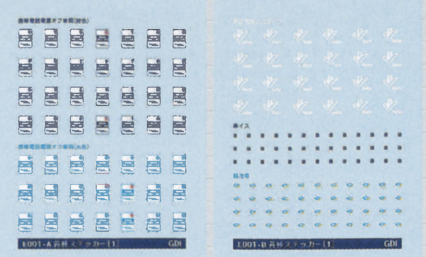

▲各種ステッカー。

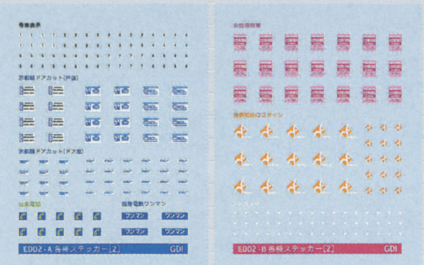

▲ドア注意ステッカー。

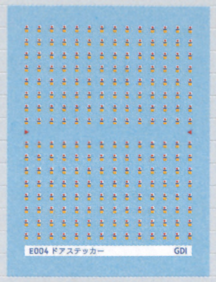
▲2枚組で入る4輌用車番の1枚。

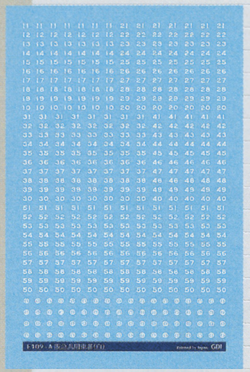
■RMM158号掲載
阪急用インレタ各種

○E001／各種ステッカー[1](二枚組)…阪急電鉄ロゴと携帯電話マナー2種類、弱冷車標記、車イス表示を収録。 1,260円
○E002／各種ステッカー[2](二枚組)…能勢電鉄ロゴを前面と側面、ワンマン表示、女性専用車、公衆電話、号車表示、京都線ドアカット3種類の標記を収録。 1,260円
○E003／優先座席…関西私鉄各社の共通デザインであり、現在も近鉄で採用されている。 840円
○E004／ドアステッカー…黄色い広告が目印のステッカー。 945円
○E005／阪急電鉄Hマーク…先頭車戸袋部分に装飾されたHマークを、2種類10点ずつ収録。金属製。 840円
○E007／優先座席(新)…2007年10月末から施行された新デザインを91点収録。 840円
○E107／阪急従来車前面扉枠…グリーンマックスのキット及び完成品やKATO6300系に対応する金属製インレタを4編成分収録。 735円
○E108／阪急8000系前面扉枠(飾り帯なし)…グリーンマックス製エコノミーキット及び完成品に対応するものが3編成分収録されている。 630円
○E109／阪急汎用車番(白)(二枚組)…00～99の羅列と阪急電鉄旧社紋を収録。 1,260円
○E903／阪急創立100周年記念マーク…側面ロゴ42点と、鳳車輛製造特製のヘッドマークステッカーが封入されている。 840円


▲各種ステッカー[1]


▲各種ステッカー[2]

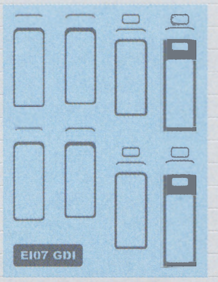

▲ドアステッカー

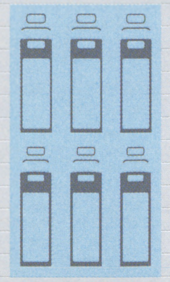

▲阪急汎用車番(白)

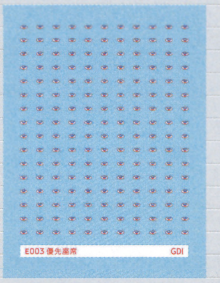
▲阪急電鉄Hマーク

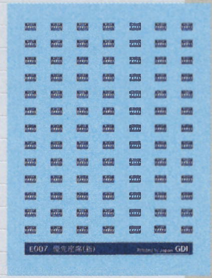
▲E903同封のヘッドマーク。

▲阪急創立100周年記念マーク


▲阪急従来車前面扉枠

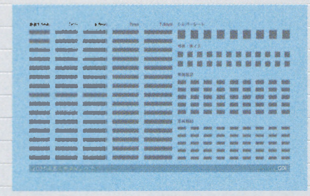

▲阪急8000系前面窓枠

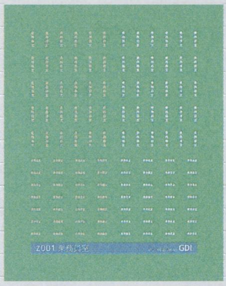

▲優先座席


▲優先座席(新)

■RMM159号掲載
汎用インレタ2点

○Z001／乗務員室
○Z003／車番変更用マスク(銀)
使用範囲の広い車輌用インレタ。Z001は縦書き、横書きの白文字、グレー文字それぞれ30点ずつ収録。Z003はステンレス車の標記類が印刷されている上に貼り、さらに上から新たに転写したいものを貼る仕組み。シルバーシートや所属・定員標記を含めた9種類のサイズが収録されている。 各735円

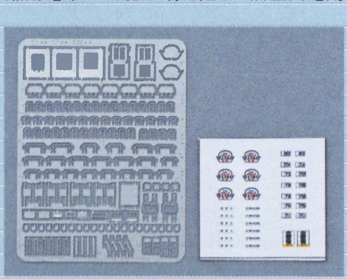

▲9種類のサイズが収録される。

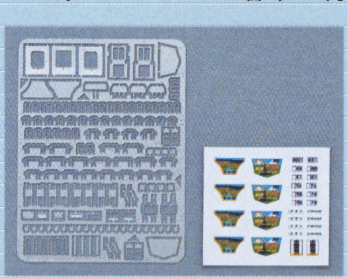

▲縦/横書き、白/グレー文字で4種類。

湘南電車／ジル

■RMM158号掲載
クモハ53/クハ68グレードアップパーツ

○STM-TFP007／クモハ53007/クハ68400パーツセット
○STM-TFP008／クモハ53008/クハ47009パーツセット
個性的なNゲージパーツをリリースし続ける湘南電車から、飯田線を走った旧型国電用のパーツセットが発売される。キングスホビー製キットや自作モデルに好適。それぞれ前面窓枠、ヘッドマークベース、手スリ、ワイパー、サボ受けといった各種ディテールパーツを収録。さよなら運転時のヘッドマークやサボ、運行番号のステッカーも付属する。細かな形態差を再現したい工作派には見逃せない製品であろう。 各1,260円


▲クモハ53007/クハ68400パーツセット。


▲クモハ53008/クハ47009パーツセット。

SWEET

■RMM159号掲載
ドラム缶

○14-P001…Nゲージレイアウトをリアルにするドラム缶のキットが届いたので紹介しよう。今までにも各種ストラクチャーのおまけとしてドラム缶が付属したことはあったが、この製品はフタの給油口まで再現された精密なもの。元は飛行機プラモ(1:144)のアクセサリーだがNゲージのジオラマでも有効に使いたい。32個入り。 630円

▲写真は組立見本。合いは良く組立は簡単。

セメダイン

■RMM159号掲載
ロックタイト

瞬間接着剤の新製品が届いたので紹介しよう。
低白化タイプは瞬間接着剤の弱点とされる硬化時の白化現象を抑えたもの。塗装後の部品取り付け、また窓ガラスなどの透明パーツを取り付ける際に便利である。3g入り。
ジェルプラスは、ゼリー状で耐衝撃性に優れているとされるため、接着面積の少ない箇所や、やや重いパーツの接着に適している。4g入り。 各630円

◀左が低白化、右がジェルプラス。目的に合わせて使い分けたい。

ターナー色彩

■RMM151号掲載
グレインペイント

絵の具やポスターカラーのメーカーとして知られるターナー色彩から、鉄道模型のレイアウトやジオラマに好適な水性アクリル塗料が発売された。
通常の塗料とは異なり、複数の色目に着色されたセラミック粒子がアクリル樹脂に溶かし込んであり、筆で塗るだけであたかもパウダーを固着したかのような、粒状感のある表面仕上げが得られるもの。複数混色も可能で、水性ではあるが乾くと水に溶けなくなる。
下地として紙、木、発泡スチロール、石膏等に塗ることが可能で、これまでの下地塗り→ボンド塗布→パウダー散布という工程が一度に済むこととなり、レイアウト製作のスピードアップと表現力の拡大が望めることであろう。色は白、浅灰(細粒子)、深灰(細粒子)、黒、白砂、黄土、黄茶、赤土、浅緑、深緑、緑茶、土緑の計12色。各色40ml(塗布面積はA4紙約1枚分)の瓶入りで、単品のほか複数色のセット販売もされる。主な画材店や模型店で発売中。
○各色40ml瓶入り単品。 各420円
○3色セット(白／深灰／黒、白砂／黄土／赤土、浅緑／深緑／緑茶の3種) 各1,155円
○全12色セット 4,725円

▲新発想の塗料、グレインペイント。

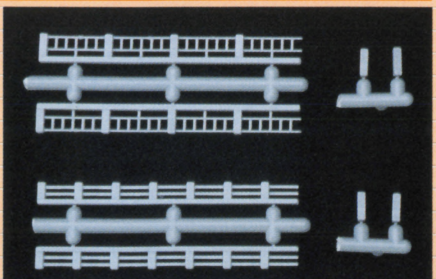
▶適宜混色して使用するとさらにリアルとなる。

P(2点共)：ターナー色彩

津川洋行

■RMM159号掲載
欄干・柵

○13434／欄干・柵A
○13435／欄干・柵B
…津川洋行からNゲージレイアウト用新製品が発売。Aははしご状、Bは太い角材を2本横に並べている形状で、レイアウトモデラーは重宝しそうだ。プラインジェクション成型品。それぞれ8枚入り。 525円


▶上が欄干・柵A、下が欄干・柵Bとなる。

タヴァサホビーハウス

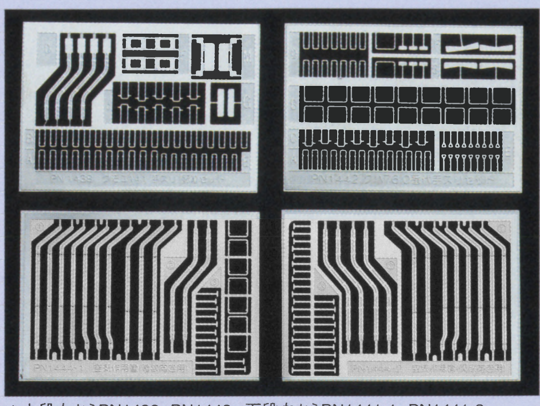
■RMM153号掲載

Nゲージ電車用パーツ各種

○PN-1438／クモユ141手スリ・配管セット…屋上手スリや前面ステップ、屋根途中から車内に入る作用管などが含まれる。 284円

○PN-1442／クハ76 0番代手スリセット…定番の手スリパーツ。湘南前面用の前面ステップなども含む。 273円

上記2点は同社クハ75キットに含まれていたものの単品販売。



▲上段左からPN1438、PN1442。下段左からPN1441-1、PN1441-2。

◎空気作用管…パイピング作業の難しい空気
作用管の製作を支援するパーツ。

各315円

○PN1444-1／奇数向用…前面用は接着後、φ0.3穴を開け、小さなピンで固定する。

○PN1444-2／偶数向用…裾部分の微妙な曲がり具合の違いにより、各2本4種が含まれる。ホビダス限定飯田線245Mセットに含まれていたものの単品販売。

■RMM161号掲載

旧国用パーツ各種

○PN-1448／クモユニ81手スリ・配管…クモユニ81の直角に曲がる作用管の他、正面手スリ類や側面昇降段などが含まれる。 399円

○PN-1449／旧国用ルーバー…前面用12個・側面用8個入り。 294円

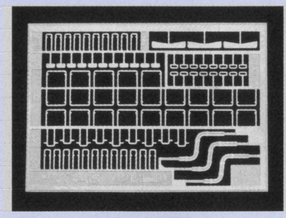
◎旧国窓枠…既に発売の40系用に続く、各種幅の窓枠セット。

各399円

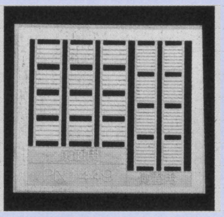
○PN1450-2／42系用…500・550・700mm幅。クハ47のトイレ窓や、クモハ42改造のクモハ51830などにも使える便利な窓枠集。

○PN1450-3／600mm幅…汎用タイプ。

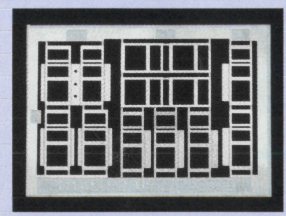
○PN1450-4／700mm幅…同じく汎用タイプ。



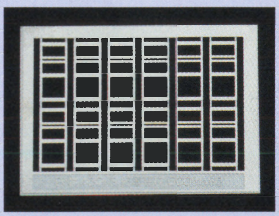
▲クモユニ81手スリ・配管。



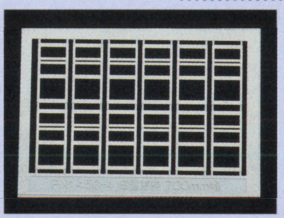
▲旧国用ルーバー。



▲42系用窓枠。



▲600mm幅窓枠。



▲700mm幅窓枠。

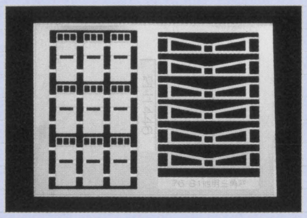
■RMM156号掲載

70、80系三角窓、運行表示窓パーツ

○PN-1446…先にホビダスから販売された「飯田線245Mセット」に含まれたパーツが待望の単品発売となった。

三角窓枠は、GM製70・80系の乗務員室側面にある三角窓で、省略されている窓枠を再現するパーツ。左右6個入り。

運行表示窓は、枠部分と表示部分を別に塗装してから折り曲げて、組み立てる構造で、従来品に比べよりシャープな塗り分けを得ることができる。9組入り。



■RMM156号掲載

1,300mmドアレールインレタ

○PX9493…小田急などの民鉄を中心に使用例の多い、両開き扉のドアレールを再現するための、銀メタリックのインレタ。細くて美しく色入れすることが非常に難しい部分なだけに、重宝することであろう。1,300mm幅両開きドア81枚分入り。

735円

■RMM158号掲載

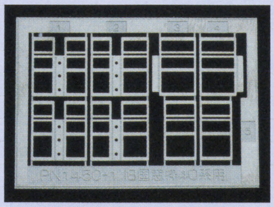
旧国用パーツ各種

○PN1422-3／70系用交換扉(3)…70系向けの1,100mm交換用客扉。以前発売されたプレスドア1枚窓、プレスドア2枚窓に続き、今回は鋼製非プレスドアとなる。 315円

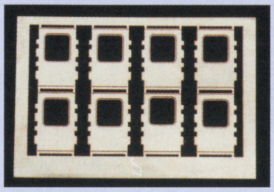
○PN1450-1／旧国窓枠40系用…GM製クモハ41などの改造に対応した窓枠パーツ。クモハ40運転台後部窓(平妻車用・半流車用)、クモハ41850用後位800mm窓、前面助士側用700mm窓を収録。 399円

○PN1451／乗務員扉額縁…GM製クモハ41などの乗務員扉をいわゆる「額縁」状にするパーツ。別売の同社製乗務員扉(PN431～434、439、461、462)と組み合わせて使用する。1輌分入。 305円

▲乗務員用額縁



◀旧国窓枠40系用



◀70系用交換扉(3)

■RMM162号掲載

川車製

東急3450型台車枠

○PX1410-1…グリーンマックス製台車(日車D型)を加工して取り付けるホワイトメタル製パーツ。熱心な東急ファンから歓迎されるだろう。元の台車枠を薄く削って上から接着する構成で、接着剤はエポキシを推奨。1輌分入り。 1,155円

▲同社製東急3450形キットなどに好適だ。

ディオ グラフィックス

■RMM153号掲載

背景画

CGを用いた実感的かつ日本型レイアウトにマッチする背景画各種を供給してきたディオグラフィックス。その効果はRMM139号35頁などでもお伝えしてきたが、今回レギュラー商品の仕様・価格改定が行なわれた。サイズは90×31cmのタイプで、従来染料インクタイプと顔料インクタイプの両方をラインナップしていたのを、より耐水性・耐光性に優れる顔料インクに一本化し、その上で若干従来より価格を下げている。ベース紙は伸縮が極めて少ない合成紙を使用。 各6,720円

▲新作の「No.24　工場地帯」。貨車ヤードの奥側に置くと効果的だろう。

■RMM157号掲載

背景画「空と山並み」

日本型ジオラマの背景画を積極的に製品化するディオグラフィックスの新製品が登場。

従来製品が「遠景の建物&風景」というものが多かったことから、「空だけの背景が欲しい」というユーザーのリクエストに応えたもので、タイトル通り青い空と山並みを自然に再現したものとなっている。

従来製品同様、湿気などに強い合成紙(ユポ)を使用。標準サイズ(2500mm×600mm)の他に、細かくサイズを指定してのオーダーメイドも可能となっている。

21,000円(標準サイズ)

▲空と山並みだけを再現した、汎用性の高い背景画。

■RMM161号掲載

背景画「山並みと渓谷」

○No.25／山並みと渓谷…高品質の背景画をリリースしているディオグラフィックスから、新製品が登場。山並みと渓谷を描いたもので、大きさは900mm×310mm。従来製品と同様に湿気などに強い合成紙(ユポ)に、耐候性に優れる顔料インクを使用。詳しくはメーカーのホームページにて確認をいただきたい。 6,720円

▲ローカルシーンを再現したレイアウトに使いたい。

鐵道少年舎

■RMM159号掲載

久大本線ジオラマ「玖珠の川風」

久大本線と寄り添うように流れる玖珠川。いくつも鉄橋が存在するが、その内の一つをモチーフとしたジオラマである。もっとも切り取る範囲が狭いこともあり、特定の風景と捉えずとも楽しめるだろう。ガーダー橋が緑色と灰色、それに鉄橋両脇の木々を赤くして秋の情景を再現した3種類がラインナップされる。製品状態そのままでも十分楽しいが、川辺で遊ぶフィギュアを加えて自分だけの情景を再現するとさらに面白くなるだろう。サイズは350×95×100mm(ケース外寸)。

各9,980円

▲ガーダー橋灰色(車輌は演出用)。

ディディエフ

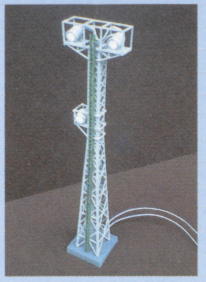
■RMM160号掲載
水性グレインペイント
●製造：ターナー色彩

レイアウト用品メーカー、ディディエフが絵具メーカーであるターナー色彩と共同開発した、水面の表現に適した水性塗料が発売になる。筆で塗り重ねて使用し、乾燥すると艶のある無色透明に、また耐水性もある。水性なので乾燥前なら筆を水洗い出来るのもうれしいところ。レイアウトモデラーにこれから欠かせない素材となるだろう。60ml入りの2本セットとなる。 750円

▲同じものが2つ入り。 P：ディディエフ

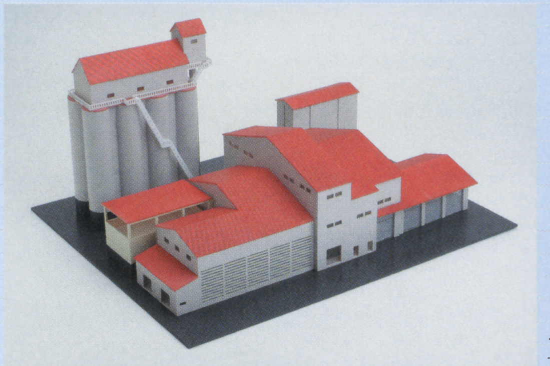
■RMM161号掲載
ヤード照明灯

イルミネーションツールは昨今急速に充実を見せるが、これは電車区、機関区、貨物ヤード等に広く使える完成ストラクチャー。ABS樹脂切削組立によるもので、白色LED照明を3灯装備している。電源はDC12V。高さは約250mmだ。グレー塗装の塗装済でリリース。基本的にNゲージ用だが、16番でも使用可能だろう。シャープな出来栄えだが、ABS製ということで、モジュールレイアウト等では取り外し可能にしておくほうがより安心して扱うことができるだろう。 6,300円


◀フロアレイアウトのヤードにも置いてみたいもの。写真はLED点灯状態。 P：ディディエフ

■RMM162号掲載
大型農業倉庫

Nゲージで、赤い屋根が鮮やかな農業倉庫が登場する。塗装済完成品で発売され、近代的な農業倉庫には欠かせないカントリーエレベーターも表現。材質はABS材からの切り出しによっている。寸法は300×250×高さ150mm。現在の農業風景を再現する際に、レイアウトモデラーには見逃せない新商品である。ショップだいおらま及びWEB限定販売。 8,400円


◀製粉工場にも応用できそうな外観だ。

デラックス・イノベーションズ（アメリカ）

■RMM153号掲載
海上コンテナ 各種
○3250／川崎汽船"K"-LINE
○5390／昭和海運
○20050／日本郵船

日本の海運会社のISO規格コンテナが入荷した。赤いコンテナは川崎汽船"K"-LINEの20ftコンテナ。藍色は日本郵船が2001年に導入したダブルウィング・ロゴの40ftハイキューブコンテナ。1998年に日本郵船に吸収された昭和海運のスカイブルーのコンテナは1980年代に量産されたロゴパネルスタイルと、時代による形態変化も再現されている。全長は38.3mmまたは76.4mm、高さは16.3mm（ハイキューブは18.3mm）、幅15.4mmの1:160スケールであるが、日本型でも様々なシーンに活用可能である。

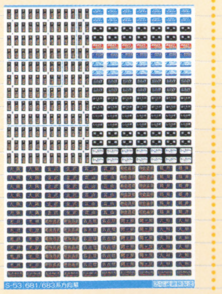
（サンプル協力：さかつう）

▲左から日本郵船のハイキューブ40ft、昭和海運の40ft、川崎汽船"K"-LINEの20ft。

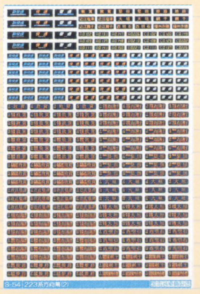
電通車輌製造

■RMM156号掲載
681・683系方向幕ステッカー
○S-53…〈雷鳥〉、〈しらさぎ〉、〈はくたか〉、〈加越〉をはじめとした、681・683系が運用される各列車の側面種別、行先表示をきめ細かく収録。指定席・自由席の別が一体表示される号車表示も、各列車に対応するよう丁寧に網羅されている。

2枚組セットで、12輌分に対応。 1,050円



■RMM158号掲載
223系方向幕（2）
○S-54…KATO製223系用のステッカー。新快速・快速・普通の種別表示（前面用・側面用。それぞれローマ字部分の地色が青・黒の2種あり）、前面行先表示（敦賀、近江塩津、近江舞子、堅田、大垣、西明石、姫路、網干、播州赤穂）、側面行先表示（前面と同じ行先に経由地・路線名表示が加わって全18種）、運行番号表示（21種類を収録。2枚組で12輌編成に対応する。 1,050円


◀223系方向幕（2）

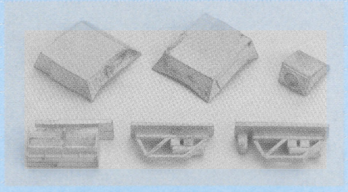
特急工房とろりぃすぱーく

■RMM153号掲載
近鉄2250系用クーラー

近鉄自身より発売された鉄道コレクションの2250系を、冷房化後の姿とするための改造パーツが発売となる。実車は1953年に登場後、1957年より冷房化が行なわれており、この時以降、1960年の格下げまでの姿ということになる。ちなみにこれは我が国の電車冷房の本格的な運用としては事実上初めてのことだと言われている。

パーツはホワイトメタル製で、床下の凝縮・圧縮装置、屋上の調和装置とダクト、それに写真には含まれないがライトレンズ（これはプラ製）から成る。近畿日本鉄道商品化許諾申請中。モ＋サの2輌分入り。 1,575円

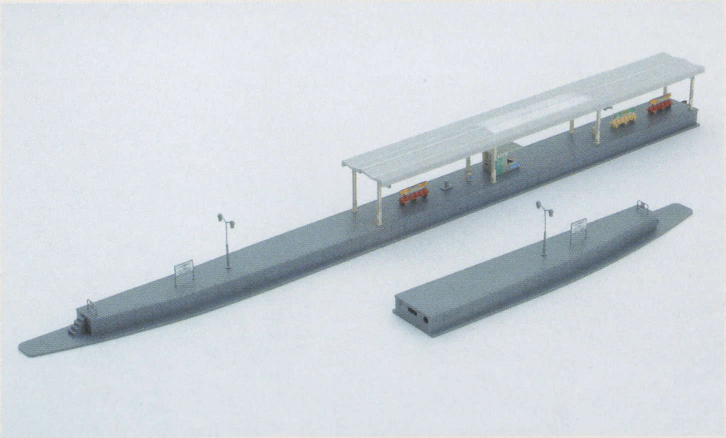
取扱は、発売元の通販の他、ジーエムストアーナゴヤ大須店、同大阪日本橋店にて。


▲上段が屋上機器、下段が床下機器。冷房装置本体はサ3020に搭載された。

▲左のサの屋上両端に調和装置が搭載され、隣接するモには空中のダクトを通じて冷気が送られた。

TOMIX／トミーテック

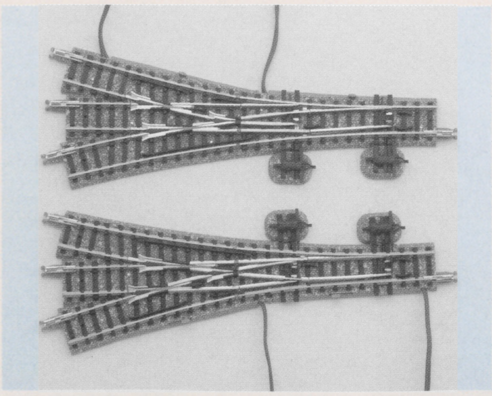
■RMM152号掲載
島式ホームセット（近代型）
大型車輌用
○4067…新幹線などの大型車輌を走らせる際、従来のホームでは端部が車体と接触する可能性があったことから企画されたホーム。端部のRですぼまったパーツが、従来の150mm長から220mm長と長くなり、その分描くRも緩くなっている。適合するレール配置は従来と同じくレールセット「待避線セット」で、複線間隔は55.5mm。中央部の屋根が付いた部分は従来の「近代型」と同じもので、延長にも既発売のものが使える。製品にはベンチや駅名板、照明などの豊富なアクセサリーパーツとステッカー付き。3ピース合計の全長は720mm。 1,680円


▲従来のホームセットは4ピースから成っていたが、今回は端部が長くなった分、屋根ナシのピースが省略され3ピース（全長は同じ）。

■RMM153号掲載
電動3方ポイント
○1261／1262…3方ポイントには、一点で直進・左右に振り分ける三枝分岐器（強度的に不利で、高速通過を行なわない操車場や電車区などで使用される）と、片側分岐に続けて反対側への分岐を一基に組み合わせた複分岐器（トングレールが通常構造のため、本線上への設置も問題ない）とがあり、いずれも狭い敷地内で側線の有効長をかせぐ時などに使用される特殊分岐器だ。

この製品では可動部分の精度的制約等もあり、従来のR541分岐にR280分岐を追加した複分岐器とされたが、前述のように本線上への使用も不自然でないのは利点だ。分岐側レール端基準で左右共にC541-15と同等で、それぞれ逆カーブのC541-15をつなぐと280mmの距離で左右に線路中心間隔37mmの側線ができる。

品番1261のN-PRL541/280-15（F）は先に右へR541、続けて左へR280で分岐し、1262のN-PLR541/280-15（F）は先に左へR541、続けて右へR280で分岐する。R280分岐側は、ボギー車と違い固定軸距の長い蒸機などには、単純なカーブ通過と比べ条件的に厳しい面があるが、レイアウトの線路配置／入線車輌に応じ分岐側半径を選べる点は好ましい配慮だ。ファイントラック標準の仕様として、道床下に2基の電動切替ユニットを内蔵しレバーでの手動転換も可能、さらにスプリングポイント機能もあり、完全選択式通電と最近のフル仕様。ダミーのポイントモーターも付属する。 各5,145円


▲下が先に右側へ分岐する1261、上が1262となる。

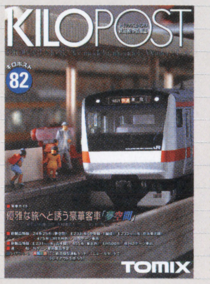
■RMM153号掲載
ガソリンスタンド
○4064／エネオス
○4065／JOMO
○4066／出光
…TOMIXのガソリンスタンドがリニューアル発売された。最大の特徴は、スタンド上屋と塀に社名のロゴやマークが印刷済となったことだ。駐車位置を示す白線も印刷済。また、近年増加しているセルフスタンドにすることができるなどステッカーが非常に充実している。
エネオスはステッカーにより、整備や車検が行なえるDr.Drive店にすることもできる。JOMOは喫茶・休憩コーナーなどが充実したValue Style店の新バージョンがモデル。出光は新デザインのカラーリングがモデルで、小さなアポロマークもクッキリとした印刷で表現されている。
型としては前回製品から変更はないが、いずれも現在の街並みを表現するためにはなくてはならないアイテムだ。「ザ・カーコレクション」の乗用車や小型トラック、「ザ・トラックコレクション」第3弾のタンクローリーを置いて給油中のシーンを再現すれば、レイアウトやジオラマが非常に活き活きとしてくることだろう。
各2,100円

▲出光。

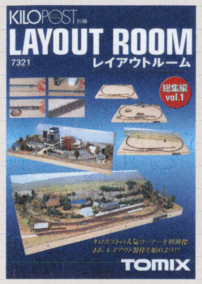
▲エネオス。

▲JOMO。

■RMM154号掲載
『キロポスト82号』
●A4判・32頁・525円
2008年春号の新製品の目玉はNゲージの24系25形「夢空間」。新しい列車の旅を模索した車輌として、巻頭に実車ガイドを掲載している。このほかNゲージではE233系中央線・京浜東北線や475系、16番ではE231系500番代山手線、455系などJR／国鉄の車輌新製品が多数紹介されている。連載「レイアウトルーム」では特別企画として、ミニ鉄道模型運転セットとミニレールセットを使用した小レイアウト製作の記事を掲載。

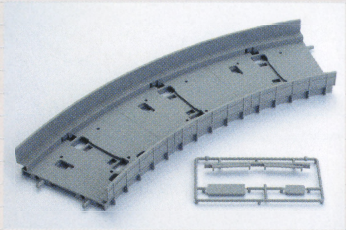


■RMM155号掲載
『キロポスト別冊
レイアウトルーム総集編 Vol.1』
●A4版・44頁・735円
○7321…TOMIXの情報誌「キロポスト」連載の、レイアウト製作記事「レイアウトルーム」をまとめて総集編とした冊子。そのVol.1では、「キロポスト」44～65号までの記事を選んで掲載。「2方向から楽しめるミニレイアウトを作ろう!!」では、背景板を境にして、街と田舎の風景がリバーシブルする600×900mmのレイアウトを製作。「こだわりのシーナリィ製作法」では、線路周辺のリアルな仕上げ方を紹介している。レイアウトやジオラマ製作方法などを分かりやすく解説しており、ビギナーからベテランまでお勧めしたい一冊である。オールカラー。

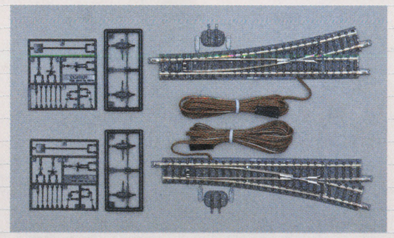


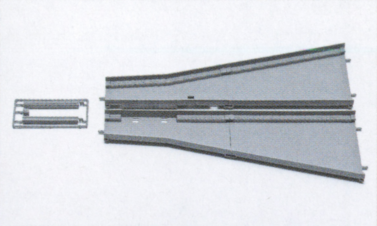
■RMM156号掲載
『キロポスト83号』
●A4判・32頁・525円
2008年春号。今回の目玉製品として、E233系、キハ183系の実車ガイドと製品紹介を巻頭に掲載。最近発売の製品や5月から9月にかけての発売予定品も簡潔な解説とともに紹介されている。連載「レイアウトルーム」では電車区を中心としたセクションの工作を解説。「鉄道コレクション」第7弾をはじめジオコレ新製品についてもアナウンスがある。

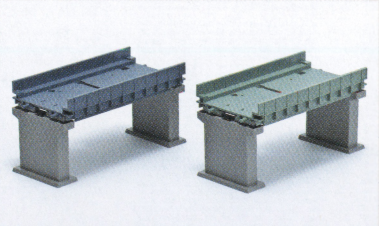
■RMM157号掲載
複線カーブガーダー橋
○3065…TOMIXの複線高架橋に、新しいラインナップが加わった。C317・280、角度15度の3枚セットで、複線ガーダー橋として初めてのカーブである。カーブポイントと合わせて使うことでカーブの片渡り線を高架橋に設けることができ、もちろん1枚で通常のレールと合わせたことで角度15度の高架橋にもなる。
コード開口部のフタ3種付き。線路配置の幅を広げるのに好適な新製品と言えよう。
1,260円


▲セットに含まれる3枚を接続した様子。

■RMM158号掲載
ファイントラック関連各種
○3067／複線ガーダー橋Ⅱセット(青)
○3068／複線ガーダー橋Ⅱセット(緑)
…以前から販売されていたTOMIXの複線ガーダー橋だが、後述の完全選択式電動ポイント発売に伴いリニューアルされた。同製品の取付に対応してコード開口部の位置が変更されている。その他複線PC橋脚が付属し、青・緑の2色が用意されるなど基本的な仕様は従来と同様。
各1,050円
○1271／電動ポイントN-PR541-15(F)
○1272／電動ポイントN-PL541-15(F)
…TOMIXレールの標準的なポイント、N-PR(L)541-15(F)が、完全選択式に仕様変更のうえ再発売。電気配線の簡略化が実現されるほか、スプリングポイントとしての使用も可能。ギャップを作る際は別売の絶縁ジョイナーを使用する。ダミーのポイントモーター、スプリングポイント標識、手動切換機、標識シールが付属。追って手動式も発売される。
各2,415円
○3066／高架橋Ⅱ PR(L)541-15-55.5…高架駅で島式ホームを設置する際、両端部に使用する高架橋。前述の複線ガーダー橋と同様に、完全選択式電動ポイントへ対応するためコード開口部の位置が修整されている。コード開口部のフタ付、4枚1組。
945円


▲電動ポイントN-PR541-15(F)及びN-PL541-15(F)。


▲高架橋ⅡPR(L)541-15-55.5。


▲複線ガーダー橋Ⅱセットの二種。

■RMM159号掲載
マイプランLTⅡ(F)
○90944…車輌の付属しない、線路とパワーユニットなど運転に必要な一式が揃ったマイプランセットがリニューアルされた。
内容は、S140とリレーラーレールのS140-REが各1本、S280が3本、C280-45が8本、パワーユニットN-1とDCフィーダーN、リレーラーがそれぞれ1つと各種の説明書。
好みの車輌と一緒にプレゼントとするのはもちろん、ベテランでも運転一式を手元に置く際に便利なセットである。
7,350円

▲レールパターンAのセット。

■RMM159号掲載
コンテナ2種
○3129／JR 19B形コンテナ・リニューアル…現代のコンテナ列車に搭載され全国で見られる、19B形コンテナのリニューアルされたシンプルな姿。
○3133／私有 COSCOコンテナ…パンダマークがかわいらしい、運送会社のCOSCOが所有するコンテナ。
どちらも12フィートコンテナが3個入りでそれぞれ番号を違えてある。
各735円

▲3129／JR 19B形コンテナ・リニューアル

▲3139／私有 COSCOコンテナ

■RMM159号掲載
『キロポスト84号』
●A4判・32頁・525円
2008年夏号。巻頭の実車ガイドでは前83号で速報されたキハ183系について詳しく紹介。ED79、EF66貨物色、N700系、583系、24系さよなら銀河セット、16番EF81・E231系500番代、完全選択式ポイントなど8月・9月のニューアイテムも簡潔に紹介されるほか、2009年春までの製品化予定もアナウンス。連載「レイアウトルーム」では近代的な駅とその周辺の製作を取り上げる。

■RMM161号掲載
ファイントラックレールセット
TOMIXのレールセットがファイントラックの仕様変更によってリニューアルされた。従来のレールセットとは、完全選択式ポイントへ変わったのが一番大きな違い。また新規格のカーブレール、C605-10が登場したことで、複線の本線中にプラットホームがより自然な形で設けられるようになった。
○90945／マイプランNRⅡ…車輌の付属しないセットで、エンドレスと待避線がパワーパックとともにひとまとめになっている。ベーシックセットとは別の好みの車輌からNゲージを始める場合だけではなく、レールパターンのバリエーションを増やす際にも活用したい。
18,900円
○91070／高架複線駅セットⅡ…新規格のカーブレールC605-10と大型車輌用島式ホームの採用で、最新通勤型電車や新幹線の似合う駅が再現される。
13,440円
○91091／引込み線セットⅡ…ポイントマシンとポイントスイッチがない、手動式ポイントのセット。
4,410円
○91092／待避線セットⅡ…プラン自体は上記の引込み線セットⅡと同じで、こちらは電動ポイントとなる。
7,665円

■RMM162号掲載
『トミックス総合ガイド (2008-2009年版カタログ)』
●A4判・432頁・1,890円

今回新たにメインタイトルが「トミックス総合ガイド」とされているが、内容は今までの総合カタログを引き継ぐもの。TOMIXブランドの各種製品に加えて、目ざましい充実を見せる「ジオラマコレクション」についても紹介する。特集にはED75・79が取り上げられ、機器類や番代ごとの差異などを解説。第二特集として新展開の完全選択式ポイントについても説明がなされている。

■RMM162号掲載
『キロポスト85号』
●A4判・30頁・525円

2008年秋号。今回の実車ガイドは戦後地域輸送の立役者のひとつ、61系鋼体化客車。今般発売となる同系の製品をはじめ、11月から2009年春にかけての新製品をアナウンスする。連載「レイアウトルーム」では棚田のある農村部の情景を取り上げ、起伏のあるセクションの製作を解説。ジオラマコレクション注目の新製品「寺」シリーズの情報も要チェックだろう。

トラムウェイ

■RMM161号掲載
日本人乗客各種

トラムウェイから乗客の人形が各種発売される。前回発売の1:80版を縮小したもので、12体入りがポーズ違いで2種類、色違いで2種、さらに無塗装仕上げまで用意され、計6種の商品展開となる。

○立っている人＋座っている人
○座っている人
…塗装済(4種) 各1,365円
…無塗装(2種) 各840円

▲立っている人＋座っている人　色No.1。

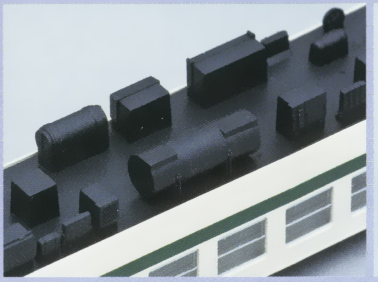
▲座っている人　色No.1。

トレジャータウン

■RMM158号掲載
車輌用パーツ各種

○TTP106B／KE70ジャンパー栓103系用ホース有…既発売の同タイプ製品にホース表現を付加したもの。2個入。なお今回のジャンパー栓パーツはすべてロストワックス製。
○TTP106C／KE70ジャンパー栓24系(西)用ホースなし…〈日本海〉や〈銀河〉に使用された西日本所属のオハネフ25 100番代に対応。3個入。
○TTP106D／KE70ジャンパー栓24系(西)用ホース有…TTP106Cにホース表現を付加したもの。2個入。
○TTP106G／KE70ジャンパー栓私鉄用ホースなし…東急の7200系までの各形式と、その払い下げ車に対応。3個入。
○TTP106H／KE70ジャンパー栓私鉄用ホース有…TTP106Gにホース表現を付加したもの。2個入。 各630円
○TTP107J／113-1000系ジャンパー栓(KE70/76栓納め)ホースなし…KE70+KE76×2の3本を台座ごと一体成型したもの。1個入。
○TTP107K／113-1000系ジャンパー栓(KE70/76栓納め)KE70のみホース有…現在の房総ローカル仕様に対応する、KE70のみにホースが付いたタイプ。1個入。
○TTP107L／113-1000系ジャンパー栓(KE70/76栓納め)ホース有…かつての総武快速仕様に対応する、3本すべてにホースが付くタイプ。1個入。 各630円
○TTP145／クハ455水タンク(鋼製)…クハ455冷房改造車の一部で使用されたもの。ホワイトメタル製、2個入。 840円
○TTP146／常磐無線アンテナ…ボルトや台座の脚も表現された常磐無線アンテナ。ロストワックス製、2個入。 630円

▲TTP106C／TTP106Dの取り付け状態。
P:トレジャータウン


▲TTP145の取付改造例。

▲TTP146の取付改造例。

▲TTP106B

▲TTP106C

▲TTP106D

▲TTP106G

▲TTP106H

▲TTP107J

▲TTP107K

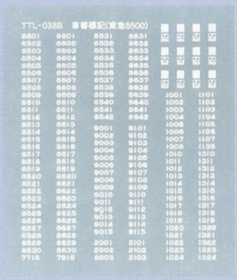
▲TTP107L

▲TTP145

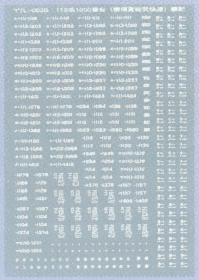
▲TTP146

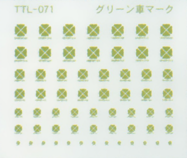
■RMM158号掲載
電車用インレタ各種

○TTL038B／車番標記(白文字)…東急8500系などの前面赤帯に入る車番のインレタ。旧3000系列や伊豆急に対応する妻面検査標記も収録。 735円
○TTL063B／113-1000系(横須賀総武快速)標記(白文字)
○TTL063C／113-1000系(房総各線)標記(白文字)
○TTL063D／113-1000系(小山国府津)・113系グリーン車標記(白文字)
…それぞれJNMAで先行販売されたもの。3点ともに車番は重複せず、検査標記・ATS標記も各年代仕様として違えてあるため、3点揃えることでより多くのプロトタイプに対応させることができる。 各840円
○TTL071／グリーン車マーク…多色刷りインレタ。各種サイズを収録し、ジョイフルトレインなどにも幅広く対応する。 840円
○TTL072F2／475・457系九州標記(青文字・前編)
○TTL072G2／475・457系九州標記(青文字・後編)
…急行運用消滅後ローカル運用に残った475・457系、加えて717系にも対応する車番インレタ。前編・後編では検査標記を違えてある。JR九州色用の青文字。 各840円

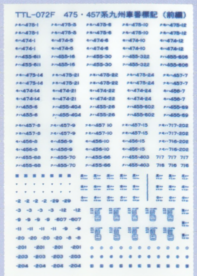


▲東急8000系などに対応。


▲113系1000番代に対応。



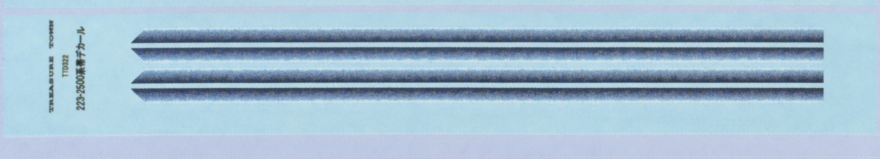
▲各種サイズが含まれる。


▲475・457系などに対応。

■RMM158号掲載
電車用デカール

○TTD321／赤白帯デカール…汎用的な赤帯・白帯のデカール。名鉄のストロークリーム＋赤帯、スカーレット＋白帯といった塗装に好適。 630円
○TTD322／223-2500系帯デカール…同社から発売の223系0番代コンバージョンキットに含まれるものと同等品。2輌分入り。 399円

▶赤白帯デカールのデカールを4本ずつ収録。


▶阪和線用223系で特徴的なグラデーションの帯を再現。

日本鉄道模型連合会

■RMM161号掲載
『日本鉄道模型連合会カタログ2008』
●A4判・58頁・500円

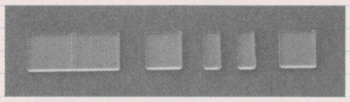
『第29回日本鉄道模型ショウ』を記念したカタログ。入場者に無料進呈されたもので、日本鉄道模型連合会加盟各社の店頭などでも販売されている。恒例となった加盟各社の最新製品カタログの他、今回はC62が特集として取り上げられ、エッセイも掲載されている。読み物として、また資料としても充実した内容になっている。

南洋物産

■RMM153号掲載
京阪600形用はめ込み窓ガラス

GM製京阪600形の前面及びドア・戸袋などの固定窓ガラスをツライチにするためのはめ込みガラスが、南洋物産から発売された。

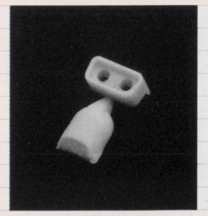
t1.0の透明アクリル板切り出しによるガラスパーツで、前面ガラスはピラーを銀色で塗装表現する左右一体型として実感的な前面の表情を得ることができる。1編成分入り。　525円


▲前面用、戸袋用、扉窓用のガラス窓。

▲固定式の窓をはめ込みにするだけでも効果は大。

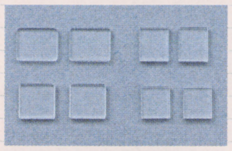
■RMM158号掲載
2灯式ヘッドライトケース

角型ケースの2灯式ヘッドライトのパーツ。製品は台湾製で、台湾の日本製気動車に合わせて作られたものだが、国内の各種私鉄車輌用としても応用が利く形態。ライトレンズは付属せず、ϕ0.5のものを別途用意する。ファイバーで導光すれば点灯化も容易であろう。プラ製2個入。　630円


◀こちらが2個入り。

■RMM158号掲載
京急旧600形用窓ガラスパーツ

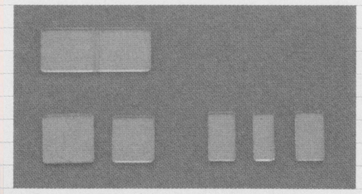
グリーンマックス製京急旧600形キットに対応する透明アクリル製窓ガラスパーツ。前面、戸袋窓、ドア窓用が含まれる。4輌編成分入り。　1,260円

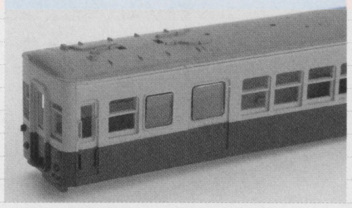

▲600／500形用前面ガラスとドア及び戸袋窓が含まれる。

▲よく目立つだけに取り付けは効果的。

■RMM160号掲載
京阪260用窓ガラス

グリーンマックス製京阪500形キットに付属の260形ボディに対応する、アクリル製はめ込み窓ガラスパーツ。2輌分の側面ドア窓および戸袋窓と、前面分4種（末期のHゴム取付状態を再現しているためサッシの加工が必要）と500形用前面ガラスの2枚入り。　630円


▲熱心な京阪ファンに喜ばれるだろう。


▲扉窓と戸袋窓にセッティングした作例。

ブライトチップス

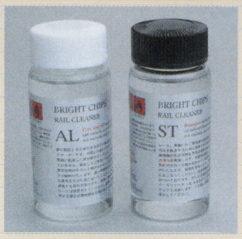
■RMM160号掲載
レールクリーナー2種

ブライトチップスからレールクリーナー2種類が発売となった。レール・車輪の黒い汚れを最新テクノロジーで分析の上、最適なクリーナーとして開発されたとのこと。

○ST…数種類の石油溶剤を配合した、洗浄力を第一としたクリーナー。研磨剤を含まない。50cc入り。　945円

○AL…水分を含まない、純アルコールをベースにしたクリーナー。アルコールベースなので臭いが少なく、また塗装の剥離剤としても使用できるとのこと。50cc入り。　735円

いずれも揮発性あるものなのでこまめな密封と換気を十分に行ないたい。洗浄力が強いため車輌には付着しないよう気をつける必要がある。レール拭きに同社発売のクロスを使い、同じく同社発売のドライコートで仕上げるとさらに効果を発揮するとのことである。


▲洗浄力のST、体にやさしいAL。

ブラグドン・エンタープライゼズ（アメリカ）

■RMM157号掲載
ウェザーシステム

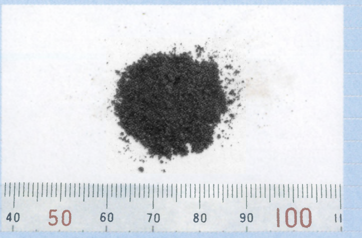
アメリカ製のウェザリング用パウダー。色の種類が豊富で非常に粒子が細かく、チョークなどより付着力が強い。成分に毒性はなく、磁力に吸着することもない。メーカーによると、艶消し塗装の上にこすり付けるのが効果的で、元の塗装に艶がある場合はあらかじめ艶消しのコーティングをすると良いとのこと。複数の色のパウダーを重ねることも可能。着色後、よく手に触れる部分は艶消しのコーティングが必要だが、手に触れない部分はそのままでもOK。また、パウダーで着色した後、薄く溶いたウェザリング用塗料も併用すると、一段と実感的になる。

○4色セット…「濃淡3種の赤錆、煤」および「黄土、茶、灰、汚れた黒」の2種。　各1,575円

○12色セット…上記計8色に、淡緑、レンガ、クリーム、青紫の4色を加えたセット。　3,675円

（取材協力：Models IMON）

▲12色セットの内容状態。


▲粒子は非常に細かい。

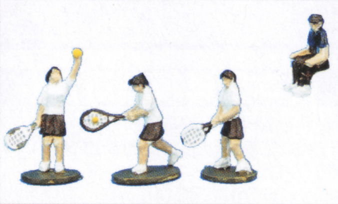
PRO-HOBBY／アイコム

■RMM152号掲載
Nスケール人形2点

○MLH-48-SS／スポーツプレーヤー-テニス-1…女性のプレーヤー3体と審判1体入り。　840円

○MLH-49-SS／スポーツプレーヤー・バスケット-1…ストリートバスケット風の男性4体入り。　840円

いずれも既に発売されているテニスネットやバスケットゴールと組み合わせると良い。


▲テニス。

▲バスケット。　P(2点共)：PRO-HOBBY

■RMM153号掲載
人形2種

○MLH-86-SS／スポーツプレーヤー・野球-1…ラフな夏服姿で草野球に興じる学生4人。ピッチャー、バッター、キャッチャー、ランナーを収録。既発売のバックネットと組み合わせると良い。　840円

○MLH-88-SS／卒業-1…高校の卒業式風景。カップル、女子二人組、携帯を見ている女子の5人入り。それぞれ卒業証書の紙筒を手にしている。　840円

▲スポーツプレーヤー・野球-1。

▲卒業-1。　P(2点共)：PRO-HOBBY

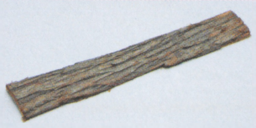
■RMM159号掲載
自然木素材

PRO-HOBBYの自然木による製品。国産の間伐材を使用しているとのことで、天然物ゆえの特性はあらかじめこころえたい。

○杉表皮…ストラクチャー素材と題して、5cm×30cmのものが5枚入っている。レイアウト台枠の飾りや、うまく塗装を施すと断崖の岩肌にも使えるかもしれない。　1,260円

○雑木飾り台(中)…直径30cm程度の雑木の輪切り。ミニエンドレスを載せたこじゃれたレイアウトなどに向くだろう。　3,255円

◀雑木飾り台(中)。


◀杉表皮。

■RMM154号掲載
デリバリーバン・人形2種

○MTSS-5021／デリバリーバン…近年街中で頻繁に見掛ける、宅配便などで使われるトラック。ピューターと呼ばれる合金製で、デカールが付属する。　1,260円

○MLH-87-SS／スポーツプレーヤー ジョギング-1…さまざまな格好をした、ジョギングをする人の4人セット。　840円

○MLH-89-SS／ガーデニング・洗車-1…植物の手入れをする女性2人と洗車中の男性1人、ほか犬小屋や鉢植え、ホースリールが付属する。　840円

▲デリバリーバン

▲スポーツプレーヤー ジョギング-1

▲ガーデニング・洗車-1　P(全て)：PRO-HOBBY

■RMM160号掲載
マイクロライフRシリーズ

○MLH-90-SS／保線・警戒員…蛍光色の作業着が特徴の、列車警戒中の保線作業員4体入り。
○MLH-91-SS／保線・休憩…ヘルメットを脱いだり額を拭ったりとくつろいだ雰囲気の4体入り。
○MLH-92-SS／保線・待機…手を組んだり無線で連絡を取ったりといった姿の4体入り。
○MLH-93-SS／連結作業員…機関車デッキや貨車の手ブレーキを回す姿など4体入り。
○MLH-94-SS／高校生（夏服）…セーラー服の女子高生4体入り。
○MLH-95-SS／道路工事・振動ローラ…アスファルトローラと作業員3体のセット。
○MLH-96-SS／道路工事・プレート…アスファルトを平らにならす機械と作業員の各2組入り。
今までにどのメーカーからも発売されていないポーズが多く、情景作りに好適であろう。材質はピューター（金属）製、塗装済完成品。　各840円

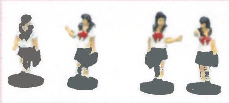
▲連結作業員の使用例。車輌は製品に含まれない。
P(全て):PRO-HOBBY

▲保線・警戒員。

▲保線・休憩。

▲保線・待機。

▲連結作業員。

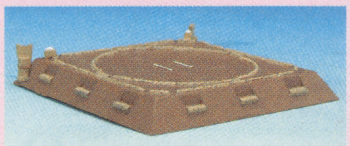

▲高校生（夏服）。

▲道路工事・振動ローラ。

▲道路工事・プレート。

■RMM162号掲載
人形各種

○MGB-10-SS／土俵…大相撲シリーズのかなめであり、前号及び以下に紹介する人形と組み合わせて取組を再現したい。　840円
○MLH-101-DN／登山・ハイキング…杖を持ったものや片手をあげた姿など4体。　840円
○MLH-102-DN／山菜採り…ザルやスコップを持つポーズなどの4体。　840円
○MLH-105-DN／大相撲・力士2…取り組みが2対の、計4体。　840円
○MLH-106-DN／大相撲・審判…片手をあげたり、腕組みをしたりしているものなど計4体。　840円
○MLH-108-DN／大相撲・懸賞…幕を掲げた3体とほうきを持っている1体のセット。　945円
○MLH-110-SS／観客2…桟敷観客で胡坐姿や、カメラを構えたりしている4体。　840円


▲土俵。
P:(全て)PRO HOBBY

▲登山・ハイキング。

▲山菜採り。

▲大相撲・力士2。

▲大相撲・審判。

▲大相撲・懸賞。

▲観客2。

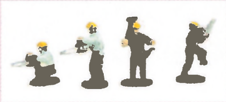
■RMM161号掲載
人形・ミニカー各種

他メーカーとは一味違うアプローチが楽しい情景ツールシリーズ。
○MLH-97-SS／落ち葉焚き…燃えがらと作業服姿のおじさんと奥さん、子供、そしてどこかで見たような赤リボンの少女（!）のフィギュア4体。焚火シーンの再現は如何に?
○MLH-98-DN／材木作業員…筋骨隆々、黄ヘルにニッカボッカの作業員4体。林鉄シーンのほか、一般的な土木作業員としても広く応用できよう。
○MLH-99-DN／森林鉄道員…黄ヘルに作業着姿の鉄道マン。フライ旗を持つものなど4体。保線作業員などへの転用もアリだろう。
○MLH-100-DN／きこり…チェーンソーを操る作業員と現場監督。作業員のポーズ違いが面白い。
○MLH-104-DN／大相撲・力士1…座り姿と立ち姿、そして立合い一対の計4体。
○MLH-107-DN／大相撲・行司…立行司と呼び出しのセット。
○MLH-109-SS／観客1…大相撲シリーズの桟敷観客だが、普段着に胡坐姿だけに茶の間や縁側でも似合う。
○MLH-111-SS／公園-2…若い男女と遊具など。　以上各840円
○MTSS-5005-OP／スバル360・初期型…初期型といってもいわゆる出目金ではなく改良型。フィギュアの乗ったスーパーカブ付。
○MTSS-5015-SS／メッサーシュミットKR200&スクーター…滅多に見かけるクルマではないが人気の名車。　以上各1,260円

▲MLH-97-SS。
P(全て):PRO HOBBY

▲MLH-98-DN。

▲MLH-99-DN。

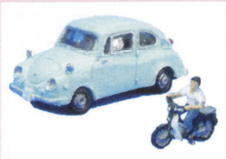

▲MLH-100-DN。

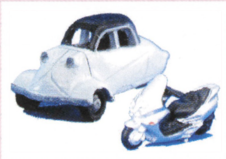
▲MLH-104-DN。

▲MLH-107-DN。

▲MLH-109-SS。

▲MLH-111-SS。


▲MTSS-5005-OP。

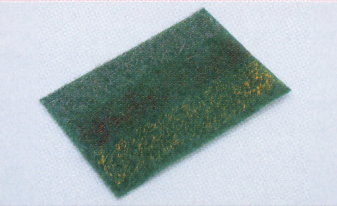

▲MTSS-5015-SS。

■RMM162号掲載
すぐでき草

草原を再現するためのマット。紙のベースに化学繊維を植毛したもので、任意の大きさに切断したうえで両面テープやボンドで貼るだけで、手軽に深い草原が再現できる。部分的に刈り込みを入れたりヘラで押し付けて踏み跡を再現したりと応用も可能だ。写真はカラーグラフ参照。
◎草原…基本となる草原。210mm×145mm。　各1,890円
○PK18／草原・春（若草色）
○PK19／草原・夏（緑）
○PK20／草原・秋（薄茶）
◎花畑／草の先端に色付けをして花を再現し
たもの。70mm×100mm。　各630円
○PK16／花畑1（黄色、赤、ピンク）
○PK17／花畑2（白、紫、オレンジ）

▲草原・夏。ミニカーは大きさ比較用のHO。

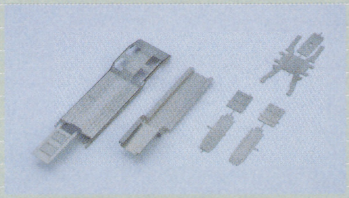
▲草原・秋。

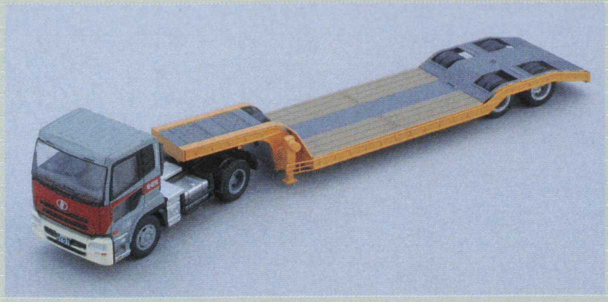

▲花畑1。

ペアーハンズ

■RMM151号掲載
中低床重量トレーラー

ペアーハンズからある程度の高さのある重機などを運搬するためのトレーラー、中低床重量トレーラーのキットが発売された。これはトミーテック「ザ・トレーラーコレクション」第1・第2弾の海上コンテナトレーラーや重トレーラーをベースに、折曲済の洋白エッチング製のトレーラーの車体を組み合わせて作るもの。前作のトレーラーキャリアカー同様シャープな出来で、上面の縞鋼板や下部の巻込防止ガードなどのディテール表現が秀逸だ。積荷としてシャベルローダーも付属し、別売も行なわれるが詳細は別項にて。なお、本製品はイベント・ショップ・通販限定となる。ペアーハンズ製トレーラーキットのラインナップの参考としては、別冊『ジオラマコレクション完全マニュアル』127頁もご覧いただきたい。　2,380円

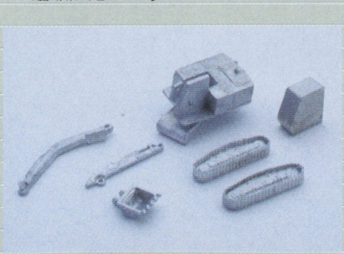

▲中低床重量トレーラーキットの主要パーツ。折曲済でありパーツ点数も少ないため、組立は容易であろう。


◀塗装は作例のように側面、低床部分上面とその他上面の3色に塗り分けるとメリハリが付いて効果的だろう。積荷積載状態はカラーグラフ参照。

■RMM151号掲載
ショベルローダー

上記トレーラーの積荷としても付属するショベルローダーキットの単体発売品。比較的大型のタイプがモデルだ。ジオラマ上での工事現場のアクセサリーとしても最適。本キットは以前発売されたものの改良製品で、キャブが丸みを帯びた現代的なデザインとなったことが特徴だ。材質はホワイトメタル製で、キャブ窓やヘッドライトは付属のデカールを貼り付けることにより表現する。要所をネジや真鍮線で留めることにより、車体の旋回やアームの可動が出来る。なお、本製品もイベント・ショップ・通販限定となる。　840円

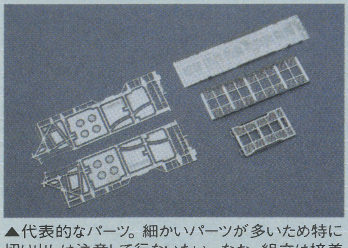
▲アームの油圧ダンパー部分には銀を差すと良い。


▲ショベルローダーキットの主要パーツ。

■RMM152号掲載
キャリアカーキット

ベアーハンズから、最新作のキャリアカーキットが届いたのでご紹介しよう。これはトレーラーではなく単車(トラック)のキャリアカーで、トミーテック「ザ・トラックコレクション」の後2軸のウィングバン、パネルバン、冷凍車のキャブ、シャシー、タイヤなどをベースに、t0.2の折曲済洋白エッチング製の荷台を組み立てて架装するもの。同店では既にトレーラー構造のキャリアカーキットをリリースしているが、単車のキャリアカーもそれと同様にシャープな出来で、上部の縞鋼板や車体裾のフレームなどのディテール表現が秀逸。なお、本製品はイベント・ショップ・通販限定となる。トレーラーキャリアカーの詳細については、別冊『ジオラマコレクション完全マニュアル』127頁をご覧いただきたい。 1,890円

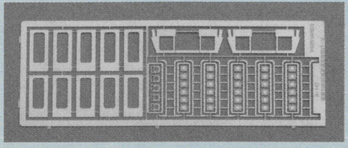
▲「ザ・カーコレクション」などNスケールの乗用車や小型トラックが積載できるが、作り方や車種によっては積載できないものもあるので、各自研究・工夫を楽しんでいただきたい。



▲代表的なパーツ。細かいパーツが多いため特に切り出しは注意して行ないたい。なお、組立は接着剤でもハンダ付けでも可能だ。

■RMM162号掲載
東武10000系更新車改造パーツ

○N-147…更新改造が行なわれた東武10000系6輌編成を再現するためのパーツ。GMキットに対応するものでt0.2洋白エッチング製。前面スカート、貫通扉、パンタ車はしご、HIDヘッドライト、車外スピーカーが含まれている。 893円



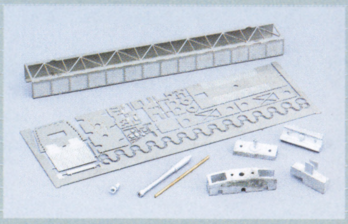
▲実車はシングルアームパンタ化されているので、意外な変身ぶりを楽しめる。

■RMM156号掲載
ポールトレーラーキット

トミーテック「ザ・トレーラーコレクション」の荷台を改造するベアーハンズ製金属キットの最新作が発売となった。今回製品化されたのは橋梁(ガーダー橋)を積載する超大型ポールトレーラー。ポールトレーラーとは、橋梁をはじめレールや鋼管などの超尺物を運ぶトレーラーで、トラクタートラックとトレーラーの間が牽引棒(ドローバー)で結ばれており、その上に積荷を橋渡しするように積載する構造のトレーラー。

製品は「ザ・トレーラーコレクション」第2弾で製品化されている後2軸のトラクタートラックと後輪用ダブルタイヤ3個を使用し、金属製のトレーラーと積荷の橋梁を組み合わせて作るもの。橋梁は洋白エッチング製で、上部が繊細なトラス構造となっており、側面には凸でリベット表現がなされているが、このパーツのみ予め折曲済。トレーラーはホワイトメタル製の構造体をガイドにエッチング製の荷台上部をユーザーが折り曲げて作る。牽引棒はホワイトメタル製のパーツと真鍮線の組み合わせで、コードを模したエッチング製パーツをよじって通すが、これはエッチングだからこそできる繊細な表現で一番の見せ場となろう。トラクタートラック後部にはアダプターボックスを組み立てたうえで取り付け、牽引棒を介しトレーラーと連結する。なお、本製品はイベント、ショップ、通販限定となる。

トラクタートラックなしキット 2,500円



▲キットの代表的なパーツ。アダプターボックスやトレーラーの構造体などはホイトメタル製で、ディテール表現が伴う表面部分はエッチング製となる。

▲◀組立見本の全長は136mm。実物換算では約20mとなる超大型のポールトレーラーだ。

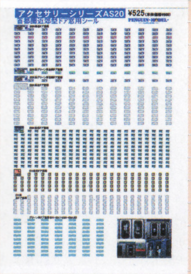
PENGUIN MODEL

■RMM151号掲載
ステッカー3種

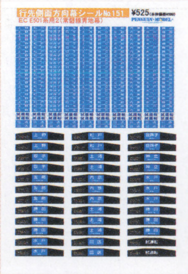
○No.151/E501系用2(常磐線青地幕)…2007年3月改正後土浦以東及び水戸線用となったE501系。本製品は便所設置と共に方向幕が青地化された現在のもの。改正前の短期間上野口にも乗り入れたため、青地の上野・松戸等も含まれる。側面行先11輌分、回送・試運転10輌分、前面2〜3輌分入り。

○No.152/E501系用3(常磐線・水戸線青地幕)…日立以北と水戸線のもの。収録数は岩瀬・笠間が5.5輌分、小山・下館が7.5輌分、そのほか日立・いわき・原ノ町等が11輌分で前面が各2〜3輌分入り。

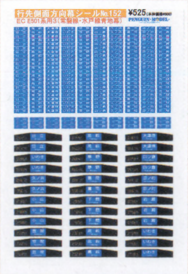
○AS-20/首都圏近郊型ドア窓用シール…E231・E531・211系の半自動ドアボタン操作及びグリーン車案内ステッカー計6種セット。従来品より一回り小さい。AS3・駆け込み防止ステッカーと併用する。 各525円



▲首都圏近郊型ドア窓用シール。



▲E501系用2(常磐線青地幕)。



▲E501系用3(常磐線・水戸線青地幕)。

■RMM155号掲載
E233系用ステッカー他

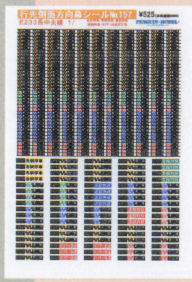
◎行先側面方向幕シール 各525円

○157/E233系中央線1各駅停車・青梅特快・通勤特快・通勤快速・ホリデー快速河口湖…去る3月改正後の現行の運用を基本として収録。基本的にTOMIX用だがKATOにも使用可能。

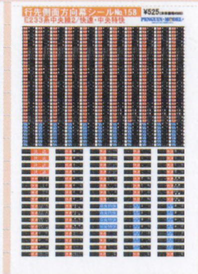
○158/E233系中央線2 快速・中央特快…変り種の2段表示も収録している。

○159/E233系中央線3 種別無し・ホリデー快速おくたま・あきがわ

◎ヘッドマークシールHM45・列車追加パック3(485・583・789系用)…波動用で活躍する485・583系用のヘッドマークで、2005〜2007年に登場したものを中心に収録。さらに789系用も少数収録。485・583はKATO、TOMIX両方に対応。789系はマイクロエースに対応。 630円



▲E233系中央線1。



▲E233系中央線2。

▲E233系中央線3。

▲列車追加パック3(485・583・789系用)。

■RMM153号掲載
行先方向幕・ヘッドマークシール

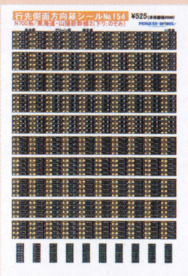
○HM43/ジョイフルトレイン御三家ヘッドマークシール…以前からイベント限定で発売されていたものを定番化。サロンエクスプレス東京、ユーロライナー、サロンカーなにわを対象としたもので、機関車用ヘッドマーク各種の他、客車の側面方向幕、テールマーク類も収録。客車はサロンエクスプレスはKATO、TOMIX両方に対応。他の2種はTOMIXに対応。 630円

○No.153/N700系 東海道・山陽新幹線1(上り:のぞみ)

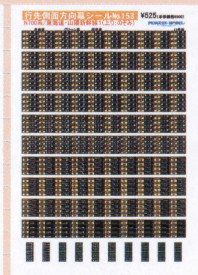
○No.154/N700系 東海道・山陽新幹線2(下り:のぞみ)

…本年3月15日改正後を早くも反映した内容(一部先を見越しての収録も含む)。サイズはTOMIX基準としながらも、KATOの製品の印刷の上に貼り重ねて使用することも可能。16輌編成+α分を収録。 各525円

▲ジョイフルトレイン用。



▲N700系上り用。



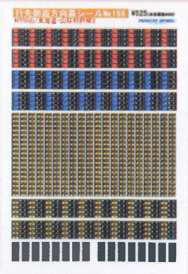
▲N700系下り用。

■RMM154号掲載
ヘッドマーク・側面方向幕ステッカー

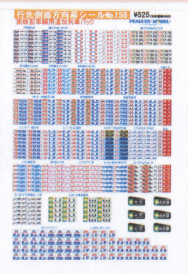
○No.155/N700系/東海道・山陽新幹線3…前回発売のNo.153・154の続編で、今春の改正で登場したN700系使用の〈ひかり〉〈こだま〉に対応させたもの。16輌分+α入り。 525円

○No.156/国鉄型車輌追加列車パック…関東近郊を中心とした、国鉄型車輌を用いた臨時列車に使用された幕を各種収録。 525円

○HM44/183・189系用3…こちらも近年臨時列車運用が中心になっている183・189系の臨時用ヘッドマークを各種収録。KATO製品の転換装置に対応した4種つながりで、1コマずつ切ればTOMIX製485系にも使用可能。 630円



▲N700系〈ひかり〉〈こだま〉対応版。

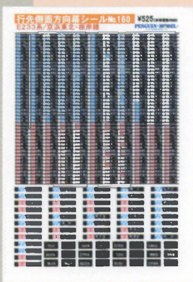


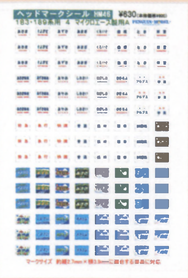
▲波動用183・189系や485・583系等に対応。

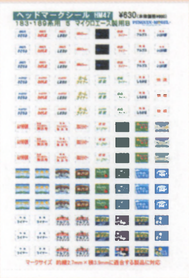
▲近年の183・189系対応のヘッドマーク集。

■RMM156号掲載
方向幕・ヘッドマークステッカー各種
○No.160／E233系／京浜東北・根岸線方向幕…現在増備が進行中の京浜東北・根岸線用E233系用の前面、側面表示が早速登場。快速・各駅停車の各行先を細かく網羅している。側面表示は各11輌分入り。525円
○HM46／183・189系用4マイクロエース製用A…マイクロエース製183系に対応した製品。おもに国鉄時代の特急用で、文字のみのものとイラスト入りのものを含む。3枚入りで以下同様。
○HM47／183・189系用4マイクロエース製用B…ホームライナーなど、主にJR化後の臨時列車などに使用されたものが中心。
○HM48／183・189系用4マイクロエース製用C…近年の波動臨時用に使用された、非常に珍しい列車のものを収録。各630円

■RMM161号掲載
20系客車用ヘッドマークシール
KATO製20系客車(新仕様)対応のステッカー。ナハネフ22・23両方用を収録で、方向幕パーツの無地タイプもしくは印刷を落としたものに貼って取り付ける。各630円
○HM49／首都圏発西行列車…デビュー当時の〈あさかぜ〉〈さくら〉などの他、絵入りの〈銀河〉〈カートレイン〉なども含む。
○HM50／上野発北行列車…〈あけぼの〉〈ゆうづる〉などの他、独特な字体やなまはげイラストが面白い〈おが〉〈竿灯〉なども。
○HM51／関西発北行列車…〈日本海〉の絵入りや、〈あおもり〉〈シュプール〉などの珍しいものを含む。
○HM52／関西～九州列車…〈あかつき〉〈彗星〉などの関西ブルトレに〈かいもん〉〈日南〉などの島内急行用など。〈駅〉号も含まれる。

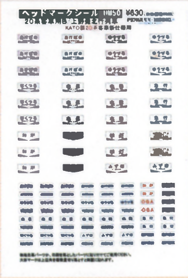

▲E233系／京浜東北・根岸線方向幕


▲183・189系用4 マイクロエース製用A


▲183・189系用4 マイクロエース製用B

▲183・189系用4 マイクロエース製用C

▲首都圏発西行列車。

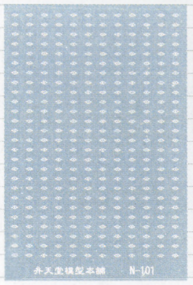

▲上野発北行列車。

▲関西発北行列車。

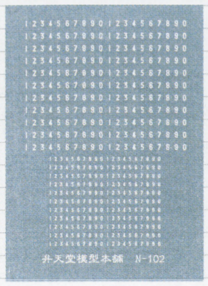
▲関西～九州列車。

弁天堂模型本舗

■RMM158号掲載
阪神電車用インレタ
新進メーカーから阪神電車用のインレタ2種が発売となる。阪神電鉄許諾済。なお取り扱いは発売元の直販のみ。
○N-101／阪神社章…阪神車に汎用的に使える社章標記のインレタ。312点を収録。630円
○N-102／阪神車体番号…こちらも各種阪神車に対応した車番用のバラ数字インレタ。前面用・側面用の2種のサイズを、それぞれ一つの数字につき22点ずつ収録。840円



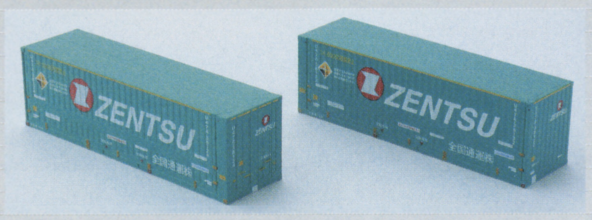
▲N-101、阪神電鉄の社紋。



▲N-102、阪神電鉄の車体番号数字。

HOGARAKADOU

■RMM151号掲載
U47Aタイプウィングコンテナ 全国通運 ZENTSU
○C-4402…日通商事製31フィート増トンウィングコンテナの塗装済完成品。ウィング構造だが、側面リブは一般的なコンテナ同様に縦リブとなっている。ウィングはトラック等からの電源供給で開くほか、下部アオリ戸も上向きに開く構造。塗色はエメラルドグリーンに赤いマークが非常に鮮やかなもの。番号違い3個入り。
2,940円

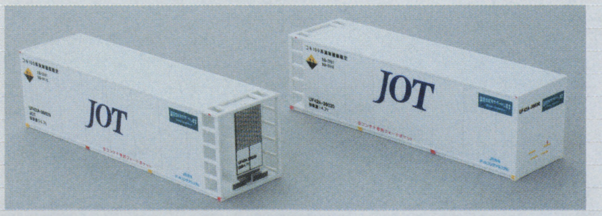


▲カラフルかつ大型で非常に見栄えのするコンテナだ。

■RMM153号掲載
U47Aタイプウィングコンテナ 仙台運送
○C-4403…151号で紹介した全国通運仕様と同じエメラルドグリーン色で、仙台運送所有とされているもの。提携している全国通運のネームも入っている。ナンバーは38134、38135、38136の連番の3個入り。
2,940円

▲単色かつ大柄なコンテナで、コキ車に集中して搭載すると映えるだろう。

■RMM156号掲載
UF42Aタイプ JOTクールコンテナ
○C-4107…日本石油輸送(JOT)保有のUF42A冷蔵コンテナで、白地に青文字のJOTマークと「環境世紀をサポートします」のロゴ入り。ナンバー違いの3個入りセットで、うちUF42A-38029は、実物通りJOTマークが一回り小さめになっているというこだわりに感心させられる。
2,940円



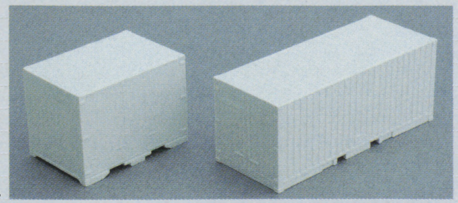
▲個体差による、JOTマークの大きさの違いも表現。

■RMM159号掲載
UR18AコンテナCBK3種
○S-1402／中央通運
○S-1403／美瑛通運
○S-1404／北見通運
12ftコンテナの新製品。それぞれ3個入りで、同デザインであるが所有者標記の違いが精密に再現され、もちろんコンテナの番号も全て異なっている。それぞれ3個入り。
各1,470円

▲左から順番にS-1402、S-1403、S-1404。右下部にある所有者標記が異なる。

■RMM162号掲載
コンテナ各種
12ftコンテナの赤／青ラインは番号まで美しく印刷され、無塗装の12ft および20ftは工作派向け。
○C-1205／UR19A-15000タイプ JOT赤ライン…3個入り。
1,995円
○C-1409／UR19A-20000タイプ JOT青ライン…3個入り。
1,995円
○C-1801／12ft 背高タイプ4方リブ無、側面2方開き 無塗装…3個入り。735円
○C-2501／20ft 4方リブ付、妻1方開き 無塗装…2個入り。
788円

▲UR19A-15000タイプ JOT赤ライン及びJOT青ライン。


▶12ftおよび20ftの無塗装コンテナ。

ポポンデッタ

■RMM154号掲載
学生フィギュア6種
●製造：PRO-HOBBY／アイコム
ジオラマやレイアウトでも特にバリエーションの欲しい学生フィギュアが、このほどポポンデッタとPRO-HOBBYとのコラボレーションにより6種誕生した。ポポンデッタ全店にて限定発売中(通販可)だ。各840円
○PO-001／女子学生(セーラー服-A)
○PO-002／女子学生(セーラー服-B)
○PO-003／女子学生(ブレザー服-A)
○PO-004／女子学生(ブレザー服-B)
○PO-005／男子学生(学生服)
○PO-006／男子学生(ブレザー服)
P(6点共)：ポポンデッタ

▼女子学生(セーラー服-A)。

▼女子学生(セーラー服-B)。

▼女子学生(ブレザー服-A)。

▼女子学生(ブレザー服-B)。

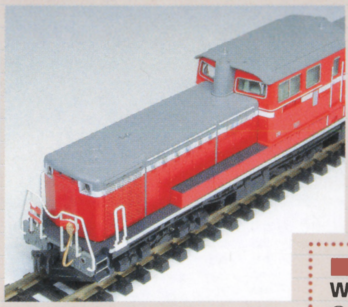
▼男子学生(学生服)。

▼男子学生(ブレザー服)。

BONA FIDE PRODUCT

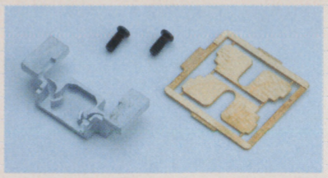
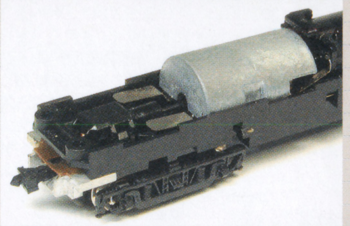
■RMM152号掲載
Nゲージ用パーツ2点

○P-405／DD51用重連ジャンパ栓…DD51やDE10の重連タイプで、デッキ手すり向かって右側に付いているジャンパ栓受けとホースを一体としたもの。元のモールドを削り、ホースはデッキ側ジャンパ栓につなぐ。1輌につき片側のみに付く(線区によってどちらのエンドに付くかが異なるので注意)。ロスト製、2個入り。
504円



▲▶DD51用重連ジャンパ栓とその使用状態。

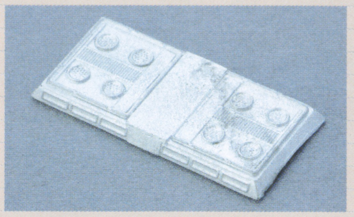
○P-010／鉄コレ動力用TNカプラーアダプター…鉄コレ用動力17・18m級用にTNカプラーを取り付けるためのアダプター。ホワイトメタル製本体とエッチング製止め板から構成される。カプラー本体は既存の各種TNから流用。動力フレームの一部を削り、付属のネジでアダプター本体を固定して使用する。オーバーハングの短いトレーラー車にも有用だ。2セット分入り。 578円

▲▶鉄コレ動力用TNカプラーアダプターとその使用状態。
使用状態写真2点：BONA FIDE PRODUCT

■RMM159号掲載
WAU202クーラー

○P-120…BONA FIDE PRODUCT から WAU202クーラーが発売される。なお、同社の105系キットに付いているものとは異なり、上面中央部にファンがないタイプ。ホワイトメタル製、2個入り。 473円

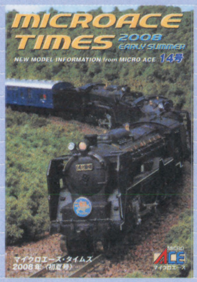


▶実物はもともとバス用のクーラーであった。

マイクロエース

■RMM156号掲載
『MICROACE TIMES 14号』
●B5判・24頁・315円

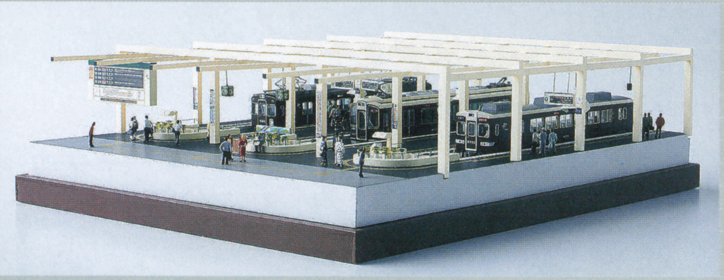
2008年初夏号。前13号発刊以後の新製品について、2007年1月〜12月発売分は製品写真、2008年1月〜4月発売分および5月〜9月の発売予定品は実車写真を交えて紹介する。詳しい解説は省かれているが、製品数が多いだけに製品写真の多さはユーザーには心強く、総合カタログを補完して製品選びのよき参考書となろう。



松本商事

■RMM159号掲載
阪急梅田駅ジオラマ

阪急京都・神戸・宝塚各線が集結する大ターミナル、梅田駅。10面9線の空前の規模を誇るが、それをNゲージでコンパクトにまとめたジオラマが松本商事から発売になる。
ホーム長は車輌1輌分だが、まるで自分が梅田構内にいるような再現度である。3線のホームが再現されているが、1〜3番線の京都線、4〜6番線の宝塚線、7〜9番線の神戸線がそれぞれ用意されており、好みで選択可能となっている。無論3セット集めてフル再現、というのも興味深い。車輌、人形は付属しないが、ユーザーの手で人形を配置すると俄然生き生きとする。手をかけて完成させた阪急電車の展示台にもってこいだろう。 16,800円



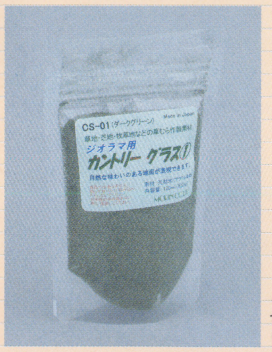
▶車輌・人形は演出用のため含まれない。P:松本商事

モーリン

■RMM155号掲載
カントリーグラス

天然木の粉末、つまりおがくずが原料であるパウダー状のシーナリー材料。アクリル樹脂で着色しているため水に浸けても色落ちしない。また比重が軽いためレイアウトを軽量に仕上げるのにも向く。草むら・地面の表現の他、樹木の葉の表現にも使える。接着は同社のスーパーフィックスまたはマットメディウムを使用。6色が用意されているが、適宜ミックスして使用すると効果的だろう。

▲各製品の色見本。



◀写真は120ml入りの容器。

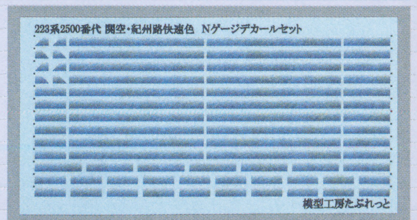
○CS-01／ダークグリーン
○CS-02／グリーン
○CS-03／ライトグリーン
○CS-04／オリーブグリーン
○CS-05／ミックスグリーン
○CS-06／ブラウン

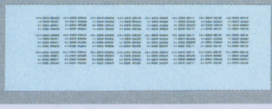
66ml入り:各241円
120ml入り:各315円

模型工房たぶれっと

■RMM155号掲載
223系2500番代 関空・紀州路快速色デカールセット

KATOから発売となった223系2000番代の塗装を変更して阪和線用2500番代とするためにデカール。特徴的な青系グラデーション部分の帯色を美しく再現している。この他車番も収録。4輌分入り。説明書兼実車資料集CD-Rも付属。 1,500円





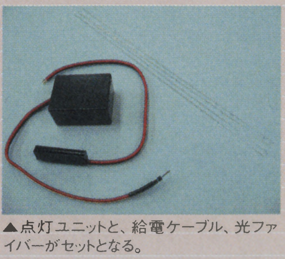
▶本号46頁からの記事で、早速使用してみた作例を掲載している。

■RMM157号掲載
光るタケシリーズ

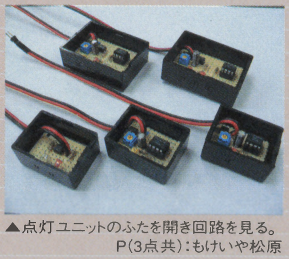
LEDを駆使したオリジナルのイルミネーション装置シリーズ。その中で、市販のミニカーに組み込むライト類の商品を、製品状態の写真を交えて改めてピックアップしよう。
製品にはミニカーは付属しておらず、光源部から光ファイバーを伸ばし、開口したミニカーのライト部に導光する。ウインカーやパトライトには点滅回路を組み込み。いずれにしろ回路基板は組立済で、取付の機械的加工さえすれば、設置は比較的簡単。レイアウトの目立つ部分に配置すると効果的だろう。

○17-011／LEDヘッド&テールライト組込セット 980円
○17-012／LEDウインカー組込セット 1,780円
○17-013／LEDパトライト組込セット 1,780円
○17-014／LEDウインカー付ヘッド&テールライト組込セット 2,280円
○17-015／LEDパトライト付ヘッド&テールライト組込セット 2,280円
○LED交互点滅パトライト組込セット 2,280円

▶Nの自動車に組み込んだ状態。



▲点灯ユニットと、給電ケーブル、光ファイバーがセットとなる。



▲点灯ユニットのふたを開き回路を見る。
P(3点共)：もけいや松原

もけいや松原

■RMM156号掲載
光るタケシリーズ

○11-012／LED交互点滅踏切セット 2,980円
○13-011／単線用3灯式信号機セット 1,980円
○13-013／単線用4灯式信号機セット 1,980円
○14-011／交差点用信号機セット 3,480円
○15-011／交差点用点滅信号機セット 3,980円
○17-014／ウィンカー付きヘッド・テールライト組込セット 2,280円
○17-015／パトライト付きヘッド・テールライト組込セット 2,280円

レイアウト・ジオラマ上の各種灯火に、シンプルな仕様で低価格を実現した新製品「光るタケシリーズ」が登場した。灯火類は全てLEDによるもので、既存の制御機器やレールから給電し、光源を収めたユニットからファイバーにより導光される構造。
今回カラーグラフに掲載したサンプルのジオラマに使用された製品は左記のとおりで、基本的にはユーザーによる加工が必要であるが、踏切、信号機類は予めファイバーが組み込まれた製品も存在する。このほか、LEDの建物照明や鉄道車輌用のヘッド・テールライトや共通オプションである配線済コネクター、延長ケーブル、給電アダプターなどがる。いずれも、それぞれの用途に応じ、点灯色の切り替えや点滅といったギミックが組み込まれ、光による演出が手軽に可能となったことが嬉しい。製品のラインナップや詳細については下記URLのメーカーインターネットサイトもご参照いただきたい。
http://www.mokei-ya.com

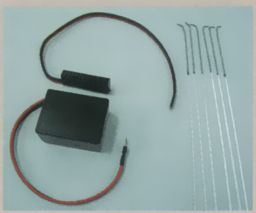
▲LED交互点滅踏切セットの使用例。
PHOTO：もけいや松原

■RMM158号掲載
光るダケシリーズ

レイアウト・ジオラマ用灯火「光るダケシリーズ」に街灯・看板灯が追加された。今回はその性格上、点滅などのギミックはない。光源を収めたユニットからファイバーで導光するシステムはこれまで同様である。

○18-011／LED街灯・看板灯組込セット…街灯や店舗の看板灯に対応した、ファイバー6本と白色LED点灯ユニットのセット。 1,280円

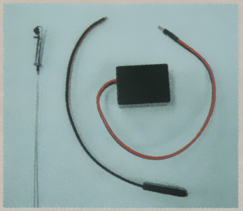
○18-012／LED街灯（Lタイプ）組込セット…街灯の形状に加工されたファイバー6本と、白色LED点灯ユニットのセット。 1,680円



▶LED街灯（Lタイプ）組込セットの製品状態。P：もけいや松原

■RMM160号掲載
中継信号機

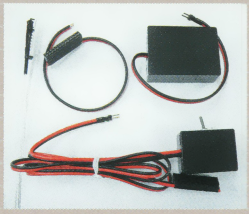
○13-015…もけいや松原・光るダケシリーズの新製品は中継信号機。線路もしくはパワーパックから給電し、残念ながら縦に3灯が点いた進行現示のみの再現であるが、点灯する中継信号機は各ゲージを含め販売されているものは数少なく、レイアウトへ実感的に信号を設置する際に威力を発揮するだろう。 1,980円



▶レイアウトへの設置例とパーツ状態。P（2点共）：もけいや松原

■RMM162号掲載
特殊発光信号機

○13-017…既におなじみとなった光るダケシリーズの新製品は、実物において、踏切の防護スイッチに連動して赤いランプが反時計回りに点灯する特殊発光信号機。製品は実物通りの動きが再現されており、手元のスイッチでON／OFFを行なう。電源は同封の給電ケーブルをKATO／TOMIXのパワーパック、もしくは別売りのACアダプターに接続する。 3,980円



▶製品状態。

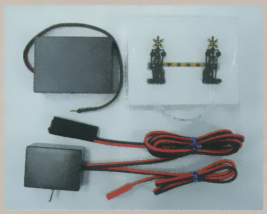
▲レイアウトへの設置例。P（2点共）：もけいや松原

■RMM159号掲載
LED交互点滅踏切セット

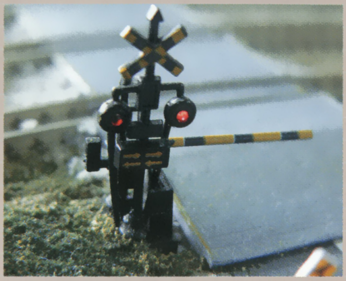
○11-051K／LED交互点滅踏切カトー用基本セット 5,250円

○11-051T／LED交互点滅踏切トミックス用基本セット 4,725円

…光るダケシリーズの中でも好評の踏切が一般流通開始となった。この機にワンタッチで電源接続できるようセット構成が変更されている。なお本体は河合商会の踏切セットのレンズ部分に加工して赤色LEDが交互点滅をするもの。電源の種類によって2種から選択可能である。なおスイッチは手動式で、特にセンサーなどによる自動操作は考慮されていない。



◀写真は11-051T。



▲レイアウト取り付け例。P（2点共）：もけいや松原

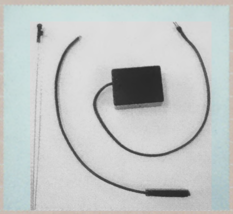
■RMM161号掲載
入換信号機

○13-016／光るダケシリーズ 入換信号機セット…ベース下に設置するLED点灯ユニットから、光ファイバーで導光してベース上面の入換信号機を点灯させるもの。ディレクションスイッチに連動して進行および停止現示を切り替えることが可能。

対応電源は
○KATO：スタンダードS・KC-1・ECS-1
○TOMIX：N-400・パワーユニットES・N-1・N-1000-CL・N-DU-202

取り付け方法については取扱説明書に詳述されている。光源と本体が離れているが、かなりの照度が得られることは写真でもおわかりいただけよう。 2,480円

▶製品状態。

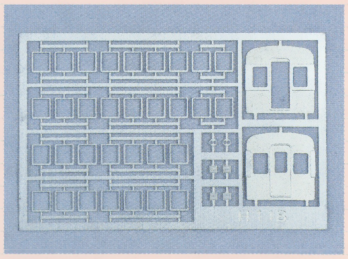


▶入換信号機の完成見本。P（2点共）：もけいや松原

MODEL524

■RMM158号掲載
阪急1010系改造パーツセット

○H-118…MODEL524から「鉄道コレクション」阪急1010系に対応するエッチング板が発売となる。狭幅貫通路の妻板が2種と、窓枠が1輌分と予備、2灯式ヘッドライト部品が含まれる。阪急電車のファンには注目の製品である。 1,050円



▲製品の内容。

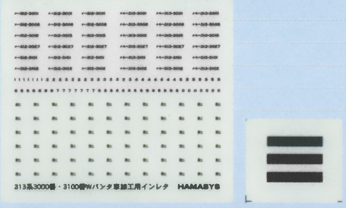
▲妻板パーツの取り付け見本。

▲手前が窓枠を銀色に、奥が茶色に塗装した取付見本。

横浜システム技術研究所

■RMM154号掲載
313系3000番・3100番 Wパンタ車加工用インレタセット

○HS043…市販の313系3000番代に、先頭部のパンタ増設改造を行なう際に使用するインレタ。車番・所属標記（3000番代4編成・3100番代2編成分。他にバラ文字も含む）のほか、クモハのおデコに追加された滑り止め塗装用のグレーインレタもセットされる。本商品は小売店では取り扱わず、通販のみで販売される。 1,260円



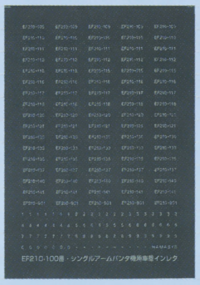
▲車番のみならず屋上の滑り止め塗装までセットされている。

■RMM160号掲載
EF210-100インレタ

○HS044-1…シングルアームパンタを装備するEF210をピックアップした車番インレタ。109・110・111・112・115・116・117・118・120・121・130・133・135・137・140・141とオマケで901号機のナンバーが5セットずつと、バラ数字が収録されている。色はツヤあり（銀メタリック）とツヤなし（銀マット）の2種あるあるが、銀メタリックは直販の通販のみでの取扱。

銀メタリック：945円
銀マット：840円

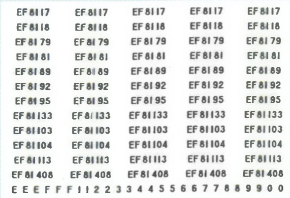
銀マット仕様の取扱店は、アンドロメダ屋模型店、モデルショップダルマヤ、マイホビーキョーサンの各店にて。



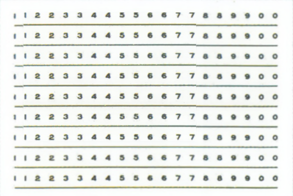
▶EF210-100シングルアーム機ナンバー。

■RMM152号掲載
Nゲージ用インレタ・エッチングパーツ

○444-1／EF81ナンバーインレタ改良…17・18・79・81・89・92・95・133・103・104・113・408の他バラ数字を収録。メタリックシルバー。 840円



▲EF81ナンバーインレタ。



▲バラ数字インレタ。

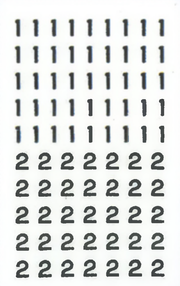
レボリューションファクトリー

○450-1等級表示1等2等改良…メタリックシルバー。 730円

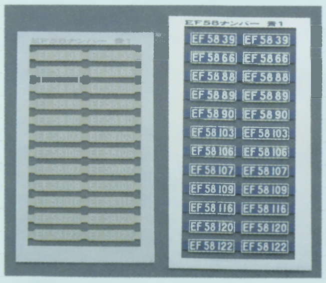
○486-1／バラ数字インレタ改良…電車等に使えるバラ数字。各18個入り。メタリックシルバー。 840円

○593／EF58ナンバー青1…39・66・88・89・90・103・106・107・109・116・120・122を収録。KATO製品対応。クリーム・青で塗装・磨き出し済。 840円

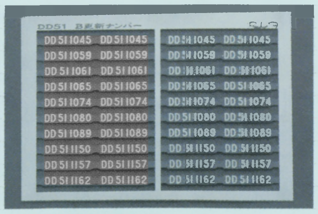
○594／DD51 B更新ナンバー…1045・1059・1061・1065・1074・1080・1089・1150・1157・1162を収録。TOMIX製品対応。グレー塗装・磨き出し済。 840円



▲等級表示インレタ。

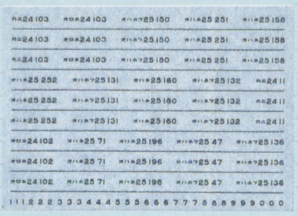


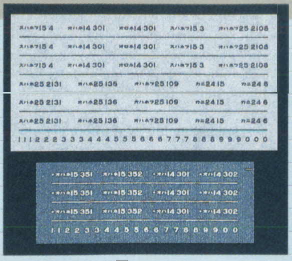
▲EF58ナンバー青。

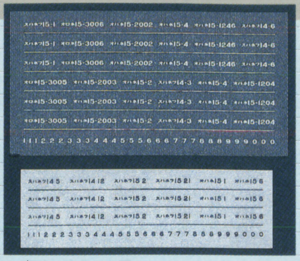


▲DD51B更新ナンバー。

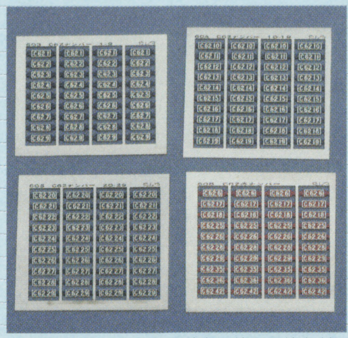
■RMM153号掲載
ブルトレ用インレタ各種
寝台客車用のメタリック車番インレタ。いずれも列車指定の限定番号仕様。611と612には白車番も含まれる。 各840円
○610／24系車番インレタ4 銀河用…〈銀河〉に使用された宮原総合運転所車。
○611／24系車番インレタ5 なは・あかつき用…熊本車両センターの〈なは〉用24系と、京都総合運転所の〈あかつき〉用14系。
○612／14系車番インレタ6 ふじ・はやぶさ用…〈富士〉〈はやぶさ〉用の熊本車両センター所属車。

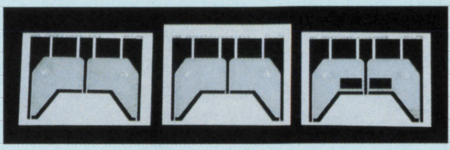

▲銀河用。


▲なは・あかつき用。


▲富士・はやぶさ用。

■RMM154号掲載
C62用パーツ各種
KATO製C62(リニューアル製品)に対応したエッチング製パーツ。
◎デフレクター…製品のデフを切り取り交換する(もしくは薄く削った上から重ねる)。洋白製。 各525円
○595／ツバメマーク入り東海道時代…C62一番のスターである2号機用。
○596／下がりツバメマーク入り…下向きのマークが短期間付けられていた18号機用。
○595／ツバメマーク入り北海道時代…デフに角穴が開いた2号機の末期時代用。
◎ナンバープレート…真鍮製。 各840円
○603／1-9…1〜9号機用。
○604／10-19…10〜19号機用。
○605／20-29…20〜29号機用。
○608／赤ナンバー…6・17・18・25・26・28・29・35・36・42号機用。


▲右下のプレートのみ赤塗装、他は黒塗装済。品番の空きから類推すると、全機種の網羅が期待されよう。


▶C62用ツバメマーク入りデフレクター各種。左から2号機用、18号機用、2号機末期用。

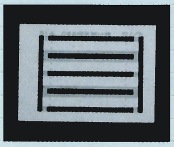
■RMM155号掲載
Nゲージ用パーツ各種
◎蒸機用エッチングパーツ各種 C62用とあるものはいずれもKATO製リニューアル品対応。t0.2洋白製。
○599／C62デフ 下部補強あり 525円
○600／C62デフ ノーマル 525円
○601／C62デフ 15号機末期…点検穴付き。 525円
○602／C62デフ 点検蓋あり…17号機末期他用。 525円
○614／C62増炭囲い板…4枚入り。 368円
○615／C62ドーム前手すり…ドーム前の踏み板と、手すり2種、計4輌分入り。強度を考慮して敢えて別体で構成。 368円
○616／テンダーフック…蒸機各形式に汎用可能。30個入り。 368円
○617／手すり1.6mm用…C62テンダーはしごなどに利用可。48本入り。 368円
◎インレタ各種
○040／蒸機用標記インレタ…積／空、ATS標記、工場検査標記。白文字。 473円
○042／C62つばめマークインレタ…9組入り。メタリックインレタ。 473円
○043／ワム480000車番インレタ…16輌分収録。白文字。 735円

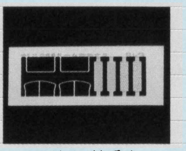
▲C62デフ 下部補強あり。

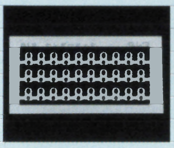
▲C62デフ ノーマル。

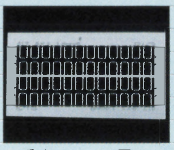
▲C62デフ 15号機末期。

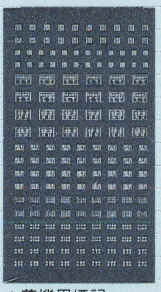
▲C62デフ 点検蓋あり。

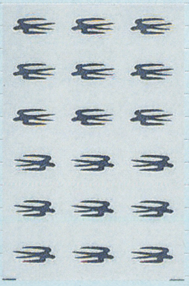

▲C62増炭囲い板。


▲C62ドーム前手すり。


▲テンダーフック。

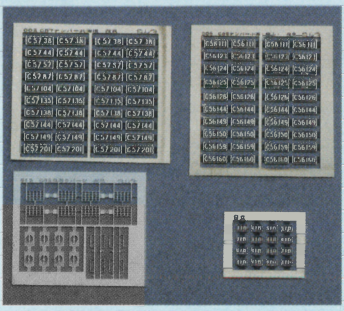

▲手すり1.6mm用。


▲蒸機用標記インレタ。

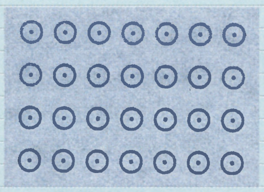

▲C62つばめマークインレタ。

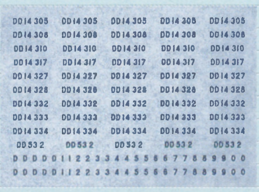
▲ワム480000車番インレタ。

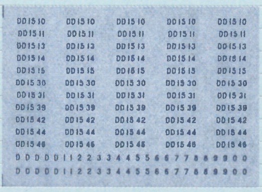
■RMM156号掲載
蒸機用エッチングパーツ各種
○002／C57ナンバー(北海道・改良版)KATO用…北海道で活躍したC57のナンバー10種のセット。 840円
○006／C56ナンバー(小海・飯山・改良版)マイクロエース用…小海線と飯山線で活躍したC56のナンバー10種のセット。 840円
○039／製造銘板 日立(黒)…日立のメーカーズプレート、16枚(8輌分)のセット。 420円
○613／C62北海道窓廻りパーツ(改良版)KATO用…旋回窓、正面窓防護ネット、バタフライスクリーンのセット。C62改良製品に適合。 420円

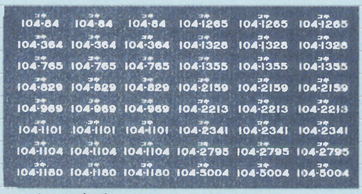

▲左上から時計回りに、C57ナンバー、C56ナンバー、製造銘板、C62北海道窓廻りパーツ。

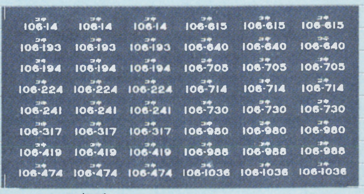
■RMM156号掲載
機関車・貨車用インレタ各種
○619／旋回窓インレタ…特にDLなどの旋回窓を簡易再現するためのメタリックインレタ。28個入り。 473円
○620／DD14／DD53ナンバーインレタ…DD14 305、308、310、317、327、328、332、333、334およびDD53 2及びバラ数字。メタリック。 840円
○621／DD15ナンバーインレタ…10、11、13、14、15、30、31、39、42、44、46およびバラ数字。メタリック。 840円
○624／コキ104車番インレタ…車番のみを収録したもので16輌分入り、白。84、364、765、829、969、1101、1104、1180、1265、1328、1355、2159、2213、2341、2795、5004を収録。 735円
○625／コキ106車番インレタ…上記同様16輌分入り、白。14、193、194、224、241、317、419、474、615、640、705、714、730、980、988、1036を収録。 735円


▲旋回窓インレタ。

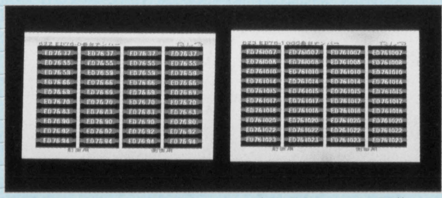

▲DD14／DD53ナンバーインレタ。

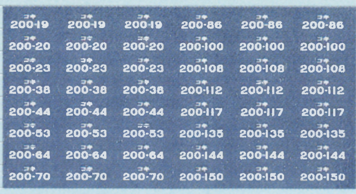

▲DD15ナンバーインレタ。

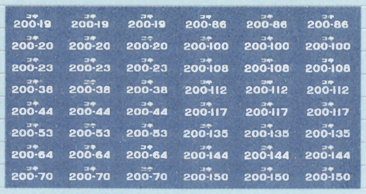

▲コキ104車番インレタ。

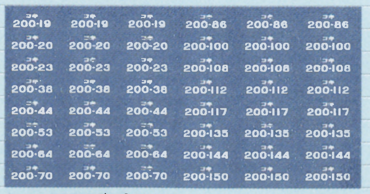

▲コキ106車番インレタ。

■RMM157号掲載
車番エッチング・インレタ各種
○622／ED76 0番代ナンバー…TOMIX製品に対応、塗装・磨き出し済。37・55・59・66・69・70・83・90・92・94を収録。 840円
○623／ED76 1000番代ナンバー…同じく1000番代用。1007・1008・1010・1014・1015・1017・1018・1020・1022・1023を収録。 840円
○626／コキ50000車番インレタ…16輌分入り。白文字。 735円
○627／コキ250000車番インレタ…同じく16輌分入り、白文字。 735円
○628／コキ200車番インレタ…同じく16輌分入り、白文字。 735円
○629／タキ35000車番インレタ黒用…車番「ガソリン専用 燃32」標記を収録。黒塗装車用で8輌分を収録。白文字。 735円
○630／タキ35000車番インレタ青用…同じく青塗装車向け。8輌分、白文字。 735円

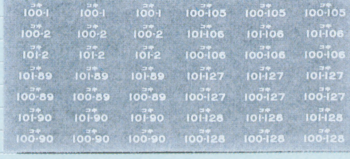

▲写真左がED76 0番代ナンバー、右がED76-1000番代ナンバー。


▲コキ200車番インレタ。


▲コキ50000車番インレタ。

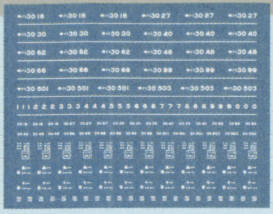

▲タキ35000車番インレタ。

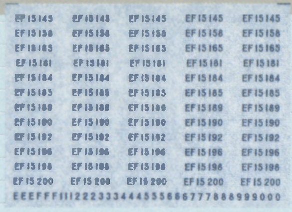
■RMM158号掲載
コキ100系インレタ
○631／コキ100/101車番インレタ
○632／コキ102/103車番インレタ
…TOMIX製品に適合する、車番のみを収録したインレタ。それぞれ8輌分×2形式で16輌分入り、白文字。 各735円

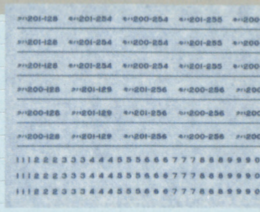

▲コキ100/101車番インレタ

■RMM161号掲載
インレタ各種

◎キハ30系用インレタ…車番の他検査・所属標記、渡り板ナンバー等。白文字。 各735円
○634／キハ30インレタ…18・27・30・40・48・62・66・99・501・503及びバラ数字。
○635／キハ35インレタ…83・97・108・133・159・162・176・526・527・530及びバラ数字。
○636／キハ36インレタ…2・5・11・20・28・32・36・38・43・47及びバラ数字。
◎638／EF15ナンバーインレタ…EF15 145・158・165・181・184・185・189・190・192・196・198・200及びバラ数字。メタリック。 840円
◎201系車番インレタ…最後の活躍を続ける201系の編成10輌分の車番。 各840円
○647／中央線H7編成…各車輌3組ずつ及びバラ数字。メタリック。
○648／京葉線K1＋51編成…各車輌3組ずつ及びバラ数字。メタリック。

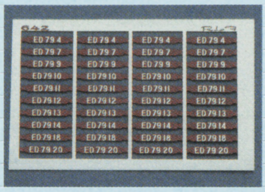

▲634／キハ30インレタ。キハ35・36用もほぼ同様。

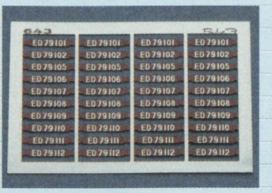

▲638／EF15ナンバーインレタ。後期の切り抜き文字ナンバーを再現するもの。

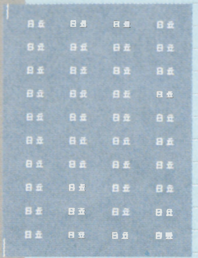

▲647／中央線H7編成インレタ。K1＋51編成用もほぼ同様。

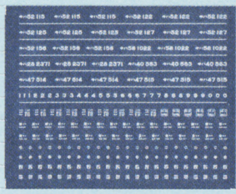
■RMM162号掲載
ナンバー・車体標記各種

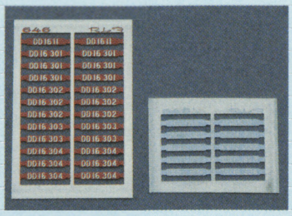
○618／製造銘板 日立切抜文字(改良)…銀色のインレタによる日立の製造銘板。メタリックを保つために転写後は裏紙でこすらず、クリアーコートを推奨している。 473円
○641／気動車ナンバーインレタ1(リバイバルカラー用)…キハ52及びキハ58系、キハ40系を収録。 735円
○642／ED79 0番代ナンバー(TOMIXサイズ)…4・7・9・10・11～14・18・20号機を収録。塗装・磨き出し済。 840円
○643／ED79 100番代ナンバー(TOMIXサイズ)…101・102・105～112号機を収録。塗装・磨き出し済。 840円
○646／DD16 ナンバー(マイクロエースサイズ)…11・301・302・303・304号機を収録。300番代はラッセルヘッド分を含む。塗装・磨き出し済。 840円


▲ED79 0番代ナンバー。


▲ED79 100番代ナンバー。


▲製造銘板 日立切抜文字(改良)。


▲気動車ナンバーインレタ1。


▲DD16 ナンバー。

レフトン(アメリカ)

■RMM158号掲載
灯台各種

RMM111号・115号で紹介したコールドキャスト製の灯台に新バージョンが登場した。いずれも前回紹介したものと同じプロトタイプだが、今回ベース部分が拡大され、付属する建物が追加されている。窓は抜けていないが、海辺のジオラマなどではアクセントとして効果的であろう。大スケールの遠景用としても有用と思われる。
○犬吠埼灯台…外形寸法122×56×110mm。 3,780円
○観音崎灯台…同じく140×90×125mm。 3,780円
(サンプル協力:南洋物産)

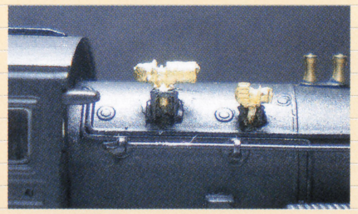
▲犬吠崎灯台。アクセントに活用したい。

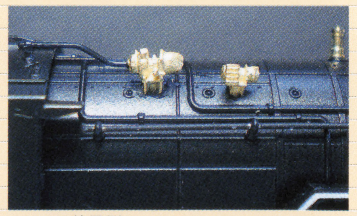
▲観音埼灯台。

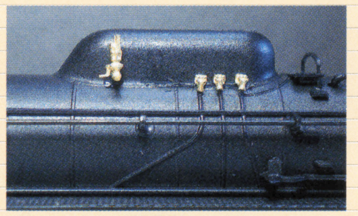
やえもんデザイン

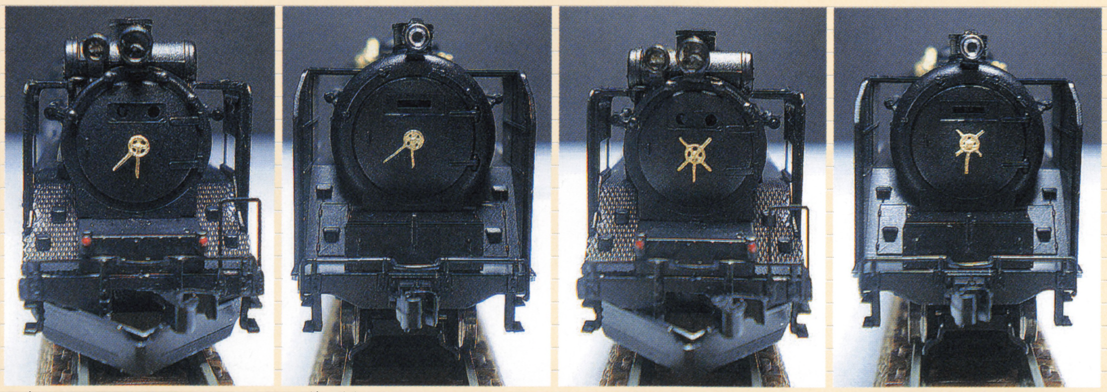
■RMM160号掲載
蒸機用ロストパーツ各種

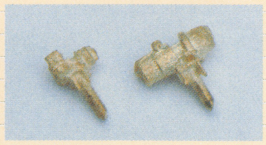
新たに設立されたパーツメーカー、やえもんデザインからリリースされたNの蒸機用ロストパーツ。取付穴はY-001～004はφ0.7、Y005～008はφ0.5。Models IMON秋葉原店および、自社HP(www7b.biglobe.ne.jp/˜yae-mon/)の通販で購入可能。
○Y-001／SL用発電機セットA…250Wライト装着機用の大型発電機とATS発電機のセット。1セット分入り。 735円
○Y-002／SL用発電機セットB…150Wライト装着機用の小型発電機とATS発電機のセット。1セット分入り。 735円
○Y-003／SL用汽笛…ドーム横に付くタイプの5音階汽笛。1個入り。 420円
○Y-004／SL用砂撒管元栓…サンドドームに付く砂撒管元栓で、砂撒管にはφ0.25線を使用可能。6個入り。 945円
○Y-005／煙室扉ハンドル(標準)…最も一般的な形状の煙室扉ハンドル。1個入り。 420円
○Y-006／煙室扉ハンドル(丸穴)…内側が丸穴付き円板状の煙室扉ハンドル。1個入り。 420円
○Y-007／煙室扉ハンドル(4本)…X型の煙室扉ハンドル。1個入り。 420円
○Y-008／煙室扉ハンドル(丸穴＋4本)…丸穴と4本が合わさった形状の煙室扉ハンドル。1個入り。 420円
○Y-009／複式コンプレッサー…大型機に装着される複式コンプレッサーで、エアクリーナーも一体に鋳造している。1個入り。 630円

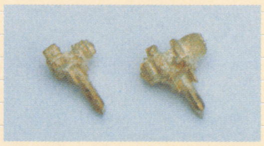

▲Y-001使用例。

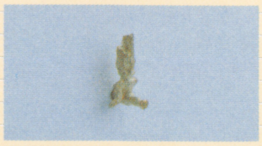

▲Y-002使用例。

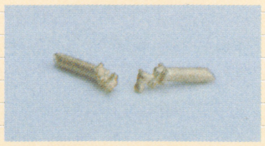

▲Y-003／Y-004使用例。


▲左から、Y-005、Y-006、Y-007、Y-008の使用例。
使用例写真(全て):やえもんデザイン


▲Y-001。

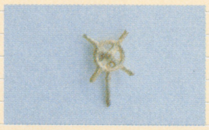

▲Y-002。

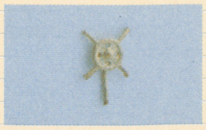

▲Y-003。

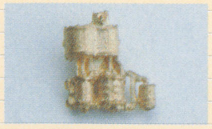

▲Y-004。

▲Y-005。

▲Y-006。


▲Y-007。


▲Y-008。


▲Y-009。

ワールド工芸

■RMM157号掲載
下路式ターンテーブル

ワールド工芸から、蒸機華やかなりし時代を再現するのに欠かせない、ターンテーブルのキットがリリース。以前にもワールドでは同品を販売していたが、今回改良を加えての再発売である。

プロトタイプは、レールがガーダー主桁の下側に位置する「下路式」であり、浅めのピットと、山型のガーダーが特徴である。

ガーダー部品を含めた全てが金属製となっており、シャープで繊細な仕上がりが期待できる。20m級の大きさを持ち、C62クラスでも十分載ることが可能である。

駆動装置は前回同様含まれず、なおかつ全体が金属製なため、レールに通電しての実用などには工夫が必要となる。実感を求める蒸機ファンにオススメである。 13,440円

▲下路式ターンテーブルの組立見本。手で本体を持って回転させることはできるが、駆動装置は各自工夫が必要。ディスプレイと割り切るのもありだろう。

CRAFT Paper Structure Kit Z·N & Other Scale

Handmade production CRAFT

クラフト・ペーパーストラクチャーキット3月発売開始!

「BSジャパン・鉄道模型ちゃんねる」で、ヨーロッパ型レイアウトを制作した「ミニチュア模型制作工房・クラフト」では今春、レーザー加工によるペーパーストラクチャーキットを発売開始いたします。一般的なペーパーキットは「切断または筋目を入れる」二つの加工方法を主に用いていますが、クラフトでは屋根瓦や板壁、レンガ等に精細なデザイン彫り(凹凸加工)を実現しています。また、細かい窓枠パーツ等にはプラキット感覚で組み上げられるアワセ加工も採用。このほかレーザー加工サービスとして、1/87スケールなど、お客様のフィールドに合わせた自由な変倍カットや特注設計、ご支給データの加工にも対応いたします。特に凹凸のあるレンガ、石畳、瓦などは、実写平面画像をご用意いただければ、ディティールをそのまま投影させた超実感パーツが実現します。詳細はお問合せ下さい。

団地シリーズ 第1弾!

続々設計中! 今後のラインナップに、ご期待下さい!

【期間限定】3セット以上のご注文は5%OFF!
〈2009年5月末日までのご予約・ご注文に対して適応〉

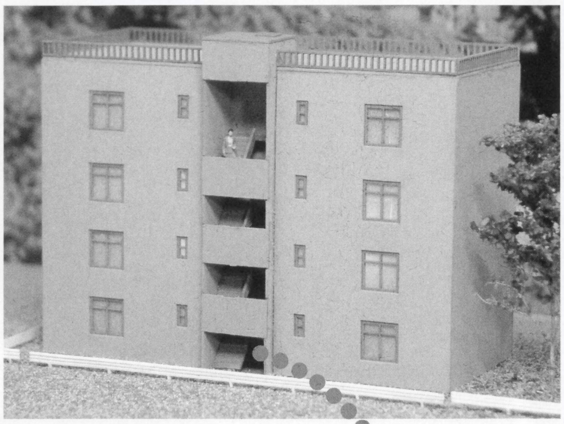
CRAFT Paper Structure Kit

昭和、日本でもっとも多く建築されたスタンダードな4階建て団地。

団地(A)ZorN

Z [1/220スケール] 税込¥1,470
(完成サイズ)幅81×奥行38×高さ60mm

N [1/150スケール] 税込¥1,680
(完成サイズ)幅119×奥行56×高さ88mm



階段も、しっかり再現!

埼玉県、公団赤羽根台団地などに見られるスターハウス型を再現。

団地(B)ZorN

Z [1/220スケール] 税込¥1,680
(完成サイズ)幅98×奥行85×高さ52mm

N [1/150スケール] 税込¥1,980
(完成サイズ)幅144×奥行125×高さ76mm

組立て時の接着には、必ず、速乾アクリアスティックをお使い下さい。

20g/税込¥304

東京都町田市鶴川団地などに見られる5階建てを再現。

団地(C)ZorN

Z [1/220スケール] 税込¥1,850
(完成サイズ)幅81×奥行38×高さ60mm

N [1/150スケール] 税込¥2,360
(完成サイズ)幅119×奥行56×高さ88mm

●2009年3月中旬発売開始●本ペーパーキットは要塗装品です●完成サイズは突起を含む最大外形寸法です(多少の誤差が生じます)●詳しい組み立て説明書付属●写真は塗装組立完成品に照明を内蔵し点灯撮影したものです

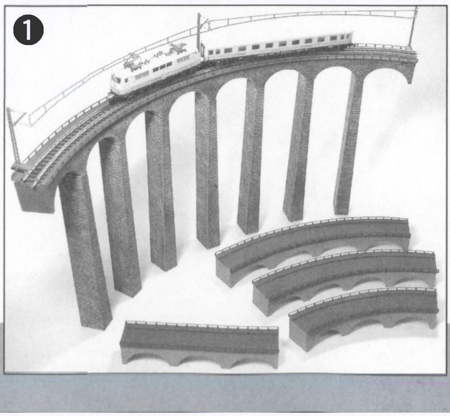
クラフト・レーザー加工サービス始動!!

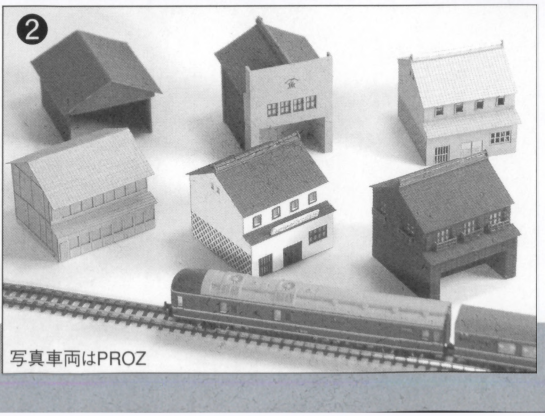
■お客様が設計したデータ(CAD・イラストレータ)を弊社にてカット。素材はペーパーのほか、アクリル等でもOK。操作パネルなどのスイッチ類の抜きや、文字の彫り込み加工も自在です。

■団地シリーズほか、今後クラフトが発売するすべてのペーパーストラクチャーに対しての塗装済組立てサービスや、変倍カット、特注設計もお承りいたします。詳細はお気軽にお問合せ下さい。

メルクリンZレール対応・レンガアーチ橋、日本型・Zストラクチャーも続々発売!!

❶メルクリンZレール8500/8510/8520/8530対応レンガアーチ橋・橋脚ペーパーキット(架線設置可能)
❷日本型Zストラクチャー・ペーパーキットシリーズ

❶


❷

写真車両はPROZ

全国通販OK
info.craft-s.com
www.craft-s.com

ミニチュア模型制作工房・クラフト
東京都目黒区五本木3-32-8 電話/03-5768-5633 FAX/03-5704-6691 [不定休]

●お問合せ・ご注文はメールでお願いいたします(電話は制作業務集中の際、かかりにくい場合がございます。ご了承下さい)●現在、店舗営業は行なっておりませんが、ご予約いただければ工房お引き取りも可能です●すべての商品情報は、今春HP全面リニューアルに合わせて詳細を掲載いたします。ご迷惑をおかけいたしますが今しばらくお待ち下さい。

ユルトレマン登場！！
2009 © KUREO・ICOM

新発売

世界最小Nゲージ
Caramel N キャラメル-N

キャラメルN(ナイン)は、昔懐かしい、サイコロ・キャラメルのボディーにデフォルメされた、かわいらしく、動きまわる、列車のシリーズです。

運材台車
小型客車
酒井5tタイプ機関車
青島文化教材社より
好評発売中
http://www.aoshima-bk.co.jp/

大変お待たせしております。
木曽森林鉄道
BLW
TMC400モーターカー
イエロー
ストライプ
ブラウン
森林鉄道を再現!!
レッド
ストライプ
オレンジ
Boxcab
木曽で活躍した 酒井工作所
・C4型ディーゼル機関車
開発中

Micro Gallery
好評発売中　Nゲージストラクチャー
マイクロギャラリーシリーズ
塗装済みの人や動物、各種車両、エッチングによる繊細なフェンスなどの造形物、情景模型をより引き立ててくれる小物たち

Nゲージに最適な草花のミニチュア
すぐでき草シリーズ　PK16～20
必要な大きさに切り取り、台座に貼り付けるだけでリアルな草の表現ができます。
Nゲージフィギュアとの組み合わせ例
長めの草表現に最適です。

最新情報は、ホームページへ
秋葉原系 2009 © FUJIMOTO
メイドさんがNスケールで登場！
藤本サービスより近日発売予定
http://www.fscweb.co.jp/
農機も続々登場！

株式会社 アイコム　http://www7a.biglobe.ne.jp/~prohobby/
埼玉県鳩ヶ谷市南5－19－22　TEL:048-282-8477　e-mail:pro-hobby@kvj.biglobe.ne.jp

初めてNゲージを手にする前に!

●江頭剛の　NゲージワールドABC
・基本セットからはじめよう ・いつかは作ろう、レイアウト！ ・車両を楽しむ（1）車両製品の仕上げとメインテナンス基礎講座 ・車両を楽しむ（2）　キットで車両を作るための基礎講座 ・模型店との付き合い方 ・鉄道模型のイベントを見学しよう
●全国Nゲージ　ショップ・リスト
●Nゲージ用語辞典

好評発売中

改訂新版 今日からはじめる
Nゲージ
定価 1,000円（税込）　51791391

お求めはお近くの書店、またはホビダス（http://www.hobidas.com/）にて。お電話でもご注文いただけます。03－5723－6013（営業部）

1/144&Nスケールで新登場！
都市型ストラクチャーはもちろん新たな世界を皆様に！

アキバ発
メイドっ娘

4月末からまずは2タイプ発売！
随時発売（全12種）していきます！
株式会社 藤本サービス
http://www.fscweb.co.jp/

スタートセットからレイアウトまでNゲージの
本当に知りたかったこと、Q&Aでなんでも解決!!

●カラーグラフ ／ 広く限りなく深いNゲージワールド
●超入門編 Q&A ／・Nゲージのできるまで　・Nゲージの辿った軌跡
●スタート編 Q&A ／・スタートセットから始めよう！　・レールクリーニングとメンテナンス
●車輌編 Q&A ／・徹底解剖！ Nゲージのメカニズム　・車輌のクリーニングとメンテナンス 他
●キット編 Q&A ／ 気軽にチャレンジ！　グリーンマックスの塗装済一体キット
●レイアウト編 Q&A ／・超保存版　徹底技法解説　実録！ 碑文谷電鉄のできるまで 他
●その他編 Q&A ／●ショップ編 Q&A ／・Nゲージ、初めてのお買い物はココで！ 他　and more...

好評発売中
定価 980円（税込）
51735914

RM MODELS ARCHIVE
Q&A 鉄道模型Nゲージ超入門

お求めはお近くの書店、またはホビダス（http://www.hobidas.com/）にて。お電話でもご注文いただけます。03－5723－6013（営業部）

ガイアカラーから鉄道模型用カラーついに発売

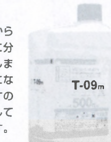
1001　ライトステンレスシルバー
1002　ダークステンレスシルバー

近郊・通勤電車で多く使用されているステンレスボディの車両に最適な、粒子の細かいメタリックカラーです。ライトとダークの２種類のステンレスによってリアルさを追求しました。T-09 メタリックマスターで薄めることで輝きはさらに増します。今までのシルバーで満足できなかったあなた。鉄道模型ファンの期待を裏切らない色出来ました。

各 15ml 368 円（税抜価格 350 円）

ガイアカラーは溶剤系アクリル樹脂塗料（通称ラッカー系塗料）です。

メタリックカラーを薄める時はこちらの
T-09　メタリックマスター
をぜひご利用ください。



メタリックカラー専用という新しい発想から生まれた薄め液です。金属の粒子を均一に分散して定着させることによって輝きが増します。金属色の性能を全て表現できるようになりました。リターダー効果も入っていますので、エアーブラシ塗装にも筆塗りにも適しています。完成度が増すこと間違いなしです。

500ml 1260 円（税抜価格 1200 円）

その他カラー 48 色、溶剤 9 種類、グッズ各種好評発売中です。

ガイアノーツ株式会社
〒332-0035 埼玉県川口市西青木 3-4-10
TEL:048-456-6851 FAX:048-251-1313
info@gaianotes.com
http://www.gaianotes.com

貨物・コンテナのことなら当店まで!!

今、人気のNゲージ貨物列車・
コンテナ(TOMIX・朗堂)も多数お取扱い中!

商品在庫やコンテナ列車豆知識はHPで好評掲載中!!

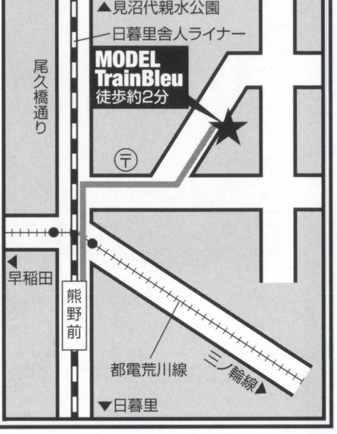
当店2Fに会員制レイアウトフロア完備!　ご利用方法等は店頭・HPをご覧下さい。

下町の
Nゲージ専門店

MODEL TrainBleu
モデル　トラン・ブルー
http://trainbleu.boo.jp

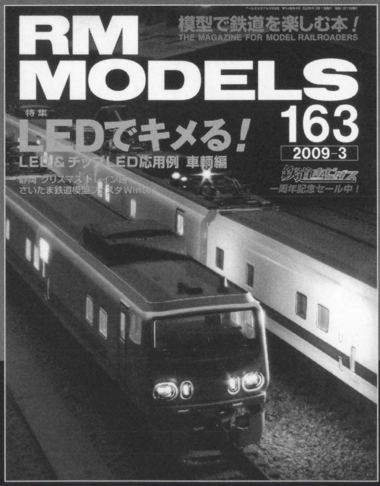
東京都荒川区東尾久8-12-16
TEL/03-3819-6696
FAX/03-5692-6696
営業時間：12:00〜20:00
定休日、在庫リストはホームページをご覧ください

舎人ライナー・都電でご来店ください

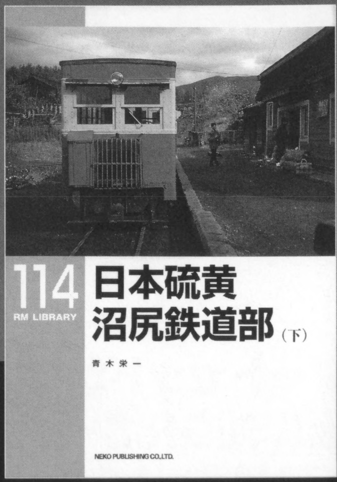


ネコ・パブリッシングの鉄道雑誌

■鉄道趣味の月刊誌【レイル・マガジン】
Rail Magazine
毎月21日発売
定価1200円



■模型鉄道の専門月刊誌【アールエムモデルズ】
RM MODELS
毎月21日発売
定価1100円



■語り継ぎたい鉄道の記憶【アールエムライブラリー】
RM LIBRARY
毎月21日発売
定価1050円

株式会社ネコ・パブリッシング　〒152-8545 東京都目黒区碑文谷4-21-13 Tel: 03-5723-6013(営業部) http://www.neko.co.jp/

Nゲージ鉄道模型専門店
弁天堂模型本舗

各種クレジットカードご利用可
自作・キット派の方は是非
ご来店下さい！

Nゲージ各社取扱い
パーツ類が豊富
特製車両・インレタあります
詳しくはホームページをご覧下さい

〒5520-0007
大阪市港区弁天 4-5-9
TEL・FAX 06-6573-0313
MAIL mail@ben10domokei.com
HP http://www.ben10domokei.com
定休日　水曜日（第２・４週目は水・木曜日）
営業時間　平日 11:00 ～ 20:00
日・祝 10:00 ～ 19:00

JR大阪環状線北改札口、徒歩約3分
地下鉄中央線2－A出口、徒歩約6分

湘南平塚の鉄道模型店
railways 湘南ライン

新着・予約情報はwebで確認!

http://www.tsuichi.co.jp/　railways 湘南ライン　検索

railways 湘南ライン　※電話・FAXでの通販も致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

〒254-0035 神奈川県平塚市宮の前 5-24　門倉第二ビル　TEL:0463-20-9002 / FAX:0463-20-9003
平日・土曜 13:00～20:00 日曜・祝日 13:00～18:00　定休日：毎週水曜・第 2/ 第 3 火曜日・(祝日は営業)

明日の模型制作のために

漫画家でありイラストレータでもある江頭剛さんが「レイルマガジン」で連載した「午前0時ひまつぶし　模型の処方箋」、RMモデルズで連載した「模型るねっさんす」を軸に、追加記事、写真、コラムなどを加えてムック化したものです。両連載を貫くテーマは「作って楽しむNゲージ」。

好評発売中

江頭剛の Nゲージ工作今昔

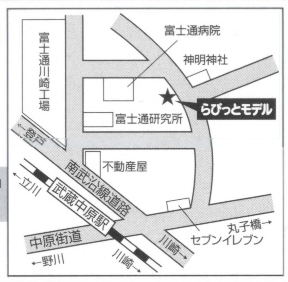
定価 1,500 円（税込）　ホビダス 51463736

お求めはお近くの書店、またはホビダス（http://www.hobidas.com/）にて。お電話でもご注文いただけます。03 － 5723 － 6013（営業部）

川崎 武蔵中原　鉄道模型専門店

N・N(外)・16(プラ)・HO(外)
KATO・TOMIX・マイクロエース・GM・MODEMO・ワールド工芸・銀河パーツ 等　各種取扱

人気のTOMYTECジオラマコレクション・京商1/150
ダイキャストバスシリーズもお取扱いしております



JR南武線武蔵中原駅より徒歩5分
（車一台分の駐車スペースもございます）

らびっとモデル

〒211-0053　神奈川県川崎市中原区上小田中6-42-8
営業時間　平日11:00～20:00　土休日11:00～19:00
定休日　毎月7・8・17・18・27・28日
TEL&FAX : 044 (722) 1116（お問合わせは営業時間内にお願い致します）

目標、買取価格日本一!只今、更に10%～15%UP!(一部を除く)

新品 激安

超高値 買取

査定だけでも大歓迎
好評!下取りセール(35%から更に5%OFF)

●定価にこだわらないレア高価買取
●旧ロット品もジャンク品も高価買取

中古売って下さい

●持込みでも郵送でもOK
●着払いでも事前連絡なしでもOK
(元払いの方は送料、商品の事前通知の場合は5%UP実施中!)

ご用意下さい

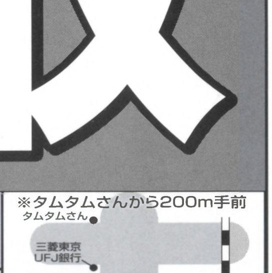
1.運転免許証、保険証（郵送の場合はコピー）
2.18才未満の方は保護者の同意書（以下の書き方希望）
「（鉄道模型の品番又は品名）を売却することに同意します。保護者名 ㊞ 」
※お気軽にお電話下さい。　※他店の申込用紙でも大歓迎!

委託料10%
消費税当店負担

只今の買取上限価格	
K.C58・秩父パレオ	¥12,000
K.E3系こまち	¥7,500
K.383系ワイドビューしなの基本	¥7,000
M.E127系新潟色	¥7,500
M.5000系北綾瀬支線	¥4,300
M.京急1000形冷改4輌	¥5,700
M.East i-E 491系	¥5,500
M.釧路湿原ノロッコ号6輌	¥7,000
M.東武8000更新車6輌	¥15,000
M.キハ48風っこ	¥13,000
M.SLあそBOY4輌	¥10,000

新品・中古在庫品	
K.883系ソニック(新品)	¥20,685
K.651系スーパーひたち基+増(新品)	¥31,257
K.C62東海道形(新品)	¥7,999
K.285系サンライズ0+3000(中古)	¥24,900
K.205系3100仙石線(新品)	¥11,246
T.さよなら銀河(新品)	¥27,090
T.169系しなのサンライズ号(中古)	¥49,800
T.373系増結(新品)	¥6,882
M.789系スーパー白鳥基+増B(新品)	¥23,149
M.200系200番台新幹線12輌(新品)	¥29,999
H.20000形小田急あさぎり(新品)	¥13,513
T.EF15(新品)	¥5,040

※タムタムさんから200m手前



激安価格=(32～35%OFF)=車輌・レール・カプラーなど
割安価格=(25～30%OFF)=バスコレ、ラウンドハウスなど
並安価格=(15～23%OFF)=エンドウ、カツミなど

●予約なしでも一定量の在庫があるものは激安価格から0～5%OFF
※希少品は定価販売になる場合があります。

○お問い合わせの電話は番号通知でお願いします
定 休 日：毎週月曜日
営業時間：火～金・第1,4,5土
12:30～20:00
第2,3土・日・祝
11:00～19:40

チヨダレールセンター

〒101-0021
東京都千代田区外神田3-15-7
麻野ビル2F

TEL.03-3253-6860

各社車輌製品再生産品リスト
(2008年1月～2008年12月)

ここでは2008年1月～2008年12月の各社の再生産モデルのリストをお届けします。本書メインパートの新製品と合わせると、過去1年に市場に現れた製品をかなり正確につかむことができるはずです。またこの期間に再生産の実績があれば、比較的入手は容易ということも言えるでしょう。貴方の車輌増備計画にお役立てください。なお、一部改良再生産品につきましては本編にて紹介しています。

ブランド	品番	品名	税込価格	発売時期	備考
KATO	10-237	787系「リレーつばめ」7両セット	¥16,800	2008年1月	
KATO	8017	トキ25000	¥525	2008年1月	
KATO	8006	レ12000	¥525	2008年1月	
KATO	8001	トキ15000	¥525	2008年1月	
KATO	8037-1	タキ1000　日本オイルターミナル色	¥1,260	2008年1月	
KATO	8025	ワラ1　(2両入)	¥1,470	2008年1月	
KATO	8002	コキ10000	¥525	2008年1月	
KATO	8003	コキフ10000	¥578	2008年1月	
KATO	10-476	キハ283系<スーパーおおぞら>6両基本セット	¥18,375	2008年1月	
KATO	3034	EF210	¥6,720	2008年1月	
KATO	2019-2	C62　東海道形	¥11,550	2008年2、4月	継続販売品
KATO	10-534	スハ44系特急「つばめ」7両基本セット	¥12,600	2008年2、9月	継続販売品
KATO	10-535	スハ44系特急「つばめ」6両増結セット	¥10,500	2008年2月	継続販売品
KATO	8037-2	タキ1000　日本石油輸送色	¥1,260	2008年2月	
KATO	8010	ワキ5000	¥525	2008年3月	
KATO	10-370	201系 中央線色 6両基本セット	¥13,230	2008年3月	
KATO	10-374	201系 中央線色 4両増結セット	¥7,350	2008年3月	
KATO	3037-1	EH500 3次形	¥10,290	2008年4月	
KATO	8004	ワキ10000	¥525	2008年4月	
KATO	8005	スニ40	¥525	2008年4月	
KATO	8037-3	タキ1000　日本石油輸送色(ENEOSマーク付)	¥1,365	2008年4月	
KATO	8042	コキ200　UT11C<神岡鉱業>積載	¥1,995	2008年4月	
KATO	10-421	313系0番台 4両基本セット	¥11,865	2008年4月	
KATO	10-422	313系300番台 2両増結セット	¥4,725	2008年4月	
KATO	10-423	313系3000番台 2両セット	¥7,350	2008年4月	
KATO	8034	ワム480000 チップ輸送用(2両入)	¥1,260	2008年5月	
KATO	8039	ワム80000 (2両入)	¥1,260	2008年5月	
KATO	10-410	885系「白いかもめ」6両セット	¥18,690	2008年5月	
KATO	2006-1	D51　標準形	¥7,350	2008年5月	
KATO	10-408	253系 <成田エクスプレス> 6両基本セット	¥17,850	2008年6月	
KATO	10-409	253系 <成田エクスプレス> 3両増結セット	¥7,455	2008年6月	
KATO	8040	タキ1900<三菱鉱業セメント>(2両入)	¥1,890	2008年6月	
KATO	8040-1	タキ1900<日立セメント>(2両入)	¥1,890	2008年6月	
KATO	10-386	285系0番台サンライズエクスプレス 7両セット(JR西日本仕様)	¥18,900	2008年6月	
KATO	10-387	285系3000番台サンライズエクスプレス 7両セット(JR東海仕様)	¥18,900	2008年6月	
KATO	10-541	E233系中央線　6両基本セット	¥16,800	2008年6月	
KATO	10-542	E233系中央線　4両増結セット	¥9,450	2008年6月	
KATO	7008-2	DD51 後期 耐寒形 北斗星	¥6,825	2008年7月	
KATO	10-399	E26系 <カシオペア> 6両基本セット	¥15,015	2008年7月	
KATO	10-400	E26系 <カシオペア> 6両増結セット	¥13,230	2008年7月	
KATO	2013	C57 180	¥9,030	2008年7月	
KATO	10-547	N700系新幹線「のぞみ」4両基本セット	¥13,650	2008年7月	
KATO	10-548	N700系新幹線「のぞみ」4両増結セット	¥8,925	2008年7月	
KATO	10-549	N700系新幹線「のぞみ」8両増結セット	¥14,700	2008年7月	
KATO	10-003	KATOｽﾀｰﾀｰｾｯﾄｽﾍﾟｼｬﾙ 500系新幹線のぞみ 4両セット	¥16,800	2008年7月	
KATO	10-004	KATOｽﾀｰﾀｰｾｯﾄｽﾍﾟｼｬﾙ EF65-1000ブルートレインセット	¥16,800	2008年7月	
KATO	10-005	KATOｽﾀｰﾀｰｾｯﾄｽﾍﾟｼｬﾙ D51　SL列車セット	¥18,900	2008年7月	
KATO	5001-9	オハ31-26　鉄道博物館展示車両	¥945	2008年7月	
KATO	10-245	コキ106　19D積載 2両セット	¥3,465	2008年9月	
KATO	8029	ワム90000 (2両入)	¥1,470	2008年9月	
KATO	8009	ヨ6000	¥525	2008年10月	
KATO	10-366	20系 特急形寝台客車 7両基本セット	¥12,600	2008年11月	
KATO	5086-1	ナロネ21	¥1,470	2008年11月	
KATO	5087-1	ナハネ20	¥1,470	2008年11月	
KATO	5092-1	ナロネ22	¥1,470	2008年11月	
KATO	5093-1	ナロ20	¥1,470	2008年11月	
KATO	5097-1	ナロネ20	¥1,470	2008年11月	
KATO	2002	C11	¥5,775	2008年12月	
KATO	5001	オハ31	¥840	2008年12月	
KATO	5002	オロ30	¥840	2008年12月	
KATO	5003	オハニ30	¥840	2008年12月	
KATO	10-536	223系2000番台(2次車)新快速　8両セット	¥20,475	2008年12月	
KATO	10-537	223系2000番台(1次車)新快速　4両セット	¥14,280	2008年12月	
TOMIX	2133	EF81北斗星	¥5,880	2008年1月	
TOMIX	8503	オハネフ25-0	¥2,205	2008年1月	
TOMIX	8504	オハネ25-0	¥1,575	2008年1月	
TOMIX	92757	EF81・24系25形寝台特急エルムセット	¥17,220	2008年1月	
TOMIX	92236	455系基本	¥13,860	2008年2月	
TOMIX	92237	455増結	¥6,825	2008年2月	
TOMIX	8331	クハ455	¥3,675	2008年2月	
TOMIX	92071、92072	373系特急電車基本、増結セット	¥13,125、¥9,975	2008年4月	
TOMIX	2529、2530	50系×2	¥1,470、¥1,995	2008年5月	
TOMIX	2583	マニ50	¥1,470	2008年5月	
TOMIX	2779、2780	コキ250000、コキ350000	各¥1,050	2008年5月	
TOMIX	2786	コキ104海上コンテナ	¥1,680	2008年5月	
TOMIX	2147	EH500 2次	¥10,290	2008年6月	
TOMIX	92278	14系彗星	¥9,450	2008年6月	
TOMIX	92763	14系あかつき	¥14,490	2008年6月	
TOMIX	2208	DE10	¥4,515	2008年7月	
TOMIX	92227、92228	923形新幹線総合試験車(ドクターイエロー)基本、増結セット	各¥9,555	2008年7月	

ブランド	品番	品名	税込価格	発売時期	備考
TOMIX	92234	DE10貨物列車セット	¥6,090	2008年7月	
TOMIX	92251～92253	寝台特急カシオペア基本、増結セット	¥10,290～¥13,125	2008年7月	
TOMIX	92276、92277	7007000系山陽新幹線(ひかりレールスター)基本、増結セット	¥9,345、¥11,760	2008年7月	
TOMIX	92727、92728	381系くろしお×2	¥18,900、¥9,450	2008年7月	
TOMIX	2151、2152	EF81-300×2	¥5,880	2008年7月	
TOMIX	2211	DE15	¥7,035	2008年8月	
TOMIX	2146	EF210-100	¥6,195	2008年8月	
TOMIX	92279	800系基本	¥10,290	2008年8月	
TOMIX	2116	EF15	¥5,040	2008年9月	
TOMIX	2774	チキ7000	¥945	2008年9月	
TOMIX	2775	タキ5450	¥1,050	2008年9月	
TOMIX	2777	ホキ800	¥2,520	2008年9月	
TOMIX	2215	DD51(JR北海道色)	¥6,510	2008年10月	
TOMIX	92329、92330	209系京浜×2	¥9,660、¥8,610	2008年10月	
TOMIX	8917	サハ209系京浜	¥1,680	2008年10月	
TOMIX	92783	東武100系「スペーシア」	¥19,110	2008年10月	
TOMIX	90148	ベーシックセットSD800系つばめ	¥16,800	2008年11月	
TOMIX	92240～92242	トワイライトエクスプレス基本、増結セットA、B	¥6,615～¥10,290	2008年11月	
TOMIX	8514	スシ24 0	¥2,730	2008年11月	
TOMIX	92336	E233系(中央線T編成)基本セット	¥10,290	2008年11月	
TOMIX	2167	EF65-500F	¥6,510	2008年11月	
TOMIX	2756～2758	コキ10000×3	¥1,050～¥2,205	2008年11月	
TOMIX	90149	ベーシックセットSD500系のぞみ	¥16,800	2008年11月	
TOMIX	90150	ベーシックセットSDブルートレイン2	¥15,750	2008年11月	
TOMIX	92134	南部縦貫鉄道キハ10	¥7,140	2008年12月	
TOMIX	92135	コキ102・103セット	¥3,990	2008年12月	
マイクロエース	A0021	215系・2次型「ホリデー快速ビューやまなし」10両セット	¥22,050	2008年1月	
マイクロエース	A0342	キハ281系スーパー北斗7両基本セット	¥18,900	2008年1月	
マイクロエース	A8708	DE10-1537 わたらせ渓谷鉄道	¥4,515	2008年1月	
マイクロエース	A1353	名鉄キハ8000系　特急「北アルプス」6両セット	¥22,050	2008年4月	
マイクロエース	A0311	国鉄781系特急色　特急「ライラック」6両セット	¥19,425	2008年5月	
マイクロエース	A1070	371系　特急「あさぎり」7両セット	¥21,840	2008年5月	
マイクロエース	A3400	ED42　4重連セット	¥20,790	2008年5月	
マイクロエース	A0300	マヤ34-2002　高速軌道試験車	¥2,625	2008年7月	
マイクロエース	A8574	シキ800+ヨ8000　3両セット	¥16,590	2008年8月	
マイクロエース	A0377	783系　特急「みどり」+「ハウステンボス」8両セット	¥22,050	2008年11月	
MODEMO	NT44	箱根登山鉄道モハ2形(2輌セット)	¥10,290	2008年10月	
MODEMO	NT26	江ノ島電鉄1200形"明治製菓号"(M車)	¥10,290	2008年10月	

河合商会　2009年1月現在メーカー在庫品一覧

貨車メインのラインナップの河合商会については、再生産実績ではなく、2009年1月現在のメーカー在庫状況をお知らせします。ここにリストアップされていれば、お近くのショップに問い合わせていただくことで間違いなく手に入るというわけです。現状の入手性について、参考になさってください。

品番	品名		税込価格
KP-101A	タキ50000(日本石油)	2両入	¥2,730
KP-102	ワラ1(東武鉄道)	3両入	¥2,048
KP-103	ワム80000(ブラウン塗装)	3両入	¥2,205
KP-103B	ワム80000(反射板付)	2両入	¥1,785
KP-105	レム5000	3両入	¥2,205
KP-108	ワム23000(ボデー新)	2両入	¥1,470
KP-110	ワム50000	3両入	¥2,048
KP-113	カ3000(新装版)	2両入	¥1,470
KP-114	ツム1000	3両入	¥2,100
KP-117	ホキ5700(日本セメント)	2両入	¥2,415
KP-117B	タキ5700(日本セメント)	2両入	¥2,415
KP-118	タキ50000(モービル石油)	2両入	¥2,730
KP-121C	キ100	2両入	¥2,310
KP-127	ワラ1(JNR)	3両入	¥2,100
KP-129	セム8000	3両入	¥2,415
KP-130	ホキ5700 秩父セメント	2両入	¥2,415
KP-133A	タキ43000(ブルー塗装・日本石油輸送)	2両入	¥2,625
KP-134	ワム70000	3両入	¥2,100
KP-135	タキ35000(日本石油輸送)	2両入	¥2,625
KP-136	トラ90000	2両入	¥2,730
KP-138	セム6000	3両入	¥2,415
KP-139B	キ100	3両入	¥2,310
KP-142	ワム70000 急行	3両入	¥2,100
KP-142B	ワム70000 急行	2両入	¥1,575
KP-143	タキ35000(ブルー塗装)	2両入	¥2,520
KP-143B	タキ35000 日本石油輸送ブルー	2両入	¥2,520
KP-144	タキ35000(日本石油)	2両入	¥2,520
KP-146	ワム60000 急行	3両入	¥2,100
KP-147	ホキ2200	2両入	¥2,310
KP-149	ワキ5000	2両入	¥2,310
KP-149B	ワキ5000(TR63台車)	2両入	¥6,825
KP-165	Cタイプディーゼル(クリーム)セット	3両入	¥6,825
KP-166	Cタイプディーゼル(ブラウン)セット	3両入	¥6,825
KP-170	ワム80000(大宮)	2両入	¥1,680
KP-170B	ワム80000(幡生)	2両入	¥1,680
KP-171	トラ55000 木製アオリ戸	3両入	¥2,205
KP-173	ツム1	3両入	¥2,205
KP-174	レ2900(札幌)	3両入	¥2,205
KP-175	ワム23000(リブナシ扉)	3両入	¥2,205
KP-176	ワム21000	3両入	¥2,205
KP-179	カ2000	3両入	¥2,205
KP-181	ワキ1000　9窓(1026)	2両入	¥2,520
KP-182B	ワム21000(帯付)	2両入	¥1,575
KP-183	トラ90000　タイプ2(3段カゴ)	2両入	¥2,730
KP-184	ポム1	2両入	¥1,470
KP-186C	ワム60000事業用車(配給車代用)	2両入	¥1,575
KP-186D	ワム60000事業用車(五稜郭)	2両入	¥1,575

品番	品名		税込価格
KP-186E	ワム60000事業用車(救援車)	2両入	¥1,575
KP-186F	ワム60000事業用車(札・配給車/救援)	2両入	¥1,575
KP-186G	ワム60000事業用車・苗穂工場配給車代用	2両入	¥1,575
KP-186H	ワム60000事業用車(札・資材センター)	2両入	¥1,575
KP-187	セキ3000	2両入	¥1,575
KP-188	トラ35000	3両入	¥2,415
KP-189	トラ25000	3両入	¥2,415
KP-212	ワフ25000	2両入	¥1,680
KP-213	トラ45000	3両入	¥2,415
KP-214	トラ145000	3両入	¥2,415
KP-215	ワフ29000	2両入	¥1,680
KP-216	ワム3500	3両入	¥2,205
KP-217	ワム90000 急行便仕様	2両入	¥1,575
KP-218	ワム90000	3両入	¥2,205
KP-220	トラ145000(事業用車)	3両入	¥2,415
KP-221	ワム50000(事業用車)	2両入	¥1,575
KP-221C	ワム50000(事業用車　水戸・郡山)	2両入	¥1,575
KP-222	ホキ5700(小野田セメント)	2両入	¥2,415
KP-225	ホキ9800(キリンビール)黒色塗装	3両入	¥4,568
KP-226	ホキ8300(全農)黒色塗装	2両入	¥3,045
KP-227	ホキ10000 秩父セメント	3両入	¥4,725
KP-227B	ホキ10000 太平洋セメント	3両入	¥4,725
KP-228	ホキ10000(秩父セメント)石灰石専用	3両入	¥4,725
KP-229	ホキ10000　電気化学工業	3両入	¥4,725
KP-230	ホキ9300(伏木海陸運送)	2両入	¥3,045
KP-232	タキ12200小野田セメント	3両入	¥4,200
KP-234	タキ35000(モービル石油)	2両入	¥2,625
KP-235	タキ35000(JOMO)	2両入	¥2,520
KP-236	ホキ9800(キリンビール)	2両入	¥3,045
KP-237	タキ12200(大阪セメント)	3両入	¥4,200
KP-238	タキ12200(日立セメント)	3両入	¥4,200
KP-239	ホキ5700(電気化学工業)	2両入	¥2,415
KP-241B	ワム70000事業用車(釧路・岡山)	2両入	¥1,575
KP-242	タキ50000シェル石油	2両入	¥2,730
KP-245A	タキ5450(北海道曹達)	2両入	¥2,310
KP-245B	タキ5450(日産化学工業)	2両入	¥2,310
KP-246A	タキ5450(ソーダニッカ)	3両入	¥3,465
KP-246B	タキ5450(保土谷化学工業)	3両入	¥3,465
KP-246C	タキ5450(日本曹達)	3両入	¥3,465
KP-246D	タキ5450(東ソー)	3両入	¥3,465
KP-246E	タキ5450(旭硝子)	3両入	¥3,465
KP-246F	タキ5450(トクヤマ)	3両入	¥3,465
KP-246G	タキ5450(錦商事)	3両入	¥3,465
KP-247A	タキ5450(関西化成品輸送)	4両入	¥4,620
KP-247B	タキ5450(日本陸運産業)	4両入	¥4,620
KP-247C	タキ5450(東亜合成)	4両入	¥4,620
KP-247D	タキ5450(日本石油輸送)	4両入	¥4,620

品番	品名		税込価格
KP-247E	タキ5450(東北東ソー)	4両入	¥4,620
KP-247F	タキ5450(クレハ)	4両入	¥4,620
KP-252	トラ35000(コレクターズ)	5両入	¥4,830
KP-253	トラ40000(コレクターズ)	5両入	¥4,305
KP-254	トラ45000(コレクターズ)	5両入	¥4,305
KP-257	ホキ8300(全農)クリーム色塗装限定4両		¥6,090
KP-258	急行貨物11両セット		¥10,500
KP-260	ホキ10000 三岐鉄道仕様	4両入	¥6,300
KP-266	タキ5450 側ブレーキ4両セット	4両入	¥4,620
KP-267	タキ7750 手ブレーキ4両セット	4両入	¥4,620
KP-268	タキ7750 側ブレーキ4両セット	4両入	¥4,620
KP-269	ホキ9500 奥多摩工業10両セット		¥16,380
KP-270	ホキ9500 矢橋工業10両セット		¥16,800
KP-280A	ヤ400職用車(安治川口駅常備)	2両入	¥1,575
KP-280B	ヤ400職用車(田端操駅常備)	2両入	¥1,575
KP-282A	タキ7750 (早川商事)	2両入	¥2,310
KP-282B	タキ7750 (日産化学工業)	2両入	¥2,310
KP-282C	タキ7750 (日本陸運産業)	2両入	¥2,310
KP-282D	タキ7750 (日本石油輸送)	2両入	¥2,310
KP-282E	タキ7750 (東北東ソー)	2両入	¥2,310
KP-282F	タキ7750 (トクヤマ)	2両入	¥2,310
KP-282G	タキ7750 (ソーダニッカ)	2両入	¥2,310
KP-282H	タキ7750 (錦商事)	2両入	¥2,310
KP-283A	タキ7750 (電気化学工業)	3両入	¥3,465
KP-283B	タキ7750 (保土谷化学工業)	3両入	¥3,465
KP-283C	タキ7750 (日本曹達)	3両入	¥3,465
KP-283D	タキ7750 (東ソー)	3両入	¥3,465
KP-283E	タキ7750 (東亜合成)	3両入	¥3,465
KP-283F	タキ7750 (クレハ)	3両入	¥3,465
KP-283D	タキ7750 (東ソー)	3両入	¥3,465
KP-283E	タキ7750 (東亜合成)	3両入	¥3,465
KP-283F	タキ7750 (クレハ)	3両入	¥3,465
KP-284A	ホキ2500カバーナシ(奥多摩)	3両入	¥4,830
KP-284B	ホキ2500カバー付き(美濃赤坂)	3両入	¥5,040
KP-285A	ホキ9500 (奥多摩工業)	3両入	¥4,830
KP-285B	ホキ9500 小野田セメント	3両入	¥4,830
KP-285C	ホキ9500 河合石灰工業	3両入	¥5,040
KP-285D	ホキ9500 矢橋工業	3両入	¥5,040
KP-285E	ホキ9500 日本石油輸送	3両入	¥4,830
KP-286A	ホキ8500 (三菱鉱業セメント)	3両入	¥4,830
KP-286B	ホキ8500 (三菱マテリアル)	3両入	¥4,830
KP-287A	トラ45000事業用車(幡生)	2両入	¥1,680
KP-287B	トラ45000事業用車(五稜郭・大宮工場)	2両入	¥1,680
KP-288	ワム90000　事業用車	2両入	¥1,680
KP-289	トラ4000	3両入	¥2,205

日本型車輌モデル　総索引2008.1～2008.12

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
【蒸気機関車・ベーシック】				
C53 43 流線型／45 デフなし	マイクロエース	159		62
C57 180(門鉄デフ付)	KATO	159	160	63
C62(東海道形)	KATO	151	152	62
C62 18	KATO	160		63
C62 2／C62 3(函館本線・小樽築港機関区)／C62 15(急行〈ニセコ〉最終牽引機)	マイクロエース	152	153	63
D51 498 動力改良／1002 戦時型・船底テンダー	マイクロエース	161	164	63
【蒸気機関車・エキスパート】				
B20 10	ワールド工芸	151		64
C57 117	ワールド工芸	153		64
C62 2・3	天賞堂	155		64
C62 15・16(北海道仕様)	ワールド工芸	155		64
C62 2(北海道仕様)	ワールド工芸	159		64
D51 386・837・758・727	リアル・ライン	155		65
【電気機関車・ベーシック】				
EF58 35(茶色／青)	マイクロエース	151	153	66
EF58(初期型大窓 茶)	KATO	152	153	66
EF63(2次型)	KATO	155	157	66
EF64 1001(茶)	KATO	161	163	67
EF65 1000番代(東京機関区)	TOMIX	157	163	67
EF65 1001(ヒサシなし特急色)／1065(JR貨物試験塗装)	マイクロエース	159	163	68
EF65 1118(レインボー)	KATO	156	159	67
EF65 1118(レインボー)	TOMIX	162	163	67
EF66(中期型・JR貨物更新車／後期型・JR貨物新更新車)	TOMIX	160	161	68
JR貨物EF200(新塗色)	KATO	161	162	69
JR貨物EF210 100番代(シングルアームパンタ)	KATO	157	162	68
ED73 1000番代	KATO	162	164	69
ED76(後期型／後期型・JR九州仕様)	TOMIX	154	155	69
ED79 0番代／100番代	TOMIX	159	160	70
EF81 (一般色)	KATO	153		70
JR貨物EH500(3次型)	KATO	155		70
【電気機関車・エキスパート】				
EF50	ワールド工芸	151		71
鉄道省8000形	ワールド工芸	160		71
上信電鉄ED31	ワールド工芸	157		71
上田交通EB4111	ワールド工芸	154		71
福井鉄道デキ11タイプ	ペアーハンズ	158		72
近鉄デ31タイプ	Masterpiece	159		72
とても簡単なBB凸電	アルナイン	155		72
とても簡単な大型凸電(川崎タイプ)	アルナイン	157		72
とて簡DX・デッキ付電機(私鉄戦後型)	アルナイン	157		72
【ディーゼル機関車・ベーシック】				
DD51 1000番代(暖地型)	TOMIX	162		76
DD51 1000番代(JR貨物試験色)	TOMIX	151	153	76
DD51 1156(JR貨物車体更新車新塗装)	マイクロエース	155	157	77
DD18 1(ラッセルヘッド付)	マイクロエース	155	157	77
DE10 1548(松任工場)	マイクロエース	162		76
DF90(標準色)	マイクロエース	151	153	77
DF91(金太郎塗装)	マイクロエース	151	153	77
【ディーゼル機関車・エキスパート】				
とても簡単な凸形ディーゼル(旧式)	アルナイン	157		77
酒井5tタイプ機関車	アオシマ	162		77
【電車(国鉄・JR)・ベーシック】				
103系(JR東海色／スカイブルー)	マイクロエース	152	153	78
203系 0番代(2次車)	マイクロエース	156		78
205系(横浜線色)	KATO	157		79
205系1200番代(南武線)	KATO	160	161	79
205系(1100番代鶴見線タイプ)	ラウンドハウス	156	161	79
JR東日本E231系(常磐線)	KATO	153	154	80
JR東日本E233系(中央線)	KATO	152	156	81
JR東日本E233系(中央線・T編成)	TOMIX	154	156	81
ベーシックセットSD E233系中央線	TOMIX	159		81
JR東日本E233系(京浜東北線)	TOMIX	155	156	80
JR東日本E233系1000番代(京浜東北線)	KATO	159	160	80
JR九州303系(登場時／改装後)	マイクロエース	152	154	82
JR西日本321系(2次車)	TOMIX	162		82
113系(JR四国更新車イエロー)	マイクロエース	152	153	82
115系300番代「こんぴら号」	マイクロエース	152	153	83
115系3000番代(30N更新車)	マイクロエース	161	162	83
117系(オーシャンカラー)	KATO	160	163	83
119系(JR東海色・分散冷房車／飯田線色・非冷房)	マイクロエース	154	157	84
JR東日本E217系	KATO	162		85
JR西日本223系2000番代	KATO	154	155	84
JR東海311系(登場時／床下グレー／シングルアームパンタ)	マイクロエース	151	152	85
JR北海道721系100番代／3000番代(半室uシート車)	マイクロエース	155	157	86
153系特急〈こだま〉	マイクロエース	159	162	86
165系〈内房〉／169系〈信州〉／169系900番代〈志賀〉	マイクロエース	158	160	87
455系(クロハ455・磐越西線)	TOMIX	154	158	88
455系(あかべぇ・磐越西線)	TOMIX	155	158	88
475系(JR九州／国鉄復活塗装)	TOMIX	155	158	88
455系〈さよなら455系〉	マイクロエース	161		89
151系〈はと〉(クロ150-3入り)	マイクロエース	160	162	89
189系国鉄色〈あさま〉	KATO	155	157	89
JR東海371系〈あさぎり〉シングルアームパンタ	マイクロエース	155		90
JR東海383系〈しなの〉	マイクロエース	161・162	164	90
クハ481-26(鉄道博物館保存車)	KATO	161		90
485系〈雷鳥〉	TOMIX	153	154	91
485系「シルフィード」+DE10 1701／485系700番台「NO・DO・KA」	マイクロエース	162	163	91
781系「さようなら781系」号	マイクロエース	155	157	92
JR九州783系リニューアル〈有明〉／〈ハイパー有明〉／〈ハイパーかもめ〉	マイクロエース	160・161	162	92
JR九州885系「白いソニック」	KATO	161	163	93
JR四国8000系〈しおかぜ〉〈いしづち〉(旧塗装／リニューアル)	マイクロエース	159	161	93
クモユニ143(スカ色)	マイクロエース	156	160	94
クモユニ147(飯田線色)	マイクロエース	156	157	94
クモヤ143(0番代／0番代湘南色)	マイクロエース	157	160	94
クモヤ143-50番代(湘南色)	マイクロエース	158	160	95
クモヤ145 100番代	グリーンマックス	158	160	95
JR東日本E491系「East i-E」	マイクロエース	162	163	95
200系1500番代リニューアル車「東北新幹線開業25周年号」	マイクロエース	154	155	96
JR東日本400系(新塗装)	TOMIX	159		96
JR東日本400系(旧塗装)	TOMIX	160		96
JR西日本N700系3000番代	TOMIX	159	161	97
N700系新幹線〈のぞみ〉スターターセット	KATO	158		97
922形10番代(新製時／改造後)	マイクロエース	162		97
【電車(国鉄・JR)・エキスパート】				
73系各種	BONA FIDE PRODUCT	152		99
クモハ73 600	タヴァサホビーハウス	155		98
サハ78(アコモ改造車Aタイプ)	タヴァサホビーハウス	156		98
モハ70／71(初期型原型)	タヴァサホビーハウス	153		98
クモニ83 100	東京堂プラス	154		98
クモユニ81	東京堂プラス	159		98
クモヤ92	タヴァサホビーハウス	159		98
103系(初期・更新車／冷改車)	BONA FIDE PRODUCT	156		99
105系500番代(WAU202搭載車)	BONA FIDE PRODUCT	159		99
JR西日本223系0番代	トレジャータウン	158		98
【電車(私鉄)・ベーシック】				
東武50000系／50050系	マイクロエース	151	152	102
西武701系(旧塗装／冷房車)	マイクロエース	151	153	103
京成AE-100(登場時／リニューアル)	マイクロエース	157	159	104
北総7300形／京成3700形	グリーンマックス	160		103
東京メトロ07系(東西線)	マイクロエース	159	164	103
東急1000系(池上・多摩川線／東横線)	グリーンマックス	153		105
東急8500系	グリーンマックス	154		106
東急デハ80形(旧塗装)	MODEMO	156		102
東急300系(304Fアップルグリーン)	MODEMO	154		104
東急300系(303Fクラシックブルー)	MODEMO	158		104
京急2100系「ブルースカイトレイン」	グリーンマックス	151	152	106
都営5300形(初期型登場時／後期型ロングスカート)	マイクロエース	158	160	105
相鉄旧6000系(全鋼製車／アルミ試作車組込)	マイクロエース	160	161	106
江ノ島電鉄100形(トロリーポール仕様)	MODEMO	158		107
江ノ電300形(304F標準色2005／305F標準色)	MODEMO	155		107
江ノ電新500形	MODEMO	151	152	107
江ノ電1000形(デビュー時仕様)	MODEMO	157		108
江ノ電1500形「S.K.I.P号」II	MODEMO	154		108
江ノ島電鉄2000形「明治製菓号2007」	MODEMO	159		108
伊豆急2100系「リゾート21」(izukyuロゴ入り)	KATO	157		109
長野電鉄2000系(復活・茶色／りんご塗装)	マイクロエース	157	159	109
豊橋鉄道市内線モ3502「ヤマサちくわ号」	MODEMO	152	153	109
名鉄3500系	グリーンマックス	155	157	110
名鉄モ600形	MODEMO	154	155	110
名鉄モ750形(スノープロウ仕様)	MODEMO	152	155	110
近鉄5200系	グリーンマックス	160	161	112
近鉄12200系	グリーンマックス	151・152	154	111
近鉄12200系(未更新タイプ)	グリーンマックス	157		111
近鉄15200系タイプ「あおぞらII」	グリーンマックス	154	155	112
阪急8300系3次車／8040形	グリーンマックス/松本商事	159	161	113
京阪3000系	グリーンマックス	162	163	113
京福電鉄モボ101形(夕子号)	MODEMO	160		112
【電車(私鉄)・エキスパート】				
上信電鉄250形(原型非冷房／現行冷改)	あまぎモデリングイデア	158		117
秩父鉄道サハ352	南洋物産	153		117
東武7820系	CROSS POINT	161		114
京成の63形電車	イエロートレイン	152		116
京成210系	イエロートレイン	158		116
京王3000系1次車(ブルーグリーン／アイボリーホワイト)	CROSS POINT	156		114
京急500形	kitcheN	156		117
銚子電鉄デハ101	ワールド工芸	159		115
新潟交通モワ51	ワールド工芸	156		115
上田交通モハ5250	ワールド工芸	156		115
名鉄6500系	CROSS POINT	151		114
名鉄5000／6500／3100系	CROSS POINT	152		114
名鉄6600系	CROSS POINT	158		114
名鉄6000系(1／2／3次車)	CROSS POINT	162		114
名鉄3500／3550系	ホビーメイトオカ	160		115
名鉄AL車各種	銘わぁくす	159		116
近鉄18200系	CROSS POINT	160		114
近鉄680・683系	ホビーメイトオカ	161		115

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
南海7001／7101系	ホビーメイトオカ	151		115
南海2300系	レールクラフト阿波座	153		116
泉北高速鉄道100系	レールクラフト阿波座	162		116
山陽電鉄5030系	レールクラフト阿波座	158		116
神戸市電400形	Masterpiece	158		114
九州鉄道20形／西鉄200形	ワンマイル	156		116
とても簡単な田舎ボギー電車	アルナイン	157		115
とても簡単なデワ	アルナイン	157		115
とても簡単なサイコロデワ	アルナイン	157		115
ダブルルーフ2軸木造路面電車	Masterpiece	158		114
田舎電車各種	さんけい	158		117

【気動車・ベーシック】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
キハ35系(一般色)	KATO	160・161	162	128
キハ40 700番代(キタキツネ・イカ・カニ塗装)	マイクロエース	156		129
キハ40 2000番代 更新車(三代目鬼太郎列車ほか)	マイクロエース	160		128
キハ400＋14系急行〈利尻〉	マイクロエース	157		129
JR北海道キハ130(日高ポニー号)	TOMIX	158		130
キロ59「グラシア」／キハ59「こがね」	マイクロエース	152	153	131
キロ59「リゾートサルーン・フェスタ」(登場時／晩年仕様)	マイクロエース	156	158	131
キハ66・67(国鉄復活色／シーサイドライナー)	マイクロエース	151	153	129
キハ183系(0番代・100番代)	TOMIX	156	158	130
JR東日本キヤE193系「East i-D」	マイクロエース	162	163	130
北近畿タンゴ鉄道KTR 001型「タンゴエクスプローラー」(登場時・改造後)	マイクロエース	151	152	131

【気動車・エキスパート】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
鉄道院ジハニ6055	ワールド工芸	156		132
キハニ5000	ワールド工芸	157		132
キハユニ15(客車窓／バス窓)	ワールド工芸	152		132
キハユニ16	ワールド工芸	154		132
キハ53 500	CROSS POINT	155		132
鹿島鉄道キハ600形	ワールド工芸	152		132
江若鉄道キハ5120	南洋物産	162		132

【客車・ベーシック】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
オハ31 26(鉄道博物館展示車輌)	KATO	155		136
スハ44系特急〈つばめ〉	KATO	151	152	137
スハ45系「急行〈ニセコ〉C62お別れ3重連列車」	マイクロエース	152	153	136
オハ62系(北海道仕様)	マイクロエース	159		137
12系(JR東日本仕様)	KATO	161	163	137
12系「SLばんえつ物語」(新塗装)	KATO	157	160	139
12系お座敷客車「江戸」／「やすらぎ」／「ナコ座」／「カヌ座」+「サロン佐渡」	マイクロエース	154	156	138
わたらせ渓谷鐵道わ01形「サロン・ド・わたらせ」	マイクロエース	154	156	139
14系お座敷客車「ゆとり」	KATO	157	159	139
14系15形	TOMIX	157		138
24系「さよなら銀河」	TOMIX	160	162	140
24系25形〈夢空間北斗星〉／EF81・24系25形〈夢空間〉	TOMIX	151	152	140
マヤ34 2004(クーラー増設)	マイクロエース	157		136

【客車・エキスパート】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
スハ32系	BONA FIDE PRODUCT	156		141
マニ36・37	BONA FIDE PRODUCT	152		141
マヤ34後期型(2008・2009)	BONA FIDE PRODUCT	159		141
江若鉄道オハ1900・1910形タイプ	南洋物産	160		141

【貨車・ベーシック】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
JR貨物コキ106	KATO	159	162	153
コキ106(日本通運「エコライナー31」)	マイクロエース	156	158	153
コキ50000＋コキ106(クールコンテナJOT)	マイクロエース	156	158	152
タキ5450	河合商会	153・155	157	152
タキ7750	河合商会	158・161	163	153
タキ35000	KATO	156	159	154
レム5000	TOMIX	151	153	155
ワム80000(280000番代／380000番代)	マイクロエース	158	161	154
ワム80000(初期型＋鮮魚用)＋ワキ5000	マイクロエース	160	161	154
ワム80000／380000	TOMIX	154		155
トラ70000	TOMIX	154		155
チ1タイプ(土管付／木材付)	TOMIX	160		155
シキ810	マイクロエース	158	160	155
ヤ400	河合商会	153		155

【貨車・エキスパート】

名称	メーカー	掲載号	PREMIUM	頁
タキ3900	新貨車工房	162		156
ホキ800(テックステーションオリジナル)	テックステーション	161		156
シキ140 Aタイプ	大新堂	153		156
シキ140 Bタイプ1	大新堂	154		156

Parts & Accessories メーカー別索引(五十音順)

アールクラフト …………………158
会津砕石 …………………158
α-model …………………158
アルテコ …………………158
アルモデル …………………158
いさみやロコ・ワークス …………………158
岡本企画(旧オオクボ) …………………158
鳳車輌製造 …………………158
ガイアノーツ …………………159
KATO …………………159・160
カワマタ …………………159
キシャ会社 …………………160
汽車倶楽部 …………………160
キャスコ …………………160
京都模型 …………………160
グリーンマックス …………………161
CROSS POINT …………………161
くろま屋 …………………161
コスミック …………………161
こばる …………………162
さんけい …………………162
GSIクレオス …………………162
ジオマトリックス・デザイナーズ・インク …163
湘南電車／ジル …………………165
SWEET …………………165
セメダイン …………………165
ターナー色彩 …………………165
タヴァサホビーハウス …………………166
津川洋行 …………………165
ディディエフ …………………167
ディオグラフィックス …………………166
鐡道少年舎 …………………166
デラックス・イノベーションズ …………………167
電通車輌製造 …………………167
特急工房とろりぃすぱーく …………………167
トミーテック …………………167
トラムウェイ …………………169
トレジャータウン …………………169
南洋物産 …………………170
日本鉄道模型連合会 …………………169
ブライトチップス …………………170
ブラグドン・エンタープライゼス …………………170
PRO-HOBBY／アイコム …………………170
PENGUIN MODEL …………………172
弁天堂模型本舗 …………………173
HOGARAKADOU …………………173
BONA FIDE PRODUCT …………………174
ホビーショップベアーハンズ …………………171
ポポンデッタ …………………173
マイクロエース …………………174
松本商事 …………………174
模型工房たぶれっと …………………174
モーリン …………………174
もけいや松原 …………………174
MODEL524 …………………175
やえもんデザイン …………………177
横浜システム技術研究所 …………………175
レボリューションファクトリー …………………175
ワールド工芸サービスセンター …………………177

取材協力各メーカー問い合わせ先リスト

アールクラフト:053-453-5666
会津砕石:0241-36-2008
あまぎモデリングイデア:FAX 03-5936-7129
α-model:取扱店へ
アルモデル:FAX 048-641-3650
アルテコ:0726-27-1617
いさみやロコ・ワークス:03-3700-1647
岡本企画:03-3942-7444
鳳車輌製造:FAX 0466-24-2392
ガイアノーツ:048-263-2030
KATO:ホビーセンターカトー(03-3954-2171)へ
河合商会:03-3859-1881
カワマタ:019-651-5721
キシャ会社:FAX 03-3783-1680
汽車倶楽部:0949-26-9600
kitcheN:〒038-3803
　青森県南津軽郡藤崎町西豊田1-14-11 2Fへ
京商:046-229-4115
キャスコ:03-5626-5268
京都模型:075-671-1361
グリーンマックス:03-5943-1715
CROSS POINT:
　ジーエムストアー秋葉原店(03-3526-7180)へ
くろま屋:0463-95-6935
コスミック:06-6396-8011
こばる:048-625-8418
さんけい:075-312-9889
GSIクレオス:03-5211-1844
ジオマトリックス・デザイナーズ・インク:〒251-0052
　神奈川県藤沢市藤沢572-609へ
湘南電車／ジル:0466-33-6091
新貨車工房:FAX 048-728-7494
SWEET:054-667-1323
セメダイン:0120-58-4929
ターナー色彩:03-3953-5161
大新堂:
　グリーンマックス・ザ・ストアー大阪日本橋店へ
タヴァサホビーハウス:03-3371-2482
津川洋行:0426-25-8409
ディディエフ:03-3731-6579
ディオグラフィックス:TEL/FAX 06-6958-2030
鐡道少年舎:093-381-4600
電通車輌製造:〒115-0052
　北区赤羽北2-15-1-515へ
東京堂モデルカンパニー:03-3788-9830
特急工房とろりぃすぱーく:FAX 0743-63-2841
トミーテック:03-3695-3161(代)
トラムウェイ:03-5211-1554
トレジャータウン:FAX 03-5629-3237
南洋物産:045-713-7342
日本鉄道模型連合会:03-3750-3232
ブライトチップス:048-521-7882
PRO-HOBBY／アイコム:048-282-8477(代)
PENGUIN MODEL:FAX 0270-20-5331
弁天堂模型本舗:06-6573-0313
HOGARAKADOU:0849-43-3711
BONA FIDE PRODUCT:03-5296-1221
ホビーショップベアーハンズ:0276-46-1462
ポポンデッタ:03-5297-5530
マイクロエース:048-444-2944
松本商事:06-6471-7318
銘わぁくす:〒466-0005
　名古屋市昭和区雪見町3-5-3
　水野宅内　箕田 修方へ
Masterpiece:042-324-4391
模型工房たぶれっと:090-4498-4134
モーリン:03-3624-5736
もけいや松原:072-338-9991
MODEMO(ハセガワ):054-628-8241
MODEL524:072-810-6524
やえもんデザイン:050-7577-0140
横浜システム技術研究所:045-831-1441
レボリューションファクトリー:047-445-0481
ワールド工芸サービスセンター:048-687-7193

鉄道模型 Nゲージ大図鑑 2009

★編集後記★

巻頭で特集した、三者三様のレイアウト、いかがでしたか？　レイアウトに使うことのできるスペースには個人差があり、また走らせたい車輌も千差万別。「コレ」といった正解はないのが本当のところでしょう。貴方が本当に走らせたい車輌は？　費やすことのできるスペースと時間、費用は？　製作を持続するだけの根気はありますか…？　深く考えないでやみくもに取り組んでも挫折する可能性があります。そこで、最低1万円から挑戦できるミニレイアウトメイキング記事も収録してみました。世の不景気風を吹っ飛ばすのは、個人個人ができる範囲で趣味、すなわち人生を思い切り楽しむことだと思うのです。そのための参考にしていただければと願っています。

（羽山　健）

Rail Magazine4月号増刊　RM MODELS ARCHIVE

鉄道模型Nゲージ大図鑑2009

レイルマガジン第26巻第5号

発行人：笹本健次
編集人：牧窪真一
発行所：株式会社ネコ・パブリッシング
〒152-8545　東京都目黒区碑文谷4-21-13
TEL：03-5723-6013（営業部）／03-5723-6012（広告部）／03-5723-6066（編集部）
FAX：03-5723-6023（営業部）／03-5723-6022（広告部）／03-5723-6015（編集部）
印刷：大日本印刷株式会社

©2009 NEKO PUBLISHING CO.,LTD.　Printed in Japan

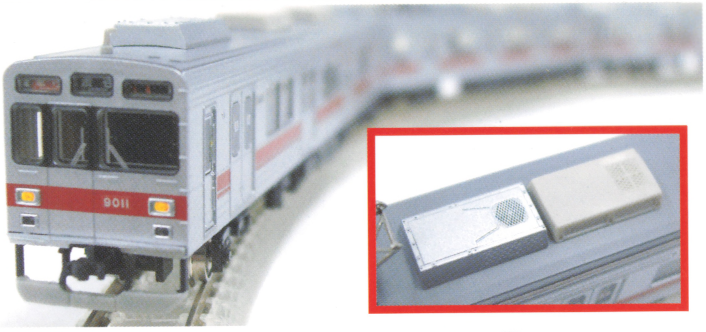
日本最大の鉄道専門サイト「鉄道ホビダス」　http://rail.hobidas.com
趣味の総合ポータルサイト「ホビダス」　http://www.hobidas.com

本誌掲載の記事・写真等の無断転載・転写を禁じます。

STAFF

編集進行……羽山　健
編集スタッフ……水野宏志
……瀧口宜慎
……宇佐美健太郎
（トラック・バス編集部）
協力ライター……佐々木大悟
……佐藤哲朗
……鈴木重幸
……山下貴久雄
写真……青柳　明
……羽田　洋
アートディレクター……遠藤鳥旺
デザイン……筒井純子
……佐々木也寸志
……古賀　修（JAPS）
広告スタッフ……加藤照章
……佐々木基博
……増田ひとみ
……林由希美
営業スタッフ……村川卓司
……久保田　大
……大渕俊輔
……小野愛弓
……板谷洋智（JAPS）

新製品の詳細な仕様及び価格等は、次号以降の広告、及びグリーンマックスのホームページもご覧下さい。詳しくは http://www.greenmax.co.jp まで



塗装済キット 1/150 scale N-gauge

東急9000系

ヘッド&テールライト点灯可能化へ仕様変更

東急電鉄株式会社商品化許諾申請中

商品番号	商品名称	税込価格	本体価格	発売時期
1077T	5輌編成トータルセット（動力つき）	¥16,800	¥16,000	2009年2月中旬
1077M	増結用中間車3輌セット（動力なし）	¥6,300	¥6,000	2009年2月中旬

★基本セットのみで実際の編成として製作できるよう、大井町線5輌編成に合わせた「基本5輌・増結3輌」のセットといたします。
→トータルセット×1で大井町線5輌編成に、トータルセット×1＋増結用中間車セット×1で東横線8輌編成になります。
★現在の実車の仕様に合わせ、新型ステンレスクーラー（RPU-4018）を新規製作、前面スカートを追加設定いたします。
★集電対応床板を採用し、台車を集電対応仕様（東急1000系と同台車）に変更、ライトユニットD（NO.6504）が組み込み可能となります。
★動力ユニットは、完成品モデル標準仕様の2モーター型に変更いたします。
★パンタグラフ付き中間車の床下機器は、動力の変更に合わせて新規に製作いたします。
★市販の室内照明ユニットを取り付けられるよう、車体天井部分に切り込みをモールドいたします。
★ステッカーは、東急1000系他に用いている「現代仕様版」に改めます。

・車体は箱型の一体成形で、着色済となります。【従来どおり】
・屋根は形状の変更はなく、グレーに着色済みとなります。【従来どおり】
・方向幕、種別幕、ナンバー、優先席、弱冷房車等の各標記類は、付属のステッカーでの表現となります。【従来どおり】
・前面ワイパーは、ガラス部分に銀色の印刷表現といたします。【仕様変更】
・側面ガラスは、先頭車・中間車共通とし、床板を固定するツメを設定いたします。【仕様変更】
・集電対応床板への変更に伴い、座席表現がこれまでと異なり、車輌端のボックスシートの表現は無くなります。【仕様変更】
・床下機器は他製品との共用部品を使用するため、実車とは一部形状が異なります。
・主な材質　本体：ABS樹脂、ケース：紙

●先頭車ボディ
※実際のボディは塗装済です。
●ライトユニット組み込みイメージ
●RPU-4018クーラー（右）
※画像はいずれも試作品です。
※ライトユニットは別売です。
※左は従来からのクーラーです。

編成図

付属品 ステッカー

別売品 GM集電板（NO.98-3／4ケ組）
→※室内照明ユニット使用時に、1077T:4ケ、1077M:3ケ必要となります。
TOMIX室内照明ユニットLC白色（NO.0733／1本入、または0737／6本入）

完成品モデル 1/150 scale N-gauge

東急5000系田園都市線6扉

6扉車、待望の追加ラインナップ

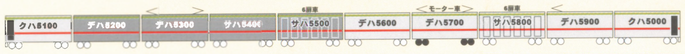
東急電鉄株式会社商品化許諾申請中

商品番号	商品名称	税込価格	本体価格	発売時期
4087	6輌編成基本セット（動力つき）	¥24,490	¥23,800	2009年2月中旬
4088	増結用中間車4輌セット（動力なし）	¥14,490	¥13,800	2009年2月中旬
4908	限定品　6扉中間車2輌セット（動力なし）	¥7,350	¥7,000	2009年2月中旬

★サハ5500・5800「6扉車」を新規に製作いたします。
★新規設定のセットは、プロトタイプを「5107F・5109F」編成とし、在来品（NO.4036、4037）と異なる以下の特徴を再現いたします。
→　セット内容を見直し、基本セット×1＋増結用中間車セット×1で田園都市線10輌編成になります。
→　クーラーは、サハ5400のみ「丸型（CU708）」、それ以外は「角型（HRB504）」を搭載いたします。
（角型クーラー搭載の車輛を別売の「丸型クーラー（CU708）」に載せかえることで「5108F・5110F編成」に設定することができます）
→　側面方向幕は、サハ5400のみ「種別・行先分割型」、それ以外が「種別・行先一体型」となります。
→　前面はシルバー塗装といたします。（NO.4036はゴールド塗装）
→　前面窓下と6扉車ドア上には、「6DOORS」ロゴを印刷いたします。
★ヘッドライトには、実車のイメージに倣い「白色LED」を採用します。（NO.4036は黄色LED）
★在来品（NO.4036、4037）を6ドア組み込み編成にするための「6扉車2輌セット」を、限定品にて発売いたします。
→　クーラーはNO.4036、4037セットに合わせ、「丸型（CU708）」を搭載します。組み替えにより「5104F・5106F」の現行編成となります。（5102F・5103F・5105Fの6扉車は角型クーラーです）

・ワイパーは前面ガラスへ黒色の印刷にて表現いたします。【従来どおり】
・パンタグラフは、在来商品のシングルアーム型パンタグラフPT71B（NO.5808）を採用、装着いたします。【従来どおり】
・各車側面の社章は、印刷済みとなります。【従来どおり】
・前面、側面の行先方向幕及び種別幕は、付属のステッカーからお好みの内容を切り出し、貼付して表現します。点灯はいたしません。【従来どおり】
・前面、側面のナンバーは、付属の車輛マーク（転写式／専用品新規製作）から、お好みの内容を擦り付けて表現します。【従来どおり】
・台車は、専用のTS1019（集電対応）を採用いたします。【従来どおり】
・動力車は、完成品モデル標準仕様の2モーター型を採用いたします。また、動力車用の床下機器パーツは、左右分割式となります。【従来どおり】
・屋上機器「アンテナ・ヒューズボックス」、床下「はしご」は、ユーザー様による別付けとなります（各所取付穴への差し込み式です）。【従来どおり】
・他社製ボディマウント伸縮式カプラーには対応していません。【従来どおり】
・主な材質　本体：ABS樹脂、ケース：PP

編成図



付属品 ステッカー／車輛マーク／屋上機器パーツ／はしごパーツ

別売品 GM集電板（NO.98-3／4ケ組）
→※室内照明ユニット使用時に、4087:2ケ、4088:4ケ、4908:2ケ必要となります。
TOMIX室内照明ユニットLC白色（NO.0733／1本入、または0737／6本入）

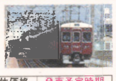
★鋭意開発中新製品★ 詳細は次号以降の広告、ホームページにてご案内予定です。ご期待ください。

試作品

完成品モデル 1/150 scale N-gauge

阪急7000/7300系

阪急電鉄株式会社商品化許諾申請中



商品番号	商品名称	税込価格	本体価格	発売予定時期
4089	6輌編成基本セット（動力つき）	¥24,990	¥23,800	2009年3月
4090	増結用中間車2輌セット（動力なし）	¥8,400	¥8,000	2009年3月
4091	増結用先頭車2輌セット（動力なし）	¥10,290	¥9,800	2009年3月

完成品モデル 1/150 scale N-gauge

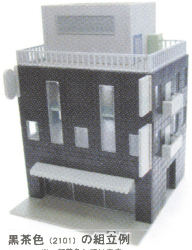
名鉄2200系2次車

仕様変更再生産（4034／4035）

荷物室スペース拡張マイナーチェンジ車

名古屋鉄道商品化許諾申請中

商品番号	商品名称	税込価格	本体価格	発売予定時期
4092	2次車6輌編成セット（動力つき）	¥24,990	¥23,800	2009年3月
4034	仕様変更再生産　基本4輌編成セット（動力つき）	¥8,400	¥8,000	2009年3月
4035	再生産　増結用中間車2輌セット（動力なし）	¥10,290	¥9,800	2009年3月



黒茶色（2101）の組立例
※一部着色しています。
ベージュ色（2103）の組立例
※一部着色しています。
幅75×奥行き80×高さ106 ●単位：mm ●数字は台座と屋上機械室を含む本体の寸法

ストラクチャーキット 1/150 scale N-gauge

ビジネスビル

キットの特性をフルに活かした部品構成

ブロック感覚で組立をお楽しみいただけます。
※最終的な本組み立ての際は、プラ用またはゴム系接着剤をご利用ください。

ストラクチャーキット新展開が、いよいよ始動いたします。第１弾は、都会的な風景をはじめ「街」には欠かせない「ビルディング」です。【自由な発想】を存分にお楽しみいただける、キットならではの構成にどうぞご期待ください。

商品番号	商品名称	税込価格	本体価格	発売時期
2101	ビジネスビルA黒茶色（吹き抜け）3F基本セット	¥1,575	¥1,500	2009年2月発売予定
2102	ビジネスビルA黒茶色（吹き抜け）2F増設セット	¥945	¥900	2009年2月発売予定
2103	ビジネスビルBベージュ色（吹き抜け）3F基本セット	¥1,575	¥1,500	2009年2月発売予定
2104	ビジネスビルBベージュ色（吹き抜け）2F増設セット	¥945	¥900	2009年2月発売予定

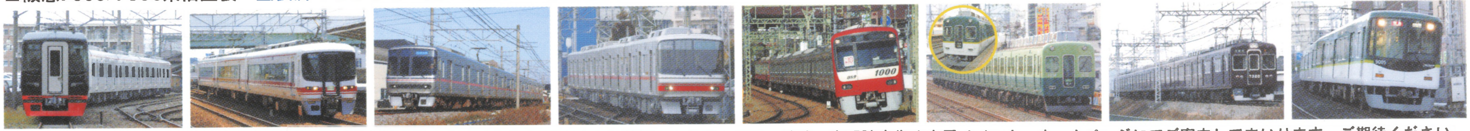
●基本セット（2101、2102）には看板ステッカー付属●バリエーション展開「連続マド」（濃灰色／レンガ色）も追って発売予定

写真は全て検討段階の試作品です。

●2009年発売予定新製品●　グリーンマックスでは、以下のアイテムを展開して参ります。いずれも詳細は追ってご案内させていただきます。ご期待ください。

完成品モデルシリーズ■名鉄1700+2300系■名鉄1600系パノラマスーパー■名鉄3300系／3150系■名鉄5000系■京急新1000形ステンレス車■京阪2400系新塗装／旧塗装■阪急7000/7300系旧塗装　塗装済キットシリーズ■京阪9000系新塗装

名古屋鉄道・京浜急行電鉄・京阪電鉄・阪急電鉄商品化許諾申請中



ここに発表させていただきました各アイテムの詳細につきましては、随時、専門誌広告や出展イベント、ホームページにてご案内してまいります。ご期待ください。
※写真は全て実車イメージです。※開示前の情報につきましては、関係各所へお問い合わせいただきましてもお応えしかねます。あらかじめご了承ください。

GREENMAX

株式会社グリーンマックス

http://www.greenmax.co.jp　本社／東京都板橋区大山東町18-4 TEL 03-5943-1715

GM商品のパーツのご請求や修理のご用命は、以下のアフターサービスをご利用ください。（受付時間：12時～19時）
グリーンマックス・ザ・ストアーParts Pro Shop ●秋葉原店 TEL 03-3526-7180（年中無休）
●ナゴヤ大須店 TEL 052-269-4900（年中無休）●大阪日本橋店 TEL 06-6641-5771（祝日を除く火と年末年始定休）

※発売前の製品の仕様・価格などは、止むを得ず変更する場合がございます。予めご了承ください。

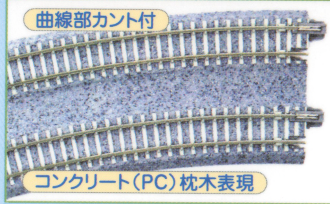
この広告に掲載の商品に関するお問い合わせは、本社またはお取り扱い専門店へ。

例えば 車体を傾けて曲線区間を走り抜ける振り子特急

● 10-558	383系〈ワイドビューしなの〉6両基本セット	¥18,900
● 10-559	383系〈ワイドビューしなの〉4両増結セット	¥12,075
● 10-560	383系〈ワイドビューしなの〉2両増結セット	¥6,300

振り子機構を搭載し、迫力ある曲線通過シーンをリアルに再現　JR東海承認済

ユニトラック 複線線路で、リアルな運転を楽しもう!



● 20-870	V11	複線線路セット(R414/381)	¥8,820
● 20-871	V12	複線線路立体交差セット	¥18,060
● 20-872	V13	複線高架線路セット	¥15,330
● 20-873	V14	内側複線線路セット(R315/282) New	¥8,400

*上記セットの他に、線路プランを自由に大きく広げる単品の複線線路もあります。

関連品 ● 23-061 複線ワイド架線柱(10本入) ¥840

●写真は、デスクトップレイアウトに別売のストラクチャー(建物)や樹木、人形などをお好みで配置して、レイアウトを完成させた作例からのクローズアップです。

例えば ローカル線を行く単行気動車

● 6072-1	キハ30 一般色	Ⓜ	¥5,670
● 6073-1	キハ30 一般色		¥2,835
● 6074-1	キハ35 一般色	Ⓜ	¥5,355
● 6075-1	キハ35 一般色		¥2,520
● 6076-1	キハ36 一般色		¥2,520

単行や2〜3両短編成で小形レイアウトでの運転に好適な気動車(ディーゼルカー)

JR東海承認済(キハ30)　JR西日本承認済(キハ30・キハ35)

机の上に載る小さなレイアウトで、自分だけの無限の世界を創ろう!

地形完成・ユニトラック線路敷設済
引込線2本付きの変形8の字プラン
ご自宅まで直接配送(日本国内のみ)

サイズ：640×940mm 高さ約220mm

● 24-001 デスクトップレイアウト ¥36,750(送料込)

KATOのNゲージ製品をよく知り、より楽しむための印刷物各種

KATO Nゲージ車両のラインナップなら
KATO Nゲージアーカイブス ¥1,890

運転を思う存分楽しむなら
運転を楽しもう！ Nゲージ鉄道模型 ユニトラックガイドブック ¥1,260

欲しいものを探すなら
KATO 鉄道模型 総合カタログ2009 ¥1,260

KATO 株式会社 関水金属
〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15

製品の詳細はホームページをご覧ください！ KATO鉄道模型 検索 www.katomodels.com
・KATO製品情報 ・Nゲージ入門ガイド ・イベント情報 など

*各掲載製品の仕様・価格などは予告なく変更することもあります。*各掲載製品の表示価格は消費税(5%)込の標準価格です。
*製品の詳細についてはKATO鉄道模型総合カタログやKATOホームページをご覧ください。 *万一品切の際はご容赦ください。

雑誌19646-04
定価1,490円 本体1,419円
Ⓛ2009 4/22
Printed in Japan

4910196460495
01419

バーゲンブック
Nゲージ大図鑑2
4910196460495
¥600 税込
4515779024479

月刊レイルマガジン四月号増刊 第二十六巻第五号 二〇〇九年四月一日発行 株式会社ネコ・パブリッシング 東京都目黒区碑文谷四丁目二十一・十三 郵便番号一五二・八五四五 電話(〇三)五七二三・六〇一三(営業部)

©ネコ・パブリッシング